

「食肉に関する意識調査」 報告書

令和5年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

食肉に関する意識調査

目次

1. 調査の目的と分析の基本方針	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針.....	2
1.3 調査対象期間	2
1.4 調査手法	2
1.5 調査手順	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問	5
2. 考察	8
2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する 消費者意識の考察.....	8
1)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）による全頭（羽）殺処分の認知度 （Q23）：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析	9
2)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析	11
3)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q22）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析	16
4)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解（Q24～Q27）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析	21
2.2 「新型コロナウイルス感染症」の「5類感染症」への変更による消費者意識 の考察.....	33
1)「新型コロナウイルス感染症」についての不安（Q45）：エリア・性・年代別分析.....	34
2)「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる 食生活・購買行動の変化（Q46）：エリア・性・年代別分析	37

2.3 高騰している生産コストの食肉への価格転嫁に対する消費者意識の考察....42

- 1) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安 (Q47) :
エリア・性・年代別分析..... 43
- 2) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」の影響度 (Q48) : エリア・性・年代別分析..... 44
- 3) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項 (Q49) :
エリア・性・年代別分析..... 45
- 4) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識 (Q50) :
エリア・性・年代別分析..... 54
- 5) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉に対する追加支払意思 (Q51) :
エリア・性・年代別分析..... 58
- 6) 生産者サイドからの適正な価格形成の求めに応じ回答者が普段購入している国産牛肉について
値上げを許容する規定要因と値上げ許容額に影響する要因の計量分析 (Q51、Q16、Q47~50) 61

2.4 「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識の考察.....70

- 1)画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義 (Q33) : エリア・性・年代別分析..... 71
- 2)画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」 (Q33)
: エリア・性・年代別分析 74
- 3)「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q34) : エリア・性・年代別分析 80
- 4)「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q35) : エリア・性・年代別分析..... 81
- 5)「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度 (Q36) : エリア・性・年代別分析..... 82
- 6)「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴 (Q37) : エリア・性・年代別分析..... 83
- 7)「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー (Q38) : エリア・性・年代別分析..... 87
- 8)国産牛肉の「赤身肉」、「霜降り肉」、それぞれに関して期待する特徴 および
食べたい調理メニューの選択割合の比較分析 (Q37・38) 90
- 9)5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向 (Q39) : エリア・性・年代別分析 94
- 10)5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q40) :
エリア・性・年代別分析 95
- 11)主に購入する「赤身肉」の原産地 (Q44) : エリア・性・年代別分析 96

2.5 「国産牛肉の格付」に関する消費者意識の考察.....97

- 1)「国産牛肉の格付」の認知度 (Q41) : エリア・性・年代別分析 98
- 2)「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ (Q42) : エリア・性・年代別分析..... 99
- 3)「国産牛肉の格付」の関心度 (Q43) : エリア・性・年代別分析 102

3. 食肉の購買実態に関する調査	103
1)食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)	103
2)食肉に対する種類別イメージ (Q5)	108
3)食肉の種類別購入頻度 (Q6)	113
4)食肉の種類別の主な購入先 (Q7)	115
5)食肉購入時に重視する点 (Q8)	120
6)昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化 (Q9)	125
7)昨年同期と比べた最近1か月間の食品の購入回数の変化 (Q10)	130
8)各種牛肉の購入意向 (Q11)	134
9)各種牛肉の購入頻度 (Q12)	135
10)各種牛肉のイメージ (Q13)	139
11)国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)	146
12)和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)	148
13) 国産和牛／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14・Q15) :	
順序プロビット回帰分析	150
14)国産牛肉 (和牛を含む) の普段の購入価格帯 (100gあたりの税込み価格) (Q16)	155
15)産地別牛肉の購入意向 (Q17)	156
16)産地別豚肉の購入意向 (Q18)	158
17)産地別鶏肉の購入意向 (Q19)	160
4. 食肉の安全性に関する意識調査	161
4.1 食品の安全性に関する意識	161
1)食品の安全性の不安感 (Q20)	161
2)食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q21)	168
4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識	176
1)社会全体における食肉の安全性の認識 (Q28)	176
2)食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源	
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q29・Q30)	178
3)各機関の取組に対する信頼性 (Q31)	182
4)食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q32)	185
5. 集計表	190

調査の目的と分析の基本方針

1. 調査の目的と分析の基本方針

1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

1.3 調査対象期間

令和5年10月下旬に実施

1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

1.5 調査手順

調査の参加意向者募集
実調査の実施

1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉／豚肉／鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、エリア・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2エリア、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

1.7.1 エリア・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象のエリア・世代分布

1.7.2 エリア区分

エリア名	都道府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 エリア区分（回答者所在都道府県）

1.8 回答者属性

1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	349	393	268	261	139	55	335

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	361	621	440	264	82	32

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）

1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	43	476	183	185	852	61

図表 6 回答者属性（学歴）

1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	161	138	367	234	40	113	417	238	60	32

図表 7 回答者属性（所在都府県）

1.8.6 家族構成員の状況（複数回答）

合計	うち				
	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	65歳以上の方(ご自身を含める)
1,800	15	155	152	136	695

図表 8 回答者属性（家族構成員）

1.9 過年度の調査対象と継続設問

1.9.1 調査対象

平成 24 年度～平成 30 年度、令和元年度～令和 4 年度調査の調査対象は以下の通りである。今年度調査では、平成 26 年度～平成 30 年度、令和元年度～令和 4 年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	エリア・世代分布
令和 4 年度 令和 3 年度 令和 2 年度 令和元年度 平成 30 年度 平成 29 年度 平成 28 年度 平成 27 年度 平成 26 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、 60 代、70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 25 年度	1,240 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名
平成 24 年度	1,238 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名前後

図表 9 過年度調査の対象

※平成 26 年度より年代については 60 代、70 代以上の区分を設けているため、年代の構成比が異なる。経年比較での調査結果を閲覧する際はこの点に留意する必要がある。

1.9.2 過年度からの継続設問・新規設問

平成 24 年度～平成 30 年度、令和元年度～令和 4 年度調査からの継続設問は以下に示す通りである。*印は令和 5 年度からの新規設問である。

令和 5 年度設問		令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和 元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
Q4	食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q3	Q1	Q1	Q1
Q5	食肉に対する種類別イメージ	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q4	Q2	Q2	Q2
Q6	食肉の種類別購入頻度	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q5	Q3	Q3	Q3
Q7	食肉の種類別の主な購入先	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q6	Q4	Q4	Q4
Q8	食肉購入時に重視する項目	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q7	Q5	Q5	Q5
Q9	昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化	Q9	Q9	Q11	Q9	Q9	Q9	Q9	Q8	Q6	Q6	Q6
Q10	昨年同期と比べた最近 1 か月間の食品購入回数の変化	Q10	Q10	Q12	Q10	—	—	—	—	—	—	—
Q11	各種牛肉の購入意向	Q11	Q11	Q13	Q11	Q10	Q10	Q10	Q10	—	—	—
Q12	各種牛肉の購入頻度	Q12	Q12	Q14	Q12	—	—	—	—	—	—	—
Q13	各種牛肉のイメージ	Q13	Q13	Q15	Q16	Q11	Q11	Q11	Q11	—	—	—
Q14	国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度	Q14	Q14	Q16	Q20	Q14	Q14	Q14	Q16	—	—	—
Q15	和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q15	Q15	Q17	Q21	Q15	Q15	Q15	Q17	—	—	—
Q16	国産牛肉の普段の購入価格	Q16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Q17	産地別牛肉の購入意向	Q17	Q16	Q18	Q22	Q16	Q16	Q16	Q18	Q7	Q7	Q7
Q18	産地別豚肉の購入意向	Q18	Q17	Q19	Q23	Q17	Q17	Q17	Q19	Q8	Q8	Q8
Q19	産地別鶏肉の購入意向	Q19	Q18	Q20	Q24	Q18	Q18	Q18	Q20	Q9	Q9	Q9
Q20	食品の安全性の不安感	Q20	Q19	Q21	Q25	Q22	Q19	Q19	Q21	Q10	Q10	Q10
Q21	食肉の安全性に関する項目別関心度	Q21	Q20	Q23	Q27	Q26	Q23	Q23	Q25	Q14	Q14	Q14
Q22	食肉の安全性の問題への不安度	Q22	Q21	Q24	—	—	—	—	—	—	—	—
Q23	感染家畜の全頭(羽)殺処分の認知度	Q23	Q22	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Q24	口蹄疫について知っている知識	Q24	Q23	Q28	—	—	—	—	—	—	—	—
Q25	豚熱について知っている知識	Q25	Q24	Q26	Q29	Q28	—	—	—	—	—	—
Q26	アフリカ豚熱について知っている知識	Q26	Q25	Q27	Q30	—	—	—	—	—	—	—
Q27	鳥インフルエンザについて知っている知識	Q27	Q26	Q25	Q28	Q27	Q24	Q24	Q26	Q15	Q15	—
Q28	社会全体における食肉の安全性の認識	Q28	Q27	Q29	Q32	Q33	Q34	Q43	Q42	Q40	Q22	Q21
Q29	食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q29	Q28	Q31	Q34	Q35	Q36	Q45	Q44	Q42	—	—

令和5年度設問		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q30	食肉の情報について信頼できる情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q30	Q29	Q32	Q35	Q36	Q37	Q46	Q45	Q43	Q23	Q22
Q31	各機関の取組に対する信頼性	Q31	Q30	Q33	Q36	Q37	Q38	Q47	Q46	Q44	Q27	Q23
Q32	食肉の情報提供に対する行政への期待	Q32	Q31	Q34	Q37	Q38	Q39	Q48	Q47	Q45	Q28	Q24
Q33 *	画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」、「好きな・好んで食べたい国産牛肉」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q34 *	「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q35 *	「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q36 *	「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q37 *	「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q38 *	「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q39 *	5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q40 *	5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q41 *	「国産牛肉の格付」の認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q42 *	「国産牛肉の格付」別のイメージ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q43 *	「国産牛肉の格付」の関心度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q44 *	主に購入する「赤身肉」の原産地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q45	「新型コロナウイルス感染症」についての不安	Q41	Q50	Q50	-	-	-	-	-	-	-	-
Q46	「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に関わる食生活・購買行動の変化	Q42	Q51	Q51	-	-	-	-	-	-	-	-
Q47	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安	Q43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q48	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度	Q44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q49	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」により影響があった事項	Q45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q50 *	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q51 *	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の追加支払意思	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 10 過年度からの継続設問・本年度からの新規設問

2. 考察

2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察

- ・ 調査対象とした家畜伝染病による全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）について、「ある程度知っている」が 26.6%で最も多く、「詳しく知っている」と「何となく知っている」も合わせた認知率は 58.8%。一方、「あまりよく知らない」が 20.8%、「知らない」と「全く知らない」も合わせた非認知率は 41.3%。
- ・ 家畜伝染病の関心（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「鳥インフルエンザ」が 52.5%で最も高く、次いで「口蹄疫」が 44.3%、「豚熱」が 42.3%、「アフリカ豚熱」が 41.9%の順。いずれの家畜伝染病についても、食肉の安全性に不安を感じる層ほど関心が高い。
- ・ 食肉の安全性の問題についての不安は、「鳥インフルエンザ」が 22.0%で最も強く、次いで「牛の BSE（牛海綿状脳症）」が 19.9%、「食肉中の残留抗生物質」が 18.4%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 16.3%の順。「牛・豚の口蹄疫」は 7.8%、「豚熱」は 3.6%、「アフリカ豚熱」は 2.9%と不安は高くない。過年度調査で見ると、「鳥インフルエンザ」への不安が昨年度の 16.9%から 5.1 ポイント増加。
- ・ 口蹄疫への認知・理解は、「知っているものはない」が 52.3%で最も多く、次いで「口蹄疫は牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」が 23.7%、「口蹄疫は防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」が 20.2%、「日本では口蹄疫の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの牛、豚、羊などの偶蹄類の動物及びその製品の持込みが規制されている」が 16.3%の順。
- ・ 豚熱への認知・理解は、「知っているものはない」が 58.3%で最も多く、次いで「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が 19.4%、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が 17.8%、「日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が 11.7%の順。
- ・ アフリカ豚熱への認知・理解は、「知っているものはない」が 68.7%で最も多く、次いで「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」が 13.0%、「アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が 12.1%、「日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が 10.3%の順。
- ・ 鳥インフルエンザへの認知・理解は、「知っているものはない」が 41.6%で最も多く、次いで「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700 万羽もの鶏が殺処分された」が 33.6%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」が 22.5%、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」が 20.2%の順。

2.1 では、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に関する知識と食肉の喫食による感染への不安状況の把握と要因の分析を目的とした。

1) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）による
全頭（羽）殺処分 の認知度（Q23）
： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

家畜伝染病について、説明文を提示して、全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）について聞いた認知度（Q23）は、「詳しく知っている」が4.0%、「ある程度知っている」が26.6%、「何となく知っている」が28.2%で、認知率は全体の58.8%である。

一方、非認知は、「あまりよく知らない」が20.8%、「知らない」が8.1%、「全く知らない」が12.4%で、非認知率は全体の41.3%である。

エリア別に認知率を見ると、首都圏が59.1%、京阪神圏が58.4%と大きな違いは見られない。

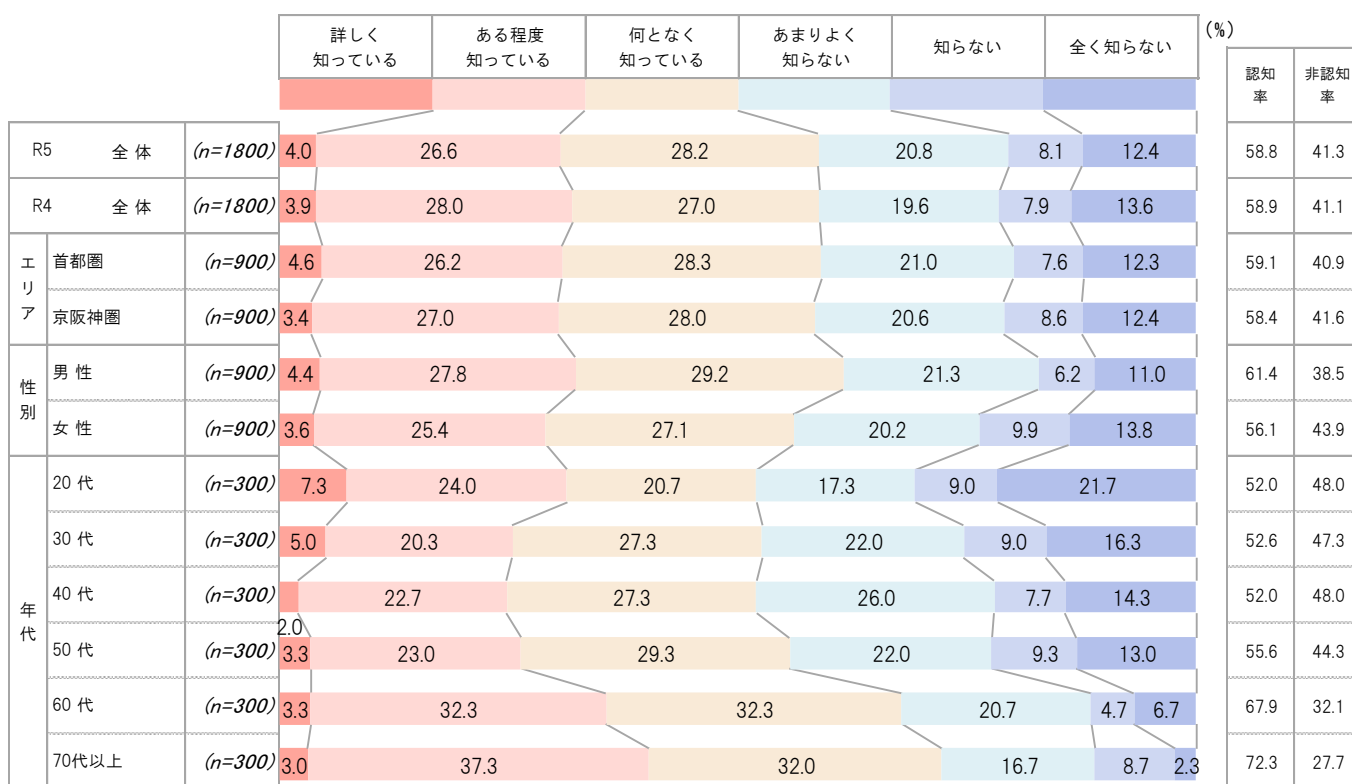
男女別に見ると、「ある程度知っている」が男性の方が高く、認知率を見ると男性が61.4%、女性が56.1%と、女性より男性の方が認知度が高い。

年代別に認知率を見ると20代～50代では5割台の認知度だが、60代では67.9%、70代以上では72.3%と認知度が高くなっている。

過年度調査で見ると、全頭（羽）殺処分の認知度について大きな違いは見られない。

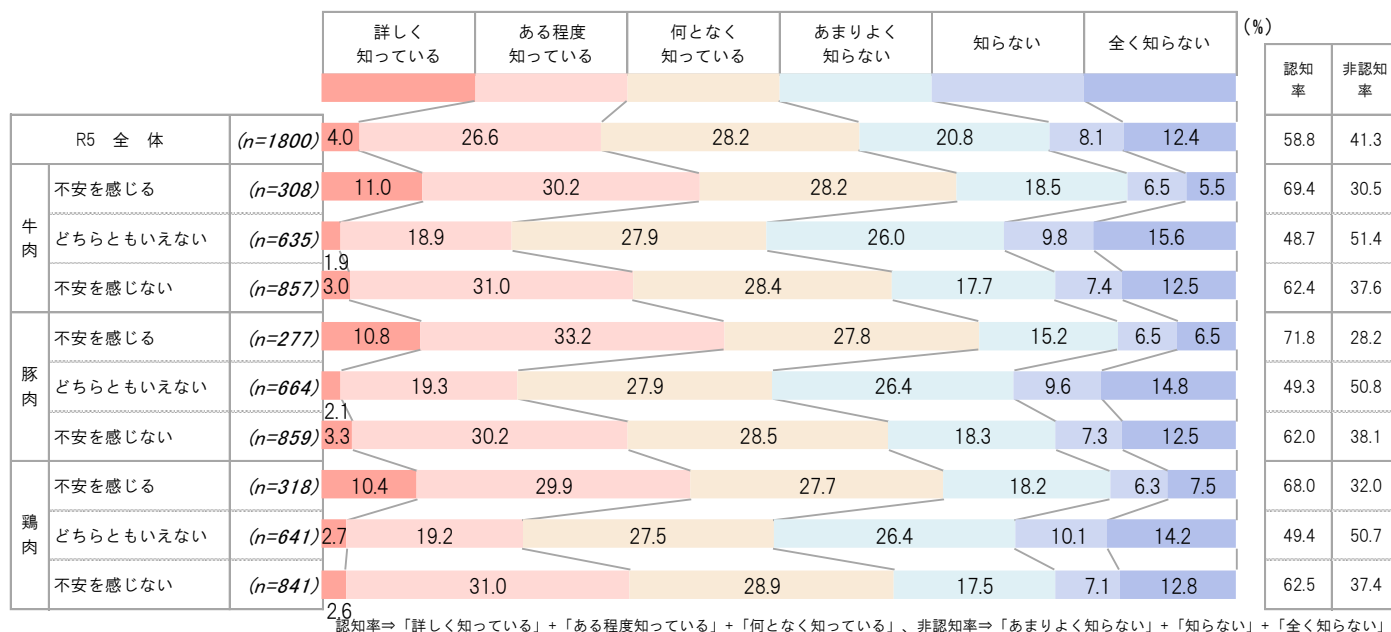
悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

図表 11 提示説明文



図表 12 エリア・性・年代別 家畜伝染病による全頭（羽）殺処分の認知度

食肉に感じる不安度(Q20)別に、全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）の認知度（Q23）を見ると、牛肉・豚肉・鶏肉のいずれにおいても、不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で5割以下と認知度が低くなっている。



図表 13 牛肉・豚肉・鶏肉への不安度別 家畜伝染病による全頭（羽）殺処分の認知度

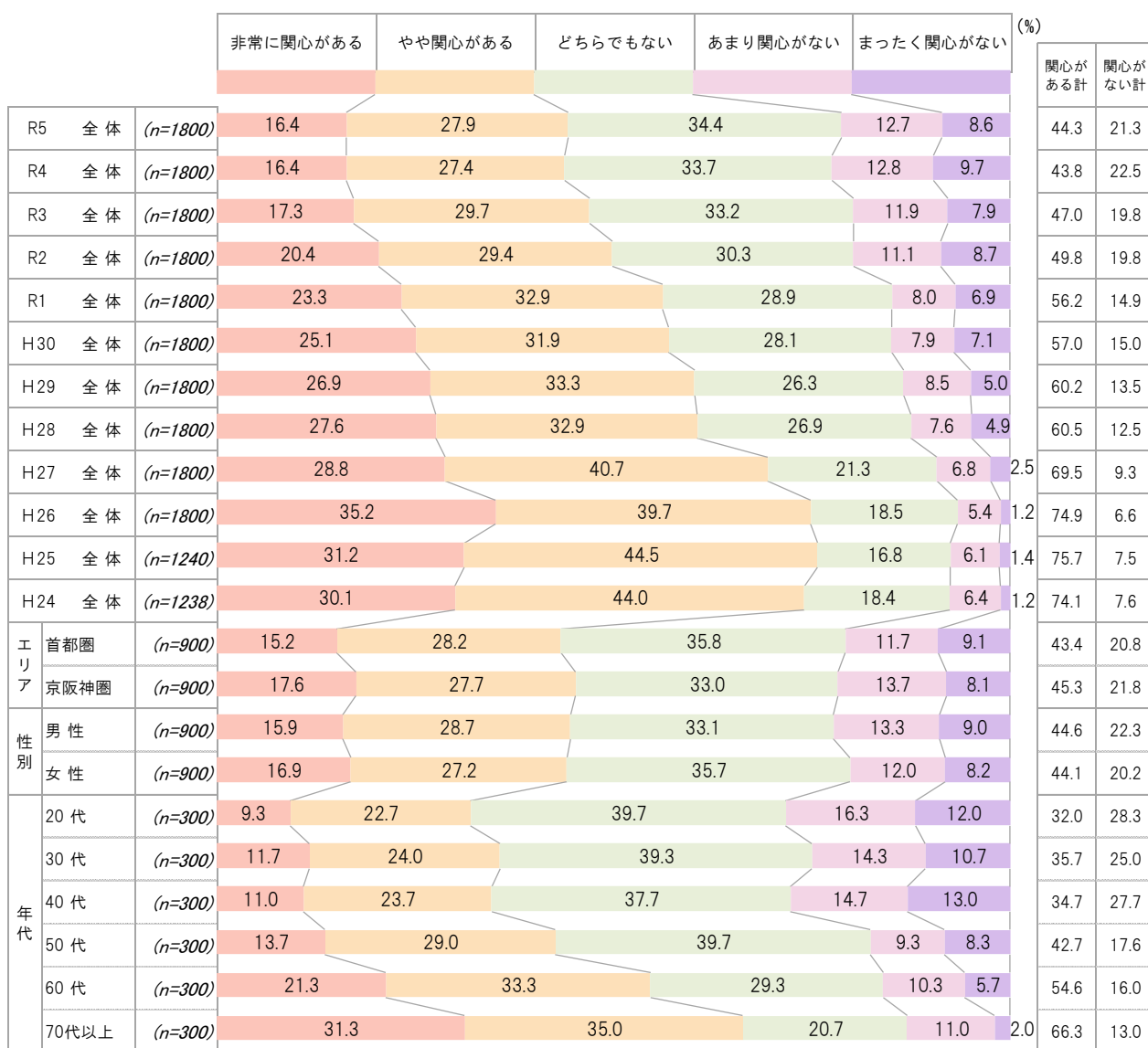
2) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）
 ：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

調査対象とした家畜伝染病の関心度（Q21）は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」52.5%、「口蹄疫」が44.3%、「豚熱」が42.3%、「アフリカ豚熱」が41.9%の順で高い。

過年度調査で見ると、「鳥インフルエンザ」は昨年度の49.4%から3.1ポイント増加し、「豚熱」も昨年度の39.8%、「アフリカ豚熱」も昨年度の39.3%から微増している。

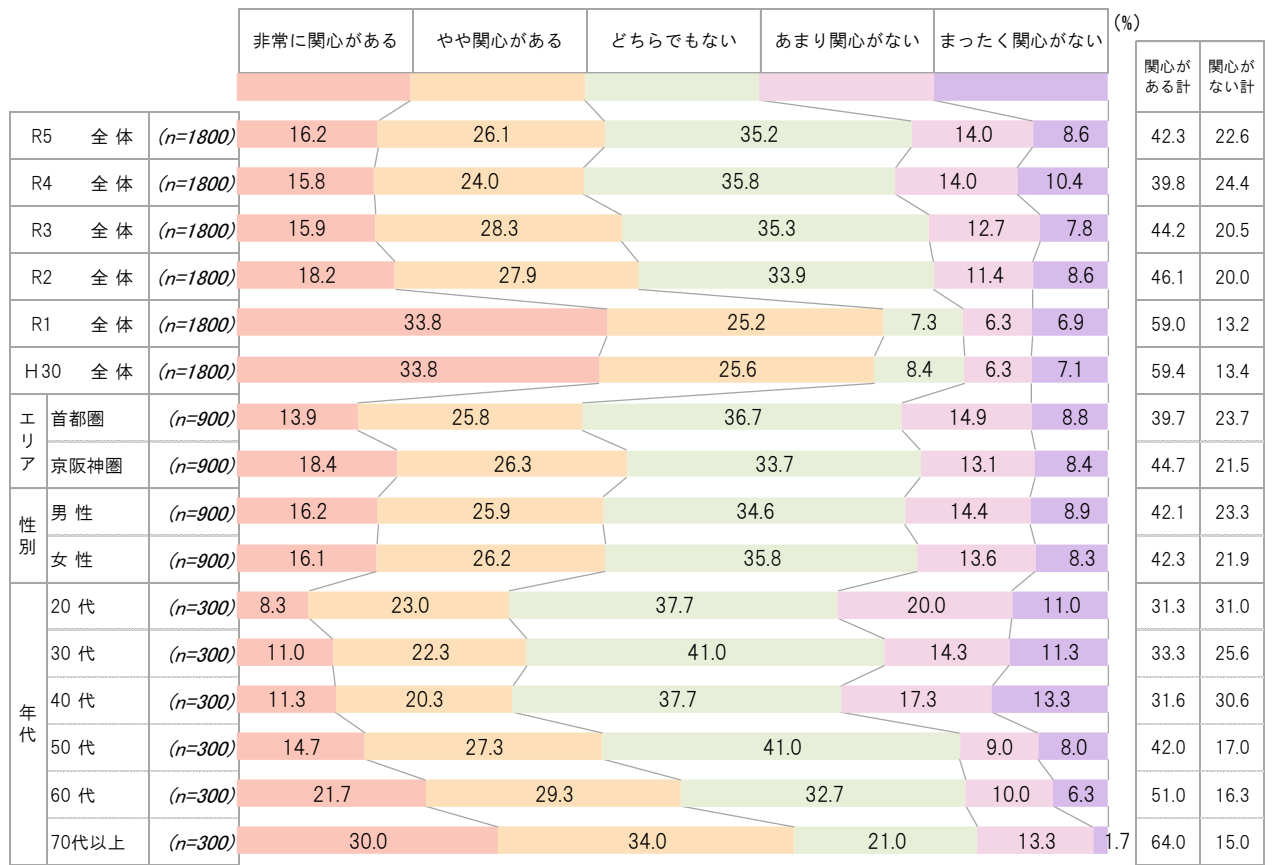
※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。



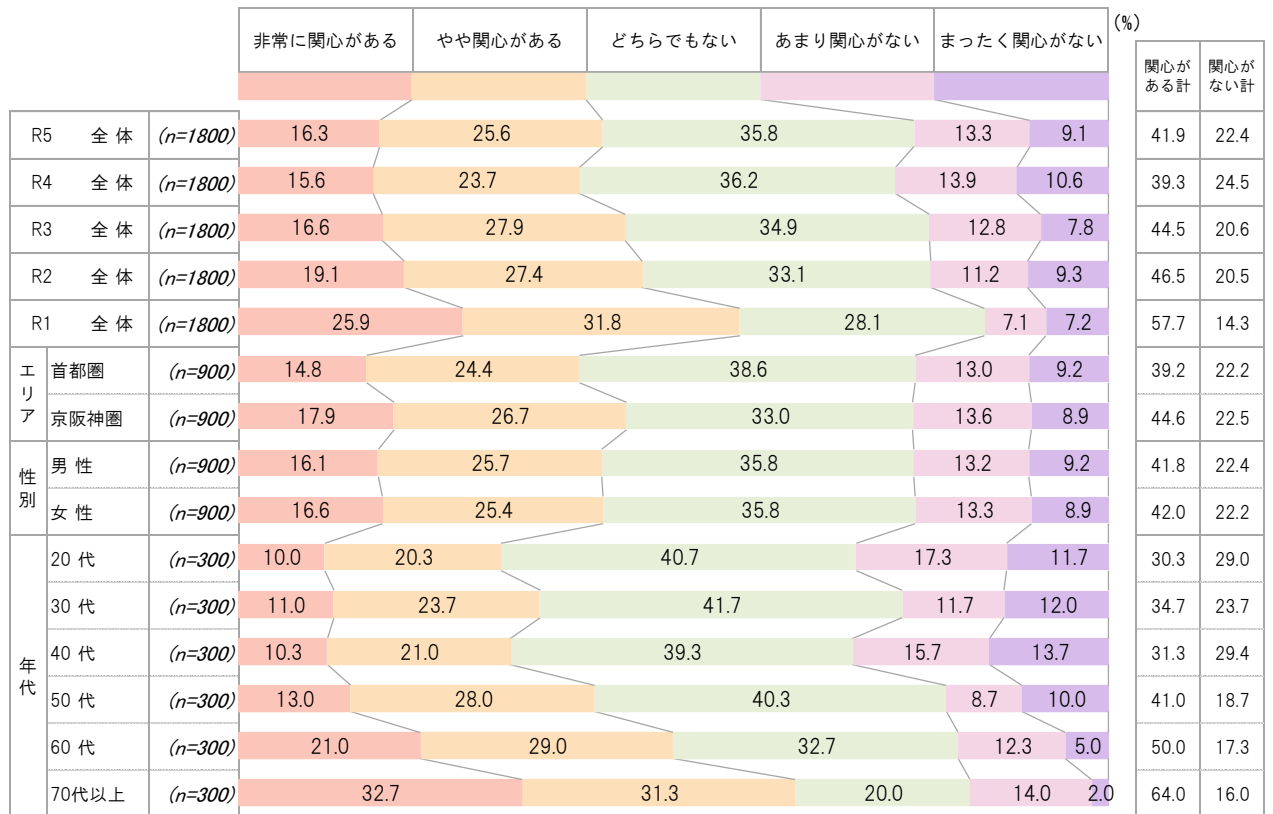
関心がある計⇒「非常に関心がある」＋「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」

図表 14 エリア・性・年代別 口蹄疫への関心度



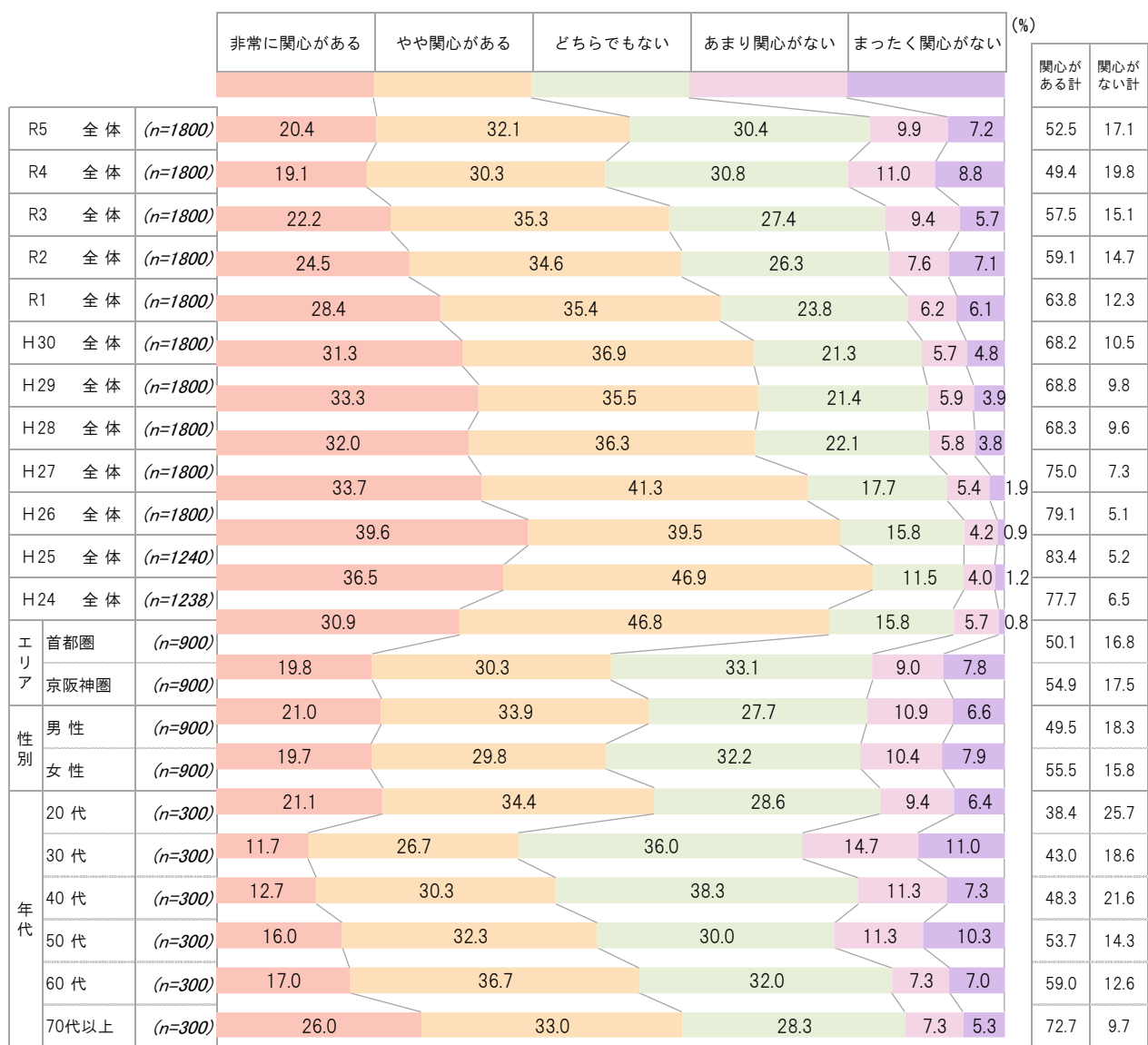
関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 15 エリア・性・年代別 豚熱への関心度



関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

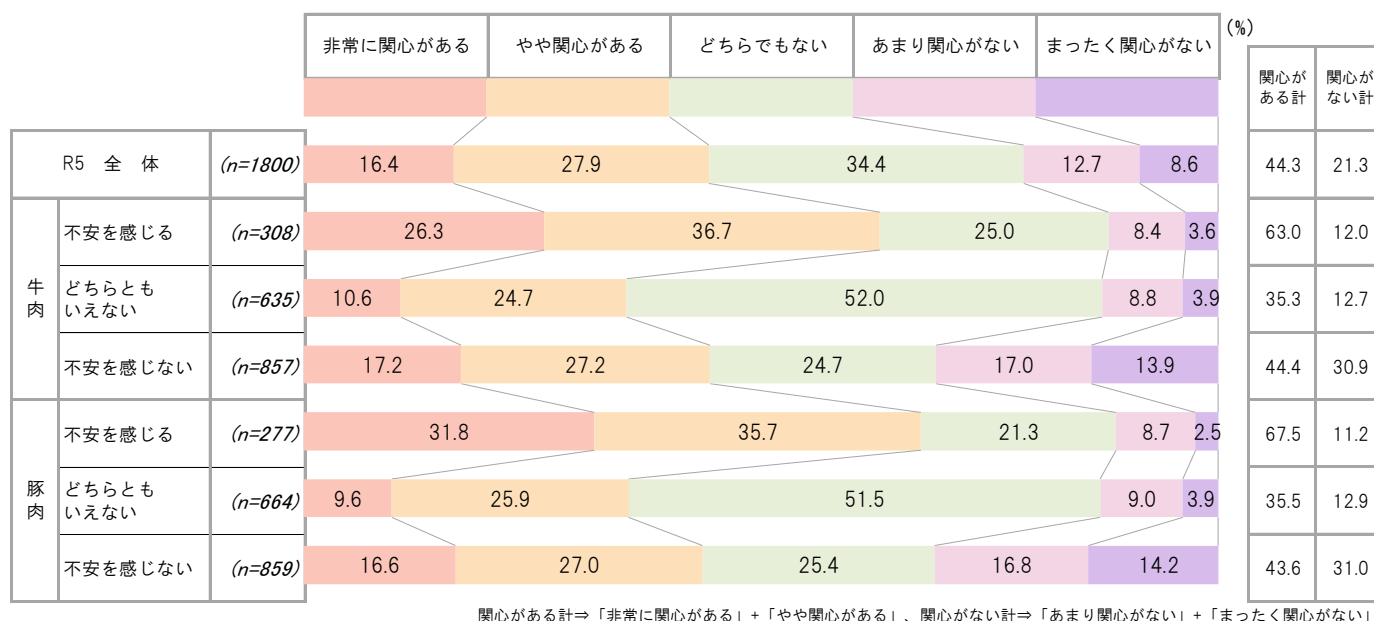
図表 16 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への関心度



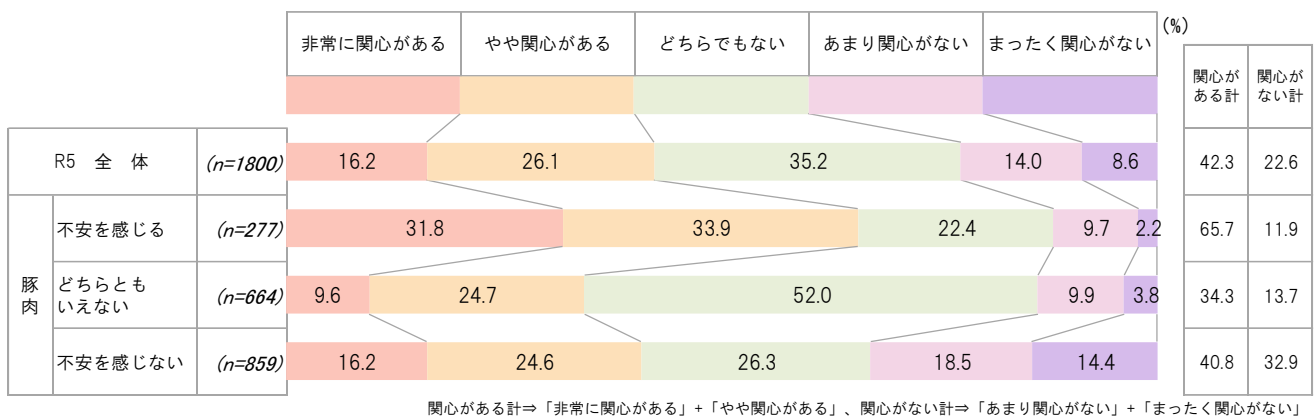
興味がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、興味がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 17 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの関心度

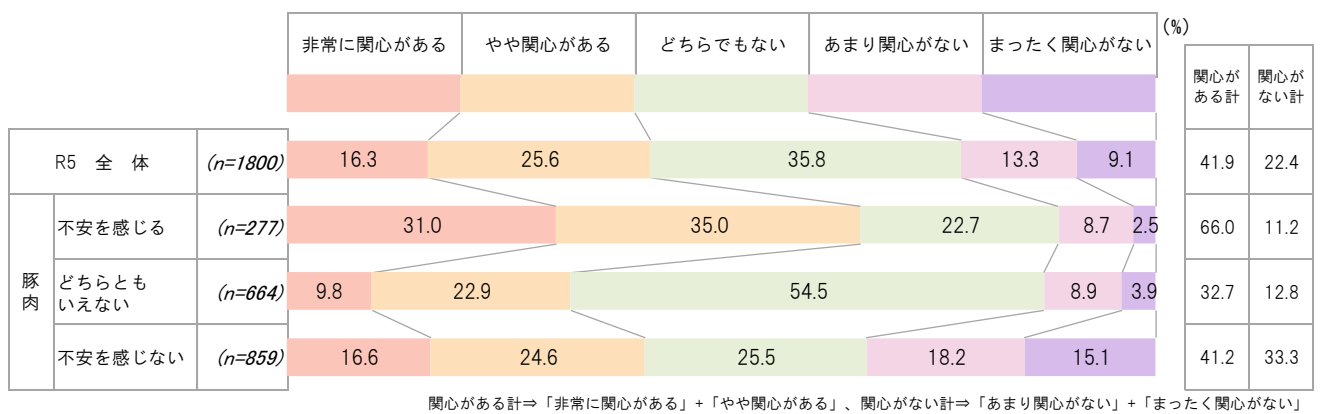
食肉に感じる不安度(Q20)別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）を見ると、いずれの家畜伝染病についても「不安を感じる層」ほど関心が高く、「どちらともいえない層」で関心が低い。



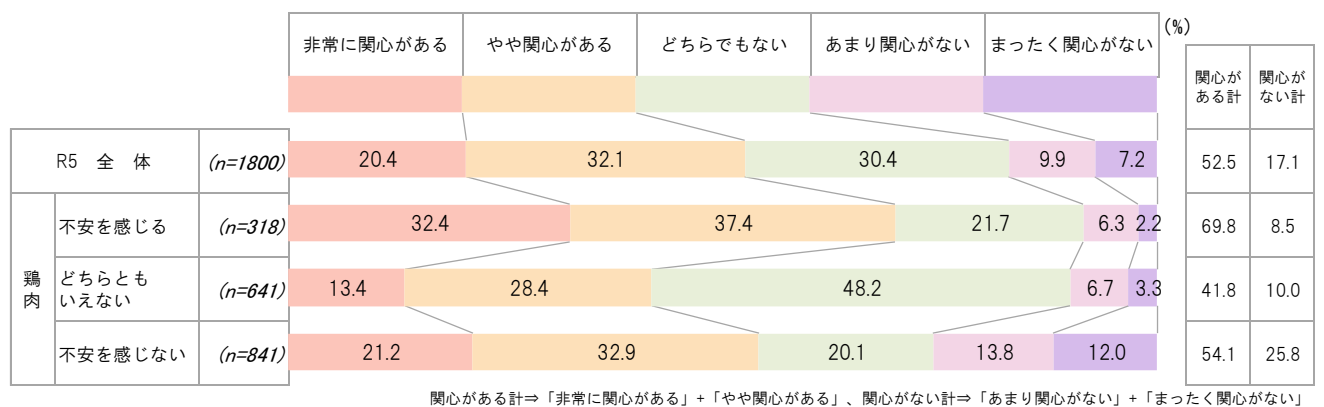
図表 18 牛肉・豚肉への不安度別 口蹄疫への関心度



図表 19 豚肉への不安度別 豚熱への関心度



図表 20 豚肉への不安度別 アフリカ豚熱への関心度



図表 21 鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの関心度

3) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q22）

： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

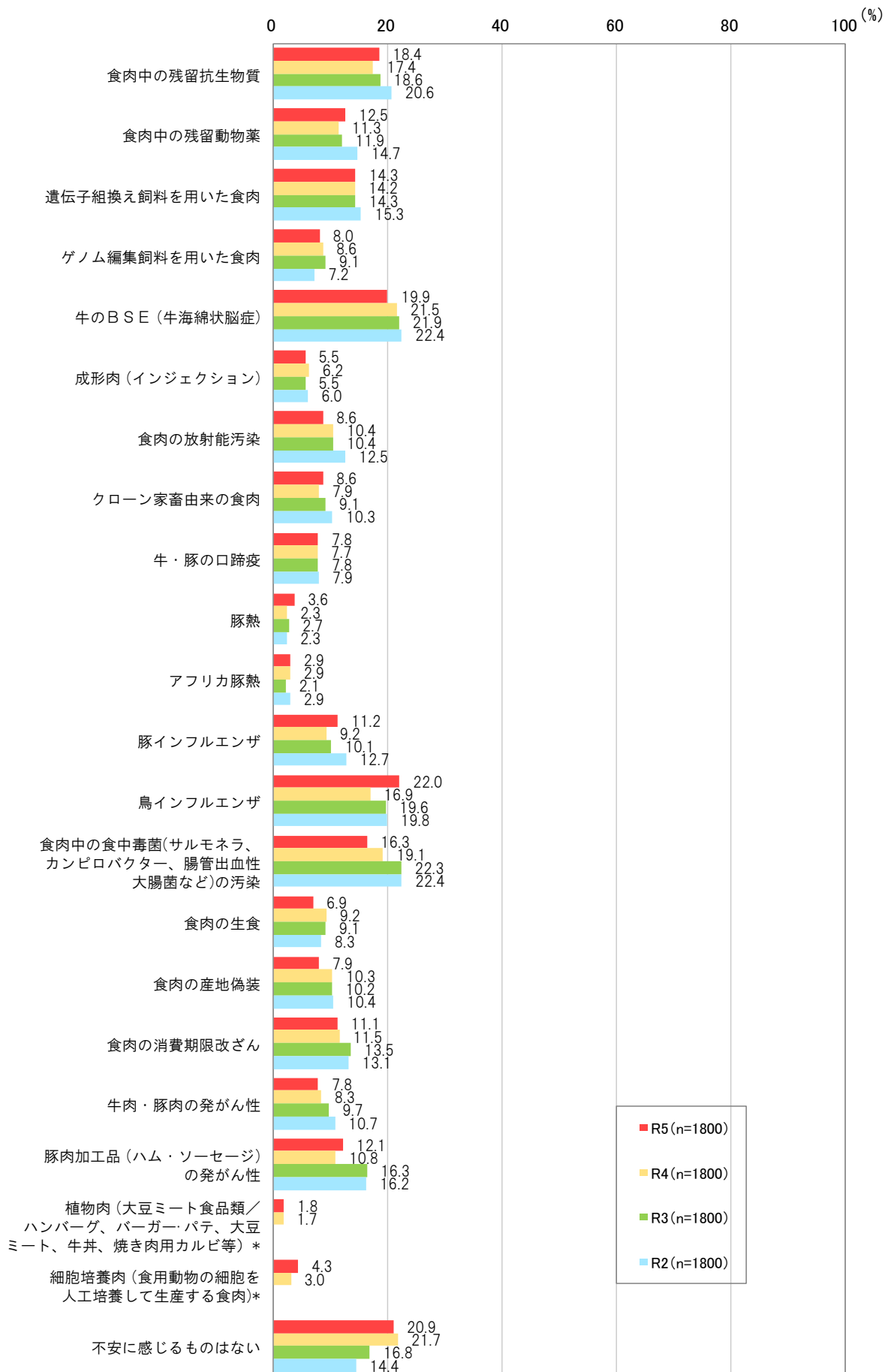
食肉の安全性の問題について不安を感じるものを3つまでの複数回答で聞いたところ（Q22）、「鳥インフルエンザ」が22.0%で最も強く、次いで「牛のBSE（牛海綿状脳症）」が19.9%、「食肉中の残留抗生物質」が18.4%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が16.3%の順で強い。

「牛・豚の口蹄疫」は7.8%、「豚熱」は3.6%、「アフリカ豚熱」は2.9%と不安度は高くない。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は1.8%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は4.3%といずれも不安度は高くないが、「植物肉」よりも「細胞培養肉」の方が不安度はやや高い。

「不安に感じるものはない」は20.9%と多い。

過年度調査で見ると、「鳥インフルエンザ」が昨年度の16.9%から5.1ポイント増加している。それ以外の項目は、横ばいか減少傾向である。



*「植物肉 (大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)」
「細胞培養肉 (食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年度より新規項目

図表 22 食肉の安全性について不安を感じる事柄

家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、女性より男性の方がやや高い。「豚熱」、「アフリカ豚熱」は、男女で大きな違いは見られない。「鳥インフルエンザ」は、男性が 19.1%、女性が 24.9%と女性の方が高い。

年代別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、年代が高くなるとともに不安度が高くなり、60代が 10.3%、70代以上が 16.7%と高くなっている。「鳥インフルエンザ」は、20代は 13.7%と低いが、40代は 27.0%と最も高くなっている。

		(%)			
		牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	鳥インフルエンザ
R5	全体 (n=1800)	7.8	3.6	2.9	22.0
R4	全体 (n=1800)	7.7	2.3	2.9	16.9
R3	全体 (n=1800)	7.8	2.7	2.1	19.6
R2	全体 (n=1800)	7.9	2.3	2.9	19.8
エリア	首都圏 (n=900)	7.4	3.1	2.7	22.9
	京阪神圏 (n=900)	8.1	4.0	3.1	21.1
性別	男性 (n=900)	8.9	4.0	3.4	19.1
	女性 (n=900)	6.7	3.1	2.3	24.9
年代	20代 (n=300)	4.7	4.3	4.3	13.7
	30代 (n=300)	4.0	2.3	2.3	23.3
	40代 (n=300)	3.7	3.3	2.3	27.0
	50代 (n=300)	7.3	3.0	2.3	23.0
	60代 (n=300)	10.3	2.0	2.3	21.3
	70代以上 (n=300)	16.7	6.3	3.7	23.7

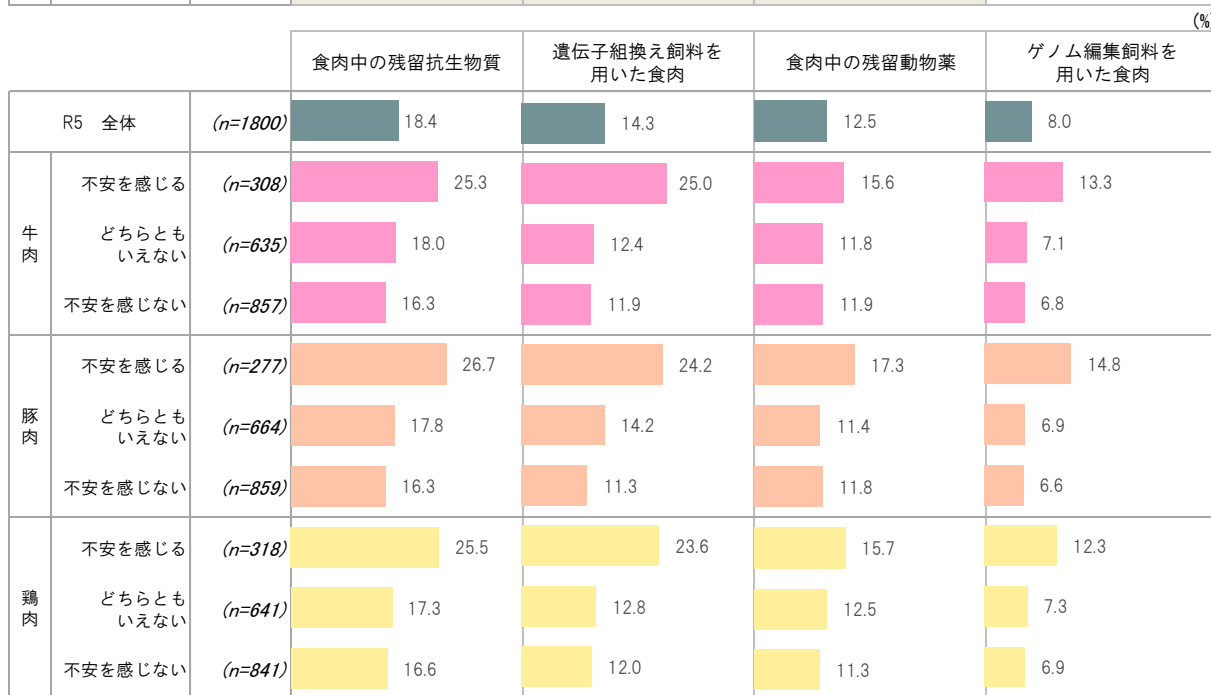
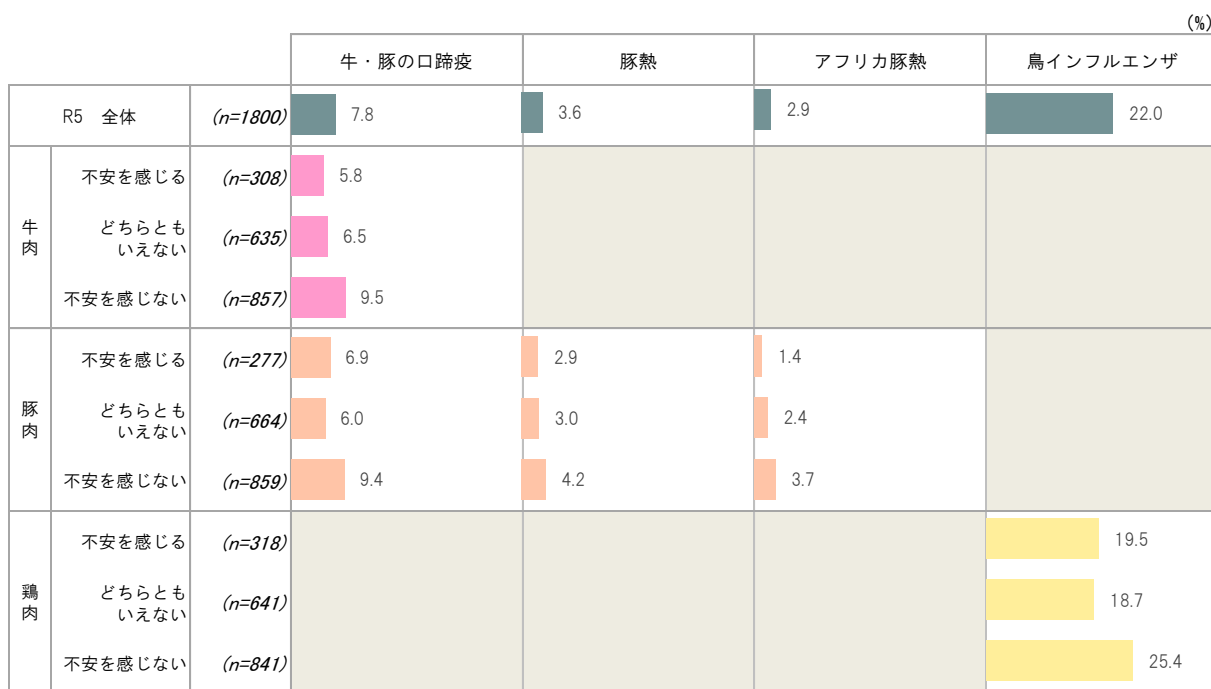
図表 23 エリア・性・年代別 家畜伝染病に「不安を感じる」回答者割合

食肉の不安度別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度を見た。

食肉の種類別について見ると、「鳥インフルエンザ」については、鶏肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ高くなっている。

「口蹄疫」についても、牛肉・豚肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ、不安度が高くなっている。

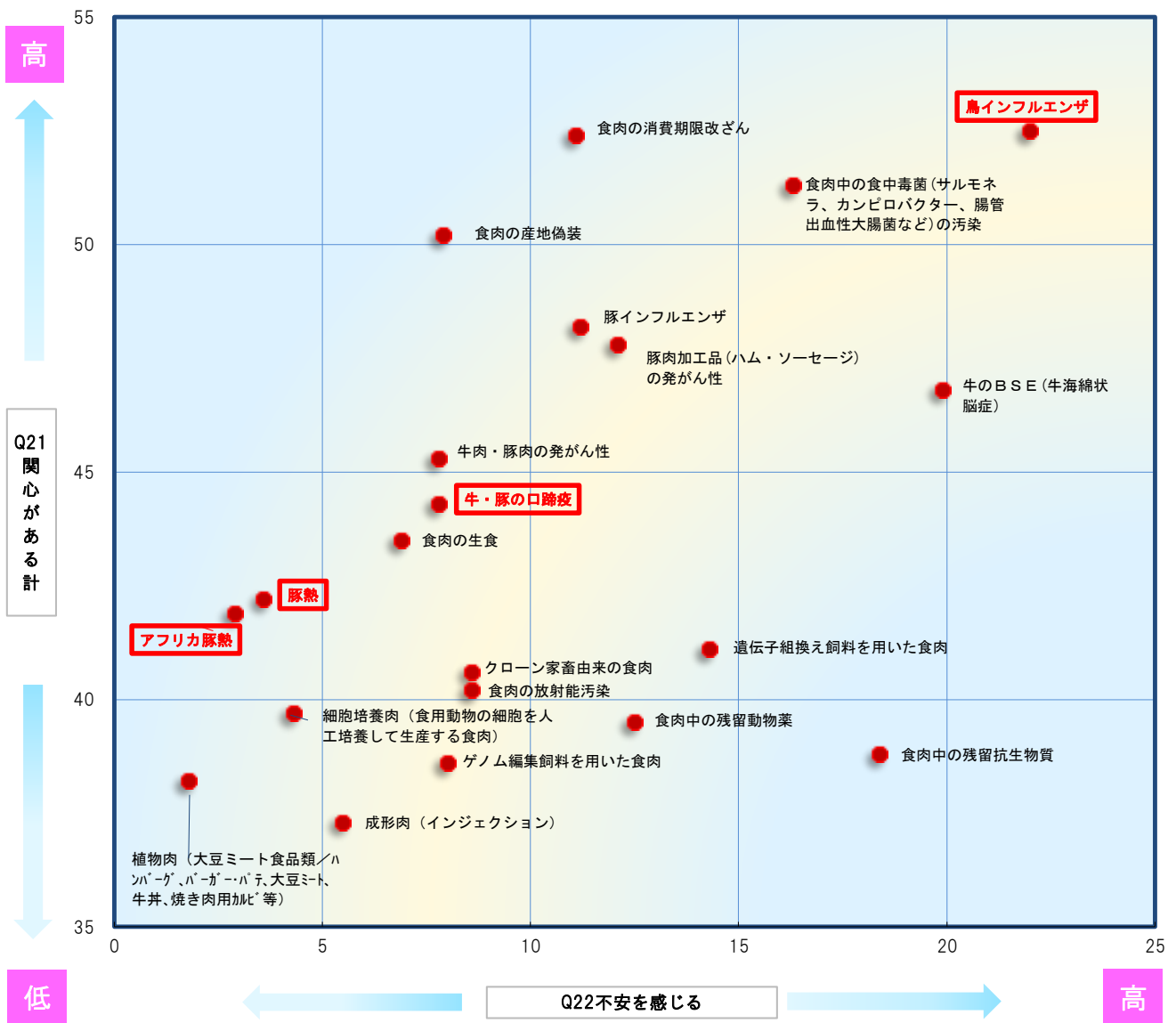
「豚熱」「アフリカ豚熱」についても、豚肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ、不安度がやや高い。該当の食肉への不安度と、家畜伝染病への不安度とは、直接的な関係性は見られなかった。



図表 24 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 家畜伝染病への不安度

食肉の安全性の問題についての関心度（非常に関心がある+やや関心があるの比率）を縦軸、不安度（3つまでの複数回答）を横軸に、プロット図にまとめ、食肉の安全性の問題における家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）のポジションを見た。

「鳥インフルエンザ」は、関心度・不安度ともに最も高い位置にある。
 次いで、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が関心度・不安度ともに高い位置にある。
 「牛・豚の口蹄疫」は、「食肉の生食」と近い関心度・不安度のレベルの位置にある。
 「豚熱」「アフリカ豚熱」は、関心度・不安度ともに、低い位置にある。
 「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」も、関心度・不安度ともに低い位置にある。



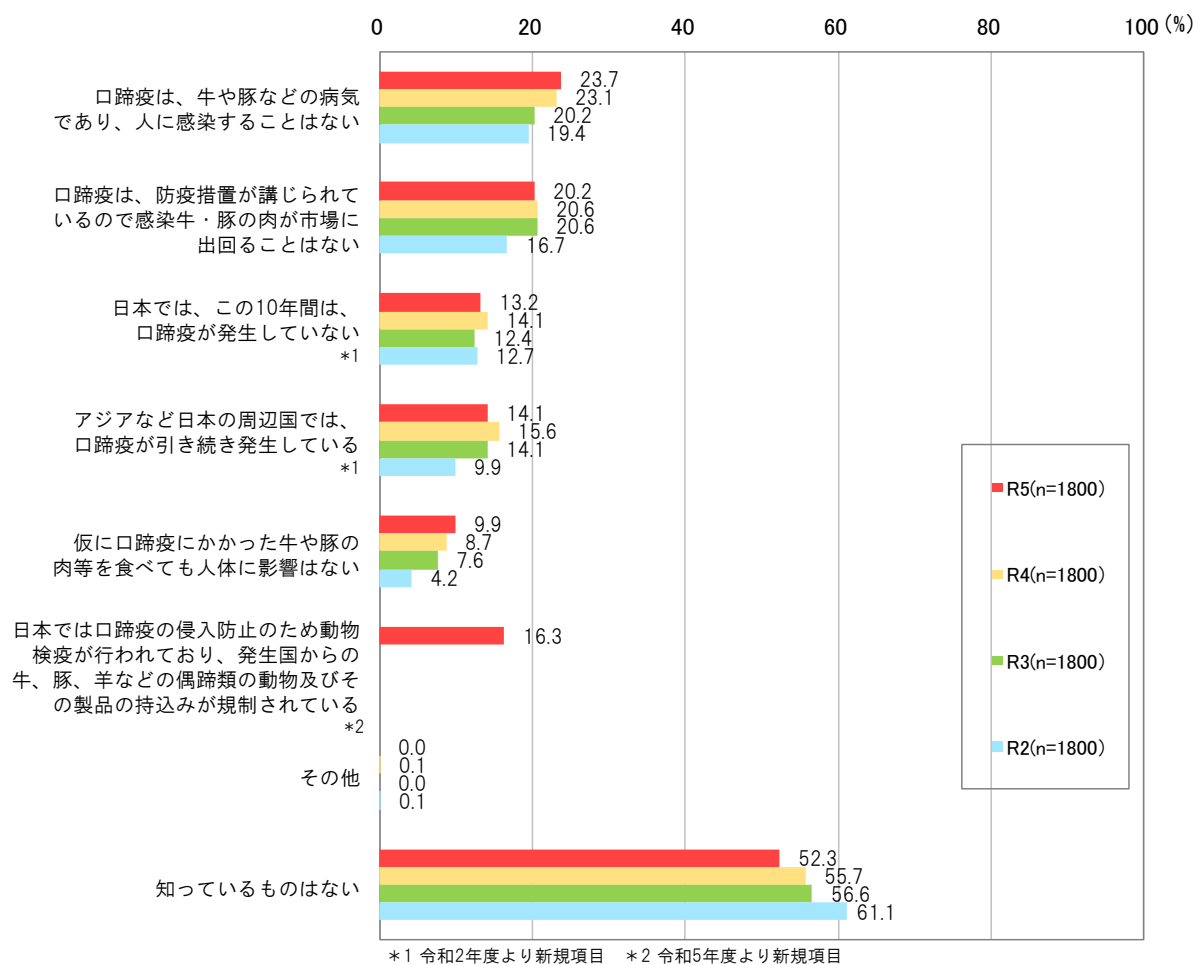
図表 25 食肉の安全性の問題における家畜伝染病の関心度 × 不安度

4) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解
 （Q24～Q27）
 ： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

口蹄疫への認知・理解

口蹄疫への認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q24）、「知っているものはない」が52.3%で最も多く、次いで「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」が23.7%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」が20.2%、「日本では口蹄疫の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの牛、豚、羊などの偶蹄類の動物及びその製品の持込みが規制されている」が16.3%、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」が14.1%、「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」が13.2%の順となっている。

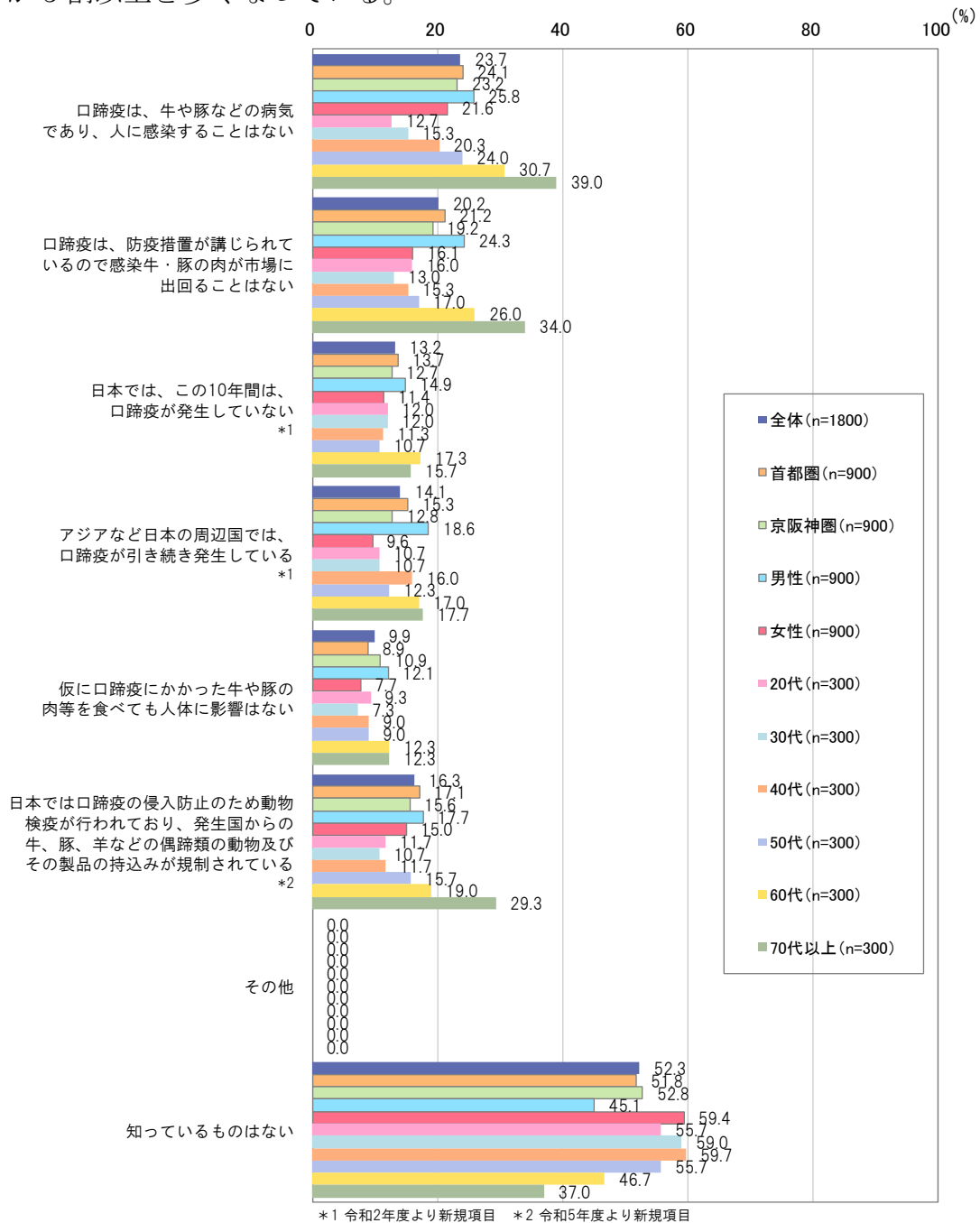
過年度調査で見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」、「仮に口蹄疫にかかった牛や豚の肉等を食べても人体に影響はない」が増加している。



図表 26 口蹄疫への認知・理解（経年変化）

口蹄疫への認知・理解 (Q24) をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。性別に見ると、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることにはない」は、男性が24.3%、女性が16.1%と、女性より男性の方が多い。「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」も、男性が18.6%、女性が9.6%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が59.4%と多い。

年代別に見ると、20代～50代では「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することにはない」、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることにはない」が少なくなっており、「知っているものはない」が5割以上と多くなっている。

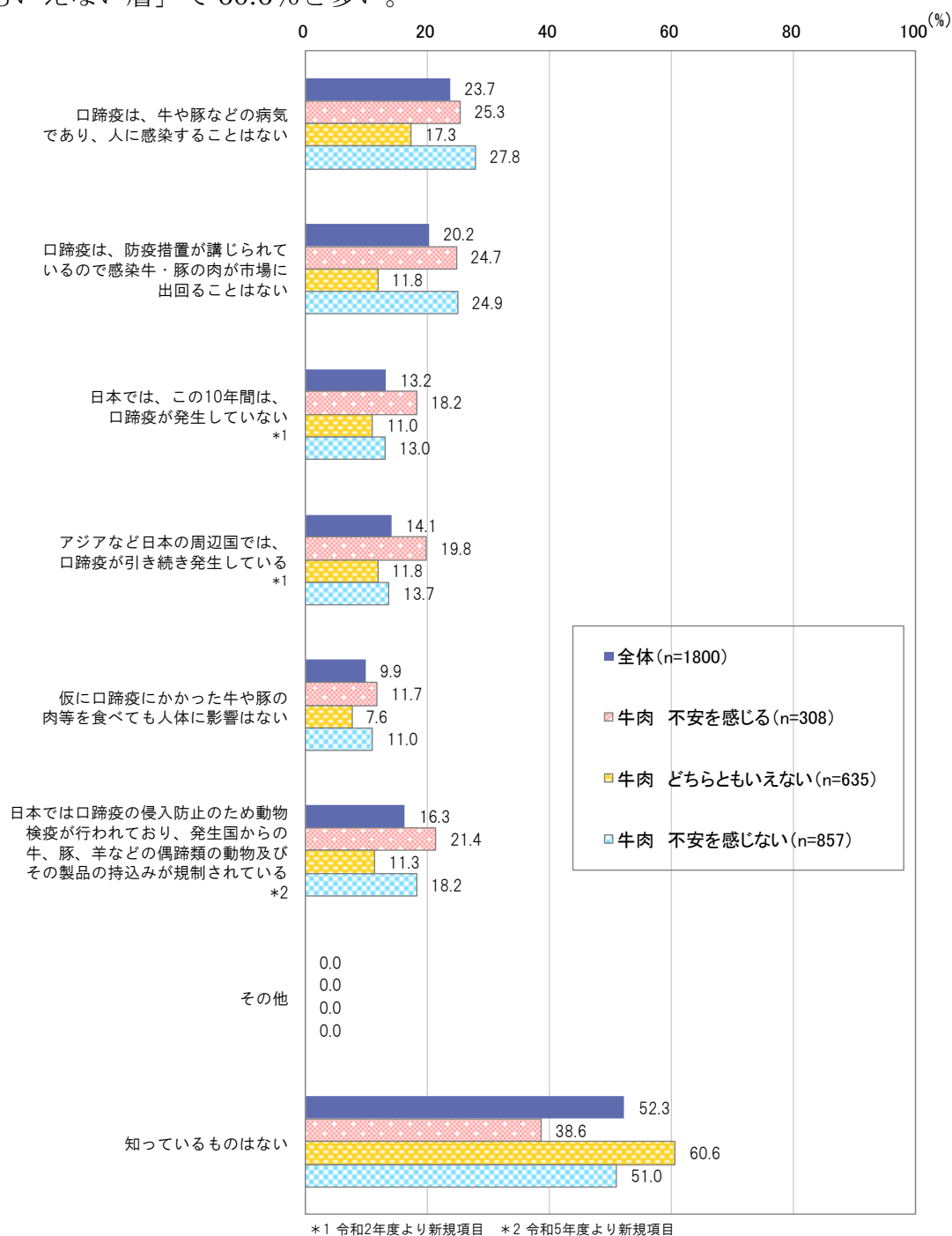


図表 27 エリア・性・年代別 口蹄疫への認知・理解

牛肉への不安度別に見ると、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」は、「不安を感じない層」13.7%より「不安を感じる層」19.8%の方が多。 「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」も、「不安を感じない層」13.0%より「不安を感じる層」18.2%の方が多。

「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で少なくなっている。

「知っているものはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で60.6%と多。



*1 令和2年度より新規項目 *2 令和5年度より新規項目

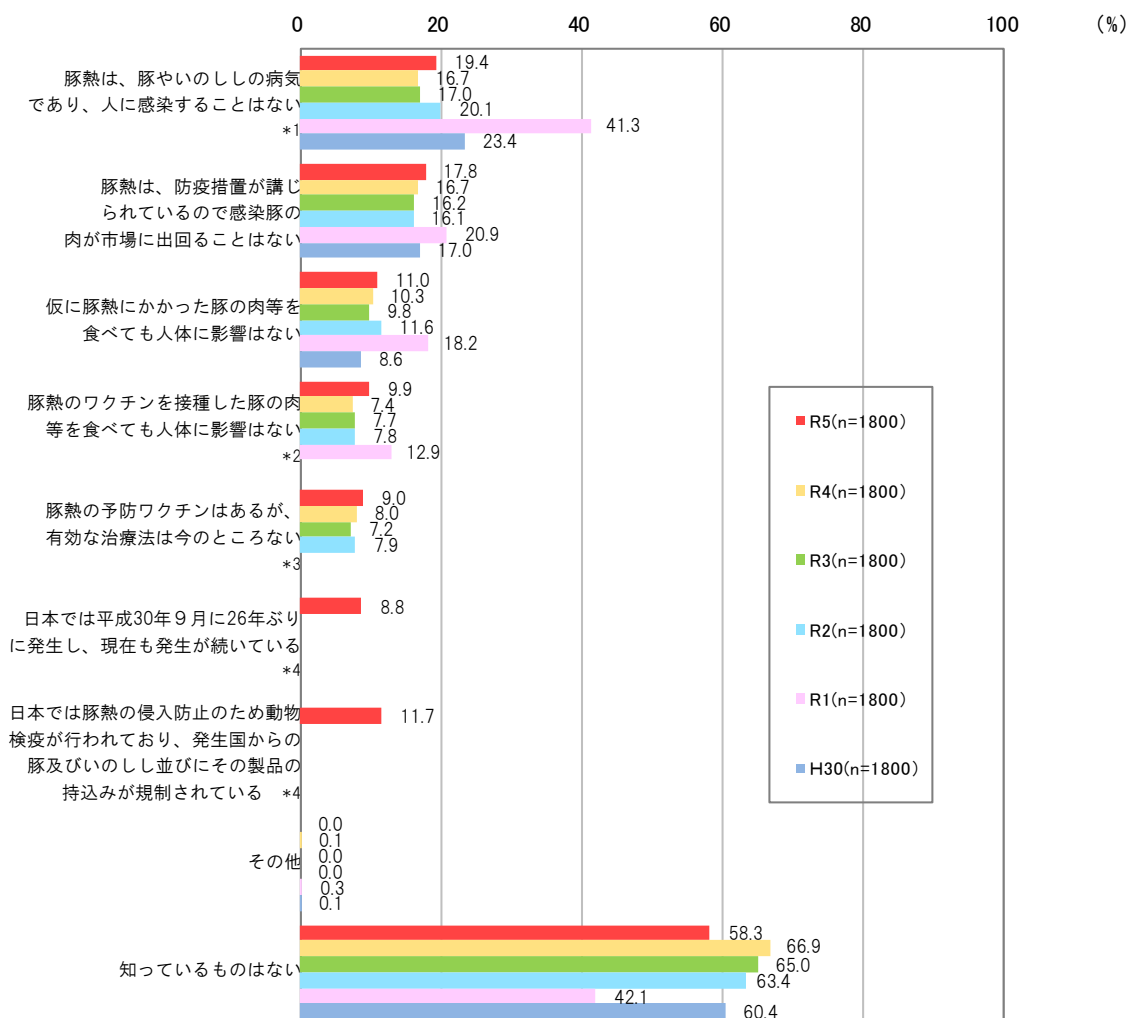
図表 28 食肉・牛肉への不安度別 口蹄疫への認知・理解

豚熱への認知・理解

豚熱への認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q25）、「知っているものはない」が58.3%で最も多く、次いで「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が19.4%、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が17.8%、「日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が11.7%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が11.0%の順となっている。

過年度調査で見ると、いずれの項目も昨年度より微増しており、項目が2つ追加されたこともあるが、「知っているものはない」が昨年度の66.9%から8.6ポイント減少している。

※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

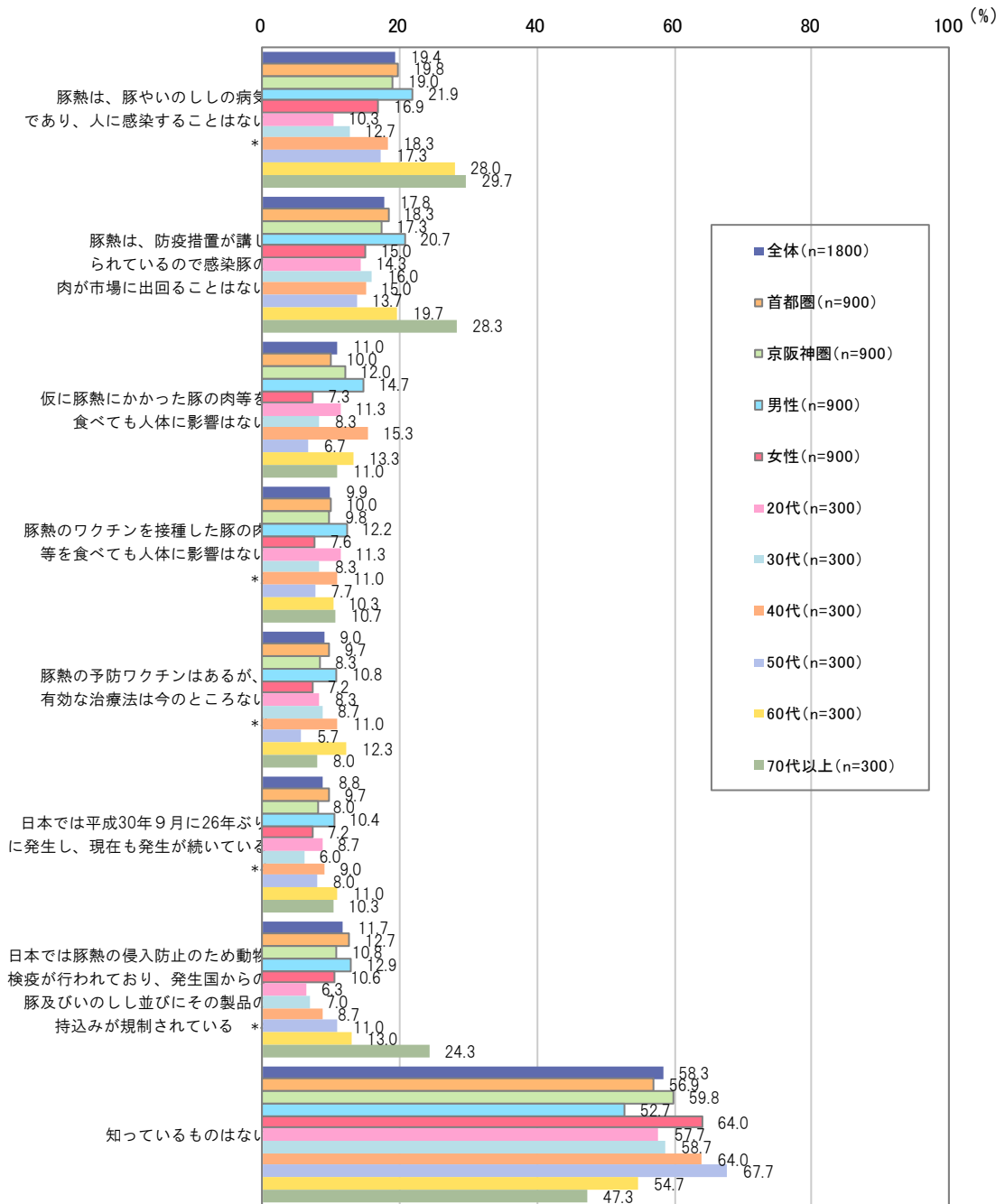


*1 令和4年度選択肢「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更
 *2 令和元年度より新規項目 *3 令和2年度より新規項目 *4 令和5年度より新規項目
 *それぞれ選択肢の「豚熱」は「CSF」より変更

図表 29 豚熱への認知・理解（経年変化）

豚熱への認知・理解（Q25）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が64.0%と多い。

年代別に見ると、70代以上では、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」、「日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が多く、他の年代に比べ認知・理解度が高い。一方、20代、30代では、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が少なくなっている。

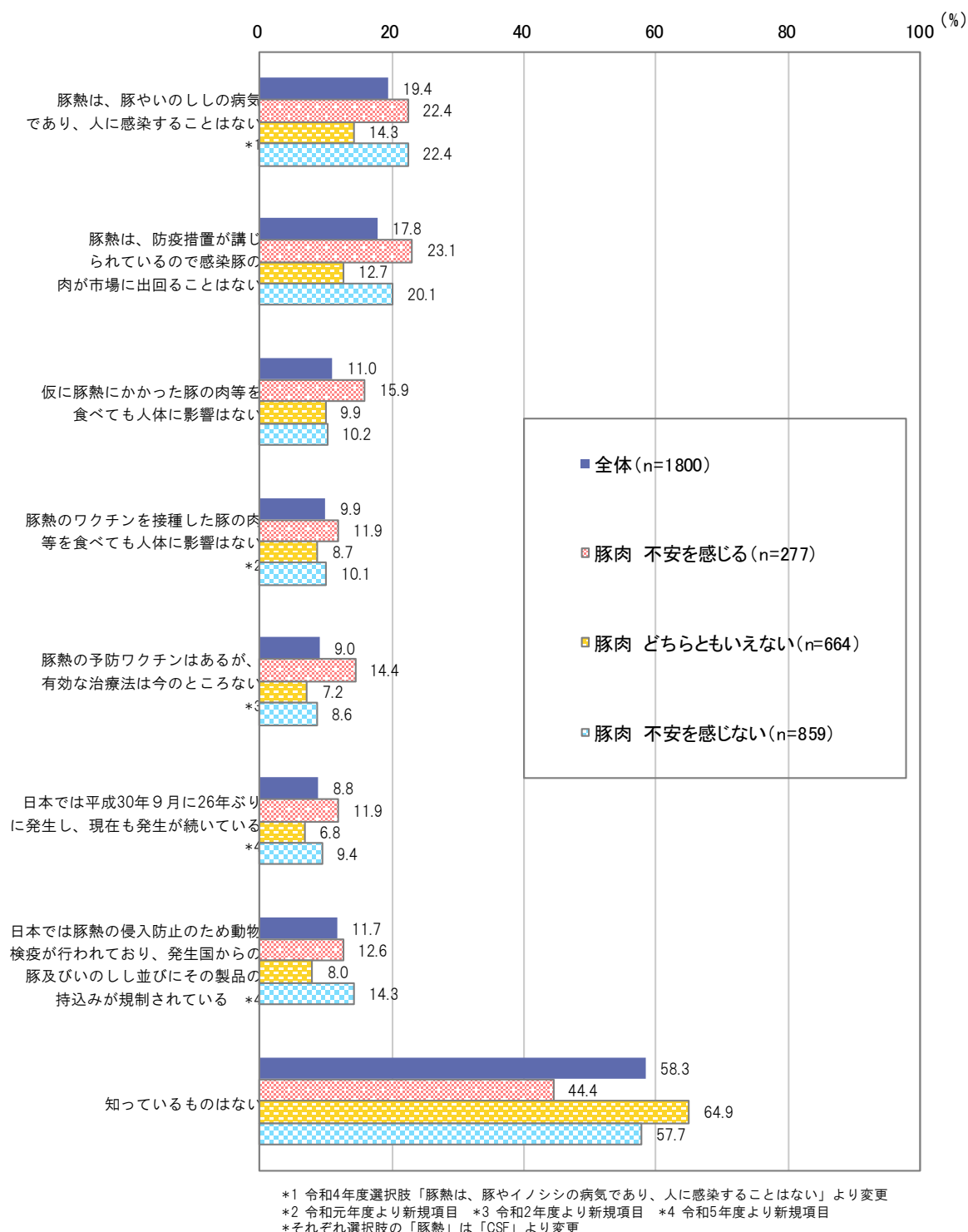


*1 令和4年度選択肢「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更
 *2 令和元年度より新規項目 *3 令和2年度より新規項目 *4 令和5年度より新規項目
 *それぞれ選択肢の「豚熱」は「CSF」より変更

図表 30 エリア・性・年代別 豚熱への認知・理解

豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」、「豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところない」は、「不安を感じない層」より「不安を感じる層」の方が多くなっている。また、「豚肉に不安を感じる層」は、「知っているものはない」が44.4%と低く、豚熱についてある程度理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で64.9%と多い。



図表 31 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への認知・理解

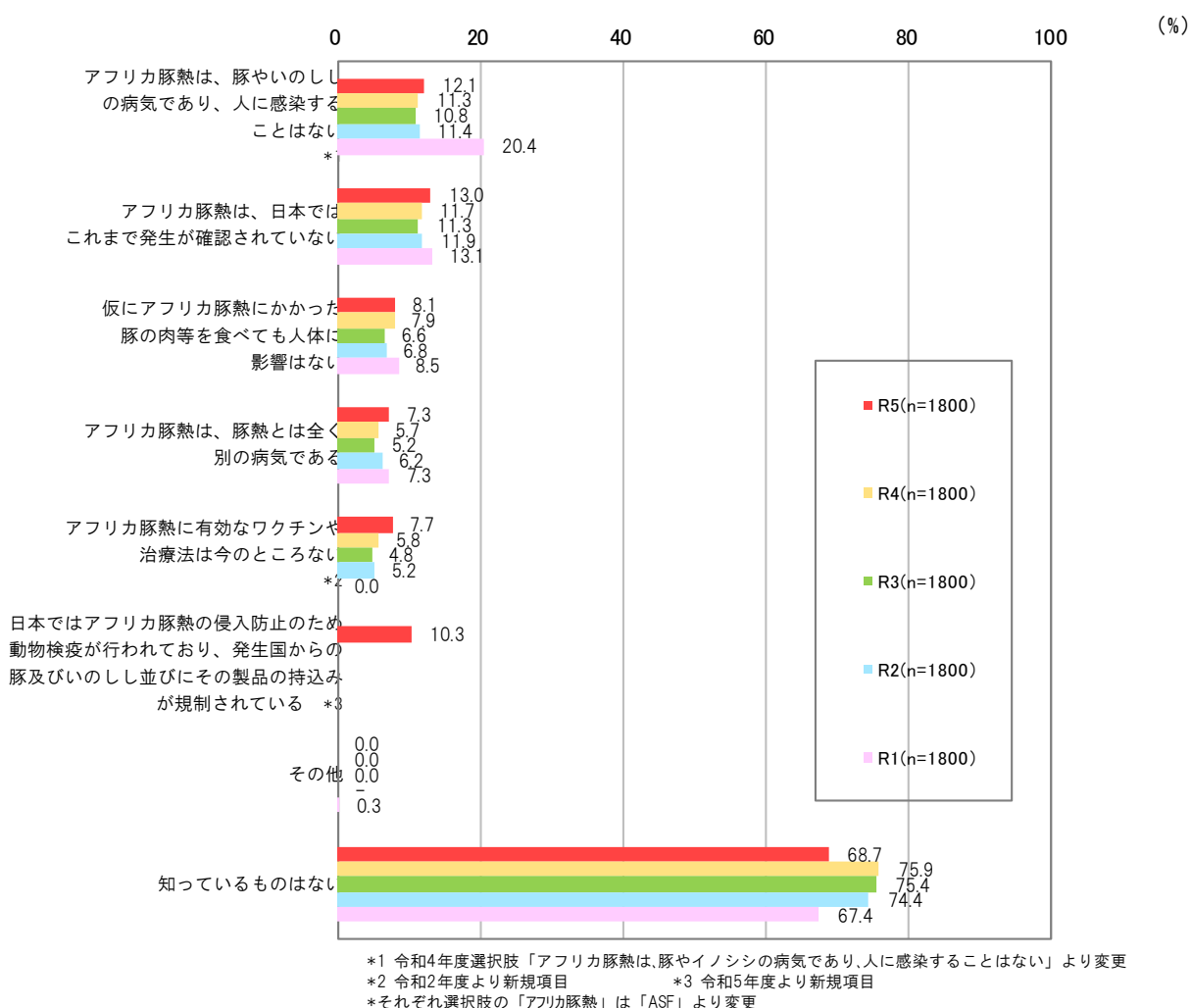
アフリカ豚熱への認知・理解

アフリカ豚熱への認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q26）、「知っているものはない」が68.7%で最も多く、次いで「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」が13.0%、「アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が12.1%、「日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が10.3%、「仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が8.1%の順となっている。

「アフリカ豚熱」は、日本での発生がなく、消費者にとっては、「豚熱」と比べると、認知・理解度が低い。

過年度調査で見ると、いずれの項目も昨年度より微増しており、項目が1つ追加されたこともあるが、「知っているものはない」が昨年度の75.9%から7.2ポイント減少している。

※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。

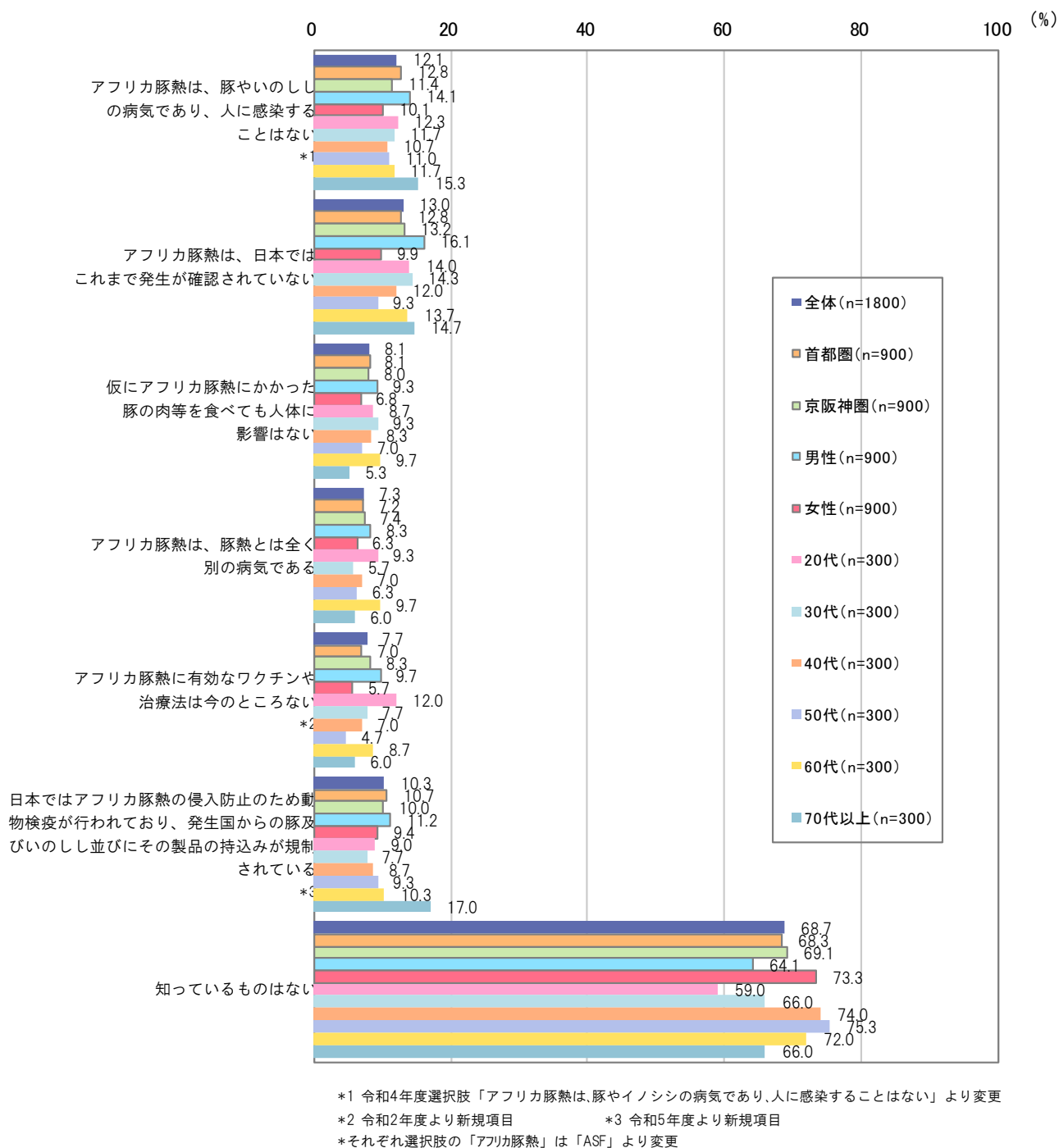


図表 32 アフリカ豚熱への認知・理解（経年変化）

アフリカ豚熱への認知・理解（Q26）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が73.3%と多い。

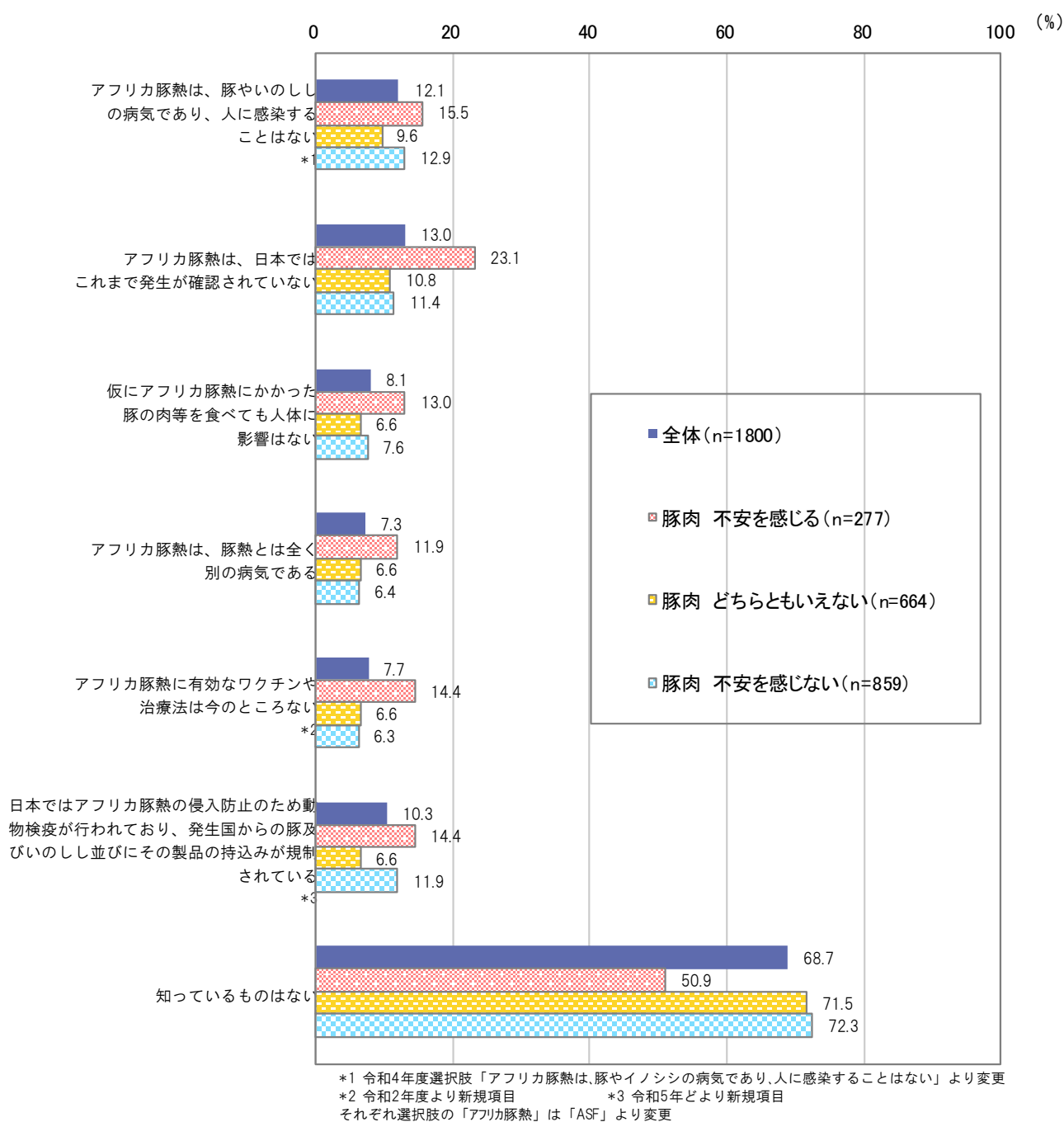
年代別に見ると、「日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」は70代で17.0%と多い。40代～60代では「知っているものはない」が7割以上と多くなっている、



図表 33 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への認知・理解

アフリカ豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」、「アフリカ豚熱に有効なワクチンや治療法は今のところない」は、「不安を感じない層」より「不安を感じる層」の方が多く、他の項目についても「豚肉に不安を感じる層」の方が認知度が高くなっている。また、「豚肉に不安を感じる層」は、「知っているものはない」が50.9%と低く、アフリカ豚熱についてある程度の理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で71.5%、「不安を感じない層」で72.3%と高い。

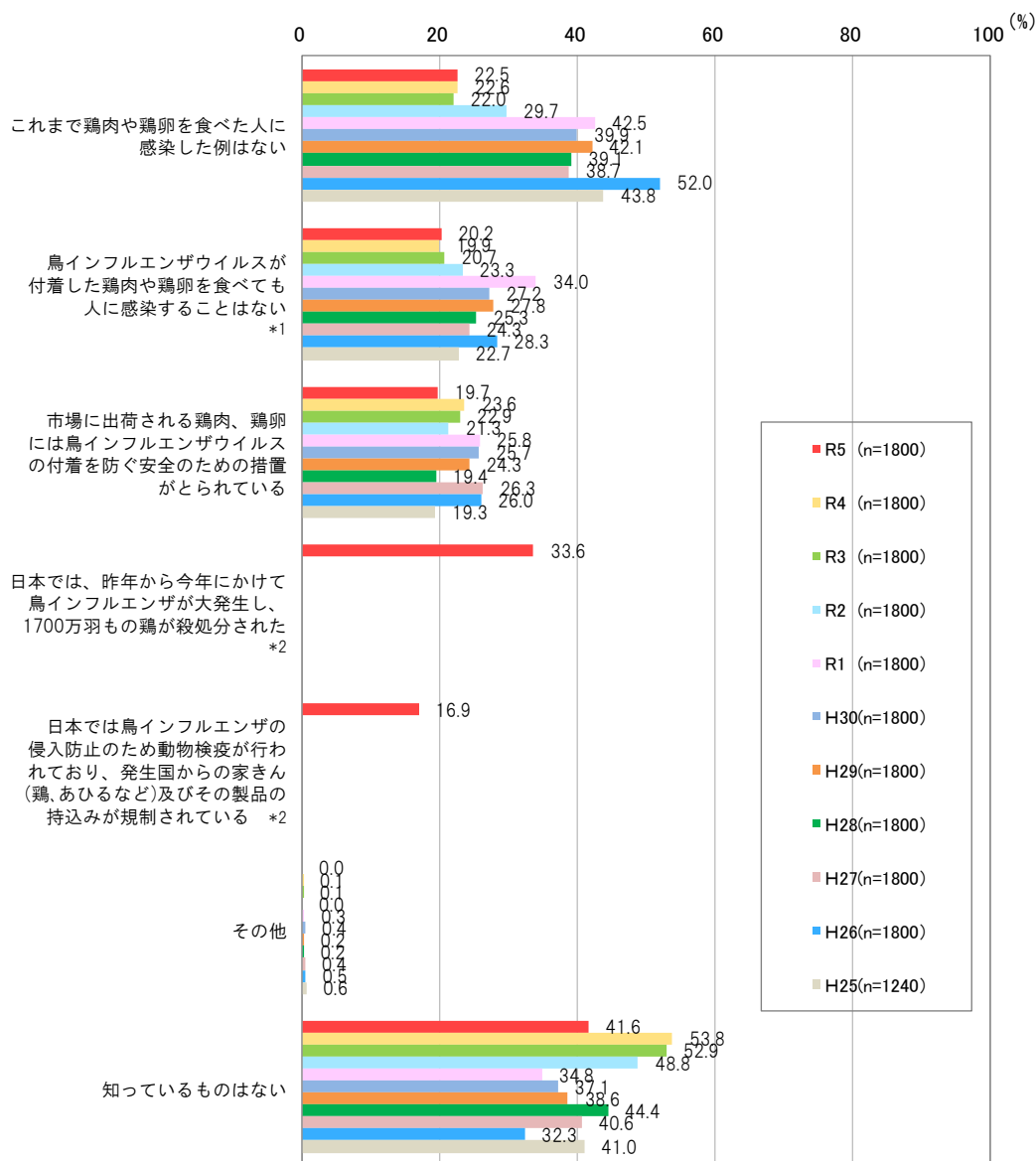


図表 34 食肉・豚肉への不安度 アフリカ豚熱への認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q27）、「知っているものはない」が41.6%で最も多く、次いで「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」が33.6%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」が22.5%、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」が20.2%、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」が19.7%、「日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている」が16.9%の順となっている。

過年度調査で見ると、今年追加した「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」が最も多くなった。



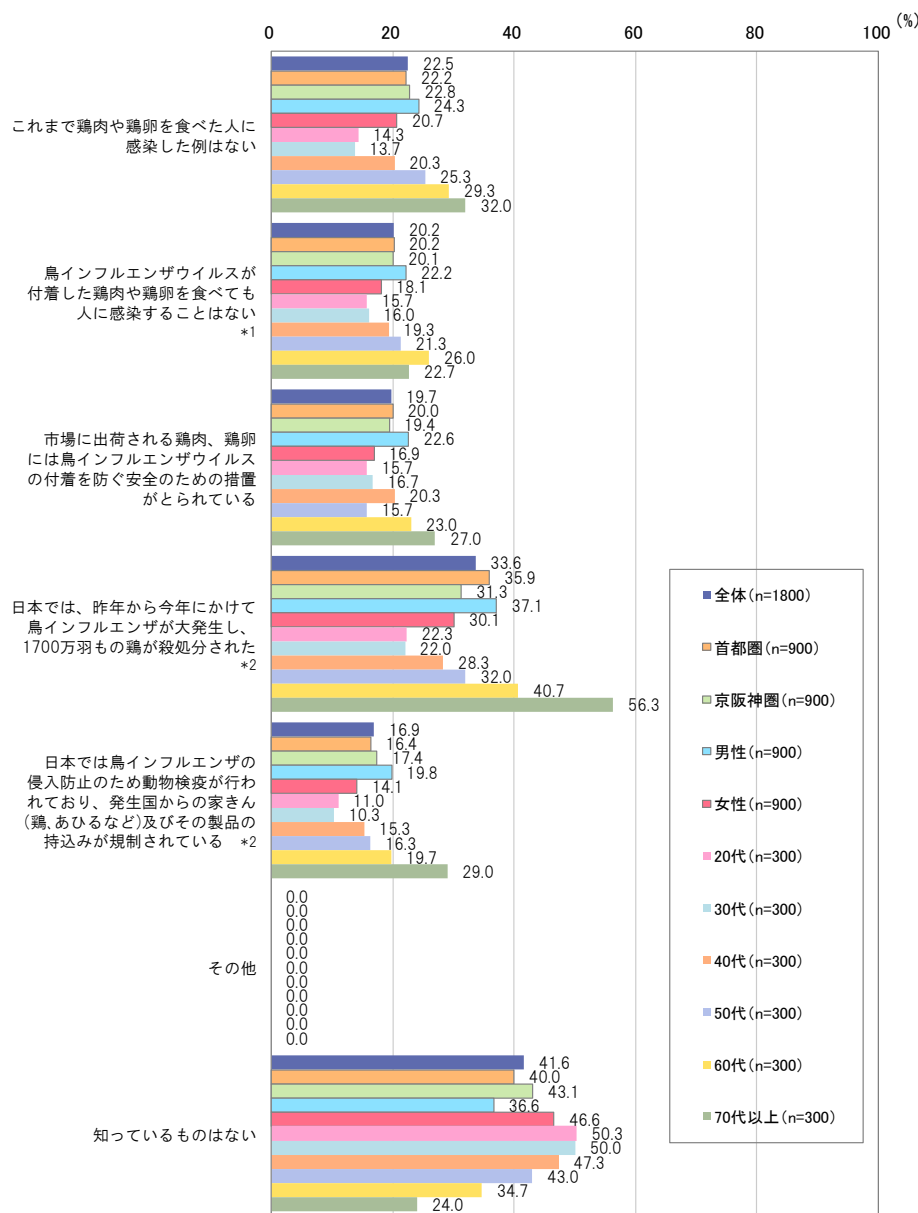
*1 令和4年度選択肢「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」より変更
*2 令和5年度よりの新規項目

図表 35 鳥インフルエンザへの認知・理解（経年変化）

鳥インフルエンザへの認知・理解 (Q27) をエリア別に見ると、「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」は、首都圏が35.9%、京阪神圏が31.3%と、京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に見ると、「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」は男性が37.1%、女性が30.1%と女性より男性の方が多く、それ以外の項目も女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が46.6%と半数近くを占める。

年代別に見ると、「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」は、20代～40代では2割台だが、60代では40.7%、70代以上では56.3%と多くなっている。一方、「知っているものはない」は20代・30代は5割以上と多いが、年代が高くなるにつれて減少し、60代では34.7%、70代以上では24.0%と少なくなっている。

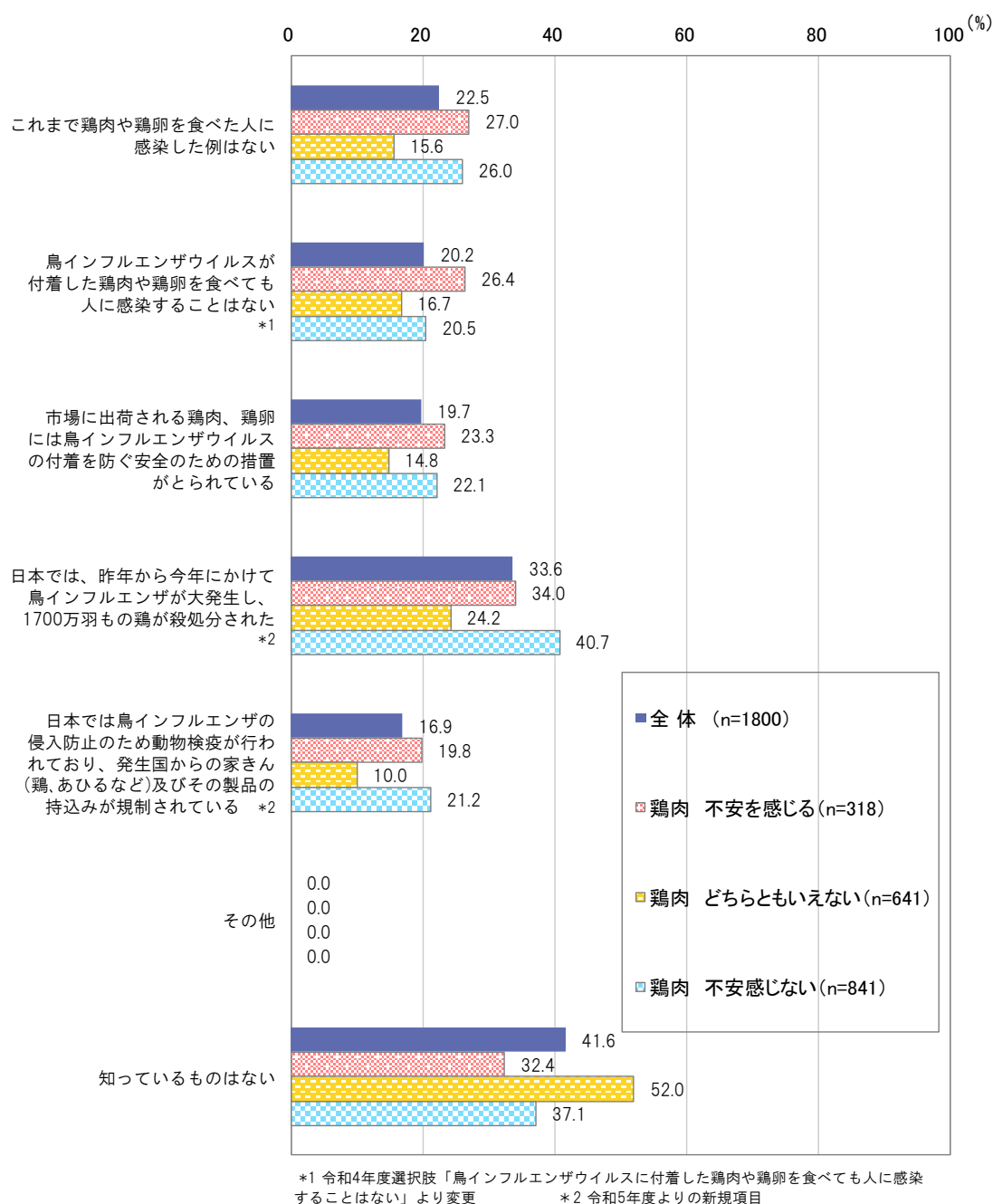


*1 令和4年度選択肢「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」より変更 *2 令和5年度よりの新規項目

図表 36 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの認知・理解

鶏肉への不安度別に見ると、「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」は、「不安を感じる層」34.0%より「不安を感じない層」40.7%の方が多い。一方、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」は、「不安を感じない層」20.5%より「不安を感じる層」26.4%の方が多い。

「知っているものはない」は、鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で52.0%と多い。



図表 37 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの認知・理解

2.2 「新型コロナウイルス感染症」の「5類感染症」への変更による消費者意識の考察

- ・ 「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことらについての不安（「不安を感じる」と「どちらかといえば不安を感じる」の合計）は、「家族の感染」が56.1%（<62.7%）で最も大きく、「自分の感染」が54.6%（<61.0%）で、ともに5割以上。以下、医療提供体制の逼迫が47.3%（<56.0%）、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」が43.1%（<50.0%）、「外食・外出・旅行・娯楽など行動」が42.2%（<49.7%）、「収入の減少や雇用の不安」が40.2%（<48.1%）、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」が37.1%（<42.8%）の順。
※（ ）内に昨年度の比率を示した。
- ・ 「新型コロナウイルス感染症」の流行による昨年と比べた食生活の変化は、「特にない」が41.5%で最も多く、食生活や購買行動に変化がない人が4割以上いる。次いで「自宅で食事する機会が増えた」が22.6%、「外食の機会が減った」が20.7%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」が20.1%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」が11.3%、「食肉の購入回数を増やして、少量を購入するようになった」が10.4%、「家族そろって食事する機会が増えた」が7.9%、「外食の機会が増えた」が7.3%の順。

2.2では、「新型コロナウイルス感染症」の「5類感染症」への変更による消費者意識の変化を把握することを目的とした。

1) 「新型コロナウイルス感染症」についての不安 (Q45) : エリア・性・年代別分析

「新型コロナウイルス感染症」が「5類感染症」に変更されたことを説明して、「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことがらについての不安 (Q45) を聞いた。

「不安を感じる計」で見ると、いずれのことがらについても、昨年度より低くなっている (括弧内は昨年度の比率)。

「家族の感染」56.1% (<62.7%)、「自分の感染」54.6% (<61.0%) が5割以上で多く、「医療提供体制の逼迫」47.3% (<56.0%)、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」43.1% (<50.0%)、「外食・外出・旅行・娯楽など行動」42.2% (<49.7%)、「収入の減少や雇用の不安」40.2% (<48.1%)、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」37.1% (<42.8%) の順である。

エリア別に「不安を感じる計」を見ると、大きな違いは見られない。

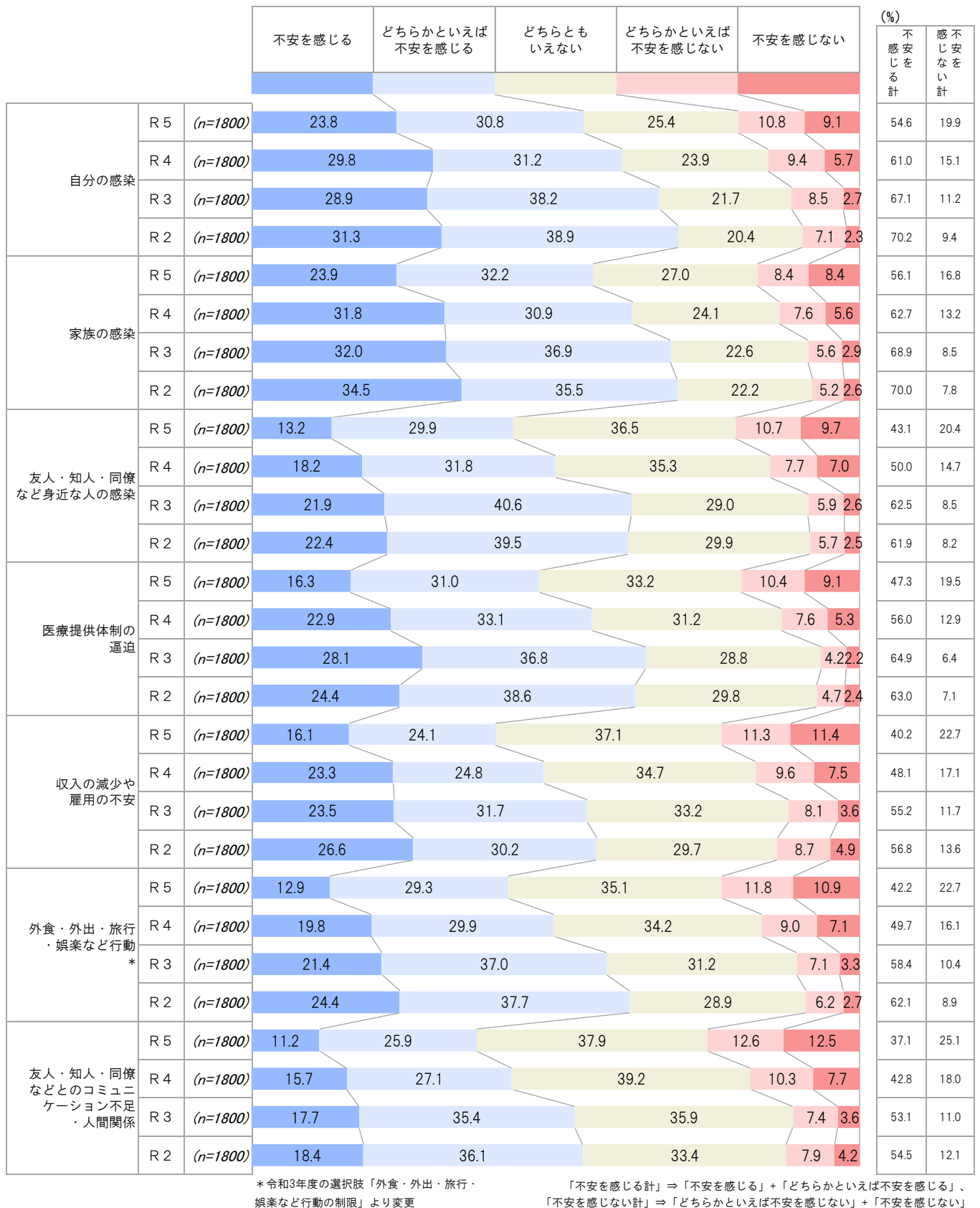
男女別に「不安を感じる計」を見ると、いずれのことがらも、男性より女性の方が不安度が高い。特に「家族の感染」は、男性が48.4%、女性が63.8%と、男性より女性の方が15.4ポイント高くなっている。

年代別に「不安を感じる計」を見ると、20代は、「自分の感染」、「医療提供体制の逼迫」の不安度が低い。60代以上は「収入の減少や雇用の不安」は不安度が低い。

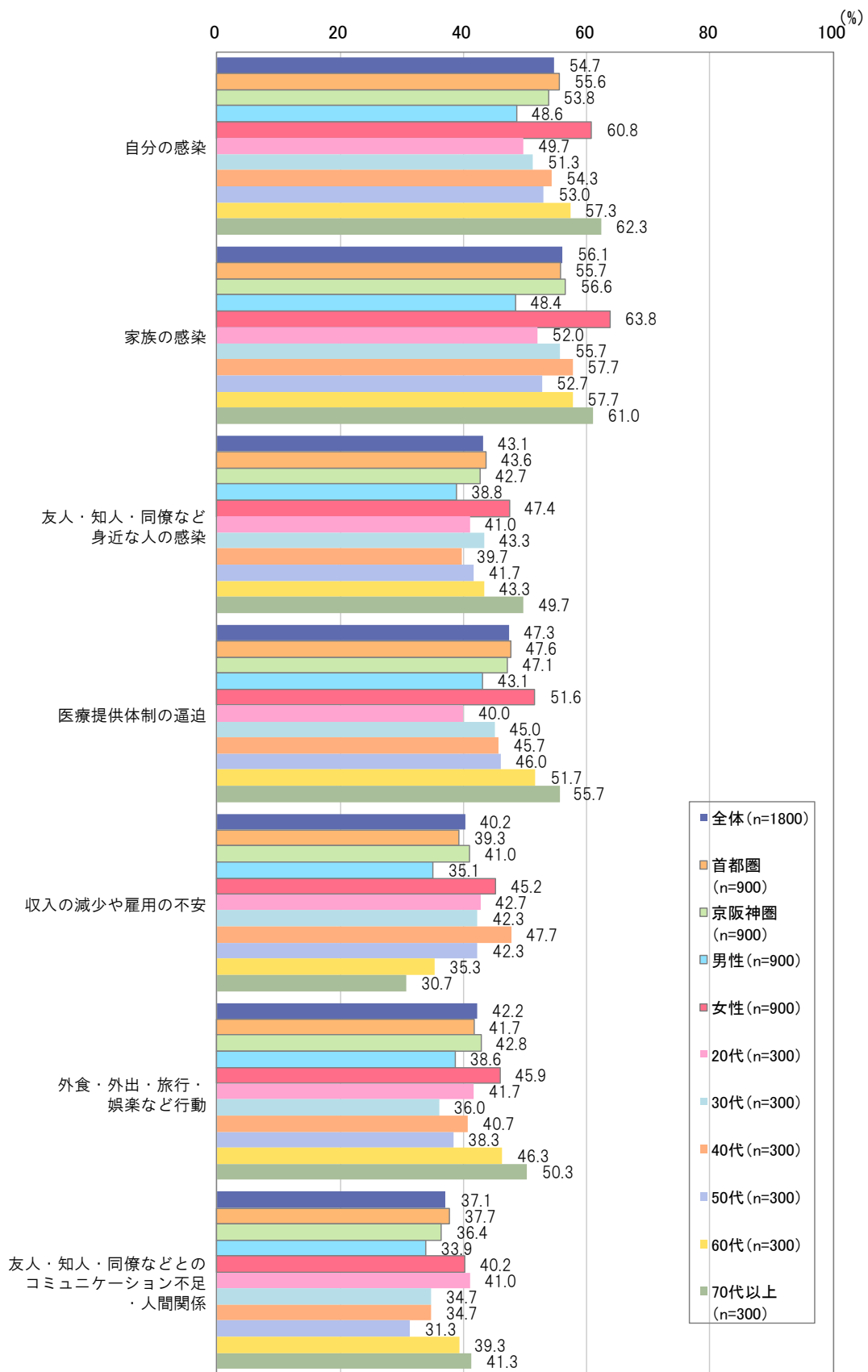
過年度調査で見ると、いずれも昨年度より不安度が減少しているが、自分や家族の感染については、半数以上が不安に感じており、不安が完全に払拭されるまでには至っていない。

「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から季節性インフルエンザ等と同等の「5類感染症」に変更されました。

図表 38 提示説明文



図表 39 「新型コロナウイルス感染症」についての不安



*令和3年度の選択肢「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」より変更

図表 40 エリア・性・年代別 「新型コロナウイルス感染症」についての不安

2) 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化（Q46）：エリア・性・年代別分析

「新型コロナウイルス感染症」が「5類感染症」に変更されたことを説明して、「新型コロナウイルス感染症」の流行による昨年の今頃と比べた食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の購入や調理、中食や外食などの食生活の変化（Q46）を聞いた。「自宅で食事する機会が増えた」22.6%が最も多く、次いで、「外食の機会が減った」20.7%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」20.1%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」11.3%、「食肉の購入回数を増やして、少量を購入するようになった」10.4%、「家族そろって食事する機会が増えた」7.9%、「外食の機会が増えた」7.3%などの順となっている。

「特にない」が41.5%と食生活や購買行動に変化がない人が4割以上いる。

エリア別に見ると、「新型コロナウイルス感染症」の流行による食生活・購買行動の変化に大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「新型コロナウイルス感染症」の流行による食生活・購買行動の変化は、総じて男性より女性の方が多い。「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」は、男性が16.3%、女性が23.9%と、男性より女性の方が7.6ポイント多い。一方、「特にない」は、男性が43.7%、女性が39.3%と女性より男性の方が多い。

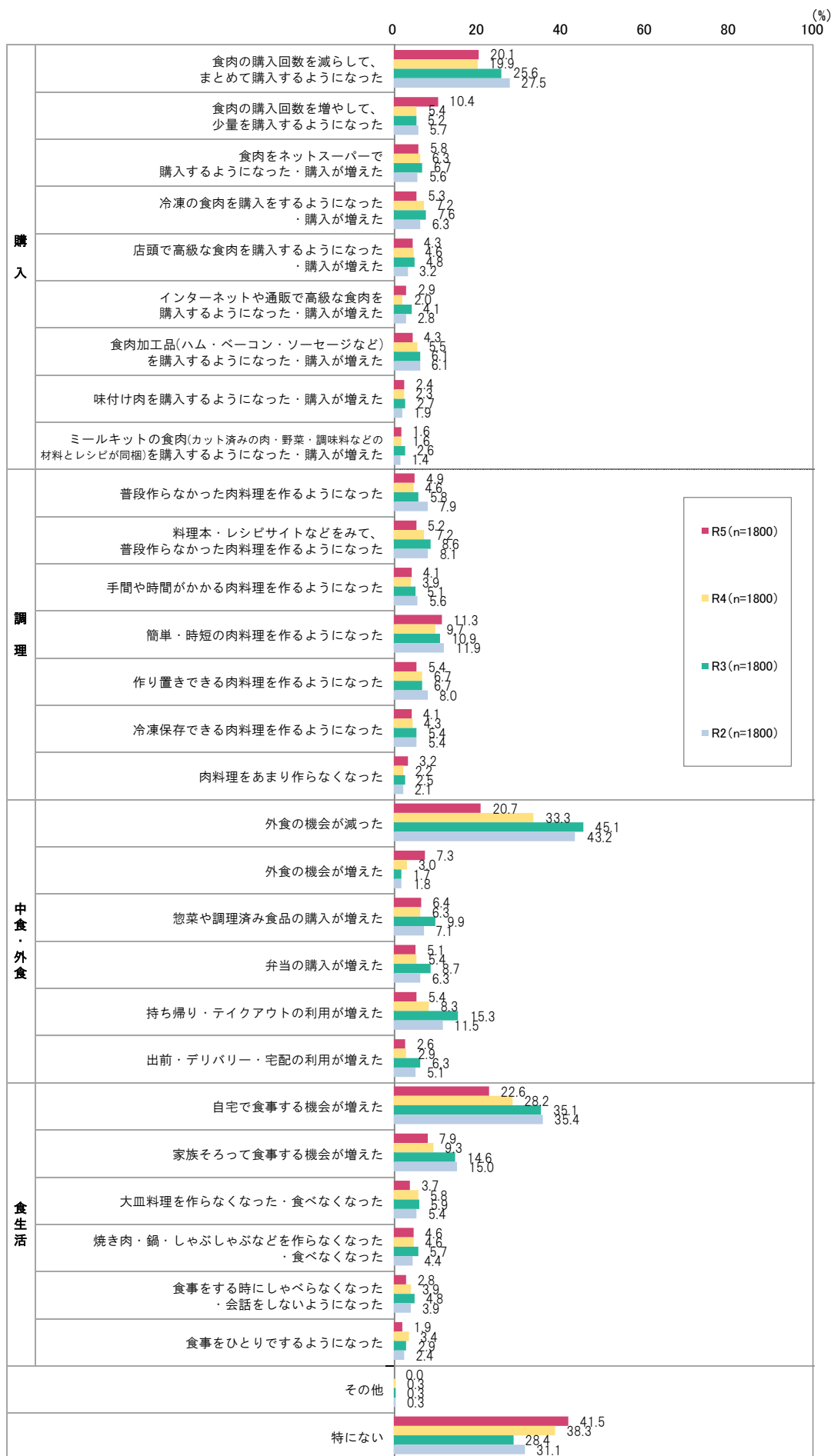
年代別に見ると、「外食の機会が減った」「自宅で食事する機会が増えた」は70代以上で多く、20代では少なくなっている。

「新型コロナウイルス感染症」への不安度別（図表44）に見ると、「全てのことがらに不安を感じる層」は、食肉や購買行動の変化が多岐に渡っており、「自宅で食事する機会が増えた」34.3%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」33.4%、「外食の機会が減った」30.7%が3割以上と多くなっている。一方、「いずれも不安を感じない層」は、「特にない」が66.9%と、食生活や購買行動に変化がない人が非常に多い。

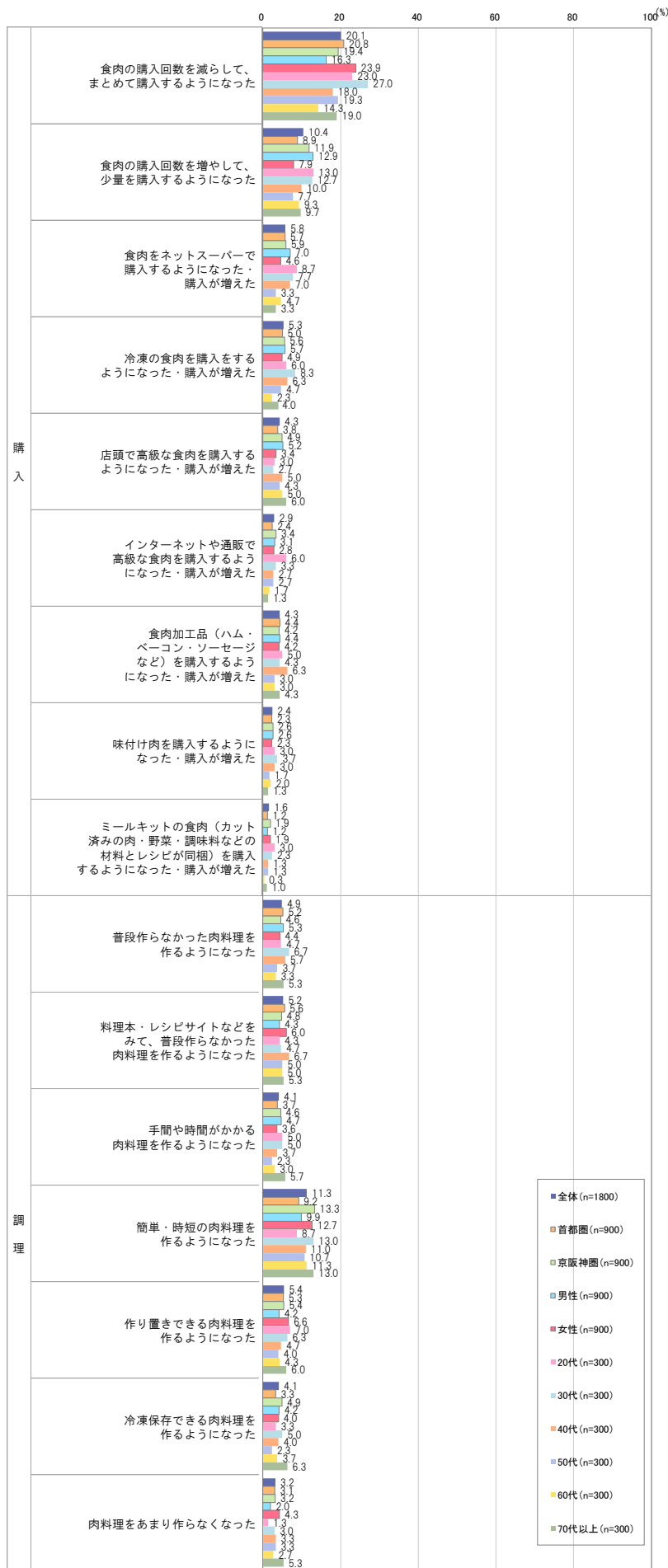
過年度調査で見ると、行動の変化は減少傾向にあり、食生活や購買行動に変化が「特にない」が昨年度の38.3%から、今年度は41.5%と3.2ポイント増加している。

「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から季節性インフルエンザ等と同等の「5類感染症」に変更されました。

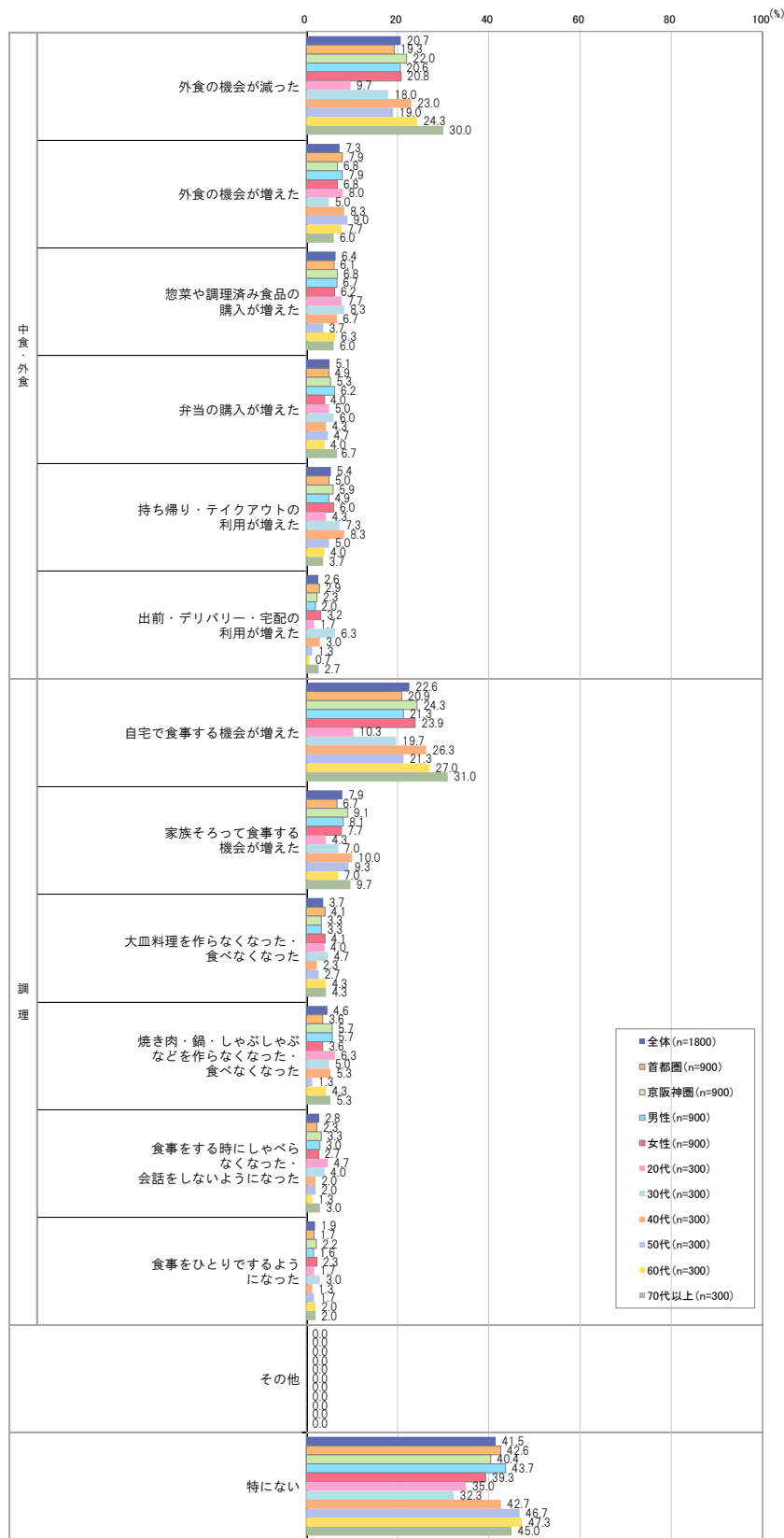
図表 41 提示説明文



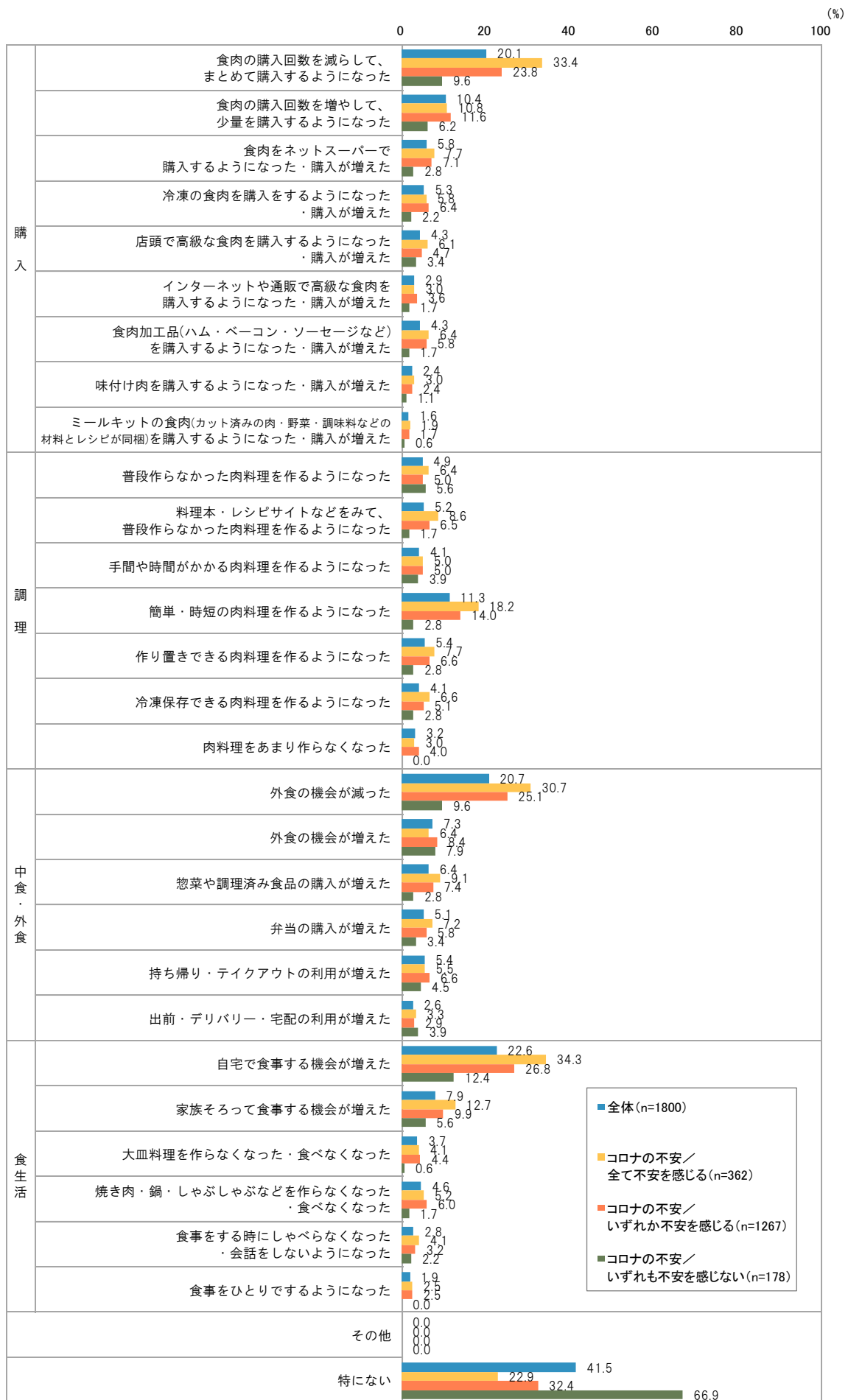
図表 42 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化



図表 43 (その1) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化



図表 43 (その2) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉(牛肉、豚肉、鶏肉)に関わる食生活・購買行動の変化



図表 44 「新型コロナウイルス感染症」の不安度別 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化

2.3 高騰している生産コストの食肉への価格転嫁に対する消費者意識の考察

- ・ 生産コストが上昇している中で適正な価格形成が求められていることを説明して、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響による不安を聞いたところ、「不安を感じる」とする回答割合が 63.8%（「どちらかといえば不安を感じる」33.7%+「不安を感じる」30.1%）で6割以上、「どちらともいえない」とする回答割合が 24.6%、「不安を感じない」とする回答割合が 11.8%（「不安を感じない」6.6%+「どちらかといえば不安を感じない」5.2%）となっている。
- ・ 円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響により、昨年と比べ、実際に家庭に影響があったか聞いたところ、「影響があった」とする回答割合が 53.3%（「影響があった」20.8%+「どちらかといえば影響があった」32.5%）、「どちらともいえない」とする回答割合は 33.4%、「影響がなかった」とする回答割合は 13.3%（「どちらかといえば影響がなかった」7.0%+「影響がなかった」6.3%）となっている。
- ・ 7つの事項について、円安や資源価格の高騰等による物価上昇により、昨年と比べ影響があった食品を聞いたところ、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）については、「国産の食品を選んで買うようになった」が 10%を上回り、「輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった」が 5%を上回っている。「まとめ買いするようになった」、「より価格の安い店を選んで買うようになった」についても、変化があった上位の食品としてあげられている。
- ・ 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識を「そう思う計」で見ると、「国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う」が 62.2%で最も多く、「国産牛肉の生産に必要な飼料（エサ）の価格は、近年上昇している」が 61.6%、「生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う」が 61.2%、「国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う」が 57.9%、「今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる」が 53.3%、「国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりは起きていない」が 37.3%の順。
- ・ 生産コストが上昇している中で適正な価格形成が求められていることを説明して、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うかについては、「50円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が 20.2%で最も多く、「100円程度まで」が 14.2%、「10円程度まで」が 12.6%、「20円程度まで」が 12.0%、「30円程度まで」が 10.6%の順。「1円でも割高なら購入しない」は 7.7%。平均許容価格上昇額（追加支払意思額）は、100gあたり税込みで 63円程度。

2.3では、高騰している生産コストの食肉への価格転嫁に対する消費者意識の変化を把握することを目的とした。

1) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安 (Q47) :
エリア・性・年代別分析

生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響による不安 (Q47) を聞いた。「どちらかといえば不安を感じる」が 33.7% で最も多く、「不安を感じる」が 30.1% で、「不安を感じる計」は全体の 63.8% である。一方、「不安を感じない」が 6.6%、「どちらかといえば不安を感じない」が 5.2% で、「不安を感じない計」は全体の 11.8% である。「どちらともいえない」は 24.6% であった。

エリア別に「不安を感じる計」を見ると、首都圏が 62.7%、京阪神圏が 64.8% と、首都圏より京阪神圏の方が不安度がやや高い。

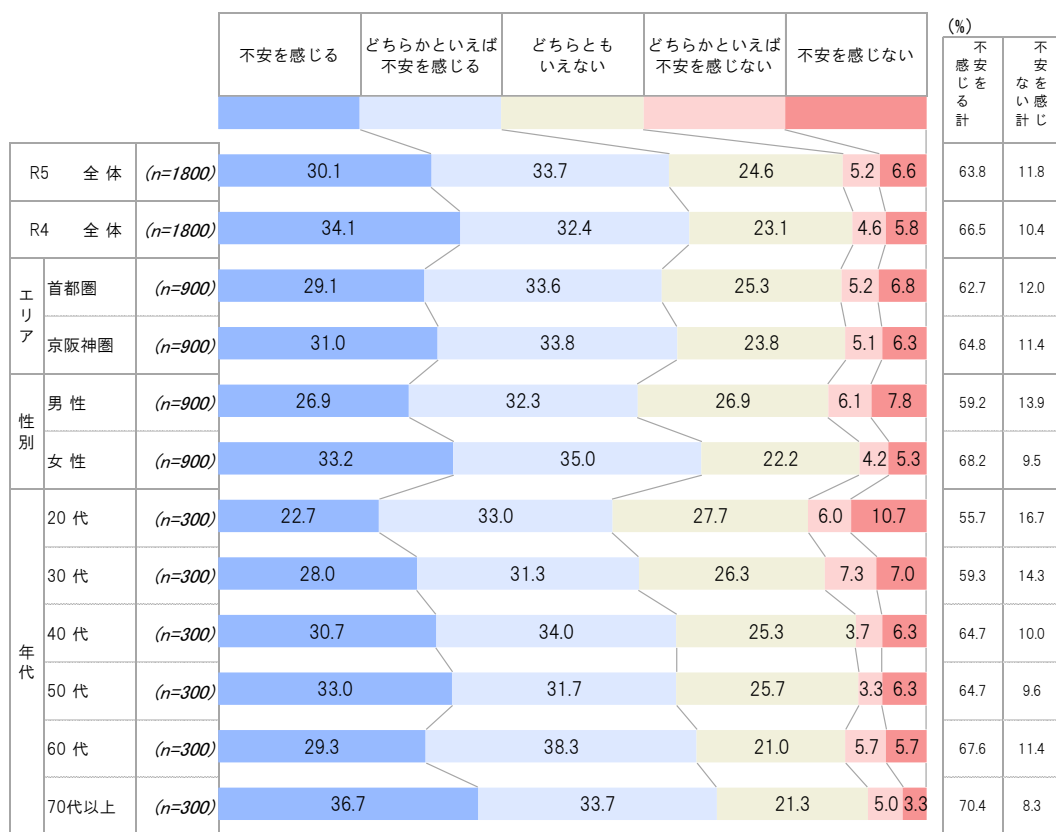
性別に「不安を感じる計」を見ると、男性が 59.2%、女性が 68.2% と、男性より女性の方が不安度が 9.0 ポイント高い。

年代別に「不安を感じる計」を見ると 40 代以上では 6 割以上と高いが、20 代では 55.7% にとどまっている。

過年度調査で見ると、「不安を感じる計」は昨年度 66.5%、今年度 63.8% と 2.7 ポイントの微減であり、大きな違いは見られない。

燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

図表 45 提示説明文



「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 46 円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安

2) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度 (Q48) :
エリア・性・年代別分析

生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響により、昨年の今頃と比べ、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、実際に家庭に影響があったか (Q48) を聞いた。「影響があった」が 20.8%、「どちらかといえば影響があった」が 32.5%で、「影響があった計」は全体の 53.3%である。一方、「どちらかといえば影響がなかった」が 7.0%、「影響がなかった」が 6.3%で「影響がなかった計」は全体の 13.3%である。「どちらともいえない」は 33.4%で最も多い。

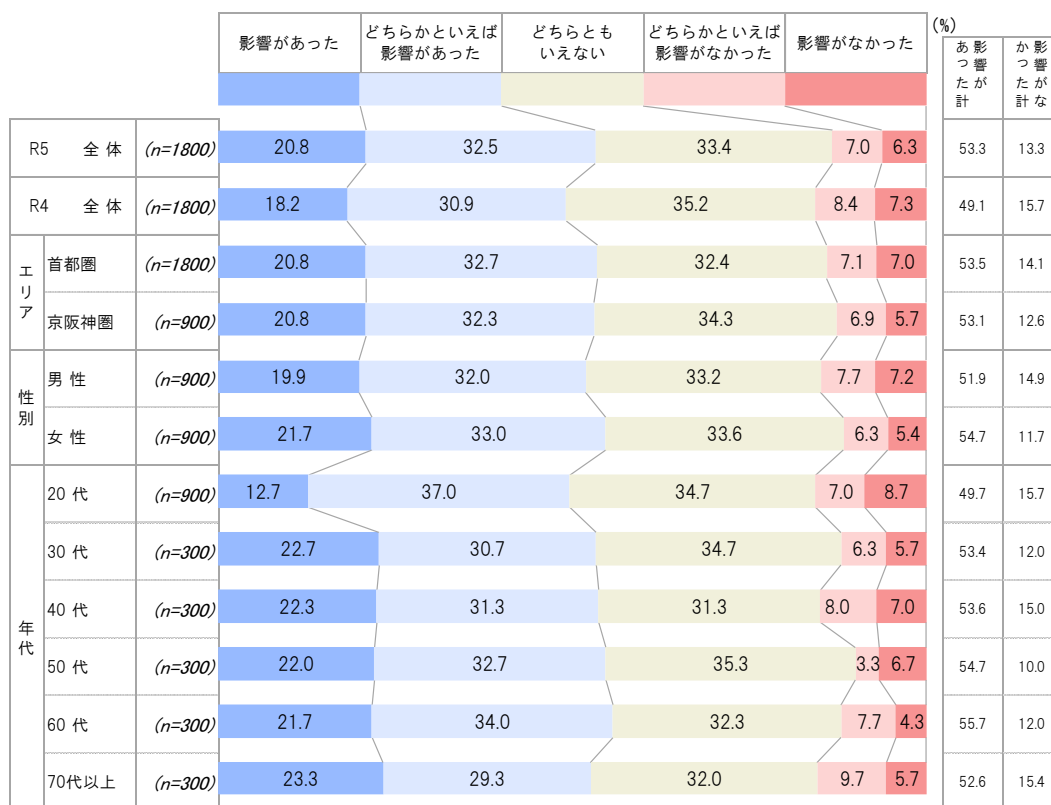
エリア別に「影響があった計」を見ると、首都圏が 53.5%、京阪神圏が 53.1%と、大きな違いは見られない。性別に「影響があった計」を見ると、男性が 51.9%、女性が 54.7%と、男性より女性の方がやや高い。

年代別に「影響があった計」を見ると 20 代は 49.7%と低くなっている。

過年度調査で見ると、昨年度は「不安を感じる計」の 66.5%と「影響があった計」の 49.1%には 17.4 ポイントの開きがあったが、今年度は「不安を感じる計」の 63.8%と「影響があった計」の 53.3%では 10.5 ポイントの開きにとどまっている。

燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

図表 47 提示説明文



「影響があった計」⇒「影響があった」+「どちらかといえば影響があった」
「影響がなかった計」⇒「どちらかといえば影響がなかった」+「影響がなかった」

図表 48 円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度

3) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項 (Q49) : エリア・性・年代別分析

生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、「円安や資源価格の高騰等による物価上昇」により、昨年の今頃と比べ影響があったかについて、7つの事項についてあてはまる食品 (Q49) を聞いたところ、各上位3食品は以下の通りであった。

食肉 (牛肉・豚肉・鶏肉) については、「国産の食品を選んで買うようになった」が10%を上回り、「輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった」が5%以上を上回っている。「まとめ買いするようになった」「より価格の安い店を選んで買うようになった」についても、変化があった上位の食品としてあげられている。

影響があった7つのいずれの事項についても、「いずれもない」が5割以上と最も多くなっているが、過年度調査で見ると、「より価格の安い店を選んで買うようになった」「まとめ買いするようになった」などは、「いずれもない」の割合が減少しており、日々の食品購入への影響が見られる。

エリア別、男女別、年代別に見ても、大きな違いは見られない。

燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

図表 49 提示説明文

【購入量が減った】

- ①米 10.3% ②ファストフード 9.0% ③牛肉 8.7%
※⑫豚肉 5.8% ⑮鶏肉 5.4% ※いずれもない 61.3%

【購入回数が減った】

- ①ファストフード 10.3% ②パン 10.1% ③牛肉 9.8%
※⑫豚肉 6.3% ⑰鶏肉 5.2% ※いずれもない 59.3%

【まとめ買いするようになった】

- ①米 11.2% ②豚肉 10.1% ③野菜 9.4%
※④鶏肉 9.3% ⑥牛肉 7.7% ※いずれもない 66.9%

【国産の食品を選んで買うようになった】

- ①牛肉 10.6% 豚肉 10.6% ③鶏肉 10.2% ※いずれもない 71.2%

【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

- ①牛肉 6.2% ②豚肉 5.6% ③鶏肉 5.1% ※いずれもない 77.9%

【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

- ①パン 15.4% ②米 15.1% ③野菜 14.9%
※④豚肉 14.4% ⑤鶏肉 13.9% ⑥牛肉 13.7% ※いずれもない 58.9%

【より価格の安い店を選んで買うようになった】

- ①卵 16.8% ②野菜 16.1% ③米 15.3%
※⑤豚肉 14.7% ⑦鶏肉 14.0% ⑨牛肉 13.7% ※いずれもない 60.3%

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
購入量が減った	R5	(n=1800)	10.3	7.7	6.5	8.5	7.3	8.7	5.8	5.4	7.8
	R4	(n=1800)	8.1	6.6	5.1	6.8	6.2	6.8	4.4	4.3	3.8
購入回数が減った	R5	(n=1800)	7.2	10.1	6.3	8.7	8.5	9.8	6.3	5.2	9.7
	R4	(n=1800)	5.8	9.3	5.9	7.6	7.8	7.9	5.4	5.1	4.6
まとめ買いするようになった	R5	(n=1800)	11.2	7.6	9.4	5.9	6.5	7.7	10.1	9.3	5.3
	R4	(n=1800)	9.7	7.5	8.6	6.4	6.1	8.2	9.2	9.3	6.1
国産の食品を選んで買うようになった	R5	(n=1800)	8.9	6.1	9.9	9.2	8.6	10.6	10.6	10.2	7.3
	R4	(n=1800)	8.3	7.2	10.1	8.8	9.2	10.9	10.8	10.7	7.6
輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった	R5	(n=1800)	2.8	2.3	3.0	3.1	3.5	6.2	5.6	5.1	2.4
	R4	(n=1800)	1.9	2.4	2.8	2.4	3.0	5.8	5.9	5.1	1.7
より安い商品・製品を選んで買うようになった	R5	(n=1800)	15.1	15.4	14.9	12.5	13.5	13.7	14.4	13.9	12.7
	R4	(n=1800)	14.8	14.7	15.5	13.0	12.4	13.3	13.3	13.3	13.2
より価格の安い店を選んで買うようになった	R5	(n=1800)	15.3	14.9	16.1	13.4	12.9	13.7	14.7	14.0	16.8
	R4	(n=1800)	12.2	11.8	14.2	11.9	11.3	11.7	12.0	11.7	12.0

		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない	
購入量が減った	R5	(n=1800)	5.8	5.3	5.5	5.3	8.6	7.4	9.0	8.3	61.3
	R4	(n=1800)	4.3	5.1	4.1	4.6	8.7	7.2	9.2	9.2	67.1
購入回数が増えた	R5	(n=1800)	5.7	5.6	5.7	5.6	8.8	8.3	10.3	8.4	59.3
	R4	(n=1800)	4.1	5.3	4.6	4.7	8.8	8.0	9.9	9.1	67.1
まとめ買いするようになった	R5	(n=1800)	5.8	6.1	6.3	7.6	8.4	4.4	4.1	6.9	66.9
	R4	(n=1800)	5.3	5.7	6.0	8.3	7.7	4.6	3.8	9.2	67.0
国産の食品を選んで買うようになった	R5	(n=1800)	6.6	6.0	6.1	5.6	5.6	5.2	5.2	5.4	71.2
	R4	(n=1800)	7.3	6.9	7.3	6.2	5.1	4.6	4.5	7.8	70.1
輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった	R5	(n=1800)	1.9	2.8	2.2	2.7	2.1	1.7	1.8	2.3	77.9
	R4	(n=1800)	1.9	2.5	2.0	2.3	1.6	1.7	1.9	10.6	64.0
より安い商品・製品を選んで買うようになった	R5	(n=1800)	11.9	11.1	11.4	12.2	12.2	10.0	8.5	11.1	58.9
	R4	(n=1800)	12.4	11.7	12.1	11.0	11.7	9.8	7.7	5.7	65.3
より価格の安い店を選んで買うようになった	R5	(n=1800)	14.3	12.1	13.3	13.3	13.8	11.1	9.1	12.7	60.3
	R4	(n=1800)	11.4	9.9	11.1	11.9	12.6	9.7	8.4	5.7	70.7

■ R5 全体 ■ R4 全体

図表 50 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項

【購入量が減った】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R5	全体	(n=1800) 10.3	7.7	6.5	8.5	7.3	8.7	5.8	5.4	7.8
エリア	首都圏	(n=900) 10.0	7.0	6.6	6.9	6.1	7.6	5.2	4.4	6.4
	京阪神圏	(n=900) 10.6	8.3	6.4	10.1	8.6	9.8	6.3	6.4	9.1
性別	男性	(n=900) 11.7	7.3	6.2	8.1	6.6	8.2	6.4	5.9	7.4
	女性	(n=900) 8.9	8.0	6.8	8.9	8.1	9.1	5.1	5.0	8.1
年代	20代	(n=300) 12.3	5.7	5.3	5.7	5.0	7.0	6.0	5.3	5.3
	30代	(n=300) 11.0	7.3	4.0	7.7	7.0	9.3	4.7	5.0	7.7
	40代	(n=300) 7.7	8.7	6.3	8.3	7.0	9.0	6.3	6.0	8.7
	50代	(n=300) 9.7	9.7	10.3	11.0	10.3	10.0	7.0	6.3	9.0
	60代	(n=300) 9.7	7.7	7.0	8.3	7.3	8.7	5.3	4.0	8.7
	70代以上	(n=300) 11.3	7.0	6.0	10.0	7.3	8.0	5.3	6.0	7.3

		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R5	全体	(n=1800) 5.8	5.3	5.5	5.3	8.6	7.4	9.0	8.3	61.3
エリア	首都圏	(n=900) 4.4	4.4	4.9	4.9	7.6	6.1	8.4	6.9	63.7
	京阪神圏	(n=900) 7.2	6.2	6.1	5.8	9.7	8.7	9.6	9.8	59.0
性別	男性	(n=900) 5.6	4.8	5.2	5.2	7.7	6.6	7.7	7.3	62.3
	女性	(n=900) 6.1	5.9	5.8	5.4	9.6	8.2	10.3	9.3	60.3
年代	20代	(n=300) 4.7	3.0	4.3	4.0	6.3	4.3	5.0	4.3	55.7
	30代	(n=300) 6.3	4.0	4.7	5.3	5.7	7.0	7.7	8.3	59.0
	40代	(n=300) 8.0	7.0	7.0	5.7	10.7	9.0	10.7	10.0	63.0
	50代	(n=300) 5.7	7.3	7.0	6.3	10.0	8.7	9.7	8.3	66.0
	60代	(n=300) 7.0	6.7	6.0	4.3	10.7	7.0	9.7	9.3	62.3
	70代以上	(n=300) 3.3	4.0	4.0	6.3	8.3	8.3	11.3	9.7	62.0

図表 51 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項
【購入量が減った】

【購入回数が減った】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R5	全体 (n=1800)	7.2	10.1	6.3	8.7	8.5	9.8	6.3	5.2	9.7
エリア	首都圏 (n=900)	6.6	9.8	7.0	9.0	8.2	8.6	5.9	5.0	10.2
	京阪神圏 (n=900)	7.8	10.4	5.6	8.4	8.8	11.1	6.7	5.4	9.1
性別	男性 (n=900)	7.8	9.1	5.2	8.0	8.3	10.0	6.2	4.1	8.2
	女性 (n=900)	6.6	11.1	7.3	9.4	8.7	9.7	6.3	6.3	11.1
年代	20代 (n=300)	10.0	9.0	4.7	7.0	6.7	5.3	5.3	4.7	7.7
	30代 (n=300)	9.3	12.0	7.3	11.7	7.7	12.3	7.0	5.7	9.7
	40代 (n=300)	6.3	11.7	7.7	11.0	11.0	11.3	8.3	7.0	13.3
	50代 (n=300)	6.7	10.7	8.0	9.3	10.7	11.3	6.7	5.0	9.7
	60代 (n=300)	6.7	8.0	6.3	6.7	7.0	9.7	5.0	3.7	9.0
	70代以上 (n=300)	4.0	9.3	3.7	6.7	8.0	9.0	5.3	5.3	8.7

		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R5	全体 (n=1800)	5.7	5.6	5.7	5.6	8.8	8.3	10.3	8.4	59.3
エリア	首都圏 (n=900)	5.6	5.4	6.1	5.4	7.9	8.6	9.6	8.1	59.6
	京阪神圏 (n=900)	5.8	5.8	5.3	5.8	9.7	8.1	11.0	8.7	59.1
性別	男性 (n=900)	5.1	5.0	5.6	4.8	7.3	6.9	9.2	7.1	61.6
	女性 (n=900)	6.2	6.2	5.9	6.4	10.2	9.8	11.3	9.7	57.1
年代	20代 (n=300)	7.0	4.3	4.3	4.0	8.3	5.0	6.7	5.7	52.3
	30代 (n=300)	4.3	5.3	5.3	6.0	7.7	6.0	6.0	7.3	57.3
	40代 (n=300)	7.3	10.0	7.7	8.0	11.0	12.7	16.0	11.0	59.3
	50代 (n=300)	5.3	5.3	7.3	6.0	8.3	9.0	11.7	7.3	63.3
	60代 (n=300)	5.7	3.0	3.3	4.7	9.7	7.0	10.3	8.0	62.0
	70代以上 (n=300)	4.3	5.7	6.3	5.0	7.7	10.3	11.0	11.0	61.7

図表 52 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項
【購入回数が減った】

【まとめ買いするようになった】

			米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R5	全体	(n=1800)	11.2	6.1	6.3	7.6	6.5	7.7	10.1	9.3	5.3
エリア	首都圏	(n=900)	10.7	6.0	6.7	6.7	6.7	7.9	10.0	9.6	4.3
	京阪神圏	(n=900)	11.7	6.2	5.9	8.6	6.3	7.4	10.1	9.0	6.2
性別	男性	(n=900)	11.6	5.2	5.3	7.4	5.3	6.4	6.4	6.6	4.3
	女性	(n=900)	10.8	7.0	7.2	7.8	7.7	8.9	13.7	12.0	6.2
年代	20代	(n=300)	16.0	9.0	10.3	9.7	11.0	11.0	13.0	13.0	9.3
	30代	(n=300)	15.0	7.0	6.7	7.0	9.0	10.3	14.0	11.3	5.7
	40代	(n=300)	10.0	7.0	7.0	9.3	7.7	8.0	10.0	10.3	6.0
	50代	(n=300)	9.7	5.3	4.3	9.0	4.7	5.3	9.7	8.3	4.3
	60代	(n=300)	7.3	4.3	4.7	7.0	3.0	4.7	6.3	6.0	3.0
	70代以上	(n=300)	9.0	4.0	4.7	3.7	3.7	6.7	7.3	6.7	3.3

			牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R5	全体	(n=1800)	5.8	7.6	9.4	5.9	8.4	4.4	4.1	6.9	66.9
エリア	首都圏	(n=900)	5.4	7.3	9.8	6.3	7.4	4.1	3.8	6.3	68.1
	京阪神圏	(n=900)	6.1	7.9	9.1	5.4	9.3	4.8	4.3	7.4	65.7
性別	男性	(n=900)	4.4	5.8	7.9	5.0	8.1	4.2	4.0	6.1	68.6
	女性	(n=900)	7.1	9.4	11.0	6.8	8.7	4.7	4.1	7.7	65.2
年代	20代	(n=300)	8.3	9.7	14.7	9.7	9.7	7.0	7.0	9.7	52.7
	30代	(n=300)	6.0	10.3	13.7	7.3	9.0	4.3	5.0	7.0	60.0
	40代	(n=300)	5.3	7.3	8.7	5.3	10.3	5.3	5.0	8.3	66.7
	50代	(n=300)	5.3	6.3	7.7	5.0	9.7	4.3	3.7	5.3	74.3
	60代	(n=300)	4.7	7.3	6.3	4.0	8.0	2.7	2.3	6.7	74.7
	70代以上	(n=300)	5.0	4.7	5.7	4.0	3.7	3.0	1.3	4.3	73.0

図表 53 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項
【まとめ買いするようになった】

【国産の食品を選んで買うようになった】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R5	全体 (n=1800)	8.9	6.1	9.9	9.2	8.6	10.6	10.6	10.2	7.3
エリア	首都圏 (n=900)	8.7	5.4	10.0	9.2	8.1	9.0	9.7	8.6	7.3
	京阪神圏 (n=900)	9.2	6.7	9.8	9.2	9.1	12.1	11.4	11.8	7.2
性別	男性 (n=900)	10.4	6.2	10.6	10.0	9.6	11.6	11.1	10.7	8.3
	女性 (n=900)	7.4	5.9	9.2	8.4	7.7	9.6	10.0	9.7	6.2
年代	20代 (n=300)	11.7	6.3	7.7	8.0	8.0	9.0	9.0	7.7	7.3
	30代 (n=300)	7.0	5.0	8.0	9.0	7.0	5.7	4.0	6.7	4.7
	40代 (n=300)	7.3	4.0	7.7	6.7	6.7	8.0	9.0	7.7	3.7
	50代 (n=300)	7.0	4.0	7.7	6.3	5.7	10.3	10.3	9.7	6.7
	60代 (n=300)	9.7	8.7	12.3	12.0	11.3	13.0	13.3	12.7	8.7
	70代以上 (n=300)	11.0	8.3	16.0	13.3	13.0	17.3	17.7	16.7	12.7
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R5	全体 (n=1800)	6.6	6.0	6.1	5.6	5.6	5.2	5.2	5.4	71.2
エリア	首都圏 (n=900)	5.8	5.6	5.7	5.0	5.1	4.8	4.7	5.4	72.7
	京阪神圏 (n=900)	7.4	6.4	6.6	6.1	6.1	5.6	5.8	5.4	69.7
性別	男性 (n=900)	8.1	6.6	6.6	6.6	7.1	6.4	6.4	6.8	70.2
	女性 (n=900)	5.1	5.4	5.7	4.6	4.1	3.9	4.0	4.1	72.1
年代	20代 (n=300)	7.0	5.7	4.7	4.7	4.7	5.0	6.3	6.0	59.7
	30代 (n=300)	5.0	3.7	5.7	4.0	5.3	4.7	5.0	5.7	71.3
	40代 (n=300)	4.0	3.7	4.7	5.7	3.0	3.7	3.3	5.7	75.3
	50代 (n=300)	4.7	3.7	4.3	4.3	5.3	3.7	3.7	3.7	79.3
	60代 (n=300)	8.0	8.7	8.0	6.3	6.3	7.0	6.0	5.3	74.0
	70代以上 (n=300)	11.0	10.7	9.3	8.3	9.0	7.0	7.0	6.3	67.3

図表 54 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項
【国産の食品を選んで買うようになった】

【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

											(%)
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R5	全体 (n=1800)	2.8	2.3	3.0	3.1	3.5	6.2	5.6	5.1	2.4	
エリア	首都圏 (n=900)	3.2	2.3	2.7	2.3	3.3	5.6	6.1	4.4	2.7	
	京阪神圏 (n=900)	2.4	2.3	3.3	3.8	3.7	6.9	5.1	5.8	2.2	
性別	男性 (n=900)	4.0	2.8	3.0	3.1	3.2	6.6	5.2	4.4	2.9	
	女性 (n=900)	1.7	1.9	3.0	3.0	3.8	5.9	6.0	5.8	2.0	
年代	20代 (n=300)	6.7	5.7	4.7	4.7	4.3	7.0	4.7	4.3	4.7	
	30代 (n=300)	4.7	2.0	2.3	4.3	4.0	5.0	4.0	3.7	3.3	
	40代 (n=300)	1.7	2.0	3.7	2.0	5.0	5.7	7.0	5.3	1.3	
	50代 (n=300)	2.0	2.0	1.7	2.0	2.0	4.3	4.0	4.0	1.3	
	60代 (n=300)	0.7	0.7	2.0	2.3	2.3	8.0	7.0	6.3	1.3	
	70代以上 (n=300)	1.3	1.7	3.7	3.0	3.3	7.3	7.0	7.0	2.7	
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない	
R5	全体 (n=1800)	1.9	2.8	2.2	2.7	2.1	1.7	1.8	2.3	77.9	
エリア	首都圏 (n=900)	2.1	3.0	1.9	2.6	1.8	1.4	1.7	2.1	77.9	
	京阪神圏 (n=900)	1.8	2.7	2.4	2.8	2.4	2.0	1.9	2.6	78.0	
性別	男性 (n=900)	2.1	3.0	2.2	3.1	2.0	1.7	1.6	2.2	77.3	
	女性 (n=900)	1.8	2.7	2.1	2.2	2.2	1.8	2.0	2.4	78.6	
年代	20代 (n=300)	3.0	3.7	4.0	4.3	3.0	3.0	3.0	3.0	63.0	
	30代 (n=300)	1.7	3.0	2.3	2.7	2.3	2.7	2.3	3.7	76.3	
	40代 (n=300)	2.3	3.0	2.7	2.7	2.0	0.7	1.0	1.7	80.3	
	50代 (n=300)	1.0	1.7	1.3	1.0	0.7	0.7	1.3	1.0	86.3	
	60代 (n=300)	2.3	2.0	1.7	3.3	2.0	1.3	1.0	2.3	80.7	
	70代以上 (n=300)	1.3	3.7	1.0	2.0	2.7	2.0	2.0	2.3	81.0	

図表 55 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項
【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

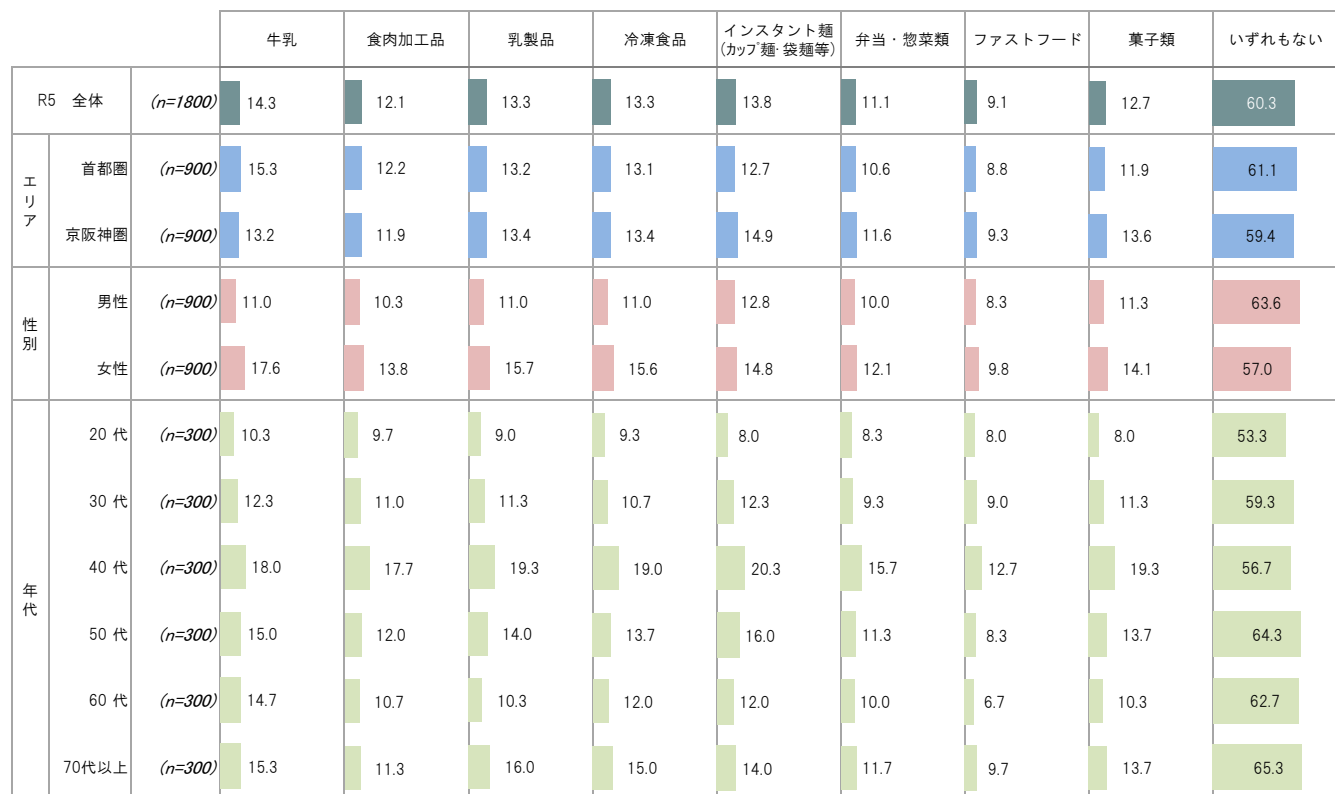
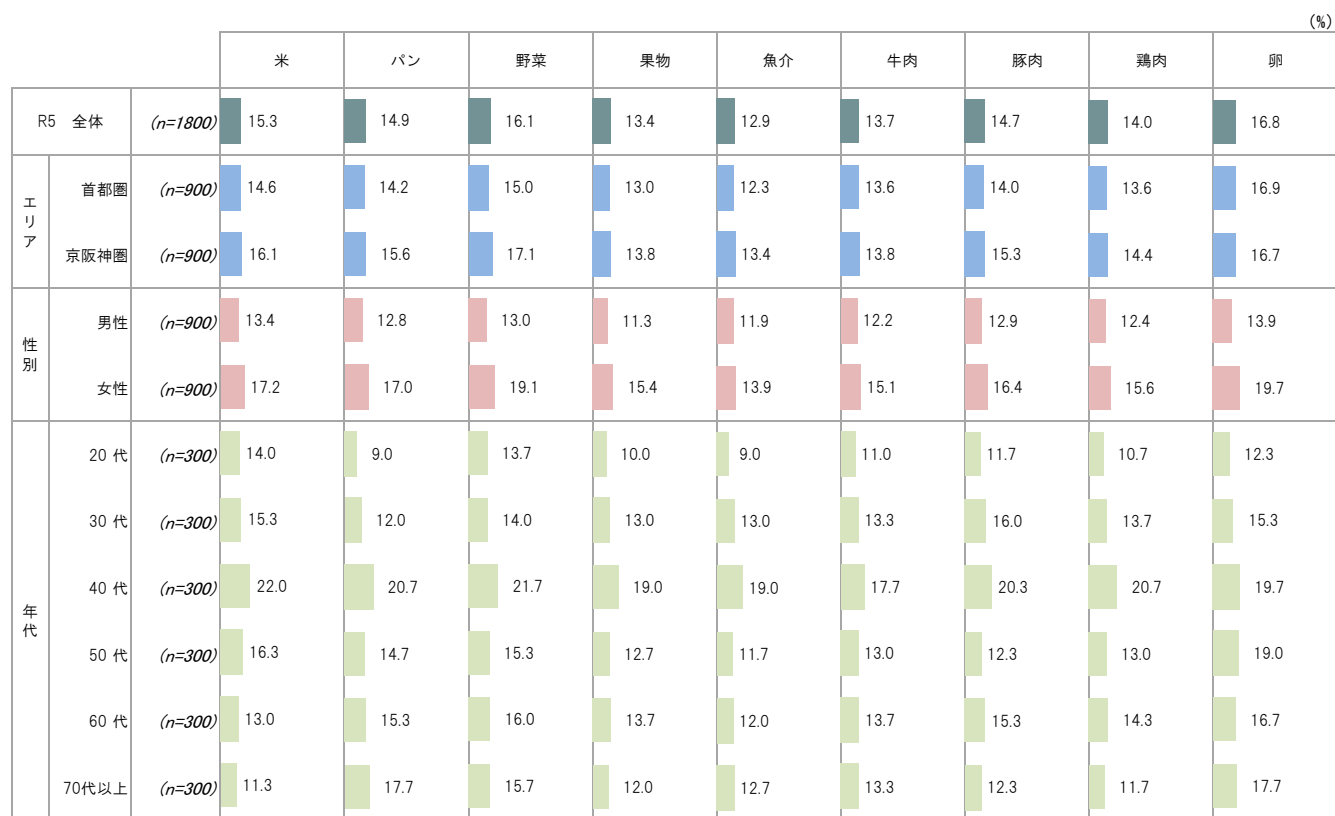
【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R5	全体	(n=1800) 15.1	15.4	14.9	12.5	13.5	13.7	14.4	13.9	12.7
エリア	首都圏	(n=900) 13.8	14.0	13.1	10.7	12.0	12.1	13.9	13.6	10.8
	京阪神圏	(n=900) 16.3	16.9	16.7	14.3	15.0	15.2	14.9	14.3	14.6
性別	男性	(n=900) 16.1	16.9	14.7	12.8	14.3	14.9	15.4	14.9	13.7
	女性	(n=900) 14.0	14.0	15.1	12.2	12.7	12.4	13.3	13.0	11.7
年代	20代	(n=300) 11.0	9.7	10.0	8.3	9.3	8.7	8.3	10.0	9.0
	30代	(n=300) 15.7	14.0	15.3	11.3	13.3	10.7	13.7	12.0	10.7
	40代	(n=300) 15.7	18.7	14.3	12.7	13.7	14.3	15.7	15.3	14.0
	50代	(n=300) 19.0	19.0	18.3	15.3	15.3	17.0	18.0	16.7	15.0
	60代	(n=300) 14.0	14.3	15.7	12.3	14.0	17.3	16.0	15.0	14.0
	70代以上	(n=300) 15.0	17.0	15.7	15.0	15.3	14.0	14.7	14.7	13.3

		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R5	全体	(n=1800) 11.9	11.1	11.4	12.2	12.2	10.0	8.5	11.1	58.9
エリア	首都圏	(n=900) 11.4	9.8	10.0	11.4	10.8	10.4	8.2	10.4	61.1
	京阪神圏	(n=900) 12.3	12.3	12.8	13.0	13.6	9.6	8.8	11.8	56.7
性別	男性	(n=900) 12.9	12.3	12.9	13.6	14.2	11.7	10.3	12.0	57.6
	女性	(n=900) 10.9	9.8	9.9	10.9	10.1	8.3	6.7	10.2	60.2
年代	20代	(n=300) 6.0	6.3	6.7	9.7	7.7	6.7	6.0	5.7	54.3
	30代	(n=300) 10.0	8.7	10.7	10.0	9.7	7.7	7.0	10.0	57.3
	40代	(n=300) 13.0	9.3	12.3	13.0	12.3	11.7	9.0	12.0	56.7
	50代	(n=300) 16.0	15.7	13.7	14.0	17.0	12.7	9.3	16.0	61.7
	60代	(n=300) 11.7	13.0	11.7	12.0	14.0	9.7	8.7	12.0	61.0
	70代以上	(n=300) 14.7	13.3	13.3	14.7	12.3	11.7	11.0	11.0	62.3

図表 56 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項
【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

【より価格の安い店を選んで買うようになった】



図表 57 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項
【より価格の安い店を選んで買うようになった】

4) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識 (Q50) : エリア・性・年代別分析

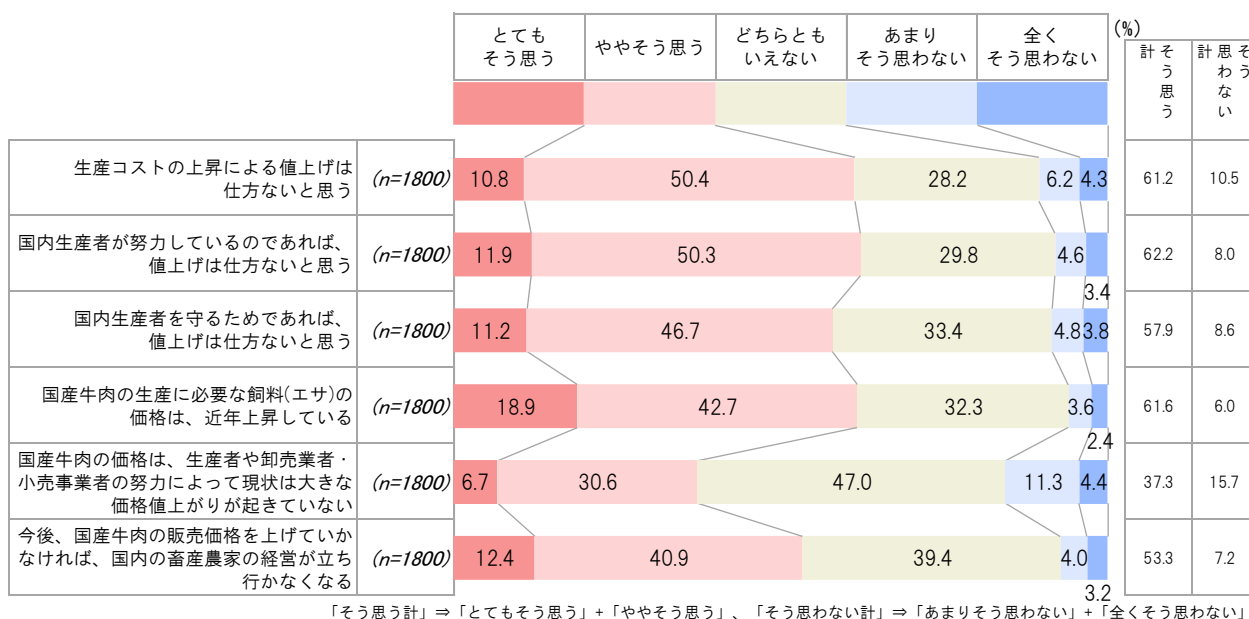
生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識 (Q50) を聞いた。「そう思う計」で見ると、「国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う」が 62.2% で最も多く、次いで、「国産牛肉の生産に必要な飼料 (エサ) の価格は、近年上昇している」が 61.6%、「生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う」が 61.2%、「国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う」が 57.9%、「今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる」が 53.3%、「国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がり起きていない」が 37.3% の順である。

エリア別・性別に「そう思う計」を見ても、大きな違いは見られない。

年代別に「そう思う計」を見ると、60代以上では「値上げは仕方ないと思う」「国産牛肉の生産に必要な飼料 (エサ) の価格は、近年上昇している」「今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる」が高いが、20代~40代では低くなっている。

燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

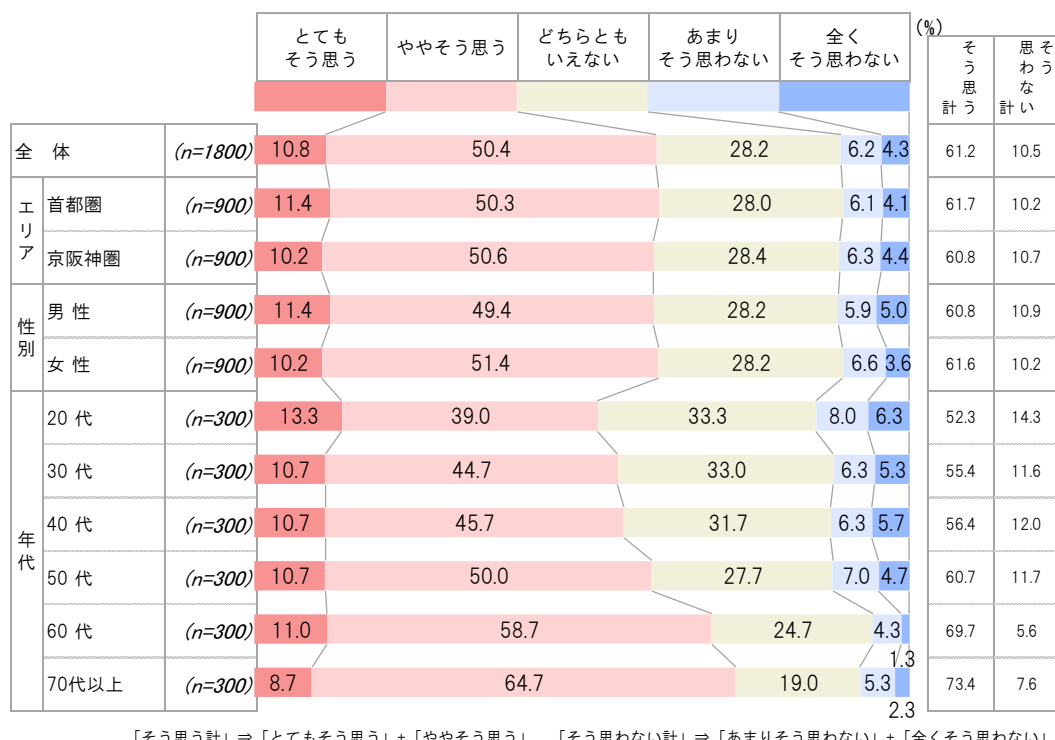
図表 58 提示説明文



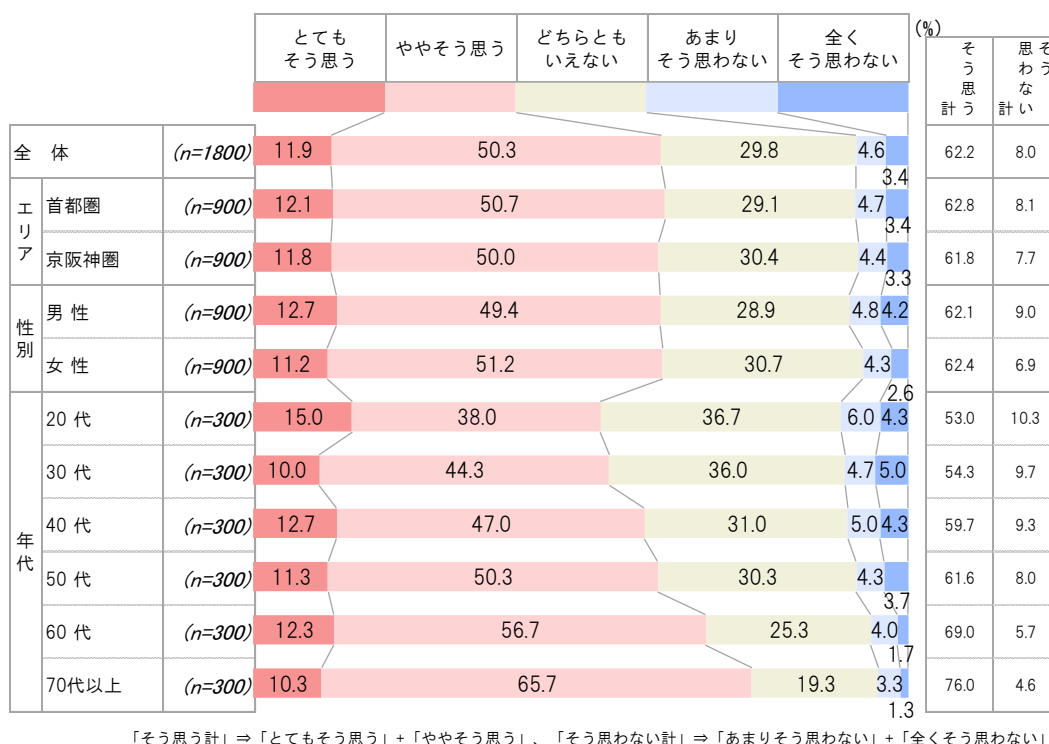
図表 59 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識について、エリア・性・年代別に見た。

項目 1 【生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う】

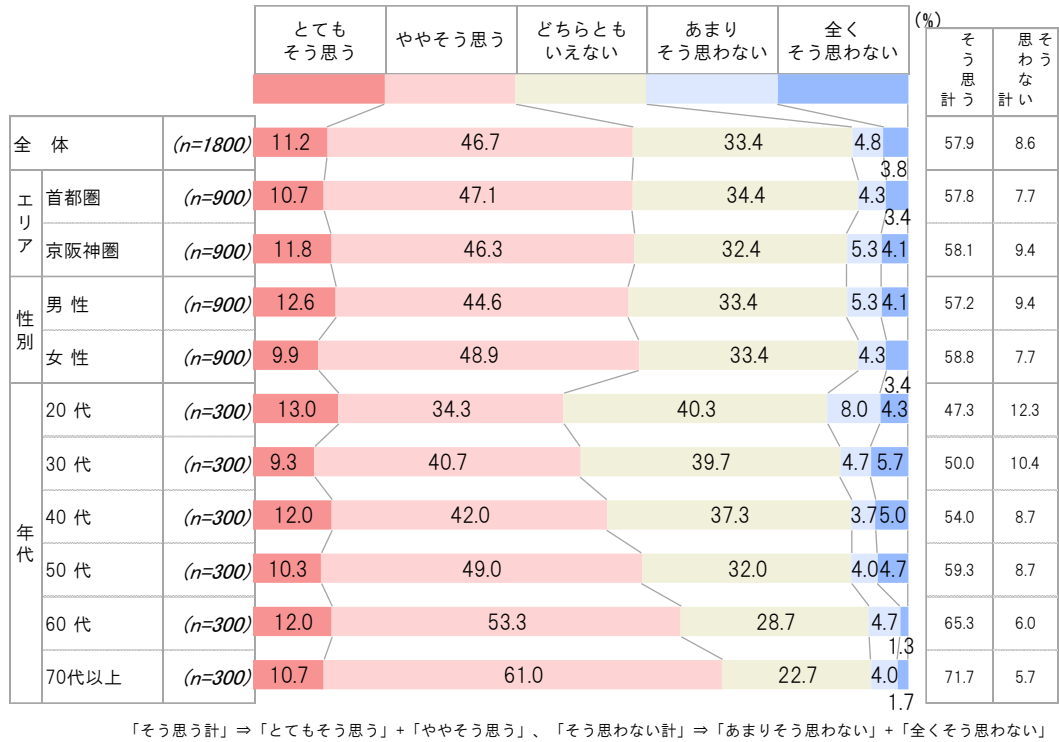


項目 2 【国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う】

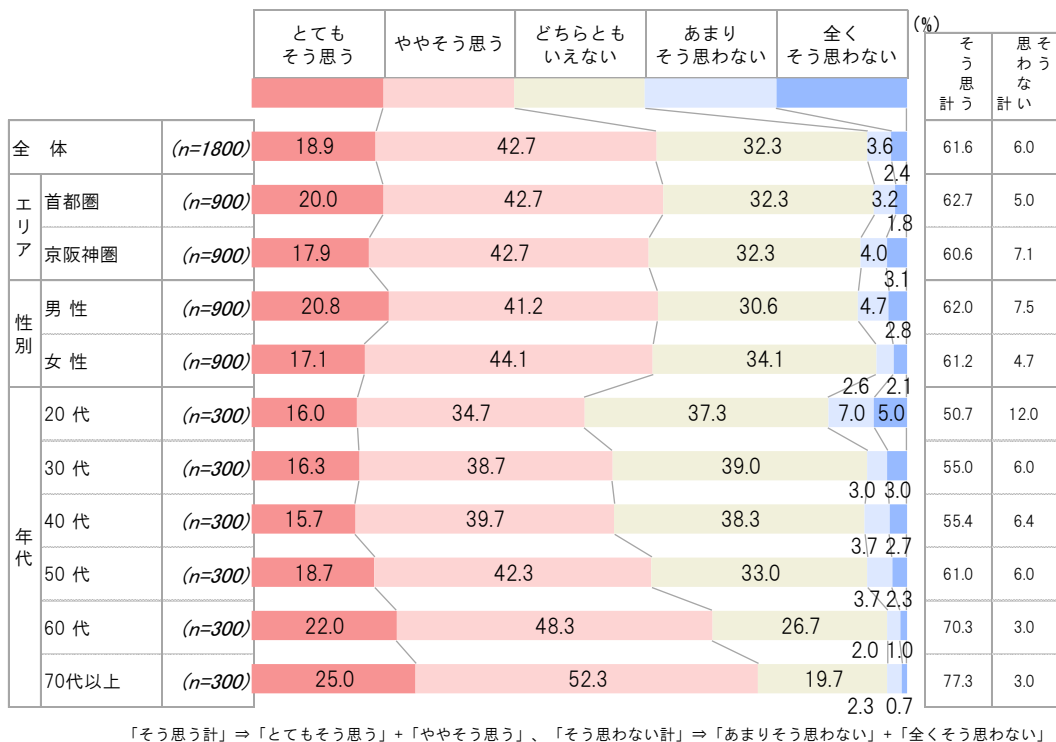


図表 60 (その1) エリア・性・年代別 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

項目 3 【国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う】

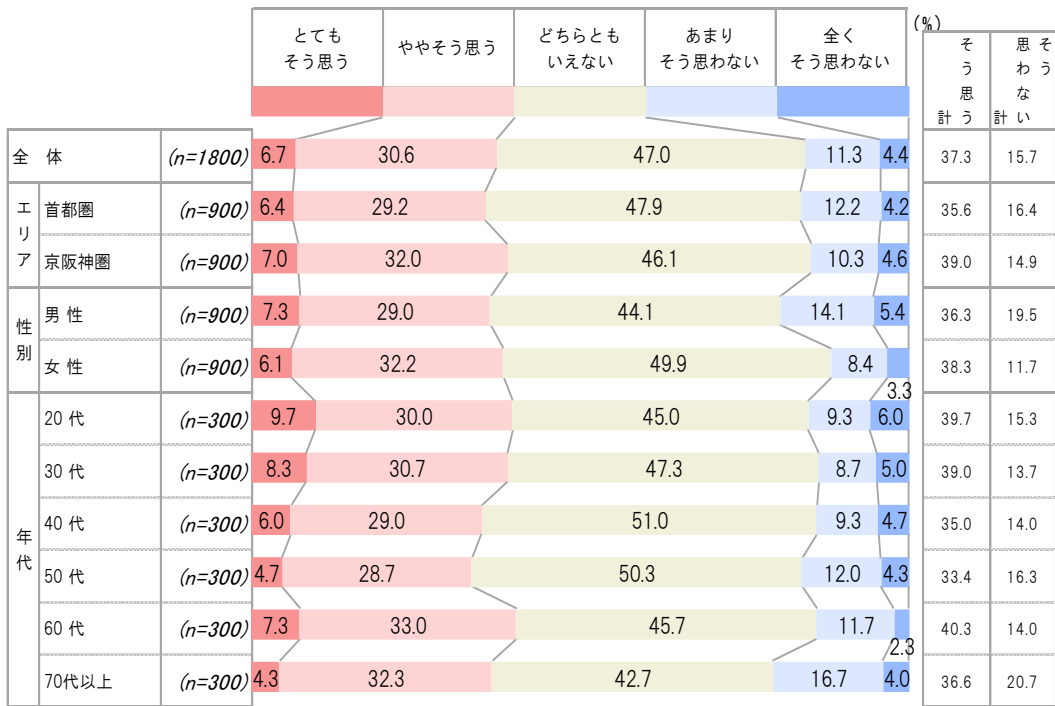


項目 4 【国産牛肉の生産に必要な飼料（エサ）の価格は、近年上昇している】



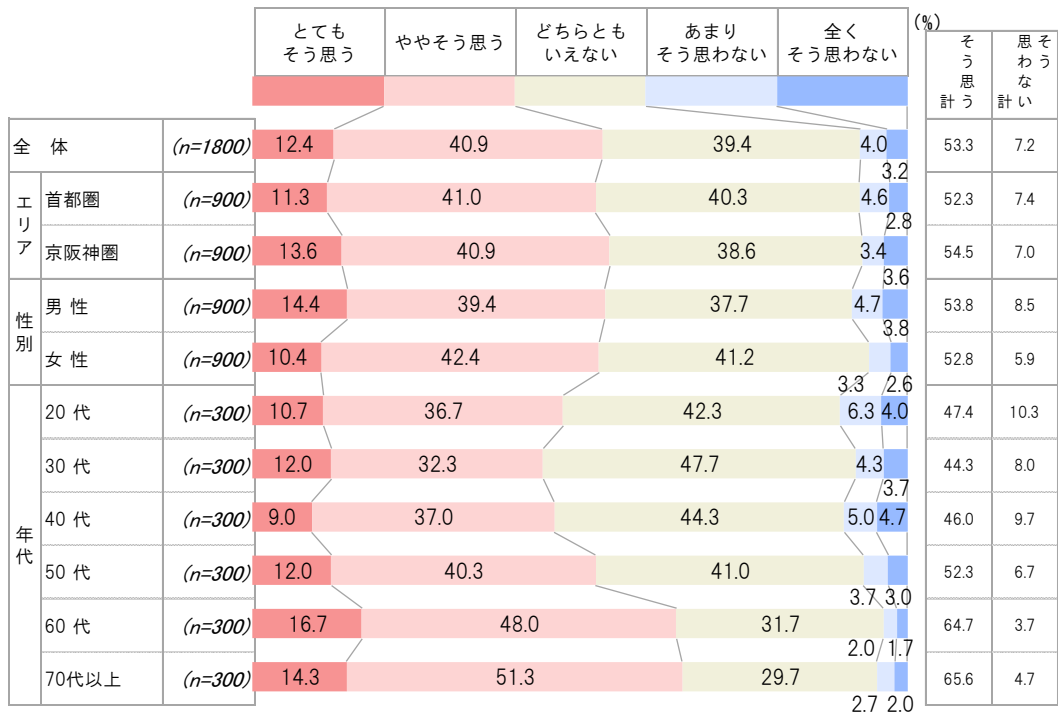
図表 60 (その2) エリア・性・年代別 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

項目 5 【国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりが起きていない】



「そう思う計」⇒「とてもそう思う」+「ややそう思う」、「そう思わない計」⇒「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

項目 6 【今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる】



「そう思う計」⇒「とてもそう思う」+「ややそう思う」、「そう思わない計」⇒「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

図表 60 (その3) エリア・性・年代別 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

5) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉に対する追加支払意思 (Q51) : エリア・性・年代別分析

生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うか (Q51) を聞いた。

「50円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が20.2%で最も多く、次いで「100円程度まで」が14.2%、「10円程度まで」が12.6%、「20円程度まで」が12.0%、「30円程度まで」が10.6%の順である。

「1円でも割高なら購入しない」は7.7%である。

「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」で見ると、平均63円/100gである。

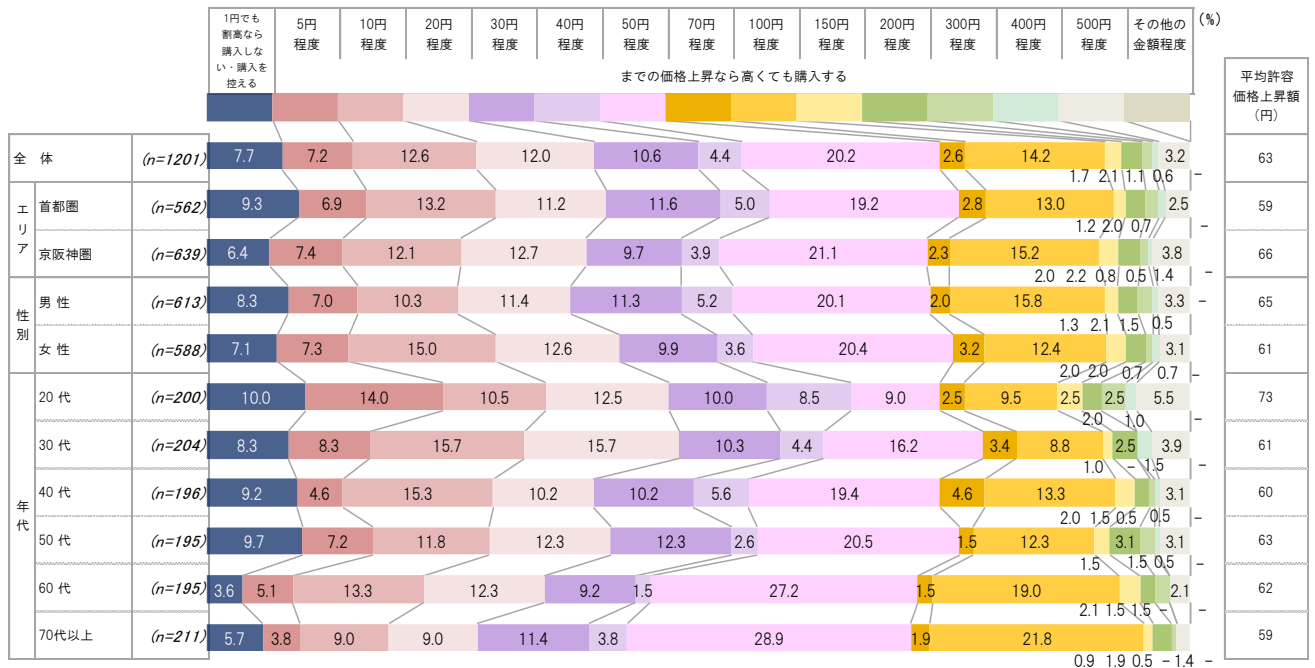
エリア別に「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」を見ると、首都圏が59円/100g、京阪神圏が66円/100gで、大きな違いは見られない。

性別に「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」を見ると、男性が65円/100g、女性が61円/100gで、大きな違いは見られない。

年代別に「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」を見ると、20代が73円/100gと最も高く、70代以上が59円/100gと最も低い。

燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

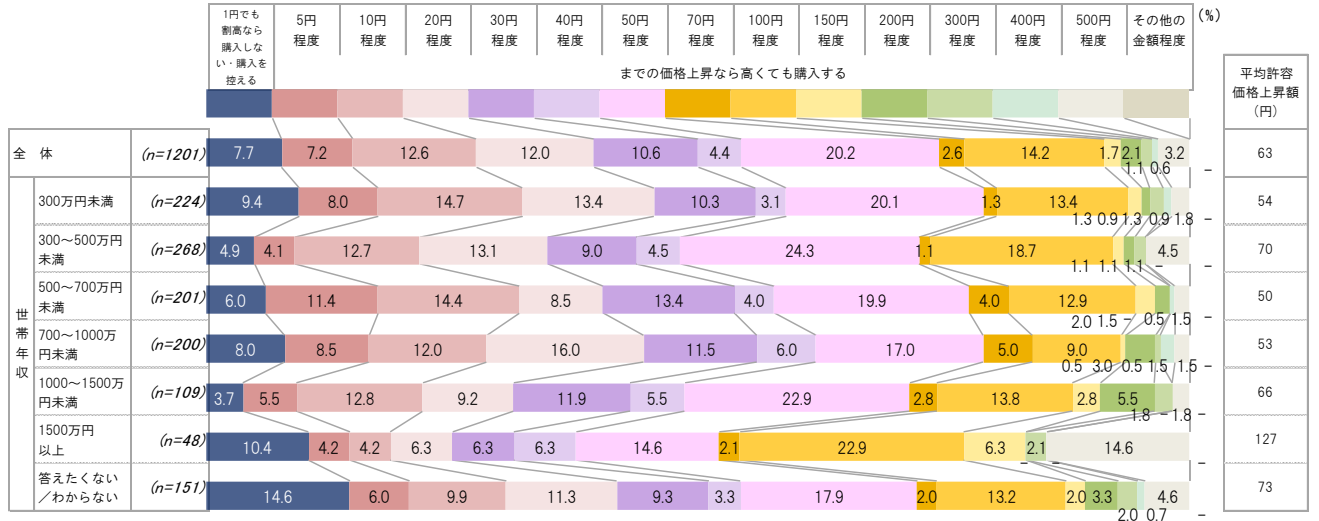
図表 61 提示説明文



図表 62 エリア・性・年代別

「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉に対する追加支払意思

世帯年収別に「平均許容価格上昇額（追加支払意思額）（円／100g）」を見ると、世帯年収 1500 万円以上では 127 円／100g と高いが、それ以下の世帯年収では、50 円台／100g、60 円台／100g となっており、世帯年収と国産牛肉の平均許容価格上昇額（追加支払意思額）には関係性は見られない。



図表 63 世帯年収別
「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉に対する追加支払意思

「国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（円／100g）」は、平均 417.1 円／100g（参照 155 ページ）であるので、平均許容価格上昇額（追加支払意思額）を加味した「国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（円／100g）」は、平均 480 円／100g と推定される。

		n	平均購入価格 (円)		平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円)		平均購入価格と 平均許容価格上昇額 の合計 (円)
全体		1,201	417	+	63	=	480
地域	首都圏	562	402	+	59	=	461
	京阪神圏	639	430	+	66	=	496
性	男性	613	437	+	65	=	502
	女性	588	397	+	61	=	458
年代	20代	200	390	+	73	=	463
	30代	204	394	+	61	=	455
	40代	196	373	+	60	=	433
	50代	195	380	+	63	=	443
	60代	195	471	+	62	=	533
	70代以上	211	491	+	59	=	550
世帯年収	300万円未満	224	341	+	54	=	395
	300～500万円未満	268	423	+	70	=	493
	500～700万円未満	201	413	+	50	=	463
	700～1000万円未満	200	431	+	53	=	484
	1000～1500万円未満	109	495	+	66	=	561
	1500万円以上	48	608	+	127	=	735
	答えたくない／わからない	151	389	+	73	=	462

図表 64 エリア・性・年代・世帯年収別
国産牛肉（和牛を含む）の普段の 100g あたり税込み平均購入価格と
「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」下の国産牛肉に対する追加支払意思額を
上乗せした平均許容購入価格のまとめ

6) 生産者サイドからの適正な価格形成の求めに応じ回答者が普段購入している国産牛肉について値上げを許容する規定要因と値上げ許容額に影響する要因の計量分析 (Q51、Q16、Q47～50)

① 普段購入している(和牛を含む)国産牛肉の価格帯と許容最大値上げ額のクロス集計結果

図表 65 は、普段購入している国産牛肉の価格帯を回答した 1,201 名について、購入価格帯と許容値上げ額のクロス集計結果である。各購入価格帯の階級値¹をもとに 100g あたり税込み購入価格の平均値は 418 円、中央値は 325 円、最頻値は 225 円であった。最大許容値上げ額に関して、“1 円でも割高なら買わない/購入を控える”回答者は 93 人で全体の 7.7%と少なかった。100g あたり税込み最大許容値上げ額の平均値は 63 円 (68 円)²、中央値は 30 円 (40 円)、最頻値は 50 円 (50 円) であった。最大許容値上げ額の対購入価格割合の平均値は 17%だが、100%を超える回答者が 24 人と全体の 2%を占め、後者は外れ値の可能性が大きい。

		許容最大値上げ額 (税込み円/100g)														合計
		0	5	10	20	30	40	50	70	100	150	200	300	400	500	
普段購入している国産牛肉の価格帯 (税込み円 / 100g)	99円以下	13	3		4				1	3						24
	100～149円	23	8	16	8	8	1	8	1	6				1	2	82
	150～199円	13	14	16	20	9	6	14	2	7	2	3	1		2	109
	200～249円	10	14	27	27	13	3	32	3	8	1	1	1	1	1	142
	250～299円	8	13	18	13	23	3	41		18		2			1	140
	300～349円	5	7	19	16	16	8	28	5	11	2		1	1	1	120
	350～399円	6	6	10	16	10	5	24	1	18	3		1		2	102
	400～449円	1	8	10	5	10	3	13	4	15	2	1	1		2	75
	450～499円	3	3	5	6	10	2	10	1	8		3	1	1	2	55
	500～549円	4	3	5	3	8	5	21	3	23	3	2		2	2	84
	550～599円	1	3	6	1	2	6	8		9	1	1				38
	600～649円	2	1	4	7	2	2	7	1	8		1	1		2	38
	650～699円	1			2	5	2	6	2	1		1				20
	700～749円			3	6	1	2	3	2	9	1				3	30
	750～799円			1	1	1	2	6	2	4					3	20
	800～849円		2	3	4	5		5	1	11	1		1		3	36
	850～899円			3			1	5	2	2	1	2	1		1	18
	900～949円		1	1	2			3						1		8
	950～999円			1	1	2	1	2		1	1	1	1			11
	1,000～1,099円	3		1		2		5		5	1	2				19
1,100～1,199円				1					1		2	1			5	
1,200～1,299円			2						1		2	1		1	7	
1,300～1,399円						1	1		1		1			1	5	
1,400～1,499円				1											1	
1,500円以上							1			1		1		9	12	
合計		93	86	151	144	127	53	243	31	170	20	25	13	7	38	1,201

(度数単位：人)

図表 65 普段購入している(和牛を含む)国産牛肉の価格帯と許容値上げ額のクロス集計結果表

¹ “99 円以下”、“1,500 円以上”の各階級値は、それぞれ、95 円、1,550 円とした。

² () は、“1 円でも割高なら買わない/購入を控える”と回答したものを除いた場合の値である。

② 回答者が国産牛肉の値上げを許容する規定要因の二項プロビット回帰分析

回答者が、生産者サイドからの適正な価格形成の求めに応じて国産牛肉の値上げを許容する意思があるかどうかを決定する要因を、次式の二項プロビット回帰モデルを計測して検討した。

二項プロビット回帰分析は、国産牛肉に割高な価格を支払うか否かを直接予測するのではなく、割高な価格を支払う確率を予測する。被説明変数の値は0（＝割高なら購入しない／購入を控える）と1（＝一定程度の価格上昇までなら購入する）の値を取る。分析の結果、被説明変数の予測値（追加支払確率予測値）が0.5より大きいなら割高な価格を支払うと判定し、0.5を下回ると割高な価格を支払わないと判定する。

d_i は*i*番目の回答者について観測される変数で、その値が1なら割高な価格を支払い許容意思あり、0なら許容意思なしと定義する。 d_i^* は観察できない潜在変数、 Z_i は*i*番目の回答者の説明変数のベクトル、 α はパラメータベクトル、 u_i はすべての回答者について独立で同一の標準正規分布に従う誤差項を表す。

$$(1) \quad d_i^* = \alpha_1 Z_{1i} + \alpha_2 Z_{2i} + \dots + \alpha_K Z_{Ki} + u_i = \alpha' Z_i + u_i$$

$$\text{ただし、} d_i = \begin{cases} 1, & \text{if } d_i^* \geq 0 \\ 0, & \text{if } d_i^* < 0 \end{cases}$$

d_i が0、1の値をとる確率（尤度）は、 u_i の累積分布関数 Φ を用いて、それぞれ、 $\text{Prob}(d_i = 0) = 1 - \Phi(\alpha' Z_i)$ 、 $\text{Prob}(d_i = 1) = \Phi(\alpha' Z_i)$ となるので、次式のと対数尤度関数を最大化するパラメータ α を推定する。

$$(2) \quad \ln L = \sum_{i=1}^n [y_i \ln \Phi(\alpha' Z_i) + (1 - y_i) \ln (1 - \Phi(\alpha' Z_i))]$$

図表 66 に掲げた被説明変数と説明変数データに二項プロビット回帰モデルを適用して最尤推定した。なお、首都圏在住の30代男性大卒者を基準にしたので、それらに関する回答者属性変数はモデルに含まれていない。

図表 67 は、二項プロビット回帰モデルの計測結果である。回答者が国産牛肉の値上げを許容するかどうか有意に影響する要因は、普段の国産牛肉購入価格と“国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う”意識度の2つであることが確認された。

変数	変数値	プロビット 回帰		Interval 回帰	
		平均値 ($n_1 = 1201$)	S.D.	平均値 ($n_2 = 1,108$)	S.D.
普段購入している国産牛肉の値上げ許容意思	あり=1, なし=0	0.92	0.27		
京阪神圏	京阪神圏居住=1, 首都圏居住=0	0.53	0.50	0.54	0.50
女性	女性=1, 男性=0	0.49	0.50	0.49	0.50
子供の有無	小学生以下の子供がいる=1, いない=0	0.16	0.37	0.16	0.37
20代	20代=1, 他の年代=0	0.17	0.37	0.16	0.37
40代	40代=1, 他の年代=0	0.16	0.37	0.16	0.37
50代	50代=1, 他の年代=0	0.16	0.37	0.16	0.37
60代	60代=1, 他の年代=0	0.16	0.37	0.17	0.38
70代以上	70代以上=1, 69歳未満=0	0.18	0.38	0.18	0.38
中卒	学歴が中学校まで=1, それ以外=0	0.02	0.13	0.02	0.13
専門学校卒	学歴が専門学校まで=1, それ以外=0	0.25	0.43	0.25	0.43
短大・高専卒	学歴が短大・高専まで=1, それ以外=0	0.10	0.30	0.10	0.30
大卒・大学在籍	学歴が大学卒業か在籍=1, それ以外=0	0.10	0.31	0.10	0.31
大学院修了・在籍	学歴が大学院修了か有=1, それ以外=0	0.03	0.18	0.04	0.19
物価上昇による食生活の不安感	不安を感じない=1, どちらかといえば不安を感じない=2, どちらともいえない=3, どちらかといえば不安を感じる=4, 不安を感じる=5	3.8	1.11	3.8	1.10
物価上昇による食生活への影響度	影響がなかった=1, どちらかといえば影響がなかった=2, どちらともいえない=3, どちらかといえば影響があった=4, 影響があった=5	3.6	1.08	3.6	1.07
物価上昇により牛肉の購入量が減った	該当=1, 非該当=0	0.1	0.28	0.1	0.28
物価上昇により牛肉の購入回数が減った		0.1	0.30	0.1	0.30
物価上昇により牛肉をまとめ買いするようになった		0.1	0.29	0.1	0.30
物価上昇により国産の牛肉を選んで買うようになった		0.1	0.34	0.1	0.35
物価上昇により輸入牛肉をあまり買わないようになった		0.1	0.26	0.1	0.27
物価上昇により、より安い牛肉を選んで買うようになった		0.1	0.35	0.1	0.34
物価上昇により、より価格の安い店を選んで牛肉を買うようになった		0.1	0.35	0.1	0.35
生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う		3.7	0.88	3.7	0.83
国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う	3.7	0.85	3.7	0.80	
国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う	3.6	0.87	3.7	0.83	
国産牛肉の生産に必要な飼料の価格は近年上昇している	全くそう思わない=1, あまりそう思わない=2, どちらともいえない=3, ややそう思う=4, とてもそう思う=5	3.8	0.87	3.8	0.84
国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者、小売事業者関係者の努力によって現状は大きな価格値上がり起きていない	3.3	0.92	3.3	0.90	
今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる	3.6	0.87	3.7	0.84	
普段購入している国産牛肉の価格	購入価格帯の階級値 (税込み円/100g)	418	269	432	270

注) プロビット回帰モデルの被説明変数に関する情報は薄緑色の背景色をつけている。

Interval 回帰モデルの被説明変数については、本文の説明を参照。S. D. は標準偏差を表す。

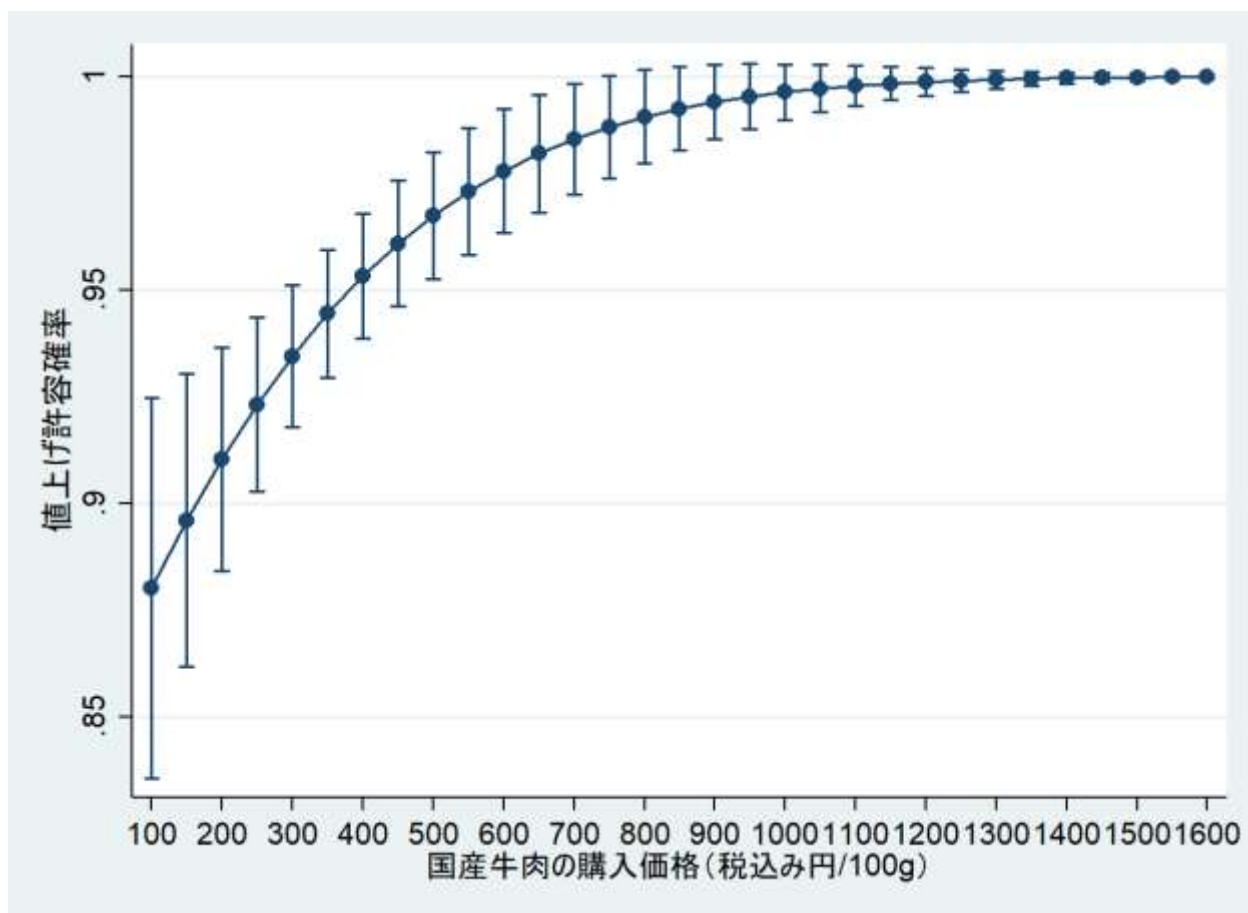
図表 66 分析モデルの計測に用いた変数一覧

説明変数	計測結果	
	係数推定値	p-値
京阪神圏	0.170	0.142
女性	0.172	0.157
子供の有無	0.070	0.668
20代	-0.150	0.433
40代	0.048	0.806
50代	0.052	0.797
60代	0.284	0.227
70代以上	0.030	0.891
中卒	0.016	0.969
専門学校卒	0.080	0.592
短大・高専卒	0.100	0.624
大卒・大学在籍	0.108	0.605
大学院修了・在籍	0.220	0.578
物価上昇による食生活の不安感	0.073	0.320
物価上昇による食生活への影響度	0.005	0.950
物価上昇により牛肉の購入量が減った	-0.239	0.230
物価上昇により牛肉の購入回数が減った	0.022	0.911
物価上昇により牛肉をまとめ買いするようになった	0.334	0.134
物価上昇により国産の牛肉を選んで買うようになった	0.120	0.568
物価上昇により輸入牛肉をあまり買わないようになった	0.589	0.059
物価上昇により、より安い牛肉を選んで買うようになった	0.015	0.925
物価上昇により、より価格の安い店を選んで牛肉を買うようになった	0.252	0.089
生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う	0.014	0.870
国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う	-0.028	0.751
国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う	0.354	0.001<
国産牛肉の生産に必要な飼料の価格は近年上昇している	0.103	0.219
国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者、小売事業者関係者の努力によって現状は大きな価格値上がりが起きていない	0.035	0.668
今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる	0.018	0.835
普段購入している国産牛肉の価格	0.001671	0.001<
(定数項)	-0.424	0.304
最大対数尤度	-273.05	
Wald χ^2 ($df = 25$)	101.63 ($p < 0.001$)	
Pseudo R^2	0.165	
的中率	93%	

注) 黄色の背景色の係数推定値は、有意水準が1%未満である。

図表 67 国産牛肉値上げの許容意思に関する二項プロビット回帰モデルの計測結果

普段の国産牛肉購入価格、“国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う”意識度、それぞれの値変化が値上げ許容確率に及ぼす影響を「見える化」するために、図表 68、図表 69 に、それぞれのマージンプロット図を示した。

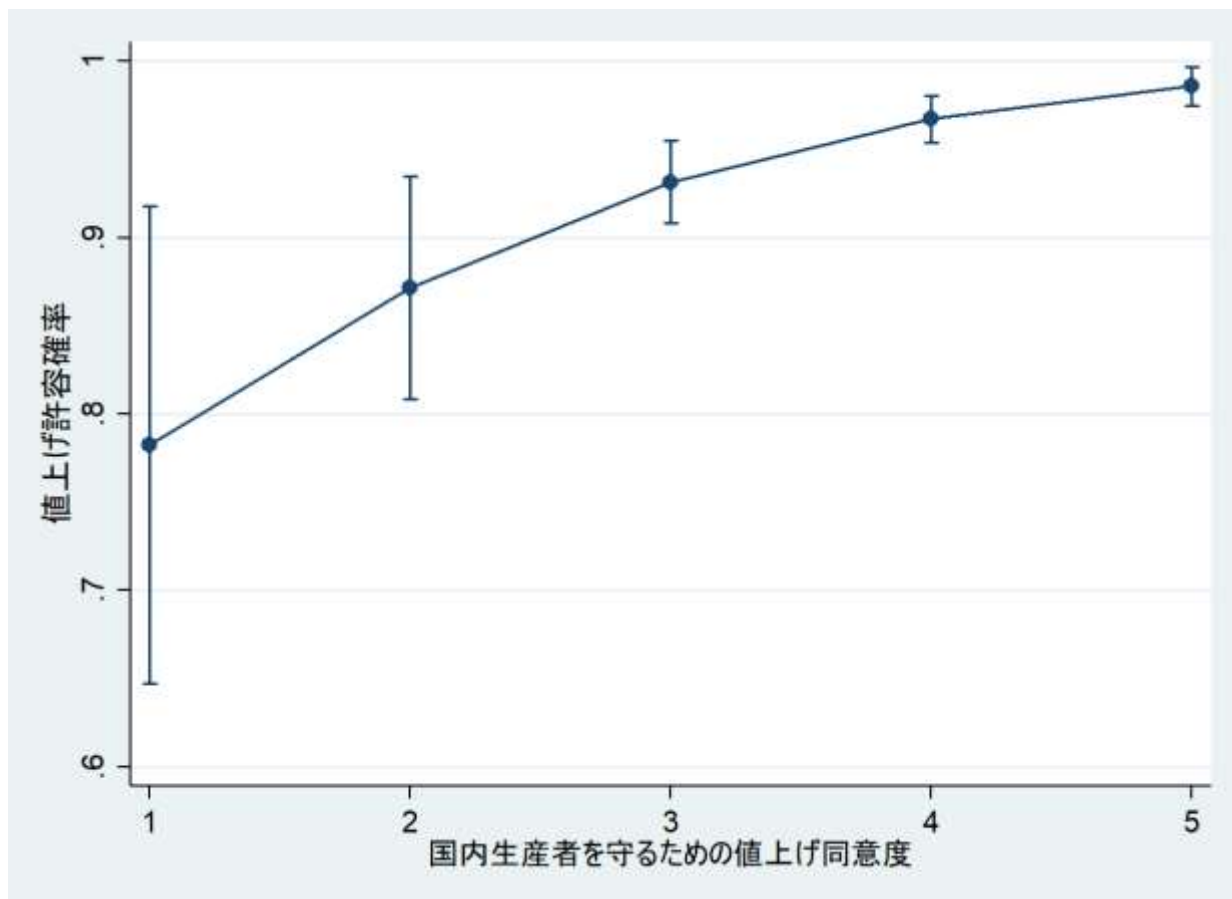


注：バーは 95%信頼区間を示す。横軸の変数以外の説明変数は全てサンプル平均値に固定。

図表 68 普段購入している国産牛肉価格が 100 円から 1,600 円までの値上げ許容確率のマージンプロット

図表 68 によれば、普段購入している国産牛肉の税込み単価が 400 円未満なら、値上げ許容確率は 0.95 以下で 95%信頼区間の幅も相対的に広いが、600 円以上になると値上げ許容確率の 95%信頼区間下限値も 0.95 を上回る。

また、図表 69 から、“国内生産者を守るための値上げは仕方ないと思う”に、「全くそう思わない」(1)と回答した人の値上げ許容確率は0.8以下で95%信頼区間も幅広いが、「あまりそう思わない」(2)、「どちらともいえない」(3)、「ややそう思う」(4)、「とてもそう思う」(5)の順に値上げ許容確率が高まり、95%信頼区間の幅も狭くなっていることがわかる。



注：バーは95%信頼区間を示す。横軸の変数以外の説明変数は全てサンプル平均値に固定。

図表 69 国内生産者を守るための値上げへの同意度に関する国産牛肉値上げ許容確率のマージンプロット

③ 国産牛肉の値上げを許容する回答者が許容する価格上昇額の規定要因の interval 回帰分析

生産者サイドからの適正な価格形成の求めに応じて、国産牛肉の値上げを許容しても良いと回答し、かつ普段購入している国産牛肉の価格帯を覚えている回答者 1,108 人について、許容する価格上昇額（追加支払意思額：Marginal Willingness to Pay (MWTP)）の規定要因を interval 回帰分析によって検討した。

本調査の Q53 は支払いカード方式による CVM 質問のため、回答者の正確な MWTP 付け値は、ある一定金額の区間内 (interval) にあることはわかるが、直接観察することができない。そこで、一定の区間内に正確な MWTP が含まれていることがわかっているデータから、MWTP 付け値に影響する要因とサンプルの平均 MWTP を定量的に検討できる次式の片対数線形 interval 回帰モデルを採用した。

$$(3) \ln MWTP_j^* = \beta_0 + \beta_1 X_{1j} + \beta_2 X_{2j} + \dots + \beta_M X_{Mj} + \varepsilon_j = \beta' X_j + \varepsilon_j$$

$MWTP_j^*$ は調査者が観察できない j 番目の回答者の MWTP 付け値、 X_j は説明変数のベクトル、 β はパラメータベクトル、 ε_j はすべての回答者について独立で同一の平均 0、分散 σ^2 の正規分布に従う誤差項を表す。

ベクトル $v = (v_1, v_2, \dots, v_L)$ の各要素が、支払いカードで提示された最大許容割増支払額の昇順の並びとし、 v_l を j 番目の回答者が選んだ最大許容割増支払額としよう。当該回答者が v_l を選ぶ確率 $\text{Prob}(v_l)$ は、その $MWTP_j$ の自然対数値が区間 $[\ln(v_{l-1} + 1), \ln v_l]$ 内に存在する確率に他ならないから

$$(4) \text{Prob}(v_l) = \Phi\left(\frac{\ln v_l - \beta' X_j}{\sigma}\right) - \Phi\left(\frac{\ln(v_{l-1} + 1) - \beta' X_{j-1}}{\sigma}\right)$$

と表せる。ただし、 Φ は ε_j の累積分布関数を表す。そこで、次式の対数尤度関数を最大化するパラメータ β, σ を推定する。

$$(5) \ln L = \sum_{j=1}^m \ln \left[\Phi\left(\frac{\ln v_l - \beta' X_j}{\sigma}\right) - \Phi\left(\frac{\ln(v_{l-1} + 1) - \beta' X_{j-1}}{\sigma}\right) \right]$$

平均 MWTP は係数推定値と説明変数値を用いて、 $\exp(\hat{\beta}' \bar{X} + \frac{\hat{\sigma}^2}{2})$ として推計できる。ここで、パラメータ上付き“ $\hat{\cdot}$ ”記号は interval 回帰の推定値、説明変数ベクトルの上付き“-”記号はサンプル平均値であることを表す。

MWTP 付け値の intervals は、[1, 5]、[6, 10]、[11, 20]、[21, 30]、[31, 40]、[41, 50]、[51, 70]、[71, 100]、[101, 150]、[151, 200]、[201, 300]、[301, 400]、[401, 500]で、各上・下限値を対数変換して計測に用いた。

図表 70 は、interval 回帰の計測結果である。片対数線形 interval 回帰モデル (3) 式における回帰係数 β_k は、他の説明変数を一定として X_k のみを 1 だけ増加させたとき、MWTP 付け値が平均的に $100 \times \beta_k \%$ だけ増加すると解釈される。

したがって、図表 70 から、①「物価上昇により国産の牛肉を選んで買うようになった」回答者の国産牛肉の許容価格上昇額は、そうでない回答者に比べて 19%高い、② 物価上昇による食生活の不安感が 1 段階高まると許容価格上昇額は 9%減少する、③ 物価上昇による食生活への影響度が 1 段階高まると許容価格上昇額は 14%減少する、④「国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ない」と思う度合いが 1 段階高まると、許容価格上昇額は 13%増加すると認められた。また、⑤ 普段購入している国産牛肉 100g あたり単価が税込みで 100 円高いと、許容価格上昇額は 13%増加することも明らかとなった。

なお、interval 回帰モデルの推定結果と説明変数のサンプル平均値から推計された平均許容価格上昇額は 100g あたり税込みで 61 円、その 95%信頼区間は [59 円, 64 円]であった。

説明変数	計測結果	
	係数推定値	p-値
京阪神圏	0.021	0.745
女性	-0.053	0.445
子供の有無	0.018	0.858
20代	0.004	0.974
40代	0.185	0.104
50代	0.138	0.259
60代	0.050	0.678
70代以上	0.090	0.453
中卒	-0.365	0.208
専門学校卒	0.103	0.235
短大・高専卒	0.041	0.721
大卒・大学在籍	0.179	0.145
大学院修了・在籍	0.242	0.113
物価上昇による食生活の不安感	-0.095	0.021
物価上昇による食生活への影響度	-0.136	0.001
物価上昇により牛肉の購入量が減った	-0.097	0.342
物価上昇により牛肉の購入回数が減った	0.106	0.327
物価上昇により牛肉をまとめ買いするようになった	0.103	0.363
物価上昇により国産の牛肉を選んで買うようになった	0.188	0.041
物価上昇により輸入牛肉をあまり買わなくなった	0.180	0.103
物価上昇により、より安い牛肉を選んで買うようになった	0.017	0.861
物価上昇により、より価格の安い店を選んで牛肉を買うようになった	-0.100	0.293
生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う	0.021	0.700
国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う	-0.028	0.651
国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う	0.126	0.045
国産牛肉の生産に必要な飼料の価格は近年上昇している	0.086	0.132
国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者、小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がり起きていない	-0.061	0.130
今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる	0.063	0.247
普段購入している国産牛肉の価格	0.001319	0.001<
(定数項)	2.736	0.001<
1/lnσ	0.06205	0.006
最大対数尤度	-2749.15	
Wald χ^2 (df = 25)	252.22 (p < 0.001)	
Cragg-Uhler/Nagelkerke R ²	0.176	

注) 黄色の背景色の係数推定値は、有意水準が5%未満である。

誤差項分散の自然対数の逆数推定値の最尤推定結果は薄黄色の背景色で示した。

図表 70 国産牛肉の許容価格上昇額に関する interval 回帰モデルの計測結果

2.4 「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識の考察

- 脂肪交雑基準 (B.M.S) No.1~No.10 の各画像を提示して、「赤身肉」、「霜降り肉」と考える国産牛肉を尋ねた結果、「赤身肉」と回答した割合は、B.M.S No.1 が 100%、B.M.S No.1 と No.2 が 74.1%、B.M.S No.1~No.3 が 53.9%、B.M.S No.1~No.4 が 33.5%だった。一方、「霜降り肉」と回答した割合は、B.M.S No.10 が 100.0%、B.M.S No.9 と No.10 が 86.7%、B.M.S No.8~No.10 が 75.7%、B.M.S No.7~No.10 が 66.2%、B.M.S No.6~No.10 が 56.5%、B.M.S No.5~No.10 が 39.6%、B.M.S No.4~No.10 が 31.0%だった。※画像 1・2 (B.M.S No.1・2)は写真提示なし
- 「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」は、B.M.S No.1~No.4 の合計が 43.6%で、脂肪交雑が標準以下の国産牛肉を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としている人が約 4 割程度いる。一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」では、脂肪交雑がかなり多い B.M.S No.10 から、脂肪交雑がほとんどない B.M.S No.1 まで、好みが分散している。※画像 1・2 (B.M.S No.1・2)は写真提示なし
- 国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合に購入したい牛肉は、「霜降り肉」が 60.3%と、「赤身肉」の 39.7%をかなり上回る。
- 国産牛肉の「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度は、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が 38.5%で最も多い。一方、「赤身肉」より安価でも、「霜降り肉」を購入しない（値段に関係なく、「赤身肉」を購入する）」が 29.1%。
- 国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」と「霜降り肉」を選択する頻度は、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」が 31.6%と最も多く、次いで「毎回「赤身肉」を購入する」が 17.6%で、回答者の 49.2%が購入している普段の国産牛肉は「赤身肉」である。
- 「赤身肉」に期待する特徴は「満足感」が 36.2%で最も多く、次いで、「安価」が 35.5%、「ヘルシーさ」が 29.6%、「歯ごたえ」が 24.2%、「やわらかさ」が 22.2%の順。一方、「霜降り肉」に期待する特徴は「やわらかさ」が 39.5%で最も多く、次いで、「ジューシー」が 36.9%、「とろける食感」が 36.2%、「高級感」が 31.3%、「満足感」が 30.8%の順。
- 「赤身肉」の調理メニューは、「焼き肉」が 47.6%で最も多く、次いで、「ステーキ」が 32.1%、「ビーフカレー」が 31.9%、「ビーフシチュー」が 27.8%、「ローストビーフ」が 25.2%、「牛丼」が 24.6%で多岐に渡っている。一方、「霜降り肉」の調理メニューは、「ステーキ」が 44.1%で最も多く、次いで、「すき焼き」が 42.4%、「焼き肉」が 38.2%、「しゃぶしゃぶ」が 31.5%の順で、ハレの日のご馳走メニューに集中。
- 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向は、「もともと「霜降り肉」も「赤身肉」も同じ程度好き（好みは変わらない）」が 39.6%で最も多く、「赤身肉」派が 34.3%。一方、「霜降り肉」派は 26.2%。
- 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化は、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」が 49.6%と半数を占める。
- 主に購入する「赤身肉」の原産地は、「国産牛肉」が 49.3%で半数を占める。

2.4 では、「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識を探ることを目的とした。

1) 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義 (Q33) : エリア・性・年代別分析

画像(*)を提示して、「赤身肉」と考える国産牛肉を全て選択してもらったところ(Q33(1))、「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」は100.0%と全員が選択した。「画像2(B.M.S No.2)写真提示なし」までが74.1%、「画像3(B.M.S No.3)」までが53.9%、「画像4(B.M.S No.4)」までが33.5%である。

次に、画像(*)を提示して、「霜降り肉」と考える国産牛肉を全て選択してもらったところ(Q33(2))、「画像10(B.M.S No.10)」は100.0%と全員が選択した。「画像9(B.M.S No.9)」までが86.7%、「画像8(B.M.S No.8)」までが75.7%、「画像7(B.M.S No.7)」までが66.2%、「画像6(B.M.S No.6)」までが56.5%、「画像5(B.M.S No.5)」までが39.6%、「画像4(B.M.S No.4)」までが31.0%である。

「画像4(B.M.S No.4)」については、「赤身肉」「霜降り肉」と考える人が約3割ずつおり、判断が拮抗している。

【赤身肉】

エリア別、性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、20代では「画像4(B.M.S No.4)」～「画像7(B.M.S No.7)」を「赤身肉」と考える割合が他の年代より多い。

【霜降り肉】

エリア別に見ると、「画像8(B.M.S No.8)」までを「霜降り肉」と考える割合が、首都圏が77.6%、京阪神圏が73.9%と京阪神より首都圏の方が多。

性別に見ると、「画像4(B.M.S No.4)」までを「霜降り肉」と考える割合が、男性が34.2%、女性が27.8%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、70代以上は「画像5(B.M.S No.5)」～「画像2(B.M.S No.2)」を「霜降り肉」として選択する割合が少なくなっている。

*【画像について】は以下の説明を提示した。

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。

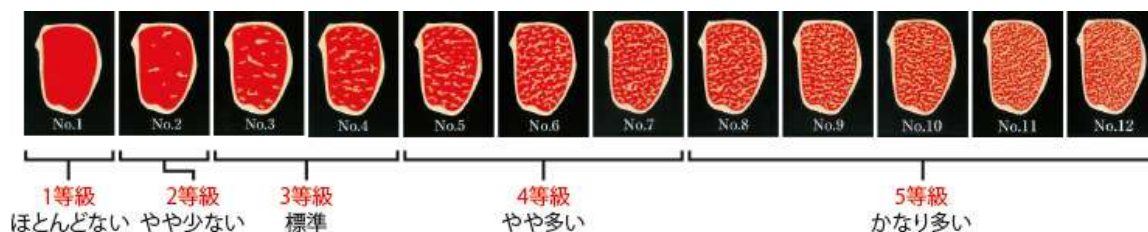
※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

※3：画像1(B.M.S No.1)は脂肪交雑の認められないもの、画像2(B.M.S No.2)は画像3(B.M.S No.3)に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

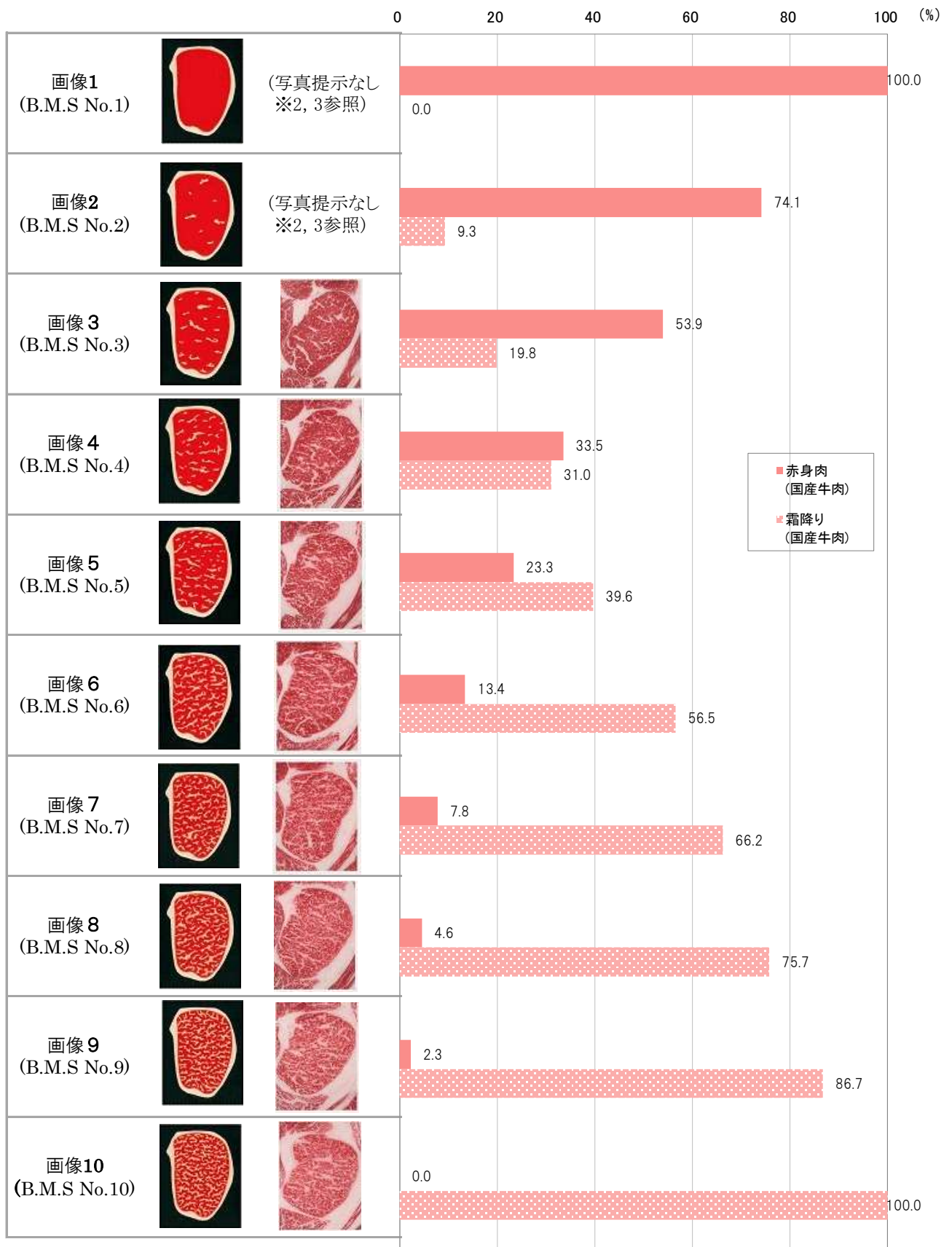
※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準(B.M.S.)によって評価し、等級を決定します。

(参考) 肉質等級について (出展 農林水産省HP https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1608/spe2_01.html)

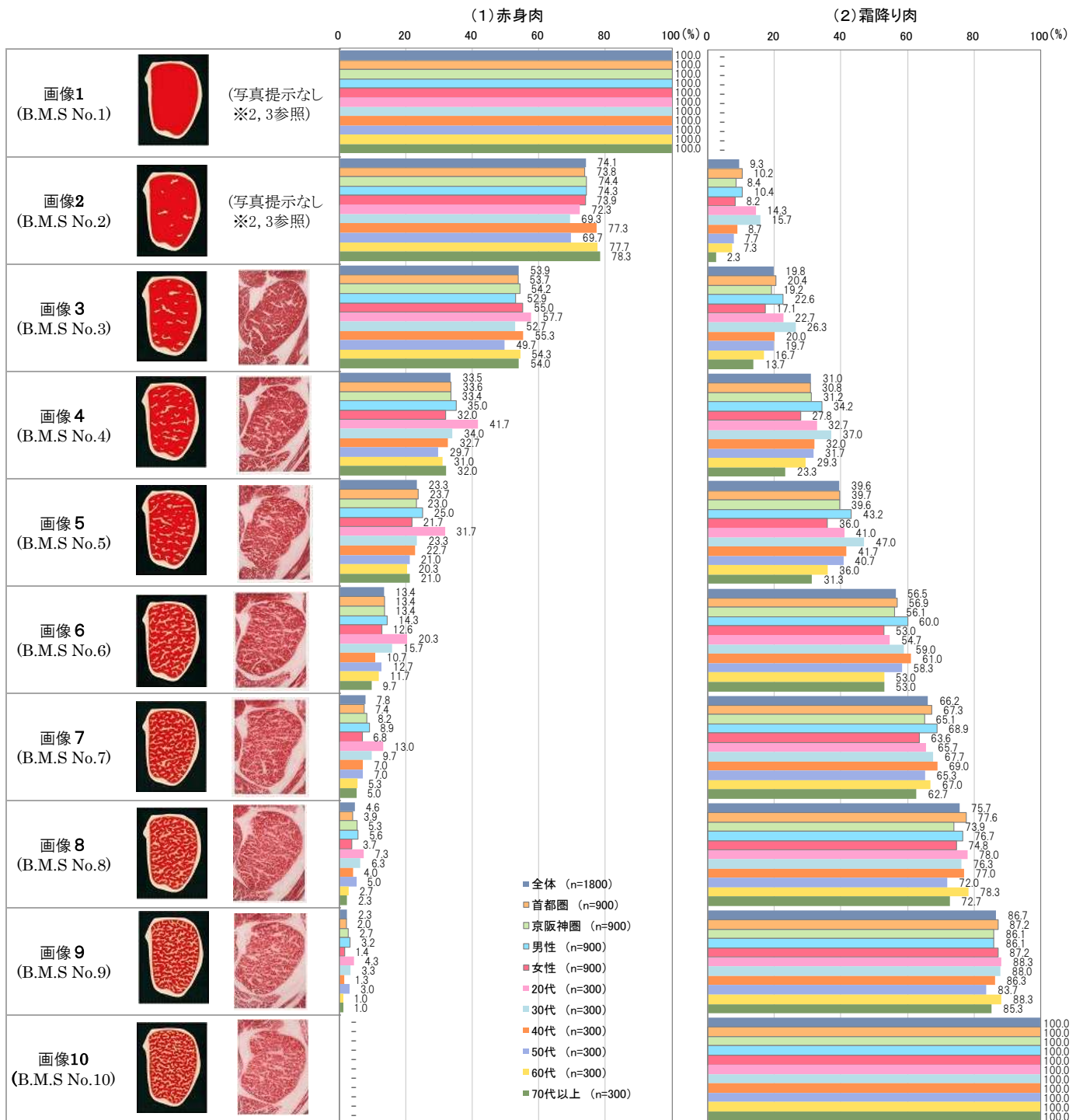
脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準(B.M.S.)によって12段階で評価し、等級を決定します。



図表 71 参考資料 脂肪交雑について



図表 72 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義
 (「赤身肉」または「霜降り肉」と考える人の割合)



図表 73 エリア・性・年代別 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義

2) 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」(Q33)：エリア・性・年代別分析

画像(*)を提示して、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」に近い画像を1つだけ選択してもらったところ(Q33(3))、「画像3(B.M.S No.3)」が16.0%で最も高く、「画像4(B.M.S No.4)」10.7%、「画像2(B.M.S No.2)写真提示なし」8.8%、「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」と「画像5(B.M.S No.5)」8.1%の順で高い。「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」についてのみ、「国産牛肉は購入していない・わからない」の選択肢を設けたが、24.2%であった。

次に、画像(*)を提示して、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」に近い画像を1つだけ選択してもらったところ(Q33(4))、「画像3(B.M.S No.3)」が15.2%で最も高く、「画像10(B.M.S No.10)」12.1%、「画像6(B.M.S No.6)」11.4%、「画像4(B.M.S No.4)」11.3%、「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」10.8%、「画像5(B.M.S No.5)」9.5%の順で高い。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」は、「画像1(B.M.S No.1)～「画像4(B.M.S No.4)」※画像1・2(B.M.S No.1・2)は写真提示なし」の合計が43.6%となる。脂肪交雑が標準以下の国産牛肉を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としている人が約4割程度いると考えられる。

一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」では、脂肪交雑がかなり多い「画像10(B.M.S No.10)」から、脂肪交雑がほとんどない「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」まで、好みが分散していると考えられる。

【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

エリア別に見ると、「画像3(B.M.S No.3)」は首都圏が14.6%、京阪神圏が17.4%と首都圏より京阪神圏の方がやや多く、「画像4(B.M.S No.4)」は首都圏が11.9%、京阪神圏が9.6%と京阪神圏より首都圏の方がやや多い。

性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「画像4(B.M.S No.4)」は50代以上で多くなっている。

【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、30代は「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」「画像2(B.M.S No.2)写真提示なし」が他の年代より高くなっている。

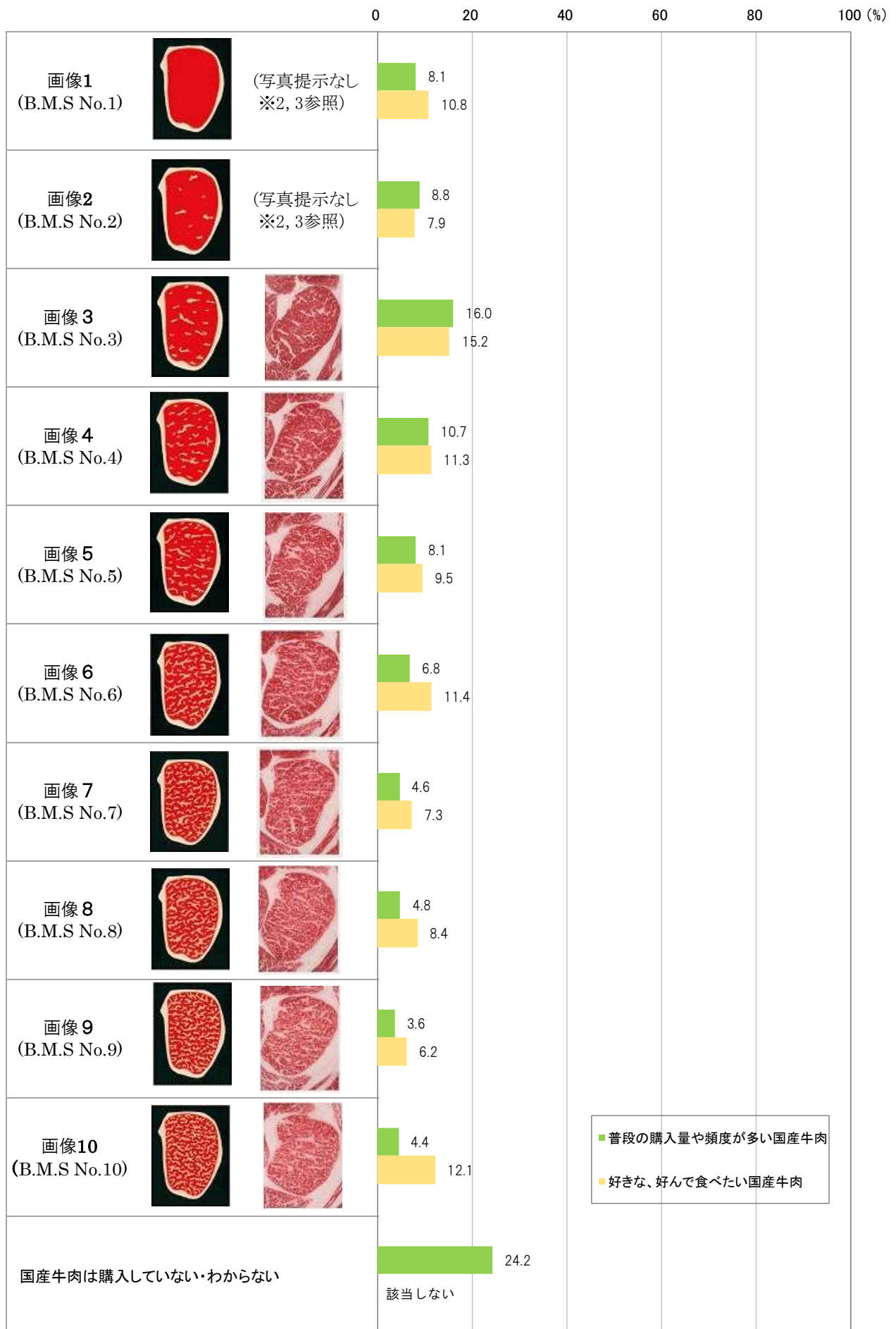
*【画像について】は以下の説明を提示した。

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。

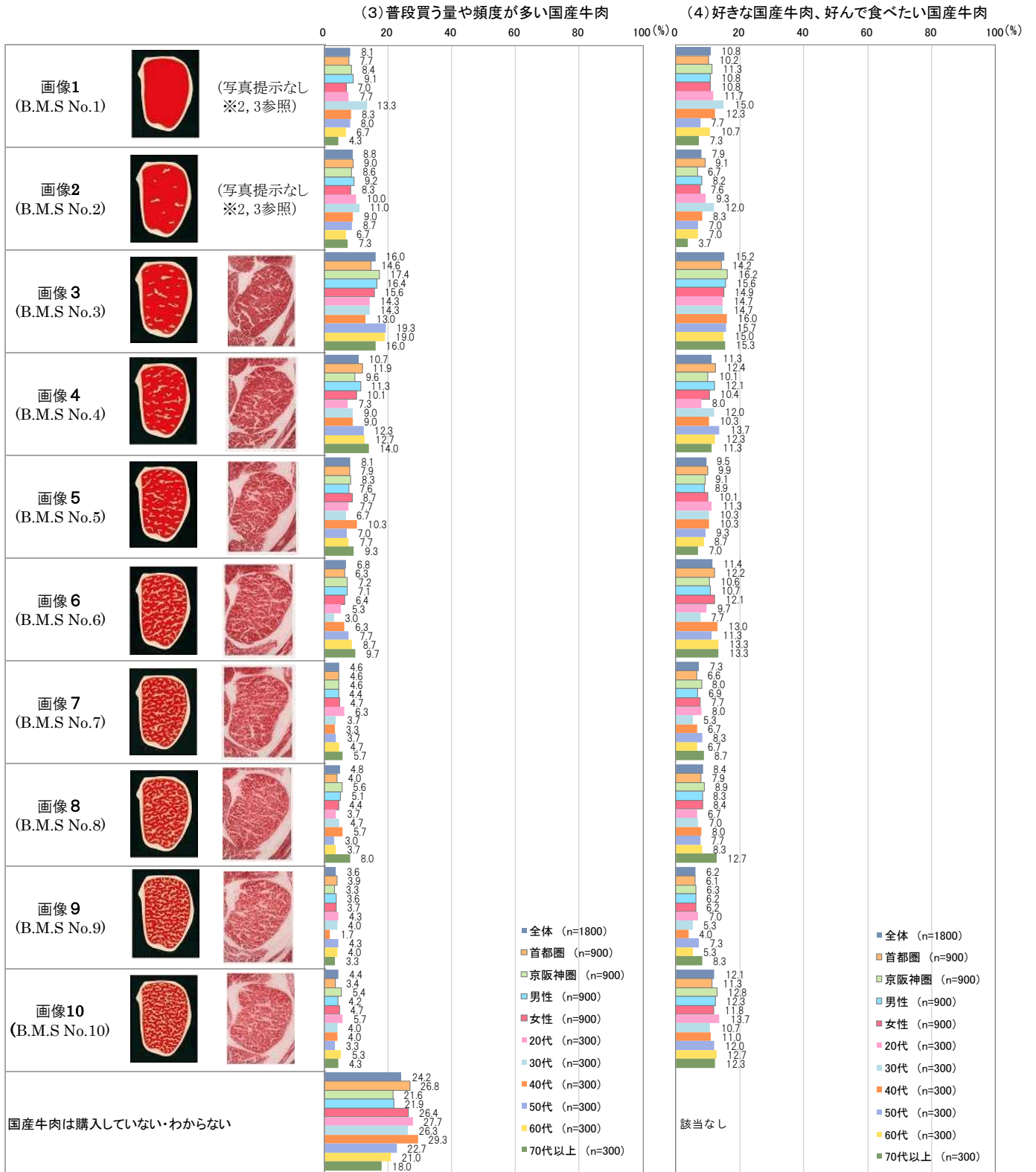
※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

※3：画像1(B.M.S No.1)は脂肪交雑の認められないもの、画像2(B.M.S No.2)は画像3(B.M.S No.3)に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準(B.M.S.)によって評価し、等級を決定します。



図表 74 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と
「好きな・好んで食べたい国産牛肉」



図表 75 エリア・性・年代別 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

次頁の図表は、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」について、Q33(1)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択した場合は「赤身肉」、Q33(2)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択した場合を「霜降り肉」、Q33(1)「赤身肉」とQ33(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択した場合を「標準肉」として集計した結果である。

「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」についても、同様に集計した。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」については、「赤身肉」が33.5%、「霜降り肉」が28.9%、「標準肉」が13.4%の順であった。

※「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」についてのみ、「国産牛肉は購入していない・わからない」の選択肢を設けたが、24.2%であった。

一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」については、「霜降り肉」が51.4%と半数以上を占め、「赤身肉」が33.5%、「標準肉」が15.1%であった。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としては、「霜降り肉」より「赤身肉」を選択している人がやや多いが、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」になると「霜降り肉」を選好する人の方が多くなる。

【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

エリア別に見ると、「赤身肉」は首都圏が31.4%、京阪神圏が35.6%と首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「赤身肉」は男性が36.1%、女性が30.9%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「赤身肉」は30代で41.0%と多くなっている。

【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「霜降り肉」は男性が54.2%、女性が48.6%と女性より男性の方が多い。「標準肉」は男性が11.6%、女性が18.7%と男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、「赤身肉」は30代で42.0%と多くなっている。

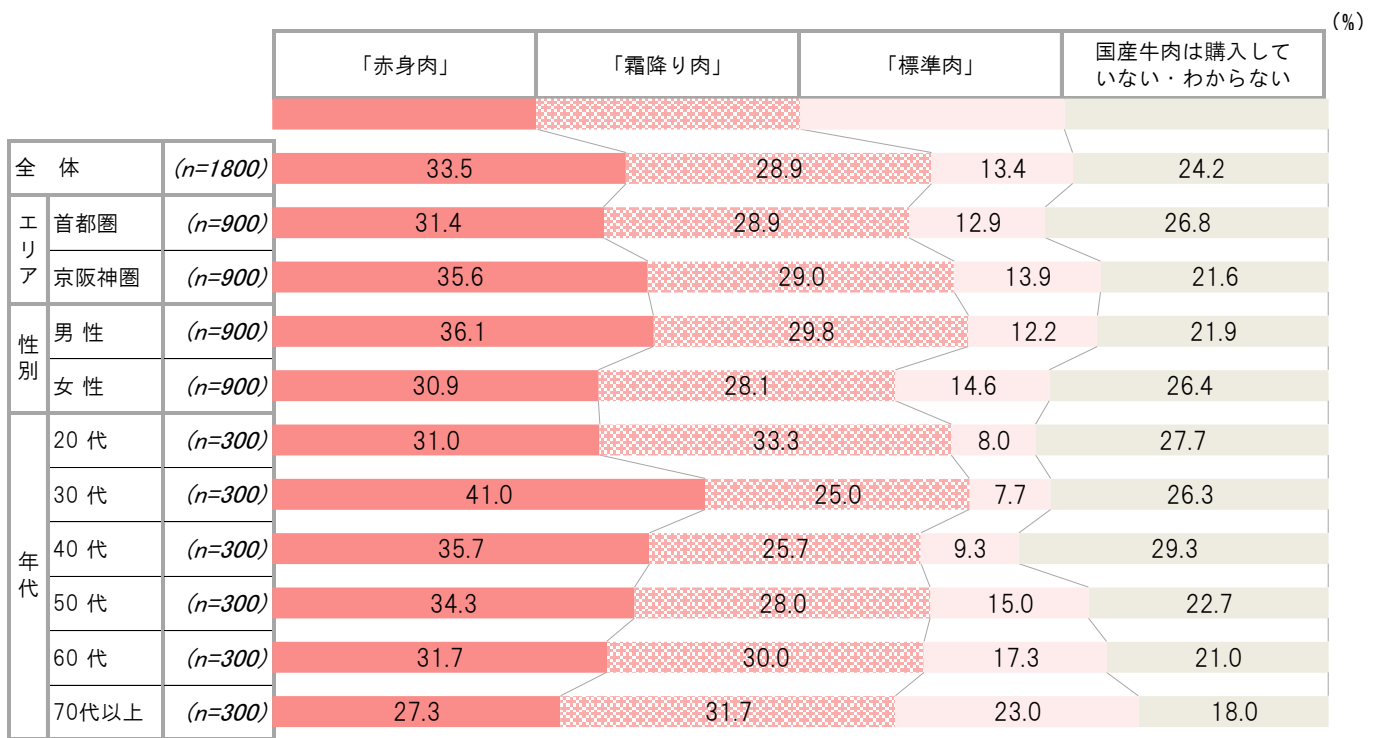
*【画像について】は以下の説明を提示した。

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。

※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

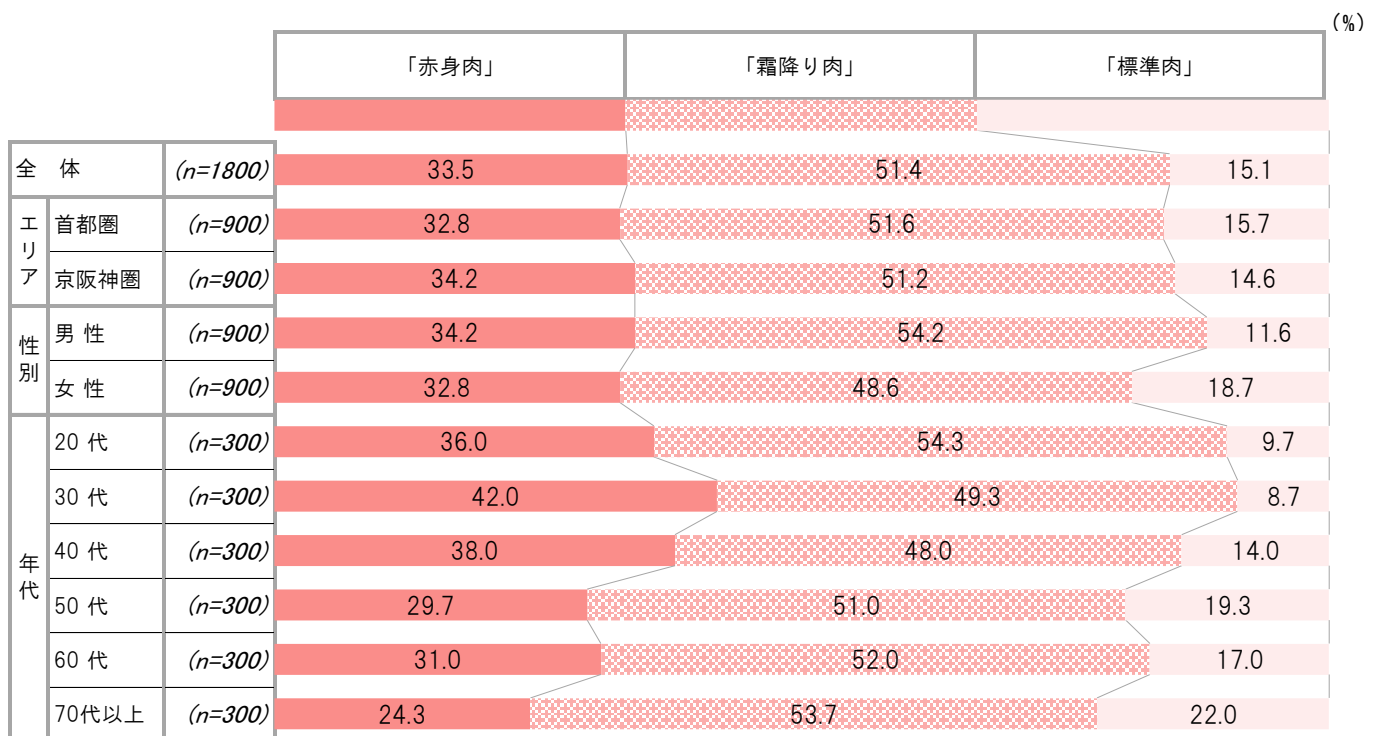
※3：画像1（B.M.S. No.1）は脂肪交雑の認められないもの、画像2（B.M.S. No.2）は画像3（B.M.S. No.3）に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準（B.M.S.）によって評価し、等級を決定します。



「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 76 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」



「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択
「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 77 画像から見た「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」別に、画像から見た「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」を見た。

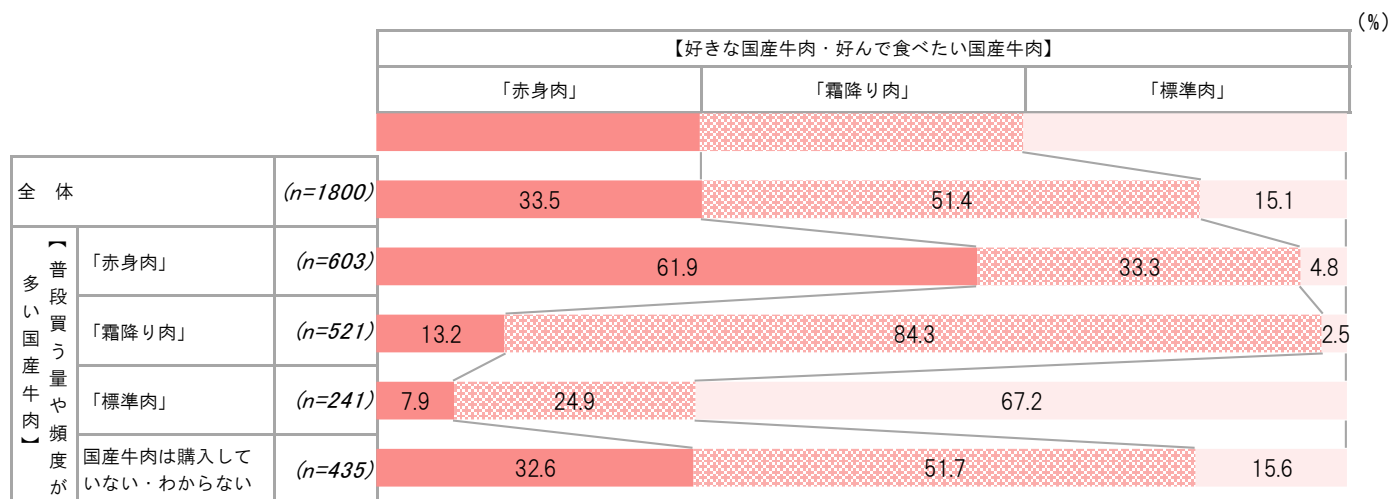
「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「赤身肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「赤身肉」が61.9%と最も多いが、「霜降り肉」も33.3%と3分の1を占めており、「標準肉」は4.8%である。

一方、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「霜降り肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「霜降り肉」が84.3%と最も多く、「赤身肉」は13.2%、「標準肉」が2.5%と少ない。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「標準肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「標準肉」が67.2%と最も多いが、「霜降り肉」も24.9%と4分の1を占めており、「赤身肉」は7.9%である。

「国産牛肉は購入していない・わからない」人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「霜降り肉」が51.7%と半数以上を占め、「赤身肉」が32.6%、「標準肉」が15.6%の順である。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「霜降り肉」を選択している人や「国産牛肉は購入していない・わからない」人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として「霜降り肉」を選好する人が多くなっている。



【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択

「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択

「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択

【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 78 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」別
画像から見た「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

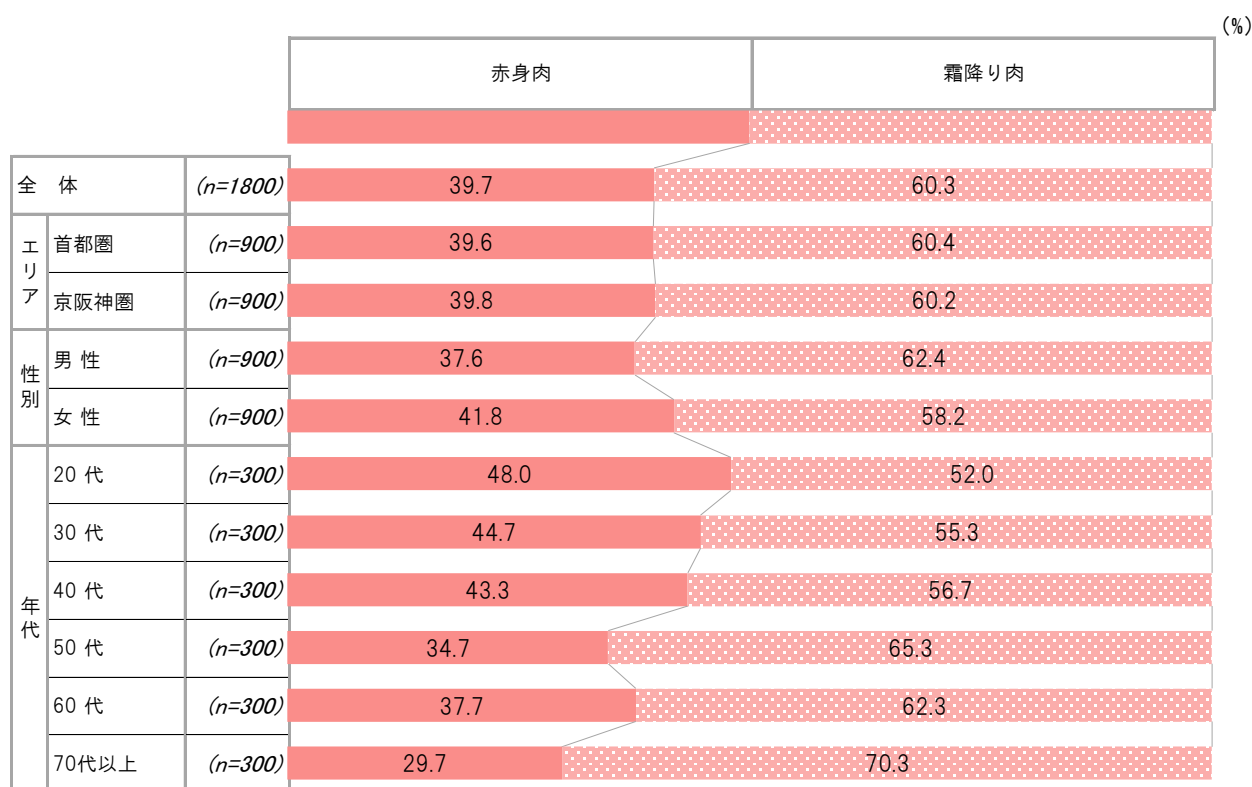
3) 「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q34) :
エリア・性・年代別分析

国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q34) は、「霜降り肉」が 60.3%、「赤身肉」が 39.7%で、「霜降り肉」の方が 20.6 ポイント高い。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「霜降り肉」は男性が 62.4%、女性が 58.2%と女性より男性の方が多。

年代別に見ると、「霜降り肉」は、70代以上では 70.3%と最も多く、年代が高い方が多くなっている。「赤身肉」は 40代以下では 4割以上と多く、年代が若い方が多くなっている。



図表 79 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向

4) 「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q35) : エリア・性・年代別分析

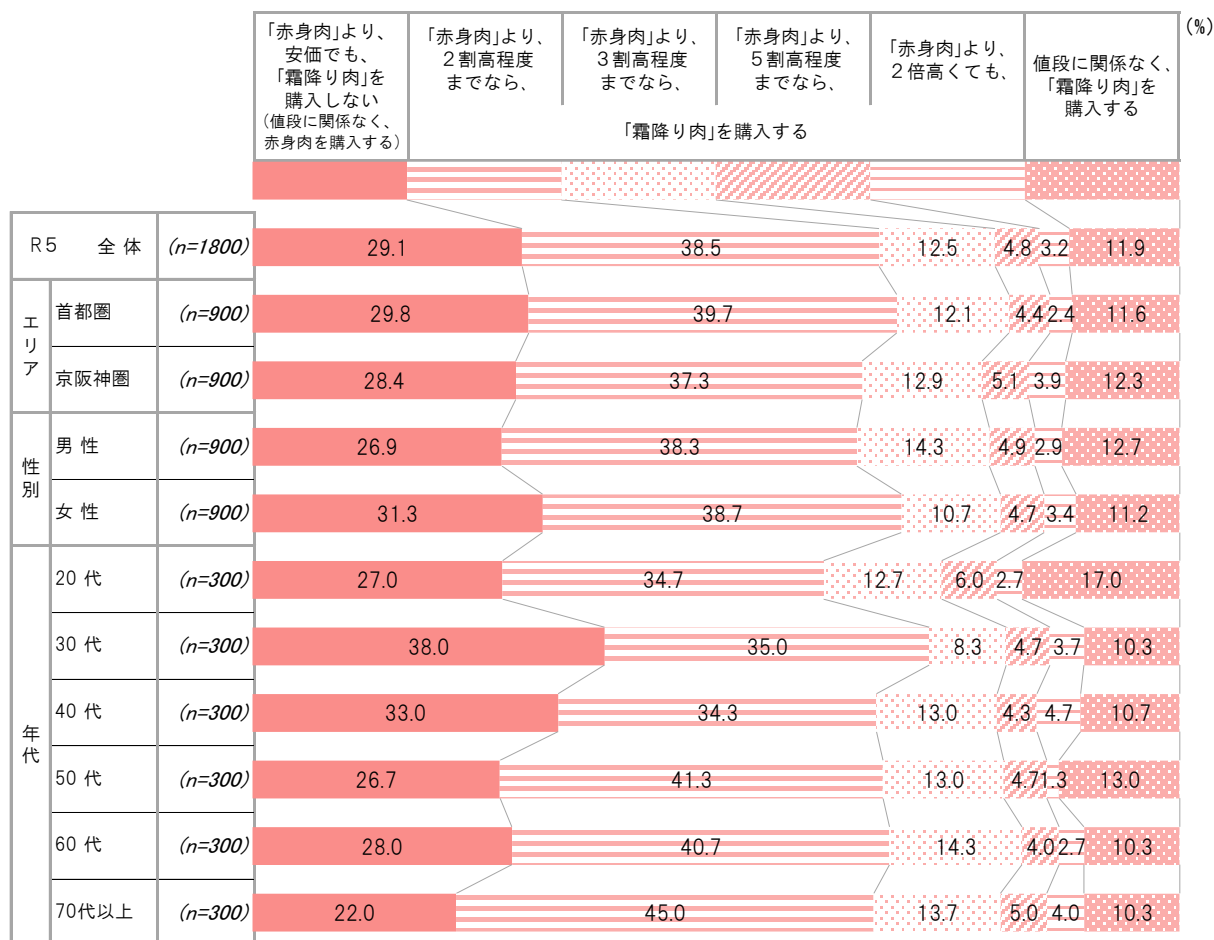
国産牛肉の「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q35) を聞いたところ、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が38.5%で最も多く、「赤身肉」より、3割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が12.5%、「赤身肉」より、5割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が4.8%、「赤身肉」より、2倍高くても、「霜降り肉」を購入する」が3.2%で、「値段に関係なく、「霜降り肉」を購入する」が11.9%である。

一方、「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない (値段に関係なく、「赤身肉」を購入する)」が29.1%である。

エリア別に見ると、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」は、首都圏が39.7%、京阪神圏が37.3%と、京阪神圏より首都圏の方が割高購入意向がやや高い。

性別に見ると、「赤身肉」より、3割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」は、男性が14.3%、女性が10.7%と、女性より男性の方が割高購入意向が高い。

年代別に見ると、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」は50代以上で4割以上と高い。20代では、「値段に関係なく、「霜降り肉」を購入する」が17.0%と他の年代に比べ高い。



図表 80 エリア・性・年代別 「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度

5) 「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度 (Q36) : エリア・性・年代別分析

国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」と「霜降り肉」を選択する頻度 (Q36) を聞いたところ、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」が 31.6%と最も高く、「毎回、「赤身肉」を購入する」が 17.6%で続き、「毎回+普段は「赤身肉」を購入する計」が 49.2%と半数を占める。

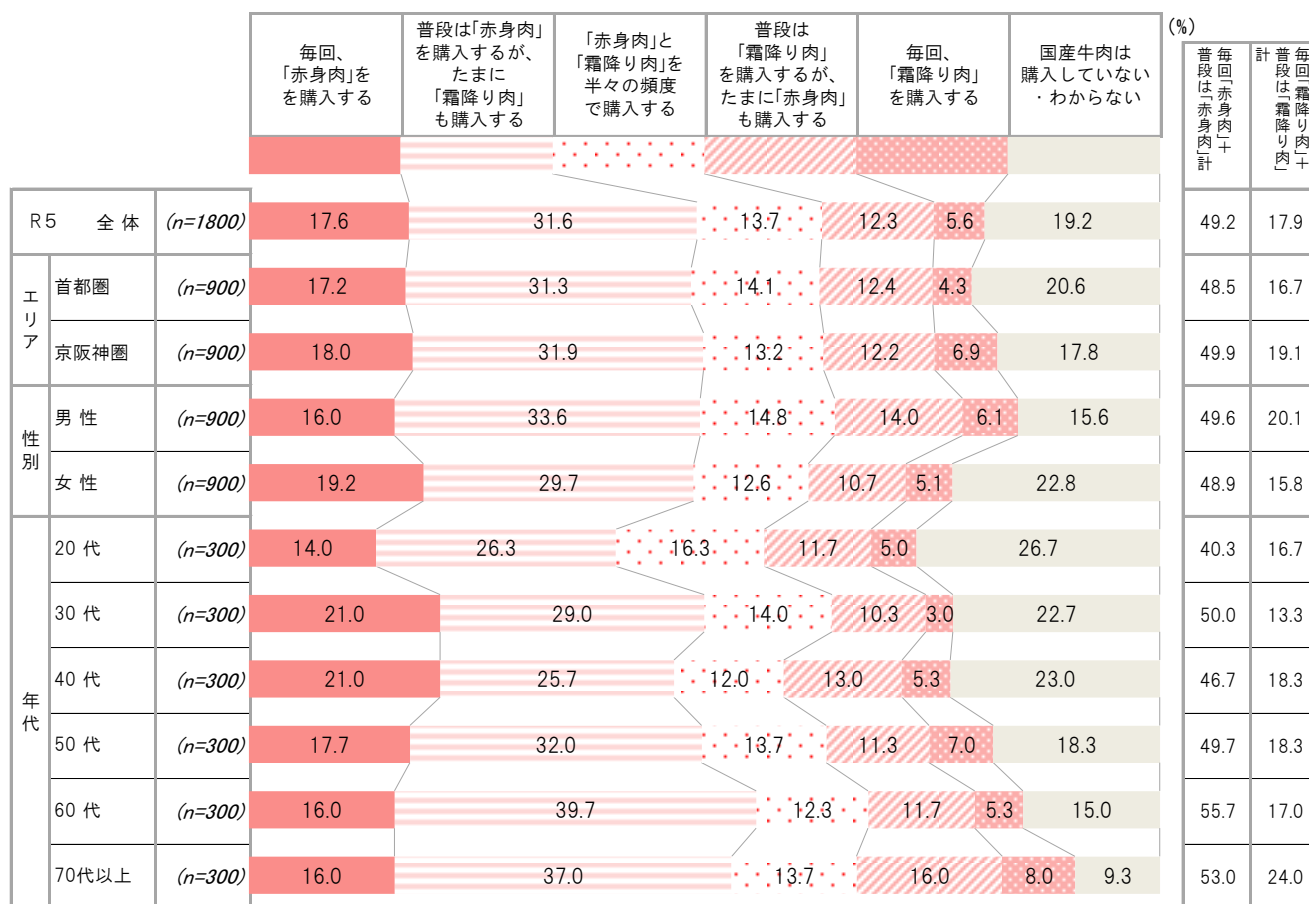
次いで、「赤身肉」と「霜降り肉」を半々の頻度で購入する」が 13.7%、「普段は「霜降り肉」を購入するが、たまに「赤身肉」も購入する」が 12.3%、「毎回、「霜降り肉」を購入する」が 5.6%の順である。「毎回、「霜降り肉」を購入する+普段は「霜降り肉」を購入する計」は 17.9%である。

「国産牛肉は購入していない・わからない」が 19.2%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」は、男性が 33.6%、女性が 29.7%で、女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」は 50代以上では3割以上と高くなっている。

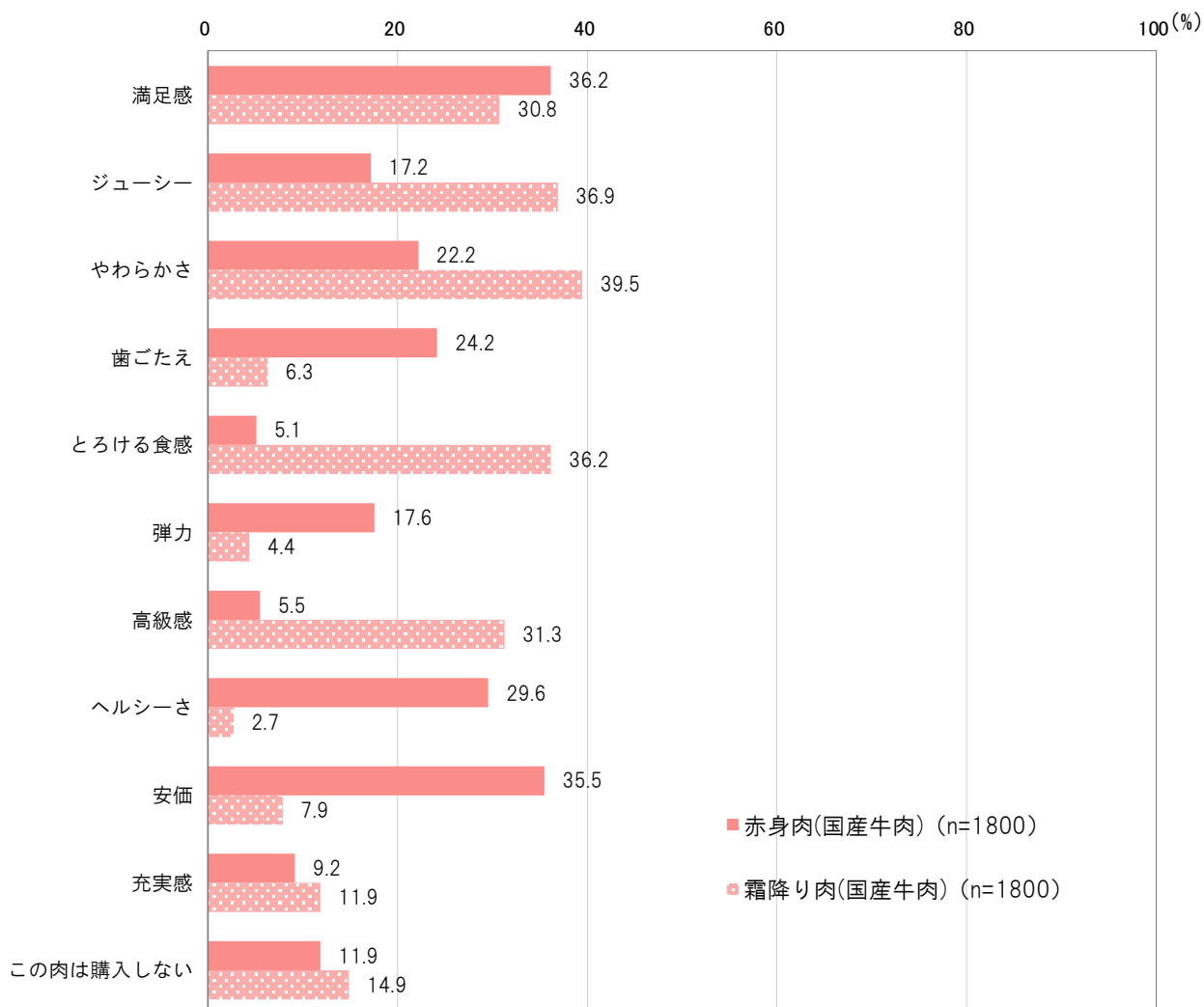


図表 81 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度

6) 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴 (Q37) : エリア・性・年代別分析

「赤身肉」に期待する特徴 (Q37) を聞いたところ、「満足感」が 36.2%で最も高く、「安価」35.5%、「ヘルシーさ」29.6%、「歯ごたえ」24.2%、「やわらかさ」22.2%の順である。

一方、「霜降り肉」に期待する特徴は、「やわらかさ」が 39.5%で最も高く、「ジューシー」36.9%、「とろける食感」36.2%、「高級感」31.3%、「満足感」30.8%の順である。



図表 82 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴

【赤身肉】

エリア別に見ると、「満足感」は首都圏が 37.6%、京阪神圏が 34.9%と京阪神圏より首都圏の方が高い。「安価」は首都圏が 33.7%、京阪神圏が 37.3%と首都圏より京阪神圏の方が高い。

性別に見ると、「ヘルシーさ」は男性が 25.6%、女性が 33.7%と男性より女性の方が高い。

年代別に見ると、「満足感」は年代が若い方が高くなっているが、「ヘルシーさ」「安価」は年代が高い方が高くなっている。

【霜降り肉】

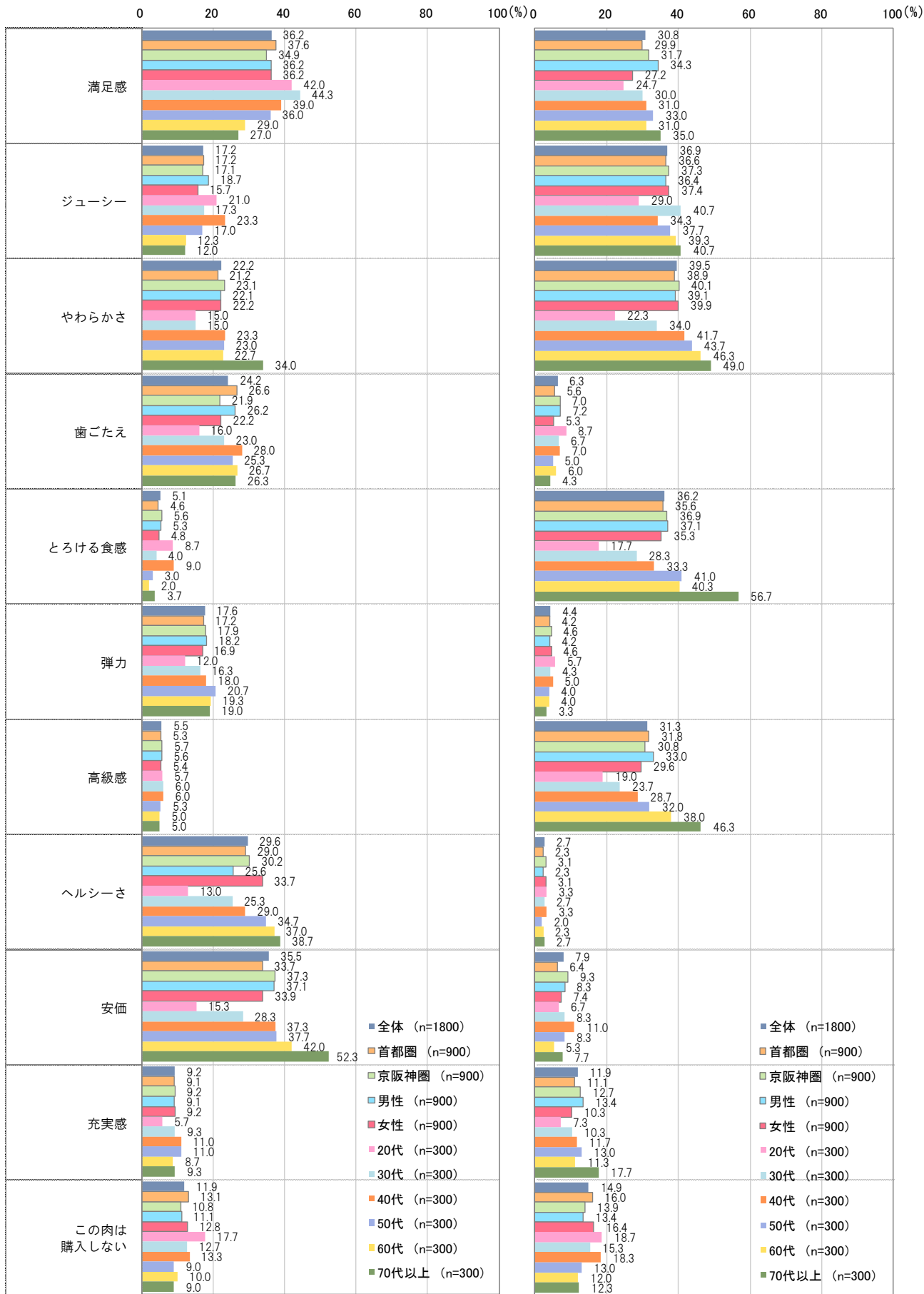
エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「満足感」は男性が 34.3%、女性が 27.2%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「やわらかさ」「とろける食感」「高級感」は年代が高い方が高くなっている。

(1)「赤身肉」(国産牛肉)

(2)「霜降り肉」(国産牛肉)

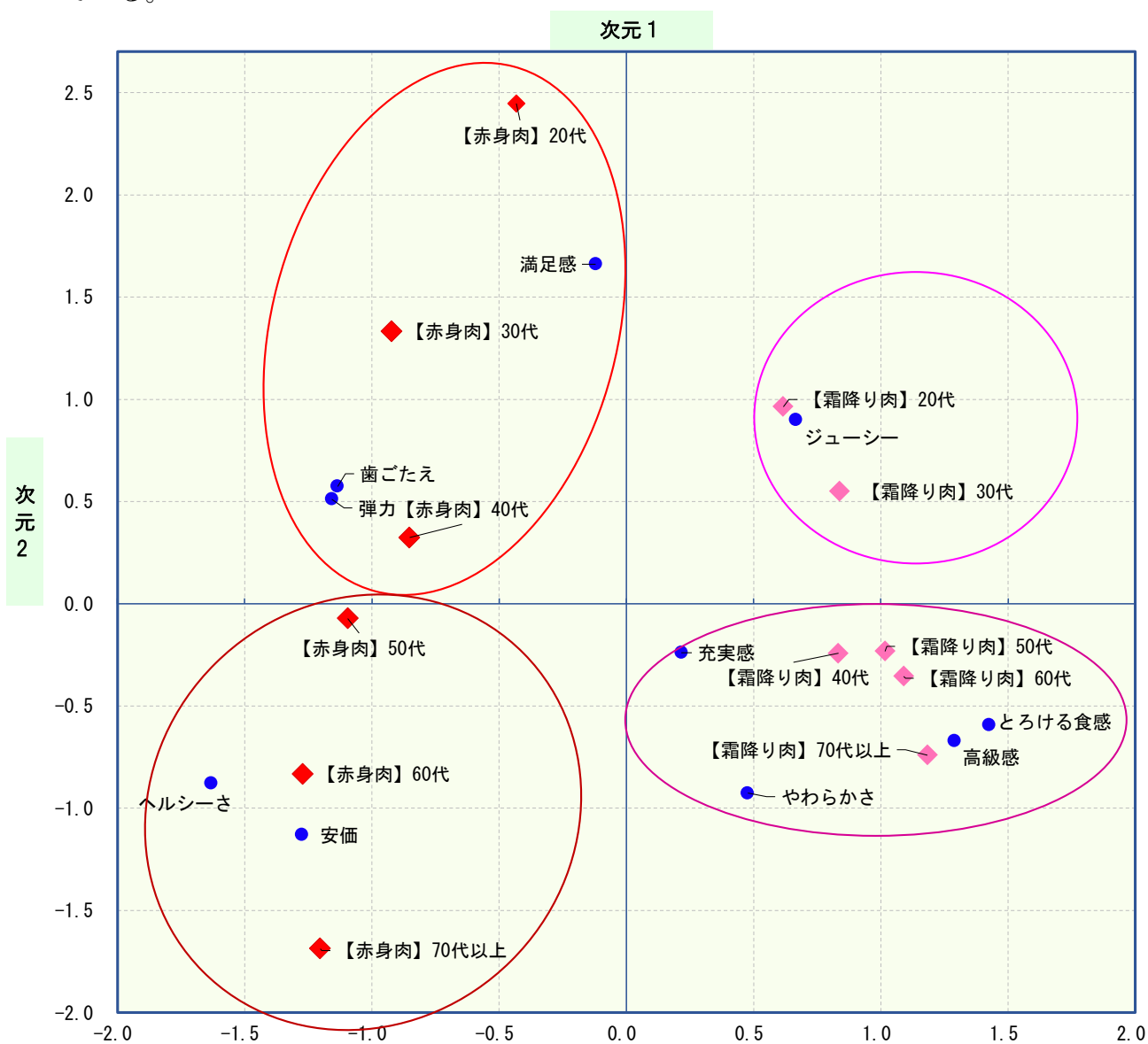


図表 83 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴

「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴（Q37）について、年代別で、コレスポンデンス分析を行った。

「赤身肉」は、「満足感」「歯ごたえ」「弾力」「ヘルシーさ」「安価」のイメージに近い左側の象限に位置している。20代～40代は、「満足感」「歯ごたえ」「弾力」のイメージに近い左上の象限に位置している。50代以上は、「ヘルシーさ」「安価」のイメージに近い左下の象限に位置している。

一方、「霜降り肉」は、「ジューシー」「充実感」「とろける食感」「高級感」「やわらかさ」のイメージに近い右側の象限に位置している。20代～30代は、「ジューシー」のイメージに近い右上の象限に位置している。40代以上は、「充実感」「とろける食感」「高級感」「やわらかさ」のイメージに近い右下の象限に位置している。



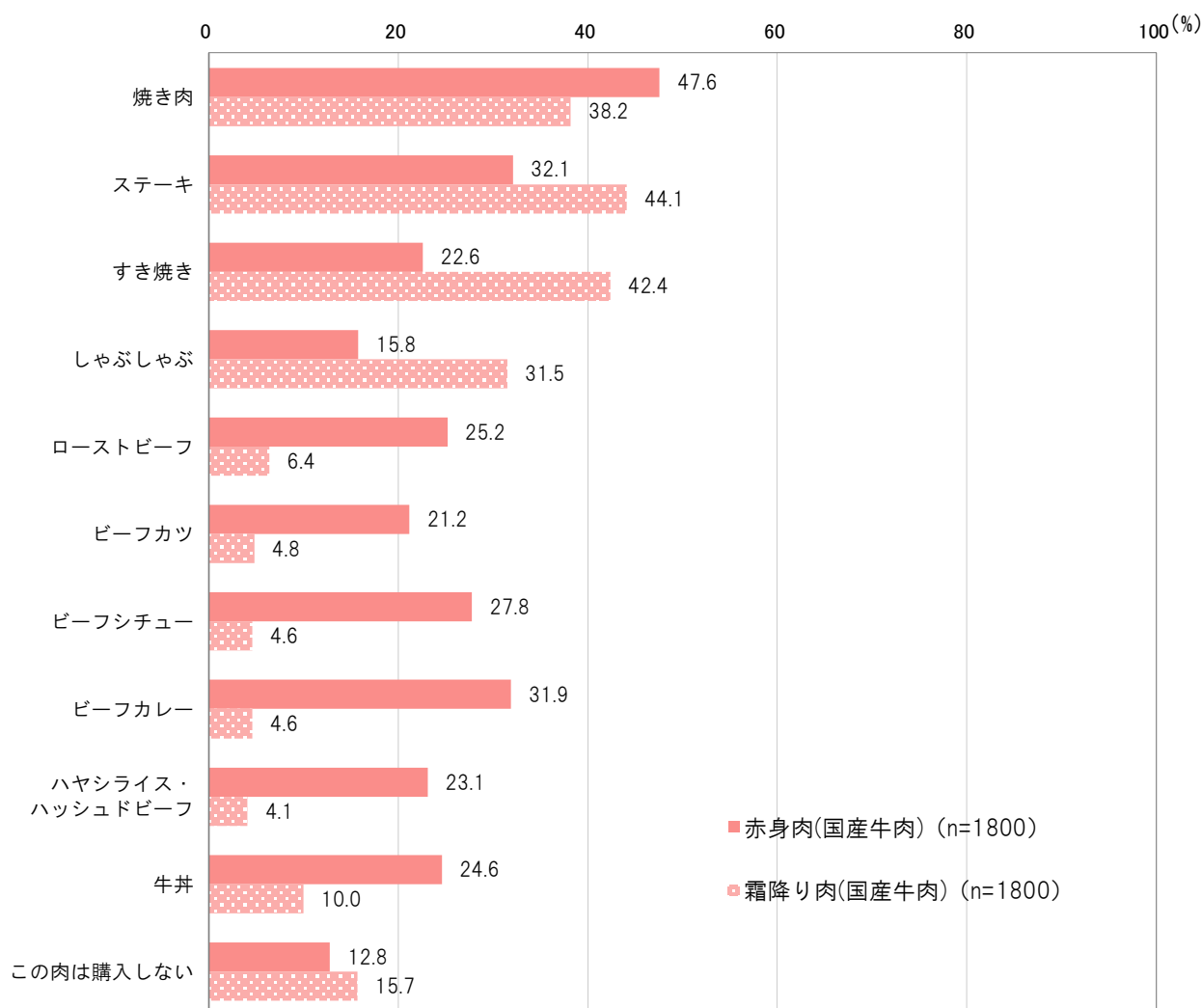
(寄与率 次元1 92.1%、次元2 5.8%)

図表 84 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴
年代別 コレスポンデンス分析結果

7) 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー (Q38) : エリア・性・年代別分析

「赤身肉」の調理メニュー (Q38) を聞いたところ、「焼き肉」が 47.6%で最も高く、「ステーキ」32.1%、「ビーフカレー」31.9%、「ビーフシチュー」27.8%、「ローストビーフ」25.2%、「牛丼」24.6%、「ハヤシライス・ハッシュドビーフ」23.1%、「すき焼き」22.6%、「ビーフカツ」21.2%の順であり、調理メニューが多岐に渡っている。

一方、「霜降り肉」の調理メニューは、「ステーキ」が 44.1%で最も高く、「すき焼き」42.4%、「焼き肉」38.2%、「しゃぶしゃぶ」31.5%の順であり、それ以外の調理メニューは 10%以下と低くなっている、「霜降り肉」の調理メニューは、ハレの日のご馳走メニューに集中している。



図表 85 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー

【赤身肉】

エリア別に見ると、「ビーフカレー」は首都圏が27.6%、京阪神圏が36.3%と首都圏より京阪神圏の方が高い。「ビーフカツ」も首都圏が18.4%、京阪神圏が23.9%と首都圏より京阪神圏の方が高い。

性別に見ると、「焼き肉」「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」「ビーフカツ」「ビーフカレー」は女性より男性の方が高い。

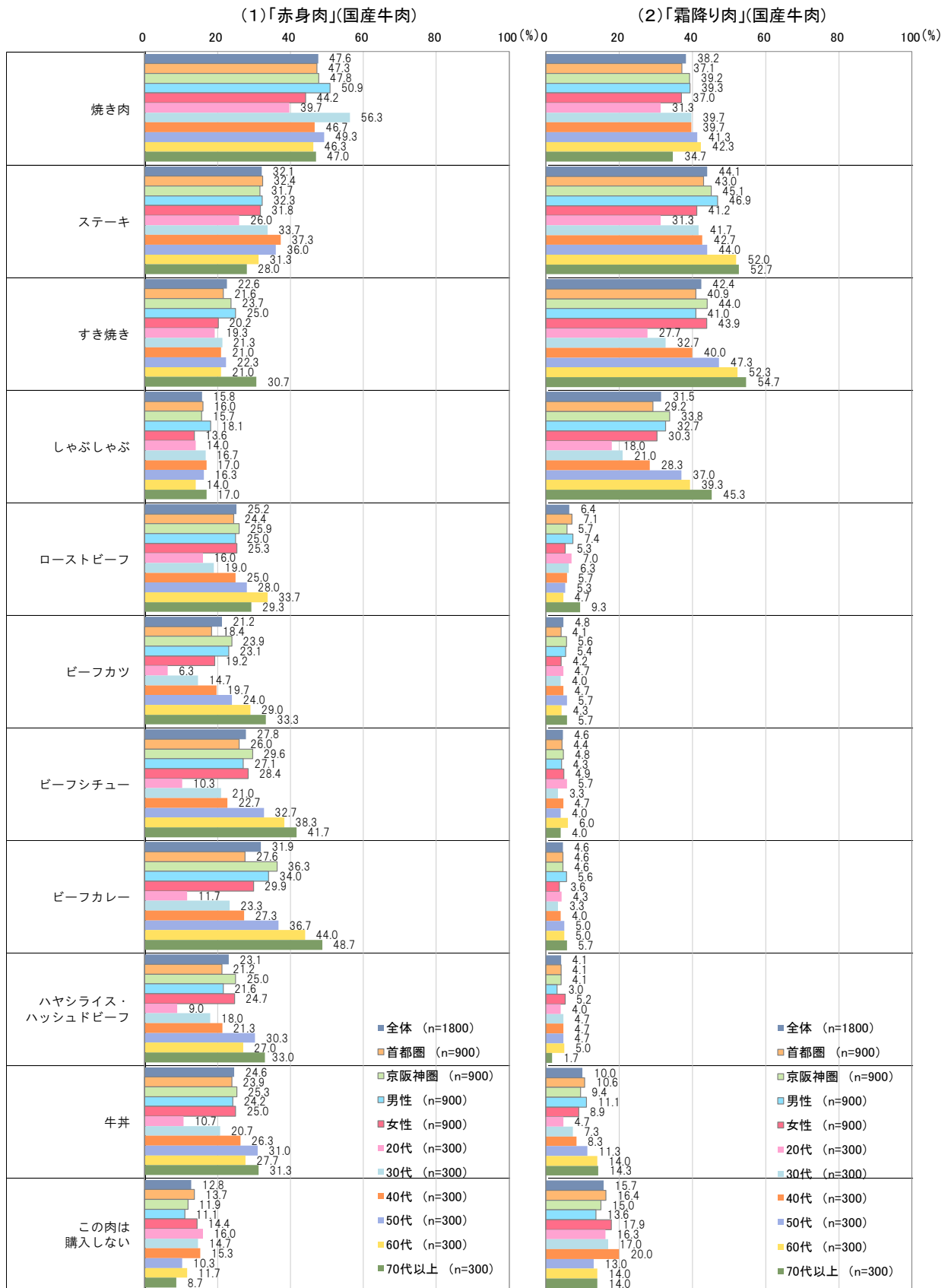
年代別に見ると、年代が高い方が調理メニューが多岐に渡っており、「ビーフカツ」「ビーフシチュー」「ビーフカレー」は60代以上で高くなっている。「すき焼き」は70代以上で高くなっている。

【霜降り肉】

エリア別に見ると、「しゃぶしゃぶ」は首都圏が29.2%、京阪神圏が33.8%と首都圏より京阪神圏の方が高い。

性別に見ると、「ステーキ」は男性が46.9%、女性が41.2%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、年代が高い方が調理メニューが多岐に渡っており、「ステーキ」「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」は50代以上で高くなっている。



図表 86 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー

8) 国産牛肉の「赤身肉」、「霜降り肉」、それぞれに関して期待する特徴 および 食べたい調理メニューの選択割合の比較分析 (Q37・38)

Q37は、国産牛肉の「赤身肉」、「霜降り肉」のそれぞれについて、想起・期待される特徴10項目と、“この肉は購入しない”という複数の選択肢を提示し、それらの中からあてはまるものをすべて選んでもらう複数回答形式の設問である。同様に、Q38は、国産牛肉の「赤身肉」、「霜降り肉」のそれぞれについて、食べたい調理メニュー10種類と、“この肉は購入しない”という複数の選択肢を提示し、それらの中からあてはまるものをすべて選んでもらう複数回答形式の設問である。各選択肢について選択されなかった場合は0、選択された場合は1と数値化した。

ここでは、国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」に関して、回答者が期待する特徴、食べたい調理メニューの回答選択割合（選択割合）を比較し、その違いを統計的に検定するため、Q37とQ38いずれにおいても、「赤身肉」あるいは「霜降り肉」を購入しない選択肢を選択回答した351名を除外した1,449名の回答データを用いて分析した。

① 「赤身肉」と「霜降り肉」の国産牛肉に期待する特徴の選択割合とその差の検定結果

分析データは、二値データであること、期待・想起される特徴を同一被験者が「赤身肉」、「霜降り肉」について2回評価しているため、対応のある2つの選択割合の差を検定するのに適した McNemar（マクネマー）検定を用いた。また、「赤身肉」、「霜降り肉」それぞれについて、10項目の期待する特徴を同一被験者が二値評価しているため、対応のある3種類以上の割合の違いを検定するのに適した Cochran（コクラン）の Q 検定も実施した。

図表 87 は、国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」別の期待・想起する特徴10項目それぞれの選択割合とマクネマー検定結果である。

期待する特徴	「赤身肉」		「霜降り肉」		McNemar検定結果	
	度数	選択割合	度数	選択割合	選択割合の差分	有意確率
満足感	609	42.0%	533	36.8%	5.2%	0.001
ジューシー	293	20.2%	638	44.0%	-23.8%	<0.001
やわらかさ	370	25.5%	675	46.6%	-21.0%	<0.001
歯ごたえ	404	27.9%	109	7.5%	20.4%	<0.001
とろける食感	90	6.2%	618	42.7%	-36.4%	<0.001
弾力	297	20.5%	77	5.3%	15.2%	<0.001
高級感	95	6.6%	539	37.2%	-30.6%	<0.001
ヘルシーさ	485	33.5%	47	3.2%	30.2%	<0.001
安価	567	39.1%	125	8.6%	30.5%	<0.001
充実感	155	10.7%	206	14.2%	-3.5%	<0.001

注) n = 1,449. 選択割合の差分は「赤身肉」と「霜降り肉」の選択割合の差である。

図表 87 「赤身肉」と「霜降り肉」の国産牛肉に期待する特徴の選択割合とその差の検定

マクネマー検定の結果、図表 87 に掲げた想起・期待される特徴の全てについて、国産牛肉の「赤身肉」の選択割合と「霜降り肉」の選択割合の間に有意水準 1%未満で統計的に有意な差が認められた。また、コクランの Q 検定の結果、「赤身肉」、「霜降り肉」それぞれについて、10 項目の期待する特徴の選択割合間に 5%有意水準で違いがあることが確かめられた。

「赤身肉」において「霜降り肉」よりも有意に高い選択割合の特徴は「満足感」「歯ごたえ」「弾力」「ヘルシーさ」「安価」の 5 つであった。「霜降り肉」において「赤身肉」よりも有意に高い選択割合の特徴は、「ジューシー」「やわらかさ」「とろける食感」「高級感」「充実感」の 5 つであった。

「赤身肉」で最も選択割合が高い期待する特徴は「満足感」42.0%、次いで「安価」39.1%、「ヘルシーさ」33.5%の順であった。ただし、コクランの Q 検定後の多重比較結果によれば、「満足感」と「安価」の選択割合に有意な差は認められなかった。「赤身肉」に対して 4 割の回答者が「満足感」「安価」を期待する一方、「赤身肉」特有の価値として期待される「ヘルシーさ」については、「霜降り肉」における選択割合 3.2%より有意に高いものの、その選択割合は 3 割台であり、「赤身肉」に対して回答者は必ずしも「ヘルシーさ」を想起あるいは期待するとは限らないことが示唆された。

他方、「霜降り肉」に期待する特徴は、「やわらかさ」が 46.6%で最も高く、次いで「ジューシー」44.0%、「とろける食感」42.7%の順であった。ただし、コクランの Q 検定後の多重比較結果によれば、「やわらかさ」「ジューシー」「とろける食感」相互の選択割合に有意な差は認められなかった。回答者は「霜降り肉」に対して「やわらかさ」「ジューシー」「とろける食感」を期待することがわかった。「高級感」「満足感」についても選択割合が 36%以上と比較的高いものの（コクランの Q 検定後の多重比較結果によれば、これらの特徴の選択割合に有意差はなかった）、「満足感」は「赤身肉」の選択割合 42.0%よりも低かった。また、「充実感」の選択割合は 14.2%で、「赤身肉」の 10.7%より有意に高いが、「霜降り肉」の特徴として高い割合で想起・期待されるものではないことが示唆された。

なお、期待する特徴としての「満足感」の内容が「赤身肉」と「霜降り肉」では異なっている可能性があることに留意する必要がある。「満足感」の意味は“満ち足りたという感じ”であるが、「赤身肉」は比較的安価で購入できることから量的な満足感を得られるのに対し、「霜降り肉」は高級＝高価格だが、少量でも「ジューシー」「やわらか」「とろける食感」を味わえる満足感が、回答者に想起されていると考えられた。

② 「赤身肉」と「霜降り肉」の国産牛肉に関し食べたい調理メニュー別の選択割合とその差の検定結果

分析データは、二値データであること、また、食べたい調理メニューを同一被験者が「赤身肉」、「霜降り肉」について2回評価しているため、対応のある2つの選択割合の違いを検定するのに適した McNemar 検定を用いた。また、「赤身肉」、「霜降り肉」それぞれについて、10項目の期待する特徴を同一被験者が二値評価しているため、対応のある3種類以上の割合の違いを検定するのに適した Cochran (コクラン) の Q 検定も実施した。

図表 88 は、国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」別の食べたい調理メニュー10項目それぞれの選択割合とマクネマー検定結果である。

食べたい 調理メニュー	「赤身肉」		「霜降り肉」		McNemar検定結果	
	度数	選択割合	度数	選択割合	選択割合の 差分	有意確率
焼き肉	786	54.2%	657	45.3%	8.9%	<0.001
ステーキ	532	36.7%	763	52.7%	-15.9%	<0.001
すき焼き	368	25.4%	725	50.0%	-24.6%	<0.001
しゃぶしゃぶ	262	18.1%	545	37.6%	-19.5%	<0.001
ローストビーフ	433	29.9%	110	7.6%	22.3%	<0.001
ビーフカツ	370	25.5%	84	5.8%	19.7%	<0.001
ビーフシチュー	475	32.8%	80	5.5%	27.3%	<0.001
ビーフカレー	544	37.5%	79	5.5%	32.1%	<0.001
ハヤシライス・ハッシュドビーフ	393	27.1%	69	4.8%	22.4%	<0.001
牛丼	405	28.0%	171	11.8%	16.1%	<0.001

注) n = 1,449. 選択割合の差分は「赤身肉」と「霜降り肉」の選択割合の差である。

図表 88 「赤身肉」と「霜降り肉」の国産牛肉に関し食べたい調理メニューの選択割合とその差の検定

マクネマー検定の結果、図表 88 に掲げた食べたい調理メニュー全てに関して、国産牛肉の「赤身肉」の選択割合と「霜降り肉」の選択割合の間に有意水準1%未満で統計的に有意な差が認められた。また、コクランの Q 検定の結果、「赤身肉」、「霜降り肉」それぞれについて、10項目の食べたい調理メニューの選択割合間に5%有意水準で違いがあることが確かめられた。

「赤身肉」において「霜降り肉」よりも高い選択割合の項目は「ビーフカレー」「ビーフシチュー」「ハヤシライス・ハッシュドビーフ」「ローストビーフ」「ビーフカツ」「牛丼」「焼き肉」の7項目であった。「霜降り肉」において「赤身肉」よりも有意に選択割合が高い項目は、「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」「ステーキ」の3項目であった。

「赤身肉」において最も選択割合が高い食べたい調理メニューは「焼き肉」54.2%、次いで「ビーフカレー」37.5%、「ステーキ」36.7%、「ビーフシチュー」32.8%の順であった。ただし、コクランの Q 検定後の多重比較結果によれば、「ビーフカレー」「ステーキ」「ビーフシチュー」相互の選択割合に有意な差は認められなかった。「赤身肉」に対して過半の消費者が食べたい調理メニューとして「焼き肉」を選択する一方、2割～4割の回答者が「赤身肉」についてそれ以外の食べたい調理メニューを幅広く選択していることがわかった。

他方、「霜降り肉」において食べたい調理メニューの選択割合は、「ステーキ」が52.7%で最も高く、次いで「すき焼き」50.0%、「焼き肉」45.3%、「しゃぶしゃぶ」37.6%の順であった。ただし、コクランの Q 検定後の多重比較結果によれば、「ステーキ」と「すき焼き」の選択割合、「すき焼き」と「焼き肉」の選択割合に有意な差はなかった。「ステーキ」「すき焼き」の選択割合が5割を超えていることから、これらは「霜降り肉」と回答者が認識する国産牛肉の食べたい調理メニューとして強く想起されていることがわかった。また、「焼き肉」、「しゃぶしゃぶ」についても「霜降り肉」の選択割合は4割前後と高かった。特に「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」は和牛肉の代表的な調理メニューであると考えられており、「霜降り肉」においてこれらが食べたい調理メニューとして選択されたのは首肯される結果である。

なお、「焼き肉」は、多様な部位の牛肉を盛り合わせて食べる楽しみゆえに、「赤身肉」、「霜降り肉」にかかわらず、食べたい調理メニューとして選択割合が相対的に高いと推察された。

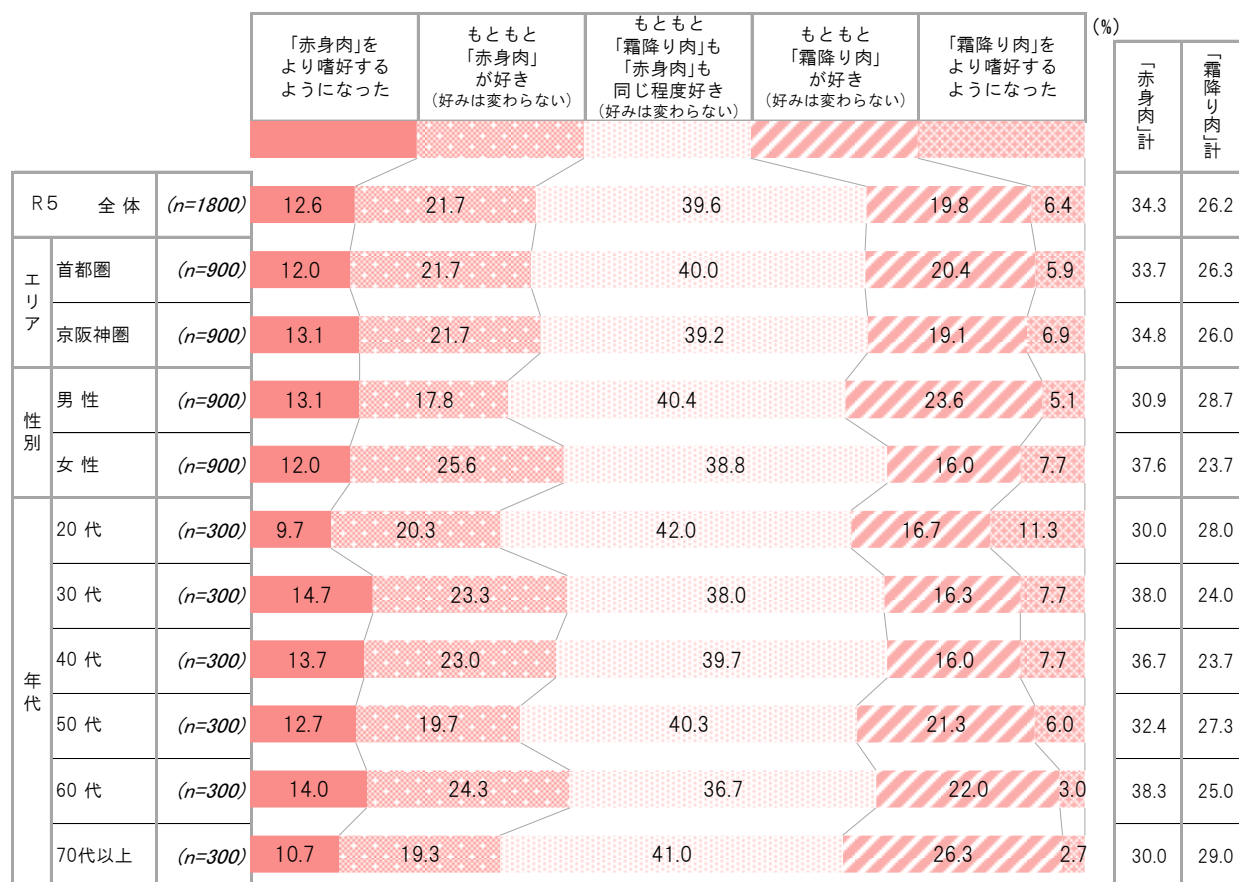
9) 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向 (Q39) :
エリア・性・年代別分析

5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向 (Q39) を聞いたところ、「もともと「霜降り肉」も「赤身肉」も同じ程度好き (好みは変わらない)」が 39.6%で最も高い。「もともと「赤身肉」が好き (好みは変わらない)」が 21.7%、「赤身肉」をより嗜好するようになった」が 12.6%で、「赤身肉」派が 34.3%である。一方、「もともと「霜降り肉」が好き (好みは変わらない)」が 19.8%、「霜降り肉」をより嗜好するようになった」が 6.4%で、「霜降り肉」派が 26.2%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「もともと「赤身肉」が好き (好みは変わらない)」は、男性が 17.8%、女性が 25.6%と男性より女性の方が高い。一方、「もともと「霜降り肉」が好き (好みは変わらない)」は、男性が 23.6%、女性が 16.0%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「もともと「霜降り肉」が好き (好みは変わらない)」は 50代以上で 2割以上と高くなっている。



「『赤身肉』計」⇒ 「『赤身肉』をより嗜好するようになった」+ 「もともと『赤身肉』が好き(好みは変わらない)」
「『霜降り肉』計」⇒ 「もともと『霜降り肉』が好き(好みは変わらない)」+ 「『霜降り肉』をより嗜好するようになった」

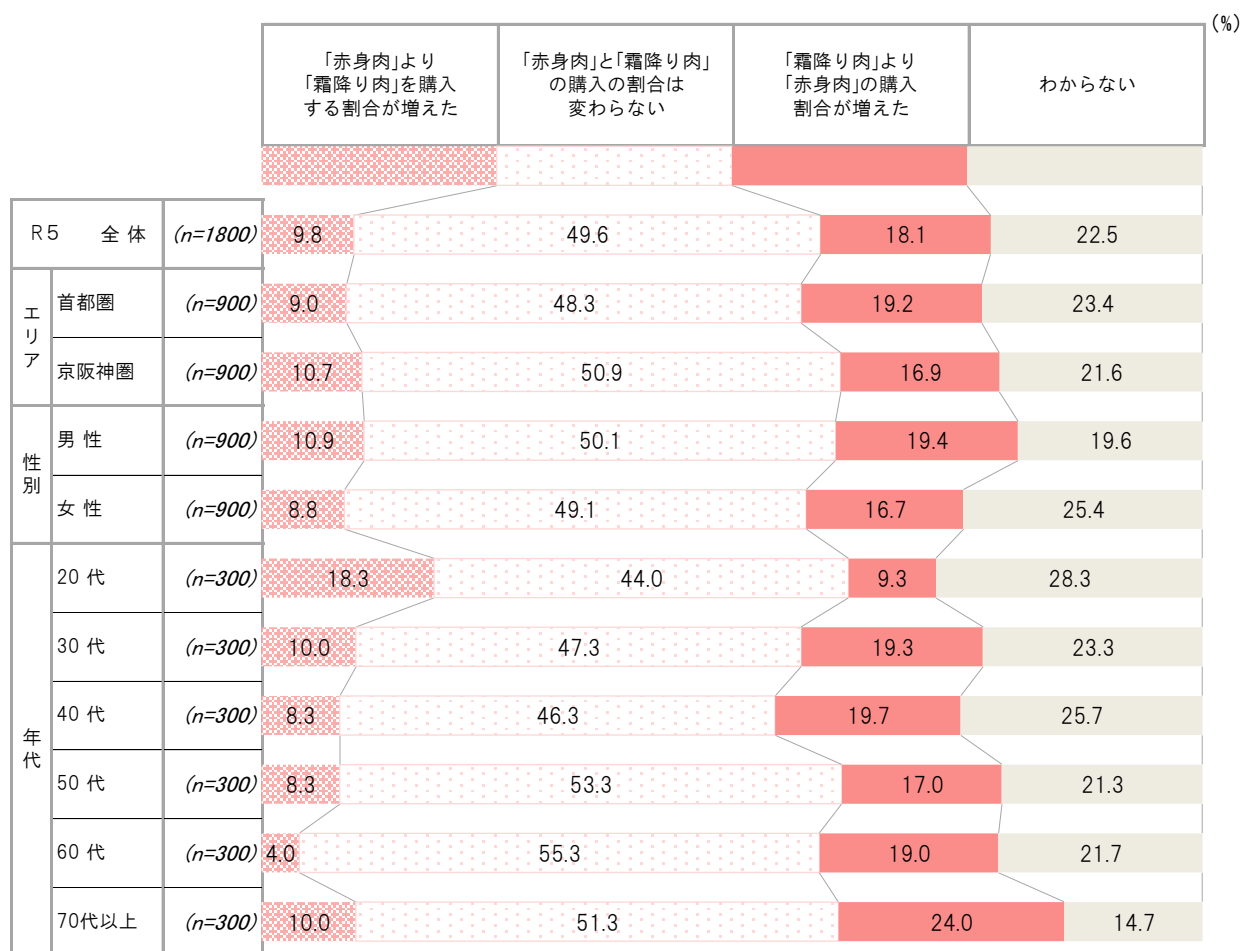
図表 89 エリア・性・年代別 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向

10) 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q40) :
エリア・性・年代別分析

5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q40) を聞いたところ、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」が49.6%と最も高く半数を占める。「霜降り肉」より、「赤身肉」の購入割合が増えた」が18.1%、「赤身肉」より、「霜降り肉」を購入する割合が増えた」9.8%の順である。「わからない」は22.5%である。

エリア別、性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、20代は「赤身肉」より、「霜降り肉」を購入する割合が増えた」が高いが、70代以上は「霜降り肉」より、「赤身肉」の購入割合が増えた」が高くなっている。



図表 90 エリア・性・年代別 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の
購入割合の変化

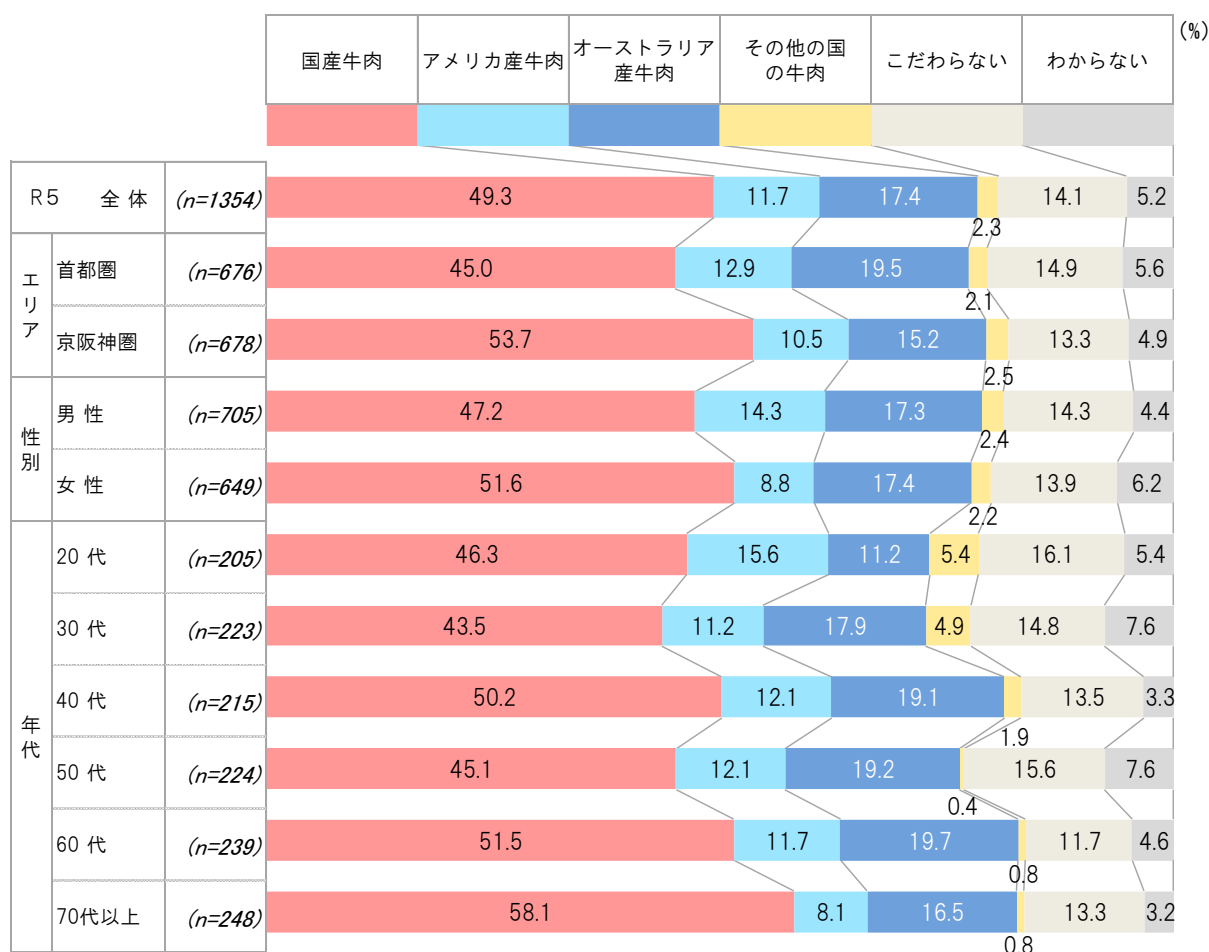
11) 主に購入する「赤身肉」の原産地 (Q44) : エリア・性・年代別分析

主に購入する「赤身肉」の原産地 (Q44) を聞いたところ、「国産牛肉」が 49.3% で最も高く半数を占める。次いで、「オーストラリア産牛肉」17.4%、「アメリカ産牛肉」11.7%、「その他の国の牛肉」2.3%である。「こだわらない」が 14.1%、「わからない」が 5.2%である。

エリア別に見ると、「国産牛肉」は、首都圏が 45.0%、京阪神圏が 53.7%と首都圏より京阪神圏の方が高い。一方、「オーストラリア産牛肉」「アメリカ産牛肉」は、京阪神圏より首都圏の方が高くなっている。

性別に見ると、「国産牛肉」は、男性が 47.2%、女性が 51.6%と男性より女性の方が高くなっている。「アメリカ産牛肉」は、男性が 14.3%、女性が 8.8%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「国産牛肉」は、70代以上で高くなっている。



図表 91 エリア・性・年代別 主に購入する「赤身肉」の原産地 (Q44)

2.5 「国産牛肉の格付」に関する消費者意識の考察

- 「国産牛肉の格付」の認知率は77.8%（「A5やA4等という言葉は聞いたことがある・知っている」46.9%+「ある程度知っている」27.3%+「詳しく知っている」3.6%）となっている。
- 「A5の国産牛肉」のイメージは、「美味しい」が53.2%で最も多く、次いで「霜降り（サシが多い）」が37.5%、「柔らかい」が36.6%、「高級」が36.5%の順。
- 「A3の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が37.2%で最も多く、次いで、「美味しい」が29.6%、「柔らかい」が18.7%、「赤身が多い」が13.1%、「価格が手頃」が12.9%の順。
- 「B5の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が41.2%で最も多く、次いで、「価格が手頃」が26.6%、「美味しい」が20.2%、「赤身が多い」が18.5%、「若者向き」が7.3%の順。
- 「国産牛肉の格付」に対する関心を聞いたところ、「関心がある」とする回答割合が38.4%（「非常に関心がある」6.5%+「やや関心がある」31.9%）、「どちらでもない」とする回答割合が29.7%、「関心がない」とする回答割合が31.9%（「あまり関心がない」20.9%+「全く関心がない」11.0%）となっている。

2.5では、「国産牛肉の格付」に関する消費者意識を探ることを目的とした。

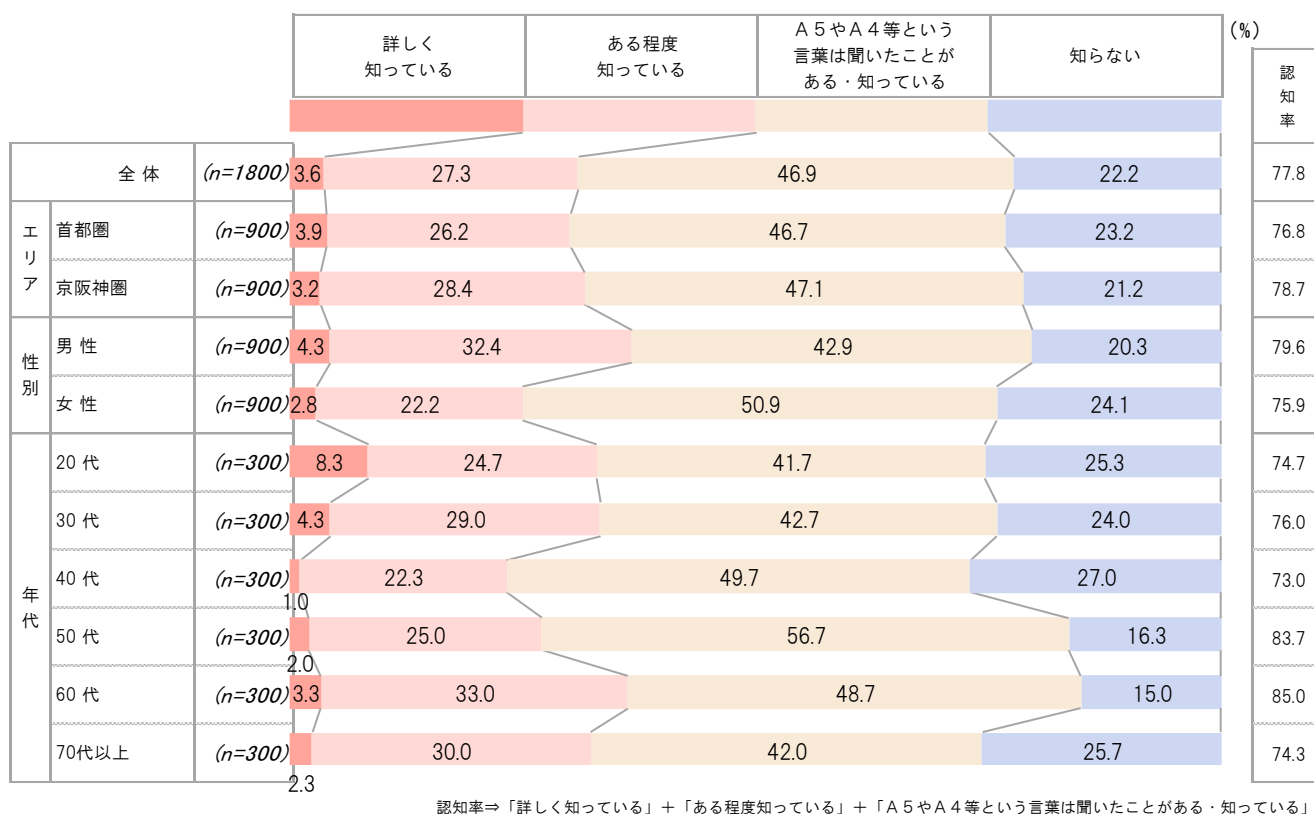
1) 「国産牛肉の格付」の認知度 (Q41) : エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付」の認知度 (Q41) を聞いたところ、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」が 46.9%で最も高く、「ある程度知っている」が 27.3%、「詳しく知っている」が 3.6%で、認知率が 77.8%であり、「知らない」は 22.2%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「ある程度知っている」は、男性が 32.4%、女性が 22.2%と女性より男性の方が高い。認知率で見ても、男性が 79.6%、女性が 75.9%と女性より男性の方が高くなっている。

年代別に見ると、「ある程度知っている」は 60 代以上で 3 割以上と高い。50 代は、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」が 56.7%と高くなっている。



図表 92 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付」の認知度 (Q41)

2) 「国産牛肉の格付（A5・A3・B5）」別のイメージ（Q42）：エリア・性・年代別分析

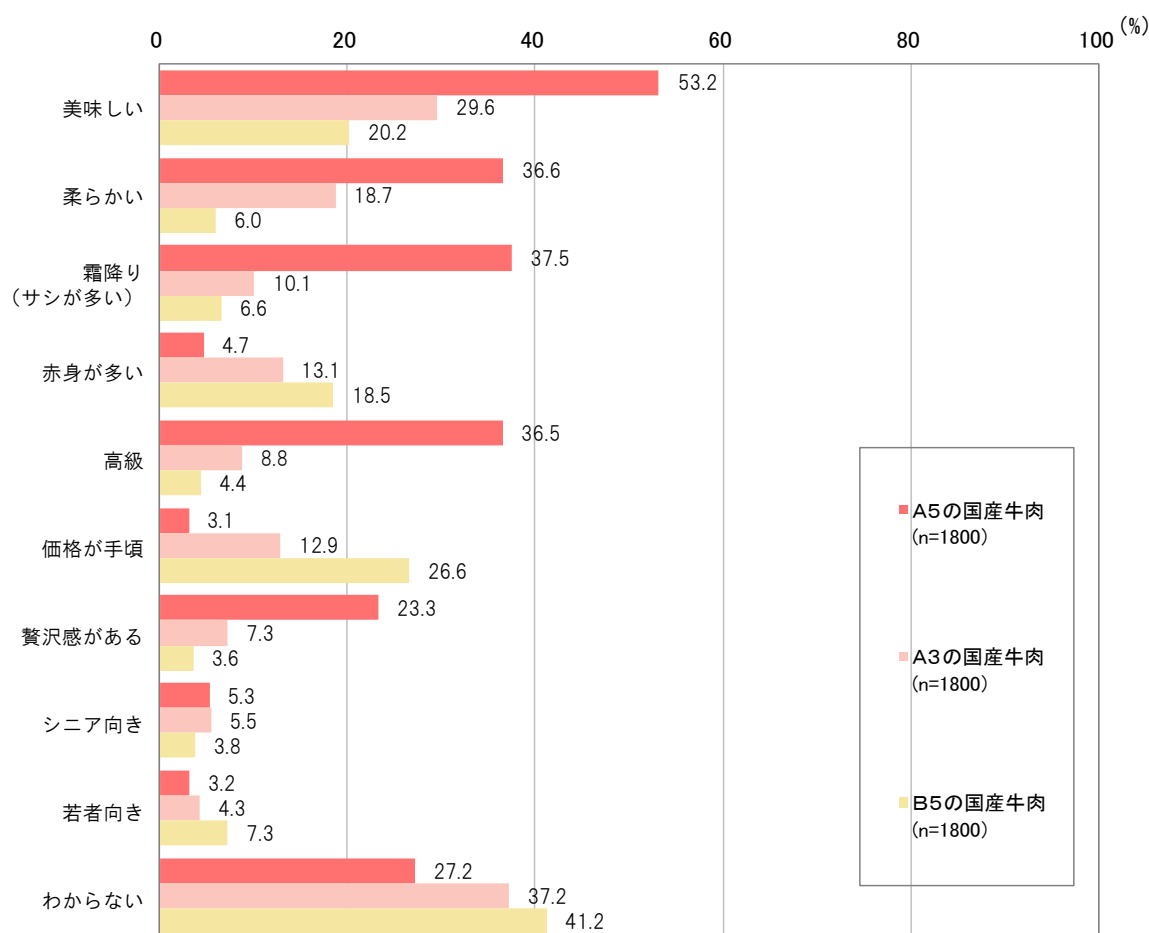
「国産牛肉の格付（A5・A3・B5）」別のイメージ（Q42）を聞いた。

「A5の国産牛肉」のイメージは、「美味しい」が53.2%で最も高く、「霜降り（サシが多い）」37.5%、「柔らかい」36.6%、「高級」36.5%の順で、「わからない」が27.2%である。

「A3の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が37.2%で最も高く、「美味しい」29.6%、「柔らかい」18.7%、「赤身が多い」13.1%、「価格が手頃」12.9%の順である。

「B5の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が41.2%で最も高く、「価格が手頃」26.6%、「美味しい」20.2%、「赤身が多い」18.5%、「若者向き」7.3%の順である。

「A5の国産牛肉」に対しては、「美味しい」等のイメージがきちんと持たれているが、「A3」「B5」になると、「わからない」が最も多く、イメージが希薄になっている。



図表 93 「国産牛肉の格付（A5・A3・B5）」別のイメージ

【A5 の国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「霜降り（サシが多い）」「柔らかい」「高級」「贅沢感がある」は、年代が高い方が高くなっている。

【A3 の国産牛肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「価格が手頃」は、男性が 16.6%、女性が 9.2%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「赤身が多い」「価格が手頃」「シニア向き」は、年代が高い方が高くなっている。

【B5 の国産牛肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「赤身が多い」は、男性が 21.7%、女性が 15.3%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「価格が手頃」「若者向き」は、年代が高い方が高くなっている。



図表 94 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」 のイメージ

3) 「国産牛肉の格付」の関心度 (Q43) : エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付」の関心度 (Q43) を聞いたところ、「やや関心がある」が 31.9%で最も高く、「どちらでもない」 29.7%、「あまり関心がない」 20.9%、「全く関心がない」 11.0%、「非常に関心がある」 6.5%の順である。

「関心がある計」が 38.4%、「関心がない計」が 31.9%である。

エリア別に見ると、「やや関心がある」は、首都圏が 30.3%、京阪神圏が 33.4%と首都圏より京阪神圏の方が高い。

性別に見ると、「やや関心がある」は、男性が 33.6%、女性が 30.2%と女性より男性の方が高い。一方、「全く関心がない」は、男性が 9.0%、女性が 13.0%と男性より女性の方が高い。国産牛肉の格付への関心度は、女性より男性の方が高くなっている。

年代別に見ると、20代は「非常に関心がある」が 11.3%と高く、「関心がある計」が 48.0%と、国産牛肉の格付への関心度が高くなっている。

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	全く 関心がない	関心度 (%)	
								関心 がある 計	関心 がない 計
全体	(n=1800)	6.5	31.9	29.7	20.9	11.0	38.4	31.9	
	エリア								
	首都圏 (n=900)	6.9	30.3	29.0	22.2	11.6	37.2	33.8	
	京阪神圏 (n=900)	6.1	33.4	30.3	19.7	10.4	39.5	30.1	
性別									
	男性 (n=900)	7.2	33.6	30.3	19.9	9.0	40.8	28.9	
	女性 (n=900)	5.8	30.2	29.0	22.0	13.0	36.0	35.0	
年代									
	20代 (n=300)	11.3	36.7	27.0	14.3	10.7	48.0	25.0	
	30代 (n=300)	7.0	30.0	32.7	16.7	13.7	37.0	30.4	
	40代 (n=300)	4.7	31.0	28.7	21.7	14.0	35.7	35.7	
	50代 (n=300)	5.3	29.0	34.7	21.3	9.7	34.3	31.0	
	60代 (n=300)	4.7	33.3	27.0	26.0	9.0	38.0	35.0	
	70代以上 (n=300)	6.0	31.3	28.0	25.7	9.0	37.3	34.7	

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「全く関心がない」

図表 95 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付」の関心度

3. 食肉の購買実態に関する調査

1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「週に1日程度」、中食、外食では「それ以下（月に1日以下）」とする割合が高い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2～3日程度」と「週に1日程度」が多く、中食、外食では「それ以下（月に1日以下）」とする割合が最も高い。

【今年度調査】

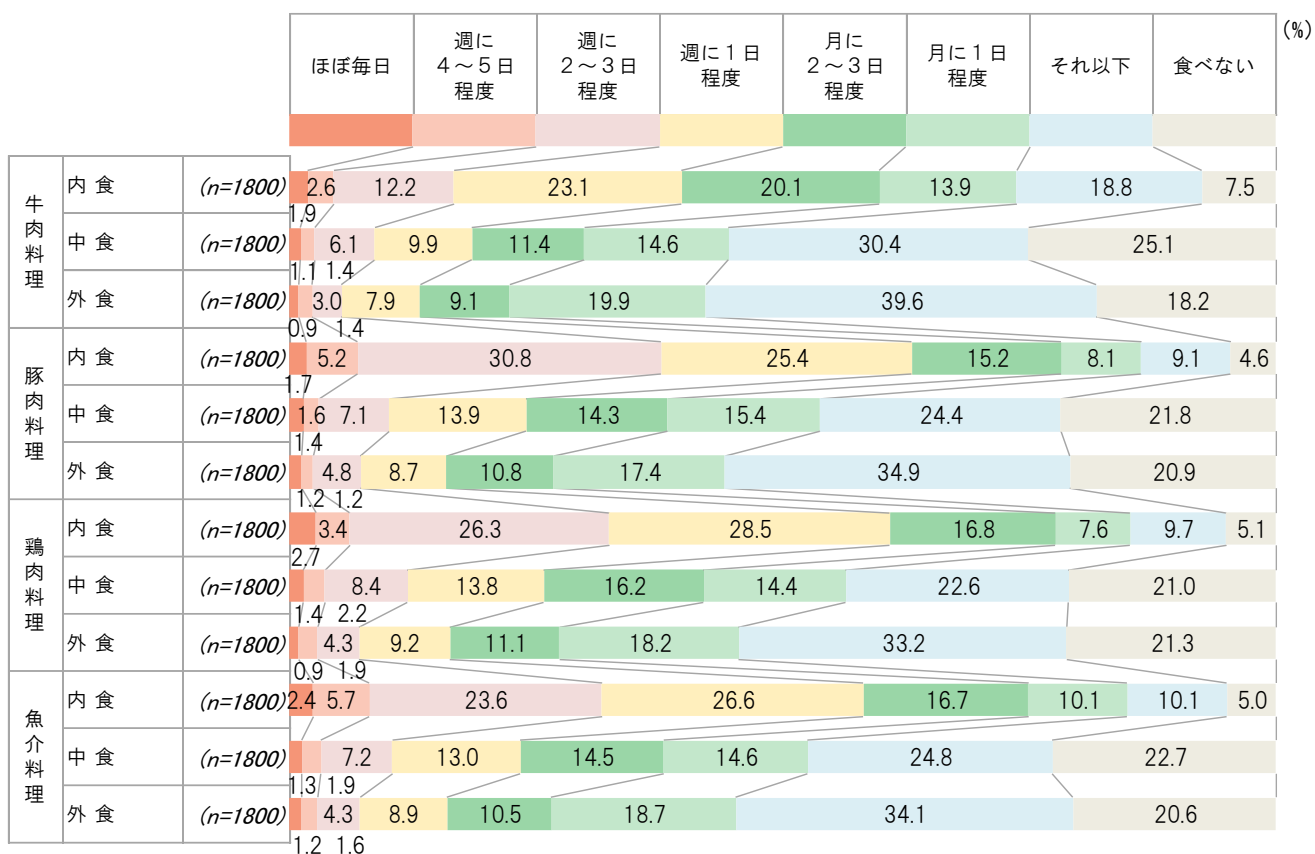
牛肉料理の喫食頻度は、内食では、「週に1日程度」23.1%、「月に2～3日程度」20.1%、「それ以下」18.8%、「月に1日程度」13.9%、「週に2～3日程度」12.2%の順で高い。中食では「それ以下」30.4%、「食べない」25.1%、「月に1日程度」14.6%、「月に2～3日程度」11.4%の順で高い。外食では「それ以下」39.6%、「月に1日程度」19.9%、「食べない」18.2%の順で高い。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2～3日程度」30.8%、「週に1日程度」25.4%、「月に2～3日程度」15.2%の順で高い。中食では「それ以下」24.4%、「食べない」21.8%、「月に1日程度」15.4%、「月に2～3日程度」14.3%、「週に1日程度」13.9%の順で高い。外食では「それ以下」34.9%、「食べない」20.9%、「月に1日程度」17.4%、「月に2～3日程度」10.8%の順で高い。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」28.5%、「週に2～3日程度」26.3%、「月に2～3日程度」16.8%の順で高い。中食では「それ以下」22.6%、「食べない」21.0%、「月に2～3日程度」16.2%、「月に1日程度」14.4%、「週に1日程度」13.8%の順で高い。外食では「それ以下」33.2%、「食べない」21.3%、「月に1日程度」18.2%、「月に2～3日程度」11.1%の順で高い。

魚介料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」26.6%、「週に2～3日程度」23.6%、「月に2～3日程度」16.7%、「月に1日程度」及び「それ以下」10.1%の順で高い。中食では「それ以下」24.8%、「食べない」22.7%、「月に1日程度」14.6%、「月に2～3日程度」14.5%、「週に1日程度」13.0%の順で高い。外食では、「それ以下」34.1%、「食べない」20.6%、「月に1日程度」18.7%、「月に2～3日程度」10.5%の順で高い。

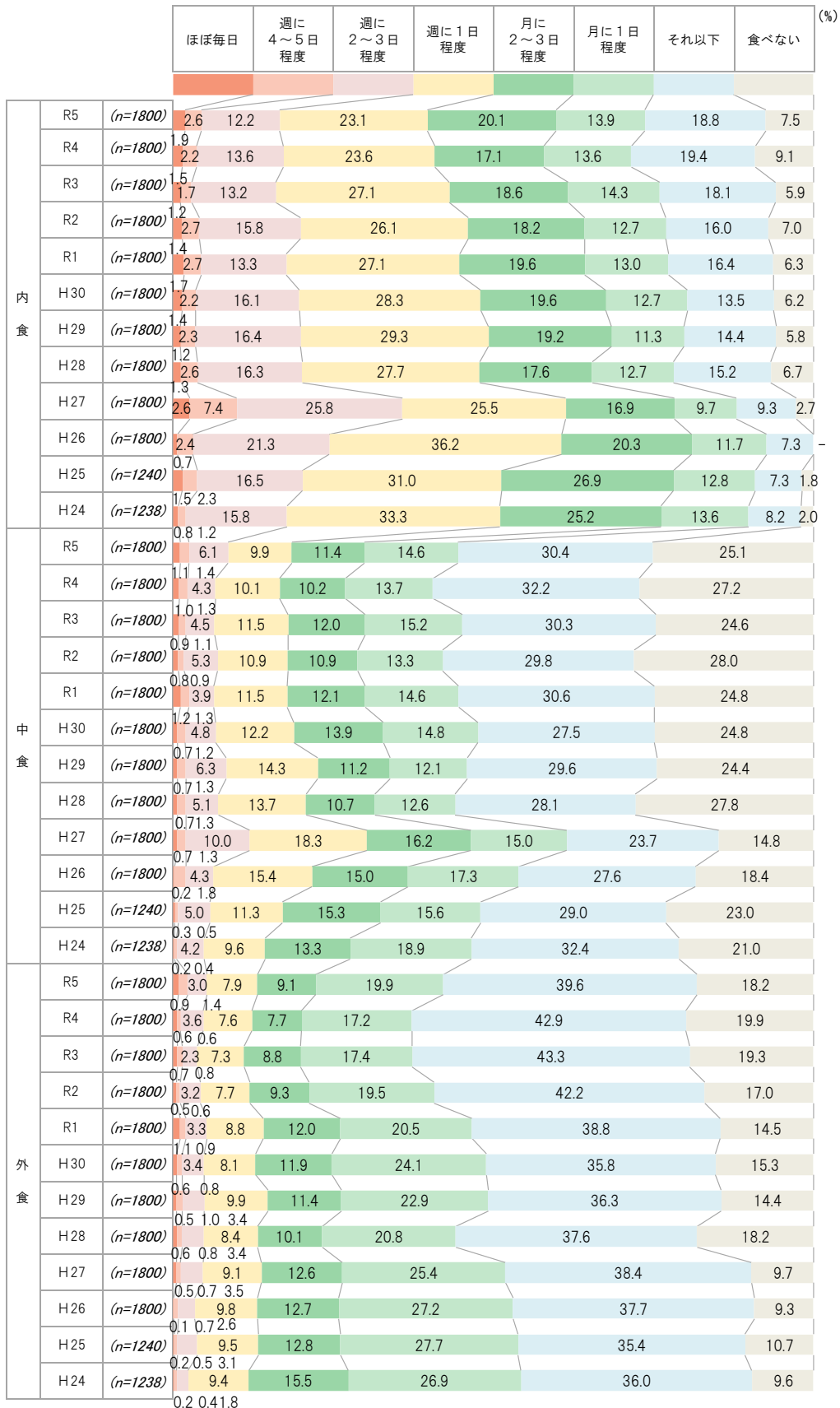
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にある。



図表 96 食肉の種類別機会別の喫食頻度

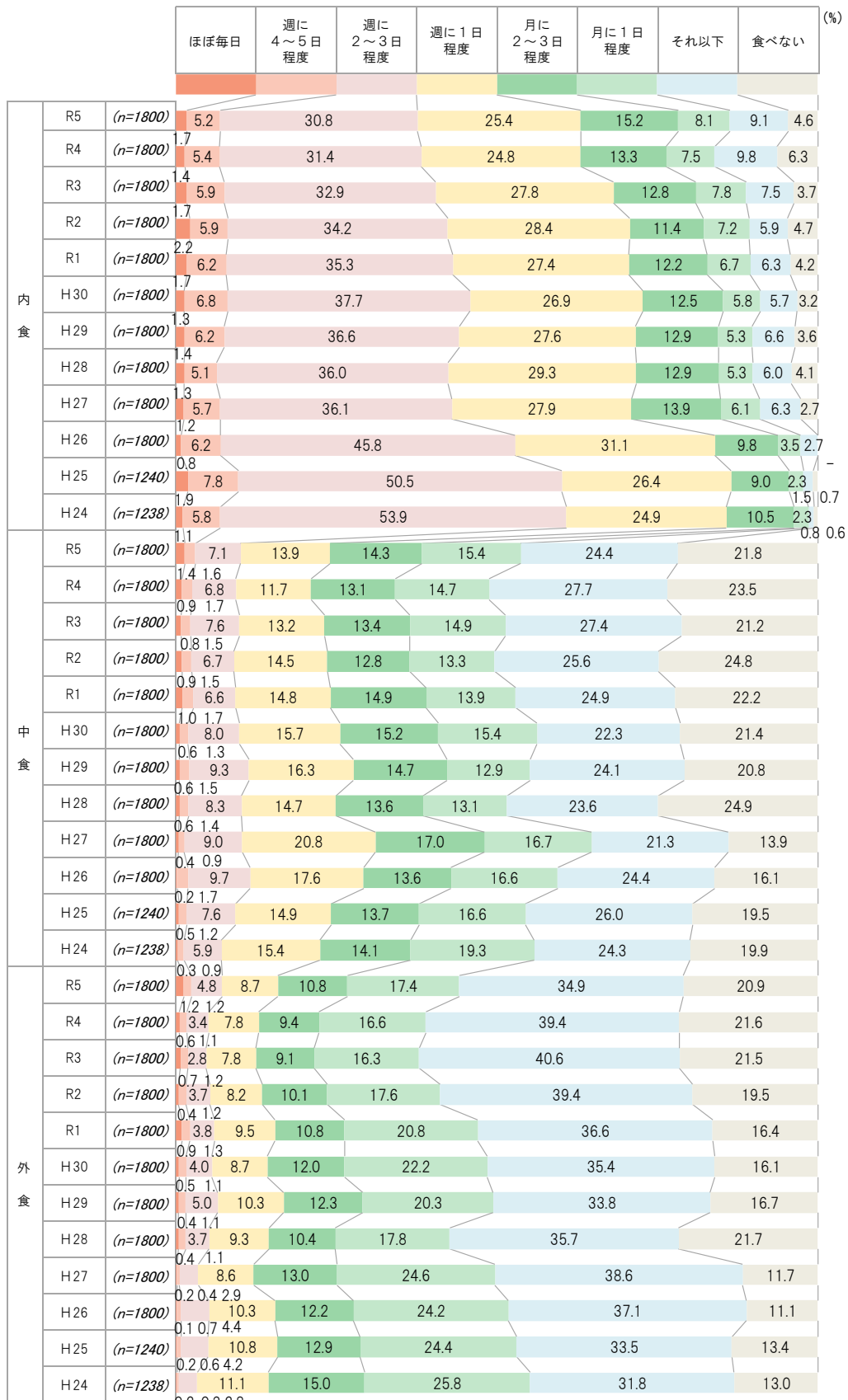
【過年度調査との比較】

牛肉料理は、内食・中食・外食のいずれも「食べない」が昨年度よりやや減少している。



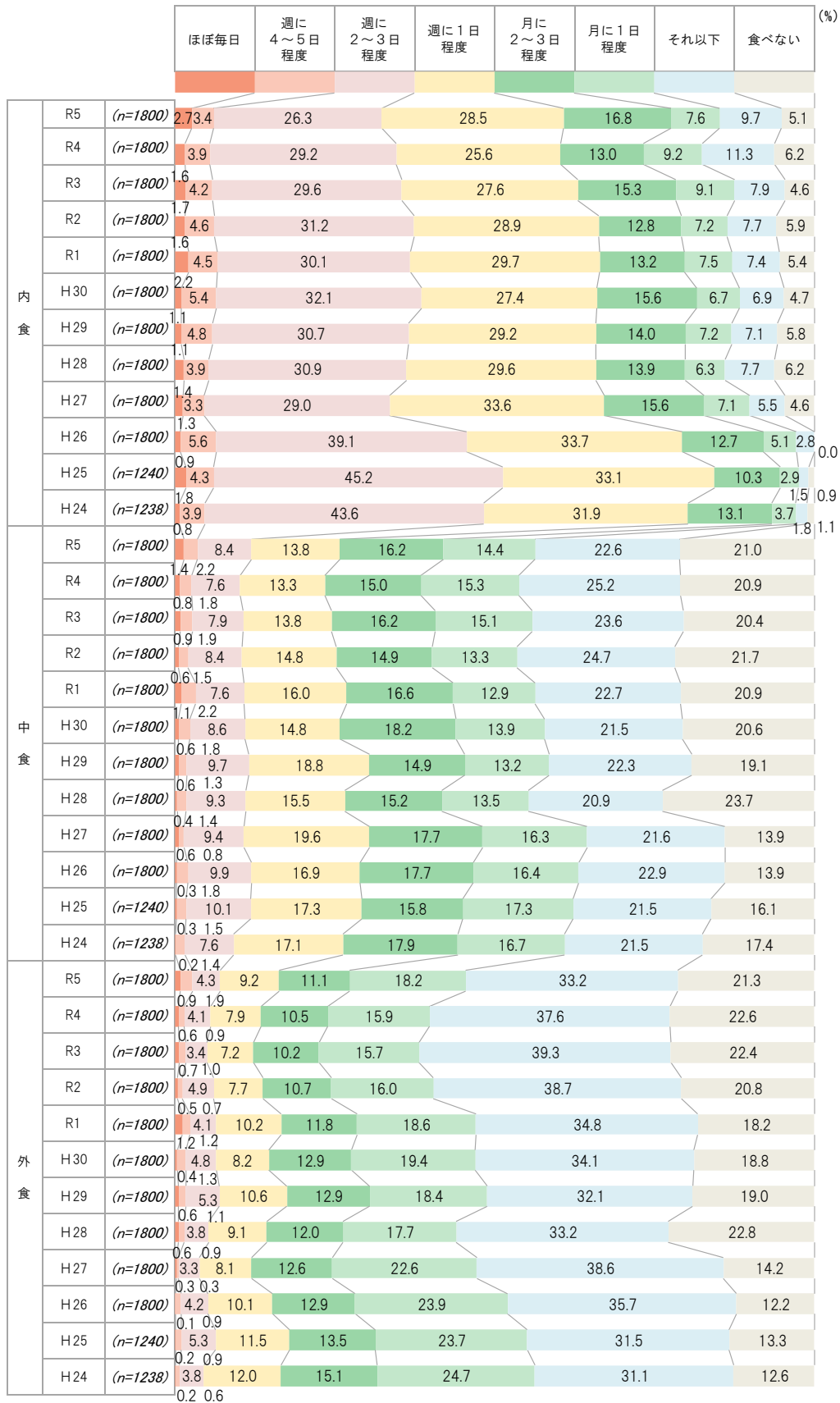
図表 97 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理は、肉食・中食・外食のいずれも「食べない」が昨年度よりやや減少している。



図表 98 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理の内食・外食は、昨年度に比べて「食べない」がやや減少している。
 中食は、昨年度に比べて大きな変化はない。



図表 99 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)

- ▶ どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- ▶ 牛肉は栄養の豊富さ、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、イメージには大きな違いは見られない。

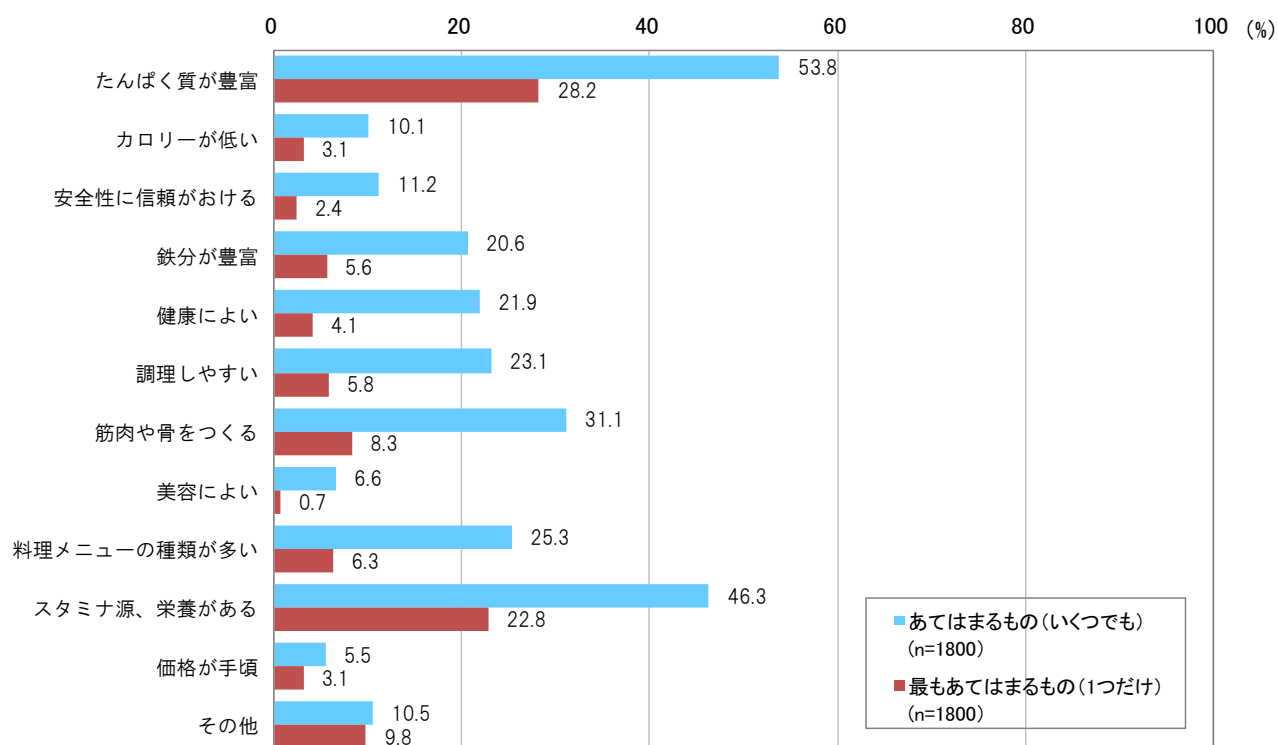
【今年度調査】

牛肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「たんぱく質が豊富」が53.8%で最も多く、次いで「スタミナ源、栄養がある」が46.3%、「筋肉や骨をつくる」31.1%の順となっている。

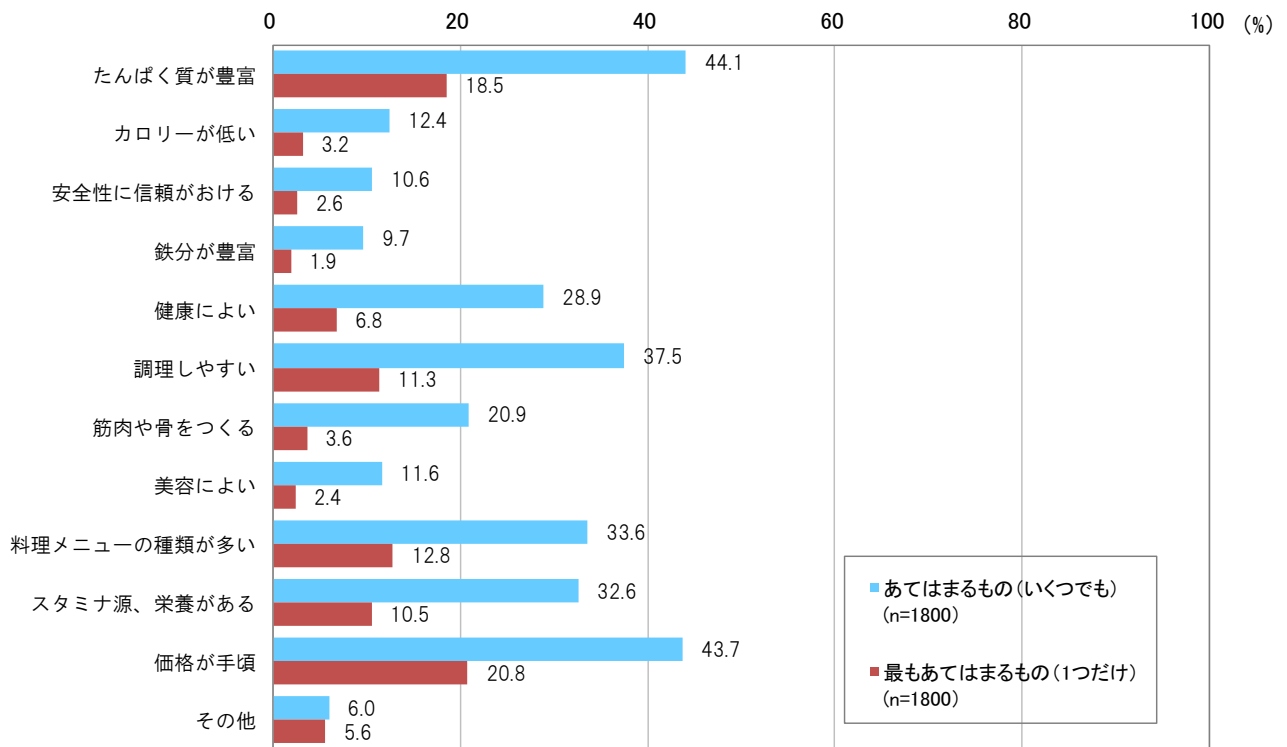
豚肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「たんぱく質が豊富」が44.1%で最も多く、次いで「価格が手頃」が43.7%、「調理しやすい」が37.5%の順となっている。

鶏肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「価格が手頃」が53.0%で最も多く、次いで「たんぱく質が豊富」が48.0%、「カロリーが低い」が39.5%の順となっている。

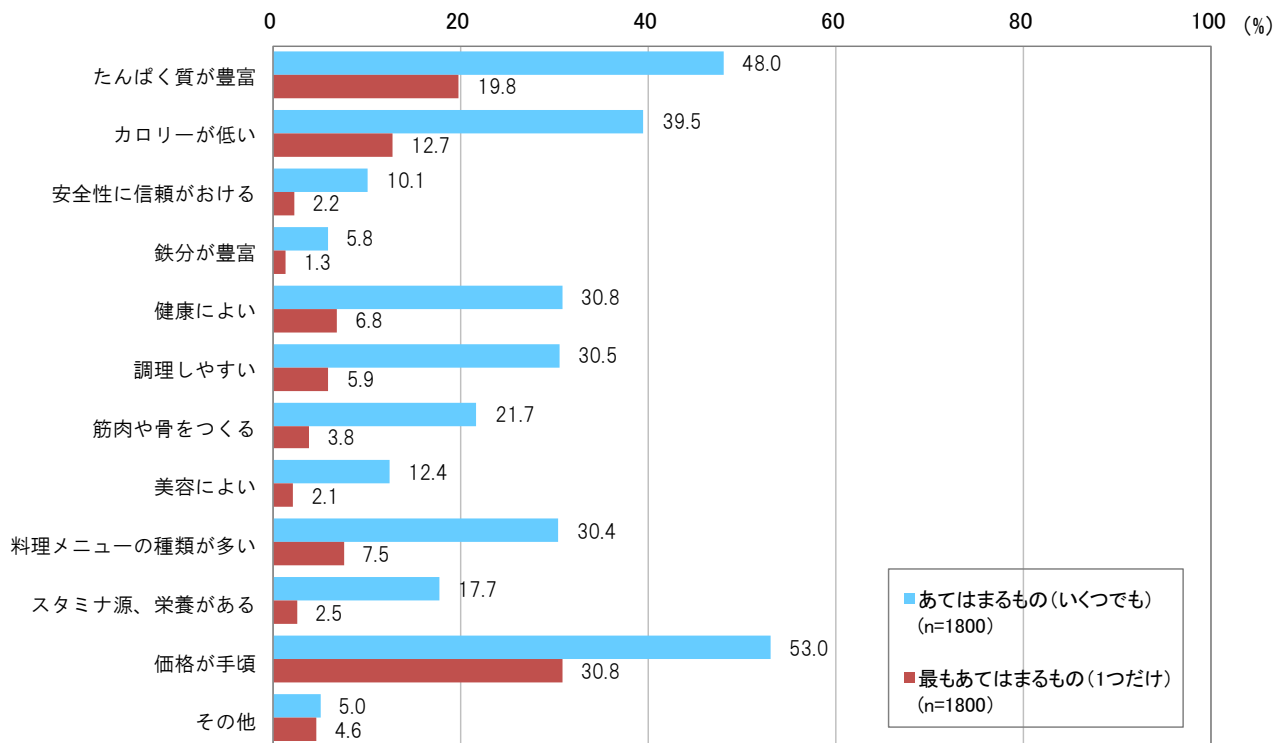
どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが上位2項目に入っており、たんぱく源としてのイメージが強い。また、牛肉は栄養の「豊富さ」、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。



図表 100 牛肉に対するイメージ



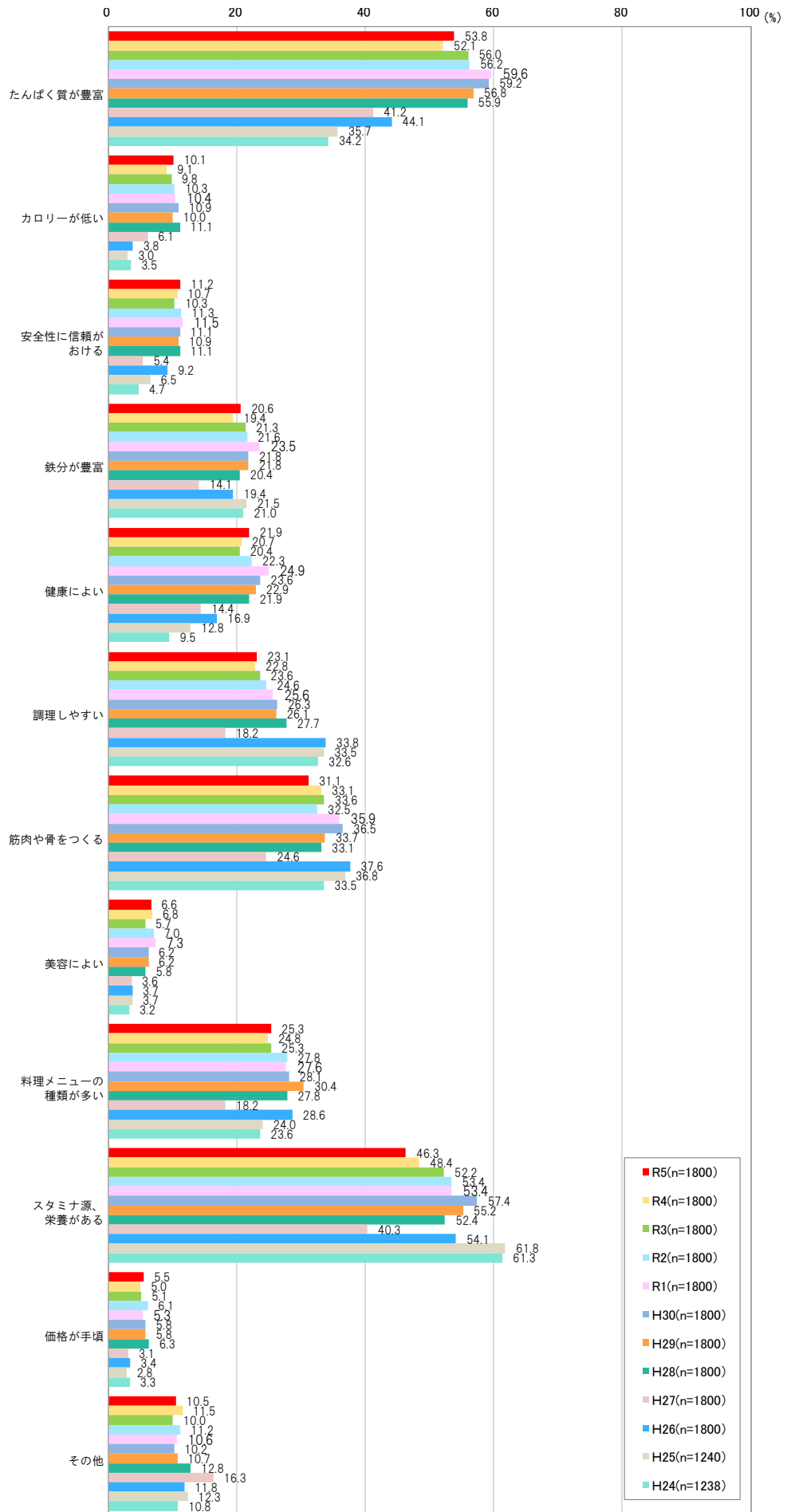
図表 101 豚肉に対するイメージ



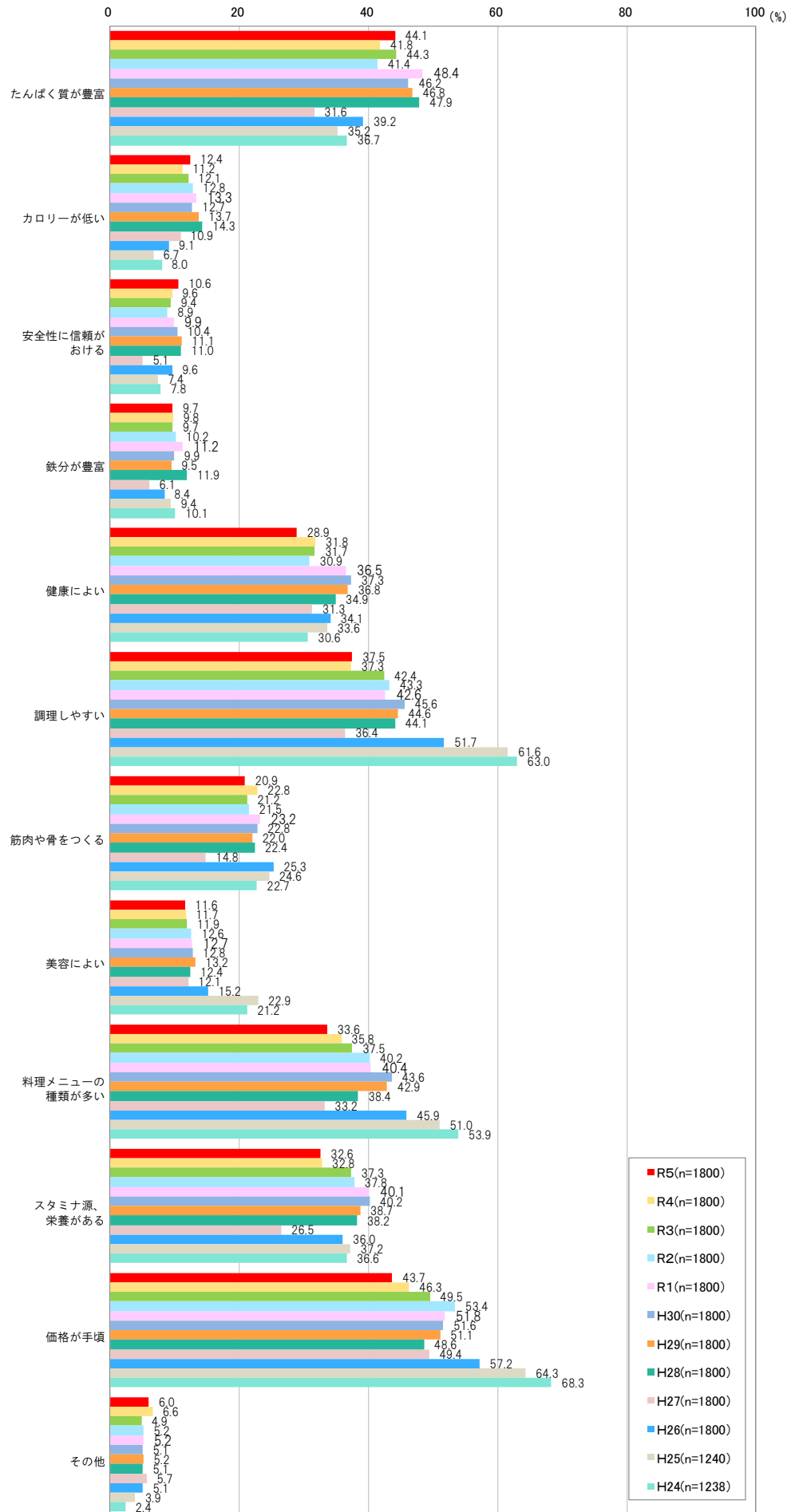
図表 102 鶏肉に対するイメージ

【過年度調査との比較】

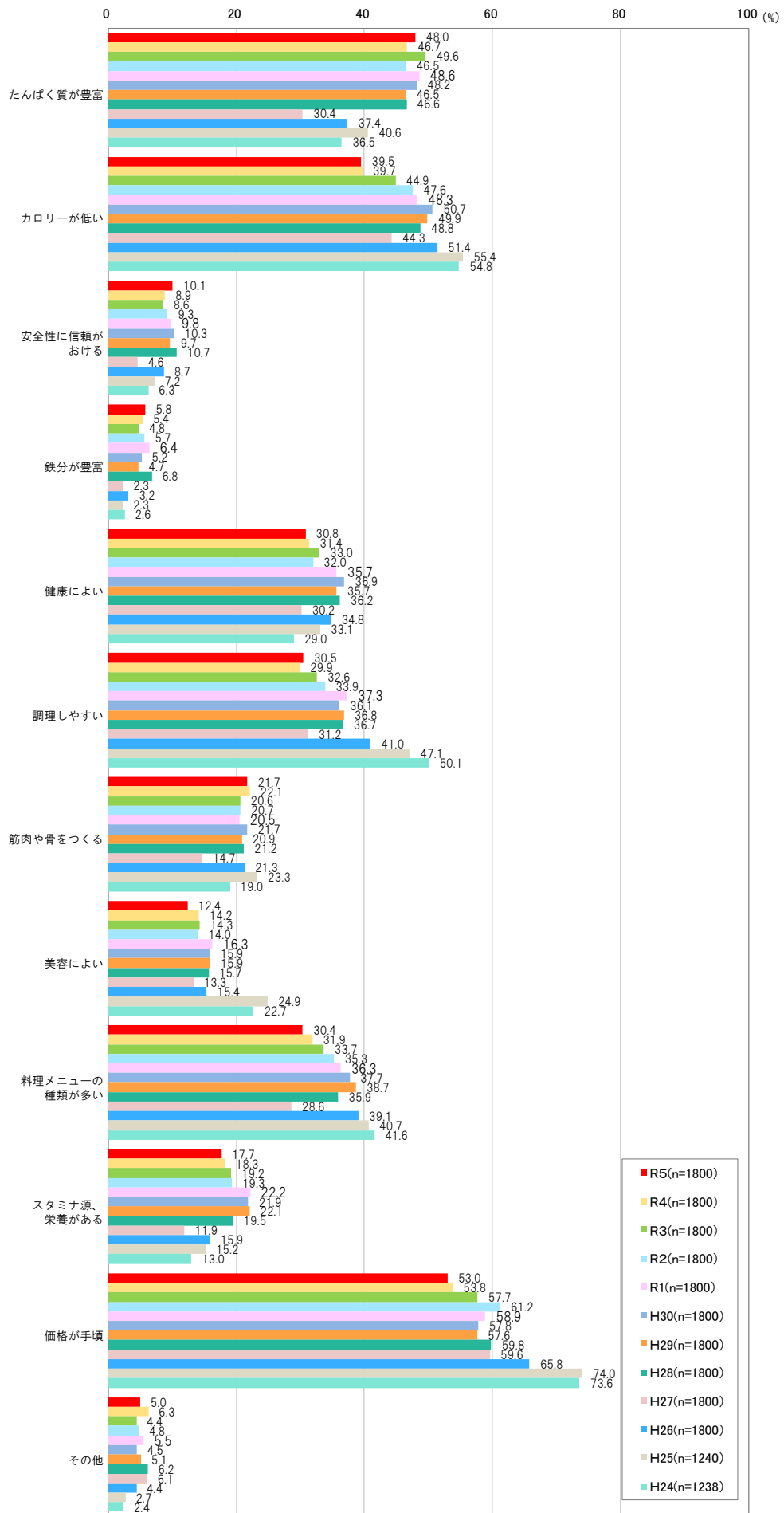
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、消費者に持たれているイメージには大きな違いは見られない。



図表 103 牛肉に対するイメージ（経年変化）



図表 104 豚肉に対するイメージ（経年変化）



図表 105 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

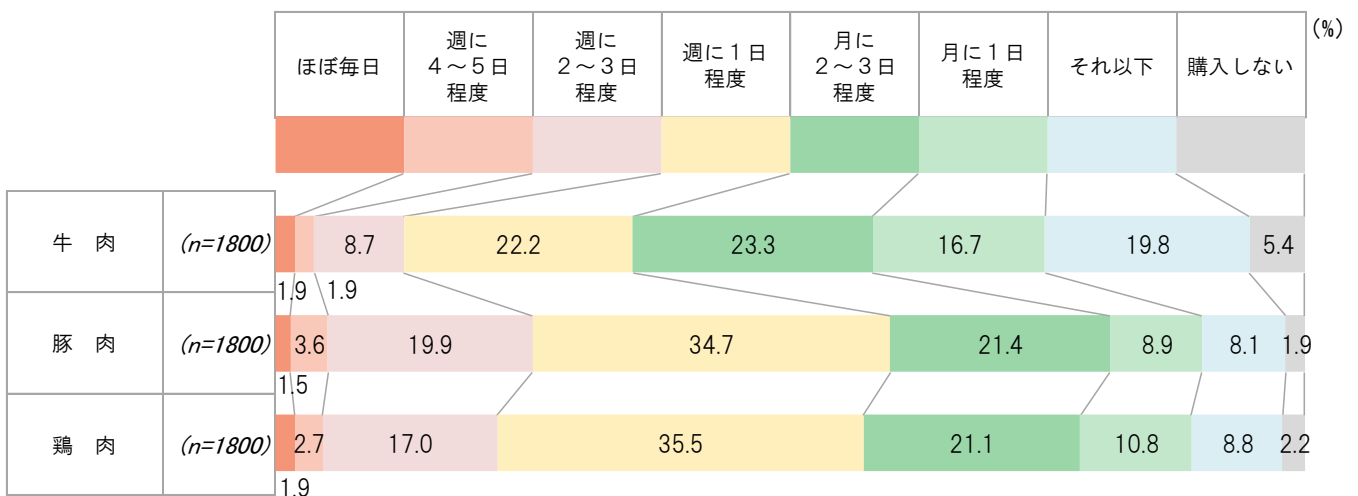
- ▶ 牛肉は「月に2～3日程度」と「週に1日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 豚肉は「週に1日程度」「月に2～3日程度」、鶏肉は「週に1日程度」「月に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、「購入しない」が減少。

【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「月に2～3日程度」23.3%、「週に1日程度」22.2%で、合わせて45.5%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「それ以下」が19.8%と他の食肉に比べて高い。

豚肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」34.7%、「月に2～3日程度」21.4%で、合わせて56.1%を占める。「それ以下」は8.1%である。

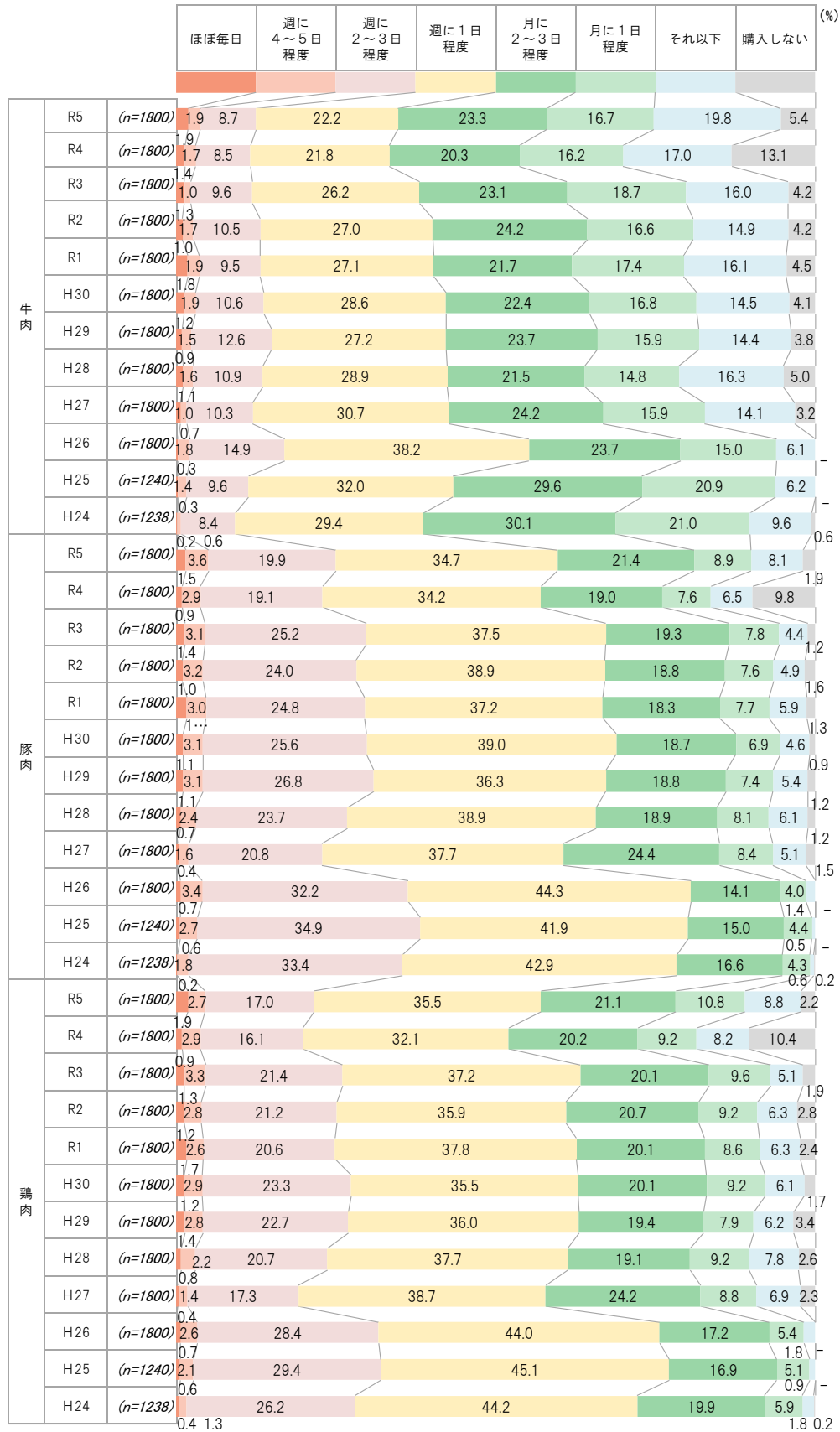
鶏肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」35.5%、「月に2～3日程度」21.1%で、合わせて56.6%を占める。「それ以下」は8.8%である。



図表 106 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、「購入しない」が減少した。



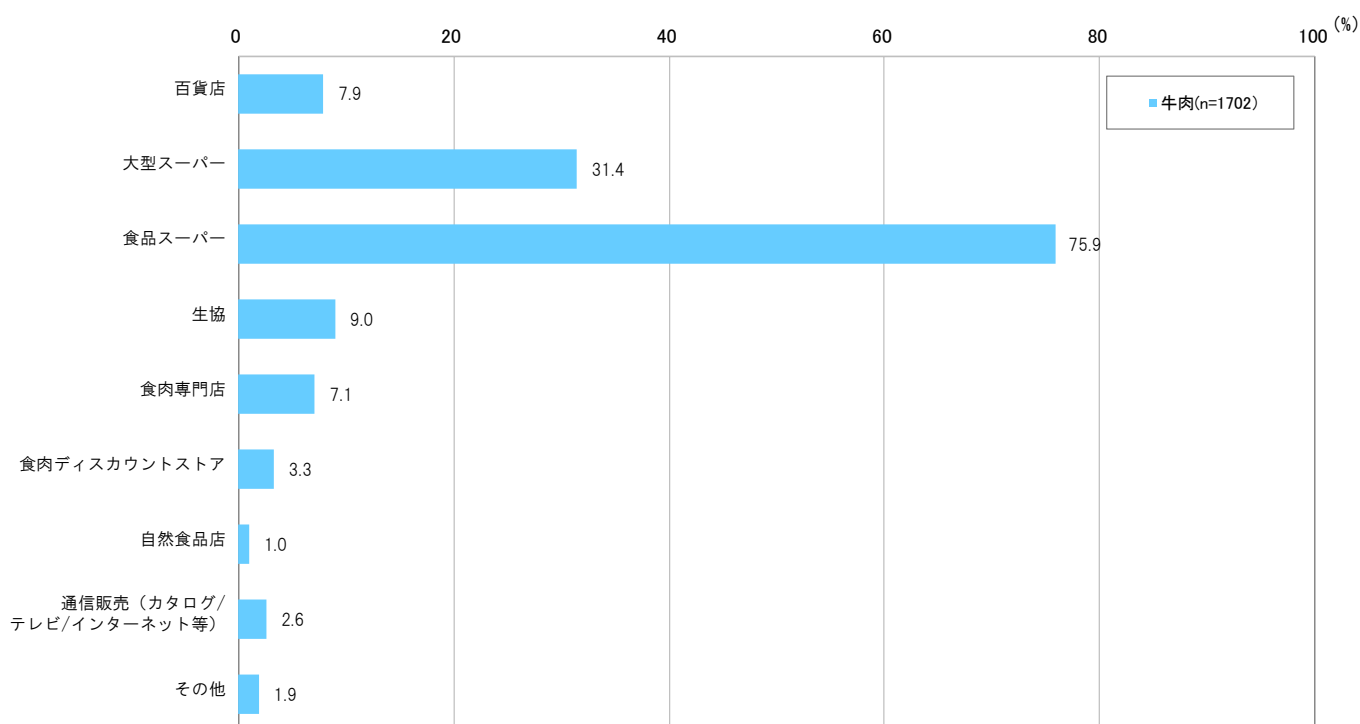
図表 107 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7)

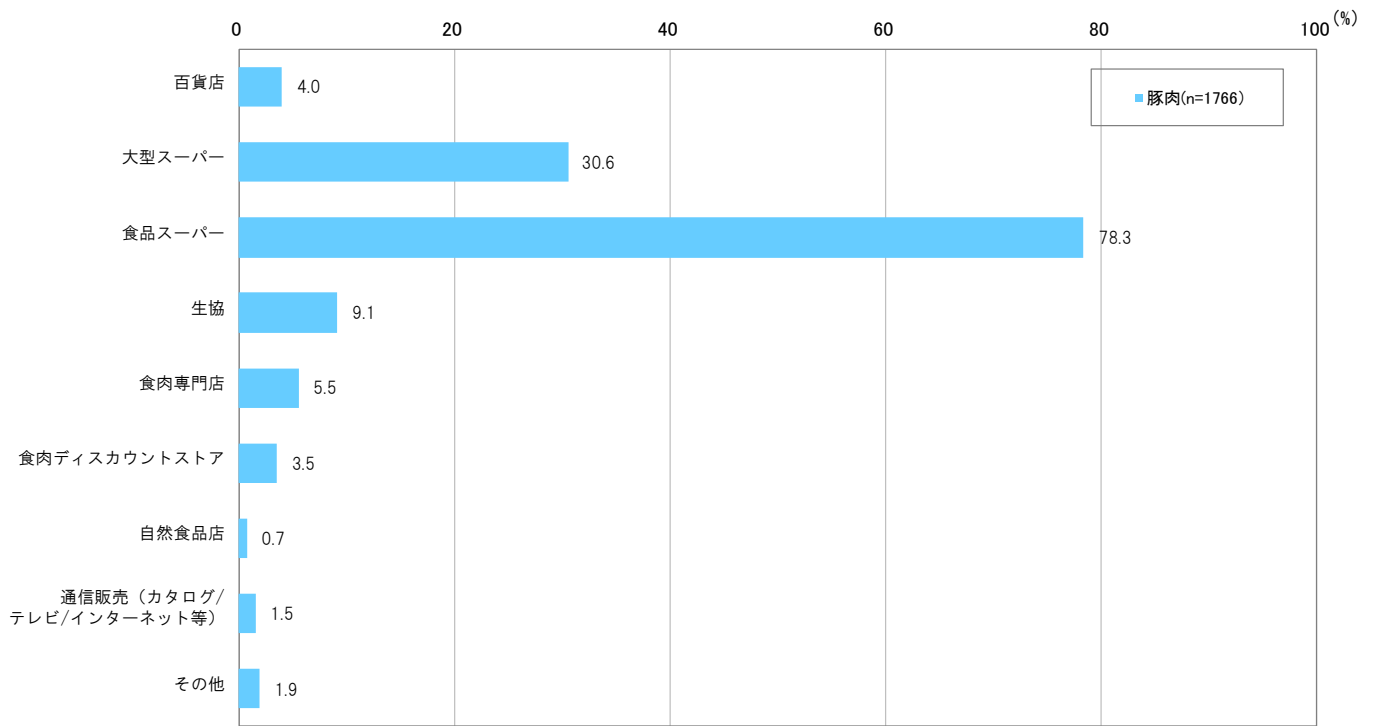
- ▶ どの食肉でも 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」が減少傾向。

【今年度調査】

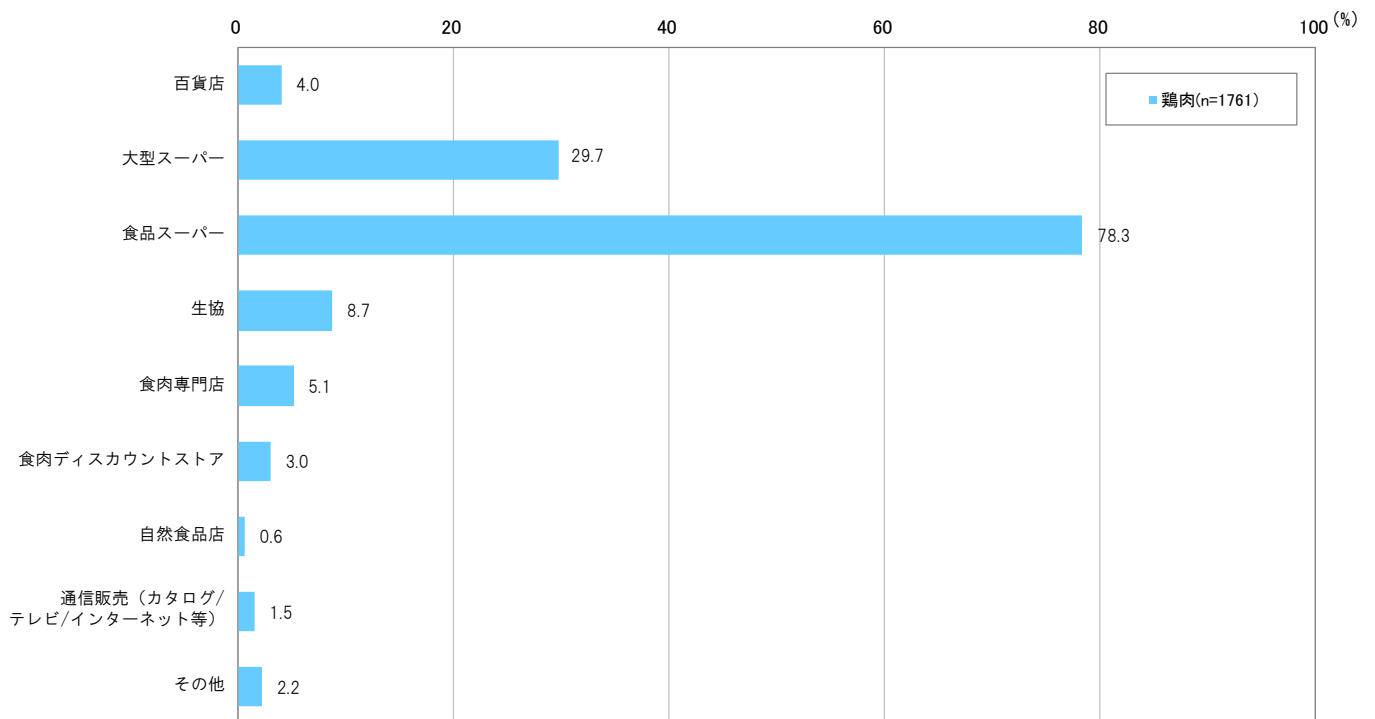
食肉の主な購入先を聞いたところ（複数回答）、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 75.9%、豚肉 78.3%、鶏肉 78.3%）、次いで「大型スーパー」が約 3 割（牛肉 31.4%、豚肉 30.6%、鶏肉 29.7%）となっている。



図表 108 牛肉の主な購入先



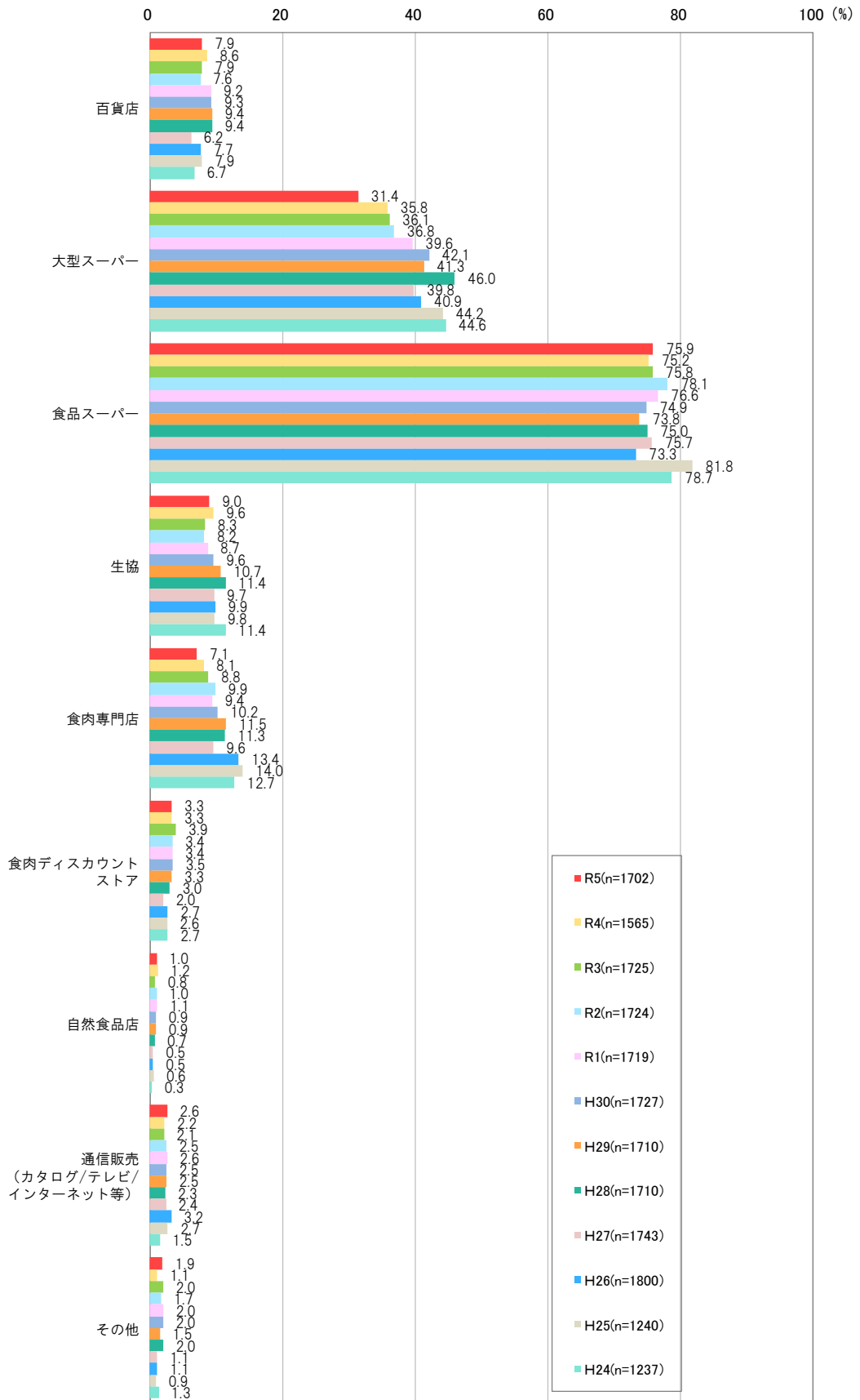
図表 109 豚肉の主な購入先



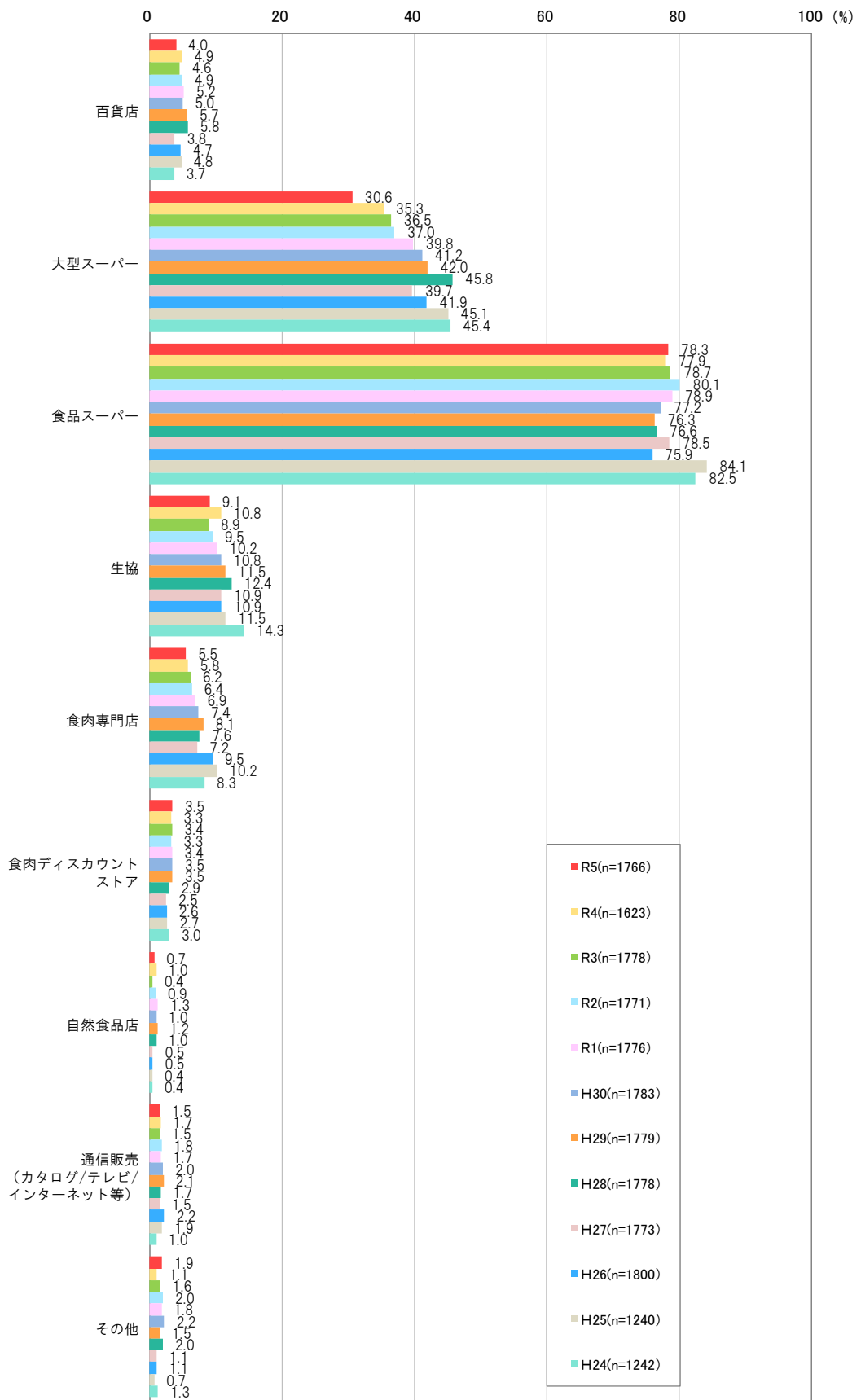
図表 110 鶏肉の主な購入先

【過年度調査との比較】

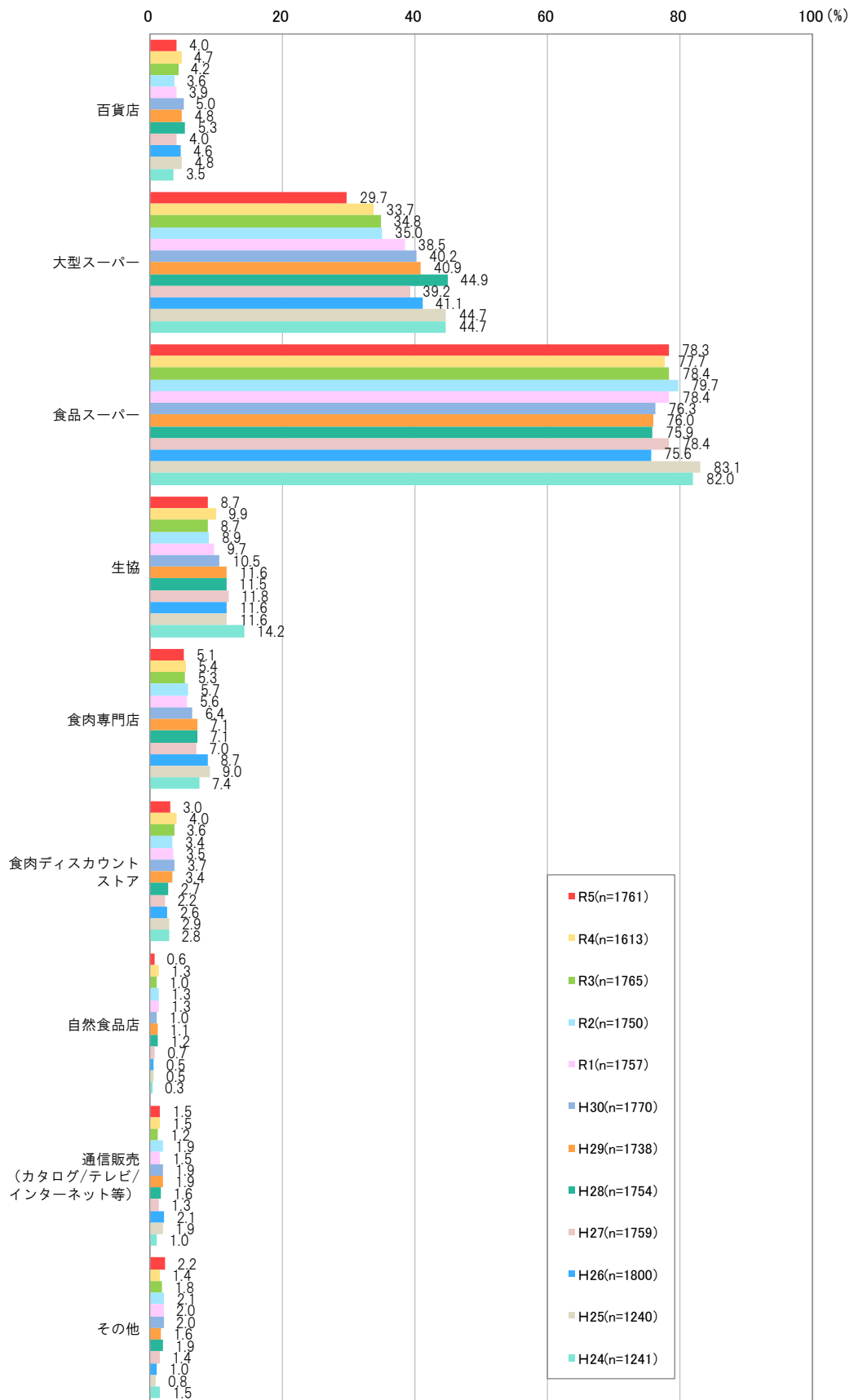
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」が減少傾向にある。



図表 111 牛肉の主な購入先（経年変化）



図表 112 豚肉の主な購入先（経年変化）



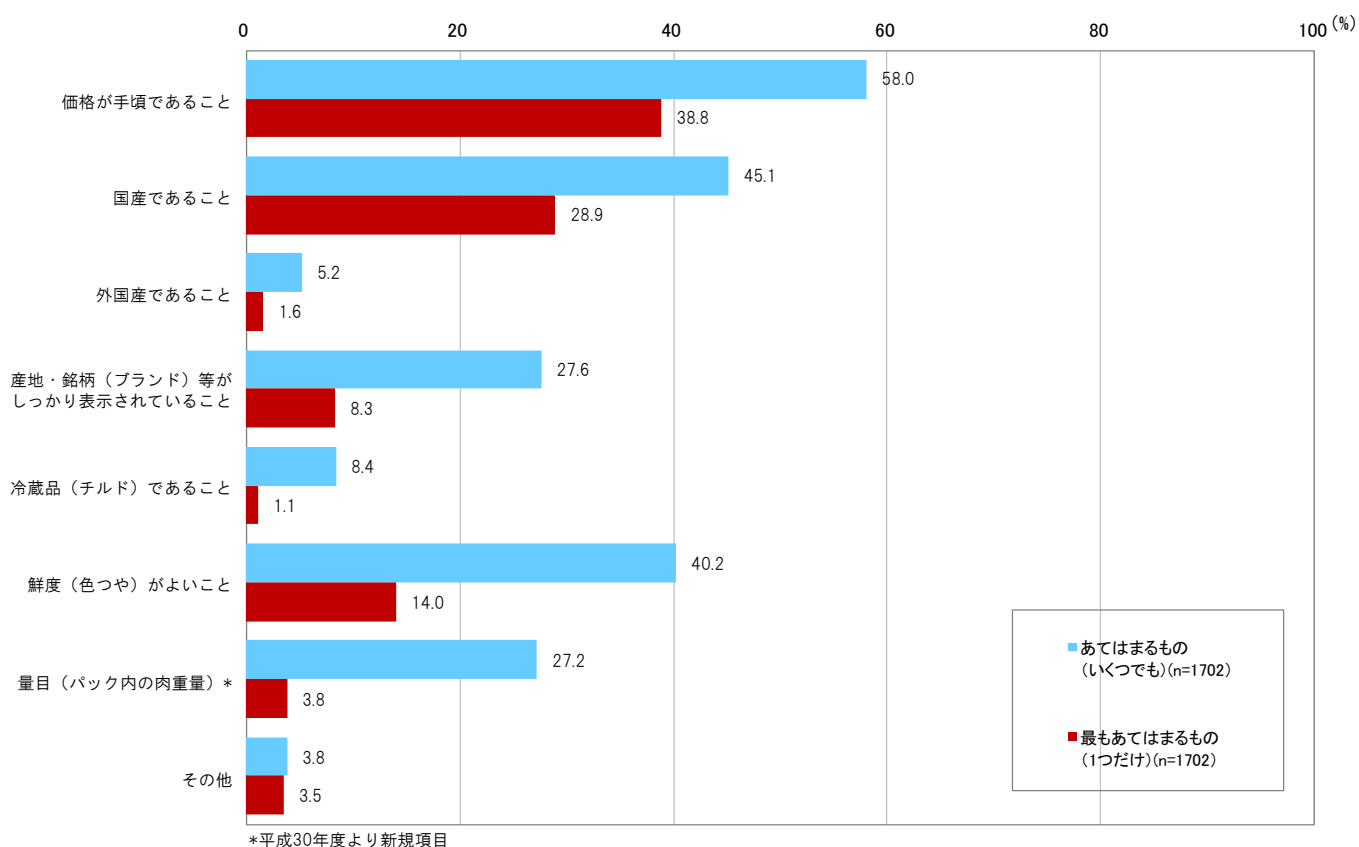
図表 113 鶏肉の主な購入先（経年変化）

5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)

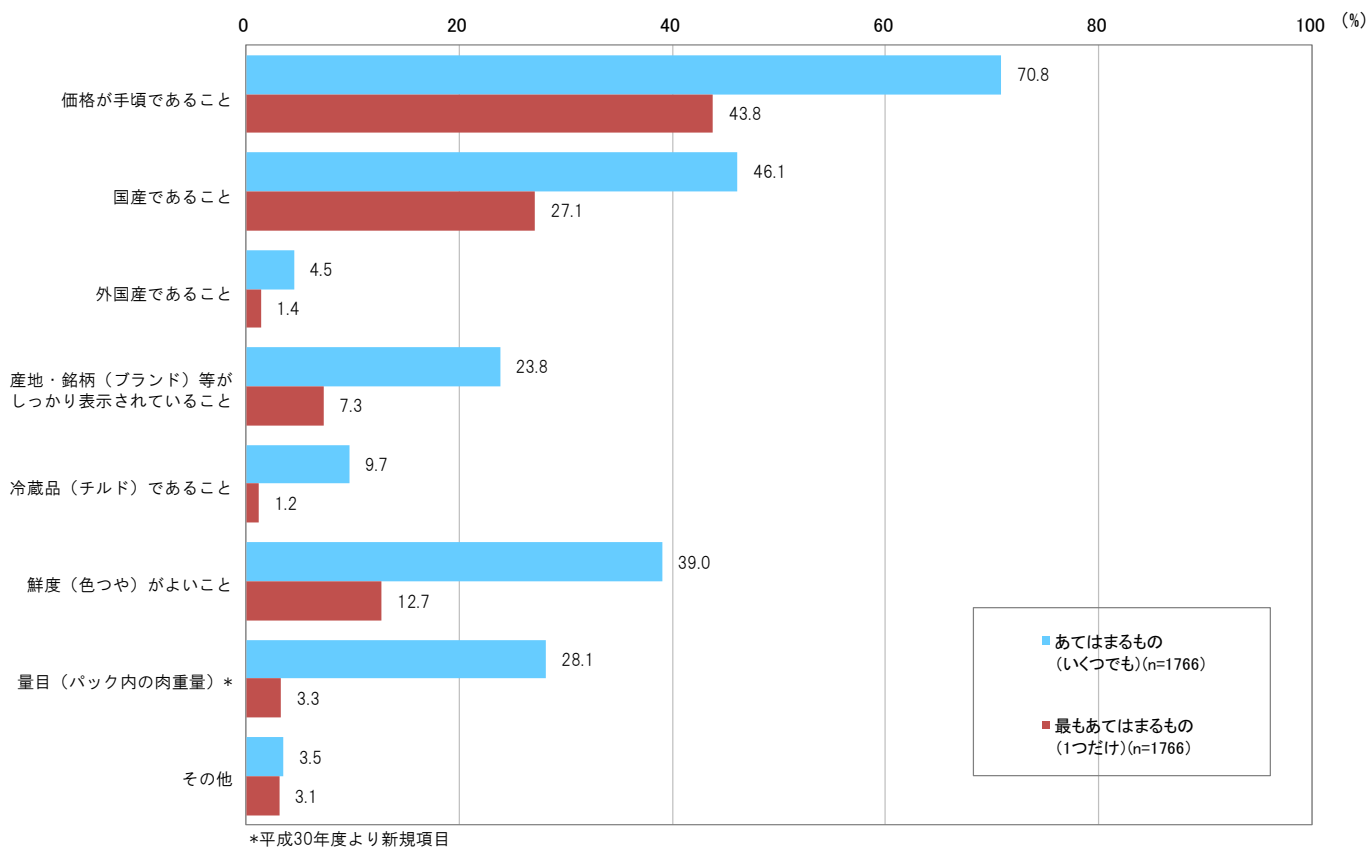
- ▶ どの食肉でも上位3項目は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度（色つや）がよいこと」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

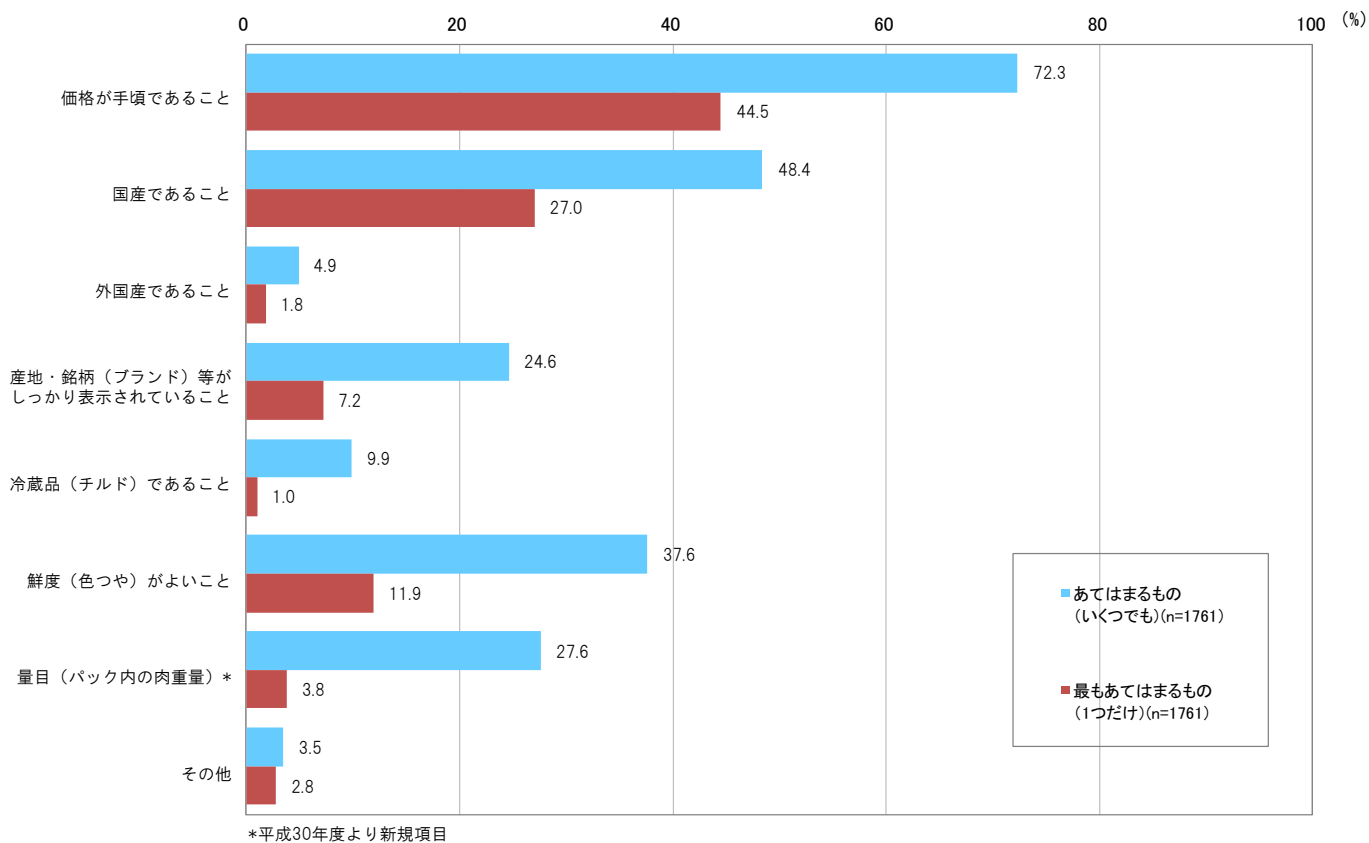
食肉購入時に重視する点を複数回答で聞いたところ、上位3項目は、どの食肉でも同じで、「価格が手頃であること」（牛肉 58.0%、豚肉 70.8%、鶏肉 72.3%）、
「国産であること」（牛肉 45.1%、豚肉 46.1%、鶏肉 48.4%）、「鮮度（色つや）がよいこと」（牛肉 40.2%、豚肉 39.0%、鶏肉 37.6%）。



図表 114 牛肉購入時に重視する項目



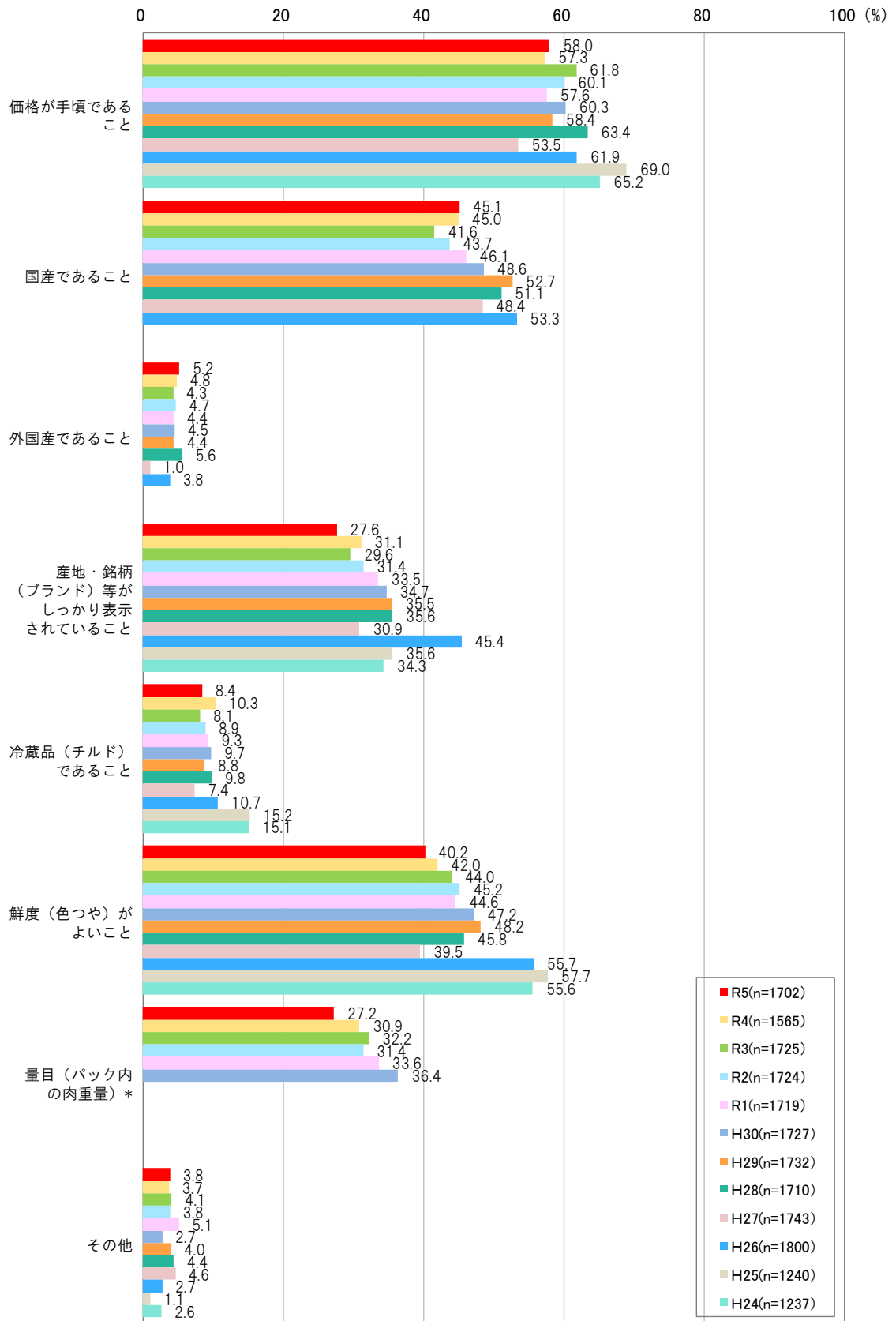
図表 115 豚肉購入時に重視する項目



図表 116 鶏肉購入時に重視する項目

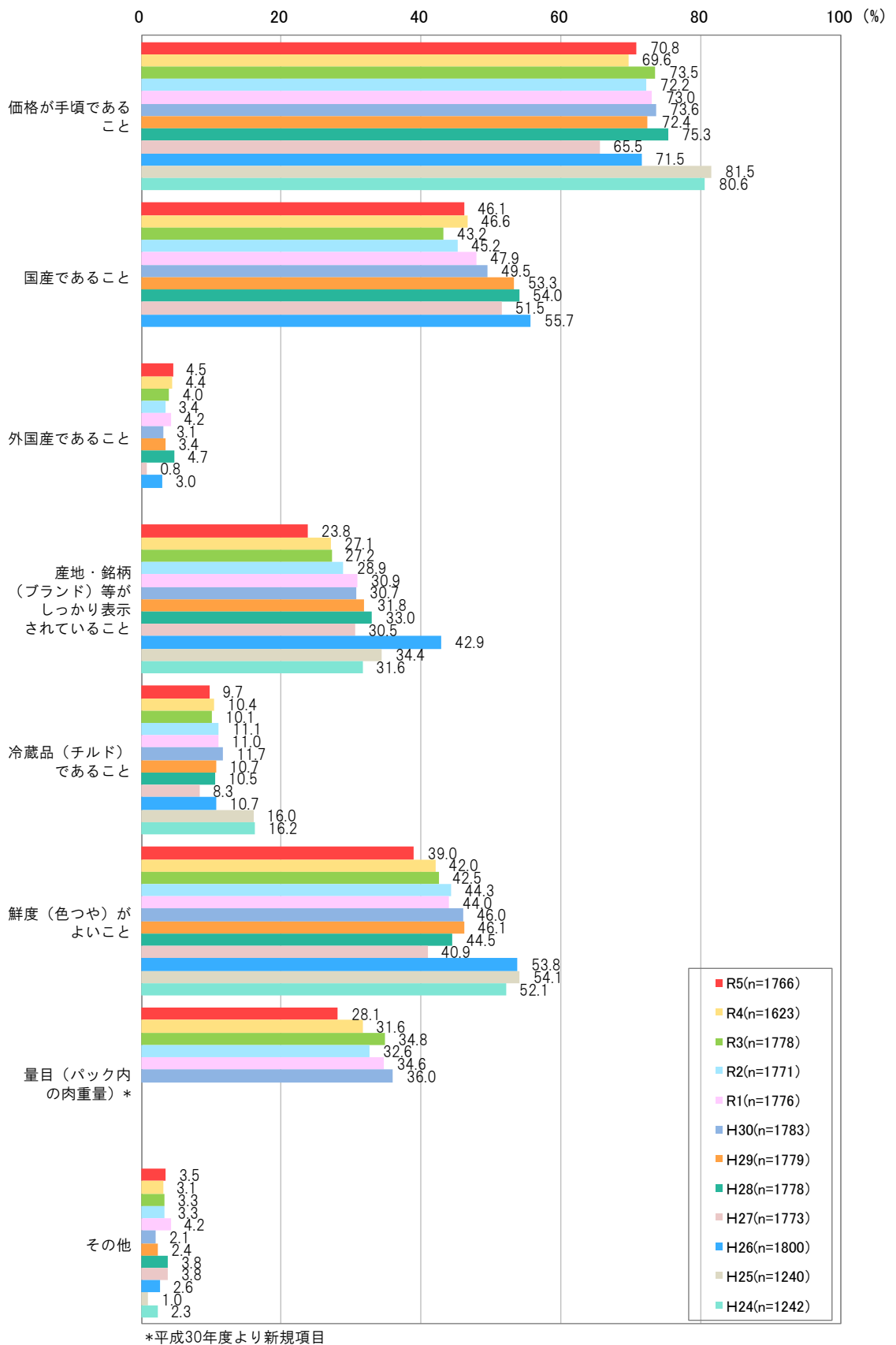
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。



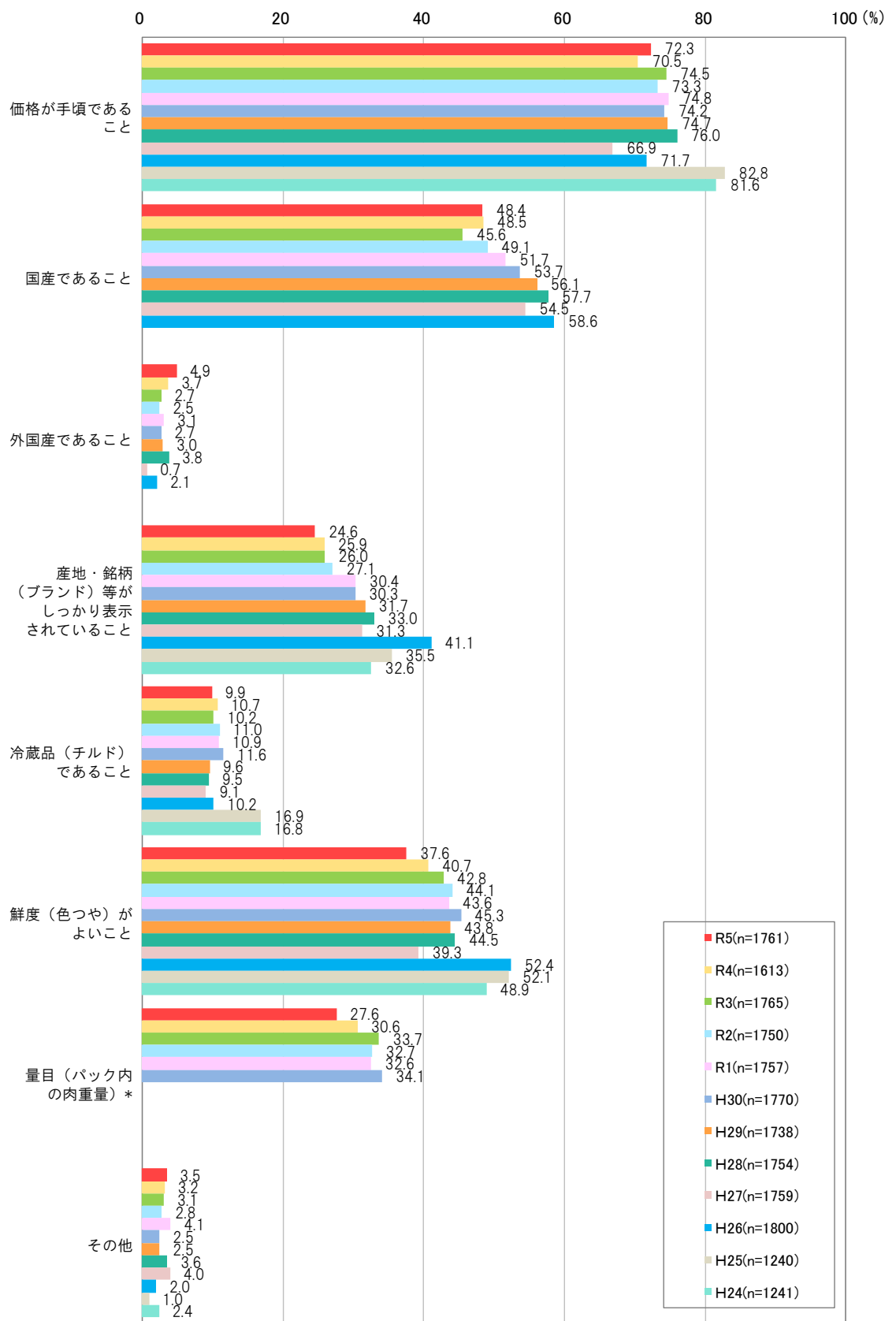
*平成30年度より新規項目

図表 117 牛肉購入時に重視する項目(経年変化)



*平成30年度より新規項目

図表 118 豚肉購入時に重視する項目(経年変化)



*平成30年度より新規項目

図表 119 鶏肉購入時に重視する項目(経年変化)

6) 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化 (Q9)

- ▶ 食肉全体で「増えた計」は 12.3%。一方「減った計」は 14.2%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別に見ても大きな変化は見られない。

【今年度調査】

昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化を聞いたところ、食肉全体では「増えた計（増えた+やや増えた）」は 12.3%、「減った計（減った+やや減った）」は 14.2%。「変わらない」は 67.6%。

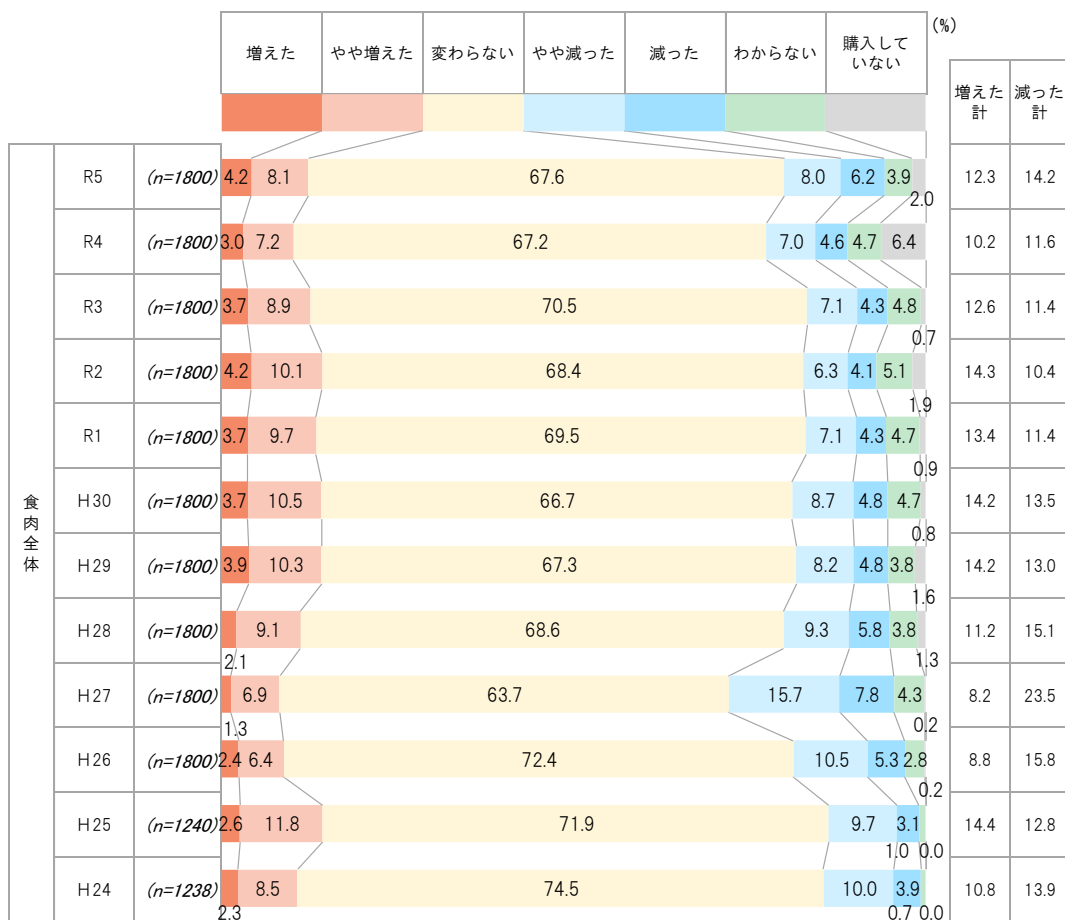
牛肉では、「増えた計」が最も多いのは国産和牛で 9.3%、「減った計」は、和牛以外の国産牛肉が 18.8%、国産和牛が 18.7%、輸入牛肉が 18.1%の順。

豚肉では、「増えた計」が国産豚肉で 11.6%、輸入豚肉では 8.8%。「減った計」は、国産豚肉で 13.5%、輸入豚肉で 13.8%。

鶏肉では、「増えた計」が国産鶏肉で 12.3%、輸入鶏肉では 8.1%。「減った計」は、国産鶏肉で 12.6%、輸入鶏肉で 13.8%。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別に見ても、食肉購入回数に大きな変化は見られない。



図表 120 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化 (食肉全体)

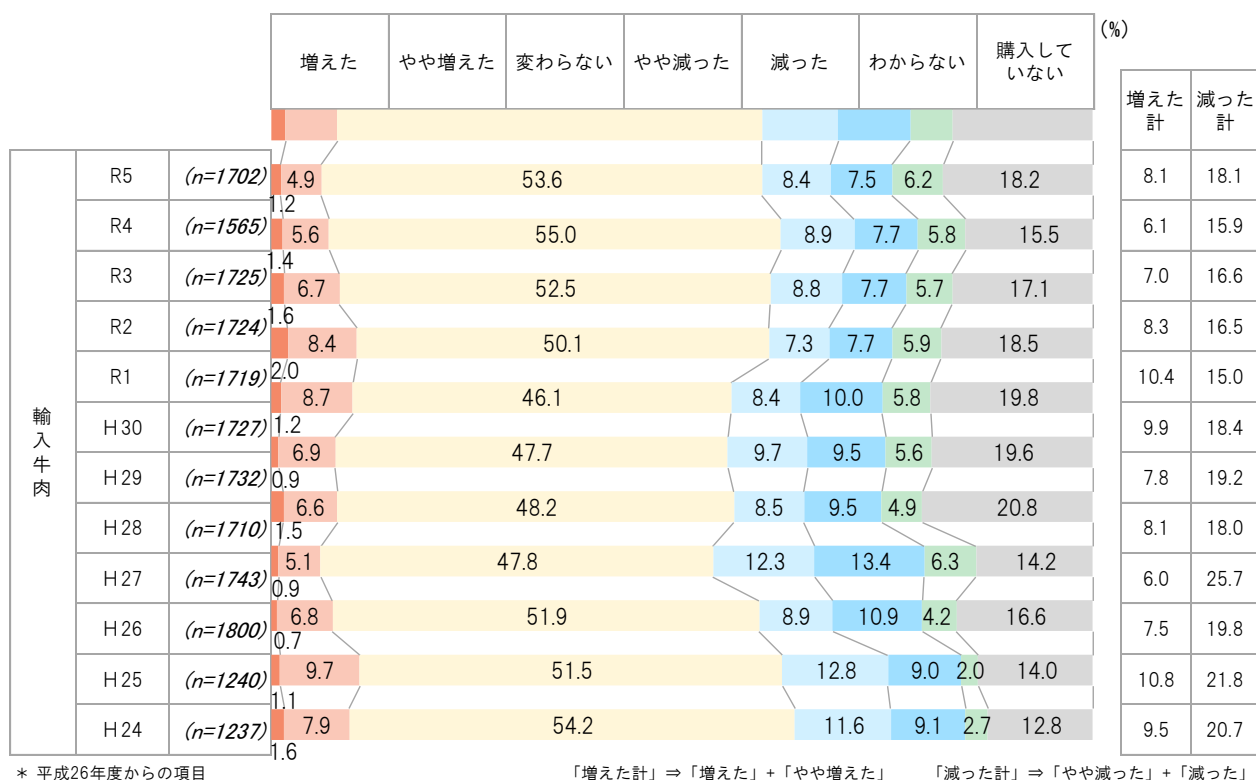
		増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない	(%)	増えた計	減った計
国産和牛	R5 (n=1702)	7.3		58.1		8.8	9.9	4.0	9.9	9.3	18.7
	R4 (n=1565)	6.6		59.0		8.9	7.1	5.5	11.4	8.0	16.0
	R3 (n=1725)	7.2		60.2		8.2	6.9	5.4	10.7	8.6	15.1
	R2 (n=1724)	7.4		59.5		7.5	6.4	6.0	11.6	9.0	13.9
	R1 (n=1719)	6.7		58.8		9.1	8.2	5.6	9.7	8.4	17.3
	H30 (n=1727)	7.1		55.3		10.7	10.5	5.4	9.4	8.7	21.2
	H29 (n=1732)	7.4		56.5		10.1	9.5	4.2	10.6	9.2	19.6
	H28 (n=1710)	6.7		57.1		10.8	10.0	4.3	9.5	8.3	20.8
	H27 (n=1743)	4.3		58.2		14.9	13.5	4.6	3.2	5.5	28.4
	H26 (n=1800)	5.3		62.8		11.5	10.9	3.7	3.8	7.4	22.4
	H25 (n=1240)	7.7		58.5		13.1	10.0	2.3	6.5	9.5	23.1
	H24 (n=1237)	5.9		63.0		10.2	11.2	2.5	6.1	7.0	21.4
和牛以外の国産牛肉	R5 (n=1702)	6.0		58.2		9.8	9.0	5.5	9.5	8.1	18.8
	R4 (n=1565)	5.0		60.6		8.2	7.2	5.8	11.8	6.5	15.4
	R3 (n=1725)	4.6		63.8		8.1	6.5	6.7	8.8	6.2	14.6
	R2 (n=1724)	5.3		60.7		8.5	5.7	6.7	11.7	6.6	14.2
	R1 (n=1719)	5.6		59.6		8.7	7.5	6.4	10.7	7.1	16.2
	H30 (n=1727)	6.1		56.2		9.4	10.2	6.7	10.1	7.4	19.6
	H29 (n=1732)	6.1		57.7		10.7	8.8	5.4	10.4	7.0	19.5
	H28 (n=1710)	4.5		57.9		10.6	9.9	5.8	10.2	5.6	20.5
	H27 (n=1743)	0.8	2.6	59.0		15.6	12.9	5.3	3.7	3.4	28.5
	H26 (n=1800)	5.1		62.1		11.1	9.4	5.2	6.2	6.0	20.5
	H25 (n=1240)	5.6		63.4		13.1	8.9	2.9	5.1	6.6	22.0
	H24 (n=1237)	4.6		65.8		11.2	9.7	3.6	4.8	4.9	20.9
和牛かどうかわからない国産牛肉	R5 (n=1702)	4.6		54.1		9.0	7.3	6.5	16.7	6.4	16.3
	R4 (n=1565)	1.3	3.5	55.2		7.0	6.6	7.3	19.0	4.8	13.6
	R3 (n=1725)	1.3	3.9	57.5		7.0	6.0	8.4	15.9	5.2	13.0
	R2 (n=1724)	4.1		55.6		7.3	6.2	7.5	18.2	5.3	13.5
	R1 (n=1719)	4.1		52.6		6.9	6.5	8.3	20.2	5.5	13.4
	H30 (n=1727)	4.3		49.4		8.3	9.6	8.4	18.9	5.4	17.9
	H29 (n=1732)	1.0	3.4	50.9		10.4	8.3	8.0	18.1	4.4	18.7
	H28 (n=1710)	0.9	3.2	52.6		9.1	8.5	7.5	18.2	4.1	17.6
	H27 (n=1743)	0.5	2.2	50.9		12.9	13.7	8.6	11.2	2.7	26.6
	H26 (n=1800)	0.6	3.3	54.6		9.4	10.1	7.1	14.9	3.9	19.5

* 平成26年度からの項目

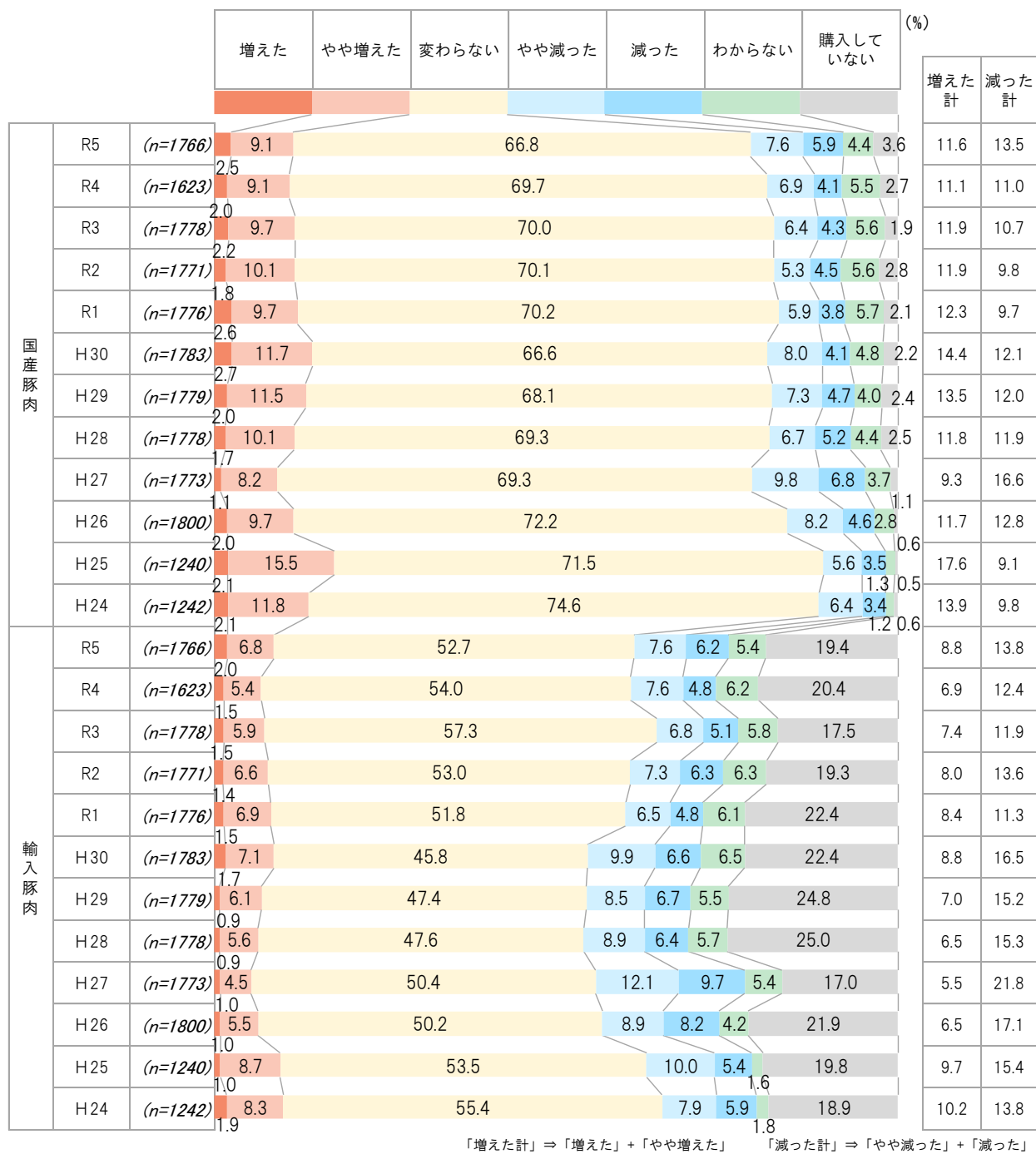
「増えた計」⇒「増えた」+「やや増えた」

「減った計」⇒「やや減った」+「減った」

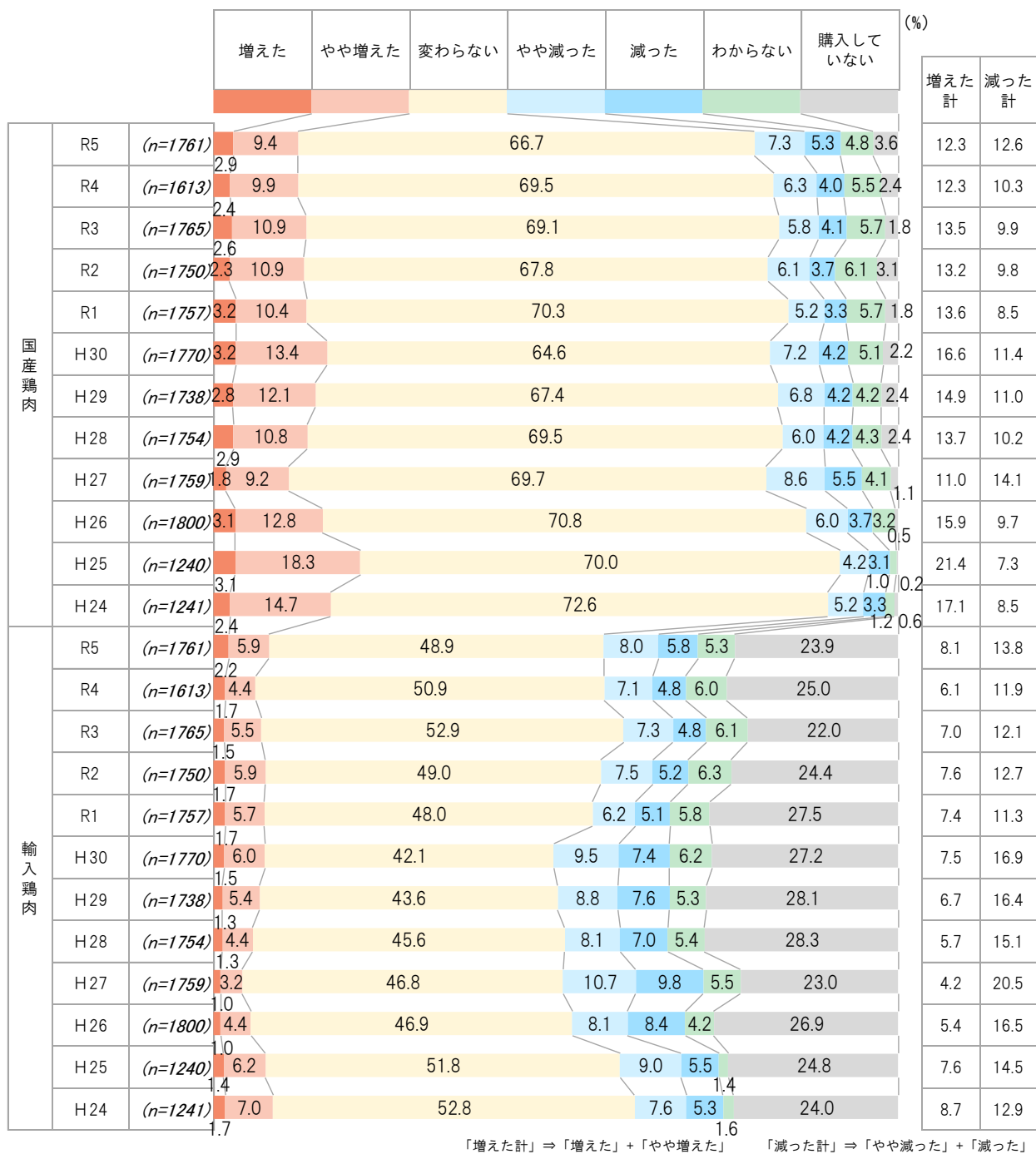
図表 121 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（国産牛肉）



図表 122 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（輸入牛肉）



図表 123 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（豚肉全体）



図表 124 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（鶏肉全体）

7) 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食品の購入回数の変化 (Q10)

- ▶ 最近 1 か月間の購入回数が「増えた食品」は、「米」17.3%、「野菜」15.5%、「パン」14.8%、「冷凍食品」12.8%、「果物」12.1%。逆に、「減った食品」は、「ファストフード」18.3%、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」17.6%、「卵」14.2%、「菓子類」14.2%、「弁当・惣菜類」12.7%、「パン」12.6%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度より「減った食品」は、「野菜」「卵」「牛乳」などとなっている。

【今年度調査】

昨年同期と比べて最近 1 か月間の購入回数が「増えた食品」は、「米」17.3%、「野菜」15.5%、「パン」14.8%、「冷凍食品」12.8%、「果物」12.1%の順に多い。増えたものは「いずれもない」が 51.4%である。

逆に、最近 1 か月間の購入回数が「減った食品」は、「ファストフード」18.3%、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」17.6%、「卵」14.2%、「菓子類」14.2%、「弁当・惣菜類」12.7%、「パン」12.6%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が 48.6%である。

「増えた」と「減った」の差分で見ると、増加率の方が多い食品は、「米」9.1 ポイント、「野菜」6.1 ポイント、「冷凍食品」4.9 ポイントである。逆に、減少率の方が多い食品は、「ファストフード」-13.9 ポイント、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」-8.6 ポイント、「菓子類」-5.4 ポイント、「弁当・惣菜類」-5.2 ポイント、「卵」-3.8 ポイント、「食肉加工品」-1.7 ポイントである。

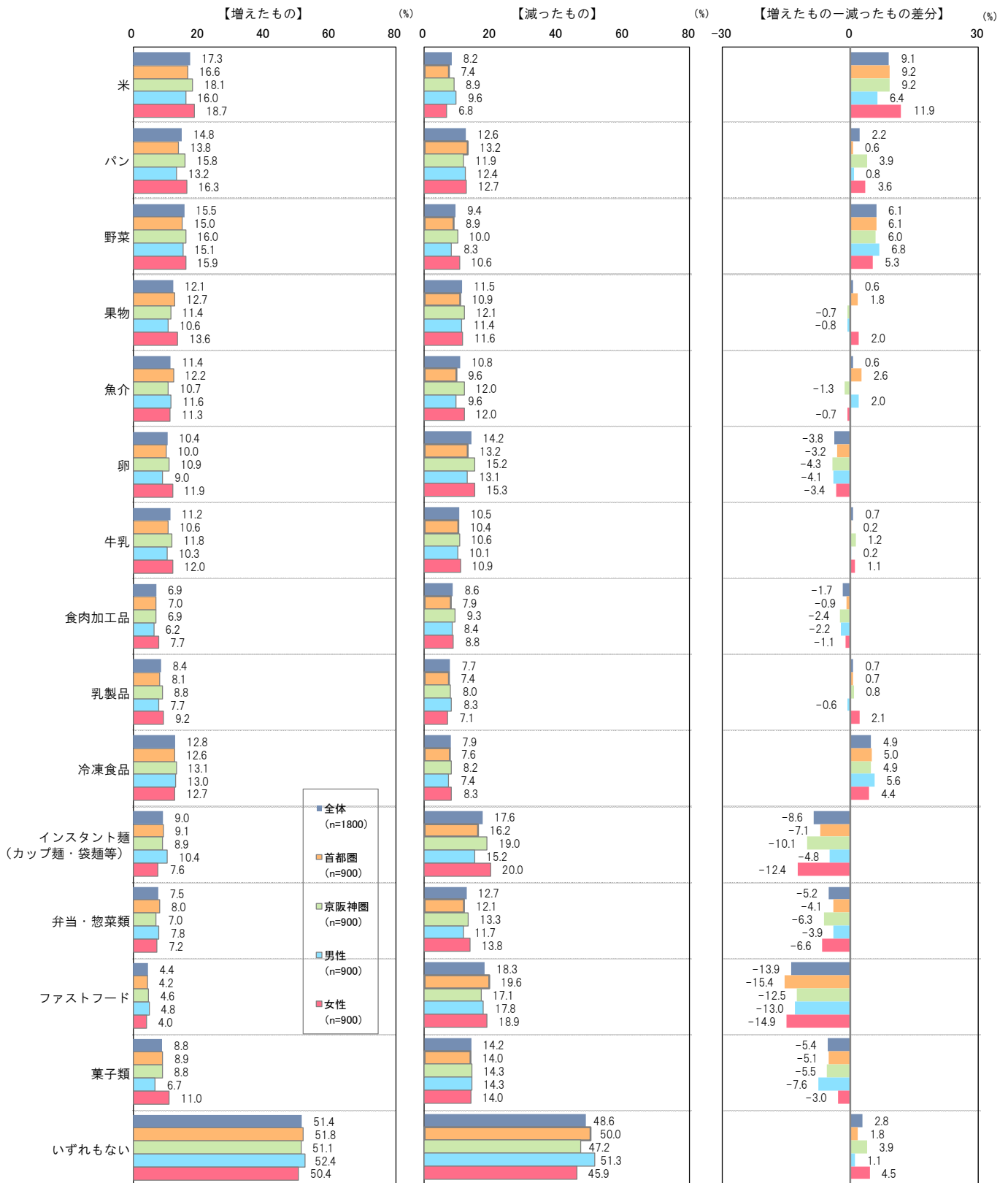
エリア別に見ると、「増えた食品」では、「パン」(首都圏 13.8%<京阪神圏 15.8%)は首都圏より京阪神圏の方が多い。「減った食品」では、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」(首都圏 16.2%<京阪神圏 19.0%)は首都圏より京阪神圏の方が多い。

男女別に見ると、「増えた食品」では、「菓子類」(男性 6.7%<女性 11.0%)、「パン」(男性 13.2%<女性 16.3%)、「果物」(男性 10.6%<女性 13.6%)が男性より女性の方が多くなっている。「減った食品」では、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」(男性 15.2%<女性 20.0%)が男性より女性の方が多い。

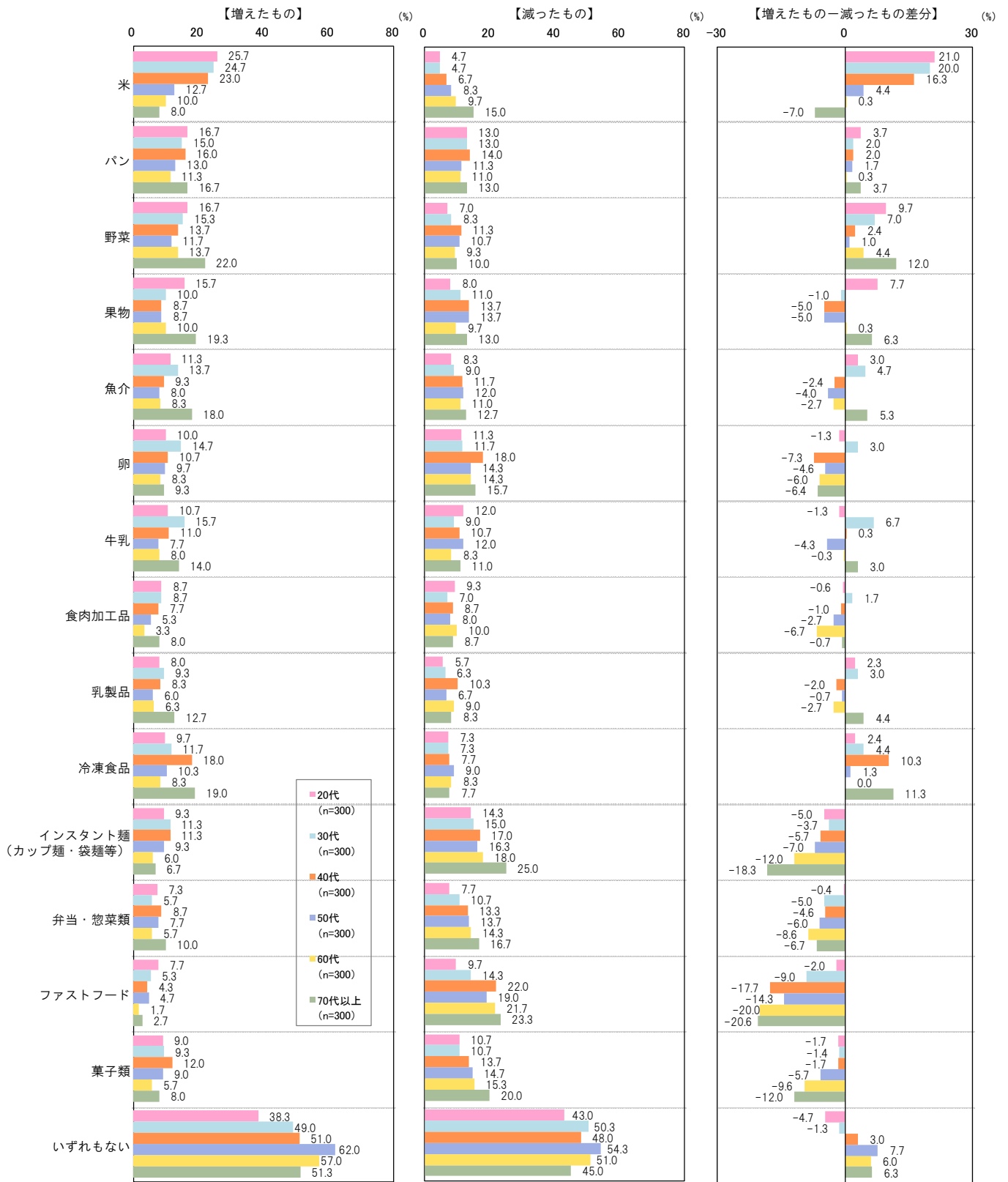
年代別に見ると、「増えた食品」では、「米」は若い世代の方が多くなっており、「野菜」「果物」「魚介」「冷凍食品」は 70 代以上で多くなっている。一方、「減った食品」では、「米」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」「ファストフード」「菓子類」は 70 代以上で最も多くなっている。30~60 代は、「増えた食品」「減った食品」とともに、「いずれもない」が多くなっている。

【過年度調査との比較】

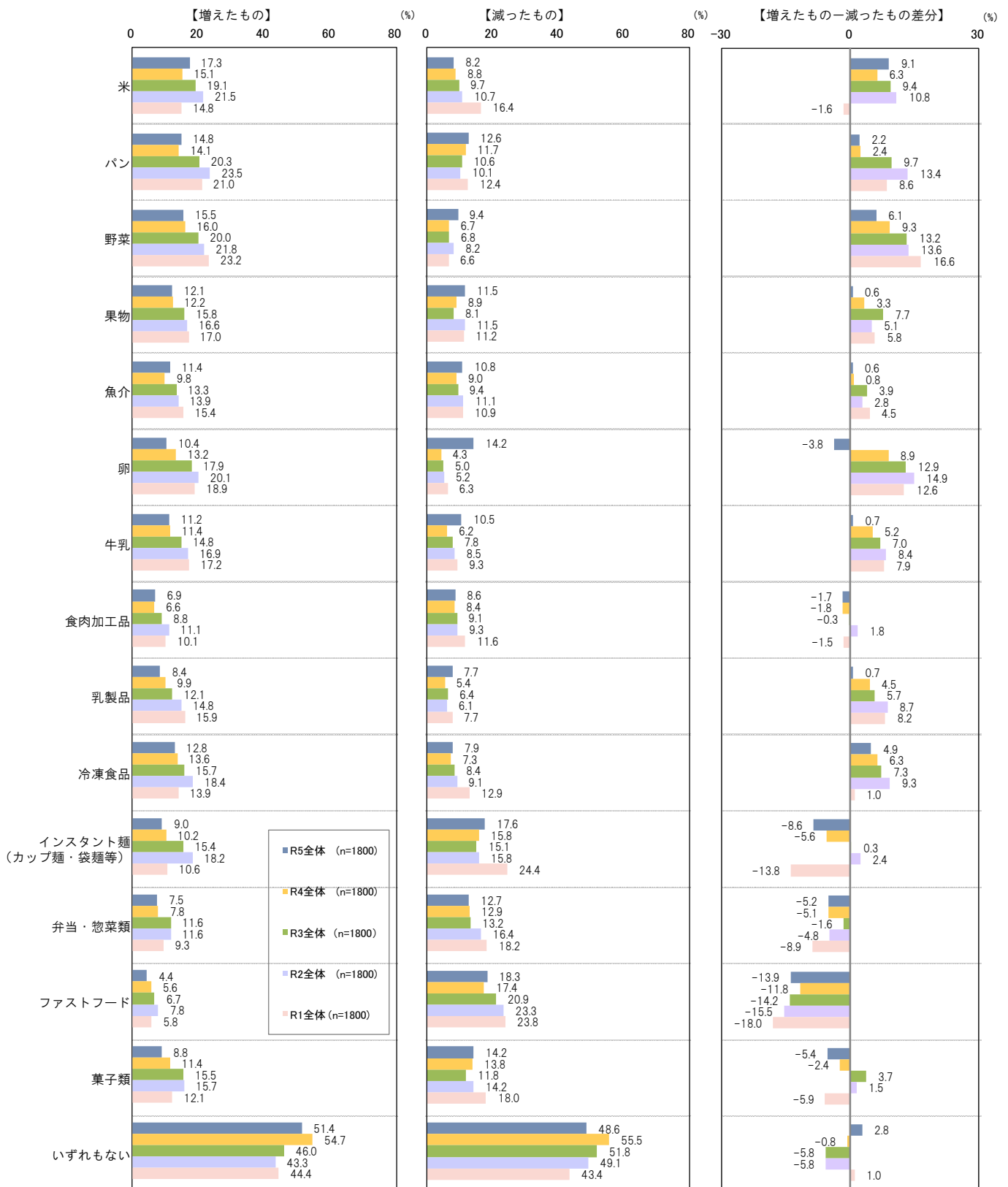
過年度調査と比較すると、昨年度より、「減った食品」は、「野菜」「卵」「牛乳」などとなっている。



図表 125 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化
(全体・エリア・性別/複数回答)



図表 126 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化（年代別／複数回答）



図表 127 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化（経年変化）

8) 各種牛肉の購入意向 (Q11)

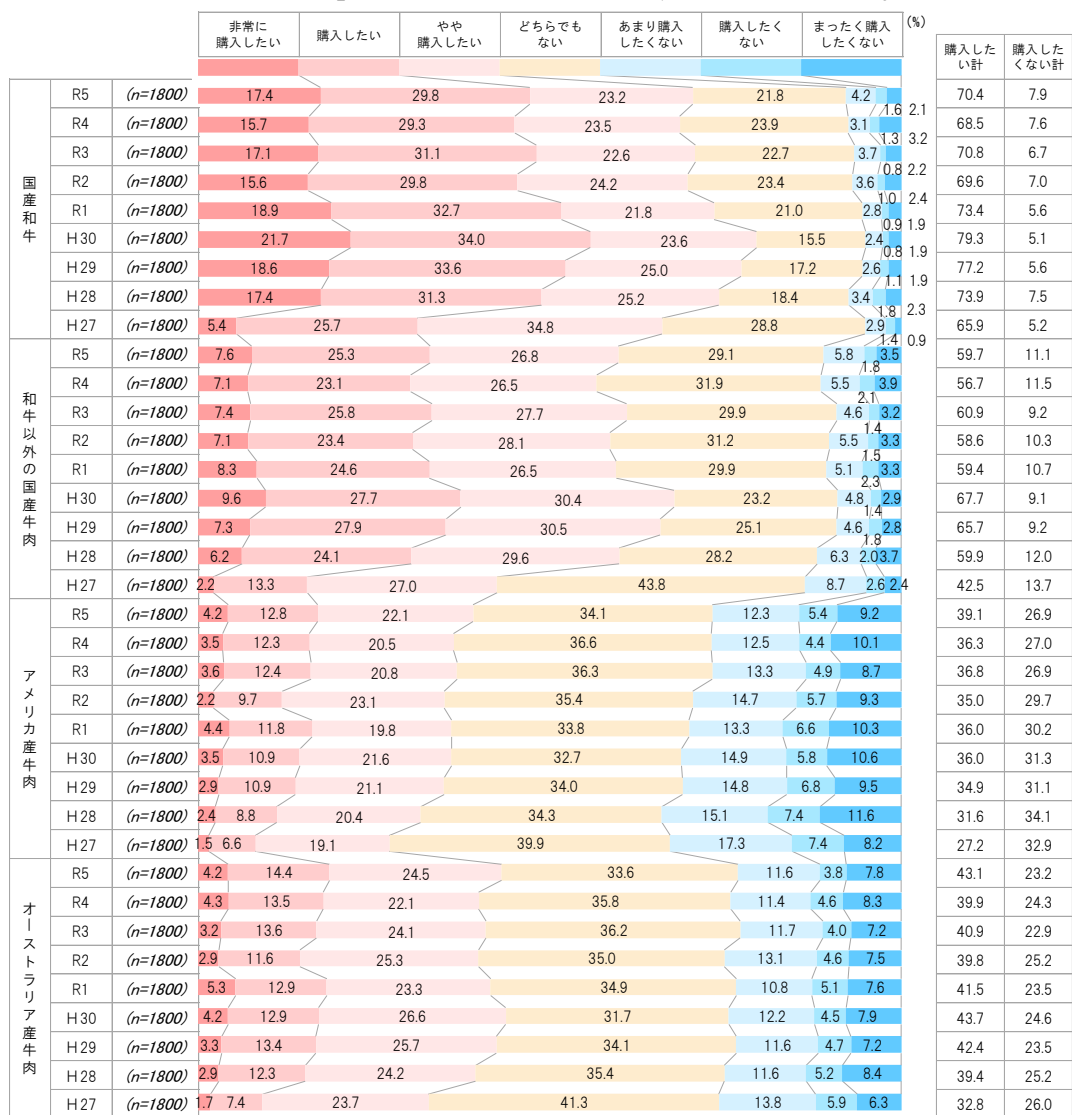
- ▶ 牛肉の購入意向は、「国産和牛」が最も高く70.4%。次いで「和牛以外の国産牛肉」が59.7%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」いずれも大きな変化なし。

【今年度調査】

「購入したい計（非常に購入したい+購入したい+やや購入したい）」では、「国産和牛」が70.4%、「和牛以外の国産牛肉」が59.7%の順で高い。一方で「購入したくない（あまり購入したくない+購入したくない+まったく購入したくない）」は、「アメリカ産牛肉」が26.9%、「オーストラリア産牛肉」が23.2%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」のいずれも大きな変化は見られない。



「購入したい計」⇒「非常に購入したい」+「購入したい」+「やや購入したい」/「購入したくない計」⇒「あまり購入したくない」+「購入したくない」+「まったく購入したくない」

図表 128 各種牛肉の購入意向

9) 各種牛肉の購入頻度 (Q12)

- ▶ 各種牛肉の購入頻度は、「週に1日以上購入計」では、「国産和牛」25.6%、「和牛以外の国産牛肉」20.9%、「和牛かどうかわからない国産牛肉」15.9%、「オーストラリア産牛肉」14.6%、「アメリカ産牛肉」14.1%の順に多い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。

【今年度調査】

各種牛肉の購入頻度は、国産和牛は、「ほぼ毎日」が2.0%、「週に4~5日程度」が2.3%、「週に2~3日」が7.0%、「週に1日程度」が14.3%であり、「週に1日以上購入計」が25.6%となっており、「購入していない」が12.6%である。

和牛以外の国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.1%、「週に4~5日程度」が2.1%、「週に2~3日」が4.0%、「週に1日程度」が13.7%であり、「週に1日以上購入計」が20.9%となっており、「購入していない」が13.5%である。

和牛かどうかわからない国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.2%、「週に4~5日程度」が1.8%、「週に2~3日」が4.1%、「週に1日程度」が8.8%であり、「週に1日以上購入計」が15.9%となっており、「購入していない」が26.7%である。

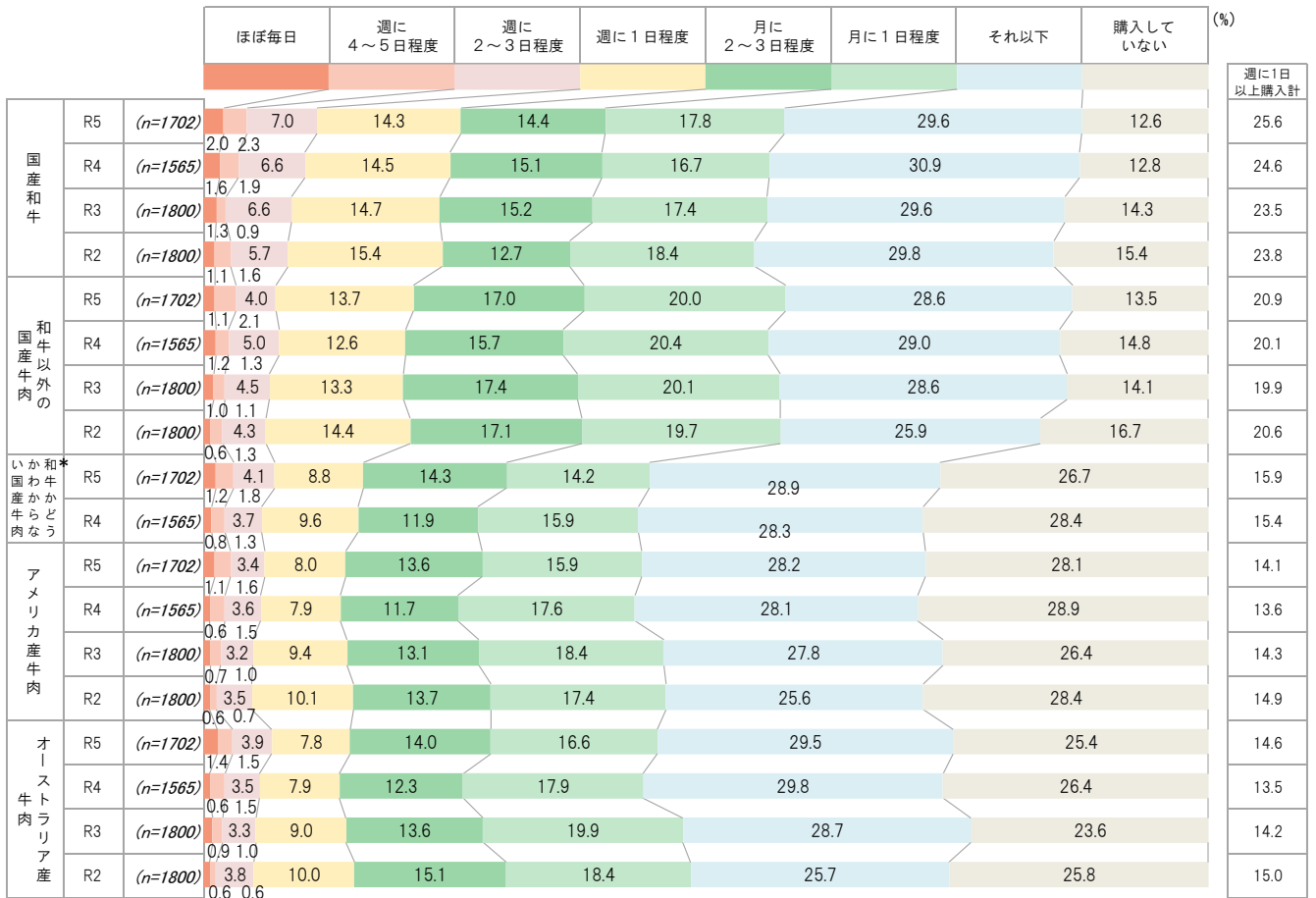
アメリカ産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.1%、「週に4~5日程度」が1.6%、「週に2~3日」が3.4%、「週に1日程度」が8.0%であり、「週に1日以上購入計」が14.1%となっており、「購入していない」が28.1%である。

オーストラリア産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.4%、「週に4~5日程度」が1.5%、「週に2~3日」が3.9%、「週に1日程度」が7.8%であり、「週に1日以上購入計」が14.6%となっており、「購入していない」が25.4%である。

各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、「国産和牛」25.6%、「和牛以外の国産牛肉」20.9%、「和牛かどうかわからない国産牛肉」15.9%、「オーストラリア産牛肉」14.6%、「アメリカ産牛肉」14.1%の順に多くなっている。

【過年度調査との比較】

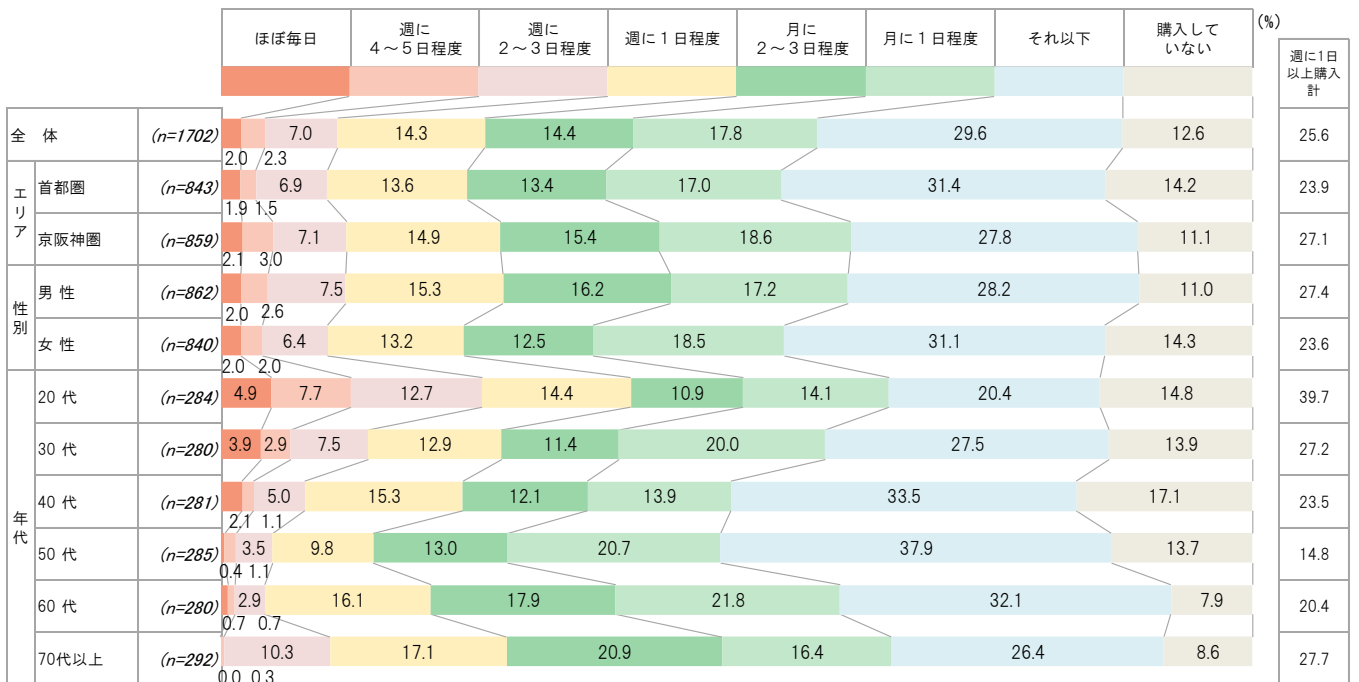
過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。



R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数
*「和牛かどうかわからない国産牛肉」R4年度よりの新規項目

週に1日以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4～5日程度」+「週に2～3日程度」+「週に1日程度」

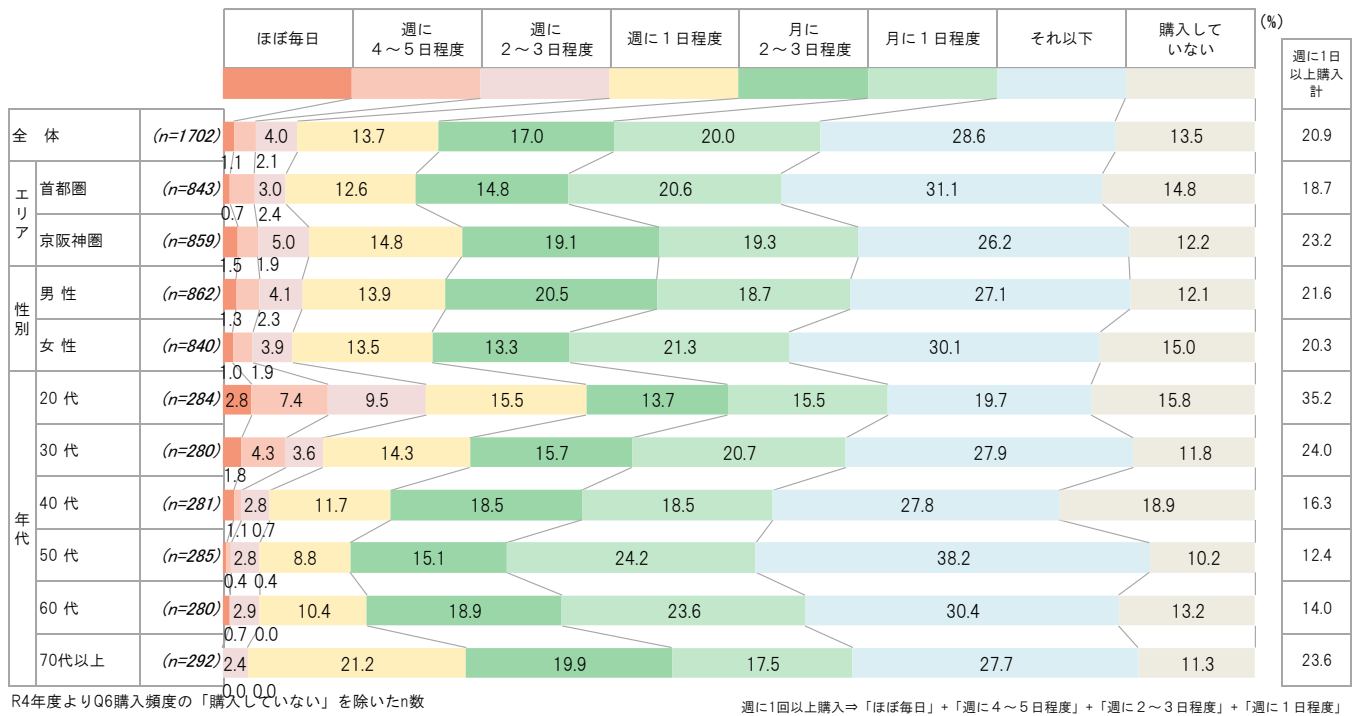
図表 129 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度（経年変化）



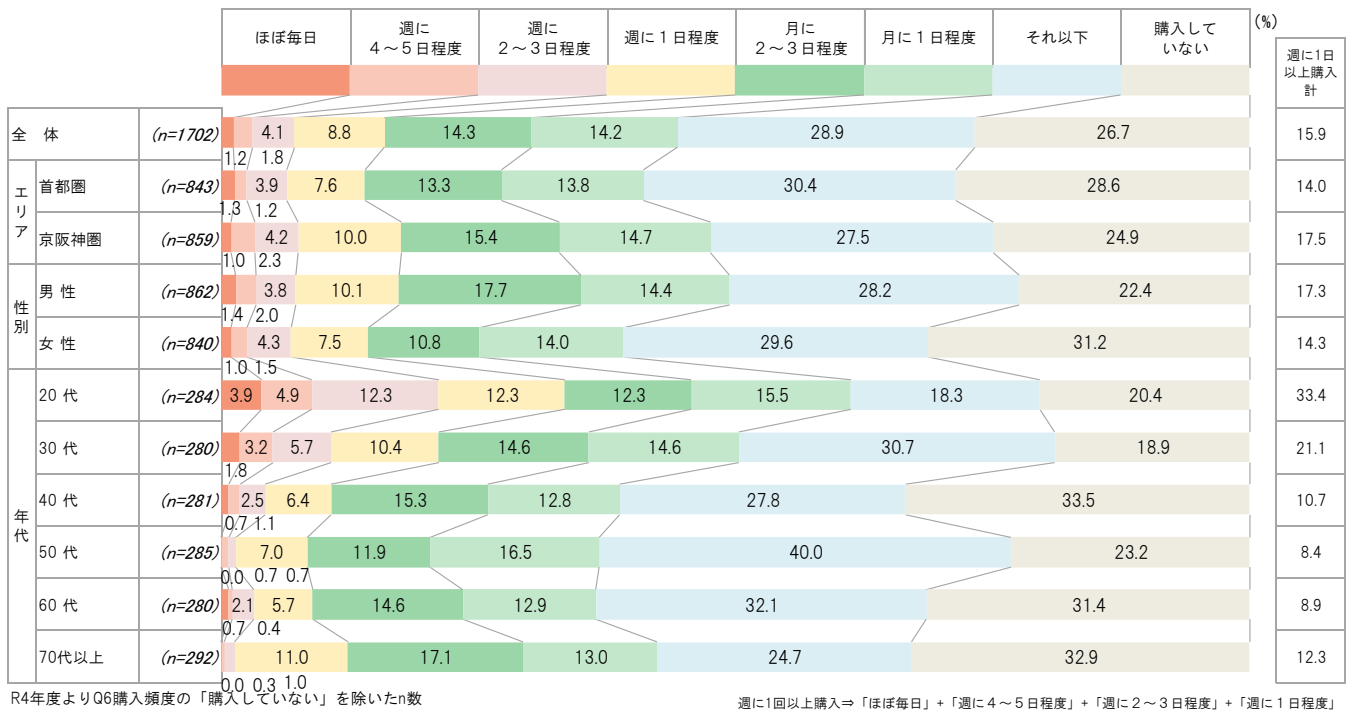
R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数

週に1回以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4～5日程度」+「週に2～3日程度」+「週に1日程度」

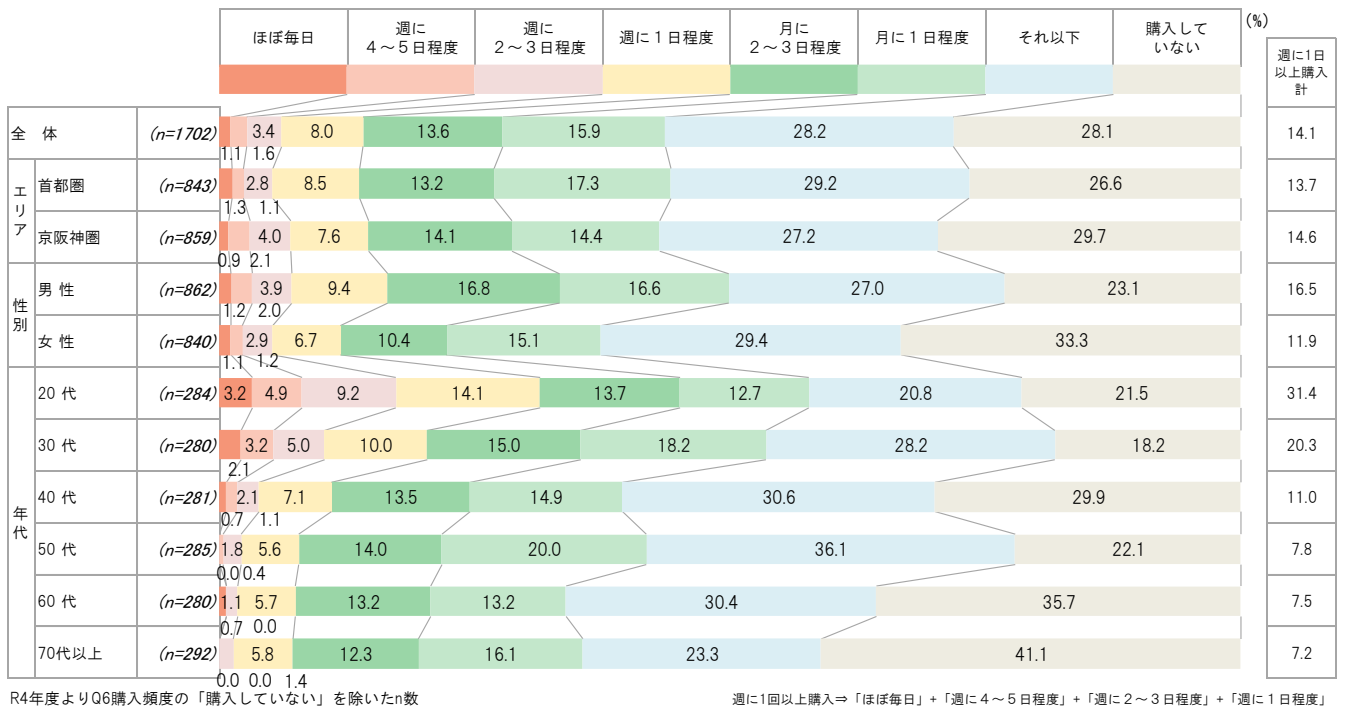
図表 130 国産和牛の購入頻度



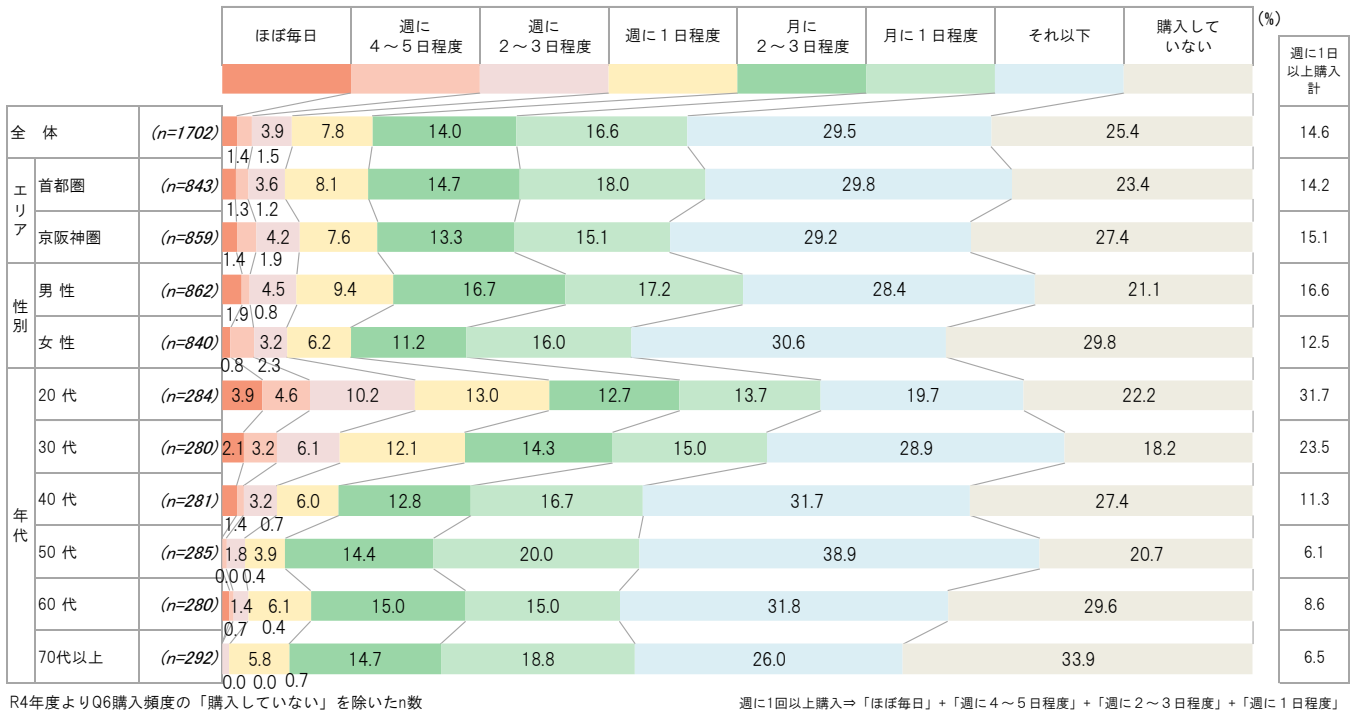
図表 131 和牛以外の国産牛肉の購入頻度



図表 132 和牛かどうか分からない国産牛肉の購入頻度



図表 133 アメリカ産牛肉の購入頻度



図表 134 オーストラリア産牛肉の購入頻度

10) 各種牛肉のイメージ (Q13)

- ▶ 国産和牛は、「高級」「おいしい」「贅沢感がある」「安全・安心」「高品質」「霜降り」「柔らかい」「和食に合う」「飼育環境がよい」「赤身がおいしい」「シニア向き」と 11 のイメージ項目で最もイメージが高く、高いイメージ評価。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉は、国産和牛に次いで、「おいしい」「安全・安心」「和食に合う」といったイメージが高い。
- ▶ アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「価格が手頃」「特売」「洋食に合う」「若者向き」「赤身が多い」といったイメージが高い。

【今年度調査】

16 のイメージ項目について、あてはまると思う牛肉（複数回答）を聞いた。

国産和牛は、「高級」70.4%、「おいしい」69.1%、「贅沢感がある」66.7%、「安全・安心」65.8%、「高品質」65.3%、「霜降り」64.2%、「柔らかい」61.9%、「和食に合う」51.3%、「飼育環境がよい」50.0%、「赤身がおいしい」36.5%、「シニア向き」33.3%と 11 のイメージ項目で、他の牛肉に比して最もイメージが高く、高いイメージ評価を得ている。

和牛以外の国産牛肉は、国産和牛に次いで、「おいしい」36.4%、「安全・安心」33.7%、「和食に合う」27.2%といったイメージが高くなっている。

アメリカ産牛肉は、「価格が手頃」52.5%、「特売」42.7%、「洋食に合う」34.2%、「若者向き」32.4%、「赤身が多い」28.1%といったイメージが高くなっている。

オーストラリア産牛肉は、アメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」52.8%、「特売」37.4%、「洋食に合う」30.5%、「若者向き」26.7%、「赤身が多い」25.9%といったイメージが高くなっている。

今年度の国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉の 16 のイメージ項目について、図表 136 のレーダーチャートで示した。

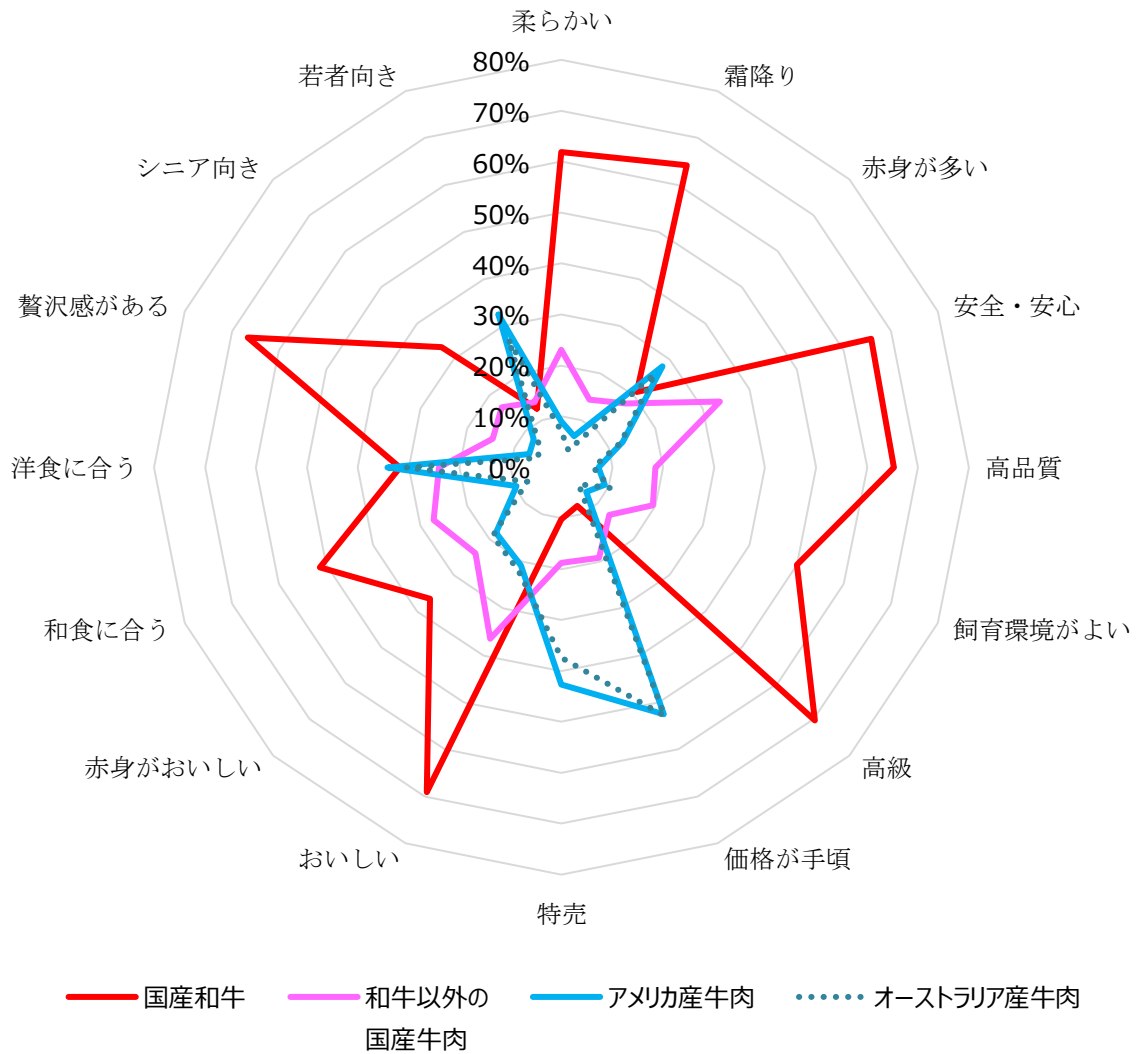
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、各種牛肉のイメージに大きな変化は見られない。

			国産和牛	和牛以外の 国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
食感	柔らかい	R5	(n=1800) 61.9	23.1	8.9	7.2	24.4
		R4	(n=1800) 63.2	20.0	8.3	7.3	24.7
部位・ 栄養素	霜降り	R5	(n=1800) 64.2	14.3	6.6	3.6	23.6
		R4	(n=1800) 67.7	12.8	5.2	2.9	22.8
	赤身が多い	R5	(n=1800) 20.9	17.8	28.1	25.9	35.1
		R4	(n=1800) 19.6	15.6	30.7	27.5	35.6
品質	安全・安心	R5	(n=1800) 65.8	33.7	13.0	12.6	21.7
		R4	(n=1800) 65.1	32.6	10.3	10.8	24.4
	高品質	R5	(n=1800) 65.3	18.4	7.2	6.2	21.9
		R4	(n=1800) 68.2	16.8	7.0	6.6	21.5
品質・ ニマル フル ウェア	飼育環境がよい	R5	(n=1800) 50.0	19.4	9.2	10.5	34.2
		R4	(n=1800) 51.9	17.3	8.4	10.1	35.3
価格	高級	R5	(n=1800) 70.4	13.3	6.8	4.7	18.2
		R4	(n=1800) 73.2	11.7	5.2	4.2	17.5
	価格が手頃	R5	(n=1800) 8.2	19.2	52.5	52.8	23.9
		R4	(n=1800) 5.8	18.3	52.9	55.3	23.7
	特売	R5	(n=1800) 10.3	18.8	42.7	37.4	32.8
		R4	(n=1800) 8.2	19.8	42.6	39.8	33.1
味・ 風味	おいしい	R5	(n=1800) 69.1	36.4	20.8	21.9	17.8
		R4	(n=1800) 71.7	34.8	21.3	20.7	17.7
	赤身がおいしい	R5	(n=1800) 36.5	23.8	18.2	19.1	33.4
		R4	(n=1800) 36.7	22.0	20.3	19.2	34.1
利便性	和食に合う	R5	(n=1800) 51.3	27.2	9.5	7.3	32.6
		R4	(n=1800) 52.9	26.4	8.3	7.4	33.3
	洋食に合う	R5	(n=1800) 31.8	24.1	34.2	30.5	34.2
		R4	(n=1800) 29.7	21.8	36.7	32.8	34.3
情緒	贅沢感がある	R5	(n=1800) 66.7	14.7	6.9	4.9	21.7
		R4	(n=1800) 69.9	12.9	6.7	4.9	20.2
	シニア向き	R5	(n=1800) 33.3	16.6	7.7	6.3	47.6
		R4	(n=1800) 33.4	15.8	6.9	6.2	49.4
	若者向き	R5	(n=1800) 12.5	13.8	32.4	26.7	44.0
		R4	(n=1800) 10.6	12.8	33.9	27.9	44.9

■ R5 国産和牛 ■ R5 和牛以外の国産牛肉 ■ R5 アメリカ産牛肉 ■ R5 オーストラリア産牛肉 ■ R5 あてはまるものはない
■ R4 国産和牛 ■ R4 和牛以外の国産牛肉 ■ R4 アメリカ産牛肉 ■ R4 オーストラリア産牛肉 ■ R4 あてはまるものはない

図表 135 各種牛肉のイメージ



図表 136 各種牛肉のイメージ（レーダーチャート）

(%)

		食感	部位・栄養素		品質		品質・アニマル ウェルフェア	価格			
			柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
R5	全体	(n=1800)	61.9	64.2	20.9	65.8	65.3	50.0	70.4	8.2	10.3
エリア	首都圏	(n=900)	60.9	63.9	19.6	65.3	65.7	47.6	70.7	7.9	10.1
	京阪神圏	(n=900)	62.9	64.6	22.2	66.2	64.9	52.4	70.1	8.4	10.4
性別	男性	(n=900)	61.9	64.4	20.4	63.6	63.7	48.9	68.8	8.7	10.3
	女性	(n=900)	61.9	64.0	21.3	68.0	66.9	51.1	72.0	7.7	10.2
年代	20代	(n=300)	39.3	38.3	21.0	42.3	44.7	34.0	47.3	14.7	14.0
	30代	(n=300)	49.3	49.7	21.7	56.0	54.7	39.7	61.0	9.3	12.0
	40代	(n=300)	66.3	67.7	24.0	68.7	64.3	48.3	72.0	8.7	11.3
	50代	(n=300)	65.3	70.7	17.7	70.0	69.7	54.7	78.7	4.7	6.0
	60代	(n=300)	71.0	76.0	19.7	73.7	74.7	59.0	78.3	6.0	8.0
	70代以上	(n=300)	80.0	83.0	21.3	84.0	83.7	64.3	85.0	5.7	10.3

		味・風味	利便性		情緒				
			おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
R5	全体	(n=1800)	69.1	36.5	51.3	31.8	66.7	33.3	12.5
エリア	首都圏	(n=900)	68.1	34.8	50.4	32.0	66.4	31.8	12.2
	京阪神圏	(n=900)	70.0	38.2	52.2	31.6	66.9	34.9	12.8
性別	男性	(n=900)	67.9	34.6	52.0	31.9	64.7	32.0	13.4
	女性	(n=900)	70.2	38.4	50.7	31.7	68.7	34.7	11.6
年代	20代	(n=300)	45.7	25.7	33.0	17.0	42.3	20.0	14.0
	30代	(n=300)	58.7	33.3	40.7	27.7	56.7	23.3	13.3
	40代	(n=300)	71.0	39.0	53.7	31.7	70.0	33.7	15.7
	50代	(n=300)	74.3	39.0	57.0	34.3	72.7	33.0	12.0
	60代	(n=300)	77.7	36.7	62.3	38.7	76.3	40.0	10.0
	70代以上	(n=300)	87.0	45.3	61.3	41.3	82.0	50.0	10.0

図表 137 国産和牛のイメージ

			食感			部位・栄養素		品質		品質 ・アニマルウェルフェア	価格		
			柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売		
R5 全体		(n=1800)	23.1	14.3	17.8	33.7	18.4	19.4	13.3	19.2	18.8		
エリア	首都圏	(n=900)	22.7	13.9	17.9	33.9	19.7	19.2	14.7	18.3	17.6		
	京阪神圏	(n=900)	23.4	14.8	17.7	33.4	17.1	19.7	11.9	20.1	20.1		
性別	男性	(n=900)	22.7	13.9	17.6	35.9	18.9	19.0	13.6	19.8	19.9		
	女性	(n=900)	23.4	14.8	18.0	31.4	17.9	19.9	13.0	18.7	17.8		
年代	20代	(n=300)	23.7	16.0	18.3	28.3	22.3	22.3	16.3	20.7	20.3		
	30代	(n=300)	26.3	20.0	21.3	35.7	24.7	23.3	22.3	14.3	16.0		
	40代	(n=300)	23.7	16.7	13.3	34.0	20.7	18.0	14.0	18.0	14.3		
	50代	(n=300)	23.3	11.7	13.3	34.7	18.0	18.0	10.7	18.7	18.7		
	60代	(n=300)	18.3	8.3	17.3	31.0	10.7	16.7	10.0	18.3	17.7		
	70代以上	(n=300)	23.0	13.3	23.0	38.3	14.0	18.3	6.3	25.3	26.0		

			味・風味		利便性		情緒		
			おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
R5 全体		(n=1800)	36.4	23.8	27.2	24.1	14.7	16.6	13.8
エリア	首都圏	(n=900)	37.7	23.9	26.2	24.6	15.7	16.6	11.9
	京阪神圏	(n=900)	35.2	23.8	28.1	23.7	13.7	16.6	15.7
性別	男性	(n=900)	38.4	24.6	26.4	24.8	13.8	16.0	12.6
	女性	(n=900)	34.4	23.1	27.9	23.4	15.6	17.1	15.0
年代	20代	(n=300)	33.0	19.7	18.0	20.7	19.3	19.3	18.3
	30代	(n=300)	39.3	25.3	27.3	20.0	22.7	17.3	16.7
	40代	(n=300)	37.3	23.0	30.7	21.7	17.0	12.7	13.3
	50代	(n=300)	37.3	23.7	28.3	25.7	10.7	17.3	10.7
	60代	(n=300)	35.0	22.7	24.0	26.0	12.0	13.3	9.7
	70代以上	(n=300)	36.7	28.7	34.7	30.7	6.3	19.3	14.0

図表 138 和牛以外の国産牛肉のイメージ

(%)

		食感	部位・栄養素		品質		品質 ・アニマルウェルフェア	価格			
			柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
R5	全体	(n=1800)	8.9	6.6	28.1	13.0	7.2	9.2	6.8	52.5	42.7
エリア	首都圏	(n=900)	10.1	6.4	27.4	14.4	6.9	9.6	7.1	50.3	43.0
	京阪神圏	(n=900)	7.8	6.7	28.7	11.6	7.6	8.8	6.6	54.7	42.4
性別	男性	(n=900)	9.6	7.2	29.9	15.2	8.7	11.6	7.4	51.9	40.3
	女性	(n=900)	8.3	5.9	26.2	10.8	5.8	6.8	6.2	53.1	45.1
年代	20代	(n=300)	13.7	14.3	22.3	13.0	14.3	14.3	17.0	36.3	26.7
	30代	(n=300)	11.7	11.3	24.0	14.3	9.3	9.7	10.0	47.3	36.0
	40代	(n=300)	12.3	4.7	29.7	13.7	5.7	8.7	6.7	57.0	47.0
	50代	(n=300)	5.7	5.3	30.3	10.7	5.3	7.7	4.0	59.7	53.7
	60代	(n=300)	5.7	1.3	31.0	14.3	5.3	8.3	2.7	55.0	47.3
	70代以上	(n=300)	4.7	2.3	31.0	12.0	3.3	6.3	0.7	59.7	45.7

		味・風味		利便性		情緒			
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	
R5	全体	(n=1800)	20.8	18.2	9.5	34.2	6.9	7.7	32.4
エリア	首都圏	(n=900)	23.3	19.9	10.7	35.9	7.3	7.9	32.1
	京阪神圏	(n=900)	18.3	16.6	8.3	32.4	6.4	7.4	32.8
性別	男性	(n=900)	24.0	22.0	10.3	34.4	7.2	9.4	33.9
	女性	(n=900)	17.7	14.4	8.7	33.9	6.6	5.9	31.0
年代	20代	(n=300)	20.0	15.7	14.3	27.7	15.3	10.3	22.3
	30代	(n=300)	22.7	18.0	10.7	32.7	9.7	10.7	25.0
	40代	(n=300)	23.3	23.0	9.3	35.3	6.7	8.0	28.0
	50代	(n=300)	22.3	18.3	7.3	35.3	4.0	6.3	35.0
	60代	(n=300)	20.3	19.3	7.7	39.3	3.7	6.3	39.0
	70代以上	(n=300)	16.3	15.0	7.7	34.7	2.0	4.3	45.3

図表 139 アメリカ産牛肉のイメージ

(%)

		食感	部位・栄養素			品質		品質 ・アニマルウェルフェア	価格		
			柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
R5	全体	(n=1800) 7.2	3.6	25.9	12.6	6.2	10.5	4.7	52.8	37.4	
エリア	首都圏	(n=900) 7.1	4.1	26.6	13.8	7.6	10.7	5.2	51.8	39.7	
	京阪神圏	(n=900) 7.2	3.1	25.2	11.4	4.9	10.3	4.1	53.9	35.1	
性別	男性	(n=900) 7.2	3.6	26.3	15.0	6.7	10.8	4.8	53.6	36.1	
	女性	(n=900) 7.1	3.7	25.4	10.2	5.8	10.2	4.6	52.1	38.7	
年代	20代	(n=300) 9.0	7.3	13.0	10.7	9.3	9.7	8.7	35.3	20.3	
	30代	(n=300) 7.3	4.3	20.7	11.3	7.7	9.3	9.3	42.0	31.7	
	40代	(n=300) 8.0	4.0	25.3	11.3	7.0	8.0	3.7	55.3	42.3	
	50代	(n=300) 6.0	3.0	34.0	11.7	4.7	13.0	2.7	60.7	48.3	
	60代	(n=300) 7.0	1.7	34.7	15.3	5.7	11.3	2.7	59.7	43.3	
	70代以上	(n=300) 5.7	1.3	27.7	15.3	3.0	11.7	1.0	64.0	38.3	

		味・風味		利便性		情緒		
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
R5	全体	(n=1800) 21.9	19.1	7.3	30.5	4.9	6.3	26.7
エリア	首都圏	(n=900) 24.6	21.3	8.3	31.8	5.0	5.6	26.9
	京阪神圏	(n=900) 19.3	16.9	6.2	29.2	4.8	7.1	26.6
性別	男性	(n=900) 24.2	21.3	7.6	30.4	4.7	6.6	26.1
	女性	(n=900) 19.7	16.9	7.0	30.6	5.1	6.1	27.3
年代	20代	(n=300) 19.0	13.0	9.3	19.0	9.0	8.3	21.0
	30代	(n=300) 22.0	14.7	6.3	27.7	8.7	6.0	18.7
	40代	(n=300) 24.3	22.3	8.7	32.0	5.0	4.3	22.3
	50代	(n=300) 23.3	23.0	6.0	33.3	3.0	6.0	30.7
	60代	(n=300) 23.3	24.0	6.0	37.0	2.7	7.3	29.7
	70代以上	(n=300) 19.7	17.7	7.3	34.0	1.0	6.0	38.0

図表 140 オーストラリア産牛肉のイメージ

11) 国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)

- ▶ 「割高でも国産和牛を選ぶ」割合は全体の 52.8%。
- ▶ 「同等の価格なら国産和牛を選ぶ」の割合は 21.3%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛を選ぶ」割合は昨年度よりやや増加しており、「国産和牛へのこだわりはない」が減少。

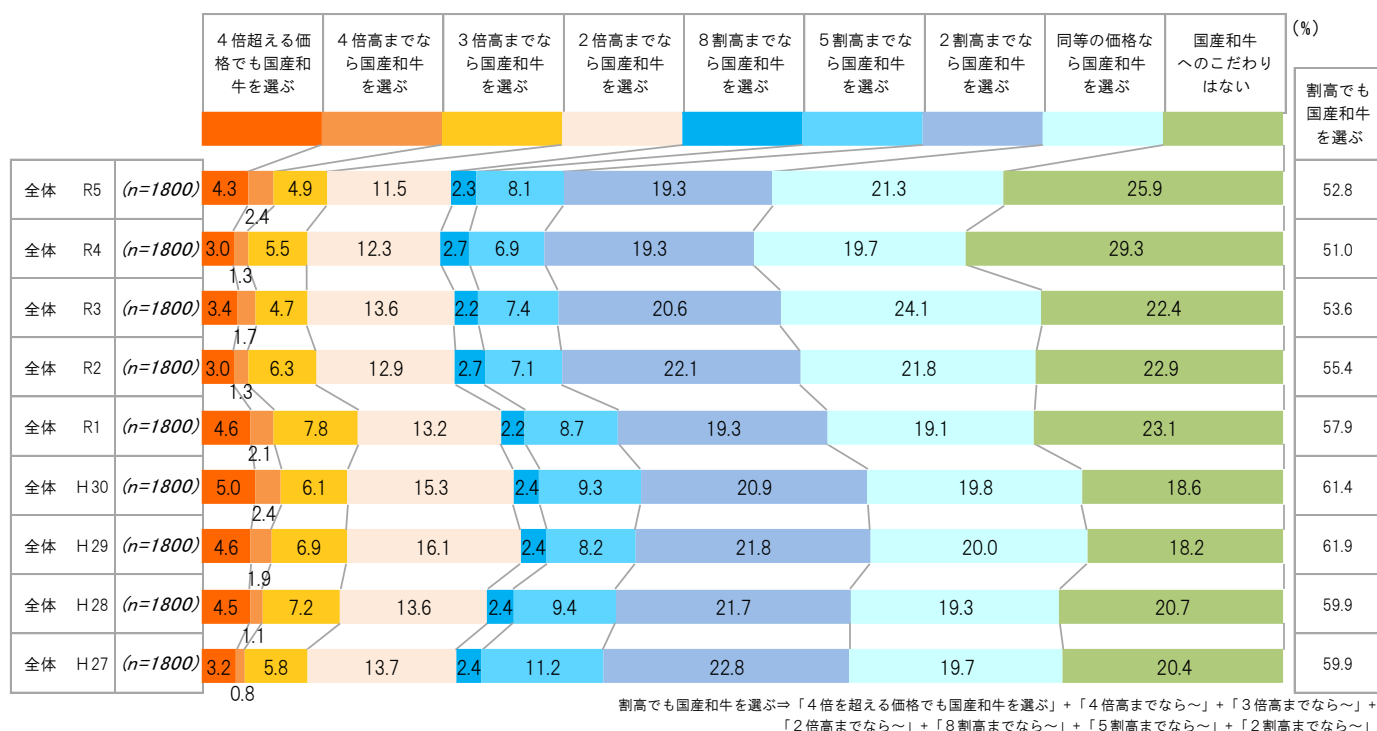
【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも国産和牛を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛を選ぶ」～「2割高までなら国産和牛を選ぶ」）」割合は 52.8%。

特に「同等の価格なら国産和牛を選ぶ」が 21.3%、「2割高までなら国産和牛を選ぶ」が 19.3%の順で高く、合わせて全体の 40.6%を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛を選ぶ」割合は昨年度よりやや増加しており、「国産和牛へのこだわりはない」が減少している。

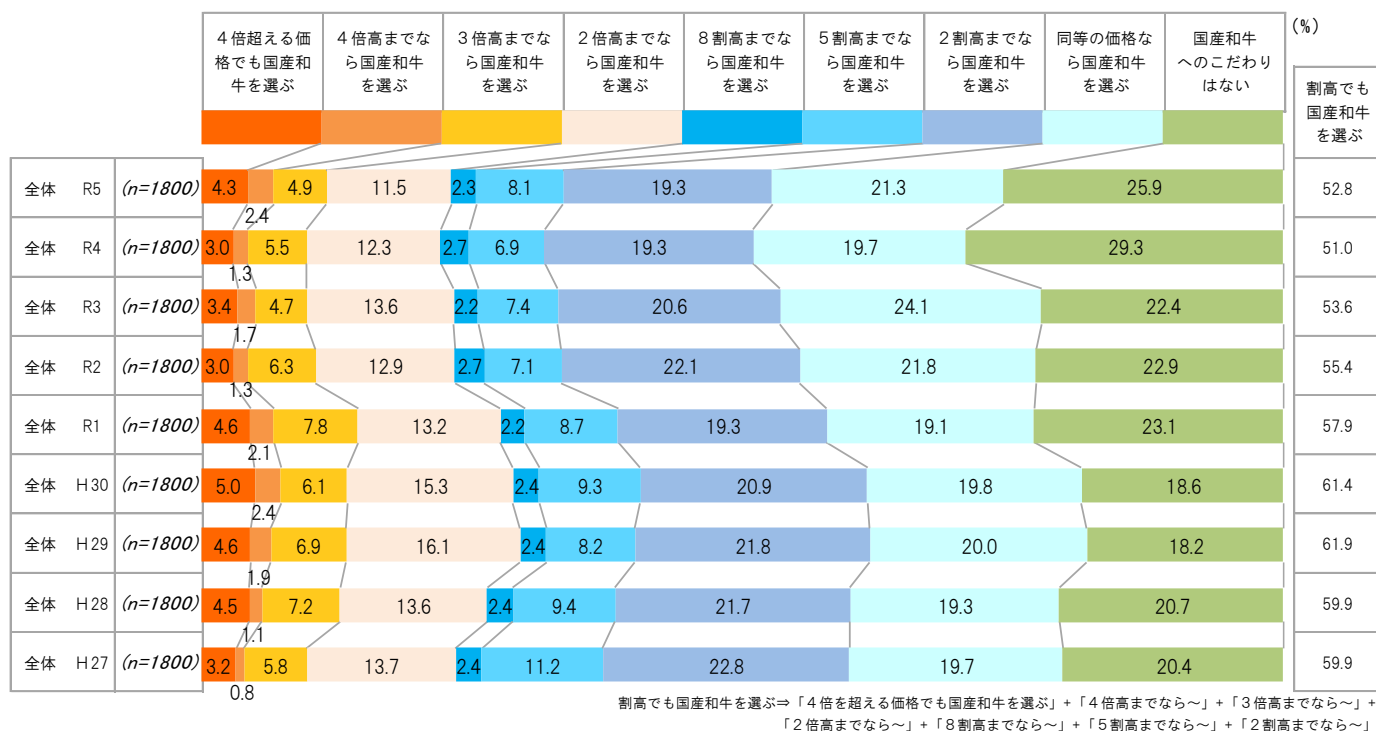


図表 141 国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度 (経年変化)

「割高でも国産和牛を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は 50.7%だが、京阪神圏の方が 54.7%と首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に「割高でも国産和牛を選ぶ」の割合を見ると、男性が 55.6%、女性が 49.9%と男性の方がやや多い。

年代別に「割高でも国産和牛を選ぶ」の割合を見ると、60代は 56.6%、70代以上は 65.3%と年代が高い方が多くなり、国産和牛への価格許容度が高い。



図表 142 国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度

12) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)

- ▶ 「割高でも和牛以外の国産牛肉を選択する割合」は全体の50.1%。
- ▶ 「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合は23.4%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

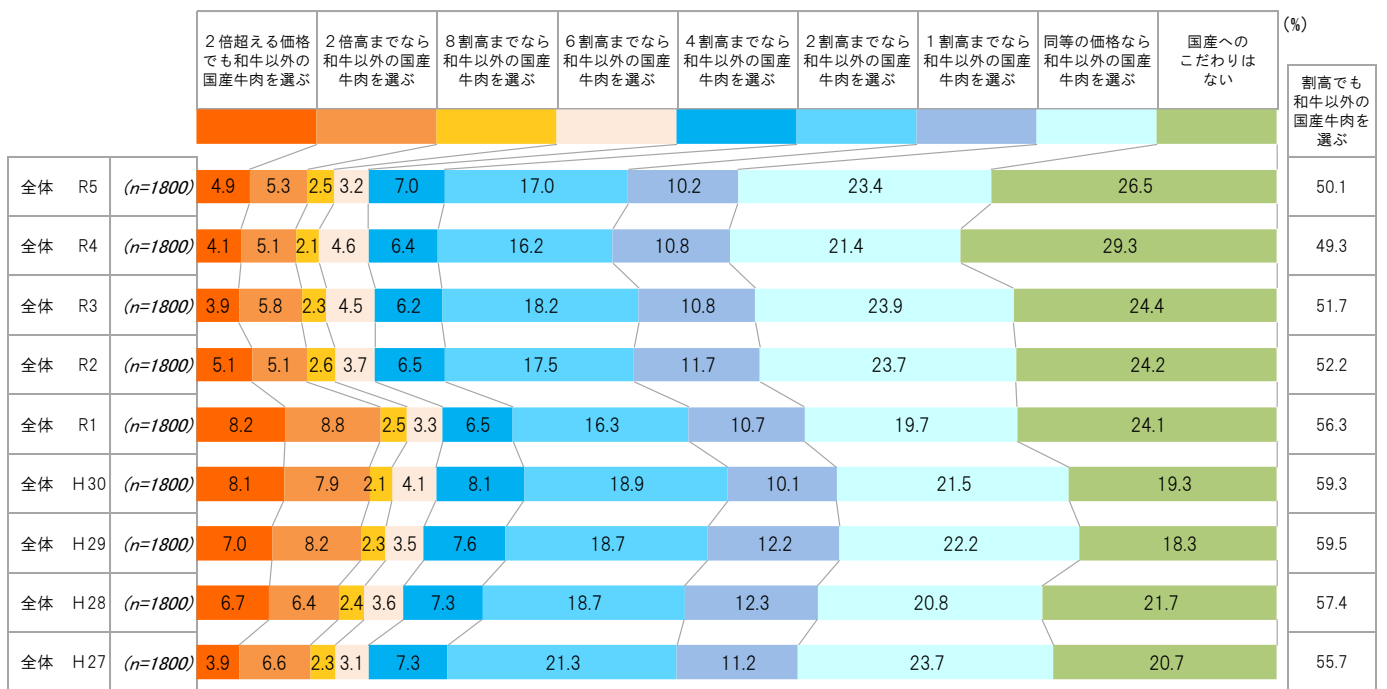
【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は50.1%。

特に「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が23.4%、「2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が17.0%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



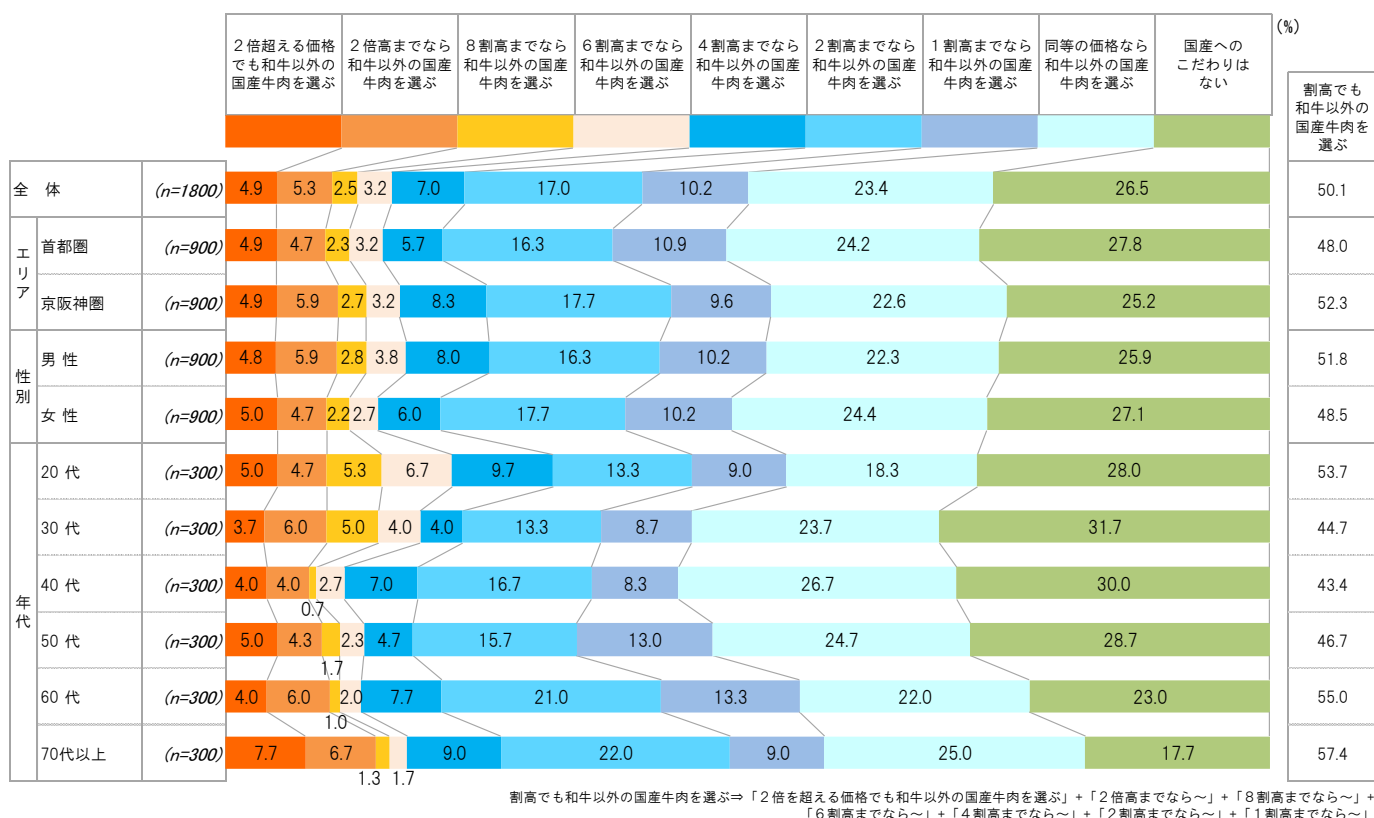
割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら～」+「8割高までなら～」+「6割高までなら～」+「4割高までなら～」+「2割高までなら～」+「1割高までなら～」

図表 143 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は48.0%だが、京阪神圏の方が52.3%と首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が51.8%、女性が48.5%と、女性より男性の方が多い。

年代別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、60代は55.0%、70代以上は57.4%と年代が高い方が多くなり、和牛以外の国産牛肉への価格許容度が高い。



図表 144 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

13) 国産和牛／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度：
順序プロビット回帰分析（Q14・Q15）

■牛肉に対するイメージ（Q13）の因子分析結果

- 「利便性」因子：「特売」「価格が手頃」「若者向き」などの項目と関連
- 「高級感」因子：「高品質」「霜降り」「贅沢感がある」などの項目と関連

■国産和牛における価格許容度の順序プロビット回帰分析結果

- 牛肉イメージの「利便性」因子における輸入牛肉優位性が相対的に縮小するほど、「高級感」因子における国産和牛優位性が高まるほど、国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度が高くなる
- 回答者属性では、首都圏居住者に比べ京阪神圏居住者ほど、年齢が高いほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が300万円未満だと価格許容度が低く、1,000万円以上であると、価格許容度が高くなる。

■和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析結果

- 牛肉イメージの「利便性」因子における輸入牛肉優位性が相対的に縮小するほど、「高級感」因子における和牛以外の国産牛肉優位性が高まるほど、和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度が高くなる。
- 回答者属性では、首都圏居住者に比べ京阪神圏居住者ほど、年齢が高いほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が300万円未満だと価格許容度が低く、1,000万円以上であると、価格許容度が高くなる傾向がある。

国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）ならびに和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q15）を被説明変数、国産牛肉に対するイメージ（Q13）と、回答者属性（性別（Q2）・年齢（Q3）・居住地域（Q1）・世帯年収（Q55））を説明変数として順序プロビット回帰分析を行った。

ただし、同分析で計測された回帰係数はそのままでは解釈できないため、各説明変数の値の変化による価格許容度カテゴリの選択確率の変化を計算し、被説明変数に及ぼす効果の大きさを定量的に推定した。

<順序プロビット回帰分析に用いた被説明変数・説明変数>

国産牛肉に対する価格許容度に関する設問回答（Q14・Q15）を順序カテゴリカルな被説明変数とした。説明変数には、牛肉に対するイメージ項目と、性別や年齢などの回答者属性を利用する。各種牛肉に対する各イメージ項目（当該イメージなし:0、当該イメージあり:1）（Q13）は、16項目と多項目になり、順序プロビット回帰分析を行う前に予め因子分析を行い、少数の変数に集約する。

因子分析は、国産牛肉と輸入牛肉の共通したイメージ構造を把握するため、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のイメージ項目を併合して行った。イメージ項目は二値の離散変数であることから、連続量を仮定する通常の因子分析ではなく、カテゴリカル因子分析を利用した。因子数は、ガットマン基準（テトラコリック相関係数行列の固有値が1以上の数）により2個とした。また推定法には最尤法、因子の回転法には **Keiser** の正規化を伴うオブリン斜交回転を用い、因子得点は標準化を行った。

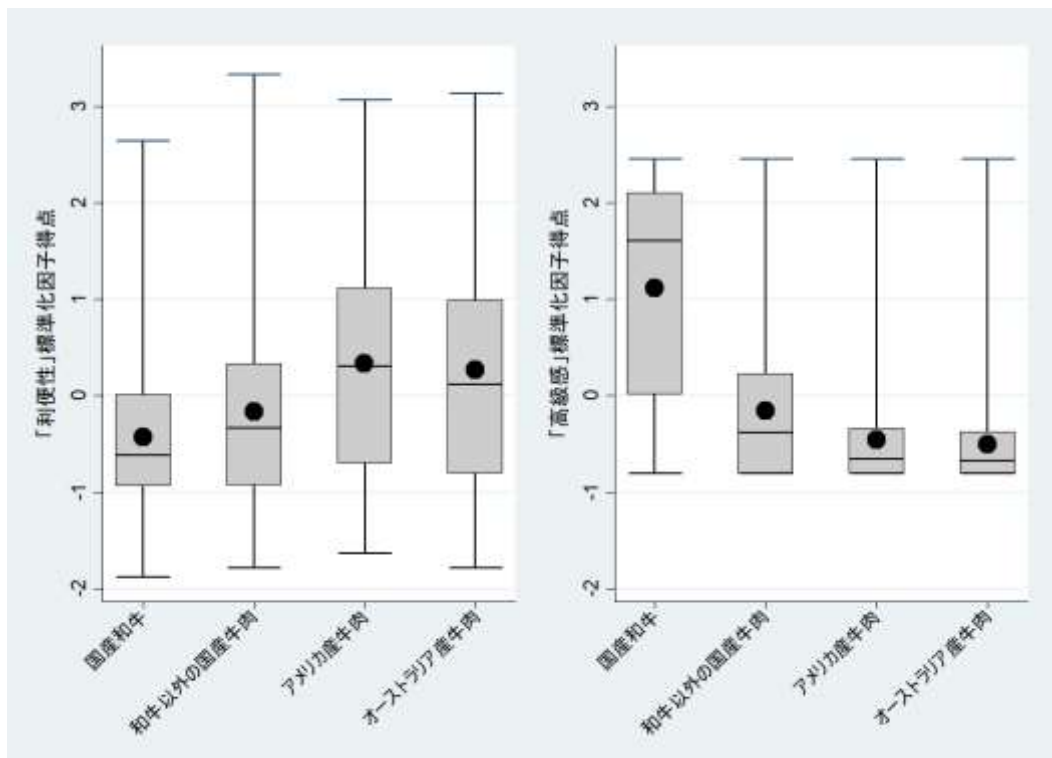
絶対値で0.4以上の因子負荷量を基準に牛肉イメージ16項目を分類した因子パターンを図表145に示す。第1因子は、「特売」、「価格が手頃」、「若者向き」などの項目の因子負荷量が高く、「利便性」因子と解釈した。第2因子は、「高品質」、「霜降り」、「贅沢感がある」などの項目の因子負荷量が高く、「高級感」因子と解釈した。

イメージ項目	第1因子	第2因子
1. 柔らかい	-0.021	0.903
2. 霜降り	-0.151	0.924
3. 赤身が多い	0.643	0.212
4. 安全・安心	0.018	0.861
5. 高品質	-0.128	0.926
6. 飼育環境がよい	0.090	0.818
7. 高級	-0.245	0.919
8. 価格が手頃	0.776	-0.384
9. 特売	0.764	-0.210
10. おいしい	0.144	0.813
11. 赤身がおいしい	0.453	0.569
12. 和食に合う	0.074	0.813
13. 洋食に合う	0.607	0.340
14. 贅沢感がある	-0.192	0.920
15. シニア向き	0.157	0.696
16. 若者向き	0.672	-0.008
	因子間相関	0.068

注：黄色の背景色をつけた数値は、絶対値が0.4以上の因子負荷量である。

図表 145 牛肉イメージの因子分析結果（Kaiser の正規化を伴うオブリン回転後の因子パターン）

回答者の牛肉種類別の相対的な知覚差異を把握するために、因子得点の国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉別分布を図表146の箱ひげ図に示した。国産和牛は、第2因子の「高級感」が高く、反対にアメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は低い。反対に、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は第1因子の「利便性」が高く、国産和牛は低い。和牛以外の国産牛肉はそれらの中間にあることがわかる。



注：ひげの一番下が最小値、箱の下部の辺が第1四分位数、真ん中の線が中央値、上部の辺が第3四分位数、ひげの一番上が最大値を表す。●は平均値を表す。

図表 146 牛肉種類別の標準化因子得点分布

本分析で得られた国産和肉、和牛以外の国産牛肉のそれぞれの因子得点と、アメリカ産牛肉とオーストラリア産牛肉の因子得点を平均した輸入牛肉因子得点との差を順序プロビット回帰分析の説明変数に採用し、計測結果を利用して当該説明変数の値が平均値から1標準偏差だけ増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率予測値の変化分を推定する。

回答者属性の説明変数には、性別、地域、年齢、世帯年収を採用する。性別（男性:0、女性:1）と居住地域（首都圏:0、京阪神:1）は、二値の変数としている。これらの説明変数については、当該変数値が0から1に変化した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ変化するかを推定する。回答者の年齢は連続変数であるため、回答者の年齢が10歳増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分を推定する。世帯年収については、「7 答えたくない／わからない」と回答した335サンプルを除外し、残り6つの世帯年収カテゴリを二値変数化（当該カテゴリを非選択:0、当該カテゴリを選択:1）して分析に用いる。ただし、世帯年収カテゴリを全て投入すると多重共線性によりモデルが計測できなくなるため、世帯年収カテゴリ「2 世帯年収300万円以上500万円未満」変数を除外して計測した。したがって、各世帯年収カテゴリの限界確率効果は「世帯年収300万円以上500万円未満」と比べ、当該カテゴリの回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ増減するかを示す。

■国産和牛における価格許容度の順序プロビット回帰分析結果

各説明変数の所与の値変化による Q14 各選択肢の選択確率の変化を図表 147 に示す。牛肉イメージの因子分析から得られた国産和牛と輸入牛肉の因子得点差では、「利便性」因子の輸入牛肉優位性が相対的に縮小するほど、「高級感」因子の国産和牛優位性が高まるほど価格許容度が高くなる。回答者属性では、京阪神圏居住者や年齢が高いほど価格許容度が高くなること、世帯年収が 300 万円未満だと価格許容度が低く、1,000 万円以上だと価格許容度が高くなる傾向が確認された。

	Q14 輸入牛肉に対する国産和牛の価格割高許容度								
	1 国産和牛へのこだわりはない	2 同等の価格なら国産和牛を選ぶ	3 2割高までなら国産和牛を選ぶ	4 5割高までなら国産和牛を選ぶ	5 8割高までなら国産和牛を選ぶ	6 2倍高までなら国産和牛を選ぶ	7 3倍高までなら国産和牛を選ぶ	8 4倍高までなら国産和牛を選ぶ	9 4倍高を超える価格でも国産和牛を選ぶ
国産和牛と輸入牛肉との「利便性」標準化因子得点差 サンプル平均値から1標準偏差増加	-0.048	-0.019	0.000	0.006	0.003	0.020	0.013	0.008	0.018
国産和牛と輸入牛肉との「高級感」標準化因子得点差 サンプル平均値から1標準偏差増加	-0.028	-0.010	0.001	0.004	0.002	0.011	0.007	0.004	0.010
京阪神圏（首都圏との比較）	-0.032	-0.010	0.002	0.004	0.002	0.012	0.007	0.005	0.010
女性（男性との比較）	0.022	0.007	-0.001	-0.003	-0.001	-0.008	-0.005	-0.003	-0.007
年齢									
25歳から35歳への上昇	-0.012	-0.003	0.001	0.002	0.001	0.004	0.003	0.002	0.003
35歳から45歳への上昇	-0.012	-0.003	0.001	0.002	0.001	0.004	0.003	0.002	0.003
45歳から55歳への上昇	-0.011	-0.004	0.001	0.002	0.001	0.004	0.003	0.002	0.003
55歳から65歳への上昇	-0.011	-0.004	0.000	0.002	0.001	0.004	0.003	0.002	0.004
65歳から75歳への上昇	-0.011	-0.004	0.000	0.001	0.001	0.004	0.003	0.002	0.004
世帯年収（500万～700万円未満層との比較）									
300万円未満	0.106	0.026	-0.012	-0.016	-0.006	-0.038	-0.022	-0.013	-0.026
300万～500万円未満	0.032	0.009	-0.002	-0.004	-0.002	-0.012	-0.007	-0.004	-0.009
700万～1,000万円未満	0.008	0.002	-0.001	-0.001	0.000	-0.003	-0.002	-0.001	-0.002
1,000万～1,500万円未満	-0.050	-0.018	0.001	0.006	0.003	0.019	0.013	0.008	0.018
1,500万円以上	-0.113	-0.055	-0.011	0.011	0.005	0.047	0.034	0.023	0.058

注：黄色の背景色の推定値は 10%水準で、太字の推定値は 5%水準で有意な限界効果を表す。

1,500 万円以上の年収階層の下線を付した選択確率変化分、下線を付し斜体で表した選択確率変化分は、1,000 万～1,500 万円未満の年収階層のそれと、それぞれ、10%水準、5%水準で有意差がある。

図表 147 国産和牛の価格許容度に関する順序プロビット回帰の説明変数値変化による各選択肢の選択確率変化

■和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット分析結果

各説明変数の所与の値変化による Q15 各選択肢の選択確率の変化を図表 148 に示す。国産和牛における価格許容度の順序プロビット分析結果と同様、牛肉イメージの因子分析から得られた和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の因子得点差では、「利便性」因子の輸入牛肉優位性が相対的に縮小するほど、「高級感」因子の和牛以外の国産牛肉優位性が高まるほど価格許容度が高くなる。回答者属性では、京阪神圏居住者や年齢が高いほど、また、世帯年収が 300 万円未満だと価格許容度が低く、1,000 万円以上だと価格許容度が高くなる傾向が確認された。

	Q15 輸入牛肉に対する和牛以外の国産牛肉の価格割高許容度								
	1 国産牛肉へのこだわりはない	2 同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	3 1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4 2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	5 4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6 6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	7 8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8 2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	9 2倍高を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ
和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉との「利便性」標準化因子得点差 サンプル平均値から1標準偏差増加	-0.051	-0.019	-0.001	0.011	0.011	0.007	0.006	0.015	0.020
和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉との「高級感」標準化因子得点差 サンプル平均値から1標準偏差増加	-0.041	-0.014	0.000	0.009	0.009	0.005	0.005	0.012	0.015
京阪神圏（首都圏との比較）	-0.037	-0.011	0.001	0.009	0.008	0.005	0.004	0.010	0.012
女性（男性との比較）	0.005	0.001	0.000	-0.001	-0.001	-0.001	0.000	-0.001	-0.002
年齢									
25歳から35歳への上昇	-0.014	-0.003	0.001	0.004	0.003	0.002	0.001	0.003	0.004
35歳から45歳への上昇	-0.013	-0.003	0.000	0.003	0.003	0.002	0.001	0.003	0.004
45歳から55歳への上昇	-0.013	-0.004	0.000	0.003	0.003	0.002	0.001	0.003	0.004
55歳から65歳への上昇	-0.012	-0.004	0.000	0.003	0.003	0.002	0.001	0.003	0.004
65歳から75歳への上昇	-0.012	-0.004	0.000	0.003	0.003	0.002	0.001	0.004	0.005
世帯年収（500万～700万円未満層との比較）									
300万円未満	0.078	0.019	-0.003	-0.021	-0.016	-0.009	-0.007	-0.019	-0.022
300万～500万円未満	-0.028	-0.009	0.000	0.007	0.006	0.004	0.003	0.008	0.010
700万～1,000万円未満	-0.025	-0.008	0.000	0.006	0.005	0.003	0.003	0.007	0.009
1,000万～1,500万円未満	-0.080	-0.031	-0.002	0.017	0.017	0.011	0.009	0.025	0.034
1,500万円以上	-0.131	-0.064	-0.011	0.019	0.027	0.019	0.017	0.048	0.077

注：黄色の背景色の推定値は 10%水準で、太字の推定値は 5%水準で有意な限界効果を表す。

1,500 万円以上の年収階層の下線を付した選択確率変化分、下線を付し斜体で表した選択確率変化分は、1,000 万～1,500 万円未満の年収階層のそれと、それぞれ、10%水準、5%水準で有意差がある。

図表 148 和牛以外の国産牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰の説明変数値変化による各選択肢の選択確率変化

14) 国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）（Q16）

➤ 国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均 417.1 円/100g。
 ➤ 過年度調査と比較すると、昨年度の平均 429.3 円/100g から微減。

【今年度調査】

国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均 417.1 円/100g である。

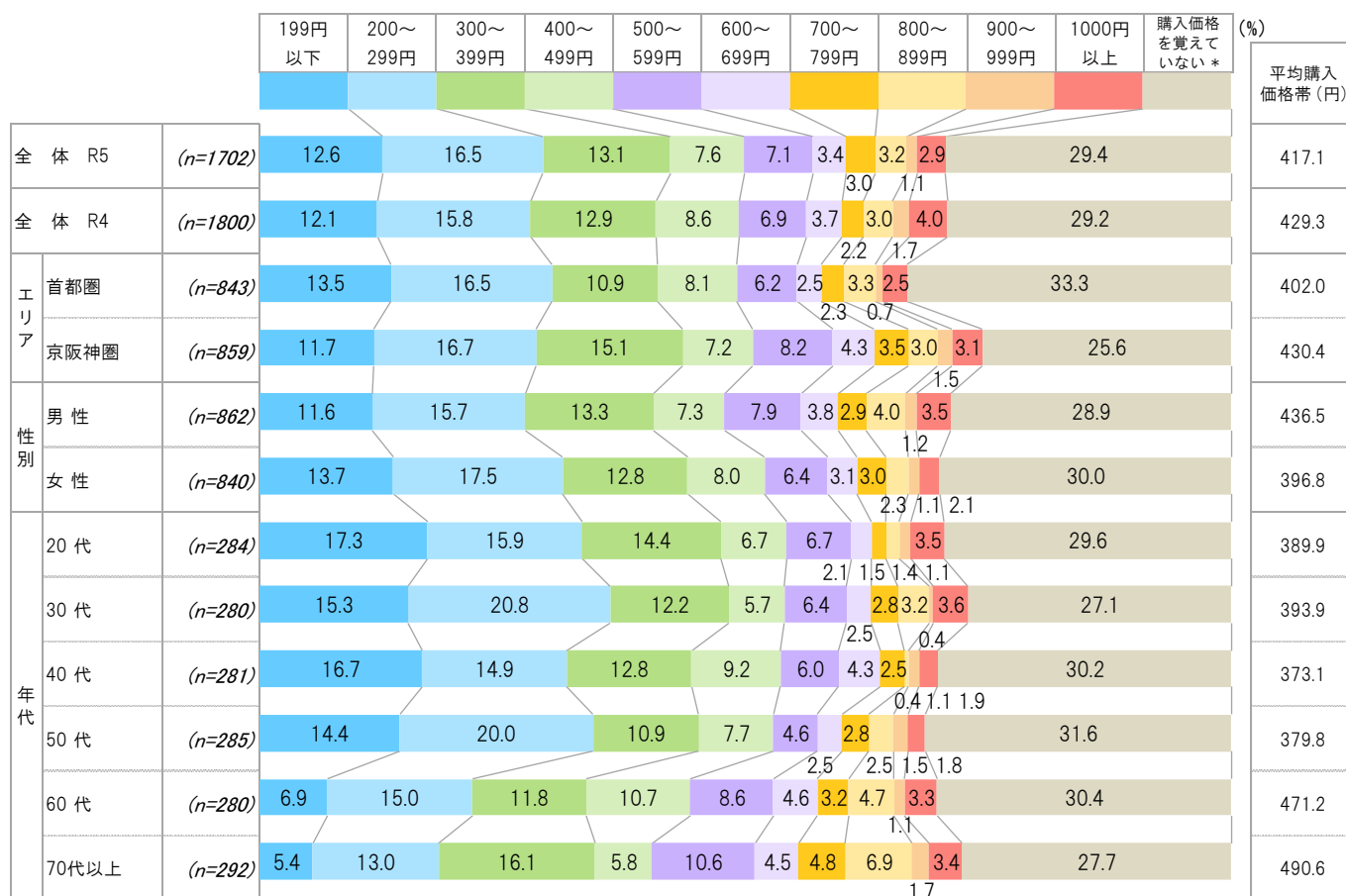
エリア別に見ると、首都圏は平均 402.0 円/100g、京阪神圏は平均 430.4 円/100g と、首都圏より京阪神圏の方が高い。

性別に見ると、男性が平均 436.5 円/100g、女性が平均 396.8 円/100g と、女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、60代は平均 471.2 円/100g、70代以上は平均 490.6 円/100g と年代が高い方が購入価格帯が高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度の平均 429.3 円/100g からやや低くなっている。



*「購入価格を覚えていない(和牛を含む)国産牛肉は購入していない」

図表 149 国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）

15) 産地別牛肉の購入意向 (Q17)

- ▶ 牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 86.1%、和牛以外の国産牛肉が 81.5%、オーストラリア産牛肉が 68.3%、アメリカ産牛肉が 63.5%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「安ければ購入したい」がやや増加。

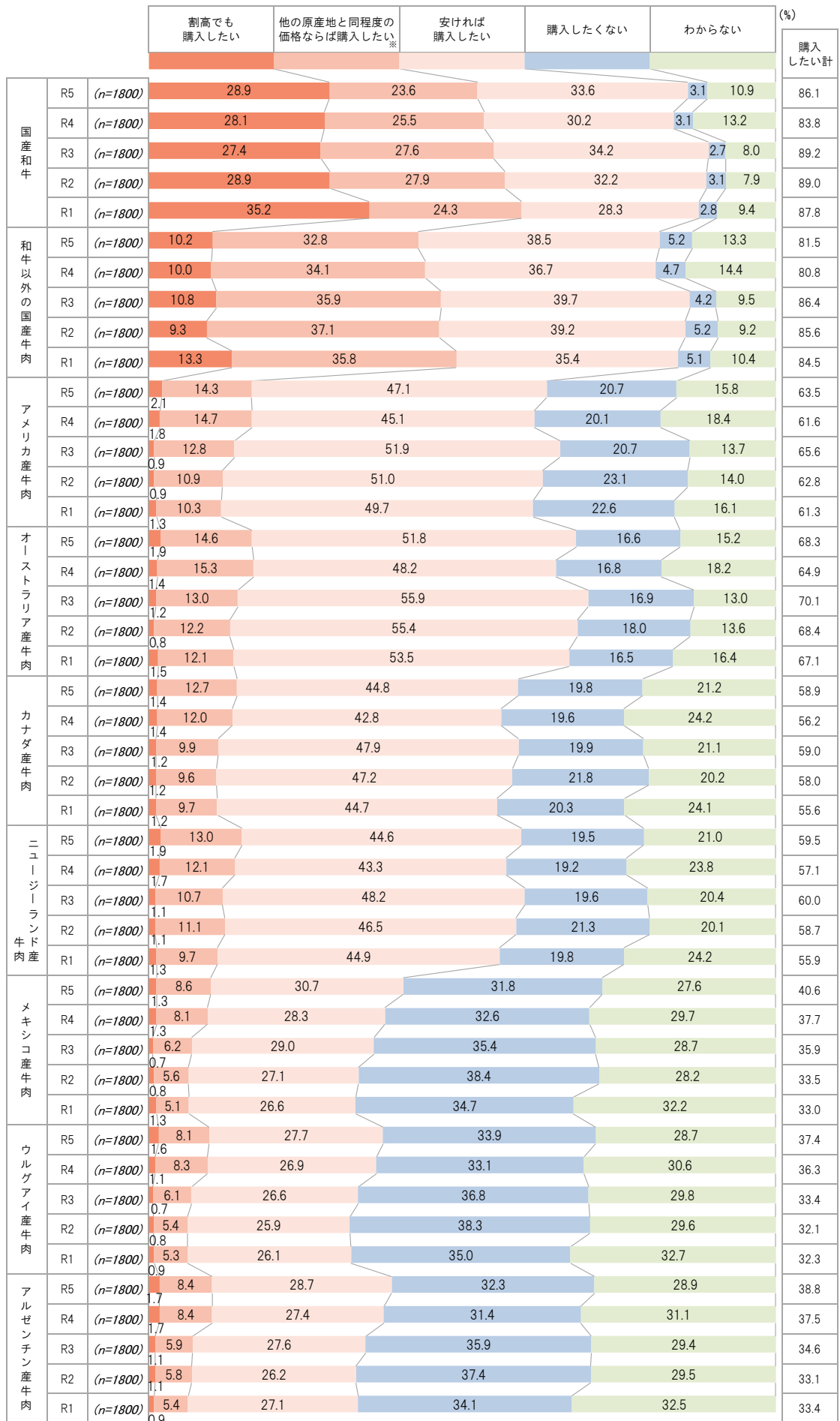
【今年度調査】

牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 86.1%、和牛以外の国産牛肉が 81.5%、オーストラリア産牛肉が 68.3%、アメリカ産牛肉が 63.5%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛は 28.9%と高いが、和牛以外の国産牛肉は 10.2%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 2%前後と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「安ければ購入したい」がやや増加している。



※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 150 牛肉の産地別購入意向

16) 産地別豚肉の購入意向 (Q18)

- ▶ 豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 88.8%、アメリカ産豚肉が 62.8%、カナダ産豚肉が 60.0%、スペイン産豚肉が 52.9%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

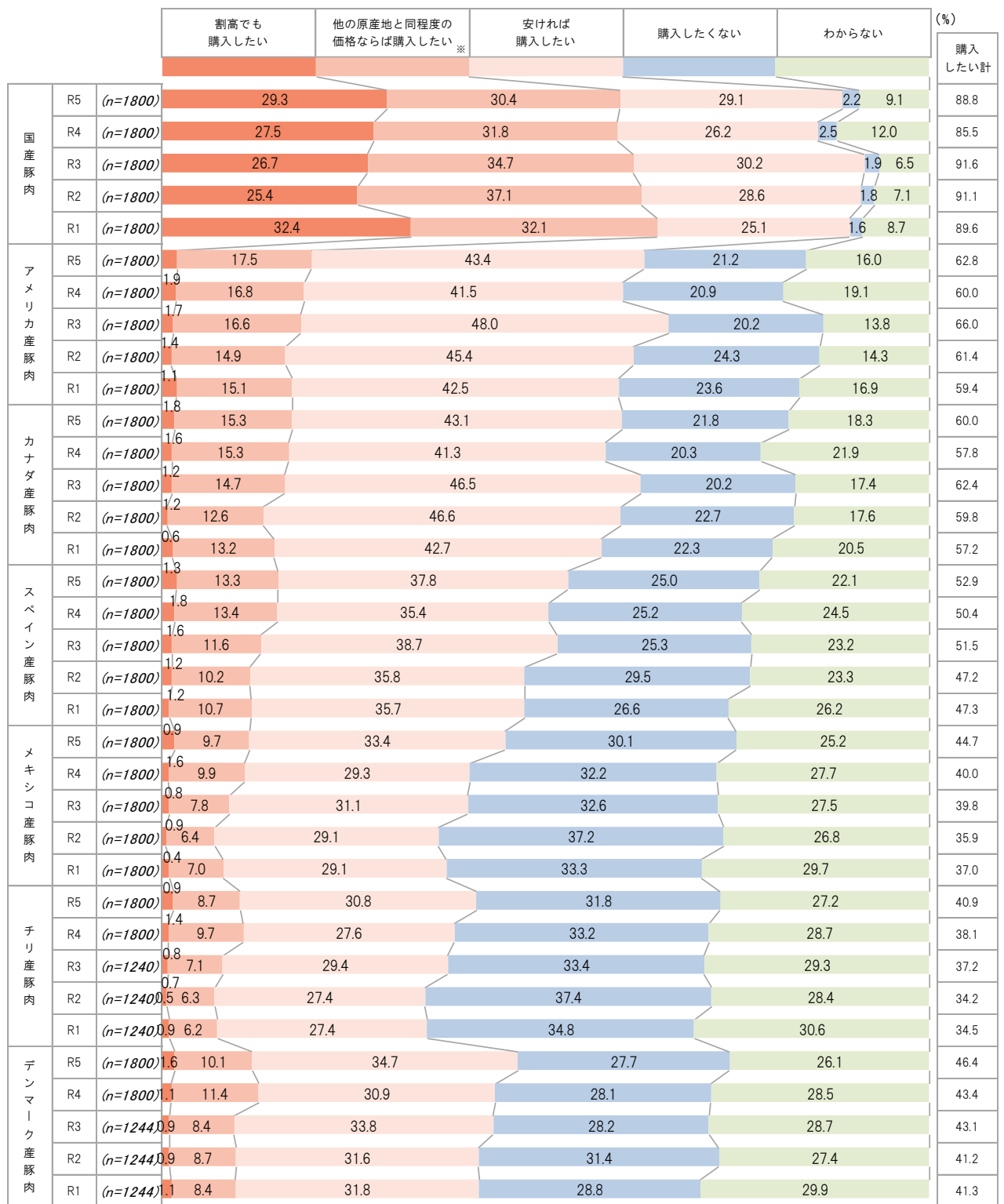
【今年度調査】

豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 88.8%、アメリカ産豚肉が 62.8%、カナダ産豚肉が 60.0%、スペイン産豚肉が 52.9%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 29.3%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含め輸入豚肉はいずれも 2%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 151 豚肉の産地別購入意向

17) 産地別鶏肉の購入意向 (Q19)

- ▶ 鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 88.5%、アメリカ産鶏肉が 53.2%、ブラジル産鶏肉が 46.5%、タイ産鶏肉が 41.9%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

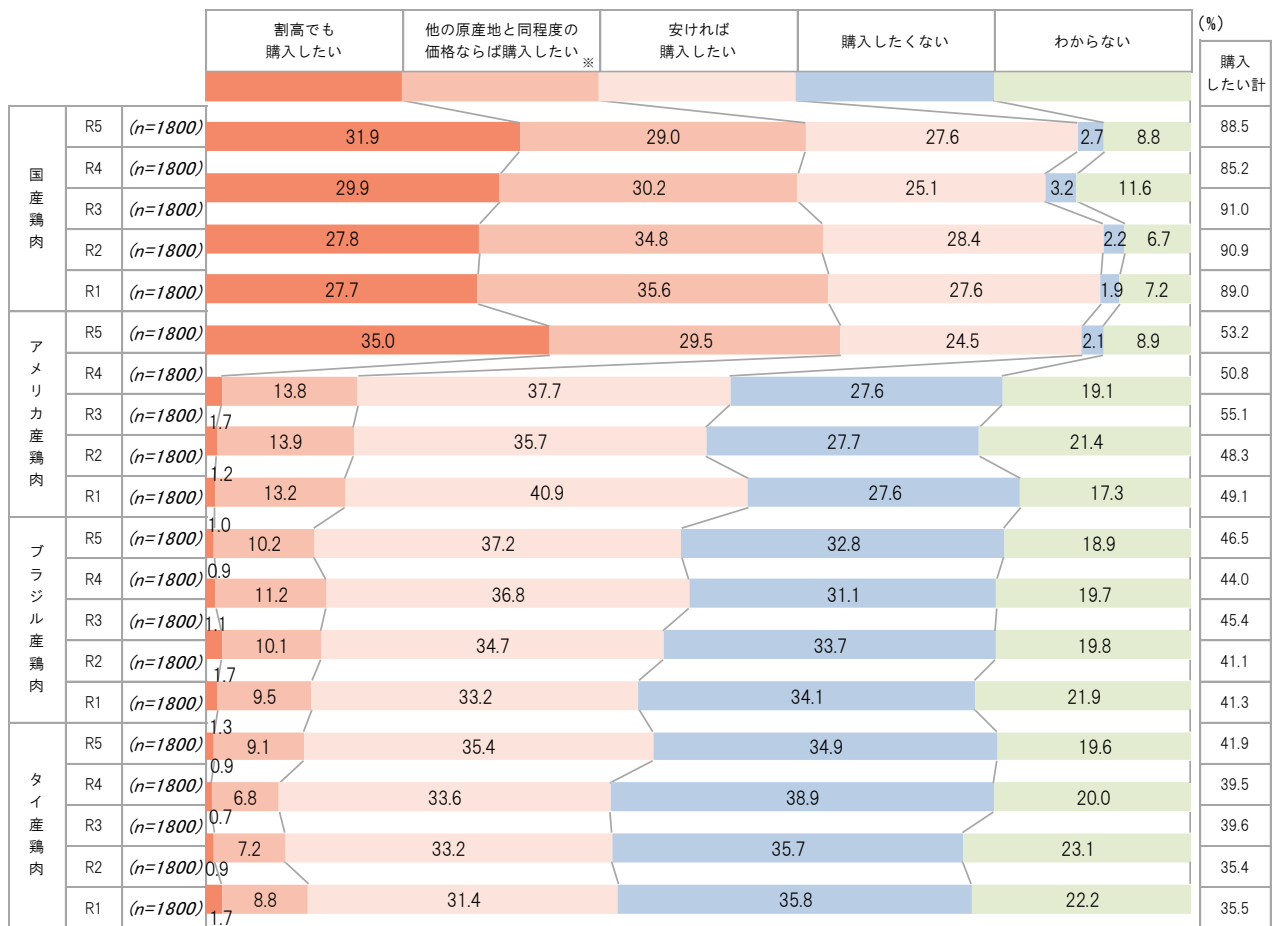
【今年度調査】

鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 88.5%、アメリカ産鶏肉が 53.2%、ブラジル産鶏肉が 46.5%、タイ産鶏肉が 41.9%の順である。

「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 31.9%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 2%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 152 鶏肉の産地別購入意向

4. 食肉の安全性に関する意識調査

4.1 食品の安全性に関する意識

1) 食品の安全性の不安感 (Q20)

- ▶ 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」26.4%、「食肉加工品」23.1%、「弁当・惣菜類」22.3%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」22.0%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

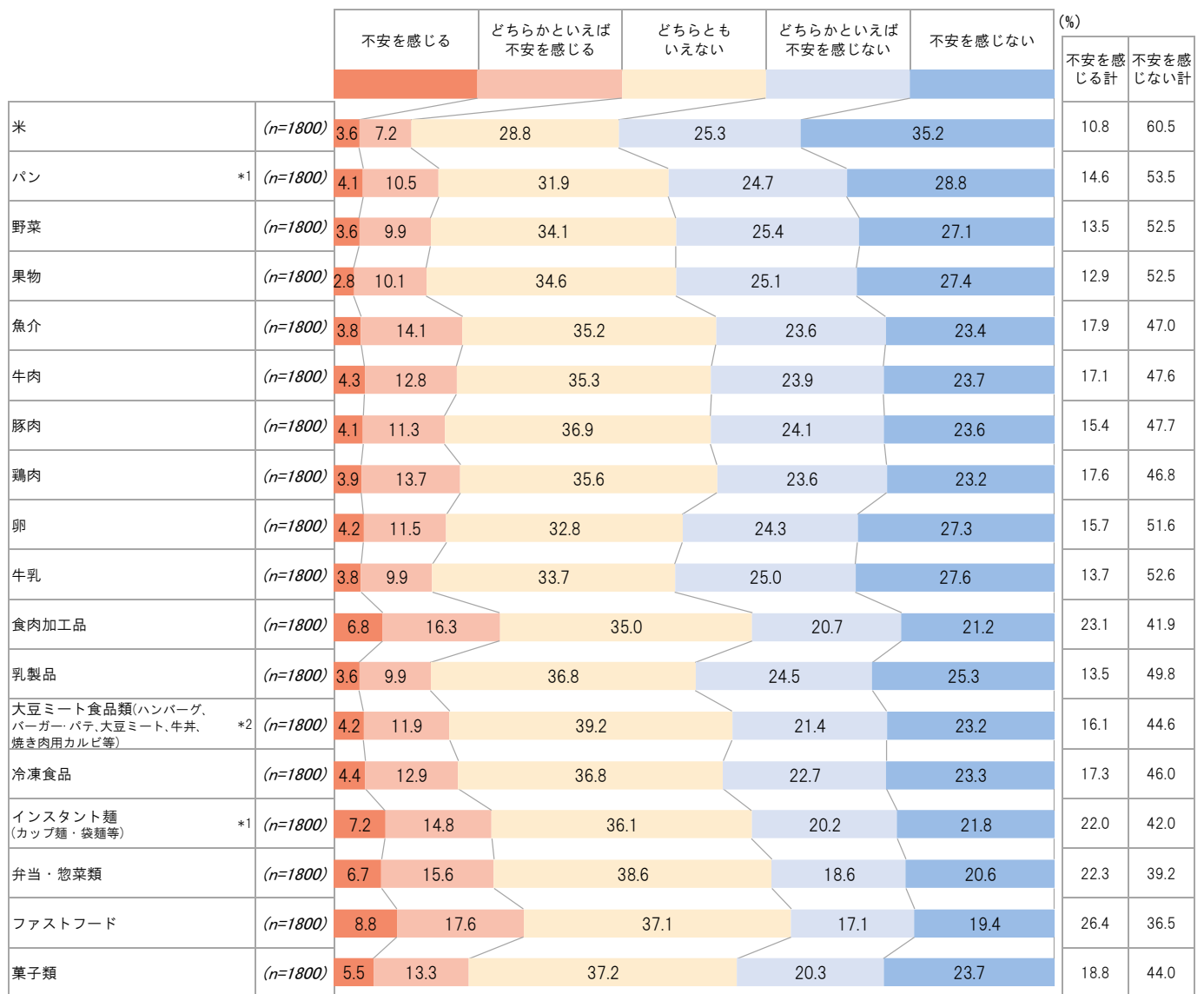
【今年度調査】

18種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを聞いたところ、「不安を感じる（不安を感じる＋どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」26.4%、「食肉加工品」23.1%、「弁当・惣菜類」22.3%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」22.0%の順で高い。「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、16.1%と不安度はそれほど高くない。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない＋不安を感じない）」の割合は、「米」60.5%、「パン」53.5%、「牛乳」52.6%、「野菜」及び「果物」52.5%、「卵」51.6%、「乳製品」49.8%の順で高い。なお「牛肉」は47.6%、「豚肉」は47.7%、「鶏肉」は46.8%であった。「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、44.6%であった。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。



*1 「パン」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年度より新規項目

*2 「大豆ミート食品類(ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)」は令和4年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」

不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 153 食品の安全性の不安感

		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)		
		[Stacked Bar Chart]					不安を感じる計	不安を感じない計	
米	R5	(n=1800)	3.6	7.2	28.8	25.3	35.2	10.8	60.5
	R4	(n=1800)	3.5	6.9	27.7	24.1	37.8	10.4	61.9
	R3	(n=1800)	2.6	5.8	28.8	28.2	34.6	8.4	62.8
	R2	(n=1800)	2.4	6.9	26.9	29.4	34.3	9.3	63.7
	R1	(n=1800)	3.8	8.4	27.8	26.7	33.3	12.2	60.0
	H30	(n=1800)	4.4	9.9	25.9	28.7	31.0	14.3	59.7
	H29	(n=1800)	3.4	10.1	29.2	29.2	28.1	13.5	57.3
	H28	(n=1800)	4.7	12.7	32.3	26.4	23.8	17.4	50.2
	H27	(n=1800)	3.6	15.4	37.8	29.4	13.8	19.0	43.2
	H26	(n=1800)	3.2	14.8	32.9	32.3	16.8	18.0	49.1
	H25	(n=1240)	6.4	18.9	29.2	32.5	13.1	25.3	45.6
	H24	(n=1238)	8.8	21.9	27.7	30.3	11.3	30.7	41.6
パン*	R5	(n=1800)	4.1	10.5	31.9	24.7	28.8	14.6	53.5
	R4	(n=1800)	4.1	10.7	31.7	23.8	29.7	14.8	53.5
	R3	(n=1800)	3.2	10.2	32.6	26.5	27.5	13.4	54.0
	R2	(n=1800)	2.7	9.7	31.6	27.9	28.0	12.4	55.9
	R1	(n=1800)	4.3	10.7	29.8	27.6	27.7	15.0	55.3
野菜	R5	(n=1800)	3.6	9.9	34.1	25.4	27.1	13.5	52.5
	R4	(n=1800)	3.2	9.9	34.7	25.3	26.9	13.1	52.2
	R3	(n=1800)	2.9	10.3	34.4	27.9	24.4	13.2	52.3
	R2	(n=1800)	2.7	11.2	35.9	27.7	22.5	13.9	50.2
	R1	(n=1800)	3.9	13.3	32.1	27.0	23.7	17.2	50.7
	H30	(n=1800)	5.2	15.7	27.0	28.1	24.1	20.9	52.2
	H29	(n=1800)	3.3	16.4	30.7	28.6	20.9	19.7	49.5
	H28	(n=1800)	5.9	18.7	34.7	23.1	17.6	24.6	40.7
	H27	(n=1800)	4.4	19.7	39.7	27.3	8.9	24.1	36.2
	H26	(n=1800)	4.3	21.5	35.1	28.7	10.4	25.8	39.1
果物	H25	(n=1240)	8.1	26.8	29.7	27.3	8.1	34.9	35.4
	H24	(n=1238)	10.9	27.0	27.9	26.0	8.1	37.9	34.1
	R5	(n=1800)	2.8	10.1	34.6	25.1	27.4	12.9	52.5
	R4	(n=1800)	3.3	9.7	34.8	25.1	27.1	13.0	52.2
	R3	(n=1800)	2.7	9.2	35.7	27.9	24.6	11.9	52.5
	R2	(n=1800)	2.4	9.3	35.9	28.4	24.0	11.7	52.4
	R1	(n=1800)	3.3	12.9	32.2	27.7	23.9	16.2	51.6
	H30	(n=1800)	4.8	11.8	28.9	29.7	24.8	16.6	54.5
	H29	(n=1800)	2.9	12.8	33.2	29.4	21.7	15.7	51.1
	H28	(n=1800)	5.0	15.2	37.2	23.4	19.2	20.2	42.6
H27	(n=1800)	3.6	16.6	40.3	29.7	9.9	20.2	39.6	
H26	(n=1800)	3.9	17.4	37.1	30.1	11.6	21.3	41.7	
H25	(n=1240)	6.6	20.6	32.5	31.1	9.2	27.2	40.3	
H24	(n=1238)	9.1	20.2	31.0	30.8	8.9	29.3	39.7	

* 「パン」は令和元年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 154 (その1) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

							(%)		
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計	
魚介	R5	(n=1800)	3.8	14.1	35.2	23.6	23.4	2.5	47.0
	R4	(n=1800)	4.2	13.7	36.1	23.4	22.6	17.9	46.0
	R3	(n=1800)	3.7	14.2	36.9	24.9	20.3	17.9	45.2
	R2	(n=1800)	4.0	16.5	35.0	25.7	18.8	20.5	44.5
	R1	(n=1800)	5.6	18.3	32.7	23.8	19.5	23.9	43.3
	H30	(n=1800)	7.2	18.2	28.1	26.8	19.7	25.4	46.5
	H29	(n=1800)	5.3	19.1	32.1	26.8	16.8	24.4	43.6
	H28	(n=1800)	7.6	19.4	35.4	22.2	15.4	27.0	37.6
	H27	(n=1800)	4.8	23.9	38.3	25.5	7.5	28.7	33.0
	H26	(n=1800)	6.6	27.0	33.6	23.6	9.3	33.6	32.9
	H25	(n=1240)	14.8	31.8	27.2	19.5	6.8	46.6	26.3
	H24	(n=1238)	15.6	28.7	26.8	21.8	7.2	44.3	29.0
牛肉	R5	(n=1800)	4.3	12.8	35.3	23.9	23.7	2.5	47.6
	R4	(n=1800)	4.1	13.3	38.3	22.3	22.1	17.4	44.4
	R3	(n=1800)	4.1	12.4	37.3	26.1	20.2	16.5	46.3
	R2	(n=1800)	3.6	15.4	36.3	26.4	18.2	19.0	44.6
	R1	(n=1800)	4.7	16.2	35.7	24.7	18.7	20.9	43.4
	H30	(n=1800)	5.7	16.8	31.6	26.7	19.3	22.5	46.0
	H29	(n=1800)	3.8	17.2	34.8	26.8	17.3	21.0	44.1
	H28	(n=1800)	7.4	19.3	36.3	22.4	14.7	26.7	37.1
	H27	(n=1800)	4.1	18.9	44.5	24.9	7.6	23.0	32.5
	H26	(n=1800)	4.9	23.2	39.3	23.9	8.7	28.1	32.6
	H25	(n=1240)	9.0	28.5	34.2	22.0	6.2	37.5	28.2
	H24	(n=1238)	10.5	28.5	31.2	22.8	7.1	39.0	29.9
豚肉	R5	(n=1800)	4.1	11.3	36.9	24.1	23.6	2.5	47.7
	R4	(n=1800)	3.8	11.6	39.3	23.0	22.3	15.4	45.3
	R3	(n=1800)	3.6	12.7	37.6	25.5	20.7	16.3	46.2
	R2	(n=1800)	3.2	14.4	37.4	26.7	18.2	17.6	44.9
	R1	(n=1800)	4.3	16.4	36.3	24.7	18.3	20.7	43.0
	H30	(n=1800)	4.8	15.5	33.4	26.9	19.4	20.3	46.3
	H29	(n=1800)	3.2	16.7	35.7	27.4	17.0	19.9	44.4
	H28	(n=1800)	6.7	17.2	38.4	22.6	15.2	23.9	37.8
	H27	(n=1800)	3.8	17.4	44.6	26.5	7.7	21.2	34.2
	H26	(n=1800)	4.4	20.6	41.1	25.2	8.7	25.0	33.9
	H25	(n=1240)	7.3	24.0	36.0	25.5	7.2	31.3	32.7
	H24	(n=1238)	9.4	23.4	34.5	25.2	7.5	32.8	32.7

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 154 (その2) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる					どちらかといえば不安を感じる		どちらともいえない		どちらかといえば不安を感じない		不安を感じない		(%)	
		不安を感じる		どちらかといえば不安を感じる		どちらともいえない		どちらかといえば不安を感じない		不安を感じない		不安を感じる計	不安を感じない計			
鶏 肉	R5	(n=1800)	3.9	13.7	35.6		23.6		23.2		17.6	46.8				
	R4	(n=1800)	3.8	12.8	38.7		23.4		21.3		16.6	44.7				
	R3	(n=1800)	3.2	12.7	38.6		25.5		20.1		15.9	45.6				
	R2	(n=1800)	3.4	14.6	37.3		26.0		18.7		18.0	44.7				
	R1	(n=1800)	4.2	17.3	35.8		24.4		18.2		21.5	42.6				
	H30	(n=1800)	5.4	17.1	32.7		25.2		19.5		22.5	44.7				
	H29	(n=1800)	4.3	17.0	36.1		25.9		16.7		21.3	42.6				
	H28	(n=1800)	6.7	17.7	37.9		22.6		15.1		24.4	37.7				
	H27	(n=1800)	3.9	17.8	43.8		26.8		7.7		21.7	34.5				
	H26	(n=1800)	4.9	23.5	39.2		23.8		8.5		28.4	32.3				
	H25	(n=1240)	7.3	24.4	36.0		25.3		7.0		31.7	32.3				
	H24	(n=1238)	9.2	24.8	33.5		25.2		7.3		34.0	32.5				
卵	R5	(n=1800)	4.2	11.5	32.8		24.3		27.3		15.7	51.6				
	R4	(n=1800)	3.1	8.5	35.4		25.7		27.3		11.6	53.0				
	R3	(n=1800)	2.9	9.4	34.9		27.7		25.1		12.3	52.8				
	R2	(n=1800)	2.1	10.9	32.6		29.6		24.8		13.0	54.4				
	R1	(n=1800)	3.9	11.9	31.9		29.4		22.9		15.8	52.3				
	H30	(n=1800)	4.2	13.1	29.7		28.7		24.4		17.3	53.1				
	H29	(n=1800)	2.9	13.1	32.2		29.9		21.9		16.0	51.8				
	H28	(n=1800)	5.4	12.8	36.8		25.8		19.2		18.2	45.0				
	H27	(n=1800)	3.2	14.2	41.4		30.4		10.8		17.4	41.2				
	H26	(n=1800)	2.8	14.9	37.6		31.6		13.1		22.8	42.9				
	H25	(n=1240)	5.7	17.1	34.3		32.8		10.1		27.3	41.0				
	H24	(n=1238)	7.8	19.5	31.8		31.5		9.5		15.7	51.6				
牛 乳	R5	(n=1800)	3.8	9.9	33.7		25.0		27.6		11.6	53.0				
	R4	(n=1800)	3.0	9.2	33.6		28.5		25.8		12.2	54.3				
	R3	(n=1800)	3.0	9.2	33.6		28.5		25.8		12.2	54.3				
	R2	(n=1800)	2.3	8.9	33.9		29.6		25.3		11.2	54.9				
	R1	(n=1800)	4.2	10.4	32.7		28.0		24.7		14.6	52.7				
	H30	(n=1800)	4.3	11.7	30.1		28.2		25.7		16.0	53.9				
	H29	(n=1800)	2.9	11.6	32.6		30.3		22.7		16.0	53.9				
	H28	(n=1800)	5.8	11.4	36.3		26.6		19.8		14.5	53.0				
	H27	(n=1800)	3.7	12.9	40.3		31.4		11.6		17.2	46.4				
	H26	(n=1800)	5.7	17.1	34.3		32.8		10.1		16.6	43.0				
	H25	(n=1240)	7.8	19.5	31.8		31.5		9.5		17.4	44.9				
	H24	(n=1238)	3.7	12.9	40.3		31.4		11.6		24.1	44.0				

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 154 (その3) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)	
							不安を感じる計	不安を感じない計
食肉加工品	R5 (n=1800)	6.8	16.3	35.0	20.7	21.2	2.7	41.9
	R4 (n=1800)	7.4	15.8	38.3	18.7	19.7	23.2	38.4
	R3 (n=1800)	6.6	18.4	36.8	20.6	17.6	25.0	38.2
	R2 (n=1800)	6.1	20.4	36.2	20.0	17.3	26.5	37.3
	R1 (n=1800)	7.5	20.0	35.9	19.3	17.3	27.5	36.6
	H30 (n=1800)	8.7	20.8	31.4	22.5	16.6	29.5	39.1
	H29 (n=1800)	8.4	22.4	35.0	20.1	14.1	30.8	34.2
	H28 (n=1800)	10.7	22.7	36.7	17.2	12.7	33.4	29.9
	H27 (n=1800)	9.2	29.1	37.3	19.4	5.0	38.3	24.4
	H26 (n=1800)	13.3	32.3	32.2	16.8	5.4	45.6	22.2
	H25 (n=1240)	13.9	32.9	29.8	17.9	5.6	46.8	23.5
	H24 (n=1238)	13.5	28.9	30.9	20.6	6.1	42.4	26.7
乳製品	R5 (n=1800)	3.6	9.9	36.8	24.5	25.3	2.4	49.8
	R4 (n=1800)	3.0	10.6	37.1	24.1	25.2	13.6	49.3
	R3 (n=1800)	3.2	9.2	38.5	26.3	22.8	12.4	49.1
	R2 (n=1800)	2.2	9.8	36.7	27.5	23.8	12.0	51.3
	R1 (n=1800)	3.8	11.4	36.0	26.5	22.3	15.2	48.8
	H30 (n=1800)	4.2	12.1	32.1	29.6	22.1	16.3	51.7
	H29 (n=1800)	2.9	11.7	36.7	29.8	18.9	14.6	48.7
	H28 (n=1800)	5.4	13.9	39.1	24.5	17.2	19.3	41.7
	H27 (n=1800)	3.6	15.2	43.0	30.1	8.2	18.8	38.3
	H26 (n=1800)	4.1	16.2	41.8	27.8	10.2	20.3	38.0
	H25 (n=1240)	6.1	17.6	36.7	30.7	8.9	23.7	39.6
	H24 (n=1238)	7.8	19.1	33.9	30.3	8.8	26.9	39.1
ト大豆ミート食品類*	R5 (n=1800)	4.2	11.9	39.2	21.4	23.2	2.5	44.6
	R4 (n=1800)	5.0	12.9	41.2	19.7	21.2	17.9	40.9
冷凍食品	R5 (n=1800)	4.4	12.9	36.8	22.7	23.3	2.5	46.0
	R4 (n=1800)	5.7	12.7	37.7	22.1	21.8	18.4	43.9
	R3 (n=1800)	4.3	13.3	37.5	23.4	21.4	17.6	44.8
	R2 (n=1800)	4.0	14.6	36.7	24.2	20.6	18.6	44.8
	R1 (n=1800)	5.7	14.7	37.3	21.9	20.4	20.4	42.3
	H30 (n=1800)	6.1	18.0	32.7	23.9	19.3	24.1	43.2
	H29 (n=1800)	6.0	18.2	35.7	23.7	16.4	24.2	40.1
	H28 (n=1800)	9.1	19.8	37.6	20.4	13.2	28.9	33.6
	H27 (n=1800)	6.3	22.7	40.9	23.1	7.0	29.0	30.1
	H26 (n=1800)	12.7	28.8	33.4	19.2	5.9	41.5	25.1
	H25 (n=1240)	11.9	28.1	32.3	20.2	7.4	40.0	27.6
	H24 (n=1244)	10.5	25.2	31.1	24.6	8.6	35.7	33.2

*「大豆ミート食品類(ハンバーグ・バーガー・ハチマキ大豆ミート・牛丼・焼肉用カルビ等)」は令和4年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 154 (その4) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

			不安を感じる					不安を感じない			
			不安を感じる		どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない		不安を感じない		
			不安を感じる計		不安を感じない計						
インスタント類 (カップ麺・袋麺等)*	R5	(n=1800)	7.2	14.8	36.1	20.2	21.8	22.0	42.0		
	R4	(n=1800)	7.8	15.9	36.5	19.2	20.6	23.7	39.8		
	R3	(n=1800)	6.8	16.4	36.2	21.2	19.4	23.2	40.6		
	R2	(n=1800)	6.0	18.0	36.0	20.9	19.1	24.0	40.0		
	R1	(n=1800)	7.0	17.0	35.2	21.3	19.4	24.0	40.7		
弁当・惣菜類*	R5	(n=1800)	6.7	15.6	38.6	18.6	20.6	22.3	39.2		
	R4	(n=1800)	6.8	15.9	39.7	19.1	18.5	22.7	37.6		
	R3	(n=1800)	5.3	17.7	38.9	21.5	16.6	23.0	38.1		
	R2	(n=1800)	6.1	18.3	39.6	21.1	15.1	24.4	36.2		
	R1	(n=1800)	7.2	18.6	37.2	20.4	16.6	25.8	37.0		
ファストフード	R5	(n=1800)	8.8	17.6	37.1	17.1	19.4	26.4	36.5		
	R4	(n=1800)	9.2	18.5	37.6	17.2	17.6	27.7	34.8		
	R3	(n=1800)	7.4	20.7	35.7	20.4	15.7	28.1	36.1		
	R2	(n=1800)	7.9	22.8	36.4	18.5	14.4	30.7	32.9		
	R1	(n=1800)	9.6	20.9	36.2	17.9	15.3	30.5	33.2		
	H30	(n=1800)	12.3	23.4	30.3	19.1	15.0	35.7	34.1		
	H29	(n=1800)	12.6	24.4	33.3	18.1	11.6	37.0	29.7		
	H28	(n=1800)	14.9	26.6	33.9	14.7	9.8	41.5	24.5		
	H27	(n=1800)	14.6	32.7	35.4	13.7	3.7	47.3	17.4		
	H26	(n=1800)	23.6	33.6	28.0	11.3	3.6	57.2	14.9		
菓子類	H25	(n=1240)	18.5	35.9	26.8	13.7	5.2	54.4	18.9		
	H24	(n=1238)	13.8	29.2	31.1	19.1	6.8	43.0	25.9		
	R5	(n=1800)	5.5	13.3	37.2	20.3	23.7	18.8	44.0		
	R4	(n=1800)	4.8	14.1	39.3	19.8	22.0	18.9	41.8		
	R3	(n=1800)	4.2	12.3	40.2	23.0	20.4	16.5	43.4		
	R2	(n=1800)	3.9	12.9	40.7	22.3	20.1	16.8	42.4		
菓子類	R1	(n=1800)	5.0	14.5	38.2	22.4	19.9	19.5	42.3		
	H30	(n=1800)	6.2	15.6	34.3	23.2	20.8	21.8	44.0		
	H29	(n=1800)	4.8	16.4	37.8	23.0	17.9	21.2	40.9		
	H28	(n=1800)	7.2	16.5	40.9	20.2	15.2	23.7	35.4		
	H27	(n=1800)	5.1	19.3	44.8	23.1	7.7	24.4	30.8		
	H26	(n=1800)	7.3	21.9	41.4	20.2	9.2	29.2	29.4		
	H25	(n=1240)	7.2	23.3	36.5	22.9	10.2	30.5	33.1		
	H24	(n=1238)	6.8	18.6	33.8	28.2	12.6	25.4	40.8		

*「インスタント類(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 154 (その 5) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q21)

- ▶ 関心が高い上位3項目は、「鳥インフルエンザ」が52.5%、「食肉の消費期限改ざん」が52.4%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が51.3%。
- ▶ 家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は、増加。

【今年度調査】

食肉の安全性に関して聞いたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは、「鳥インフルエンザ」が52.5%、「食肉の消費期限改ざん」が52.4%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が51.3%、「食肉の産地偽装」50.2%、「豚インフルエンザ」48.2%、「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」47.8%、「牛のBSE（牛海綿状脳症）」46.8%、「牛肉・豚肉の発がん性」45.3%の順で高い。

「牛・豚の口蹄疫」は44.3%、「豚熱」は42.3%、「アフリカ豚熱」は41.9%である。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛井、焼き肉用カルビ等）」は38.2%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は39.6%である。

「食肉の放射能汚染」については40.2%となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が22.5%、「食肉の消費期限改ざん」が22.0%、「食肉の産地偽装」が21.3%、「鳥インフルエンザ」が20.4%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、昨年度と同傾向であるが、家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が増加している。

特に、「鳥インフルエンザ」は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で最も割合が高い項目となっている。

							(%)	
		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	関心 がある計	関心 がない計
食肉中の残留抗生物質	(n=1800)	11.0	27.8	34.0	17.7	9.4	38.8	27.1
食肉中の残留動物薬	(n=1800)	11.8	27.7	34.0	17.0	9.5	39.5	26.5
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	(n=1800)	12.7	28.4	34.2	15.8	8.9	41.1	24.7
ゲノム編集飼料を用いた食肉 *1	(n=1800)	12.4	26.1	35.4	16.4	9.6	38.5	26.0
牛のBSE(牛海綿状脳症)	(n=1800)	17.5	29.3	31.9	12.7	8.6	46.8	21.3
成形肉(インジェクション) *2	(n=1800)	11.8	25.5	37.4	15.6	9.6	37.3	25.2
食肉の放射能汚染	(n=1800)	13.9	26.3	35.8	15.2	8.8	40.2	24.0
クローン家畜由来の食肉	(n=1800)	13.9	26.7	35.4	14.4	9.6	40.6	24.0
牛・豚の口蹄疫	(n=1800)	16.4	27.9	34.4	12.7	8.6	44.3	21.3
豚熱 *3	(n=1800)	16.2	26.1	35.2	14.0	8.6	42.3	22.6
アフリカ豚熱 *4	(n=1800)	16.3	25.6	35.8	13.3	9.1	41.9	22.4
豚インフルエンザ	(n=1800)	18.3	29.9	32.6	11.3	7.9	48.2	19.2
鳥インフルエンザ	(n=1800)	20.4	32.1	30.4	9.9	7.2	52.5	17.1
食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染	(n=1800)	22.5	28.8	30.6	10.7	7.4	51.3	18.1
食肉の生食	(n=1800)	18.4	25.1	33.7	12.3	10.5	43.5	22.8
食肉の産地偽装	(n=1800)	21.3	28.9	31.3	11.1	7.4	50.2	18.5
食肉の消費期限改ざん	(n=1800)	22.0	30.4	30.1	10.0	7.5	52.4	17.5
牛肉・豚肉の発がん性	(n=1800)	19.3	26.0	35.4	11.5	7.8	45.3	19.3
豚肉加工品(ハム・ソーセージ)の発がん性	(n=1800)	19.4	28.4	34.3	10.4	7.5	47.8	17.9
植物肉(大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等) *5	(n=1800)	12.6	25.6	38.8	13.1	9.9	38.2	23.0
細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉) *5	(n=1800)	13.7	25.9	37.8	11.9	10.6	39.6	22.5

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

*1 令和元年度より新規項目 *2 平成29年度の選択肢「成形肉」より変更 *3 令和元年度の選択肢「CSF」より変更

*4 令和元年の選択肢「ASF」より変更

*5 「植物肉(大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等)」、「細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年度より新規項目

図表 155 食肉の安全性に関する項目別関心度

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
食肉中の残留抗生物質	R5	(n=1800)	11.0	27.8	34.0	17.7	9.4	38.8	27.1
	R4	(n=1800)	12.3	25.9	34.1	17.3	10.4	38.2	27.7
	R3	(n=1800)	10.7	31.4	32.0	17.4	8.4	42.1	25.8
	R2	(n=1800)	13.8	33.3	29.7	14.2	9.1	47.1	23.3
	R1	(n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2
	H30	(n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4
	H29	(n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3
	H28	(n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7
	H27	(n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3
	H26	(n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7
	H25	(n=1240)	18.2	44.8	21.9	12.9	2.2	63.0	15.1
	H24	(n=1238)	15.5	39.8	26.5	15.8	2.4	55.3	18.2
食肉中の残留動物薬	R5	(n=1800)	11.8	27.7	34.0	17.0	9.5	39.5	26.5
	R4	(n=1800)	11.3	28.1	33.6	16.7	10.3	39.4	27.0
	R3	(n=1800)	10.2	32.8	32.6	16.0	8.4	43.0	24.4
	R2	(n=1800)	14.0	32.9	30.3	14.3	8.5	46.9	22.8
	R1	(n=1800)	15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0
	H30	(n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9
	H29	(n=1800)	17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6
	H28	(n=1800)	17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9
	H27	(n=1800)	16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5
	H26	(n=1800)	22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6
	H25	(n=1240)	20.8	48.2	19.7	9.3	2.0	69.0	11.3
	H24	(n=1238)	16.5	47.0	22.8	11.7	2.0	63.5	13.7
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	R5	(n=1800)	12.7	28.4	34.2	15.8	8.9	41.1	24.7
	R4	(n=1800)	13.9	26.6	33.4	16.3	9.9	40.5	26.2
	R3	(n=1800)	12.5	33.1	31.8	14.7	7.9	45.6	22.6
	R2	(n=1800)	15.9	32.4	30.2	13.3	8.2	48.3	21.5
	R1	(n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6
	H30	(n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5
	H29	(n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6
	H28	(n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7
	H27	(n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6
	H26	(n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8
	H25	(n=1240)	23.5	44.8	19.8	9.8	2.2	68.3	12.0
	H24	(n=1238)	18.4	43.1	24.4	11.6	2.5	61.5	14.1
ゲノム編集飼料を用いた食肉*	R5	(n=1800)	12.4	26.1	35.4	16.4	9.6	38.5	26.0
	R4	(n=1800)	12.3	23.6	36.9	16.6	10.7	0.0	0.0
	R3	(n=1800)	12.2	30.1	33.8	15.0	8.9	0.0	0.0
	R2	(n=1800)	13.8	30.7	32.2	14.0	9.3	0.0	0.0
	R1	(n=1800)	16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	0.0	0.0

* 「ゲノム編集飼料を用いた食肉」は令和元年度より新規項目

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 156 (その1) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心 がある計	関心 がない計
牛のBSE (牛海綿状脳症)	R5	(n=1800)	17.5	29.3	31.9	12.7	8.6	46.8	21.3
	R4	(n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R3	(n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R2	(n=1800)	22.2	31.7	26.7	11.1	8.4	53.9	19.5
	R1	(n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4
	H30	(n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5
	H29	(n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3
	H28	(n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2
	H27	(n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4
	H26	(n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6
	H25	(n=1240)	35.4	43.8	13.8	5.5	1.5	79.2	7.0
	H24	(n=1238)	32.3	44.3	15.3	6.5	1.6	76.6	8.1
成形肉 (インジェクション) *	R5	(n=1800)	11.8	25.5	37.4	15.6	9.6	37.3	25.2
	R4	(n=1800)	12.6	24.1	36.7	16.1	10.5	36.7	26.6
	R3	(n=1800)	12.5	27.9	36.8	13.7	9.0	40.4	22.7
	R2	(n=1800)	15.3	28.4	34.9	12.2	9.2	43.7	21.4
	R1	(n=1800)	17.4	29.6	34.3	10.8	7.9	47.0	18.7
	H30	(n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6
	H29	(n=1800)	19.8	32.6	30.5	11.2	6.0	52.4	17.2
	H28	(n=1800)	20.8	35.1	30.2	8.9	5.1	55.9	14.0
	H27	(n=1800)	18.3	38.1	30.0	9.9	3.7	56.4	13.6
	H26	(n=1800)	27.7	42.3	21.3	6.8	1.9	70.0	8.7
	H25	(n=1240)	22.7	42.0	24.3	8.7	2.3	64.7	11.0
	H24	(n=1238)	18.1	39.3	29.8	10.4	2.4	57.4	12.8
食肉の放射能汚染	R5	(n=1800)	13.9	26.3	35.8	15.2	8.8	40.2	24.0
	R4	(n=1800)	15.3	25.9	34.8	14.3	9.6	41.2	23.9
	R3	(n=1800)	16.2	30.6	33.0	12.6	7.7	46.8	20.3
	R2	(n=1800)	19.3	30.2	31.1	11.2	8.2	49.5	19.4
	R1	(n=1800)	20.9	32.6	30.1	9.5	6.9	53.5	16.4
	H30	(n=1800)	23.1	31.1	28.7	10.4	6.8	54.2	17.2
	H29	(n=1800)	24.6	31.4	29.1	9.7	5.2	56.0	14.9
	H28	(n=1800)	24.8	32.9	28.6	8.6	5.1	57.7	13.7
	H27	(n=1800)	26.6	38.9	24.1	7.9	2.5	65.5	10.4
	H26	(n=1800)	32.4	39.4	19.9	6.4	1.9	71.8	8.3
	H25	(n=1240)	33.0	39.7	18.0	7.3	2.0	72.7	9.3
	H24	(n=1238)	33.8	39.9	17.8	6.4	2.1	73.7	8.5

* 「成形肉（インジェクション）」は平成30年度より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

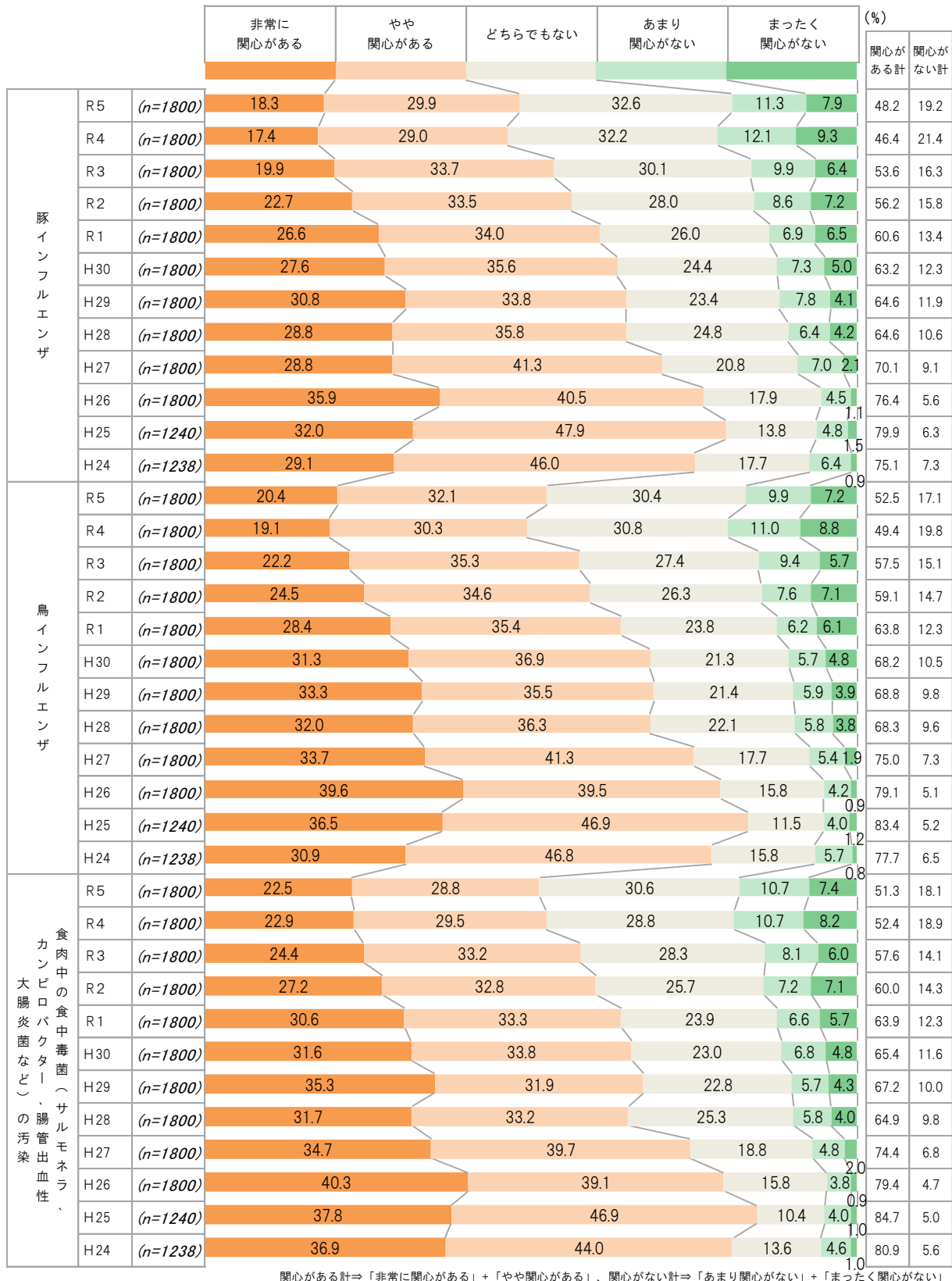
図表 156（その2） 食肉の安全性に関する項目別関心度（経年変化）

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
クローン 家畜由来の 食肉	R5	(n=1800)	13.9	26.7	35.4	14.4	9.6	40.6	24.0
	R4	(n=1800)	14.8	26.7	33.1	15.7	9.7	41.5	25.4
	R3	(n=1800)	15.7	31.1	32.3	13.0	7.9	46.8	20.9
	R2	(n=1800)	18.7	30.2	30.2	11.9	8.9	48.9	20.8
	R1	(n=1800)	20.9	31.8	30.3	9.4	7.5	52.7	16.9
	H30	(n=1800)	20.9	32.2	29.3	10.4	7.2	53.1	17.6
	H29	(n=1800)	23.4	32.9	27.7	10.7	5.3	56.3	16.0
	H28	(n=1800)	24.2	32.9	29.2	8.3	5.4	57.1	13.7
	H27	(n=1800)	24.7	38.7	25.4	7.9	3.3	63.4	11.2
	H26	(n=1800)	28.5	40.4	22.9	6.5	1.7	68.9	8.2
	H25	(n=1240)	28.3	41.2	20.6	7.7	2.1	69.5	9.8
	H24	(n=1238)	23.4	42.5	22.7	9.2	2.2	65.9	11.4
牛・豚の 口蹄疫	R5	(n=1800)	16.4	27.9	34.4	12.7	8.6	44.3	21.3
	R4	(n=1800)	16.4	27.4	33.7	12.8	9.7	43.8	22.5
	R3	(n=1800)	17.3	29.7	33.2	11.9	7.9	47.0	19.8
	R2	(n=1800)	20.4	29.4	30.3	11.1	8.7	49.8	19.8
	R1	(n=1800)	23.3	32.9	28.9	8.0	6.9	56.2	14.9
	H30	(n=1800)	25.1	31.9	28.1	7.9	7.1	57.0	15.0
	H29	(n=1800)	26.9	33.3	26.3	8.5	5.0	60.2	13.5
	H28	(n=1800)	27.6	32.9	26.9	7.6	4.9	60.5	12.5
	H27	(n=1800)	28.8	40.7	21.3	6.8	2.5	69.5	9.3
	H26	(n=1800)	35.2	39.7	18.5	5.4	1.2	74.9	6.6
	H25	(n=1240)	31.2	44.5	16.8	6.1	1.4	75.7	7.5
	H24	(n=1238)	30.1	44.0	18.4	6.4	1.2	74.1	7.6
豚熱	R5	(n=1800)	16.2	26.1	35.2	14.0	8.6	42.3	22.6
	R4	(n=1800)	15.8	24.0	35.8	14.0	10.4	39.8	24.4
	R3	(n=1800)	15.9	28.3	35.3	12.7	7.8	44.2	20.5
	R2	(n=1800)	18.2	27.9	33.9	11.4	8.6	46.1	20.0
	R1	(n=1800)	27.5	33.8	25.2	7.3	6.3	61.3	13.6
	*1	H30	(n=1800)	25.9	33.8	25.6	8.4	6.3	59.7
アフリカ 豚熱	R5	(n=1800)	16.3	25.6	35.8	13.3	9.1	41.9	22.4
	R4	(n=1800)	15.6	23.7	36.2	13.9	10.6	39.3	24.5
	R3	(n=1800)	16.6	27.9	34.9	12.8	7.8	44.5	20.6
	R2	(n=1800)	19.1	27.4	33.1	11.2	9.3	46.5	20.5
	*2	R1	(n=1800)	25.9	31.8	28.1	7.1	7.2	57.7

*1 令和元年度の選択肢「CSF」より変更 *2 令和元年度の選択肢「ASF」より変更

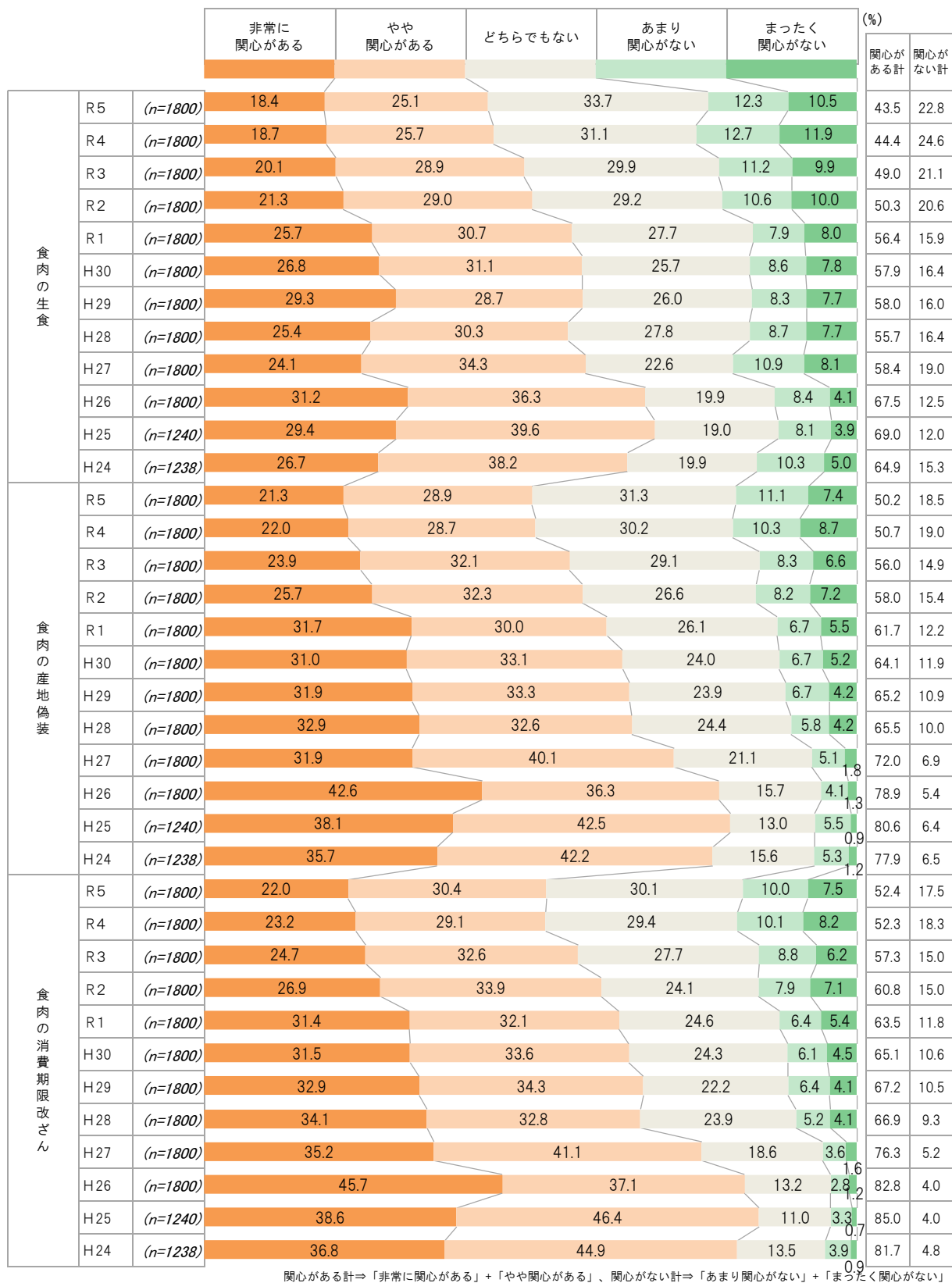
関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 156 (その3) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 156 (その4) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



図表 156 (その5) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
牛肉・豚肉の発がん性	R5	(n=1800)	19.3	26.0	35.4	11.5	7.8	45.3	19.3
	R4	(n=1800)	20.9	25.9	32.8	11.3	9.2	46.8	20.5
	R3	(n=1800)	21.4	31.1	30.4	10.6	6.4	52.5	17.0
	R2	(n=1800)	24.7	30.9	27.4	9.6	7.3	55.6	16.9
	R1	(n=1800)	28.9	31.9	26.1	7.1	6.1	60.8	13.2
	H30	(n=1800)	28.2	30.3	28.1	7.9	5.6	58.5	13.5
	H29	(n=1800)	30.9	30.1	26.6	7.8	4.7	61.0	12.5
	H28	(n=1800)	30.7	31.2	26.8	6.7	4.6	61.9	11.3
ソーセージ(豚肉加工品の発がん性)	R5	(n=1800)	19.4	28.4	34.3	10.4	7.5	47.8	17.9
	R4	(n=1800)	20.2	27.9	32.1	11.3	8.6	48.1	19.9
	R3	(n=1800)	22.9	31.1	30.3	10.0	5.7	54.0	15.7
	R2	(n=1800)	24.6	32.8	27.1	8.3	7.3	57.4	15.6
	R1	(n=1800)	29.1	32.1	26.3	6.6	5.9	61.2	12.5
	H30	(n=1800)	29.8	31.7	25.6	7.5	5.4	61.5	12.9
	H29	(n=1800)	30.7	30.2	27.4	7.1	4.7	60.9	11.8
	H28	(n=1800)	31.1	31.6	26.2	6.2	4.9	62.7	11.1
植物肉*	R5	(n=1800)	12.6	25.6	38.8	13.1	9.9	38.2	23.0
	R4	(n=1800)	14.0	24.7	37.7	13.9	9.7	38.7	23.6
培養細胞*	R5	(n=1800)	13.7	25.9	37.8	11.9	10.6	39.6	22.5
	R4	(n=1800)	14.1	24.4	35.9	14.7	10.9	38.5	25.6

*「植物肉(大豆ミート食品類(ハンバーグ・バーガー・パテ・大豆ミート・牛丼・焼肉用カビ等))」。

「細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年度より新規項目

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」

関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 156 (その6) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識

1) 社会全体における食肉の安全性の認識 (Q28)

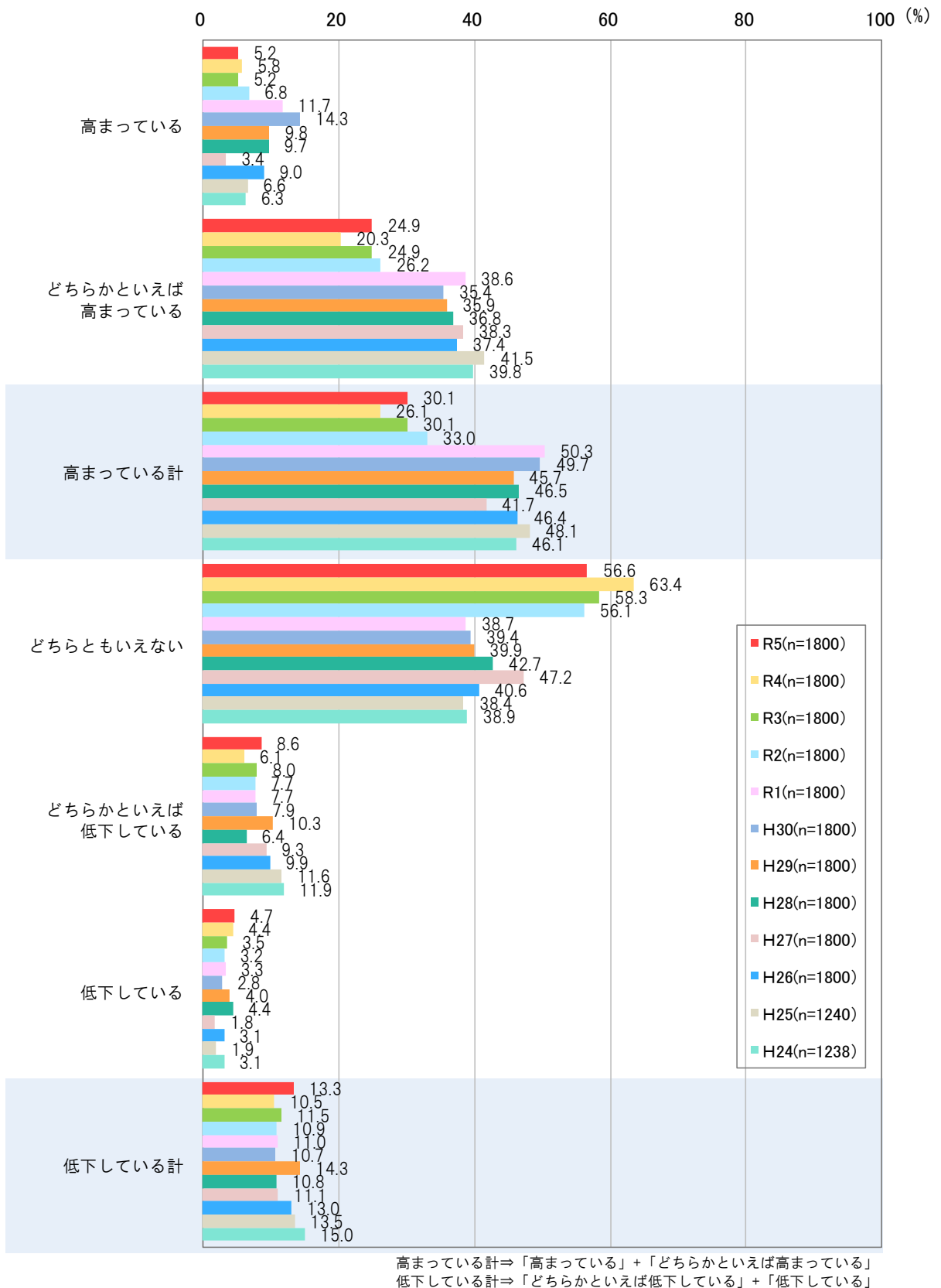
- 社会全体における食肉の安全性の認識は、「高まっている計」の割合が30.1%。
- 過年度調査と比較すると、「どちらともいえない」が減少。

【今年度調査】

社会全体における食肉の安全性について聞いたところ、「低下している（低下している＋どちらかといえば低下している）」の割合が13.3%であるのに対して、「高まっている（高まっている＋どちらかといえば高まっている）」の割合は30.1%である。「どちらともいえない」が56.6%を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度より「低下している（低下している＋どちらかといえば低下している）」と「高まっている（高まっている＋どちらかといえば高まっている）」のいずれも増加し、「どちらともいえない」が減少している。



図表 157 社会全体における食肉の安全性の認識（経年変化）

2) 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源

①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q29・Q30)

- 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」について情報を得るために用いている主な情報源の上位3項目は、「テレビのニュース・報道番組」「インターネット上のニュースサイト」「テレビのワイドショー・情報番組」。
- 信頼できる情報源は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」で、次いで「新聞」。

【今年度調査】

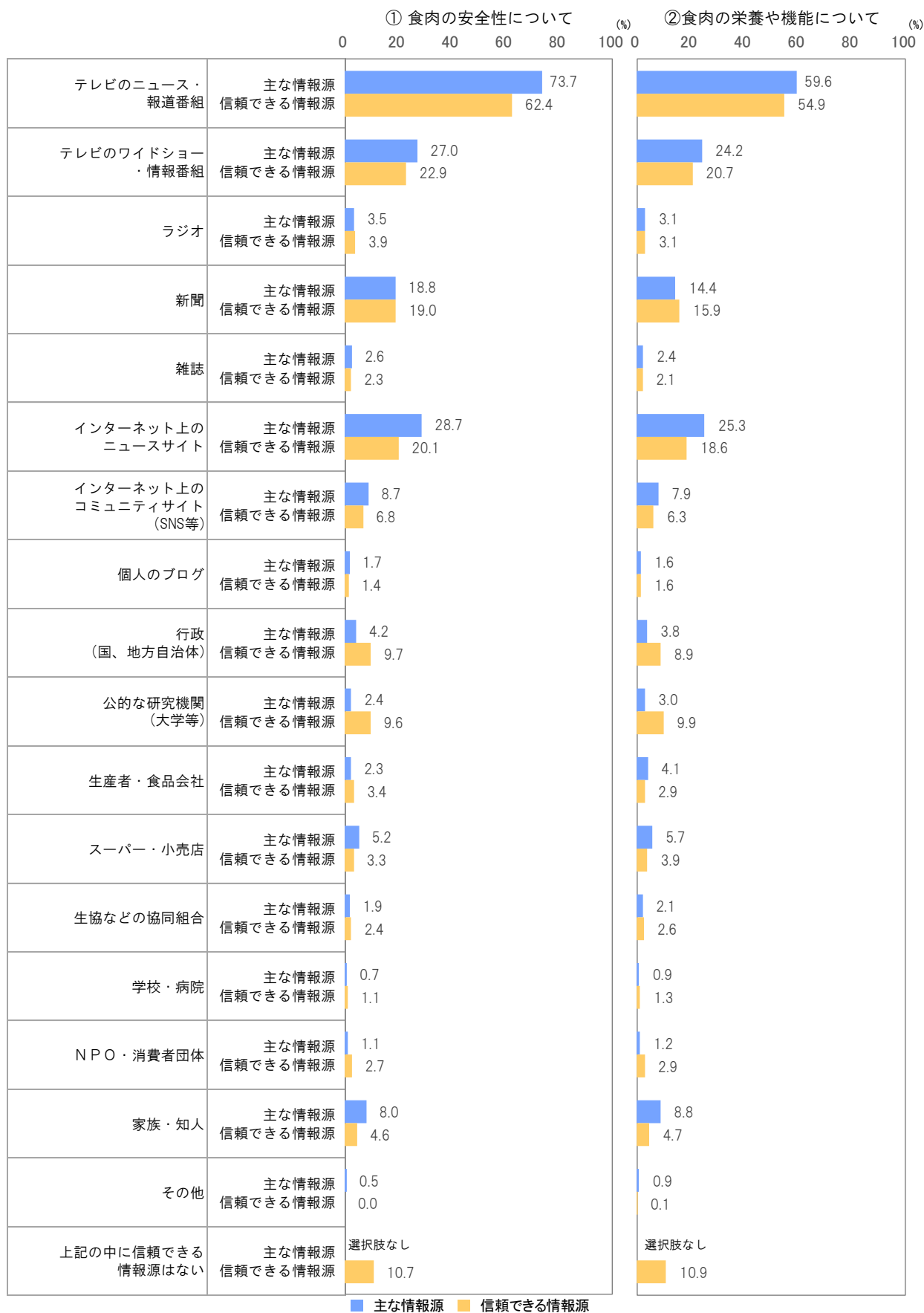
「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」（①73.7%、②59.6%）、「インターネット上のニュースサイト」（①28.7%、②25.3%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①27.0%、②24.2%）である。

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての信頼できる情報源（上位3つ）は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」（①62.4%、②54.9%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①22.9%、②20.7%）、「インターネット上のニュースサイト」（①20.1%、②18.6%）で、次いで「新聞」（①19.0%、②15.9%）である。

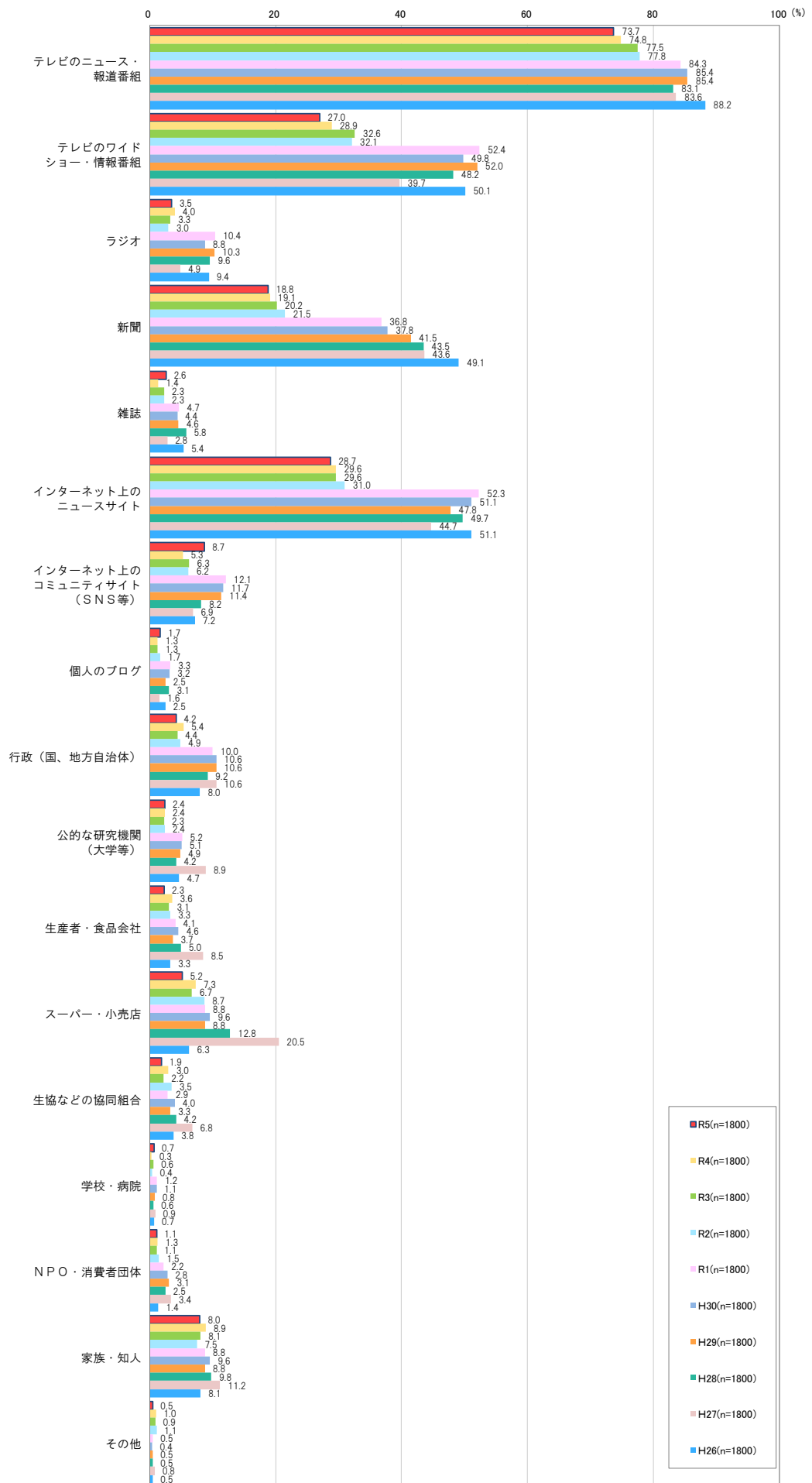
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。

※令和2年度からは、「主な情報源（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。

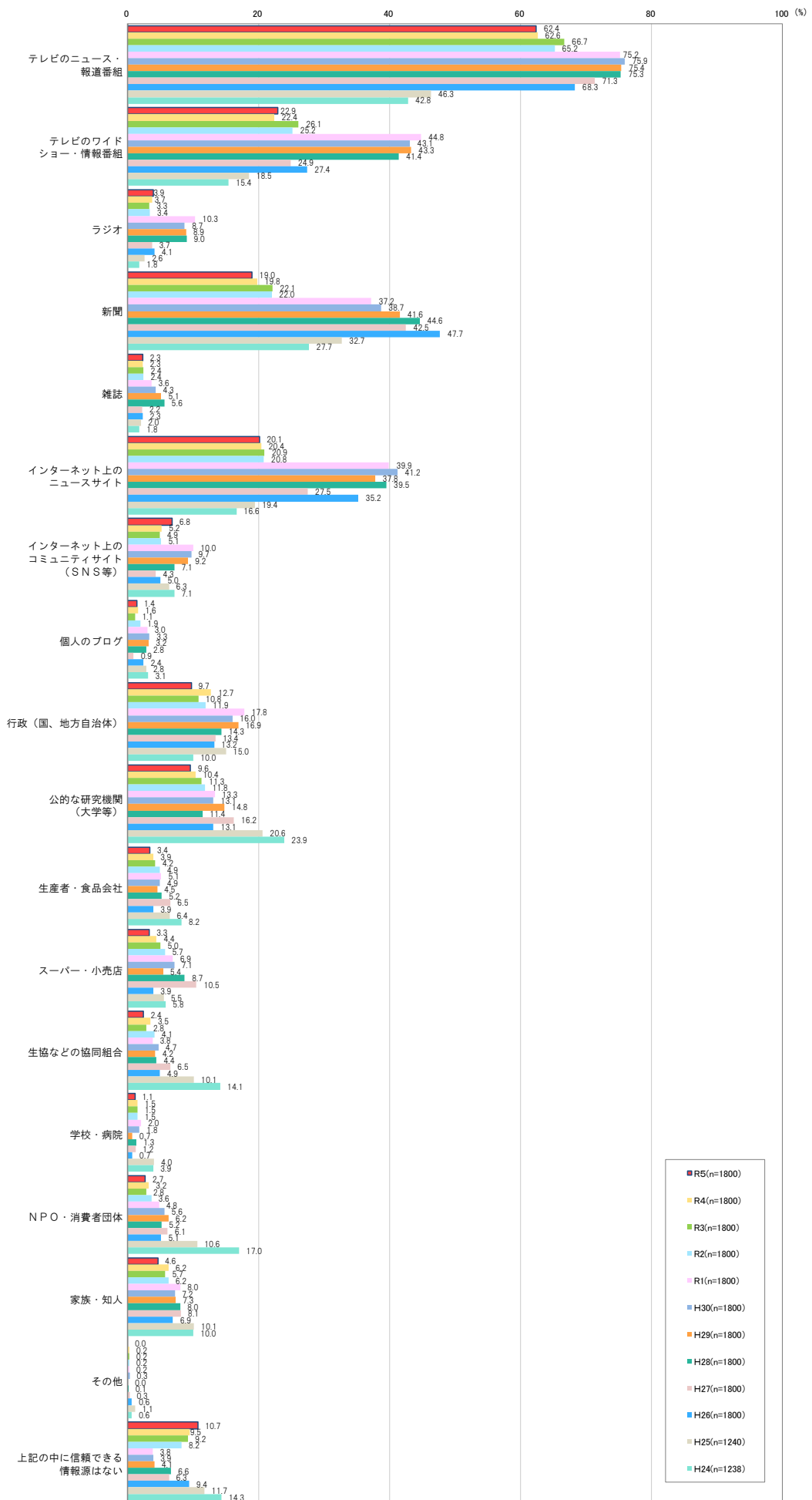


図表 158 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能



* 令和元年度までは1位、2位、3位を選択、令和2年度からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 159 食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性（経年変化※参考値）



*令和元年度までは1位、2位、3位を選択、令和2年度からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 160 信頼できる情報源 ①食肉の安全性(経年変化※参考値)

3) 各機関の取組に対する信頼性 (Q31)

- ▶ 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「厚生労働省」「地方自治体」「畜産農家」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

【今年度調査】

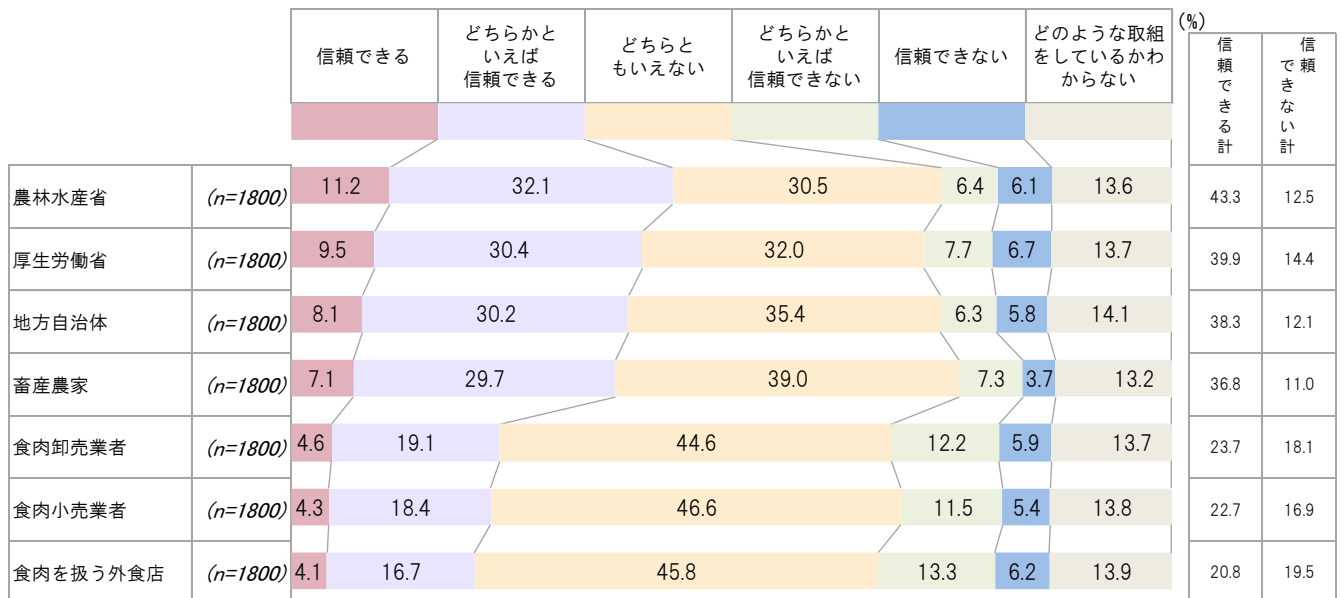
食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取組を行っている。各機関の取組について消費者から見た際、どの機関が信用できるか聞いた。

その結果「信頼できる計 (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」が 43.3%、「厚生労働省」が 39.9%、「地方自治体」38.3%、「畜産農家」が 36.8%の順で高い。

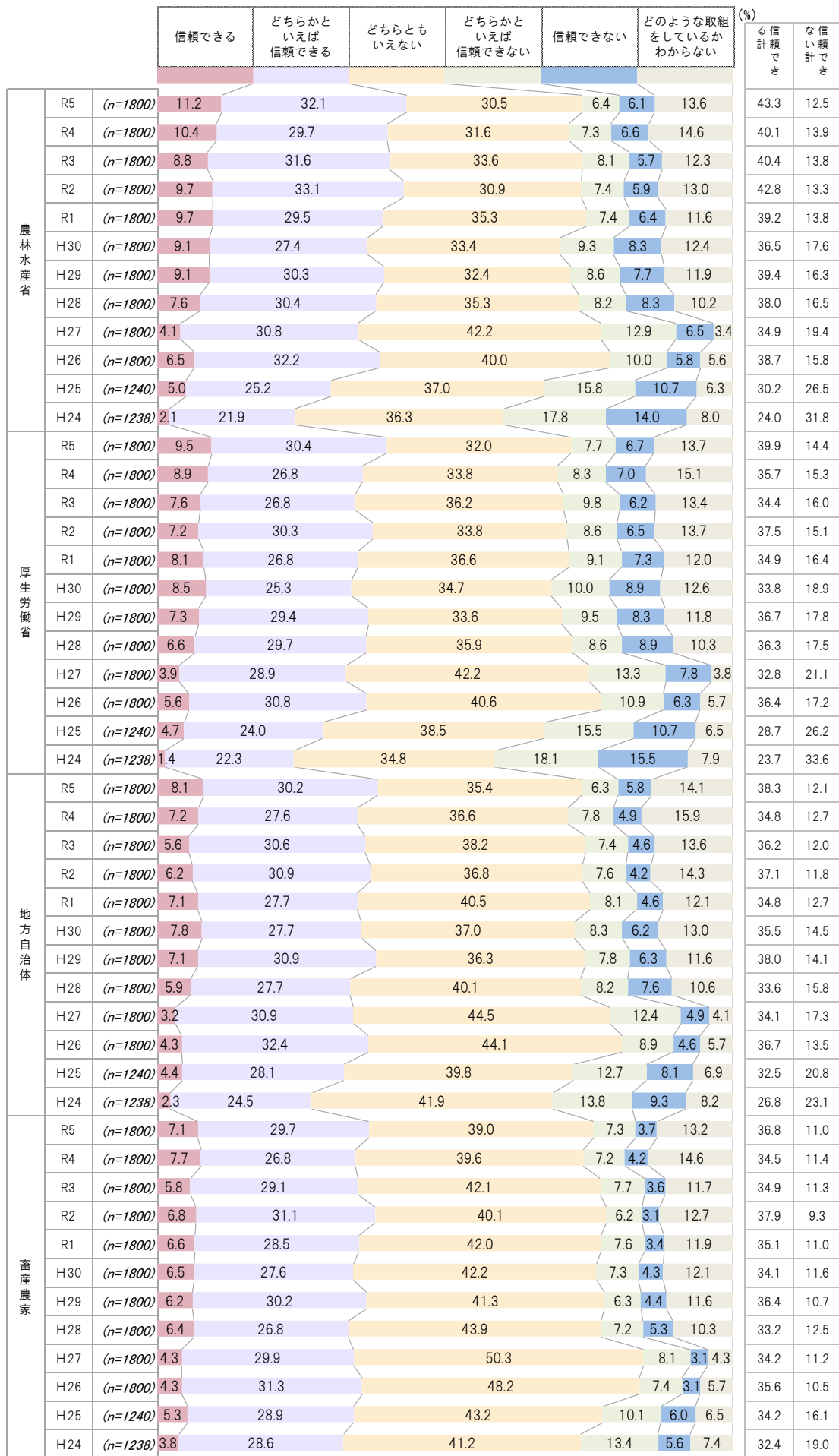
逆に「信頼できない計 (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は、「食肉を扱う外食店」が 19.5%、「食肉卸売業者」が 18.1%、「食肉小売業者」が 16.9%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



図表 161 各機関の取組に対する信頼性



「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 162 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	計 (%)	
								信頼できる	い信頼できない
食肉卸売業者	R5 (n=1800)	4.6	19.1	44.6	12.2	5.9	13.7	23.7	18.1
	R4 (n=1800)	3.8	16.7	42.9	14.0	7.4	15.1	20.5	21.4
	R3 (n=1800)	2.7	17.4	49.2	13.0	5.2	12.6	20.1	18.2
	R2 (n=1800)	3.5	17.5	46.1	14.5	5.4	12.9	21.0	19.9
	R1 (n=1800)	4.2	16.2	45.9	14.1	7.1	12.5	20.4	21.2
	H30 (n=1800)	3.4	14.8	45.4	15.9	8.2	12.2	18.2	24.1
	H29 (n=1800)	3.2	15.7	44.8	15.6	8.8	11.8	18.9	24.4
	H28 (n=1800)	2.7	13.8	44.1	17.9	10.5	11.0	16.5	28.4
	H27 (n=1800)	1.6	12.4	52.0	22.2	7.2	4.6	14.0	29.4
	H26 (n=1800)	1.0	11.8	51.5	21.6	7.9	6.2	12.8	29.5
	H25 (n=1240)	1.9	11.0	44.3	24.2	11.7	6.9	12.9	35.9
	H24 (n=1238)	0.7	8.8	42.2	27.7	12.9	7.6	9.5	40.6
食肉小売業者	R5 (n=1800)	4.3	18.4	46.6	11.5	5.4	13.8	22.7	16.9
	R4 (n=1800)	3.8	15.9	45.2	13.0	6.7	15.4	19.7	19.7
	R3 (n=1800)	2.7	16.7	49.9	13.1	4.8	12.8	19.4	17.9
	R2 (n=1800)	3.4	16.7	47.8	13.7	5.2	13.2	20.1	18.9
	R1 (n=1800)	3.9	15.6	47.8	13.2	6.7	12.8	19.5	19.9
	H30 (n=1800)	3.4	15.4	45.1	16.6	7.1	12.5	18.8	23.7
	H29 (n=1800)	3.0	15.8	46.3	14.4	8.8	11.7	18.8	23.2
	H28 (n=1800)	2.5	14.4	46.2	16.8	9.0	11.1	16.9	25.8
	H27 (n=1800)	1.4	12.7	54.5	20.3	6.6	4.5	14.1	26.9
	H26 (n=1800)	1.1	12.3	53.3	19.7	7.2	6.3	13.4	26.9
	H25 (n=1240)	0.9	10.8	46.9	22.9	10.7	6.9	12.7	33.6
	H24 (n=1238)	0.9	10.0	44.7	25.7	10.9	7.7	10.9	36.6
食肉を扱う外食店	R5 (n=1800)	4.1	16.7	45.8	13.3	6.2	13.9	20.8	19.5
	R4 (n=1800)	3.3	13.5	46.2	14.6	6.9	15.6	16.8	21.5
	R3 (n=1800)	2.4	13.8	50.4	14.0	6.3	13.1	16.2	20.3
	R2 (n=1800)	2.8	14.4	47.8	15.4	6.1	13.4	17.2	21.5
	R1 (n=1800)	3.3	12.7	46.5	16.4	8.2	12.9	16.0	24.6
	H30 (n=1800)	2.8	12.8	44.1	18.6	8.7	13.1	15.6	27.3
	H29 (n=1800)	2.5	12.5	45.0	17.0	10.7	12.3	15.0	27.7
	H28 (n=1800)	1.8	11.8	45.2	18.6	11.2	11.4	13.6	29.8
	H27 (n=1800)	0.9	9.7	51.8	23.2	9.7	4.7	10.6	32.9
	H26 (n=1800)	0.7	8.2	47.7	24.2	12.1	7.1	8.9	36.3
	H25 (n=1240)	1.0	8.1	44.6	25.0	14.4	6.9	9.1	39.4
	H24 (n=1238)	0.5	8.8	43.9	26.5	12.3	8.0	9.3	38.8

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 163 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）

4) 食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q32)

- ▶ 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待することの上位3項目は、「正確な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」「迅速な情報の提供」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

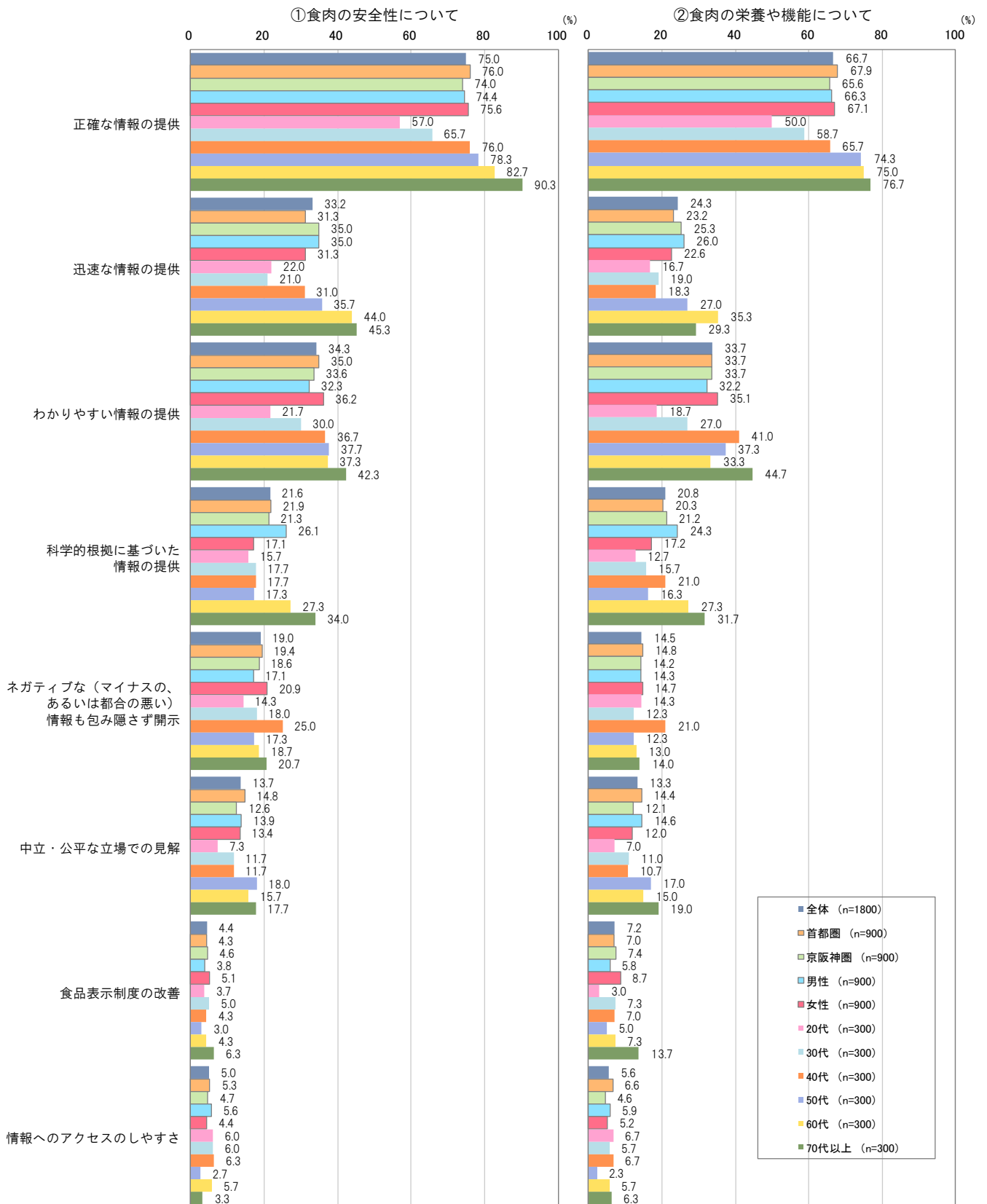
【今年度調査】

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待すること（上位3つ）は、上位3項目が「正確な情報の提供」（①75.0%、②66.7%）、「わかりやすい情報の提供」（①34.3%、②33.7%）、「迅速な情報の提供」（①33.2%、②24.3%）である。

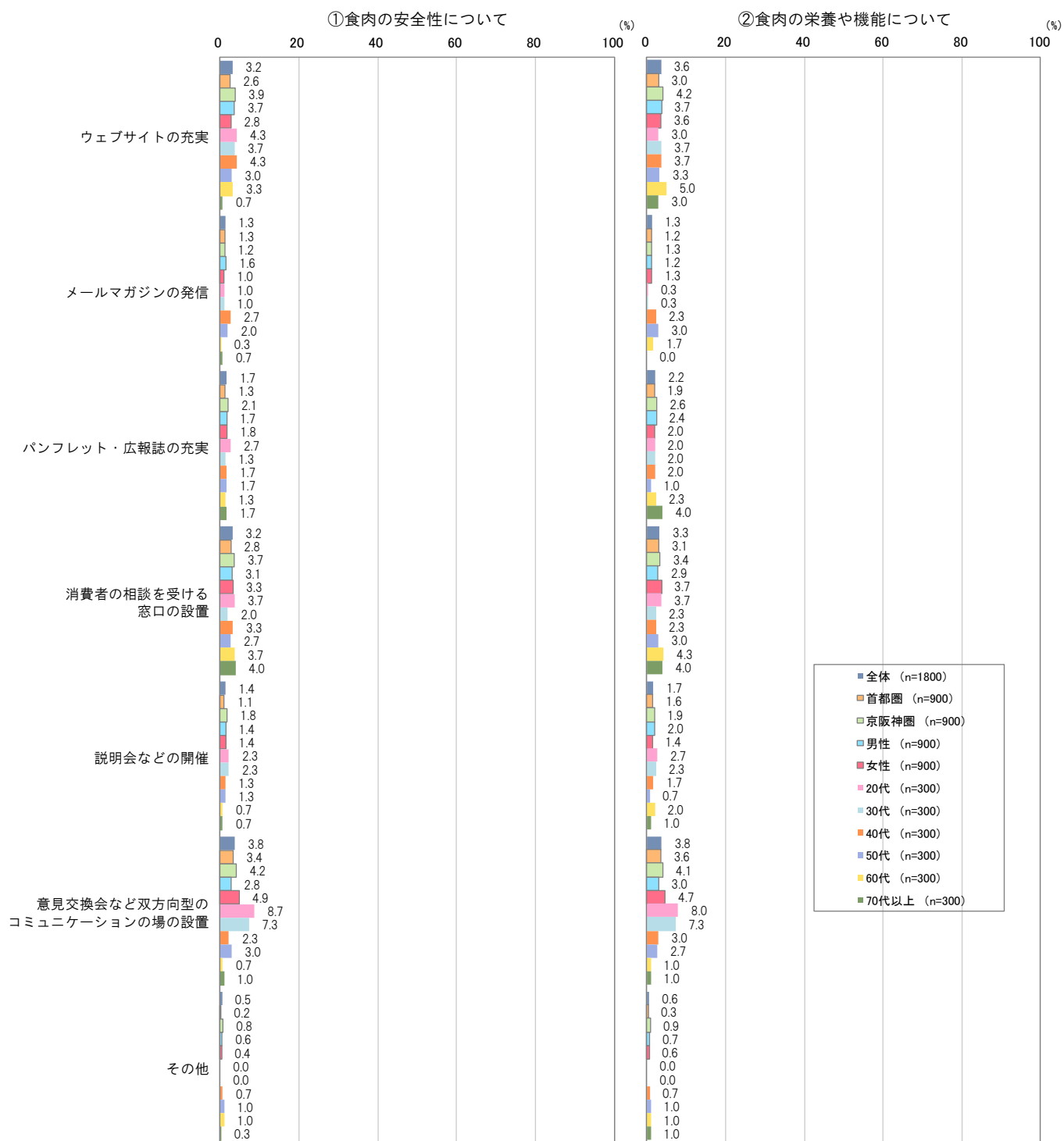
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

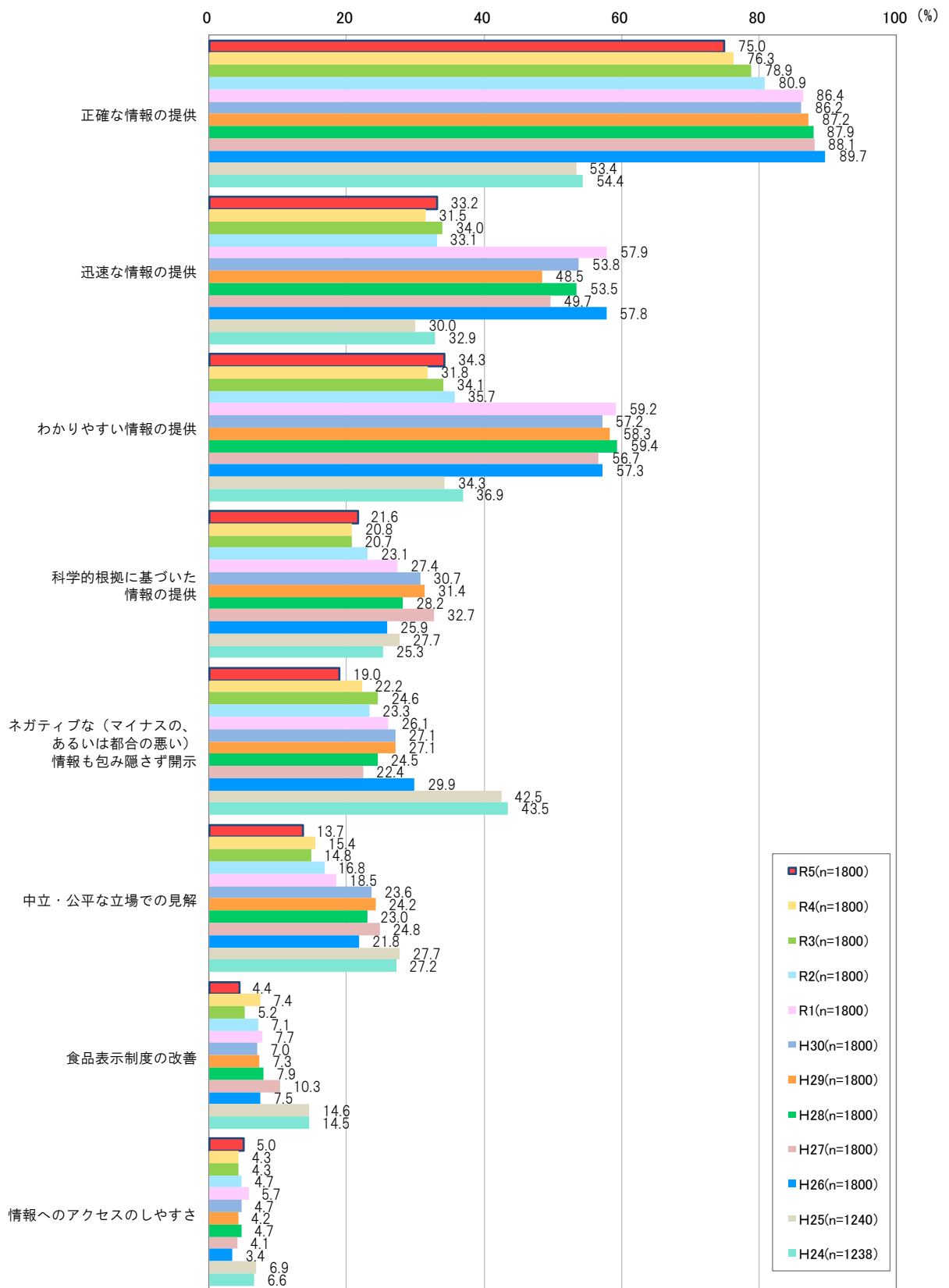
※令和2年度からは、「行政に期待すること（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示することとする。



図表 164（その1） 情報提供に対する行政への期待

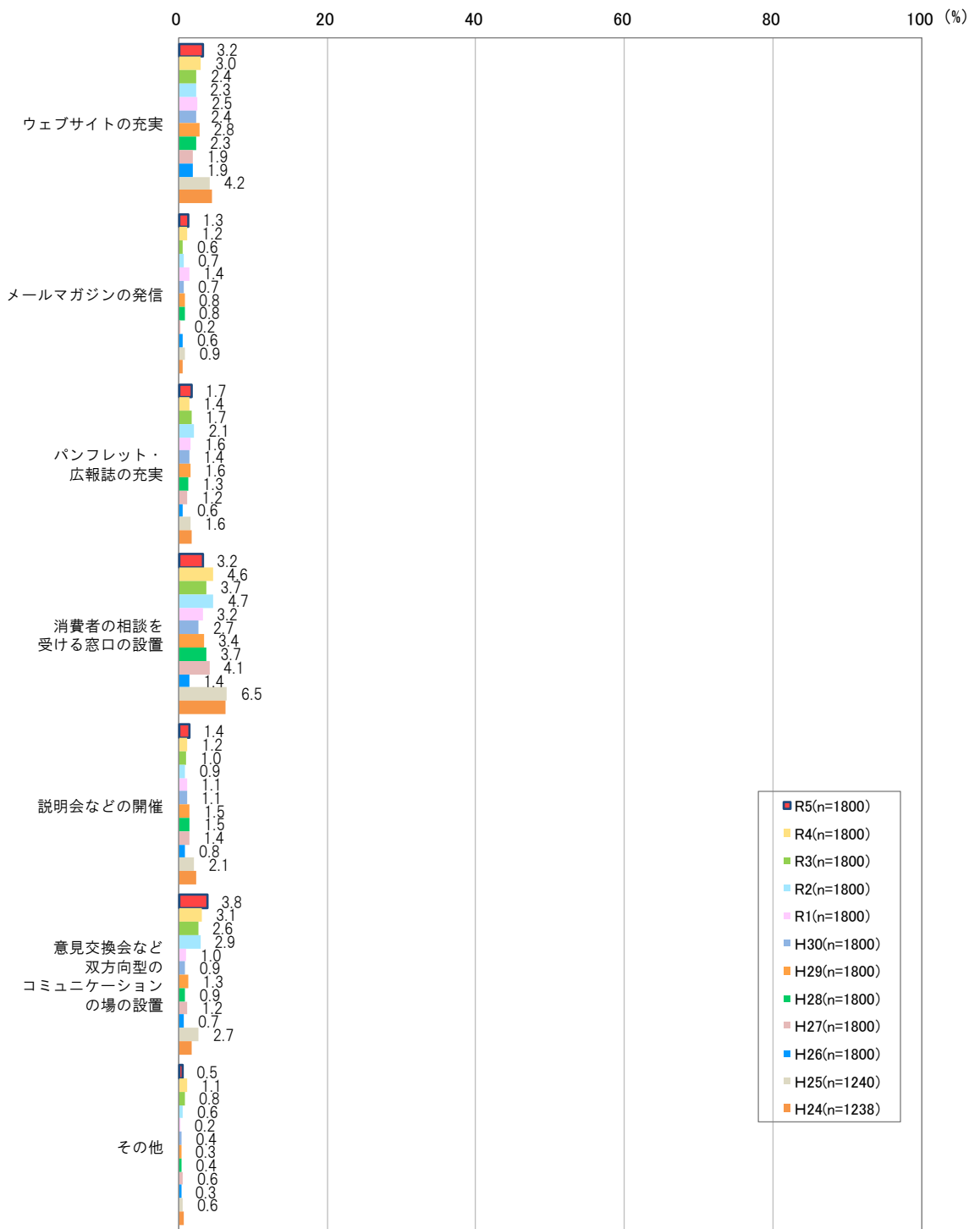


図表 164 (その2) 情報提供に対する行政への期待



* 令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 165（その1） 情報提供に対する行政への期待（経年変化※参考値）



* 令和元年までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 165 (その2) 情報提供に対する行政への期待 (経年変化※参考値)

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

※中食とは、惣菜や調理済み食品など家庭外で調理された食品を購入し、自宅や職場などで食べる、持ち帰り・テイクアウト、出前・デリバリー・宅配をいいます。肉や魚介を主菜とする弁当のテイクアウトやデリバリーも含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	35 1.9	46 2.6	219 12.2	415 23.1	361 20.1	251 13.9	338 18.8	135 7.5
地域	首都圏		900 100	19 2.1	16 1.8	91 10.1	199 22.1	178 19.8	129 14.3	190 21.1	78 8.7
	京阪神圏		900 100	16 1.8	30 3.3	128 14.2	216 24.0	183 20.3	122 13.6	148 16.4	57 6.3
年代	20代		300 100	15 5.0	19 6.3	43 14.3	52 17.3	53 17.7	47 15.7	45 15.0	26 8.7
	30代		300 100	11 3.7	9 3.0	35 11.7	68 22.7	41 13.7	50 16.7	64 21.3	22 7.3
	40代		300 100	6 2.0	6 2.0	23 7.7	62 20.7	63 21.0	40 13.3	72 24.0	28 9.3
	50代		300 100	1 0.3	2 0.7	35 11.7	71 23.7	51 17.0	50 16.7	69 23.0	21 7.0
	60代		300 100	2 0.7	4 1.3	30 10.0	81 27.0	71 23.7	35 11.7	51 17.0	26 8.7
	70代以上		300 100	0 0.0	6 2.0	53 17.7	81 27.0	82 27.3	29 9.7	37 12.3	12 4.0

【2. 牛肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	20 1.1	25 1.4	110 6.1	178 9.9	206 11.4	263 14.6	547 30.4	451 25.1
地域	首都圏		900 100	8 0.9	10 1.1	54 6.0	75 8.3	101 11.2	128 14.2	287 31.9	237 26.3
	京阪神圏		900 100	12 1.3	15 1.7	56 6.2	103 11.4	105 11.7	135 15.0	260 28.9	214 23.8
年代	20代		300 100	8 2.7	14 4.7	43 14.3	38 12.7	37 12.3	49 16.3	66 22.0	45 15.0
	30代		300 100	6 2.0	5 1.7	24 8.0	35 11.7	47 15.7	44 14.7	78 26.0	61 20.3
	40代		300 100	4 1.3	3 1.0	13 4.3	31 10.3	33 11.0	51 17.0	103 34.3	62 20.7
	50代		300 100	0 0.0	2 0.7	14 4.7	36 12.0	27 9.0	48 16.0	107 35.7	66 22.0
	60代		300 100	2 0.7	1 0.3	7 2.3	20 6.7	36 12.0	43 14.3	104 34.7	87 29.0
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	9 3.0	18 6.0	26 8.7	28 9.3	89 29.7	130 43.3

【3. 牛肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	17 0.9	25 1.4	54 3.0	143 7.9	164 9.1	358 19.9	712 39.6	327 18.2
地域	首都圏		900 100	9 1.0	11 1.2	24 2.7	75 8.3	79 8.8	165 18.3	367 40.8	170 18.9
	京阪神圏		900 100	8 0.9	14 1.6	30 3.3	68 7.6	85 9.4	193 21.4	345 38.3	157 17.4
年代	20代		300 100	9 3.0	15 5.0	21 7.0	48 16.0	45 15.0	65 21.7	64 21.3	33 11.0
	30代		300 100	4 1.3	2 0.7	14 4.7	33 11.0	31 10.3	69 23.0	103 34.3	44 14.7
	40代		300 100	2 0.7	5 1.7	6 2.0	19 6.3	29 9.7	64 21.3	123 41.0	52 17.3
	50代		300 100	0 0.0	2 0.7	6 2.0	23 7.7	20 6.7	60 20.0	145 48.3	44 14.7
	60代		300 100	2 0.7	0 0.0	2 0.7	14 4.7	26 8.7	47 15.7	139 46.3	70 23.3
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	5 1.7	6 2.0	13 4.3	53 17.7	138 46.0	84 28.0

【4. 豚肉料理】 内食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	30 1.7	94 5.2	554 30.8	458 25.4	273 15.2	145 8.1	163 9.1	83 4.6
地域	首都圏	900 100	14 1.6	39 4.3	295 32.8	228 25.3	136 15.1	67 7.4	82 9.1	39 4.3
	京阪神圏	900 100	16 1.8	55 6.1	259 28.8	230 25.6	137 15.2	78 8.7	81 9.0	44 4.9
年代	20代	300 100	8 2.7	22 7.3	72 24.0	68 22.7	39 13.0	42 14.0	33 11.0	16 5.3
	30代	300 100	8 2.7	13 4.3	88 29.3	77 25.7	44 14.7	28 9.3	30 10.0	12 4.0
	40代	300 100	9 3.0	14 4.7	84 28.0	70 23.3	43 14.3	20 6.7	42 14.0	18 6.0
	50代	300 100	1 0.3	15 5.0	97 32.3	76 25.3	49 16.3	24 8.0	25 8.3	13 4.3
	60代	300 100	3 1.0	16 5.3	99 33.0	84 28.0	49 16.3	18 6.0	18 6.0	13 4.3
	70代以上	300 100	1 0.3	14 4.7	114 38.0	83 27.7	49 16.3	13 4.3	15 5.0	11 3.7

【5. 豚肉料理】 中食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	25 1.4	29 1.6	128 7.1	251 13.9	257 14.3	278 15.4	440 24.4	392 21.8
地域	首都圏	900 100	11 1.2	16 1.8	55 6.1	123 13.7	133 14.8	148 16.4	215 23.9	199 22.1
	京阪神圏	900 100	14 1.6	13 1.4	73 8.1	128 14.2	124 13.8	130 14.4	225 25.0	193 21.4
年代	20代	300 100	12 4.0	16 5.3	34 11.3	48 16.0	50 16.7	50 16.7	55 18.3	35 11.7
	30代	300 100	7 2.3	4 1.3	23 7.7	53 17.7	52 17.3	47 15.7	64 21.3	50 16.7
	40代	300 100	4 1.3	4 1.3	22 7.3	42 14.0	51 17.0	45 15.0	81 27.0	51 17.0
	50代	300 100	0 0.0	2 0.7	25 8.3	48 16.0	37 12.3	49 16.3	80 26.7	59 19.7
	60代	300 100	2 0.7	2 0.7	13 4.3	29 9.7	37 12.3	53 17.7	81 27.0	83 27.7
	70代以上	300 100	0 0.0	1 0.3	11 3.7	31 10.3	30 10.0	34 11.3	79 26.3	114 38.0

【6. 豚肉料理】 外食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	22 1.2	21 1.2	87 4.8	156 8.7	195 10.8	314 17.4	628 34.9	377 20.9
地域	首都圏	900 100	11 1.2	11 1.2	40 4.4	79 8.8	108 12.0	161 17.9	303 33.7	187 20.8
	京阪神圏	900 100	11 1.2	10 1.1	47 5.2	77 8.6	87 9.7	153 17.0	325 36.1	190 21.1
年代	20代	300 100	12 4.0	10 3.3	33 11.0	35 11.7	60 20.0	66 22.0	51 17.0	33 11.0
	30代	300 100	5 1.7	4 1.3	19 6.3	39 13.0	29 9.7	52 17.3	97 32.3	55 18.3
	40代	300 100	2 0.7	6 2.0	9 3.0	25 8.3	34 11.3	56 18.7	116 38.7	52 17.3
	50代	300 100	0 0.0	1 0.3	14 4.7	27 9.0	27 9.0	56 18.7	120 40.0	55 18.3
	60代	300 100	3 1.0	0 0.0	7 2.3	17 5.7	28 9.3	45 15.0	118 39.3	82 27.3
	70代以上	300 100	0 0.0	0 0.0	5 1.7	13 4.3	17 5.7	39 13.0	126 42.0	100 33.3

【7. 鶏肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	48 2.7	62 3.4	474 26.3	513 28.5	302 16.8	136 7.6	174 9.7	91 5.1
地域	首都圏		900 100	22 2.4	28 3.1	238 26.4	257 28.6	152 16.9	70 7.8	87 9.7	46 5.1
	京阪神圏		900 100	26 2.9	34 3.8	236 26.2	256 28.4	150 16.7	66 7.3	87 9.7	45 5.0
年代	20代		300 100	20 6.7	12 4.0	60 20.0	79 26.3	56 18.7	35 11.7	27 9.0	11 3.7
	30代		300 100	10 3.3	11 3.7	79 26.3	78 26.0	44 14.7	30 10.0	35 11.7	13 4.3
	40代		300 100	8 2.7	14 4.7	77 25.7	76 25.3	50 16.7	19 6.3	40 13.3	16 5.3
	50代		300 100	2 0.7	13 4.3	85 28.3	102 34.0	45 15.0	23 7.7	20 6.7	10 3.3
	60代		300 100	6 2.0	6 2.0	85 28.3	86 28.7	56 18.7	13 4.3	25 8.3	23 7.7
	70代以上		300 100	2 0.7	6 2.0	88 29.3	92 30.7	51 17.0	16 5.3	27 9.0	18 6.0

【8. 鶏肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	25 1.4	40 2.2	151 8.4	249 13.8	291 16.2	259 14.4	407 22.6	378 21.0
地域	首都圏		900 100	7 0.8	21 2.3	66 7.3	126 14.0	147 16.3	130 14.4	207 23.0	196 21.8
	京阪神圏		900 100	18 2.0	19 2.1	85 9.4	123 13.7	144 16.0	129 14.3	200 22.2	182 20.2
年代	20代		300 100	12 4.0	20 6.7	35 11.7	47 15.7	52 17.3	47 15.7	49 16.3	38 12.7
	30代		300 100	7 2.3	3 1.0	29 9.7	59 19.7	56 18.7	41 13.7	62 20.7	43 14.3
	40代		300 100	2 0.7	9 3.0	24 8.0	39 13.0	63 21.0	34 11.3	82 27.3	47 15.7
	50代		300 100	1 0.3	5 1.7	26 8.7	52 17.3	46 15.3	45 15.0	78 26.0	47 15.7
	60代		300 100	2 0.7	2 0.7	22 7.3	31 10.3	41 13.7	53 17.7	70 23.3	79 26.3
	70代以上		300 100	1 0.3	1 0.3	15 5.0	21 7.0	33 11.0	39 13.0	66 22.0	124 41.3

【9. 鶏肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	16 0.9	34 1.9	77 4.3	166 9.2	200 11.1	327 18.2	597 33.2	383 21.3
地域	首都圏		900 100	6 0.7	18 2.0	34 3.8	89 9.9	119 13.2	146 16.2	302 33.6	186 20.7
	京阪神圏		900 100	10 1.1	16 1.8	43 4.8	77 8.6	81 9.0	181 20.1	295 32.8	197 21.9
年代	20代		300 100	8 2.7	19 6.3	27 9.0	47 15.7	45 15.0	71 23.7	55 18.3	28 9.3
	30代		300 100	4 1.3	8 2.7	16 5.3	38 12.7	38 12.7	54 18.0	95 31.7	47 15.7
	40代		300 100	1 0.3	5 1.7	12 4.0	28 9.3	35 11.7	51 17.0	113 37.7	55 18.3
	50代		300 100	2 0.7	2 0.7	14 4.7	24 8.0	31 10.3	66 22.0	107 35.7	54 18.0
	60代		300 100	1 0.3	0 0.0	6 2.0	18 6.0	29 9.7	45 15.0	119 39.7	82 27.3
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	2 0.7	11 3.7	22 7.3	40 13.3	108 36.0	117 39.0

【10. 魚介料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	43 2.4	102 5.7	424 23.6	478 26.6	300 16.7	181 10.1	182 10.1	90 5.0
地域	首都圏		900 100	19 2.1	51 5.7	221 24.6	230 25.6	151 16.8	89 9.9	91 10.1	48 5.3
	京阪神圏		900 100	24 2.7	51 5.7	203 22.6	248 27.6	149 16.6	92 10.2	91 10.1	42 4.7
年代	20代		300 100	12 4.0	17 5.7	45 15.0	67 22.3	52 17.3	53 17.7	30 10.0	24 8.0
	30代		300 100	9 3.0	13 4.3	52 17.3	82 27.3	55 18.3	34 11.3	39 13.0	16 5.3
	40代		300 100	8 2.7	13 4.3	52 17.3	78 26.0	59 19.7	25 8.3	52 17.3	13 4.3
	50代		300 100	4 1.3	15 5.0	69 23.0	86 28.7	51 17.0	36 12.0	26 8.7	13 4.3
	60代		300 100	5 1.7	10 3.3	100 33.3	87 29.0	44 14.7	21 7.0	20 6.7	13 4.3
	70代以上		300 100	5 1.7	34 11.3	106 35.3	78 26.0	39 13.0	12 4.0	15 5.0	11 3.7

【11. 魚介料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	23 1.3	34 1.9	130 7.2	234 13.0	261 14.5	263 14.6	447 24.8	408 22.7
地域	首都圏		900 100	10 1.1	13 1.4	67 7.4	123 13.7	127 14.1	126 14.0	224 24.9	210 23.3
	京阪神圏		900 100	13 1.4	21 2.3	63 7.0	111 12.3	134 14.9	137 15.2	223 24.8	198 22.0
年代	20代		300 100	10 3.3	14 4.7	33 11.0	57 19.0	43 14.3	45 15.0	57 19.0	41 13.7
	30代		300 100	8 2.7	1 0.3	28 9.3	42 14.0	59 19.7	42 14.0	71 23.7	49 16.3
	40代		300 100	2 0.7	6 2.0	16 5.3	32 10.7	47 15.7	51 17.0	87 29.0	59 19.7
	50代		300 100	0 0.0	8 2.7	18 6.0	36 12.0	38 12.7	45 15.0	96 32.0	59 19.7
	60代		300 100	2 0.7	1 0.3	17 5.7	36 12.0	42 14.0	48 16.0	70 23.3	84 28.0
	70代以上		300 100	1 0.3	4 1.3	18 6.0	31 10.3	32 10.7	32 10.7	66 22.0	116 38.7

【12. 魚介料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	22 1.2	28 1.6	78 4.3	161 8.9	189 10.5	337 18.7	614 34.1	371 20.6
地域	首都圏		900 100	10 1.1	11 1.2	41 4.6	85 9.4	106 11.8	168 18.7	297 33.0	182 20.2
	京阪神圏		900 100	12 1.3	17 1.9	37 4.1	76 8.4	83 9.2	169 18.8	317 35.2	189 21.0
年代	20代		300 100	13 4.3	11 3.7	32 10.7	41 13.7	45 15.0	69 23.0	56 18.7	33 11.0
	30代		300 100	5 1.7	6 2.0	12 4.0	39 13.0	40 13.3	51 17.0	98 32.7	49 16.3
	40代		300 100	2 0.7	5 1.7	11 3.7	27 9.0	27 9.0	51 17.0	117 39.0	60 20.0
	50代		300 100	0 0.0	2 0.7	9 3.0	27 9.0	26 8.7	57 19.0	122 40.7	57 19.0
	60代		300 100	2 0.7	2 0.7	8 2.7	14 4.7	30 10.0	58 19.3	110 36.7	76 25.3
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	6 2.0	13 4.3	21 7.0	51 17.0	111 37.0	96 32.0

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	イメージ												
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容に よい	料理メニ ューの種 類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	969 53.8	181 10.1	201 11.2	371 20.6	395 21.9	416 23.1	560 31.1	119 6.6	456 25.3	833 46.3	99 5.5	189 10.5	
地域														
首都圏	900 100	494 54.9	99 11.0	98 10.9	189 21.0	189 21.0	189 21.0	285 31.7	63 7.0	196 21.8	402 44.7	44 4.9	97 10.8	
京阪神圏	900 100	475 52.8	82 9.1	103 11.4	182 20.2	206 22.9	227 25.2	275 30.6	56 6.2	260 28.9	431 47.9	55 6.1	92 10.2	
年代														
20代	300 100	131 43.7	54 18.0	46 15.3	57 19.0	54 18.0	60 20.0	59 19.7	22 7.3	53 17.7	75 25.0	23 7.7	25 8.3	
30代	300 100	141 47.0	40 13.3	44 14.7	68 22.7	61 20.3	61 20.3	68 22.7	32 10.7	61 20.3	120 40.0	20 6.7	31 10.3	
40代	300 100	154 51.3	31 10.3	37 12.3	66 22.0	54 18.0	76 25.3	100 33.3	28 9.3	69 23.0	138 46.0	21 7.0	36 12.0	
50代	300 100	146 48.7	21 7.0	20 6.7	61 20.3	52 17.3	67 22.3	74 24.7	17 5.7	74 24.7	149 49.7	9 3.0	43 14.3	
60代	300 100	180 60.0	16 5.3	25 8.3	61 20.3	71 23.7	69 23.0	106 35.3	10 3.3	89 29.7	160 53.3	8 2.7	39 13.0	
70代以上	300 100	217 72.3	19 6.3	29 9.7	58 19.3	103 34.3	83 27.7	153 51.0	10 3.3	110 36.7	191 63.7	18 6.0	15 5.0	

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	イメージ												
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容に よい	料理メニ ューの種 類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	508 28.2	56 3.1	44 2.4	100 5.6	73 4.1	104 5.8	149 8.3	12 0.7	113 6.3	410 22.8	55 3.1	176 9.8	
地域														
首都圏	900 100	259 28.8	29 3.2	24 2.7	49 5.4	39 4.3	55 6.1	71 7.9	5 0.6	41 4.6	207 23.0	29 3.2	92 10.2	
京阪神圏	900 100	249 27.7	27 3.0	20 2.2	51 5.7	34 3.8	49 5.4	78 8.7	7 0.8	72 8.0	203 22.6	26 2.9	84 9.3	
年代														
20代	300 100	87 29.0	23 7.7	16 5.3	23 7.7	14 4.7	16 5.3	14 4.7	6 2.0	20 6.7	45 15.0	15 5.0	21 7.0	
30代	300 100	77 25.7	14 4.7	8 2.7	21 7.0	14 4.7	17 5.7	26 8.7	5 1.7	19 6.3	56 18.7	13 4.3	30 10.0	
40代	300 100	77 25.7	7 2.3	10 3.3	14 4.7	9 3.0	24 8.0	27 9.0	0 0.0	14 4.7	73 24.3	12 4.0	33 11.0	
50代	300 100	78 26.0	5 1.7	2 0.7	20 6.7	13 4.3	15 5.0	17 5.7	1 0.3	16 5.3	86 28.7	6 2.0	41 13.7	
60代	300 100	82 27.3	5 1.7	6 2.0	14 4.7	11 3.7	15 5.0	28 9.3	0 0.0	20 6.7	77 25.7	4 1.3	38 12.7	
70代以上	300 100	107 35.7	2 0.7	2 0.7	8 2.7	12 4.0	17 5.7	37 12.3	0 0.0	24 8.0	73 24.3	5 1.7	13 4.3	

【3.豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	イメージ												
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容に よい	料理メニ ューの種 類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	794 44.1	224 12.4	190 10.6	174 9.7	520 28.9	675 37.5	377 20.9	208 11.6	605 33.6	587 32.6	786 43.7	108 6.0	
地域														
首都圏	900 100	413 45.9	94 10.4	104 11.6	81 9.0	263 29.2	351 39.0	200 22.2	108 12.0	312 34.7	305 33.9	380 42.2	53 5.9	
京阪神圏	900 100	381 42.3	130 14.4	86 9.6	93 10.3	257 28.6	324 36.0	177 19.7	100 11.1	293 32.6	282 31.3	406 45.1	55 6.1	
年代														
20代	300 100	89 29.7	52 17.3	37 12.3	26 8.7	53 17.7	84 28.0	29 9.7	35 11.7	50 16.7	49 16.3	75 25.0	21 7.0	
30代	300 100	116 38.7	34 11.3	39 13.0	28 9.3	66 22.0	99 33.0	50 16.7	45 15.0	86 28.7	80 26.7	106 35.3	18 6.0	
40代	300 100	136 45.3	34 11.3	39 13.0	33 11.0	82 27.3	111 37.0	67 22.3	43 14.3	102 34.0	105 35.0	124 41.3	23 7.7	
50代	300 100	132 44.0	31 10.3	18 6.0	26 8.7	80 26.7	111 37.0	50 16.7	39 13.0	108 36.0	117 39.0	133 44.3	19 6.3	
60代	300 100	151 50.3	33 11.0	26 8.7	28 9.3	105 35.0	121 40.3	71 23.7	26 8.7	119 39.7	110 36.7	163 54.3	18 6.0	
70代以上	300 100	170 56.7	40 13.3	31 10.3	33 11.0	134 44.7	149 49.7	110 36.7	20 6.7	140 46.7	126 42.0	185 61.7	9 3.0	

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	評価項目												
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	333 18.5	58 3.2	46 2.6	35 1.9	122 6.8	203 11.3	64 3.6	44 2.4	230 12.8	189 10.5	375 20.8	101 5.6	
地域	首都圏	900 100	183 20.3	23 2.6	23 2.6	13 1.4	62 6.9	117 13.0	36 4.0	19 2.1	110 12.2	106 11.8	160 17.8	48 5.3
	京阪神圏	900 100	150 16.7	35 3.9	23 2.6	22 2.4	60 6.7	86 9.6	28 3.1	25 2.8	120 13.3	83 9.2	215 23.9	53 5.9
年代	20代	300 100	54 18.0	22 7.3	18 6.0	11 3.7	20 6.7	38 12.7	8 2.7	13 4.3	24 8.0	20 6.7	51 17.0	21 7.0
	30代	300 100	55 18.3	13 4.3	14 4.7	7 2.3	14 4.7	40 13.3	13 4.3	11 3.7	27 9.0	27 9.0	61 20.3	18 6.0
	40代	300 100	62 20.7	5 1.7	9 3.0	5 1.7	21 7.0	30 10.0	9 3.0	11 3.7	44 14.7	30 10.0	55 18.3	19 6.3
	50代	300 100	57 19.0	6 2.0	1 0.3	5 1.7	18 6.0	33 11.0	7 2.3	3 1.0	49 16.3	46 15.3	56 18.7	19 6.3
	60代	300 100	46 15.3	8 2.7	2 0.7	4 1.3	20 6.7	32 10.7	10 3.3	5 1.7	45 15.0	36 12.0	76 25.3	16 5.3
	70代以上	300 100	59 19.7	4 1.3	2 0.7	3 1.0	29 9.7	30 10.0	17 5.7	1 0.3	41 13.7	30 10.0	76 25.3	8 2.7

【5. 鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	評価項目												
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	864 48.0	711 39.5	181 10.1	105 5.8	554 30.8	549 30.5	390 21.7	224 12.4	547 30.4	319 17.7	954 53.0	90 5.0	
地域	首都圏	900 100	437 48.6	354 39.3	84 9.3	52 5.8	291 32.3	269 29.9	176 19.6	117 13.0	263 29.2	156 17.3	467 51.9	44 4.9
	京阪神圏	900 100	427 47.4	357 39.7	97 10.8	53 5.9	263 29.2	280 31.1	214 23.8	107 11.9	284 31.6	163 18.1	487 54.1	46 5.1
年代	20代	300 100	122 40.7	85 28.3	41 13.7	24 8.0	62 20.7	61 20.3	40 13.3	29 9.7	56 18.7	29 9.7	94 31.3	12 4.0
	30代	300 100	141 47.0	94 31.3	32 10.7	18 6.0	76 25.3	80 26.7	61 20.3	41 13.7	70 23.3	45 15.0	138 46.0	14 4.7
	40代	300 100	151 50.3	117 39.0	36 12.0	21 7.0	78 26.0	85 28.3	65 21.7	43 14.3	96 32.0	52 17.3	150 50.0	21 7.0
	50代	300 100	151 50.3	114 38.0	18 6.0	15 5.0	80 26.7	101 33.7	60 20.0	43 14.3	93 31.0	55 18.3	169 56.3	17 5.7
	60代	300 100	144 48.0	135 45.0	27 9.0	11 3.7	105 35.0	100 33.3	67 22.3	43 14.3	103 34.3	61 20.3	193 64.3	16 5.3
	70代以上	300 100	155 51.7	166 55.3	27 9.0	16 5.3	153 51.0	122 40.7	97 32.3	25 8.3	129 43.0	77 25.7	210 70.0	10 3.3

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	評価項目												
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	356 19.8	229 12.7	39 2.2	24 1.3	123 6.8	107 5.9	68 3.8	37 2.1	135 7.5	45 2.5	554 30.8	83 4.6	
地域	首都圏	900 100	193 21.4	113 12.6	18 2.0	15 1.7	71 7.9	51 5.7	28 3.1	16 1.8	65 7.2	265 29.4	40 4.4	
	京阪神圏	900 100	163 18.1	116 12.9	21 2.3	9 1.0	52 5.8	56 6.2	40 4.4	21 2.3	70 7.8	20 2.2	289 32.1	43 4.8
年代	20代	300 100	80 26.7	37 12.3	21 7.0	8 2.7	22 7.3	18 6.0	9 3.0	9 4.3	13 1.3	4 2.7	68 22.7	11 3.7
	30代	300 100	68 22.7	32 10.7	10 3.3	6 2.0	18 6.0	16 5.3	15 5.0	6 2.0	12 4.0	7 2.3	96 32.0	14 4.7
	40代	300 100	58 19.3	39 13.0	4 1.3	5 1.7	15 5.0	16 5.3	13 4.3	8 2.7	29 9.7	10 3.3	85 28.3	18 6.0
	50代	300 100	69 23.0	29 9.7	1 0.3	3 1.0	12 4.0	24 8.0	8 2.7	6 2.0	29 9.7	9 3.0	94 31.3	16 5.3
	60代	300 100	39 13.0	49 16.3	2 0.7	1 0.3	24 8.0	14 4.7	16 5.3	5 1.7	24 8.0	7 2.3	104 34.7	15 5.0
	70代以上	300 100	42 14.0	43 14.3	1 0.3	1 0.3	32 10.7	19 6.3	7 2.3	3 1.0	28 9.3	8 2.7	107 35.7	9 3.0

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	34 1.9	34 1.9	157 8.7	400 22.2	420 23.3	301 16.7	356 19.8	98 5.4
地域	首都圏		900 100	18 2.0	16 1.8	76 8.4	194 21.6	201 22.3	151 16.8	187 20.8	57 6.3
	京阪神圏		900 100	16 1.8	18 2.0	81 9.0	206 22.9	219 24.3	150 16.7	169 18.8	41 4.6
年代	20代		300 100	16 5.3	15 5.0	45 15.0	69 23.0	52 17.3	42 14.0	45 15.0	16 5.3
	30代		300 100	12 4.0	10 3.3	25 8.3	60 20.0	64 21.3	49 16.3	60 20.0	20 6.7
	40代		300 100	4 1.3	3 1.0	16 5.3	68 22.7	63 21.0	50 16.7	77 25.7	19 6.3
	50代		300 100	0 0.0	3 1.0	14 4.7	66 22.0	74 24.7	58 19.3	70 23.3	15 5.0
	60代		300 100	2 0.7	2 0.7	21 7.0	65 21.7	78 26.0	45 15.0	67 22.3	20 6.7
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	36 12.0	72 24.0	89 29.7	57 19.0	37 12.3	8 2.7

【2. 豚肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	27 1.5	64 3.6	359 19.9	624 34.7	385 21.4	161 8.9	146 8.1	34 1.9
地域	首都圏		900 100	15 1.7	35 3.9	179 19.9	315 35.0	190 21.1	75 8.3	77 8.6	14 1.6
	京阪神圏		900 100	12 1.3	29 3.2	180 20.0	309 34.3	195 21.7	86 9.6	69 7.7	20 2.2
年代	20代		300 100	13 4.3	19 6.3	68 22.7	84 28.0	54 18.0	37 12.3	21 7.0	4 1.3
	30代		300 100	7 2.3	17 5.7	49 16.3	102 34.0	62 20.7	33 11.0	27 9.0	3 1.0
	40代		300 100	4 1.3	15 5.0	48 16.0	113 37.7	57 19.0	20 6.7	35 11.7	8 2.7
	50代		300 100	1 0.3	6 2.0	59 19.7	102 34.0	73 24.3	29 9.7	25 8.3	5 1.7
	60代		300 100	2 0.7	7 2.3	65 21.7	108 36.0	64 21.3	20 6.7	25 8.3	9 3.0
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	70 23.3	115 38.3	75 25.0	22 7.3	13 4.3	5 1.7

【3. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	34 1.9	48 2.7	306 17.0	639 35.5	380 21.1	195 10.8	159 8.8	39 2.2
地域	首都圏		900 100	16 1.8	24 2.7	151 16.8	319 35.4	194 21.6	88 9.8	87 9.7	21 2.3
	京阪神圏		900 100	18 2.0	24 2.7	155 17.2	320 35.6	186 20.7	107 11.9	72 8.0	18 2.0
年代	20代		300 100	13 4.3	15 5.0	56 18.7	97 32.3	59 19.7	39 13.0	21 7.0	0 0.0
	30代		300 100	10 3.3	13 4.3	51 17.0	101 33.7	61 20.3	35 11.7	28 9.3	1 0.3
	40代		300 100	6 2.0	7 2.3	47 15.7	106 35.3	59 19.7	27 9.0	38 12.7	10 3.3
	50代		300 100	2 0.7	6 2.0	50 16.7	106 35.3	70 23.3	37 12.3	24 8.0	5 1.7
	60代		300 100	3 1.0	4 1.3	48 16.0	116 38.7	68 22.7	24 8.0	26 8.7	11 3.7
	70代以上		300 100	0 0.0	3 1.0	54 18.0	113 37.7	63 21.0	33 11.0	22 7.3	12 4.0

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー

※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

【1. 牛肉】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉デイス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1702 100	135 7.9	534 31.4	1292 75.9	153 9.0	120 7.1	56 3.3	17 1.0	44 2.6	32 1.9
地域	首都圏	843 100	66 7.8	270 32.0	631 74.9	77 9.1	53 6.3	32 3.8	8 0.9	22 2.6	17 2.0
	京阪神圏	859 100	69 8.0	264 30.7	661 76.9	76 8.8	67 7.8	24 2.8	9 1.0	22 2.6	15 1.7
年代	20代	284 100	35 12.3	78 27.5	176 62.0	20 7.0	22 7.7	15 5.3	7 2.5	7 2.5	8 2.8
	30代	280 100	30 10.7	84 30.0	201 71.8	19 6.8	19 6.8	15 5.4	7 2.5	11 3.9	4 1.4
	40代	281 100	17 6.0	92 32.7	233 82.9	22 7.8	16 5.7	9 3.2	1 0.4	3 1.1	5 1.8
	50代	285 100	21 7.4	85 29.8	225 78.9	26 9.1	25 8.8	8 2.8	1 0.4	6 2.1	7 2.5
	60代	280 100	16 5.7	100 35.7	222 79.3	28 10.0	16 5.7	5 1.8	1 0.4	9 3.2	2 0.7
	70代以上	292 100	16 5.5	95 32.5	235 80.5	38 13.0	22 7.5	4 1.4	0 0.0	8 2.7	6 2.1

【2. 豚肉】

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉デイス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1766 100	70 4.0	541 30.6	1382 78.3	161 9.1	98 5.5	61 3.5	13 0.7	27 1.5	33 1.9
地域	首都圏	886 100	38 4.3	276 31.2	695 78.4	77 8.7	53 6.0	29 3.3	7 0.8	14 1.6	16 1.8
	京阪神圏	880 100	32 3.6	265 30.1	687 78.1	84 9.5	45 5.1	32 3.6	6 0.7	13 1.5	17 1.9
年代	20代	296 100	21 7.1	77 26.0	194 65.5	23 7.8	21 7.1	13 4.4	4 1.4	7 2.4	7 2.4
	30代	297 100	19 6.4	93 31.3	218 73.4	16 5.4	16 5.4	20 6.7	5 1.7	5 1.7	4 1.3
	40代	292 100	10 3.4	91 31.2	251 86.0	22 7.5	13 4.5	10 3.4	3 1.0	1 0.3	4 1.4
	50代	295 100	9 3.1	86 29.2	242 82.0	26 8.8	20 6.8	9 3.1	0 0.0	5 1.7	8 2.7
	60代	291 100	5 1.7	102 35.1	239 82.1	31 10.7	13 4.5	6 2.1	1 0.3	4 1.4	4 1.4
	70代以上	295 100	6 2.0	92 31.2	238 80.7	43 14.6	15 5.1	3 1.0	0 0.0	5 1.7	6 2.0

【3. 鶏肉】

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉デイス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1761 100	71 4.0	523 29.7	1379 78.3	154 8.7	89 5.1	52 3.0	10 0.6	27 1.5	39 2.2
地域	首都圏	879 100	38 4.3	268 30.5	689 78.4	75 8.5	47 5.3	24 2.7	6 0.7	16 1.8	16 1.8
	京阪神圏	882 100	33 3.7	255 28.9	690 78.2	79 9.0	42 4.8	28 3.2	4 0.5	11 1.2	23 2.6
年代	20代	300 100	19 6.3	72 24.0	197 65.7	21 7.0	21 7.0	12 4.0	3 1.0	8 2.7	8 2.7
	30代	299 100	19 6.4	88 29.4	222 74.2	16 5.4	19 6.4	16 5.4	5 1.7	4 1.3	5 1.7
	40代	290 100	9 3.1	91 31.4	247 85.2	25 8.6	9 3.1	7 2.4	1 0.3	4 1.4	5 1.7
	50代	295 100	11 3.7	84 28.5	240 81.4	24 8.1	17 5.8	9 3.1	1 0.3	4 1.4	10 3.4
	60代	289 100	6 2.1	99 34.3	238 82.4	26 9.0	10 3.5	6 2.1	0 0.0	3 1.0	6 2.1
	70代以上	288 100	7 2.4	89 30.9	235 81.6	42 14.6	13 4.5	2 0.7	0 0.0	4 1.4	5 1.7

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1. 牛肉】 あてはまるもの (いくつでも)

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1702 100	988 58.0	768 45.1	89 5.2	470 27.6	143 8.4	684 40.2	463 27.2	64 3.8
地域	首都圏	843 100	505 59.9	365 43.3	44 5.2	218 25.9	69 8.2	327 38.8	223 26.5	35 4.2
	京阪神圏	859 100	483 56.2	403 46.9	45 5.2	252 29.3	74 8.6	357 41.6	240 27.9	29 3.4
年代	20代	284 100	154 54.2	111 39.1	28 9.9	59 20.8	18 6.3	62 21.8	36 12.7	15 5.3
	30代	280 100	164 58.6	101 36.1	18 6.4	59 21.1	41 14.6	105 37.5	65 23.2	10 3.6
	40代	281 100	171 60.9	137 48.8	21 7.5	74 26.3	18 6.4	105 37.4	77 27.4	12 4.3
	50代	285 100	176 61.8	116 40.7	5 1.8	62 21.8	21 7.4	129 45.3	80 28.1	15 5.3
	60代	280 100	162 57.9	133 47.5	10 3.6	91 32.5	22 7.9	131 46.8	96 34.3	6 2.1
	70代以上	292 100	161 55.1	170 58.2	7 2.4	125 42.8	23 7.9	152 52.1	109 37.3	6 2.1

【2. 牛肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1702 100	660 38.8	492 28.9	28 1.6	142 8.3	18 1.1	238 14.0	65 3.8	59 3.5
地域	首都圏	843 100	346 41.0	231 27.4	14 1.7	61 7.2	6 0.7	124 14.7	30 3.6	31 3.7
	京阪神圏	859 100	314 36.6	261 30.4	14 1.6	81 9.4	12 1.4	114 13.3	35 4.1	28 3.3
年代	20代	284 100	121 42.6	76 26.8	10 3.5	22 7.7	6 2.1	26 9.2	9 3.2	14 4.9
	30代	280 100	118 42.1	64 22.9	6 2.1	21 7.5	7 2.5	44 15.7	10 3.6	10 3.6
	40代	281 100	114 40.6	88 31.3	7 2.5	20 7.1	2 0.7	35 12.5	5 1.8	10 3.6
	50代	285 100	118 41.4	69 24.2	1 0.4	17 6.0	3 1.1	49 17.2	14 4.9	14 4.9
	60代	280 100	98 35.0	88 31.4	1 0.4	30 10.7	0 0.0	47 16.8	10 3.6	6 2.1
	70代以上	292 100	91 31.2	107 36.6	3 1.0	32 11.0	0 0.0	37 12.7	17 5.8	5 1.7

【3. 豚肉】 あてはまるもの (いくつでも)

<Q6【2. 豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1766 100	1251 70.8	814 46.1	79 4.5	420 23.8	171 9.7	689 39.0	497 28.1	61 3.5
地域	首都圏	886 100	627 70.8	391 44.1	43 4.9	207 23.4	83 9.4	351 39.6	244 27.5	34 3.8
	京阪神圏	880 100	624 70.9	423 48.1	36 4.1	213 24.2	88 10.0	338 38.4	253 28.8	27 3.1
年代	20代	296 100	176 59.5	111 37.5	29 9.8	52 17.6	27 9.1	72 24.3	37 12.5	13 4.4
	30代	297 100	196 66.0	116 39.1	20 6.7	49 16.5	36 12.1	103 34.7	80 26.9	11 3.7
	40代	292 100	222 76.0	133 45.5	18 6.2	66 22.6	27 9.2	109 37.3	84 28.8	12 4.1
	50代	295 100	216 73.2	120 40.7	6 2.0	50 16.9	23 7.8	128 43.4	87 29.5	12 4.1
	60代	291 100	215 73.9	153 52.6	4 1.4	87 29.9	27 9.3	133 45.7	89 30.6	6 2.1
	70代以上	295 100	226 76.6	181 61.4	2 0.7	116 39.3	31 10.5	144 48.8	120 40.7	7 2.4

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

<Q6【2. 豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1766 100	774 43.8	479 27.1	25 1.4	129 7.3	22 1.2	225 12.7	58 3.3	54 3.1
地域	首都圏	886 100	400 45.1	232 26.2	14 1.6	59 6.7	14 1.6	114 12.9	25 2.8	28 3.2
	京阪神圏	880 100	374 42.5	247 28.1	11 1.3	70 8.0	8 0.9	111 12.6	33 3.8	26 3.0
年代	20代	296 100	134 45.3	69 23.3	12 4.1	19 6.4	7 2.4	37 12.5	6 2.0	12 4.1
	30代	297 100	128 43.1	75 25.3	9 3.0	20 6.7	4 1.3	40 13.5	10 3.4	11 3.7
	40代	292 100	148 50.7	67 22.9	3 1.0	20 6.8	3 1.0	32 11.0	10 3.4	9 3.1
	50代	295 100	136 46.1	70 23.7	0 0.0	15 5.1	5 1.7	46 15.6	12 4.1	11 3.7
	60代	291 100	119 40.9	92 31.6	1 0.3	24 8.2	3 1.0	39 13.4	7 2.4	6 2.1
	70代以上	295 100	109 36.9	106 35.9	0 0.0	31 10.5	0 0.0	31 10.5	13 4.4	5 1.7

【5. 鶏肉】 あてはまるもの (いくつでも)

<Q6[3.鶏肉] 「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表 示されていること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1761 100	1273 72.3	853 48.4	86 4.9	433 24.6	174 9.9	662 37.6	486 27.6	61 3.5
地域	首都圏	879 100	633 72.0	412 46.9	47 5.3	220 25.0	84 9.6	331 37.7	234 26.6	32 3.6
	京阪神圏	882 100	640 72.6	441 50.0	39 4.4	213 24.1	90 10.2	331 37.5	252 28.6	29 3.3
年代	20代	300 100	188 62.7	107 35.7	33 11.0	51 17.0	26 8.7	66 22.0	46 15.3	13 4.3
	30代	299 100	205 68.6	121 40.5	18 6.0	53 17.7	36 12.0	93 31.1	77 25.8	12 4.0
	40代	290 100	218 75.2	141 48.6	21 7.2	67 23.1	29 10.0	101 34.8	78 26.9	12 4.1
	50代	295 100	215 72.9	133 45.1	6 2.0	59 20.0	26 8.8	120 40.7	87 29.5	12 4.1
	60代	289 100	216 74.7	163 56.4	3 1.0	88 30.4	28 9.7	144 49.8	93 32.2	5 1.7
	70代以上	288 100	231 80.2	188 65.3	5 1.7	115 39.9	29 10.1	138 47.9	105 36.5	7 2.4

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

<Q6[3.鶏肉] 「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表 示されていること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1761 100	784 44.5	475 27.0	31 1.8	127 7.2	18 1.0	209 11.9	67 3.8	50 2.8
地域	首都圏	879 100	396 45.1	233 26.5	18 2.0	62 7.1	9 1.0	108 12.3	29 3.3	24 2.7
	京阪神圏	882 100	388 44.0	242 27.4	13 1.5	65 7.4	9 1.0	101 11.5	38 4.3	26 2.9
年代	20代	300 100	137 45.7	63 21.0	14 4.7	22 7.3	7 2.3	31 10.3	14 4.7	12 4.0
	30代	299 100	135 45.2	73 24.4	9 3.0	25 8.4	4 1.3	32 10.7	9 3.0	12 4.0
	40代	290 100	145 50.0	68 23.4	7 2.4	21 7.2	1 0.3	35 12.1	5 1.7	8 2.8
	50代	295 100	132 44.7	82 27.8	1 0.3	12 4.1	3 1.0	41 13.9	14 4.7	10 3.4
	60代	289 100	118 40.8	93 32.2	0 0.0	21 7.3	3 1.0	41 14.2	8 2.8	5 1.7
	70代以上	288 100	117 40.6	96 33.3	0 0.0	26 9.0	0 0.0	29 10.1	17 5.9	3 1.0

Q9 ここ1か月間の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 食肉全体】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1800 100	75 4.2	145 8.1	1217 67.6	144 8.0	112 6.2	71 3.9	36 2.0
地域	首都圏		900 100	33 3.7	81 9.0	609 67.7	74 8.2	54 6.0	24 2.7	25 2.8
	京阪神圏		900 100	42 4.7	64 7.1	608 67.6	70 7.8	58 6.4	47 5.2	11 1.2
年代	20代		300 100	27 9.0	49 16.3	139 46.3	32 10.7	19 6.3	24 8.0	10 3.3
	30代		300 100	21 7.0	26 8.7	190 63.3	26 8.7	17 5.7	14 4.7	6 2.0
	40代		300 100	12 4.0	29 9.7	202 67.3	20 6.7	19 6.3	10 3.3	8 2.7
	50代		300 100	6 2.0	19 6.3	224 74.7	18 6.0	19 6.3	10 3.3	4 1.3
	60代		300 100	5 1.7	8 2.7	233 77.7	22 7.3	21 7.0	6 2.0	5 1.7
	70代以上		300 100	4 1.3	14 4.7	229 76.3	26 8.7	17 5.7	7 2.3	3 1.0

【2. 牛肉】 国産和牛

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1702 100	34 2.0	124 7.3	989 58.1	150 8.8	168 9.9	68 4.0	169 9.9
地域	首都圏		843 100	15 1.8	64 7.6	487 57.8	67 7.9	76 9.0	28 3.3	106 12.6
	京阪神圏		859 100	19 2.2	60 7.0	502 58.4	83 9.7	92 10.7	40 4.7	63 7.3
年代	20代		284 100	10 3.5	38 13.4	146 51.4	21 7.4	27 9.5	18 6.3	24 8.5
	30代		280 100	10 3.6	27 9.6	143 51.1	38 13.6	21 7.5	13 4.6	28 10.0
	40代		281 100	6 2.1	24 8.5	150 53.4	22 7.8	28 10.0	12 4.3	39 13.9
	50代		285 100	5 1.8	12 4.2	183 64.2	16 5.6	30 10.5	12 4.2	27 9.5
	60代		280 100	2 0.7	6 2.1	185 66.1	26 9.3	27 9.6	8 2.9	26 9.3
	70代以上		292 100	1 0.3	17 5.8	182 62.3	27 9.2	35 12.0	5 1.7	25 8.6

【3. 牛肉】 和牛以外の国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体		1702 100	36 2.1	102 6.0	990 58.2	167 9.8	153 9.0	93 5.5	161 9.5
地域	首都圏	843 100	18 2.1	43 5.1	493 58.5	85 10.1	72 8.5	39 4.6	93 11.0
	京阪神圏	859 100	18 2.1	59 6.9	497 57.9	82 9.5	81 9.4	54 6.3	68 7.9
年代	20代	284 100	13 4.6	40 14.1	132 46.5	34 12.0	24 8.5	23 8.1	18 6.3
	30代	280 100	14 5.0	23 8.2	149 53.2	35 12.5	20 7.1	17 6.1	22 7.9
	40代	281 100	5 1.8	19 6.8	156 55.5	26 9.3	29 10.3	13 4.6	33 11.7
	50代	285 100	2 0.7	8 2.8	193 67.7	16 5.6	29 10.2	15 5.3	22 7.7
	60代	280 100	2 0.7	9 3.2	173 61.8	29 10.4	22 7.9	12 4.3	33 11.8
	70代以上	292 100	0 0.0	3 1.0	187 64.0	27 9.2	29 9.9	13 4.5	33 11.3

【4. 牛肉】 和牛かどうかわからない国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体		1702 100	30 1.8	79 4.6	921 54.1	153 9.0	124 7.3	111 6.5	284 16.7
地域	首都圏	843 100	15 1.8	37 4.4	458 54.3	77 9.1	52 6.2	46 5.5	158 18.7
	京阪神圏	859 100	15 1.7	42 4.9	463 53.9	76 8.8	72 8.4	65 7.6	126 14.7
年代	20代	284 100	11 3.9	35 12.3	132 46.5	36 12.7	20 7.0	26 9.2	24 8.5
	30代	280 100	13 4.6	23 8.2	139 49.6	33 11.8	16 5.7	21 7.5	35 12.5
	40代	281 100	4 1.4	11 3.9	144 51.2	25 8.9	24 8.5	15 5.3	58 20.6
	50代	285 100	0 0.0	4 1.4	184 64.6	18 6.3	21 7.4	14 4.9	44 15.4
	60代	280 100	2 0.7	5 1.8	161 57.5	22 7.9	19 6.8	14 5.0	57 20.4
	70代以上	292 100	0 0.0	1 0.3	161 55.1	19 6.5	24 8.2	21 7.2	66 22.6

【5. 牛肉】 輸入牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体		1702 100	31 1.8	108 6.3	879 51.6	158 9.3	149 8.8	88 5.2	289 17.0
地域	首都圏	843 100	15 1.8	49 5.8	457 54.2	73 8.7	80 9.5	30 3.6	139 16.5
	京阪神圏	859 100	16 1.9	59 6.9	422 49.1	85 9.9	69 8.0	58 6.8	150 17.5
年代	20代	284 100	7 2.5	36 12.7	126 44.4	26 9.2	37 13.0	24 8.5	28 9.9
	30代	280 100	15 5.4	26 9.3	147 52.5	30 10.7	18 6.4	14 5.0	30 10.7
	40代	281 100	5 1.8	18 6.4	148 52.7	29 10.3	18 6.4	13 4.6	50 17.8
	50代	285 100	2 0.7	9 3.2	172 60.4	22 7.7	24 8.4	13 4.6	43 15.1
	60代	280 100	2 0.7	10 3.6	151 53.9	25 8.9	26 9.3	9 3.2	57 20.4
	70代以上	292 100	0 0.0	9 3.1	135 46.2	26 8.9	26 8.9	15 5.1	81 27.7

【6. 豚肉】 国産豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体		1766 100	45 2.5	160 9.1	1180 66.8	135 7.6	105 5.9	78 4.4	63 3.6
地域	首都圏	886 100	23 2.6	76 8.6	581 65.6	78 8.8	55 6.2	33 3.7	40 4.5
	京阪神圏	880 100	22 2.5	84 9.5	599 68.1	57 6.5	50 5.7	45 5.1	23 2.6
年代	20代	296 100	15 5.1	36 12.2	153 51.7	34 11.5	20 6.8	26 8.8	12 4.1
	30代	297 100	15 5.1	33 11.1	168 56.6	30 10.1	15 5.1	19 6.4	17 5.7
	40代	292 100	6 2.1	29 9.9	192 65.8	23 7.9	23 7.9	8 2.7	11 3.8
	50代	295 100	4 1.4	17 5.8	214 72.5	19 6.4	19 6.4	13 4.4	9 3.1
	60代	291 100	3 1.0	13 4.5	224 77.0	18 6.2	19 6.5	4 1.4	10 3.4
	70代以上	295 100	2 0.7	32 10.8	229 77.6	11 3.7	9 3.1	8 2.7	4 1.4

【7. 豚肉】 輸入豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体		1766 100	35 2.0	120 6.8	931 52.7	134 7.6	109 6.2	95 5.4	342 19.4
地域	首都圏	886 100	14 1.6	55 6.2	470 53.0	74 8.4	63 7.1	36 4.1	174 19.6
	京阪神圏	880 100	21 2.4	65 7.4	461 52.4	60 6.8	46 5.2	59 6.7	168 19.1
年代	20代	296 100	15 5.1	35 11.8	132 44.6	33 11.1	22 7.4	30 10.1	29 9.8
	30代	297 100	11 3.7	32 10.8	153 51.5	29 9.8	15 5.1	18 6.1	39 13.1
	40代	292 100	5 1.7	17 5.8	168 57.5	25 8.6	14 4.8	13 4.5	50 17.1
	50代	295 100	2 0.7	16 5.4	189 64.1	13 4.4	21 7.1	13 4.4	41 13.9
	60代	291 100	2 0.7	7 2.4	169 58.1	14 4.8	21 7.2	6 2.1	72 24.7
	70代以上	295 100	0 0.0	13 4.4	120 40.7	20 6.8	16 5.4	15 5.1	111 37.6

【8. 鶏肉】国産鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1761 100	51 2.9	165 9.4	1175 66.7	128 7.3	93 5.3	85 4.8	64 3.6
地域	首都圏		879 100	22 2.5	82 9.3	590 67.1	59 6.7	51 5.8	37 4.2	38 4.3
	京阪神圏		882 100	29 3.3	83 9.4	585 66.3	69 7.8	42 4.8	48 5.4	26 2.9
年代	20代		300 100	15 5.0	46 15.3	148 49.3	33 11.0	20 6.7	28 9.3	10 3.3
	30代		299 100	15 5.0	26 8.7	175 58.5	26 8.7	17 5.7	20 6.7	20 6.7
	40代		290 100	9 3.1	25 8.6	189 65.2	27 9.3	15 5.2	13 4.5	12 4.1
	50代		295 100	5 1.7	18 6.1	222 75.3	19 6.4	16 5.4	9 3.1	6 2.0
	60代		289 100	3 1.0	23 8.0	219 75.8	14 4.8	15 5.2	8 2.8	7 2.4
	70代以上		288 100	4 1.4	27 9.4	222 77.1	9 3.1	10 3.5	7 2.4	9 3.1

【9. 鶏肉】輸入鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1761 100	39 2.2	104 5.9	861 48.9	141 8.0	102 5.8	93 5.3	421 23.9
地域	首都圏		879 100	14 1.6	51 5.8	446 50.7	71 8.1	58 6.6	37 4.2	202 23.0
	京阪神圏		882 100	25 2.8	53 6.0	415 47.1	70 7.9	44 5.0	56 6.3	219 24.8
年代	20代		300 100	17 5.7	30 10.0	140 46.7	31 10.3	24 8.0	26 8.7	32 10.7
	30代		299 100	12 4.0	35 11.7	142 47.5	26 8.7	19 6.4	18 6.0	47 15.7
	40代		290 100	6 2.1	15 5.2	156 53.8	24 8.3	10 3.4	13 4.5	66 22.8
	50代		295 100	1 0.3	10 3.4	170 57.6	26 8.8	14 4.7	11 3.7	63 21.4
	60代		289 100	3 1.0	7 2.4	147 50.9	13 4.5	21 7.3	10 3.5	88 30.4
	70代以上		288 100	0 0.0	7 2.4	106 36.8	21 7.3	14 4.9	15 5.2	125 43.4

Q10 ここ1か月間の食品の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食品」「減った食品」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えた食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 100	312 17.3	266 14.8	279 15.5	217 12.1	206 11.4	188 10.4	201 11.2	125 6.9
地域	首都圏		900 100	149 16.6	124 13.8	135 15.0	114 12.7	110 12.2	90 10.0	95 10.6	63 7.0
	京阪神圏		900 100	163 18.1	142 15.8	144 16.0	103 11.4	96 10.7	98 10.9	106 11.8	62 6.9
年代	20代		300 100	77 25.7	50 16.7	50 16.7	47 15.7	34 11.3	30 10.0	32 10.7	26 8.7
	30代		300 100	74 24.7	45 15.0	46 15.3	30 10.0	41 13.7	44 14.7	47 15.7	26 8.7
	40代		300 100	69 23.0	48 16.0	41 13.7	26 8.7	28 9.3	32 10.7	33 11.0	23 7.7
	50代		300 100	38 12.7	39 13.0	35 11.7	26 8.7	24 8.0	29 9.7	23 7.7	16 5.3
	60代		300 100	30 10.0	34 11.3	41 13.7	30 10.0	25 8.3	25 8.3	24 8.0	10 3.3
	70代以上		300 100	24 8.0	50 16.7	66 22.0	58 19.3	54 18.0	28 9.3	42 14.0	24 8.0

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント種 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	152 8.4	231 12.8	162 9.0	135 7.5	79 4.4	159 8.8	926 51.4
地域	首都圏		900 100	73 8.1	113 12.6	82 9.1	72 8.0	38 4.2	80 8.9	466 51.8
	京阪神圏		900 100	79 8.8	118 13.1	80 8.9	63 7.0	41 4.6	79 8.8	460 51.1
年代	20代		300 100	24 8.0	29 9.7	28 9.3	22 7.3	23 7.7	27 9.0	115 38.3
	30代		300 100	28 9.3	35 11.7	34 11.3	17 5.7	16 5.3	28 9.3	147 49.0
	40代		300 100	25 8.3	54 18.0	34 11.3	26 8.7	13 4.3	36 12.0	153 51.0
	50代		300 100	18 6.0	31 10.3	28 9.3	23 7.7	14 4.7	27 9.0	186 62.0
	60代		300 100	19 6.3	25 8.3	18 6.0	17 5.7	5 1.7	17 5.7	171 57.0
	70代以上		300 100	38 12.7	57 19.0	20 6.7	30 10.0	8 2.7	24 8.0	154 51.3

【2. 減った食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 100	147 8.2	226 12.6	170 9.4	207 11.5	194 10.8	256 14.2	189 10.5	155 8.6
地域	首都圏		900 100	67 7.4	119 13.2	80 8.9	98 10.9	86 9.6	119 13.2	94 10.4	71 7.9
	京阪神圏		900 100	80 8.9	107 11.9	90 10.0	109 12.1	108 12.0	137 15.2	95 10.6	84 9.3
年代	20代		300 100	14 4.7	39 13.0	21 7.0	24 8.0	25 8.3	34 11.3	36 12.0	28 9.3
	30代		300 100	14 4.7	39 13.0	25 8.3	33 11.0	27 9.0	35 11.7	27 9.0	21 7.0
	40代		300 100	20 6.7	42 14.0	34 11.3	41 13.7	35 11.7	54 18.0	32 10.7	26 8.7
	50代		300 100	25 8.3	34 11.3	32 10.7	41 13.7	36 12.0	43 14.3	36 12.0	24 8.0
	60代		300 100	29 9.7	33 11.0	28 9.3	29 9.7	33 11.0	43 14.3	25 8.3	30 10.0
	70代以上		300 100	45 15.0	39 13.0	30 10.0	39 13.0	38 12.7	47 15.7	33 11.0	26 8.7

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	139 7.7	142 7.9	317 17.6	229 12.7	330 18.3	255 14.2	875 48.6
地域	首都圏		900 100	67 7.4	68 7.6	146 16.2	109 12.1	176 19.6	126 14.0	450 50.0
	京阪神圏		900 100	72 8.0	74 8.2	171 19.0	120 13.3	154 17.1	129 14.3	425 47.2
年代	20代		300 100	17 5.7	22 7.3	43 14.3	23 7.7	29 9.7	32 10.7	129 43.0
	30代		300 100	19 6.3	22 7.3	45 15.0	32 10.7	43 14.3	32 10.7	151 50.3
	40代		300 100	31 10.3	23 7.7	51 17.0	40 13.3	66 22.0	41 13.7	144 48.0
	50代		300 100	20 6.7	27 9.0	49 16.3	41 13.7	57 19.0	44 14.7	163 54.3
	60代		300 100	27 9.0	25 8.3	54 18.0	43 14.3	65 21.7	46 15.3	153 51.0
	70代以上		300 100	25 8.3	23 7.7	75 25.0	50 16.7	70 23.3	60 20.0	135 45.0

Q11 下記の牛肉について、あなたはどの程度購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	313 17.4	536 29.8	417 23.2	392 21.8	76 4.2	28 1.6	38 2.1
地域	首都圏		900 100	150 16.7	260 28.9	209 23.2	197 21.9	43 4.8	18 2.0	23 2.6
	京阪神圏		900 100	163 18.1	276 30.7	208 23.1	195 21.7	33 3.7	10 1.1	15 1.7
年代	20代		300 100	63 21.0	65 21.7	75 25.0	75 25.0	13 4.3	4 1.3	5 1.7
	30代		300 100	53 17.7	78 26.0	65 21.7	72 24.0	14 4.7	7 2.3	11 3.7
	40代		300 100	52 17.3	70 23.3	78 26.0	72 24.0	16 5.3	5 1.7	7 2.3
	50代		300 100	64 21.3	92 30.7	55 18.3	71 23.7	10 3.3	4 1.3	4 1.3
	60代		300 100	37 12.3	109 36.3	81 27.0	50 16.7	10 3.3	5 1.7	8 2.7
	70代以上		300 100	44 14.7	122 40.7	63 21.0	52 17.3	13 4.3	3 1.0	3 1.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	137 7.6	456 25.3	483 26.8	523 29.1	105 5.8	33 1.8	63 3.5
地域	首都圏		900 100	64 7.1	238 26.4	236 26.2	259 28.8	55 6.1	17 1.9	31 3.4
	京阪神圏		900 100	73 8.1	218 24.2	247 27.4	264 29.3	50 5.6	16 1.8	32 3.6
年代	20代		300 100	33 11.0	78 26.0	74 24.7	87 29.0	19 6.3	3 1.0	6 2.0
	30代		300 100	30 10.0	75 25.0	80 26.7	77 25.7	15 5.0	9 3.0	14 4.7
	40代		300 100	21 7.0	66 22.0	72 24.0	101 33.7	22 7.3	6 2.0	12 4.0
	50代		300 100	28 9.3	83 27.7	82 27.3	80 26.7	13 4.3	7 2.3	7 2.3
	60代		300 100	11 3.7	74 24.7	88 29.3	94 31.3	15 5.0	7 2.3	11 3.7
	70代以上		300 100	14 4.7	80 26.7	87 29.0	84 28.0	21 7.0	1 0.3	13 4.3

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	75 4.2	230 12.8	397 22.1	613 34.1	222 12.3	98 5.4	165 9.2
地域	首都圏		900 100	40 4.4	128 14.2	204 22.7	308 34.2	111 12.3	39 4.3	70 7.8
	京阪神圏		900 100	35 3.9	102 11.3	193 21.4	305 33.9	111 12.3	59 6.6	95 10.6
年代	20代		300 100	18 6.0	47 15.7	68 22.7	110 36.7	28 9.3	9 3.0	20 6.7
	30代		300 100	21 7.0	49 16.3	64 21.3	105 35.0	25 8.3	13 4.3	23 7.7
	40代		300 100	14 4.7	37 12.3	65 21.7	105 35.0	45 15.0	11 3.7	23 7.7
	50代		300 100	14 4.7	37 12.3	77 25.7	109 36.3	27 9.0	12 4.0	24 8.0
	60代		300 100	7 2.3	33 11.0	63 21.0	100 33.3	36 12.0	26 8.7	35 11.7
	70代以上		300 100	1 0.3	27 9.0	60 20.0	84 28.0	61 20.3	27 9.0	40 13.3

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	76 4.2	260 14.4	441 24.5	605 33.6	208 11.6	69 3.8	141 7.8
地域	首都圏		900 100	39 4.3	145 16.1	234 26.0	295 32.8	97 10.8	33 3.7	57 6.3
	京阪神圏		900 100	37 4.1	115 12.8	207 23.0	310 34.4	111 12.3	36 4.0	84 9.3
年代	20代		300 100	20 6.7	50 16.7	67 22.3	104 34.7	31 10.3	8 2.7	20 6.7
	30代		300 100	20 6.7	52 17.3	73 24.3	105 35.0	23 7.7	6 2.0	21 7.0
	40代		300 100	15 5.0	42 14.0	61 20.3	108 36.0	42 14.0	9 3.0	23 7.7
	50代		300 100	13 4.3	45 15.0	85 28.3	106 35.3	22 7.3	9 3.0	20 6.7
	60代		300 100	6 2.0	42 14.0	84 28.0	96 32.0	31 10.3	16 5.3	25 8.3
	70代以上		300 100	2 0.7	29 9.7	71 23.7	86 28.7	59 19.7	21 7.0	32 10.7

Q12 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全体		1702 100	34 2.0	39 2.3	119 7.0	243 14.3	245 14.4	303 17.8	504 29.6	215 12.6
地域	首都圏	843 100	16 1.9	13 1.5	58 6.9	115 13.6	113 13.4	143 17.0	265 31.4	120 14.2
	京阪神圏	859 100	18 2.1	26 3.0	61 7.1	128 14.9	132 15.4	160 18.6	239 27.8	95 11.1
年代	20代	284 100	14 4.9	22 7.7	36 12.7	41 14.4	31 10.9	40 14.1	58 20.4	42 14.8
	30代	280 100	11 3.9	8 2.9	21 7.5	36 12.9	32 11.4	56 20.0	77 27.5	39 13.9
	40代	281 100	6 2.1	3 1.1	14 5.0	43 15.3	34 12.1	39 13.9	94 33.5	48 17.1
	50代	285 100	1 0.4	3 1.1	10 3.5	28 9.8	37 13.0	59 20.7	108 37.9	39 13.7
	60代	280 100	2 0.7	2 0.7	8 2.9	45 16.1	50 17.9	61 21.8	90 32.1	22 7.9
	70代以上	292 100	0 0.0	1 0.3	30 10.3	50 17.1	61 20.9	48 16.4	77 26.4	25 8.6

【2. 和牛以外の国産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全体		1702 100	19 1.1	36 2.1	68 4.0	233 13.7	289 17.0	340 20.0	487 28.6	230 13.5
地域	首都圏	843 100	6 0.7	20 2.4	25 3.0	106 12.6	125 14.8	174 20.6	262 31.1	125 14.8
	京阪神圏	859 100	13 1.5	16 1.9	43 5.0	127 14.8	164 19.1	166 19.3	225 26.2	105 12.2
年代	20代	284 100	8 2.8	21 7.4	27 9.5	44 15.5	39 13.7	44 15.5	56 19.7	45 15.8
	30代	280 100	5 1.8	12 4.3	10 3.6	40 14.3	44 15.7	58 20.7	78 27.9	33 11.8
	40代	281 100	3 1.1	2 0.7	8 2.8	33 11.7	52 18.5	52 18.5	78 27.8	53 18.9
	50代	285 100	1 0.4	1 0.4	8 2.8	25 8.8	43 15.1	69 24.2	109 38.2	29 10.2
	60代	280 100	2 0.7	0 0.0	8 2.9	29 10.4	53 18.9	66 23.6	85 30.4	37 13.2
	70代以上	292 100	0 0.0	0 0.0	7 2.4	62 21.2	58 19.9	51 17.5	81 27.7	33 11.3

【3. 和牛かどうかわからない国産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全体		1702 100	20 1.2	30 1.8	69 4.1	150 8.8	244 14.3	242 14.2	492 28.9	455 26.7
地域	首都圏	843 100	11 1.3	10 1.2	33 3.9	64 7.6	112 13.3	116 13.8	256 30.4	241 28.6
	京阪神圏	859 100	9 1.0	20 2.3	36 4.2	86 10.0	132 15.4	126 14.7	236 27.5	214 24.9
年代	20代	284 100	11 3.9	14 4.9	35 12.3	35 12.3	35 12.3	44 15.5	52 18.3	58 20.4
	30代	280 100	5 1.8	9 3.2	16 5.7	29 10.4	41 14.6	41 14.6	86 30.7	53 18.9
	40代	281 100	2 0.7	3 1.1	7 2.5	18 6.4	43 15.3	36 12.8	78 27.8	94 33.5
	50代	285 100	0 0.0	2 0.7	2 0.7	20 7.0	34 11.9	47 16.5	114 40.0	66 23.2
	60代	280 100	2 0.7	1 0.4	6 2.1	16 5.7	41 14.6	36 12.9	90 32.1	88 31.4
	70代以上	292 100	0 0.0	1 0.3	3 1.0	32 11.0	50 17.1	38 13.0	72 24.7	96 32.9

【4. アメリカ産牛肉】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1702 100	19 1.1	27 1.6	58 3.4	137 8.0	232 13.6	270 15.9	480 28.2	479 28.1
地域	首都圏	843 100	11 1.3	9 1.1	24 2.8	72 8.5	111 13.2	146 17.3	246 29.2	224 26.6
	京阪神圏	859 100	8 0.9	18 2.1	34 4.0	65 7.6	121 14.1	124 14.4	234 27.2	255 29.7
年代	20代	284 100	9 3.2	14 4.9	26 9.2	40 14.1	39 13.7	36 12.7	59 20.8	61 21.5
	30代	280 100	6 2.1	9 3.2	14 5.0	28 10.0	42 15.0	51 18.2	79 28.2	51 18.2
	40代	281 100	2 0.7	3 1.1	6 2.1	20 7.1	38 13.5	42 14.9	86 30.6	84 29.9
	50代	285 100	0 0.0	1 0.4	5 1.8	16 5.6	40 14.0	57 20.0	103 36.1	63 22.1
	60代	280 100	2 0.7	0 0.0	3 1.1	16 5.7	37 13.2	37 13.2	85 30.4	100 35.7
	70代以上	292 100	0 0.0	0 0.0	4 1.4	17 5.8	36 12.3	47 16.1	68 23.3	120 41.1

【5. オーストラリア産牛肉】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1702 100	23 1.4	26 1.5	66 3.9	133 7.8	238 14.0	282 16.6	502 29.5	432 25.4
地域	首都圏	843 100	11 1.3	10 1.2	30 3.6	68 8.1	124 14.7	152 18.0	251 29.8	197 23.4
	京阪神圏	859 100	12 1.4	16 1.9	36 4.2	65 7.6	114 13.3	130 15.1	251 29.2	235 27.4
年代	20代	284 100	11 3.9	13 4.6	29 10.2	37 13.0	36 12.7	39 13.7	56 19.7	63 22.2
	30代	280 100	6 2.1	9 3.2	17 6.1	34 12.1	40 14.3	42 15.0	81 28.9	51 18.2
	40代	281 100	4 1.4	2 0.7	9 3.2	17 6.0	36 12.8	47 16.7	89 31.7	77 27.4
	50代	285 100	0 0.0	1 0.4	5 1.8	11 3.9	41 14.4	57 20.0	111 38.9	59 20.7
	60代	280 100	2 0.7	1 0.4	4 1.4	17 6.1	42 15.0	42 15.0	89 31.8	83 29.6
	70代以上	292 100	0 0.0	0 0.0	2 0.7	17 5.8	43 14.7	55 18.8	76 26.0	99 33.9

Q13 以下に牛肉のイメージを表す言葉があります。各イメージについて、あなたがあてはまると思う牛肉を全てお選びください。

	度数 横%	全 体	食感	部位・栄養素	部位・栄養素	品質	品質	品質・アマミノル
			／柔らかい	／霜降り	／赤身が多い	／安全・安心	／高品質	／フィア／飼育環境がよい
(1) 国産和牛	1800 100	1114 61.9	1156 64.2	376 20.9	1184 65.8	1175 65.3	900 50.0	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	415 23.1	258 14.3	320 17.8	606 33.7	331 18.4	350 19.4	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	161 8.9	118 6.6	505 28.1	234 13.0	130 7.2	165 9.2	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	129 7.2	65 3.6	466 25.9	227 12.6	112 6.2	189 10.5	

	度数 横%	全 体	価格	価格	価格	味・風味	味・風味	利便性
			／高級	／価格が手頃	／特売	／おいしい	／赤身が美味しい	／和食に合う
(1) 国産和牛	1800 100	1267 70.4	147 8.2	185 10.3	1243 69.1	657 36.5	924 51.3	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	239 13.3	346 19.2	339 18.8	656 36.4	429 23.8	489 27.2	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	123 6.8	945 52.5	769 42.7	375 20.8	328 18.2	171 9.5	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	84 4.7	951 52.8	673 37.4	395 21.9	344 19.1	131 7.3	

	度数 横%	全 体	利便性	情緒	情緒	情緒
			／洋食に合う	／贅沢感がある	／シニア向き	／若者向き
(1) 国産和牛	1800 100	572 31.8	1200 66.7	600 33.3	225 12.5	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	434 24.1	264 14.7	298 16.6	248 13.8	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	615 34.2	124 6.9	138 7.7	584 32.4	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	549 30.5	88 4.9	114 6.3	481 26.7	

Q14 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	4倍を超える 価格でも国産 和牛を選ぶ	4倍高まで なら国産和牛 を選ぶ	3倍高まで なら国産和牛 を選ぶ	2倍高まで なら国産和牛 を選ぶ	8割高まで なら国産和牛 を選ぶ	5割高まで なら国産和牛 を選ぶ	2割高まで なら国産和牛 を選ぶ	同等の価格 なら国産和牛 を選ぶ	国産和牛 へのこだわり はない
全 体		1800 100	77 4.3	44 2.4	88 4.9	207 11.5	41 2.3	145 8.1	347 19.3	384 21.3	467 25.9
地域	首都圏	900 100	35 3.9	23 2.6	40 4.4	97 10.8	16 1.8	70 7.8	175 19.4	198 22.0	246 27.3
	京阪神圏	900 100	42 4.7	21 2.3	48 5.3	110 12.2	25 2.8	75 8.3	172 19.1	186 20.7	221 24.6
年代	20代	300 100	18 6.0	15 5.0	12 4.0	41 13.7	11 3.7	18 6.0	38 12.7	55 18.3	92 30.7
	30代	300 100	9 3.0	9 3.0	12 4.0	39 13.0	11 3.7	13 4.3	48 16.0	60 20.0	99 33.0
	40代	300 100	12 4.0	5 1.7	14 4.7	25 8.3	7 2.3	21 7.0	58 19.3	67 22.3	91 30.3
	50代	300 100	12 4.0	3 1.0	15 5.0	28 9.3	4 1.3	22 7.3	63 21.0	71 23.7	82 27.3
	60代	300 100	13 4.3	6 2.0	16 5.3	29 9.7	3 1.0	34 11.3	69 23.0	64 21.3	66 22.0
	70代以上	300 100	13 4.3	6 2.0	19 6.3	45 15.0	5 1.7	37 12.3	71 23.7	67 22.3	37 12.3

Q15 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	2倍を超える 価格でも和牛 以外の国産牛 肉を選ぶ	2倍高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	8割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	6割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	4割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	2割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	1割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	同等の価格 なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	国産への こだわりは ない
全 体		1800 100	88 4.9	95 5.3	45 2.5	58 3.2	126 7.0	306 17.0	184 10.2	421 23.4	477 26.5
地域	首都圏	900 100	44 4.9	42 4.7	21 2.3	29 3.2	51 5.7	147 16.3	98 10.9	218 24.2	250 27.8
	京阪神圏	900 100	44 4.9	53 5.9	24 2.7	29 3.2	75 8.3	159 17.7	86 9.6	203 22.6	227 25.2
年代	20代	300 100	15 5.0	14 4.7	16 5.3	20 6.7	29 9.7	40 13.3	27 9.0	55 18.3	84 28.0
	30代	300 100	11 3.7	18 6.0	15 5.0	12 4.0	12 4.0	40 13.3	26 8.7	71 23.7	95 31.7
	40代	300 100	12 4.0	12 4.0	2 0.7	8 2.7	21 7.0	50 16.7	25 8.3	80 26.7	90 30.0
	50代	300 100	15 5.0	13 4.3	5 1.7	7 2.3	14 4.7	47 15.7	39 13.0	74 24.7	86 28.7
	60代	300 100	12 4.0	18 6.0	3 1.0	6 2.0	23 7.7	63 21.0	40 13.3	66 22.0	69 23.0
	70代以上	300 100	23 7.7	20 6.7	4 1.3	5 1.7	27 9.0	66 22.0	27 9.0	75 25.0	53 17.7

Q16 あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、普段買っている「(和牛を含む)国産牛肉の価格帯(100gあたりの税込価格)」をお知らせ下さい。

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	99円以下	100～149円	150～199円	200～249円	250～299円	300～349円	350～399円	400～449円	450～499 円
全 体			1702 100	24 1.4	82 4.8	109 6.4	142 8.3	140 8.2	120 7.1	102 6.0	75 4.4	55 3.2
地域	首都圏		843 100	15 1.8	45 5.3	54 6.4	65 7.7	74 8.8	53 6.3	39 4.6	31 3.7	37 4.4
	京阪神圏		859 100	9 1.0	37 4.3	55 6.4	77 9.0	66 7.7	67 7.8	63 7.3	44 5.1	18 2.1
年代	20代		284 100	5 1.8	19 6.7	25 8.8	26 9.2	19 6.7	21 7.4	20 7.0	12 4.2	7 2.5
	30代		280 100	6 2.1	12 4.3	25 8.9	29 10.4	29 10.4	19 6.8	15 5.4	10 3.6	6 2.1
	40代		281 100	4 1.4	17 6.0	26 9.3	20 7.1	22 7.8	18 6.4	18 6.4	15 5.3	11 3.9
	50代		285 100	8 2.8	18 6.3	15 5.3	28 9.8	29 10.2	16 5.6	15 5.3	12 4.2	10 3.5
	60代		280 100	1 0.4	8 2.9	10 3.6	18 6.4	24 8.6	21 7.5	12 4.3	17 6.1	13 4.6
	70代以上		292 100	0 0.0	8 2.7	8 2.7	21 7.2	17 5.8	25 8.6	22 7.5	9 3.1	8 2.7

		度数 横%	全 体	500～549円	550～599円	600～649円	650～699円	700～749円	750～799円	800～849円	850～899円	900～949 円
全 体			1702 100	84 4.9	38 2.2	38 2.2	20 1.2	30 1.8	20 1.2	36 2.1	18 1.1	8 0.5
地域	首都圏		843 100	38 4.5	14 1.7	14 1.7	7 0.8	12 1.4	8 0.9	17 2.0	11 1.3	2 0.2
	京阪神圏		859 100	46 5.4	24 2.8	24 2.8	13 1.5	18 2.1	12 1.4	19 2.2	7 0.8	6 0.7
年代	20代		284 100	12 4.2	7 2.5	4 1.4	2 0.7	3 1.1	1 0.4	2 0.7	2 0.7	2 0.7
	30代		280 100	12 4.3	6 2.1	5 1.8	2 0.7	6 2.1	2 0.7	7 2.5	2 0.7	1 0.4
	40代		281 100	13 4.6	4 1.4	9 3.2	3 1.1	5 1.8	2 0.7	1 0.4	0 0.0	1 0.4
	50代		285 100	9 3.2	4 1.4	4 1.4	3 1.1	4 1.4	4 1.4	5 1.8	2 0.7	1 0.4
	60代		280 100	19 6.8	5 1.8	7 2.5	6 2.1	4 1.4	5 1.8	8 2.9	5 1.8	2 0.7
	70代以上		292 100	19 6.5	12 4.1	9 3.1	4 1.4	8 2.7	6 2.1	13 4.5	7 2.4	1 0.3

		度数 横%	全 体	950～999円	1000～ 1099円	1100～ 1199円	1200～ 1299円	1300～ 1399円	1400～ 1499円	1500円以上	購入価格を覚えていない- (和牛を含む)国産牛肉は 購入していない
全 体			1702 100	11 0.6	19 1.1	5 0.3	7 0.4	5 0.3	1 0.1	12 0.7	501 29.4
地域	首都圏		843 100	4 0.5	11 1.3	2 0.2	2 0.2	1 0.1	0 0.0	6 0.7	281 33.3
	京阪神圏		859 100	7 0.8	8 0.9	3 0.3	5 0.6	4 0.5	1 0.1	6 0.7	220 25.6
年代	20代		284 100	1 0.4	0 0.0	0 0.0	4 1.4	2 0.7	0 0.0	4 1.4	84 29.6
	30代		280 100	0 0.0	3 1.1	4 1.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	2 0.7	76 27.1
	40代		281 100	2 0.7	3 1.1	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	85 30.2
	50代		285 100	3 1.1	1 0.4	0 0.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0	2 0.7	90 31.6
	60代		280 100	1 0.4	2 0.7	1 0.4	0 0.0	3 1.1	0 0.0	3 1.1	85 30.4
	70代以上		292 100	4 1.4	10 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	81 27.7

Q17 牛肉について伺います。下記の原産地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	521 28.9	424 23.6	604 33.6	55 3.1	196 10.9
地域	首都圏		900 100	252 28.0	216 24.0	312 34.7	31 3.4	89 9.9
	京阪神圏		900 100	269 29.9	208 23.1	292 32.4	24 2.7	107 11.9
年代	20代		300 100	76 25.3	75 25.0	90 30.0	11 3.7	48 16.0
	30代		300 100	70 23.3	69 23.0	104 34.7	11 3.7	46 15.3
	40代		300 100	75 25.0	65 21.7	119 39.7	8 2.7	33 11.0
	50代		300 100	83 27.7	67 22.3	112 37.3	7 2.3	31 10.3
	60代		300 100	102 34.0	74 24.7	86 28.7	12 4.0	26 8.7
	70代以上		300 100	115 38.3	74 24.7	93 31.0	6 2.0	12 4.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	184 10.2	591 32.8	693 38.5	93 5.2	239 13.3
地域	首都圏		900 100	84 9.3	288 32.0	364 40.4	49 5.4	115 12.8
	京阪神圏		900 100	100 11.1	303 33.7	329 36.6	44 4.9	124 13.8
年代	20代		300 100	34 11.3	91 30.3	101 33.7	20 6.7	54 18.0
	30代		300 100	30 10.0	94 31.3	113 37.7	14 4.7	49 16.3
	40代		300 100	26 8.7	89 29.7	119 39.7	20 6.7	46 15.3
	50代		300 100	31 10.3	96 32.0	127 42.3	11 3.7	35 11.7
	60代		300 100	33 11.0	108 36.0	108 36.0	14 4.7	37 12.3
	70代以上		300 100	30 10.0	113 37.7	125 41.7	14 4.7	18 6.0

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	38 2.1	258 14.3	848 47.1	372 20.7	284 15.8
地域	首都圏		900 100	22 2.4	140 15.6	440 48.9	165 18.3	133 14.8
	京阪神圏		900 100	16 1.8	118 13.1	408 45.3	207 23.0	151 16.8
年代	20代		300 100	14 4.7	58 19.3	127 42.3	38 12.7	63 21.0
	30代		300 100	10 3.3	48 16.0	139 46.3	45 15.0	58 19.3
	40代		300 100	8 2.7	36 12.0	145 48.3	59 19.7	52 17.3
	50代		300 100	1 0.3	45 15.0	162 54.0	44 14.7	48 16.0
	60代		300 100	3 1.0	41 13.7	134 44.7	82 27.3	40 13.3
	70代以上		300 100	2 0.7	30 10.0	141 47.0	104 34.7	23 7.7

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	34 1.9	262 14.6	933 51.8	298 16.6	273 15.2
地域	首都圏		900 100	21 2.3	150 16.7	477 53.0	128 14.2	124 13.8
	京阪神圏		900 100	13 1.4	112 12.4	456 50.7	170 18.9	149 16.6
年代	20代		300 100	13 4.3	50 16.7	136 45.3	42 14.0	59 19.7
	30代		300 100	11 3.7	48 16.0	144 48.0	42 14.0	55 18.3
	40代		300 100	4 1.3	40 13.3	153 51.0	53 17.7	50 16.7
	50代		300 100	2 0.7	44 14.7	177 59.0	27 9.0	50 16.7
	60代		300 100	3 1.0	47 15.7	155 51.7	57 19.0	38 12.7
	70代以上		300 100	1 0.3	33 11.0	168 56.0	77 25.7	21 7.0

【5. カナダ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	26 1.4	229 12.7	806 44.8	357 19.8	382 21.2
地域	首都圏		900 100	14 1.6	129 14.3	428 47.6	150 16.7	179 19.9
	京阪神圏		900 100	12 1.3	100 11.1	378 42.0	207 23.0	203 22.6
年代	20代		300 100	10 3.3	57 19.0	111 37.0	47 15.7	75 25.0
	30代		300 100	7 2.3	44 14.7	127 42.3	54 18.0	68 22.7
	40代		300 100	6 2.0	28 9.3	139 46.3	56 18.7	71 23.7
	50代		300 100	0 0.0	36 12.0	160 53.3	41 13.7	63 21.0
	60代		300 100	2 0.7	38 12.7	133 44.3	72 24.0	55 18.3
	70代以上		300 100	1 0.3	26 8.7	136 45.3	87 29.0	50 16.7

【6. ニュージーランド産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	35 1.9	234 13.0	802 44.6	351 19.5	378 21.0
地域	首都圏		900 100	20 2.2	129 14.3	422 46.9	151 16.8	178 19.8
	京阪神圏		900 100	15 1.7	105 11.7	380 42.2	200 22.2	200 22.2
年代	20代		300 100	17 5.7	46 15.3	111 37.0	48 16.0	78 26.0
	30代		300 100	8 2.7	44 14.7	128 42.7	51 17.0	69 23.0
	40代		300 100	6 2.0	30 10.0	130 43.3	60 20.0	74 24.7
	50代		300 100	1 0.3	40 13.3	157 52.3	38 12.7	64 21.3
	60代		300 100	2 0.7	42 14.0	137 45.7	70 23.3	49 16.3
	70代以上		300 100	1 0.3	32 10.7	139 46.3	84 28.0	44 14.7

【7. メキシコ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	24 1.3	154 8.6	553 30.7	572 31.8	497 27.6
地域	首都圏		900 100	13 1.4	92 10.2	297 33.0	245 27.2	253 28.1
	京阪神圏		900 100	11 1.2	62 6.9	256 28.4	327 36.3	244 27.1
年代	20代		300 100	10 3.3	42 14.0	106 35.3	59 19.7	83 27.7
	30代		300 100	6 2.0	38 12.7	87 29.0	82 27.3	87 29.0
	40代		300 100	5 1.7	16 5.3	97 32.3	99 33.0	83 27.7
	50代		300 100	1 0.3	19 6.3	119 39.7	76 25.3	85 28.3
	60代		300 100	1 0.3	22 7.3	74 24.7	123 41.0	80 26.7
	70代以上		300 100	1 0.3	17 5.7	70 23.3	133 44.3	79 26.3

【8. ウルグアイ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	28 1.6	146 8.1	499 27.7	610 33.9	517 28.7
地域	首都圏		900 100	18 2.0	76 8.4	272 30.2	272 30.2	262 29.1
	京阪神圏		900 100	10 1.1	70 7.8	227 25.2	338 37.6	255 28.3
年代	20代		300 100	9 3.0	40 13.3	99 33.0	71 23.7	81 27.0
	30代		300 100	11 3.7	32 10.7	81 27.0	89 29.7	87 29.0
	40代		300 100	5 1.7	22 7.3	82 27.3	99 33.0	92 30.7
	50代		300 100	0 0.0	19 6.3	109 36.3	87 29.0	85 28.3
	60代		300 100	1 0.3	20 6.7	63 21.0	132 44.0	84 28.0
	70代以上		300 100	2 0.7	13 4.3	65 21.7	132 44.0	88 29.3

【9. アルゼンチン産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	30 1.7	151 8.4	517 28.7	581 32.3	521 28.9
地域	首都圏		900 100	16 1.8	79 8.8	283 31.4	259 28.8	263 29.2
	京阪神圏		900 100	14 1.6	72 8.0	234 26.0	322 35.8	258 28.7
年代	20代		300 100	12 4.0	45 15.0	95 31.7	66 22.0	82 27.3
	30代		300 100	8 2.7	37 12.3	87 29.0	79 26.3	89 29.7
	40代		300 100	7 2.3	18 6.0	84 28.0	99 33.0	92 30.7
	50代		300 100	0 0.0	19 6.3	113 37.7	82 27.3	86 28.7
	60代		300 100	2 0.7	19 6.3	68 22.7	128 42.7	83 27.7
	70代以上		300 100	1 0.3	13 4.3	70 23.3	127 42.3	89 29.7

Q18 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	527 29.3	547 30.4	523 29.1	40 2.2	163 9.1
地域	首都圏		900 100	261 29.0	273 30.3	271 30.1	18 2.0	77 8.6
	京阪神圏		900 100	266 29.6	274 30.4	252 28.0	22 2.4	86 9.6
年代	20代		300 100	67 22.3	86 28.7	92 30.7	14 4.7	41 13.7
	30代		300 100	71 23.7	87 29.0	94 31.3	8 2.7	40 13.3
	40代		300 100	71 23.7	90 30.0	109 36.3	6 2.0	24 8.0
	50代		300 100	83 27.7	94 31.3	89 29.7	4 1.3	30 10.0
	60代		300 100	111 37.0	90 30.0	73 24.3	5 1.7	21 7.0
	70代以上		300 100	124 41.3	100 33.3	66 22.0	3 1.0	7 2.3

【2. アメリカ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	34 1.9	315 17.5	781 43.4	382 21.2	288 16.0
地域	首都圏		900 100	16 1.8	164 18.2	415 46.1	174 19.3	131 14.6
	京阪神圏		900 100	18 2.0	151 16.8	366 40.7	208 23.1	157 17.4
年代	20代		300 100	11 3.7	67 22.3	118 39.3	45 15.0	59 19.7
	30代		300 100	11 3.7	67 22.3	118 39.3	46 15.3	58 19.3
	40代		300 100	4 1.3	38 12.7	158 52.7	53 17.7	47 15.7
	50代		300 100	2 0.7	51 17.0	149 49.7	50 16.7	48 16.0
	60代		300 100	4 1.3	49 16.3	120 40.0	87 29.0	40 13.3
	70代以上		300 100	2 0.7	43 14.3	118 39.3	101 33.7	36 12.0

【3. カナダ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	28 1.6	275 15.3	775 43.1	393 21.8	329 18.3
地域	首都圏		900 100	15 1.7	149 16.6	411 45.7	174 19.3	151 16.8
	京阪神圏		900 100	13 1.4	126 14.0	364 40.4	219 24.3	178 19.8
年代	20代		300 100	13 4.3	60 20.0	109 36.3	52 17.3	66 22.0
	30代		300 100	8 2.7	55 18.3	122 40.7	55 18.3	60 20.0
	40代		300 100	4 1.3	30 10.0	153 51.0	54 18.0	59 19.7
	50代		300 100	1 0.3	44 14.7	152 50.7	51 17.0	52 17.3
	60代		300 100	1 0.3	50 16.7	118 39.3	87 29.0	44 14.7
	70代以上		300 100	1 0.3	36 12.0	121 40.3	94 31.3	48 16.0

【4. スペイン産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	33 1.8	239 13.3	680 37.8	450 25.0	398 22.1
地域	首都圏		900 100	19 2.1	128 14.2	354 39.3	203 22.6	196 21.8
	京阪神圏		900 100	14 1.6	111 12.3	326 36.2	247 27.4	202 22.4
年代	20代		300 100	14 4.7	57 19.0	106 35.3	53 17.7	70 23.3
	30代		300 100	10 3.3	42 14.0	109 36.3	66 22.0	73 24.3
	40代		300 100	4 1.3	30 10.0	125 41.7	72 24.0	69 23.0
	50代		300 100	1 0.3	41 13.7	136 45.3	62 20.7	60 20.0
	60代		300 100	3 1.0	43 14.3	101 33.7	92 30.7	61 20.3
	70代以上		300 100	1 0.3	26 8.7	103 34.3	105 35.0	65 21.7

【5. メキシコ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	29 1.6	175 9.7	602 33.4	541 30.1	453 25.2
地域	首都圏		900 100	15 1.7	87 9.7	332 36.9	242 26.9	224 24.9
	京阪神圏		900 100	14 1.6	88 9.8	270 30.0	299 33.2	229 25.4
年代	20代		300 100	13 4.3	46 15.3	107 35.7	61 20.3	73 24.3
	30代		300 100	10 3.3	33 11.0	102 34.0	73 24.3	82 27.3
	40代		300 100	4 1.3	19 6.3	112 37.3	89 29.7	76 25.3
	50代		300 100	0 0.0	33 11.0	117 39.0	75 25.0	75 25.0
	60代		300 100	1 0.3	27 9.0	86 28.7	116 38.7	70 23.3
	70代以上		300 100	1 0.3	17 5.7	78 26.0	127 42.3	77 25.7

【6. チリ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	26 1.4	157 8.7	554 30.8	573 31.8	490 27.2
地域	首都圏		900 100	11 1.2	75 8.3	316 35.1	258 28.7	240 26.7
	京阪神圏		900 100	15 1.7	82 9.1	238 26.4	315 35.0	250 27.8
年代	20代		300 100	12 4.0	45 15.0	97 32.3	69 23.0	77 25.7
	30代		300 100	7 2.3	36 12.0	89 29.7	82 27.3	86 28.7
	40代		300 100	4 1.3	16 5.3	99 33.0	97 32.3	84 28.0
	50代		300 100	1 0.3	23 7.7	113 37.7	79 26.3	84 28.0
	60代		300 100	1 0.3	23 7.7	83 27.7	118 39.3	75 25.0
	70代以上		300 100	1 0.3	14 4.7	73 24.3	128 42.7	84 28.0

【7. デンマーク産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	28 1.6	181 10.1	624 34.7	498 27.7	469 26.1
地域	首都圏		900 100	16 1.8	93 10.3	344 38.2	219 24.3	228 25.3
	京阪神圏		900 100	12 1.3	88 9.8	280 31.1	279 31.0	241 26.8
年代	20代		300 100	12 4.0	50 16.7	101 33.7	63 21.0	74 24.7
	30代		300 100	8 2.7	41 13.7	95 31.7	71 23.7	85 28.3
	40代		300 100	3 1.0	18 6.0	116 38.7	86 28.7	77 25.7
	50代		300 100	1 0.3	26 8.7	125 41.7	68 22.7	80 26.7
	60代		300 100	3 1.0	31 10.3	98 32.7	97 32.3	71 23.7
	70代以上		300 100	1 0.3	15 5.0	89 29.7	113 37.7	82 27.3

Q19 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	575 31.9	522 29.0	497 27.6	48 2.7	158 8.8
地域	首都圏	900 100	276 30.7	260 28.9	262 29.1	26 2.9	76 8.4
	京阪神圏	900 100	299 33.2	262 29.1	235 26.1	22 2.4	82 9.1
年代	20代	300 100	74 24.7	87 29.0	92 30.7	12 4.0	35 11.7
	30代	300 100	74 24.7	85 28.3	94 31.3	8 2.7	39 13.0
	40代	300 100	81 27.0	75 25.0	107 35.7	10 3.3	27 9.0
	50代	300 100	96 32.0	92 30.7	80 26.7	2 0.7	30 10.0
	60代	300 100	114 38.0	98 32.7	63 21.0	7 2.3	18 6.0
	70代以上	300 100	136 45.3	85 28.3	61 20.3	9 3.0	9 3.0

【2. アメリカ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	31 1.7	249 13.8	679 37.7	497 27.6	344 19.1
地域	首都圏	900 100	12 1.3	129 14.3	361 40.1	231 25.7	167 18.6
	京阪神圏	900 100	19 2.1	120 13.3	318 35.3	266 29.6	177 19.7
年代	20代	300 100	14 4.7	65 21.7	116 38.7	45 15.0	60 20.0
	30代	300 100	7 2.3	54 18.0	107 35.7	68 22.7	64 21.3
	40代	300 100	6 2.0	27 9.0	124 41.3	87 29.0	56 18.7
	50代	300 100	1 0.3	41 13.7	132 44.0	68 22.7	58 19.3
	60代	300 100	2 0.7	39 13.0	94 31.3	111 37.0	54 18.0
	70代以上	300 100	1 0.3	23 7.7	106 35.3	118 39.3	52 17.3

【3. ブラジル産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	31 1.7	181 10.1	625 34.7	606 33.7	357 19.8
地域	首都圏	900 100	16 1.8	92 10.2	335 37.2	277 30.8	180 20.0
	京阪神圏	900 100	15 1.7	89 9.9	290 32.2	329 36.6	177 19.7
年代	20代	300 100	14 4.7	47 15.7	109 36.3	72 24.0	58 19.3
	30代	300 100	10 3.3	38 12.7	100 33.3	85 28.3	67 22.3
	40代	300 100	3 1.0	22 7.3	109 36.3	106 35.3	60 20.0
	50代	300 100	2 0.7	23 7.7	124 41.3	92 30.7	59 19.7
	60代	300 100	1 0.3	32 10.7	86 28.7	126 42.0	55 18.3
	70代以上	300 100	1 0.3	19 6.3	97 32.3	125 41.7	58 19.3

【4. タイ産鶏肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800	30	159	566	645	400
			100	1.7	8.8	31.4	35.8	22.2
地域	首都圏		900	17	74	317	299	193
			100	1.9	8.2	35.2	33.2	21.4
	京阪神圏		900	13	85	249	346	207
			100	1.4	9.4	27.7	38.4	23.0
年代	20代		300	15	39	105	77	64
			100	5.0	13.0	35.0	25.7	21.3
	30代		300	6	39	88	90	77
			100	2.0	13.0	29.3	30.0	25.7
	40代		300	4	21	94	110	71
			100	1.3	7.0	31.3	36.7	23.7
	50代		300	2	21	118	90	69
		100	0.7	7.0	39.3	30.0	23.0	
60代		300	1	23	81	137	58	
		100	0.3	7.7	27.0	45.7	19.3	
70代以上		300	2	16	80	141	61	
		100	0.7	5.3	26.7	47.0	20.3	

Q20 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	64 3.6	129 7.2	518 28.8	456 25.3	633 35.2
地域	首都圏	900 100	26 2.9	63 7.0	259 28.8	226 25.1	326 36.2
	京阪神圏	900 100	38 4.2	66 7.3	259 28.8	230 25.6	307 34.1
年代	20代	300 100	21 7.0	39 13.0	107 35.7	56 18.7	77 25.7
	30代	300 100	16 5.3	26 8.7	104 34.7	61 20.3	93 31.0
	40代	300 100	8 2.7	26 8.7	101 33.7	64 21.3	101 33.7
	50代	300 100	7 2.3	18 6.0	85 28.3	87 29.0	103 34.3
	60代	300 100	8 2.7	14 4.7	65 21.7	98 32.7	115 38.3
	70代以上	300 100	4 1.3	6 2.0	56 18.7	90 30.0	144 48.0

【2. パン】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	73 4.1	189 10.5	575 31.9	444 24.7	519 28.8
地域	首都圏	900 100	30 3.3	95 10.6	283 31.4	224 24.9	268 29.8
	京阪神圏	900 100	43 4.8	94 10.4	292 32.4	220 24.4	251 27.9
年代	20代	300 100	13 4.3	46 15.3	112 37.3	59 19.7	70 23.3
	30代	300 100	15 5.0	37 12.3	116 38.7	53 17.7	79 26.3
	40代	300 100	13 4.3	37 12.3	102 34.0	62 20.7	86 28.7
	50代	300 100	12 4.0	26 8.7	98 32.7	81 27.0	83 27.7
	60代	300 100	14 4.7	26 8.7	80 26.7	92 30.7	88 29.3
	70代以上	300 100	6 2.0	17 5.7	67 22.3	97 32.3	113 37.7

【3. 野菜】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	64 3.6	178 9.9	613 34.1	458 25.4	487 27.1
地域	首都圏	900 100	30 3.3	82 9.1	321 35.7	215 23.9	252 28.0
	京阪神圏	900 100	34 3.8	96 10.7	292 32.4	243 27.0	235 26.1
年代	20代	300 100	16 5.3	51 17.0	111 37.0	59 19.7	63 21.0
	30代	300 100	11 3.7	35 11.7	125 41.7	49 16.3	80 26.7
	40代	300 100	16 5.3	24 8.0	123 41.0	63 21.0	74 24.7
	50代	300 100	9 3.0	25 8.3	102 34.0	83 27.7	81 27.0
	60代	300 100	8 2.7	26 8.7	85 28.3	93 31.0	88 29.3
	70代以上	300 100	4 1.3	17 5.7	67 22.3	111 37.0	101 33.7

【4. 果物】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	50 2.8	182 10.1	622 34.6	452 25.1	494 27.4
地域	首都圏		900 100	22 2.4	92 10.2	307 34.1	222 24.7	257 28.6
	京阪神圏		900 100	28 3.1	90 10.0	315 35.0	230 25.6	237 26.3
年代	20代		300 100	10 3.3	51 17.0	118 39.3	52 17.3	69 23.0
	30代		300 100	10 3.3	37 12.3	123 41.0	57 19.0	73 24.3
	40代		300 100	11 3.7	29 9.7	118 39.3	61 20.3	81 27.0
	50代		300 100	9 3.0	22 7.3	105 35.0	82 27.3	82 27.3
	60代		300 100	7 2.3	28 9.3	83 27.7	97 32.3	85 28.3
	70代以上		300 100	3 1.0	15 5.0	75 25.0	103 34.3	104 34.7

【5. 魚介】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	68 3.8	253 14.1	633 35.2	425 23.6	421 23.4
地域	首都圏		900 100	31 3.4	127 14.1	316 35.1	201 22.3	225 25.0
	京阪神圏		900 100	37 4.1	126 14.0	317 35.2	224 24.9	196 21.8
年代	20代		300 100	18 6.0	48 16.0	124 41.3	54 18.0	56 18.7
	30代		300 100	8 2.7	46 15.3	129 43.0	53 17.7	64 21.3
	40代		300 100	17 5.7	46 15.3	118 39.3	56 18.7	63 21.0
	50代		300 100	12 4.0	41 13.7	104 34.7	74 24.7	69 23.0
	60代		300 100	9 3.0	43 14.3	85 28.3	86 28.7	77 25.7
	70代以上		300 100	4 1.3	29 9.7	73 24.3	102 34.0	92 30.7

【6. 牛肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	77 4.3	231 12.8	635 35.3	431 23.9	426 23.7
地域	首都圏		900 100	37 4.1	114 12.7	318 35.3	211 23.4	220 24.4
	京阪神圏		900 100	40 4.4	117 13.0	317 35.2	220 24.4	206 22.9
年代	20代		300 100	17 5.7	60 20.0	114 38.0	47 15.7	62 20.7
	30代		300 100	15 5.0	47 15.7	119 39.7	53 17.7	66 22.0
	40代		300 100	16 5.3	45 15.0	120 40.0	56 18.7	63 21.0
	50代		300 100	10 3.3	31 10.3	113 37.7	72 24.0	74 24.7
	60代		300 100	13 4.3	28 9.3	90 30.0	102 34.0	67 22.3
	70代以上		300 100	6 2.0	20 6.7	79 26.3	101 33.7	94 31.3

【7. 豚肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	73 4.1	204 11.3	664 36.9	434 24.1	425 23.6
地域	首都圏		900 100	30 3.3	102 11.3	337 37.4	202 22.4	229 25.4
	京阪神圏		900 100	43 4.8	102 11.3	327 36.3	232 25.8	196 21.8
年代	20代		300 100	22 7.3	47 15.7	132 44.0	43 14.3	56 18.7
	30代		300 100	13 4.3	40 13.3	132 44.0	48 16.0	67 22.3
	40代		300 100	14 4.7	37 12.3	124 41.3	60 20.0	65 21.7
	50代		300 100	8 2.7	30 10.0	108 36.0	79 26.3	75 25.0
	60代		300 100	13 4.3	28 9.3	89 29.7	102 34.0	68 22.7
	70代以上		300 100	3 1.0	22 7.3	79 26.3	102 34.0	94 31.3

【8. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	71 3.9	247 13.7	641 35.6	424 23.6	417 23.2
地域	首都圏		900 100	32 3.6	122 13.6	319 35.4	208 23.1	219 24.3
	京阪神圏		900 100	39 4.3	125 13.9	322 35.8	216 24.0	198 22.0
年代	20代		300 100	19 6.3	64 21.3	120 40.0	37 12.3	60 20.0
	30代		300 100	15 5.0	46 15.3	119 39.7	58 19.3	62 20.7
	40代		300 100	13 4.3	45 15.0	120 40.0	58 19.3	64 21.3
	50代		300 100	9 3.0	32 10.7	110 36.7	74 24.7	75 25.0
	60代		300 100	13 4.3	34 11.3	91 30.3	98 32.7	64 21.3
	70代以上		300 100	2 0.7	26 8.7	81 27.0	99 33.0	92 30.7

【9. 卵】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	75 4.2	207 11.5	590 32.8	437 24.3	491 27.3
地域	首都圏		900 100	36 4.0	102 11.3	287 31.9	219 24.3	256 28.4
	京阪神圏		900 100	39 4.3	105 11.7	303 33.7	218 24.2	235 26.1
年代	20代		300 100	20 6.7	55 18.3	105 35.0	57 19.0	63 21.0
	30代		300 100	14 4.7	45 15.0	113 37.7	56 18.7	72 24.0
	40代		300 100	13 4.3	36 12.0	116 38.7	58 19.3	77 25.7
	50代		300 100	12 4.0	29 9.7	102 34.0	76 25.3	81 27.0
	60代		300 100	11 3.7	25 8.3	84 28.0	92 30.7	88 29.3
	70代以上		300 100	5 1.7	17 5.7	70 23.3	98 32.7	110 36.7

【10. 牛乳】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	69 3.8	178 9.9	607 33.7	450 25.0	496 27.6
地域	首都圏		900 100	37 4.1	88 9.8	298 33.1	219 24.3	258 28.7
	京阪神圏		900 100	32 3.6	90 10.0	309 34.3	231 25.7	238 26.4
年代	20代		300 100	18 6.0	52 17.3	112 37.3	53 17.7	65 21.7
	30代		300 100	15 5.0	34 11.3	120 40.0	60 20.0	71 23.7
	40代		300 100	11 3.7	32 10.7	113 37.7	66 22.0	78 26.0
	50代		300 100	12 4.0	22 7.3	108 36.0	74 24.7	84 28.0
	60代		300 100	9 3.0	23 7.7	84 28.0	97 32.3	87 29.0
	70代以上		300 100	4 1.3	15 5.0	70 23.3	100 33.3	111 37.0

【11. 食肉加工品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	123 6.8	293 16.3	630 35.0	372 20.7	382 21.2
地域	首都圏		900 100	61 6.8	136 15.1	315 35.0	189 21.0	199 22.1
	京阪神圏		900 100	62 6.9	157 17.4	315 35.0	183 20.3	183 20.3
年代	20代		300 100	17 5.7	54 18.0	114 38.0	55 18.3	60 20.0
	30代		300 100	24 8.0	47 15.7	123 41.0	44 14.7	62 20.7
	40代		300 100	26 8.7	51 17.0	115 38.3	44 14.7	64 21.3
	50代		300 100	21 7.0	47 15.7	100 33.3	72 24.0	60 20.0
	60代		300 100	21 7.0	54 18.0	91 30.3	75 25.0	59 19.7
	70代以上		300 100	14 4.7	40 13.3	87 29.0	82 27.3	77 25.7

【12. 乳製品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	64 3.6	178 9.9	662 36.8	441 24.5	455 25.3
地域	首都圏		900 100	27 3.0	95 10.6	323 35.9	218 24.2	237 26.3
	京阪神圏		900 100	37 4.1	83 9.2	339 37.7	223 24.8	218 24.2
年代	20代		300 100	14 4.7	37 12.3	128 42.7	53 17.7	68 22.7
	30代		300 100	15 5.0	38 12.7	117 39.0	58 19.3	72 24.0
	40代		300 100	11 3.7	34 11.3	125 41.7	58 19.3	72 24.0
	50代		300 100	7 2.3	26 8.7	110 36.7	86 28.7	71 23.7
	60代		300 100	11 3.7	26 8.7	100 33.3	88 29.3	75 25.0
	70代以上		300 100	6 2.0	17 5.7	82 27.3	98 32.7	97 32.3

【13. 大豆ミート食品類

(ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	76 4.2	215 11.9	706 39.2	385 21.4	418 23.2
地域	首都圏	900 100	36 4.0	113 12.6	345 38.3	186 20.7	220 24.4
	京阪神圏	900 100	40 4.4	102 11.3	361 40.1	199 22.1	198 22.0
年代	20代	300 100	10 3.3	46 15.3	115 38.3	53 17.7	76 25.3
	30代	300 100	15 5.0	37 12.3	130 43.3	45 15.0	73 24.3
	40代	300 100	16 5.3	39 13.0	127 42.3	49 16.3	69 23.0
	50代	300 100	13 4.3	34 11.3	115 38.3	74 24.7	64 21.3
	60代	300 100	15 5.0	33 11.0	110 36.7	79 26.3	63 21.0
	70代以上	300 100	7 2.3	26 8.7	109 36.3	85 28.3	73 24.3

【14. 冷凍食品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	79 4.4	232 12.9	662 36.8	408 22.7	419 23.3
地域	首都圏	900 100	38 4.2	119 13.2	319 35.4	201 22.3	223 24.8
	京阪神圏	900 100	41 4.6	113 12.6	343 38.1	207 23.0	196 21.8
年代	20代	300 100	17 5.7	49 16.3	109 36.3	54 18.0	71 23.7
	30代	300 100	15 5.0	39 13.0	121 40.3	58 19.3	67 22.3
	40代	300 100	17 5.7	42 14.0	119 39.7	54 18.0	68 22.7
	50代	300 100	9 3.0	34 11.3	116 38.7	76 25.3	65 21.7
	60代	300 100	15 5.0	40 13.3	103 34.3	80 26.7	62 20.7
	70代以上	300 100	6 2.0	28 9.3	94 31.3	86 28.7	86 28.7

【15. インスタント麺（カップ麺・袋麺等）】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	130 7.2	266 14.8	649 36.1	363 20.2	392 21.8
地域	首都圏	900 100	63 7.0	129 14.3	321 35.7	177 19.7	210 23.3
	京阪神圏	900 100	67 7.4	137 15.2	328 36.4	186 20.7	182 20.2
年代	20代	300 100	17 5.7	54 18.0	111 37.0	52 17.3	66 22.0
	30代	300 100	28 9.3	41 13.7	123 41.0	45 15.0	63 21.0
	40代	300 100	27 9.0	41 13.7	110 36.7	58 19.3	64 21.3
	50代	300 100	20 6.7	41 13.7	120 40.0	62 20.7	57 19.0
	60代	300 100	21 7.0	55 18.3	92 30.7	68 22.7	64 21.3
	70代以上	300 100	17 5.7	34 11.3	93 31.0	78 26.0	78 26.0

【16. 弁当・惣菜類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	121 6.7	281 15.6	694 38.6	334 18.6	370 20.6
地域	首都圏		900 100	57 6.3	142 15.8	336 37.3	165 18.3	200 22.2
	京阪神圏		900 100	64 7.1	139 15.4	358 39.8	169 18.8	170 18.9
年代	20代		300 100	18 6.0	58 19.3	112 37.3	52 17.3	60 20.0
	30代		300 100	19 6.3	40 13.3	142 47.3	41 13.7	58 19.3
	40代		300 100	27 9.0	46 15.3	124 41.3	44 14.7	59 19.7
	50代		300 100	19 6.3	44 14.7	116 38.7	61 20.3	60 20.0
	60代		300 100	25 8.3	49 16.3	102 34.0	63 21.0	61 20.3
	70代以上		300 100	13 4.3	44 14.7	98 32.7	73 24.3	72 24.0

【17. ファストフード】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	159 8.8	316 17.6	667 37.1	308 17.1	350 19.4
地域	首都圏		900 100	84 9.3	146 16.2	321 35.7	161 17.9	188 20.9
	京阪神圏		900 100	75 8.3	170 18.9	346 38.4	147 16.3	162 18.0
年代	20代		300 100	21 7.0	61 20.3	111 37.0	46 15.3	61 20.3
	30代		300 100	22 7.3	48 16.0	133 44.3	37 12.3	60 20.0
	40代		300 100	32 10.7	52 17.3	118 39.3	46 15.3	52 17.3
	50代		300 100	23 7.7	50 16.7	116 38.7	58 19.3	53 17.7
	60代		300 100	34 11.3	59 19.7	100 33.3	50 16.7	57 19.0
	70代以上		300 100	27 9.0	46 15.3	89 29.7	71 23.7	67 22.3

【18. 菓子類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	99 5.5	239 13.3	670 37.2	365 20.3	427 23.7
地域	首都圏		900 100	51 5.7	117 13.0	323 35.9	187 20.8	222 24.7
	京阪神圏		900 100	48 5.3	122 13.6	347 38.6	178 19.8	205 22.8
年代	20代		300 100	16 5.3	51 17.0	112 37.3	51 17.0	70 23.3
	30代		300 100	18 6.0	47 15.7	125 41.7	43 14.3	67 22.3
	40代		300 100	20 6.7	38 12.7	130 43.3	45 15.0	67 22.3
	50代		300 100	18 6.0	34 11.3	115 38.3	69 23.0	64 21.3
	60代		300 100	16 5.3	44 14.7	94 31.3	73 24.3	73 24.3
	70代以上		300 100	11 3.7	25 8.3	94 31.3	84 28.0	86 28.7

Q21 次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	198 11.0	501 27.8	612 34.0	319 17.7	170 9.4
地域	首都圏		900 100	101 11.2	234 26.0	317 35.2	163 18.1	85 9.4
	京阪神圏		900 100	97 10.8	267 29.7	295 32.8	156 17.3	85 9.4
年代	20代		300 100	21 7.0	66 22.0	123 41.0	56 18.7	34 11.3
	30代		300 100	24 8.0	81 27.0	112 37.3	50 16.7	33 11.0
	40代		300 100	29 9.7	70 23.3	94 31.3	62 20.7	45 15.0
	50代		300 100	32 10.7	89 29.7	110 36.7	43 14.3	26 8.7
	60代		300 100	40 13.3	98 32.7	89 29.7	51 17.0	22 7.3
	70代以上		300 100	52 17.3	97 32.3	84 28.0	57 19.0	10 3.3

【2. 食肉中の残留動物薬】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	213 11.8	498 27.7	612 34.0	306 17.0	171 9.5
地域	首都圏		900 100	104 11.6	237 26.3	313 34.8	157 17.4	89 9.9
	京阪神圏		900 100	109 12.1	261 29.0	299 33.2	149 16.6	82 9.1
年代	20代		300 100	22 7.3	88 29.3	94 31.3	60 20.0	36 12.0
	30代		300 100	24 8.0	81 27.0	117 39.0	47 15.7	31 10.3
	40代		300 100	27 9.0	65 21.7	106 35.3	54 18.0	48 16.0
	50代		300 100	37 12.3	79 26.3	115 38.3	44 14.7	25 8.3
	60代		300 100	47 15.7	91 30.3	91 30.3	49 16.3	22 7.3
	70代以上		300 100	56 18.7	94 31.3	89 29.7	52 17.3	9 3.0

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	229 12.7	511 28.4	615 34.2	284 15.8	161 8.9
地域	首都圏		900 100	112 12.4	241 26.8	315 35.0	149 16.6	83 9.2
	京阪神圏		900 100	117 13.0	270 30.0	300 33.3	135 15.0	78 8.7
年代	20代		300 100	26 8.7	73 24.3	120 40.0	46 15.3	35 11.7
	30代		300 100	23 7.7	80 26.7	122 40.7	48 16.0	27 9.0
	40代		300 100	31 10.3	76 25.3	106 35.3	45 15.0	42 14.0
	50代		300 100	36 12.0	81 27.0	111 37.0	44 14.7	28 9.3
	60代		300 100	48 16.0	99 33.0	87 29.0	45 15.0	21 7.0
	70代以上		300 100	65 21.7	102 34.0	69 23.0	56 18.7	8 2.7

【4. ゲノム編集飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	224 12.4	470 26.1	637 35.4	296 16.4	173 9.6
地域	首都圏		900 100	111 12.3	204 22.7	332 36.9	161 17.9	92 10.2
	京阪神圏		900 100	113 12.6	266 29.6	305 33.9	135 15.0	81 9.0
年代	20代		300 100	30 10.0	66 22.0	115 38.3	52 17.3	37 12.3
	30代		300 100	27 9.0	68 22.7	128 42.7	43 14.3	34 11.3
	40代		300 100	26 8.7	73 24.3	104 34.7	52 17.3	45 15.0
	50代		300 100	34 11.3	81 27.0	115 38.3	43 14.3	27 9.0
	60代		300 100	49 16.3	86 28.7	98 32.7	46 15.3	21 7.0
	70代以上		300 100	58 19.3	96 32.0	77 25.7	60 20.0	9 3.0

【5. 牛のBSE（牛海綿状脳症）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	315 17.5	528 29.3	574 31.9	229 12.7	154 8.6
地域	首都圏		900 100	156 17.3	255 28.3	289 32.1	122 13.6	78 8.7
	京阪神圏		900 100	159 17.7	273 30.3	285 31.7	107 11.9	76 8.4
年代	20代		300 100	39 13.0	62 20.7	119 39.7	42 14.0	38 12.7
	30代		300 100	33 11.0	85 28.3	110 36.7	42 14.0	30 10.0
	40代		300 100	40 13.3	78 26.0	100 33.3	47 15.7	35 11.7
	50代		300 100	38 12.7	100 33.3	107 35.7	31 10.3	24 8.0
	60代		300 100	65 21.7	106 35.3	78 26.0	33 11.0	18 6.0
	70代以上		300 100	100 33.3	97 32.3	60 20.0	34 11.3	9 3.0

【6. 成形肉（インジェクション）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	213 11.8	459 25.5	674 37.4	281 15.6	173 9.6
地域	首都圏		900 100	102 11.3	207 23.0	352 39.1	149 16.6	90 10.0
	京阪神圏		900 100	111 12.3	252 28.0	322 35.8	132 14.7	83 9.2
年代	20代		300 100	21 7.0	61 20.3	122 40.7	61 20.3	35 11.7
	30代		300 100	30 10.0	71 23.7	123 41.0	41 13.7	35 11.7
	40代		300 100	29 9.7	63 21.0	120 40.0	49 16.3	39 13.0
	50代		300 100	35 11.7	75 25.0	121 40.3	40 13.3	29 9.7
	60代		300 100	45 15.0	92 30.7	104 34.7	39 13.0	20 6.7
	70代以上		300 100	53 17.7	97 32.3	84 28.0	51 17.0	15 5.0

【7. 食肉の放射能汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	250 13.9	473 26.3	645 35.8	274 15.2	158 8.8
地域	首都圏		900 100	114 12.7	216 24.0	342 38.0	140 15.6	88 9.8
	京阪神圏		900 100	136 15.1	257 28.6	303 33.7	134 14.9	70 7.8
年代	20代		300 100	21 7.0	73 24.3	117 39.0	50 16.7	39 13.0
	30代		300 100	33 11.0	74 24.7	120 40.0	43 14.3	30 10.0
	40代		300 100	32 10.7	66 22.0	110 36.7	56 18.7	36 12.0
	50代		300 100	38 12.7	89 29.7	112 37.3	34 11.3	27 9.0
	60代		300 100	60 20.0	81 27.0	95 31.7	44 14.7	20 6.7
	70代以上		300 100	66 22.0	90 30.0	91 30.3	47 15.7	6 2.0

【8. クローン家畜由来の食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	250 13.9	481 26.7	638 35.4	259 14.4	172 9.6
地域	首都圏		900 100	118 13.1	229 25.4	332 36.9	127 14.1	94 10.4
	京阪神圏		900 100	132 14.7	252 28.0	306 34.0	132 14.7	78 8.7
年代	20代		300 100	21 7.0	67 22.3	118 39.3	52 17.3	42 14.0
	30代		300 100	30 10.0	75 25.0	127 42.3	34 11.3	34 11.3
	40代		300 100	32 10.7	66 22.0	110 36.7	53 17.7	39 13.0
	50代		300 100	40 13.3	80 26.7	112 37.3	41 13.7	27 9.0
	60代		300 100	54 18.0	95 31.7	96 32.0	35 11.7	20 6.7
	70代以上		300 100	73 24.3	98 32.7	75 25.0	44 14.7	10 3.3

【9. 牛・豚の口蹄疫】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	295 16.4	503 27.9	619 34.4	228 12.7	155 8.6
地域	首都圏		900 100	137 15.2	254 28.2	322 35.8	105 11.7	82 9.1
	京阪神圏		900 100	158 17.6	249 27.7	297 33.0	123 13.7	73 8.1
年代	20代		300 100	28 9.3	68 22.7	119 39.7	49 16.3	36 12.0
	30代		300 100	35 11.7	72 24.0	118 39.3	43 14.3	32 10.7
	40代		300 100	33 11.0	71 23.7	113 37.7	44 14.7	39 13.0
	50代		300 100	41 13.7	87 29.0	119 39.7	28 9.3	25 8.3
	60代		300 100	64 21.3	100 33.3	88 29.3	31 10.3	17 5.7
	70代以上		300 100	94 31.3	105 35.0	62 20.7	33 11.0	6 2.0

【10. 豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	291 16.2	469 26.1	633 35.2	252 14.0	155 8.6
地域	首都圏		900 100	125 13.9	232 25.8	330 36.7	134 14.9	79 8.8
	京阪神圏		900 100	166 18.4	237 26.3	303 33.7	118 13.1	76 8.4
年代	20代		300 100	25 8.3	69 23.0	113 37.7	60 20.0	33 11.0
	30代		300 100	33 11.0	67 22.3	123 41.0	43 14.3	34 11.3
	40代		300 100	34 11.3	61 20.3	113 37.7	52 17.3	40 13.3
	50代		300 100	44 14.7	82 27.3	123 41.0	27 9.0	24 8.0
	60代		300 100	65 21.7	88 29.3	98 32.7	30 10.0	19 6.3
	70代以上		300 100	90 30.0	102 34.0	63 21.0	40 13.3	5 1.7

【11. アフリカ豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	294 16.3	460 25.6	644 35.8	239 13.3	163 9.1
地域	首都圏		900 100	133 14.8	220 24.4	347 38.6	117 13.0	83 9.2
	京阪神圏		900 100	161 17.9	240 26.7	297 33.0	122 13.6	80 8.9
年代	20代		300 100	30 10.0	61 20.3	122 40.7	52 17.3	35 11.7
	30代		300 100	33 11.0	71 23.7	125 41.7	35 11.7	36 12.0
	40代		300 100	31 10.3	63 21.0	118 39.3	47 15.7	41 13.7
	50代		300 100	39 13.0	84 28.0	121 40.3	26 8.7	30 10.0
	60代		300 100	63 21.0	87 29.0	98 32.7	37 12.3	15 5.0
	70代以上		300 100	98 32.7	94 31.3	60 20.0	42 14.0	6 2.0

【12. 豚インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	329 18.3	538 29.9	587 32.6	203 11.3	143 7.9
地域	首都圏		900 100	161 17.9	252 28.0	307 34.1	102 11.3	78 8.7
	京阪神圏		900 100	168 18.7	286 31.8	280 31.1	101 11.2	65 7.2
年代	20代		300 100	32 10.7	80 26.7	104 34.7	50 16.7	34 11.3
	30代		300 100	33 11.0	89 29.7	118 39.3	33 11.0	27 9.0
	40代		300 100	39 13.0	84 28.0	102 34.0	41 13.7	34 11.3
	50代		300 100	49 16.3	95 31.7	108 36.0	25 8.3	23 7.7
	60代		300 100	70 23.3	97 32.3	89 29.7	25 8.3	19 6.3
	70代以上		300 100	106 35.3	93 31.0	66 22.0	29 9.7	6 2.0

【13. 鳥インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	367 20.4	578 32.1	547 30.4	179 9.9	129 7.2
地域	首都圏		900 100	178 19.8	273 30.3	298 33.1	81 9.0	70 7.8
	京阪神圏		900 100	189 21.0	305 33.9	249 27.7	98 10.9	59 6.6
年代	20代		300 100	35 11.7	80 26.7	108 36.0	44 14.7	33 11.0
	30代		300 100	38 12.7	91 30.3	115 38.3	34 11.3	22 7.3
	40代		300 100	48 16.0	97 32.3	90 30.0	34 11.3	31 10.3
	50代		300 100	51 17.0	110 36.7	96 32.0	22 7.3	21 7.0
	60代		300 100	78 26.0	99 33.0	85 28.3	22 7.3	16 5.3
	70代以上		300 100	117 39.0	101 33.7	53 17.7	23 7.7	6 2.0

【14. 食肉中の食中毒菌
(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など) の汚染】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	405 22.5	518 28.8	551 30.6	193 10.7	133 7.4
地域	首都圏		900 100	194 21.6	250 27.8	289 32.1	96 10.7	71 7.9
	京阪神圏		900 100	211 23.4	268 29.8	262 29.1	97 10.8	62 6.9
年代	20代		300 100	40 13.3	76 25.3	105 35.0	46 15.3	33 11.0
	30代		300 100	51 17.0	79 26.3	118 39.3	31 10.3	21 7.0
	40代		300 100	55 18.3	79 26.3	100 33.3	35 11.7	31 10.3
	50代		300 100	63 21.0	87 29.0	99 33.0	28 9.3	23 7.7
	60代		300 100	80 26.7	100 33.3	79 26.3	23 7.7	18 6.0
	70代以上		300 100	116 38.7	97 32.3	50 16.7	30 10.0	7 2.3

【15. 食肉の生食】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	331 18.4	452 25.1	606 33.7	222 12.3	189 10.5
地域	首都圏		900 100	152 16.9	217 24.1	319 35.4	115 12.8	97 10.8
	京阪神圏		900 100	179 19.9	235 26.1	287 31.9	107 11.9	92 10.2
年代	20代		300 100	32 10.7	71 23.7	112 37.3	44 14.7	41 13.7
	30代		300 100	41 13.7	69 23.0	124 41.3	32 10.7	34 11.3
	40代		300 100	46 15.3	74 24.7	105 35.0	35 11.7	40 13.3
	50代		300 100	52 17.3	76 25.3	113 37.7	30 10.0	29 9.7
	60代		300 100	64 21.3	89 29.7	86 28.7	36 12.0	25 8.3
	70代以上		300 100	96 32.0	73 24.3	66 22.0	45 15.0	20 6.7

【16. 食肉の産地偽装】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	383 21.3	521 28.9	564 31.3	199 11.1	133 7.4
地域	首都圏		900 100	178 19.8	254 28.2	290 32.2	112 12.4	66 7.3
	京阪神圏		900 100	205 22.8	267 29.7	274 30.4	87 9.7	67 7.4
年代	20代		300 100	33 11.0	68 22.7	116 38.7	49 16.3	34 11.3
	30代		300 100	41 13.7	80 26.7	117 39.0	38 12.7	24 8.0
	40代		300 100	50 16.7	94 31.3	91 30.3	32 10.7	33 11.0
	50代		300 100	59 19.7	86 28.7	112 37.3	20 6.7	23 7.7
	60代		300 100	80 26.7	101 33.7	78 26.0	27 9.0	14 4.7
	70代以上		300 100	120 40.0	92 30.7	50 16.7	33 11.0	5 1.7

【17. 食肉の消費期限改ざん】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	396 22.0	547 30.4	542 30.1	180 10.0	135 7.5
地域	首都圏		900 100	186 20.7	262 29.1	285 31.7	94 10.4	73 8.1
	京阪神圏		900 100	210 23.3	285 31.7	257 28.6	86 9.6	62 6.9
年代	20代		300 100	33 11.0	79 26.3	110 36.7	40 13.3	38 12.7
	30代		300 100	49 16.3	81 27.0	118 39.3	32 10.7	20 6.7
	40代		300 100	52 17.3	91 30.3	92 30.7	32 10.7	33 11.0
	50代		300 100	59 19.7	91 30.3	106 35.3	22 7.3	22 7.3
	60代		300 100	82 27.3	107 35.7	69 23.0	24 8.0	18 6.0
	70代以上		300 100	121 40.3	98 32.7	47 15.7	30 10.0	4 1.3

【18. 牛肉・豚肉の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	347 19.3	468 26.0	638 35.4	207 11.5	140 7.8
地域	首都圏		900 100	161 17.9	233 25.9	329 36.6	101 11.2	76 8.4
	京阪神圏		900 100	186 20.7	235 26.1	309 34.3	106 11.8	64 7.1
年代	20代		300 100	29 9.7	74 24.7	112 37.3	45 15.0	40 13.3
	30代		300 100	41 13.7	80 26.7	117 39.0	38 12.7	24 8.0
	40代		300 100	41 13.7	74 24.7	119 39.7	35 11.7	31 10.3
	50代		300 100	52 17.3	81 27.0	124 41.3	21 7.0	22 7.3
	60代		300 100	69 23.0	86 28.7	94 31.3	32 10.7	19 6.3
	70代以上		300 100	115 38.3	73 24.3	72 24.0	36 12.0	4 1.3

【19. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	349 19.4	512 28.4	617 34.3	187 10.4	135 7.5
地域	首都圏		900 100	170 18.9	257 28.6	306 34.0	94 10.4	73 8.1
	京阪神圏		900 100	179 19.9	255 28.3	311 34.6	93 10.3	62 6.9
年代	20代		300 100	32 10.7	76 25.3	123 41.0	34 11.3	35 11.7
	30代		300 100	35 11.7	82 27.3	127 42.3	30 10.0	26 8.7
	40代		300 100	49 16.3	85 28.3	103 34.3	31 10.3	32 10.7
	50代		300 100	55 18.3	88 29.3	110 36.7	27 9.0	20 6.7
	60代		300 100	82 27.3	84 28.0	85 28.3	31 10.3	18 6.0
	70代以上		300 100	96 32.0	97 32.3	69 23.0	34 11.3	4 1.3

【20. 植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	227 12.6	460 25.6	699 38.8	236 13.1	178 9.9
地域	首都圏		900 100	108 12.0	217 24.1	357 39.7	128 14.2	90 10.0
	京阪神圏		900 100	119 13.2	243 27.0	342 38.0	108 12.0	88 9.8
年代	20代		300 100	27 9.0	63 21.0	124 41.3	47 15.7	39 13.0
	30代		300 100	30 10.0	64 21.3	144 48.0	33 11.0	29 9.7
	40代		300 100	32 10.7	66 22.0	118 39.3	40 13.3	44 14.7
	50代		300 100	33 11.0	80 26.7	122 40.7	32 10.7	33 11.0
	60代		300 100	46 15.3	82 27.3	106 35.3	39 13.0	27 9.0
	70代以上		300 100	59 19.7	105 35.0	85 28.3	45 15.0	6 2.0

【21. 細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	247 13.7	467 25.9	681 37.8	214 11.9	191 10.6
地域	首都圏		900 100	112 12.4	213 23.7	361 40.1	110 12.2	104 11.6
	京阪神圏		900 100	135 15.0	254 28.2	320 35.6	104 11.6	87 9.7
年代	20代		300 100	30 10.0	71 23.7	117 39.0	36 12.0	46 15.3
	30代		300 100	27 9.0	68 22.7	138 46.0	30 10.0	37 12.3
	40代		300 100	33 11.0	74 24.7	114 38.0	37 12.3	42 14.0
	50代		300 100	38 12.7	75 25.0	130 43.3	28 9.3	29 9.7
	60代		300 100	48 16.0	77 25.7	107 35.7	41 13.7	27 9.0
	70代以上		300 100	71 23.7	102 34.0	75 25.0	42 14.0	10 3.3

Q22 では、次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたは不安を感じますか。不安を感じるものを3つまでお選びください。

度数 横%		全 体	食肉中の 残留抗生物質	食肉中の 残留動物薬	遺伝子組換え飼料 を用いた食肉	ゲノム編集飼料を 用いた食肉	牛のBSE (牛海綿状脳症)	成形肉 (インジェクション)
全 体		1800 100	332 18.4	225 12.5	258 14.3	144 8.0	359 19.9	99 5.5
地域	首都圏	900 100	166 18.4	97 10.8	130 14.4	66 7.3	166 18.4	55 6.1
	京阪神圏	900 100	166 18.4	128 14.2	128 14.2	78 8.7	193 21.4	44 4.9
年代	20代	300 100	34 11.3	27 9.0	34 11.3	25 8.3	34 11.3	12 4.0
	30代	300 100	40 13.3	28 9.3	39 13.0	19 6.3	35 11.7	11 3.7
	40代	300 100	43 14.3	26 8.7	31 10.3	23 7.7	55 18.3	23 7.7
	50代	300 100	52 17.3	37 12.3	48 16.0	29 9.7	62 20.7	16 5.3
	60代	300 100	86 28.7	49 16.3	58 19.3	24 8.0	78 26.0	21 7.0
	70代以上	300 100	77 25.7	58 19.3	48 16.0	24 8.0	95 31.7	16 5.3

度数 横%		全 体	食肉の 放射能汚染	クローン家畜 由来の食肉	牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	豚インフルエンザ
全 体		1800 100	155 8.6	155 8.6	140 7.8	64 3.6	52 2.9	201 11.2
地域	首都圏	900 100	77 8.6	76 8.4	67 7.4	28 3.1	24 2.7	103 11.4
	京阪神圏	900 100	78 8.7	79 8.8	73 8.1	36 4.0	28 3.1	98 10.9
年代	20代	300 100	28 9.3	16 5.3	14 4.7	13 4.3	13 4.3	27 9.0
	30代	300 100	25 8.3	22 7.3	12 4.0	7 2.3	7 2.3	34 11.3
	40代	300 100	14 4.7	23 7.7	11 3.7	10 3.3	7 2.3	44 14.7
	50代	300 100	22 7.3	30 10.0	22 7.3	9 3.0	7 2.3	37 12.3
	60代	300 100	30 10.0	29 9.7	31 10.3	6 2.0	7 2.3	32 10.7
	70代以上	300 100	36 12.0	35 11.7	50 16.7	19 6.3	11 3.7	27 9.0

度数 横%	全 体	鳥インフルエンザ	食肉中の食中毒 菌の汚染(サルモネラ、 カンピロバクター、腸管 出血性大腸菌な ど)の汚染	食肉の生食	食肉の産地偽装	食肉の消費 期限改ざん	牛肉・豚肉の 発がん性	
全 体	1800 100	396 22.0	293 16.3	124 6.9	142 7.9	199 11.1	141 7.8	
地域	首都圏	900 100	206 22.9	149 16.6	66 7.3	79 8.8	95 10.6	69 7.7
	京阪神圏	900 100	190 21.1	144 16.0	58 6.4	63 7.0	104 11.6	72 8.0
年代	20代	300 100	41 13.7	43 14.3	12 4.0	12 4.0	30 10.0	15 5.0
	30代	300 100	70 23.3	45 15.0	19 6.3	16 5.3	34 11.3	27 9.0
	40代	300 100	81 27.0	50 16.7	21 7.0	29 9.7	34 11.3	29 9.7
	50代	300 100	69 23.0	47 15.7	20 6.7	22 7.3	34 11.3	26 8.7
	60代	300 100	64 21.3	53 17.7	25 8.3	27 9.0	38 12.7	18 6.0
	70代以上	300 100	71 23.7	55 18.3	27 9.0	36 12.0	29 9.7	26 8.7

度数 横%	全 体	豚肉加工品 (ハム・ソーセージ) の発がん性	植物肉 (大豆ミート 食品類/バルブー グ、バーガー・パテ、 大豆ミート、牛丼、焼 き肉用加たん等)	細胞培養肉 (食用動物の細胞 を人工培養して 生産する食肉)	不安を感じる ものはない	
全 体	1800 100	218 12.1	32 1.8	77 4.3	376 20.9	
地域	首都圏	900 100	125 13.9	16 1.8	40 4.4	182 20.2
	京阪神圏	900 100	93 10.3	16 1.8	37 4.1	194 21.6
年代	20代	300 100	18 6.0	10 3.3	11 3.7	95 31.7
	30代	300 100	40 13.3	8 2.7	14 4.7	79 26.3
	40代	300 100	49 16.3	4 1.3	13 4.3	66 22.0
	50代	300 100	37 12.3	5 1.7	15 5.0	65 21.7
	60代	300 100	42 14.0	3 1.0	13 4.3	38 12.7
	70代以上	300 100	32 10.7	2 0.7	11 3.7	33 11.0

Q23 「家畜伝染病」についてお伺いします。

悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

あなたは、このこと（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭（羽）殺処分すること）をどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体			1800 100	72 4.0	479 26.6	507 28.2	374 20.8	145 8.1	223 12.4
地域	首都圏		900 100	41 4.6	236 26.2	255 28.3	189 21.0	68 7.6	111 12.3
	京阪神圏		900 100	31 3.4	243 27.0	252 28.0	185 20.6	77 8.6	112 12.4
年代	20代		300 100	22 7.3	72 24.0	62 20.7	52 17.3	27 9.0	65 21.7
	30代		300 100	15 5.0	61 20.3	82 27.3	66 22.0	27 9.0	49 16.3
	40代		300 100	6 2.0	68 22.7	82 27.3	78 26.0	23 7.7	43 14.3
	50代		300 100	10 3.3	69 23.0	88 29.3	66 22.0	28 9.3	39 13.0
	60代		300 100	10 3.3	97 32.3	97 32.3	62 20.7	14 4.7	20 6.7
	70代以上		300 100	9 3.0	112 37.3	96 32.0	50 16.7	26 8.7	7 2.3

Q24 口蹄疫について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「口蹄疫」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いいため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		全 体	口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない	口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない	日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない	アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している	仮に口蹄疫にかかった牛や豚の肉等を食べても人体に影響はない	日本では口蹄疫の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの牛、豚、羊などの偶蹄類の動物及びその製品の持込みが規制されている	その他	知っているものはない
度数横%										
全 体		1800 100	426 23.7	364 20.2	237 13.2	253 14.1	178 9.9	294 16.3	0 0.0	941 52.3
地域	首都圏	900 100	217 24.1	191 21.2	123 13.7	138 15.3	80 8.9	154 17.1	0 0.0	466 51.8
	京阪神圏	900 100	209 23.2	173 19.2	114 12.7	115 12.8	98 10.9	140 15.6	0 0.0	475 52.8
年代	20代	300 100	38 12.7	48 16.0	36 12.0	32 10.7	28 9.3	35 11.7	0 0.0	167 55.7
	30代	300 100	46 15.3	39 13.0	36 12.0	32 10.7	22 7.3	32 10.7	0 0.0	177 59.0
	40代	300 100	61 20.3	46 15.3	34 11.3	48 16.0	27 9.0	35 11.7	0 0.0	179 59.7
	50代	300 100	72 24.0	51 17.0	32 10.7	37 12.3	27 9.0	47 15.7	0 0.0	167 55.7
	60代	300 100	92 30.7	78 26.0	52 17.3	51 17.0	37 12.3	57 19.0	0 0.0	140 46.7
	70代以上	300 100	117 39.0	102 34.0	47 15.7	53 17.7	37 12.3	88 29.3	0 0.0	111 37.0

Q25 豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いいため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		全 体	豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない	豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない	仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱のワクチンを接種した豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところない	日本では平成30年9月に26年ぶりに発生し、現在も発生が続いている	日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている	その他	知っているものはない
度数横%											
全 体		1800 100	349 19.4	321 17.8	198 11.0	178 9.9	162 9.0	159 8.8	211 11.7	0 0.0	1050 58.3
地域	首都圏	900 100	178 19.8	165 18.3	90 10.0	90 10.0	87 9.7	87 9.7	114 12.7	0 0.0	512 56.9
	京阪神圏	900 100	171 19.0	156 17.3	108 12.0	88 9.8	75 8.3	72 8.0	97 10.8	0 0.0	538 59.8
年代	20代	300 100	31 10.3	43 14.3	34 11.3	34 11.3	25 8.3	26 8.7	19 6.3	0 0.0	173 57.7
	30代	300 100	38 12.7	48 16.0	25 8.3	25 8.3	26 8.7	18 6.0	21 7.0	0 0.0	176 58.7
	40代	300 100	55 18.3	45 15.0	46 15.3	33 11.0	33 11.0	27 9.0	26 8.7	0 0.0	192 64.0
	50代	300 100	52 17.3	41 13.7	20 6.7	23 7.7	17 5.7	24 8.0	33 11.0	0 0.0	203 67.7
	60代	300 100	84 28.0	59 19.7	40 13.3	31 10.3	37 12.3	33 11.0	39 13.0	0 0.0	164 54.7
	70代以上	300 100	89 29.7	85 28.3	33 11.0	32 10.7	24 8.0	31 10.3	73 24.3	0 0.0	142 47.3

Q26 アフリカ豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「アフリカ豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない	アフリカ豚熱は、日本ではこれまでに発生が確認されていない	仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない	アフリカ豚熱は、豚熱とは全く別の病気である	アフリカ豚熱に有効なワクチンや治療法は今のところない	日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている	その他	知っているものはない
全 体	1800 100	218 12.1	234 13.0	145 8.1	132 7.3	138 7.7	186 10.3	0 0.0	1237 68.7	
地域	首都圏	900 100	115 12.8	115 12.8	73 8.1	65 7.2	63 7.0	96 10.7	0 0.0	615 68.3
	京阪神圏	900 100	103 11.4	119 13.2	72 8.0	67 7.4	75 8.3	90 10.0	0 0.0	622 69.1
年代	20代	300 100	37 12.3	42 14.0	26 8.7	28 9.3	36 12.0	27 9.0	0 0.0	177 59.0
	30代	300 100	35 11.7	43 14.3	28 9.3	17 5.7	23 7.7	23 7.7	0 0.0	198 66.0
	40代	300 100	32 10.7	36 12.0	25 8.3	21 7.0	21 7.0	26 8.7	0 0.0	222 74.0
	50代	300 100	33 11.0	28 9.3	21 7.0	19 6.3	14 4.7	28 9.3	0 0.0	226 75.3
	60代	300 100	35 11.7	41 13.7	29 9.7	29 9.7	26 8.7	31 10.3	0 0.0	216 72.0
	70代以上	300 100	46 15.3	44 14.7	16 5.3	18 6.0	18 6.0	51 17.0	0 0.0	198 66.0

Q27 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「高病原性鳥インフルエンザ」は、世界中で発生が確認され、家きん（鶏など）に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家きんを直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない	鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない	市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている	日本では、昨年从今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された	日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている	その他	知っているものはない
全 体	1800 100	405 22.5	363 20.2	355 19.7	605 33.6	305 16.9	0 0.0	748 41.6	
地域	首都圏	900 100	200 22.2	182 20.2	180 20.0	323 35.9	148 16.4	0 0.0	360 40.0
	京阪神圏	900 100	205 22.8	181 20.1	175 19.4	282 31.3	157 17.4	0 0.0	388 43.1
年代	20代	300 100	43 14.3	47 15.7	47 15.7	67 22.3	33 11.0	0 0.0	151 50.3
	30代	300 100	41 13.7	48 16.0	50 16.7	66 22.0	31 10.3	0 0.0	150 50.0
	40代	300 100	61 20.3	58 19.3	61 20.3	85 28.3	46 15.3	0 0.0	142 47.3
	50代	300 100	76 25.3	64 21.3	47 15.7	96 32.0	49 16.3	0 0.0	129 43.0
	60代	300 100	88 29.3	78 26.0	69 23.0	122 40.7	59 19.7	0 0.0	104 34.7
	70代以上	300 100	96 32.0	68 22.7	81 27.0	169 56.3	87 29.0	0 0.0	72 24.0

Q28 あなたは、個々の問題はあるにしても全体的にみれば、昨年の今頃と比べ、食肉の安全性は高まっていると思いますか、低下していると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	高まっている	どちらかといえば 高まっている	どちらとも いえない *	どちらかといえば 低下している	低下している
全 体		1800 100	94 5.2	448 24.9	1019 56.6	155 8.6	84 4.7
地域	首都圏	900 100	45 5.0	233 25.9	509 56.6	67 7.4	46 5.1
	京阪神圏	900 100	49 5.4	215 23.9	510 56.7	88 9.8	38 4.2
年代	20代	300 100	20 6.7	90 30.0	131 43.7	32 10.7	27 9.0
	30代	300 100	19 6.3	67 22.3	161 53.7	35 11.7	18 6.0
	40代	300 100	16 5.3	75 25.0	166 55.3	28 9.3	15 5.0
	50代	300 100	14 4.7	63 21.0	195 65.0	14 4.7	14 4.7
	60代	300 100	10 3.3	75 25.0	184 61.3	26 8.7	5 1.7
	70代以上	300 100	15 5.0	78 26.0	182 60.7	20 6.7	5 1.7

*「わからない」令和4年より変更

Q29 現在、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

		度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体			1800 100	1326 73.7	486 27.0	63 3.5	339 18.8	47 2.6	517 28.7
地域	首都圏		900 100	680 75.6	232 25.8	24 2.7	180 20.0	27 3.0	248 27.6
	京阪神圏		900 100	646 71.8	254 28.2	39 4.3	159 17.7	20 2.2	269 29.9
年代	20代		300 100	183 61.0	55 18.3	7 2.3	18 6.0	6 2.0	42 14.0
	30代		300 100	191 63.7	60 20.0	6 2.0	21 7.0	13 4.3	77 25.7
	40代		300 100	209 69.7	71 23.7	10 3.3	32 10.7	8 2.7	106 35.3
	50代		300 100	226 75.3	82 27.3	14 4.7	50 16.7	10 3.3	101 33.7
	60代		300 100	252 84.0	99 33.0	15 5.0	81 27.0	6 2.0	100 33.3
	70代以上		300 100	265 88.3	119 39.7	11 3.7	137 45.7	4 1.3	91 30.3

		度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政（国、 地方自治体）	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体			1800 100	156 8.7	31 1.7	76 4.2	43 2.4	42 2.3	93 5.2
地域	首都圏		900 100	75 8.3	10 1.1	31 3.4	19 2.1	21 2.3	42 4.7
	京阪神圏		900 100	81 9.0	21 2.3	45 5.0	24 2.7	21 2.3	51 5.7
年代	20代		300 100	37 12.3	8 2.7	11 3.7	6 2.0	7 2.3	14 4.7
	30代		300 100	37 12.3	9 3.0	8 2.7	8 2.7	7 2.3	18 6.0
	40代		300 100	37 12.3	6 2.0	11 3.7	7 2.3	8 2.7	19 6.3
	50代		300 100	17 5.7	3 1.0	4 1.3	2 0.7	7 2.3	16 5.3
	60代		300 100	19 6.3	3 1.0	18 6.0	11 3.7	6 2.0	12 4.0
	70代以上		300 100	9 3.0	2 0.7	24 8.0	9 3.0	7 2.3	14 4.7

		度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体			1800 100	35 1.9	12 0.7	20 1.1	144 8.0	9 0.5
地域	首都圏		900 100	18 2.0	9 1.0	10 1.1	63 7.0	3 0.3
	京阪神圏		900 100	17 1.9	3 0.3	10 1.1	81 9.0	6 0.7
年代	20代		300 100	2 0.7	7 2.3	3 1.0	41 13.7	0 0.0
	30代		300 100	4 1.3	2 0.7	3 1.0	31 10.3	1 0.3
	40代		300 100	8 2.7	1 0.3	1 0.3	21 7.0	1 0.3
	50代		300 100	6 2.0	1 0.3	2 0.7	24 8.0	3 1.0
	60代		300 100	5 1.7	1 0.3	4 1.3	7 2.3	3 1.0
	70代以上		300 100	10 3.3	0 0.0	7 2.3	20 6.7	1 0.3

(2) 食肉の栄養や機能について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1073 59.6	436 24.2	55 3.1	259 14.4	44 2.4	455 25.3
地域	首都圏	900 100	554 61.6	203 22.6	24 2.7	138 15.3	29 3.2	218 24.2
	京阪神圏	900 100	519 57.7	233 25.9	31 3.4	121 13.4	15 1.7	237 26.3
年代	20代	300 100	160 53.3	50 16.7	2 0.7	13 4.3	6 2.0	39 13.0
	30代	300 100	159 53.0	52 17.3	7 2.3	17 5.7	8 2.7	73 24.3
	40代	300 100	170 56.7	66 22.0	12 4.0	26 8.7	5 1.7	97 32.3
	50代	300 100	182 60.7	65 21.7	10 3.3	35 11.7	8 2.7	87 29.0
	60代	300 100	203 67.7	95 31.7	12 4.0	65 21.7	7 2.3	81 27.0
	70代以上	300 100	199 66.3	108 36.0	12 4.0	103 34.3	10 3.3	78 26.0

	度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	143 7.9	28 1.6	68 3.8	54 3.0	73 4.1	103 5.7
地域	首都圏	900 100	69 7.7	11 1.2	28 3.1	22 2.4	34 3.8	48 5.3
	京阪神圏	900 100	74 8.2	17 1.9	40 4.4	32 3.6	39 4.3	55 6.1
年代	20代	300 100	32 10.7	5 1.7	14 4.7	3 1.0	10 3.3	16 5.3
	30代	300 100	35 11.7	9 3.0	6 2.0	7 2.3	6 2.0	16 5.3
	40代	300 100	35 11.7	6 2.0	9 3.0	12 4.0	6 2.0	17 5.7
	50代	300 100	14 4.7	4 1.3	3 1.0	4 1.3	13 4.3	19 6.3
	60代	300 100	17 5.7	2 0.7	16 5.3	13 4.3	18 6.0	18 6.0
	70代以上	300 100	10 3.3	2 0.7	20 6.7	15 5.0	20 6.7	17 5.7

	度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	37 2.1	17 0.9	21 1.2	159 8.8	16 0.9
地域	首都圏	900 100	19 2.1	12 1.3	13 1.4	72 8.0	5 0.6
	京阪神圏	900 100	18 2.0	5 0.6	8 0.9	87 9.7	11 1.2
年代	20代	300 100	4 1.3	5 1.7	2 0.7	37 12.3	0 0.0
	30代	300 100	3 1.0	5 1.7	4 1.3	35 11.7	1 0.3
	40代	300 100	9 3.0	3 1.0	1 0.3	26 8.7	1 0.3
	50代	300 100	4 1.3	0 0.0	1 0.3	26 8.7	4 1.3
	60代	300 100	4 1.3	2 0.7	6 2.0	11 3.7	5 1.7
	70代以上	300 100	13 4.3	2 0.7	7 2.3	24 8.0	5 1.7

Q30 では、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1123 62.4	413 22.9	71 3.9	342 19.0	41 2.3	362 20.1
地域	首都圏	900 100	594 66.0	201 22.3	26 2.9	185 20.6	25 2.8	172 19.1
	京阪神圏	900 100	529 58.8	212 23.6	45 5.0	157 17.4	16 1.8	190 21.1
年代	20代	300 100	148 49.3	50 16.7	14 4.7	17 5.7	5 1.7	41 13.7
	30代	300 100	160 53.3	51 17.0	6 2.0	26 8.7	10 3.3	64 21.3
	40代	300 100	177 59.0	67 22.3	11 3.7	38 12.7	7 2.3	70 23.3
	50代	300 100	184 61.3	73 24.3	13 4.3	47 15.7	6 2.0	64 21.3
	60代	300 100	219 73.0	87 29.0	13 4.3	82 27.3	8 2.7	61 20.3
	70代以上	300 100	235 78.3	85 28.3	14 4.7	132 44.0	5 1.7	62 20.7

	度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政（国、 地方自治体）	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	123 6.8	26 1.4	174 9.7	172 9.6	61 3.4	60 3.3
地域	首都圏	900 100	67 7.4	11 1.2	82 9.1	81 9.0	32 3.6	22 2.4
	京阪神圏	900 100	56 6.2	15 1.7	92 10.2	91 10.1	29 3.2	38 4.2
年代	20代	300 100	24 8.0	3 1.0	19 6.3	22 7.3	12 4.0	14 4.7
	30代	300 100	30 10.0	8 2.7	20 6.7	19 6.3	7 2.3	10 3.3
	40代	300 100	34 11.3	6 2.0	28 9.3	22 7.3	11 3.7	9 3.0
	50代	300 100	18 6.0	6 2.0	19 6.3	28 9.3	9 3.0	9 3.0
	60代	300 100	13 4.3	3 1.0	29 9.7	44 14.7	7 2.3	10 3.3
	70代以上	300 100	4 1.3	0 0.0	59 19.7	37 12.3	15 5.0	8 2.7

	度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼で きる情報源はない
全 体		1800 100	43 2.4	19 1.1	49 2.7	82 4.6	0 0.0	192 10.7
地域	首都圏	900 100	20 2.2	11 1.2	22 2.4	26 2.9	0 0.0	86 9.6
	京阪神圏	900 100	23 2.6	8 0.9	27 3.0	56 6.2	0 0.0	106 11.8
年代	20代	300 100	4 1.3	4 1.3	2 0.7	20 6.7	0 0.0	42 14.0
	30代	300 100	7 2.3	5 1.7	6 2.0	18 6.0	0 0.0	42 14.0
	40代	300 100	6 2.0	4 1.3	7 2.3	11 3.7	0 0.0	32 10.7
	50代	300 100	7 2.3	1 0.3	8 2.7	13 4.3	0 0.0	35 11.7
	60代	300 100	7 2.3	3 1.0	14 4.7	6 2.0	0 0.0	23 7.7
	70代以上	300 100	12 4.0	2 0.7	12 4.0	14 4.7	0 0.0	18 6.0

(2) 食肉の栄養や機能について

		度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	989 54.9	372 20.7	56 3.1	287 15.9	38 2.1	334 18.6	
地域	首都圏	900 100	518 57.6	177 19.7	25 2.8	152 16.9	20 2.2	154 17.1	
	京阪神圏	900 100	471 52.3	195 21.7	31 3.4	135 15.0	18 2.0	180 20.0	
年代	20代	300 100	131 43.7	41 13.7	8 2.7	18 6.0	8 2.7	39 13.0	
	30代	300 100	145 48.3	46 15.3	5 1.7	16 5.3	10 3.3	59 19.7	
	40代	300 100	158 52.7	61 20.3	11 3.7	30 10.0	6 2.0	68 22.7	
	50代	300 100	171 57.0	66 22.0	10 3.3	44 14.7	4 1.3	55 18.3	
	60代	300 100	187 62.3	75 25.0	11 3.7	70 23.3	6 2.0	52 17.3	
	70代以上	300 100	197 65.7	83 27.7	11 3.7	109 36.3	4 1.3	61 20.3	

		度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	114 6.3	29 1.6	161 8.9	178 9.9	52 2.9	71 3.9	
地域	首都圏	900 100	63 7.0	14 1.6	78 8.7	81 9.0	33 3.7	34 3.8	
	京阪神圏	900 100	51 5.7	15 1.7	83 9.2	97 10.8	19 2.1	37 4.1	
年代	20代	300 100	21 7.0	7 2.3	21 7.0	13 4.3	9 3.0	17 5.7	
	30代	300 100	31 10.3	7 2.3	21 7.0	22 7.3	7 2.3	9 3.0	
	40代	300 100	29 9.7	8 2.7	24 8.0	27 9.0	8 2.7	8 2.7	
	50代	300 100	18 6.0	4 1.3	16 5.3	30 10.0	6 2.0	11 3.7	
	60代	300 100	11 3.7	3 1.0	27 9.0	46 15.3	8 2.7	13 4.3	
	70代以上	300 100	4 1.3	0 0.0	52 17.3	40 13.3	14 4.7	13 4.3	

		度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼で きる情報源はない
全 体		1800 100	46 2.6	24 1.3	52 2.9	84 4.7	2 0.1	197 10.9	
地域	首都圏	900 100	25 2.8	10 1.1	26 2.9	29 3.2	1 0.1	90 10.0	
	京阪神圏	900 100	21 2.3	14 1.6	26 2.9	55 6.1	1 0.1	107 11.9	
年代	20代	300 100	7 2.3	5 1.7	3 1.0	19 6.3	0 0.0	43 14.3	
	30代	300 100	2 0.7	5 1.7	6 2.0	18 6.0	0 0.0	42 14.0	
	40代	300 100	5 1.7	4 1.3	3 1.0	10 3.3	1 0.3	33 11.0	
	50代	300 100	7 2.3	2 0.7	7 2.3	12 4.0	0 0.0	36 12.0	
	60代	300 100	8 2.7	6 2.0	19 6.3	8 2.7	0 0.0	24 8.0	
	70代以上	300 100	17 5.7	2 0.7	14 4.7	17 5.7	1 0.3	19 6.3	

Q31 あなたは、次の各機関や事業者などが食肉の安全性を確保するために行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800	202	578	549	116	110	245
		100	11.2	32.1	30.5	6.4	6.1	13.6
地域	首都圏	900	110	280	286	59	45	120
		100	12.2	31.1	31.8	6.6	5.0	13.3
	京阪神圏	900	92	298	263	57	65	125
		100	10.2	33.1	29.2	6.3	7.2	13.9
年代	20代	300	52	82	89	22	13	42
		100	17.3	27.3	29.7	7.3	4.3	14.0
	30代	300	32	93	92	19	22	42
		100	10.7	31.0	30.7	6.3	7.3	14.0
	40代	300	34	82	101	21	20	42
		100	11.3	27.3	33.7	7.0	6.7	14.0
	50代	300	24	92	106	18	23	37
	100	8.0	30.7	35.3	6.0	7.7	12.3	
	60代	300	18	116	80	21	16	49
		100	6.0	38.7	26.7	7.0	5.3	16.3
	70代以上	300	42	113	81	15	16	33
		100	14.0	37.7	27.0	5.0	5.3	11.0

【2. 厚生労働省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800	171	548	576	139	120	246
		100	9.5	30.4	32.0	7.7	6.7	13.7
地域	首都圏	900	92	263	305	71	51	118
		100	10.2	29.2	33.9	7.9	5.7	13.1
	京阪神圏	900	79	285	271	68	69	128
		100	8.8	31.7	30.1	7.6	7.7	14.2
年代	20代	300	45	85	88	29	11	42
		100	15.0	28.3	29.3	9.7	3.7	14.0
	30代	300	24	95	98	22	18	43
		100	8.0	31.7	32.7	7.3	6.0	14.3
	40代	300	26	82	102	21	25	44
		100	8.7	27.3	34.0	7.0	8.3	14.7
	50代	300	20	86	111	20	27	36
	100	6.7	28.7	37.0	6.7	9.0	12.0	
	60代	300	18	93	94	28	20	47
		100	6.0	31.0	31.3	9.3	6.7	15.7
	70代以上	300	38	107	83	19	19	34
		100	12.7	35.7	27.7	6.3	6.3	11.3

【3. 地方自治体】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	146 8.1	544 30.2	638 35.4	114 6.3	104 5.8	254 14.1
地域	首都圏	900 100	73 8.1	271 30.1	332 36.9	59 6.6	46 5.1	119 13.2
	京阪神圏	900 100	73 8.1	273 30.3	306 34.0	55 6.1	58 6.4	135 15.0
年代	20代	300 100	34 11.3	77 25.7	106 35.3	23 7.7	17 5.7	43 14.3
	30代	300 100	27 9.0	74 24.7	116 38.7	17 5.7	21 7.0	45 15.0
	40代	300 100	21 7.0	85 28.3	111 37.0	20 6.7	21 7.0	42 14.0
	50代	300 100	16 5.3	87 29.0	119 39.7	18 6.0	21 7.0	39 13.0
	60代	300 100	14 4.7	103 34.3	102 34.0	22 7.3	11 3.7	48 16.0
	70代以上	300 100	34 11.3	118 39.3	84 28.0	14 4.7	13 4.3	37 12.3

【4. 畜産農家】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	127 7.1	535 29.7	702 39.0	132 7.3	67 3.7	237 13.2
地域	首都圏	900 100	69 7.7	271 30.1	360 40.0	63 7.0	25 2.8	112 12.4
	京阪神圏	900 100	58 6.4	264 29.3	342 38.0	69 7.7	42 4.7	125 13.9
年代	20代	300 100	35 11.7	84 28.0	99 33.0	27 9.0	11 3.7	44 14.7
	30代	300 100	25 8.3	83 27.7	110 36.7	19 6.3	18 6.0	45 15.0
	40代	300 100	22 7.3	90 30.0	109 36.3	25 8.3	17 5.7	37 12.3
	50代	300 100	20 6.7	85 28.3	129 43.0	21 7.0	9 3.0	36 12.0
	60代	300 100	11 3.7	88 29.3	127 42.3	23 7.7	5 1.7	46 15.3
	70代以上	300 100	14 4.7	105 35.0	128 42.7	17 5.7	7 2.3	29 9.7

【5. 食肉卸売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	82 4.6	343 19.1	802 44.6	220 12.2	107 5.9	246 13.7
地域	首都圏	900 100	41 4.6	171 19.0	427 47.4	98 10.9	47 5.2	116 12.9
	京阪神圏	900 100	41 4.6	172 19.1	375 41.7	122 13.6	60 6.7	130 14.4
年代	20代	300 100	27 9.0	61 20.3	122 40.7	25 8.3	21 7.0	44 14.7
	30代	300 100	24 8.0	63 21.0	121 40.3	25 8.3	19 6.3	48 16.0
	40代	300 100	13 4.3	60 20.0	120 40.0	41 13.7	26 8.7	40 13.3
	50代	300 100	7 2.3	58 19.3	146 48.7	37 12.3	15 5.0	37 12.3
	60代	300 100	5 1.7	45 15.0	149 49.7	40 13.3	16 5.3	45 15.0
	70代以上	300 100	6 2.0	56 18.7	144 48.0	52 17.3	10 3.3	32 10.7

【6. 食肉小売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	77 4.3	332 18.4	838 46.6	207 11.5	97 5.4	249 13.8
地域	首都圏	900 100	36 4.0	174 19.3	437 48.6	92 10.2	43 4.8	118 13.1
	京阪神圏	900 100	41 4.6	158 17.6	401 44.6	115 12.8	54 6.0	131 14.6
年代	20代	300 100	24 8.0	68 22.7	114 38.0	26 8.7	20 6.7	48 16.0
	30代	300 100	23 7.7	54 18.0	132 44.0	27 9.0	16 5.3	48 16.0
	40代	300 100	13 4.3	56 18.7	131 43.7	41 13.7	19 6.3	40 13.3
	50代	300 100	5 1.7	56 18.7	162 54.0	24 8.0	17 5.7	36 12.0
	60代	300 100	7 2.3	42 14.0	150 50.0	41 13.7	16 5.3	44 14.7
	70代以上	300 100	5 1.7	56 18.7	149 49.7	48 16.0	9 3.0	33 11.0

【7. 食肉を扱う外食店】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	73 4.1	301 16.7	825 45.8	239 13.3	112 6.2	250 13.9
地域	首都圏	900 100	38 4.2	148 16.4	433 48.1	111 12.3	54 6.0	116 12.9
	京阪神圏	900 100	35 3.9	153 17.0	392 43.6	128 14.2	58 6.4	134 14.9
年代	20代	300 100	31 10.3	57 19.0	109 36.3	38 12.7	19 6.3	46 15.3
	30代	300 100	14 4.7	55 18.3	135 45.0	28 9.3	18 6.0	50 16.7
	40代	300 100	12 4.0	51 17.0	124 41.3	46 15.3	27 9.0	40 13.3
	50代	300 100	7 2.3	52 17.3	156 52.0	33 11.0	18 6.0	34 11.3
	60代	300 100	4 1.3	31 10.3	149 49.7	52 17.3	18 6.0	46 15.3
	70代以上	300 100	5 1.7	55 18.3	152 50.7	42 14.0	12 4.0	34 11.3

Q32 情報提供において、あなたが行政に期待すること（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブ(マイナスの、あるいは都合の悪い)情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
度数横%										
全 体		1800 100	1350 75.0	597 33.2	617 34.3	389 21.6	342 19.0	246 13.7	80 4.4	90 5.0
地域	首都圏	900 100	684 76.0	282 31.3	315 35.0	197 21.9	175 19.4	133 14.8	39 4.3	48 5.3
	京阪神圏	900 100	666 74.0	315 35.0	302 33.6	192 21.3	167 18.6	113 12.6	41 4.6	42 4.7
年代	20代	300 100	171 57.0	66 22.0	65 21.7	47 15.7	43 14.3	22 7.3	11 3.7	18 6.0
	30代	300 100	197 65.7	63 21.0	90 30.0	53 17.7	54 18.0	35 11.7	15 5.0	18 6.0
	40代	300 100	228 76.0	93 31.0	110 36.7	53 17.7	75 25.0	35 11.7	13 4.3	19 6.3
	50代	300 100	235 78.3	107 35.7	113 37.7	52 17.3	52 17.3	54 18.0	9 3.0	8 2.7
	60代	300 100	248 82.7	132 44.0	112 37.3	82 27.3	56 18.7	47 15.7	13 4.3	17 5.7
	70代以上	300 100	271 90.3	136 45.3	127 42.3	102 34.0	62 20.7	53 17.7	19 6.3	10 3.3

		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受ける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
度数横%									
全 体		1800 100	58 3.2	23 1.3	31 1.7	58 3.2	26 1.4	69 3.8	9 0.5
地域	首都圏	900 100	23 2.6	12 1.3	12 1.3	25 2.8	10 1.1	31 3.4	2 0.2
	京阪神圏	900 100	35 3.9	11 1.2	19 2.1	33 3.7	16 1.8	38 4.2	7 0.8
年代	20代	300 100	13 4.3	3 1.0	8 2.7	11 3.7	7 2.3	26 8.7	0 0.0
	30代	300 100	11 3.7	3 1.0	4 1.3	6 2.0	7 2.3	22 7.3	0 0.0
	40代	300 100	13 4.3	8 2.7	5 1.7	10 3.3	4 1.3	7 2.3	2 0.7
	50代	300 100	9 3.0	6 2.0	5 1.7	8 2.7	4 1.3	9 3.0	3 1.0
	60代	300 100	10 3.3	1 0.3	4 1.3	11 3.7	2 0.7	2 0.7	3 1.0
	70代以上	300 100	2 0.7	2 0.7	5 1.7	12 4.0	2 0.7	3 1.0	1 0.3

(2) 食肉の栄養や機能について

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな(マ イナスの、ある いは都合の悪い)情報も包み 隠さず開示	中立・公平な 立場での見解	食品表示制 度の改善	情報へのアクセ スのしやすさ
全 体		1800 100	1201 66.7	437 24.3	606 33.7	374 20.8	261 14.5	239 13.3	130 7.2	100 5.6
地域	首都圏	900 100	611 67.9	209 23.2	303 33.7	183 20.3	133 14.8	130 14.4	63 7.0	59 6.6
	京阪神圏	900 100	590 65.6	228 25.3	303 33.7	191 21.2	128 14.2	109 12.1	67 7.4	41 4.6
年代	20代	300 100	150 50.0	50 16.7	56 18.7	38 12.7	43 14.3	21 7.0	9 3.0	20 6.7
	30代	300 100	176 58.7	57 19.0	81 27.0	47 15.7	37 12.3	33 11.0	22 7.3	17 5.7
	40代	300 100	197 65.7	55 18.3	123 41.0	63 21.0	63 21.0	32 10.7	21 7.0	20 6.7
	50代	300 100	223 74.3	81 27.0	112 37.3	49 16.3	37 12.3	51 17.0	15 5.0	7 2.3
	60代	300 100	225 75.0	106 35.3	100 33.3	82 27.3	39 13.0	45 15.0	22 7.3	17 5.7
	70代以上	300 100	230 76.7	88 29.3	134 44.7	95 31.7	42 14.0	57 19.0	41 13.7	19 6.3

度数 横%		全 体	ウェブサイトの 充実	メールマガジ ンの発信	パンフレット・広 報誌の 充実	消費者の 相談を受ける 窓口の設置	説明会などの 開催	意見交換会 など双方向型 のコミュニケ ーションの場 の設置	その他
全 体		1800 100	65 3.6	23 1.3	40 2.2	59 3.3	31 1.7	69 3.8	11 0.6
地域	首都圏	900 100	27 3.0	11 1.2	17 1.9	28 3.1	14 1.6	32 3.6	3 0.3
	京阪神圏	900 100	38 4.2	12 1.3	23 2.6	31 3.4	17 1.9	37 4.1	8 0.9
年代	20代	300 100	9 3.0	1 0.3	6 2.0	11 3.7	8 2.7	24 8.0	0 0.0
	30代	300 100	11 3.7	1 0.3	6 2.0	7 2.3	7 2.3	22 7.3	0 0.0
	40代	300 100	11 3.7	7 2.3	6 2.0	7 2.3	5 1.7	9 3.0	2 0.7
	50代	300 100	10 3.3	9 3.0	3 1.0	9 3.0	2 0.7	8 2.7	3 1.0
	60代	300 100	15 5.0	5 1.7	7 2.3	13 4.3	6 2.0	3 1.0	3 1.0
	70代以上	300 100	9 3.0	0 0.0	12 4.0	12 4.0	3 1.0	3 1.0	3 1.0

【画像について】

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。







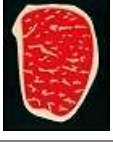











※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

※3：画像1（B.M.S. No.1）は脂肪交雑の認められないもの、画像2（B.M.S. No.2）は画像3（B.M.S. No.3）に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準（B.M.S.）によって評価し、等級を決定します。

※5：一つの画像について、「赤身肉」「霜降り肉」の両方をお選びいただくことはできません。

※6：あなたが、「赤身肉、霜降り肉のいずれかわからない」と思う画像はお選びにならなくても結構です。

画像1 B.M.S No.1		(写真提示なし ※2, 3参照)
画像2 B.M.S No.2		(写真提示なし ※2, 3参照)
画像3 B.M.S No.3		
画像4 B.M.S No.4		
画像5 B.M.S No.5		
画像6 B.M.S No.6		
画像7 B.M.S No.7		
画像8 B.M.S No.8		
画像9 B.M.S No.9		
画像10 B.M.S No.10		

Q33 以下の国産牛肉の画像を見て、ご回答ください。

(1) あなたが「赤身肉」と考える国産牛肉について、あてはまるものを全てお選びください。

		全体										
		画像1 (B.M.S No.1)	画像2 (B.M.S No.1)	画像3 (B.M.S No.1)	画像4 (B.M.S No.1)	画像5 (B.M.S No.1)	画像6 (B.M.S No.1)	画像7 (B.M.S No.1)	画像8 (B.M.S No.1)	画像9 (B.M.S No.1)	画像10 (B.M.S No.10)	
度数 横%	全体											
		(写真提示なし)	(写真提示なし)									
全体	1800	1800	1334	971	603	420	242	141	83	42	0	
	100	100.0	74.1	53.9	33.5	23.3	13.4	7.8	4.6	2.3	0.0	
地域	首都圏	900	900	664	483	302	213	121	67	35	18	0
	100	100.0	73.8	53.7	33.6	23.7	13.4	7.4	3.9	2.0	0.0	
	京阪神圏	900	900	670	488	301	207	121	74	48	24	0
	100	100.0	74.4	54.2	33.4	23.0	13.4	8.2	5.3	2.7	0.0	
年代	20代	300	300	217	173	125	95	61	39	22	13	0
		100	100.0	72.3	57.7	41.7	31.7	20.3	13.0	7.3	4.3	0.0
	30代	300	300	208	158	102	70	47	29	19	10	0
		100	100.0	69.3	52.7	34.0	23.3	15.7	9.7	6.3	3.3	0.0
	40代	300	300	232	166	98	68	32	21	12	4	0
		100	100.0	77.3	55.3	32.7	22.7	10.7	7.0	4.0	1.3	0.0
	50代	300	300	209	149	89	63	38	21	15	9	0
	100	100.0	69.7	49.7	29.7	21.0	12.7	7.0	5.0	3.0	0.0	
60代	300	300	233	163	93	61	35	16	8	3	0	
	100	100.0	77.7	54.3	31.0	20.3	11.7	5.3	2.7	1.0	0.0	
70代以上	300	300	235	162	96	63	29	15	7	3	0	
	100	100.0	78.3	54.0	32.0	21.0	9.7	5.0	2.3	1.0	0.0	

(2) あなたが「霜降り肉」と考える国産牛肉について、あてはまるものを全てお選びください。

※一つの画像について、「赤身肉」「霜降り肉」の両方をお選びいただくことはできません。

※あなたが、「赤身肉、霜降り肉のいずれかわからない」と思う画像はお選びにならなくても結構です。

		全体										
		画像1 (B.M.S No.1)	画像2 (B.M.S No.1)	画像3 (B.M.S No.1)	画像4 (B.M.S No.1)	画像5 (B.M.S No.1)	画像6 (B.M.S No.1)	画像7 (B.M.S No.1)	画像8 (B.M.S No.1)	画像9 (B.M.S No.1)	画像10 (B.M.S No.10)	
度数 横%	全体											
		(写真提示なし)	(写真提示なし)									
全体	1800	0	168	357	558	713	1017	1192	1363	1560	1800	
	100	0.0	9.3	19.8	31.0	39.6	56.5	66.2	75.7	86.7	100.0	
地域	首都圏	900	0	92	184	277	357	512	606	698	785	900
	100	0.0	10.2	20.4	30.8	39.7	56.9	67.3	77.6	87.2	100.0	
	京阪神圏	900	0	76	173	281	356	505	586	665	775	900
	100	0.0	8.4	19.2	31.2	39.6	56.1	65.1	73.9	86.1	100.0	
年代	20代	300	0	43	68	98	123	164	197	234	265	300
		100	0.0	14.3	22.7	32.7	41.0	54.7	65.7	78.0	88.3	100.0
	30代	300	0	47	79	111	141	177	203	229	264	300
		100	0.0	15.7	26.3	37.0	47.0	59.0	67.7	76.3	88.0	100.0
	40代	300	0	26	60	96	125	183	207	231	259	300
		100	0.0	8.7	20.0	32.0	41.7	61.0	69.0	77.0	86.3	100.0
	50代	300	0	23	59	95	122	175	196	216	251	300
	100	0.0	7.7	19.7	31.7	40.7	58.3	65.3	72.0	83.7	100.0	
60代	300	0	22	50	88	108	159	201	235	265	300	
	100	0.0	7.3	16.7	29.3	36.0	53.0	67.0	78.3	88.3	100.0	
70代以上	300	0	7	41	70	94	159	188	218	256	300	
	100	0.0	2.3	13.7	23.3	31.3	53.0	62.7	72.7	85.3	100.0	

(3) では、あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」に近い画像を1つだけお選びください。

		画像1 (B.M.S No.1)	画像2 (B.M.S No.1)	画像3 (B.M.S No.1)	画像4 (B.M.S No.1)	画像5 (B.M.S No.1)	画像6 (B.M.S No.1)	画像7 (B.M.S No.1)	画像8 (B.M.S No.1)	画像9 (B.M.S No.1)	画像10 (B.M.S No.10)		
度数 横%	全体											国産牛肉は 購入していない ・わからない	
		(写真提示なし)	(写真提示なし)										
全体	1800 100	145 8.1	158 8.8	288 16.0	193 10.7	146 8.1	122 6.8	82 4.6	86 4.8	65 3.6	80 4.4	435 24.2	
地域	首都圏	900 100	69 7.7	81 9.0	131 14.6	107 11.9	71 7.9	57 6.3	41 4.6	36 4.0	35 3.9	31 3.4	241 26.8
	京阪神圏	900 100	76 8.4	77 8.6	157 17.4	86 9.6	75 8.3	65 7.2	41 4.6	50 5.6	30 3.3	49 5.4	194 21.6
年代	20代	300 100	23 7.7	30 10.0	43 14.3	22 7.3	23 7.7	16 5.3	19 6.3	11 3.7	13 4.3	17 5.7	83 27.7
	30代	300 100	40 13.3	33 11.0	43 14.3	27 9.0	20 6.7	9 3.0	11 3.7	14 4.7	12 4.0	12 4.0	79 26.3
	40代	300 100	25 8.3	27 9.0	39 13.0	27 9.0	31 10.3	19 6.3	10 3.3	17 5.7	5 1.7	12 4.0	88 29.3
	50代	300 100	24 8.0	26 8.7	58 19.3	37 12.3	21 7.0	23 7.7	11 3.7	9 3.0	13 4.3	10 3.3	68 22.7
	60代	300 100	20 6.7	20 6.7	57 19.0	38 12.7	23 7.7	26 8.7	14 4.7	11 3.7	12 4.0	16 5.3	63 21.0
	70代以上	300 100	13 4.3	22 7.3	48 16.0	42 14.0	28 9.3	29 9.7	17 5.7	24 8.0	10 3.3	13 4.3	54 18.0

(4) あなたが「好きな国産牛肉」「好んで食べたい国産牛肉」に近い画像を1つだけお選びください。

		画像1 (B.M.S No.1)	画像2 (B.M.S No.1)	画像3 (B.M.S No.1)	画像4 (B.M.S No.1)	画像5 (B.M.S No.1)	画像6 (B.M.S No.1)	画像7 (B.M.S No.1)	画像8 (B.M.S No.1)	画像9 (B.M.S No.1)	画像10 (B.M.S No.10)	
度数 横%	全体											
		(写真提示なし)	(写真提示なし)									
全体	1800 100	194 10.8	142 7.9	274 15.2	203 11.3	171 9.5	205 11.4	131 7.3	151 8.4	112 6.2	217 12.1	
地域	首都圏	900 100	92 10.2	82 9.1	128 14.2	112 12.4	89 9.9	110 12.2	59 6.6	71 7.9	55 6.1	102 11.3
	京阪神圏	900 100	102 11.3	60 6.7	146 16.2	91 10.1	82 9.1	95 10.6	72 8.0	80 8.9	57 6.3	115 12.8
年代	20代	300 100	35 11.7	28 9.3	44 14.7	24 8.0	34 11.3	29 9.7	24 8.0	20 6.7	21 7.0	41 13.7
	30代	300 100	45 15.0	36 12.0	44 14.7	36 12.0	31 10.3	23 7.7	16 5.3	21 7.0	16 5.3	32 10.7
	40代	300 100	37 12.3	25 8.3	48 16.0	31 10.3	31 10.3	39 13.0	20 6.7	24 8.0	12 4.0	33 11.0
	50代	300 100	23 7.7	21 7.0	47 15.7	41 13.7	28 9.3	34 11.3	25 8.3	23 7.7	22 7.3	36 12.0
	60代	300 100	32 10.7	21 7.0	45 15.0	37 12.3	26 8.7	40 13.3	20 6.7	25 8.3	16 5.3	38 12.7
	70代以上	300 100	22 7.3	11 3.7	46 15.3	34 11.3	21 7.0	40 13.3	26 8.7	38 12.7	25 8.3	37 12.3

Q34 国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格であれば、どちらを購入しますか。

		度数 横%	全 体	赤身肉	霜降り肉
全 体			1800 100	715 39.7	1085 60.3
地域	首都圏		900 100	356 39.6	544 60.4
	京阪神圏		900 100	358 39.8	542 60.2
年代	20代		300 100	144 48.0	156 52.0
	30代		300 100	134 44.7	166 55.3
	40代		300 100	130 43.3	170 56.7
	50代		300 100	104 34.7	196 65.3
	60代		300 100	113 37.7	187 62.3
	70代以上		300 100	89 29.7	211 70.3

Q35 国産牛肉の「霜降り肉」を買うとした場合、「赤身肉」との価格差がどの程度であれば、購入しますか。

		度数 横%	全 体	「赤身肉」より、 安価でも、 「霜降り肉」を 購入しない (値段に関係なく、 「赤身肉」を 購入する)	「赤身肉」より、 2割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 3割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 5割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 2倍高くても、 「霜降り肉」を 購入する	値段に 関係なく、 「霜降り肉」を 購入する
全 体			1800 100	524 29.1	693 38.5	225 12.5	86 4.8	57 3.2	215 11.9
地域	首都圏		900 100	268 29.8	357 39.7	109 12.1	40 4.4	22 2.4	104 11.6
	京阪神圏		900 100	256 28.4	336 37.3	116 12.9	46 5.1	35 3.9	111 12.3
年代	20代		300 100	81 27.0	104 34.7	38 12.7	18 6.0	8 2.7	51 17.0
	30代		300 100	114 38.0	105 35.0	25 8.3	14 4.7	11 3.7	31 10.3
	40代		300 100	99 33.0	103 34.3	39 13.0	13 4.3	14 4.7	32 10.7
	50代		300 100	80 26.7	124 41.3	39 13.0	14 4.7	4 1.3	39 13.0
	60代		300 100	84 28.0	122 40.7	43 14.3	12 4.0	8 2.7	31 10.3
	70代以上		300 100	66 22.0	135 45.0	41 13.7	15 5.0	12 4.0	31 10.3

Q36 あなたが普段、国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」か「霜降り肉」かを選択する頻度について、あてはまるものを1つお選びください。

度数横%		全 体	毎回、「赤身肉」 を購入する	普段は「赤身肉」 を購入するが、 たまに「霜降り肉」 も購入する	「赤身肉」と「霜降り肉」 を半々の頻度で 購入する	普段は「霜降り肉」 を購入するが、 たまに「赤身肉」 も購入する	毎回、「霜降り肉」 を購入する	国産牛肉は購入 していない・わからない
全 体		1800 100	317 17.6	569 31.6	246 13.7	222 12.3	101 5.6	345 19.2
地域	首都圏	900 100	155 17.2	282 31.3	127 14.1	112 12.4	39 4.3	185 20.6
	京阪神圏	900 100	162 18.0	287 31.9	119 13.2	110 12.2	62 6.9	160 17.8
年代	20代	300 100	42 14.0	79 26.3	49 16.3	35 11.7	15 5.0	80 26.7
	30代	300 100	63 21.0	87 29.0	42 14.0	31 10.3	9 3.0	68 22.7
	40代	300 100	63 21.0	77 25.7	36 12.0	39 13.0	16 5.3	69 23.0
	50代	300 100	53 17.7	96 32.0	41 13.7	34 11.3	21 7.0	55 18.3
	60代	300 100	48 16.0	119 39.7	37 12.3	35 11.7	16 5.3	45 15.0
	70代以上	300 100	48 16.0	111 37.0	41 13.7	48 16.0	24 8.0	28 9.3

Q37 あなたが主に購入する「赤身肉」と「霜降り肉」にどのような特徴を期待するか、あてはまるものを全て選択してください。なお、この牛肉は国産であるとします。

(1) 「赤身肉」(国産牛肉)

		全 体	満足感	ジューシー	やわらかさ	歯ごたえ	とろける食感	弾力	高級感	ヘルシーさ	安価	充実感	この肉は購入しない
度数横%													
全 体		1800 100	652 36.2	309 17.2	399 22.2	436 24.2	91 5.1	316 17.6	99 5.5	533 29.6	639 35.5	165 9.2	215 11.9
地域	首都圏	900 100	338 37.6	155 17.2	191 21.2	239 26.6	41 4.6	155 17.2	48 5.3	261 29.0	303 33.7	82 9.1	118 13.1
	京阪神圏	900 100	314 34.9	154 17.1	208 23.1	197 21.9	50 5.6	161 17.9	51 5.7	272 30.2	336 37.3	83 9.2	97 10.8
年代	20代	300 100	126 42.0	63 21.0	45 15.0	48 16.0	26 8.7	36 12.0	17 5.7	39 13.0	46 15.3	17 5.7	53 17.7
	30代	300 100	133 44.3	52 17.3	45 15.0	69 23.0	12 4.0	49 16.3	18 6.0	76 25.3	85 28.3	28 9.3	38 12.7
	40代	300 100	117 39.0	70 23.3	70 23.3	84 28.0	27 9.0	54 18.0	18 6.0	87 29.0	112 37.3	33 11.0	40 13.3
	50代	300 100	108 36.0	51 17.0	69 23.0	76 25.3	9 3.0	62 20.7	16 5.3	104 34.7	113 37.7	33 11.0	27 9.0
	60代	300 100	87 29.0	37 12.3	68 22.7	80 26.7	6 2.0	58 19.3	15 5.0	111 37.0	126 42.0	26 8.7	30 10.0
	70代以上	300 100	81 27.0	36 12.0	102 34.0	79 26.3	11 3.7	57 19.0	15 5.0	116 38.7	157 52.3	28 9.3	27 9.0

(2) 「霜降り肉」(国産牛肉)

		全 体	満足感	ジューシー	やわらかさ	歯ごたえ	とろける食感	弾力	高級感	ヘルシーさ	安価	充実感	この肉は購入しない
度数横%													
全 体		1800 100	554 30.8	665 36.9	711 39.5	113 6.3	652 36.2	79 4.4	563 31.3	49 2.7	142 7.9	214 11.9	269 14.9
地域	首都圏	900 100	269 29.9	329 36.6	350 38.9	50 5.6	320 35.6	38 4.2	286 31.8	21 2.3	58 6.4	100 11.1	144 16.0
	京阪神圏	900 100	285 31.7	336 37.3	361 40.1	63 7.0	332 36.9	41 4.6	277 30.8	28 3.1	84 9.3	114 12.7	125 13.9
年代	20代	300 100	74 24.7	87 29.0	67 22.3	26 8.7	53 17.7	17 5.7	57 19.0	10 3.3	20 6.7	22 7.3	56 18.7
	30代	300 100	90 30.0	122 40.7	102 34.0	20 6.7	85 28.3	13 4.3	71 23.7	8 2.7	25 8.3	31 10.3	46 15.3
	40代	300 100	93 31.0	103 34.3	125 41.7	21 7.0	100 33.3	15 5.0	86 28.7	10 3.3	33 11.0	35 11.7	55 18.3
	50代	300 100	99 33.0	113 37.7	131 43.7	15 5.0	123 41.0	12 4.0	96 32.0	6 2.0	25 8.3	39 13.0	39 13.0
	60代	300 100	93 31.0	118 39.3	139 46.3	18 6.0	121 40.3	12 4.0	114 38.0	7 2.3	16 5.3	34 11.3	36 12.0
	70代以上	300 100	105 35.0	122 40.7	147 49.0	13 4.3	170 56.7	10 3.3	139 46.3	8 2.7	23 7.7	53 17.7	37 12.3

Q38 あなたが主に購入する「赤身肉」と「霜降り肉」をどのように調理して食べたいかあてはまるものを全て選択してください。なお、この牛肉は国産であるとします。

(1) 「赤身肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	焼き肉	ステーキ	すき焼き	しゃぶしゃぶ	ロースト ビーフ	ビーフカツ	ビーフ シチュー	ビーフカレー	ハヤシライ ス・ハッシュ ドビーフ	牛丼	この肉は 購入 しない
全 体			1800 100	856 47.6	577 32.1	407 22.6	285 15.8	453 25.2	381 21.2	500 27.8	575 31.9	416 23.1	443 24.6	230 12.8
地域	首都圏		900 100	426 47.3	292 32.4	194 21.6	144 16.0	220 24.4	166 18.4	234 26.0	248 27.6	191 21.2	215 23.9	123 13.7
	京阪神圏		900 100	430 47.8	285 31.7	213 23.7	141 15.7	233 25.9	215 23.9	266 29.6	327 36.3	225 25.0	228 25.3	107 11.9
年代	20代		300 100	119 39.7	78 26.0	58 19.3	42 14.0	48 16.0	19 6.3	31 10.3	35 11.7	27 9.0	32 10.7	48 16.0
	30代		300 100	169 56.3	101 33.7	64 21.3	50 16.7	57 19.0	44 14.7	63 21.0	70 23.3	54 18.0	62 20.7	44 14.7
	40代		300 100	140 46.7	112 37.3	63 21.0	51 17.0	75 25.0	59 19.7	68 22.7	82 27.3	64 21.3	79 26.3	46 15.3
	50代		300 100	148 49.3	108 36.0	67 22.3	49 16.3	84 28.0	72 24.0	98 32.7	110 36.7	91 30.3	93 31.0	31 10.3
	60代		300 100	139 46.3	94 31.3	63 21.0	42 14.0	101 33.7	87 29.0	115 38.3	132 44.0	81 27.0	83 27.7	35 11.7
	70代以上		300 100	141 47.0	84 28.0	92 30.7	51 17.0	88 29.3	100 33.3	125 41.7	146 48.7	99 33.0	94 31.3	26 8.7

(2) 「霜降り肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	焼き肉	ステーキ	すき焼き	しゃぶしゃぶ	ロースト ビーフ	ビーフカツ	ビーフ シチュー	ビーフカレー	ハヤシライ ス・ハッシュ ドビーフ	牛丼	この肉は 購入 しない
全 体			1800 100	687 38.2	793 44.1	764 42.4	567 31.5	115 6.4	87 4.8	83 4.6	82 4.6	74 4.1	180 10.0	283 15.7
地域	首都圏		900 100	334 37.1	387 43.0	368 40.9	263 29.2	64 7.1	37 4.1	40 4.4	41 4.6	37 4.1	95 10.6	148 16.4
	京阪神圏		900 100	353 39.2	406 45.1	396 44.0	304 33.8	51 5.7	50 5.6	43 4.8	41 4.6	37 4.1	85 9.4	135 15.0
年代	20代		300 100	94 31.3	94 31.3	83 27.7	54 18.0	21 7.0	14 4.7	17 5.7	13 4.3	12 4.0	14 4.7	49 16.3
	30代		300 100	119 39.7	125 41.7	98 32.7	63 21.0	19 6.3	12 4.0	10 3.3	10 3.3	14 4.7	22 7.3	51 17.0
	40代		300 100	119 39.7	128 42.7	120 40.0	85 28.3	17 5.7	14 4.7	14 4.7	12 4.0	14 4.7	25 8.3	60 20.0
	50代		300 100	124 41.3	132 44.0	142 47.3	111 37.0	16 5.3	17 5.7	12 4.0	15 5.0	14 4.7	34 11.3	39 13.0
	60代		300 100	127 42.3	156 52.0	157 52.3	118 39.3	14 4.7	13 4.3	18 6.0	15 5.0	15 5.0	42 14.0	42 14.0
	70代以上		300 100	104 34.7	158 52.7	164 54.7	136 45.3	28 9.3	17 5.7	12 4.0	17 5.7	5 1.7	43 14.3	42 14.0

Q39 5年前と比べた場合の、現在のあなたの「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好の傾向について、あてはまるものを1つ選んでください。

度数 横%		全 体	「赤身肉」をより 嗜好するようになった	もともと「赤身肉」が好き (好みは変わらない)	もともと「霜降り肉」も 「赤身肉」も 同じ程度好き (好みは変わらない)	もともと「霜降り肉」が 好き (好みは変わらない)	「霜降り肉」をより 嗜好するようになった
全 体		1800 100	226 12.6	390 21.7	713 39.6	356 19.8	115 6.4
地域	首都圏	900 100	108 12.0	195 21.7	360 40.0	184 20.4	53 5.9
	京阪神圏	900 100	118 13.1	195 21.7	353 39.2	172 19.1	62 6.9
年代	20代	300 100	29 9.7	61 20.3	126 42.0	50 16.7	34 11.3
	30代	300 100	44 14.7	70 23.3	114 38.0	49 16.3	23 7.7
	40代	300 100	41 13.7	69 23.0	119 39.7	48 16.0	23 7.7
	50代	300 100	38 12.7	59 19.7	121 40.3	64 21.3	18 6.0
	60代	300 100	42 14.0	73 24.3	110 36.7	66 22.0	9 3.0
	70代以上	300 100	32 10.7	58 19.3	123 41.0	79 26.3	8 2.7

Q40 5年前と比較し、「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する割合の変化について、あてはまるものを1つ選んでください。

度数 横%		全 体	「赤身肉」より、 「霜降り肉」を購入 する割合が増えた	「赤身肉」と「霜降り肉」 の購入の割合は 変わらない	「霜降り肉」より、 「赤身肉」の購入 割合が増えた	わからない
全 体		1800 100	177 9.8	893 49.6	325 18.1	405 22.5
地域	首都圏	900 100	81 9.0	435 48.3	173 19.2	211 23.4
	京阪神圏	900 100	96 10.7	458 50.9	152 16.9	194 21.6
年代	20代	300 100	55 18.3	132 44.0	28 9.3	85 28.3
	30代	300 100	30 10.0	142 47.3	58 19.3	70 23.3
	40代	300 100	25 8.3	139 46.3	59 19.7	77 25.7
	50代	300 100	25 8.3	160 53.3	51 17.0	64 21.3
	60代	300 100	12 4.0	166 55.3	57 19.0	65 21.7
	70代以上	300 100	30 10.0	154 51.3	72 24.0	44 14.7

Q41 あなたは、国産牛肉の格付（A5、A4、A3等）について、ご存じですか。

度数 横%		全 体	詳しく知っている	ある程度知っている、	A5やA4等という 言葉は聞いたことが ある・知っている	知らない
全 体		1800 100	64 3.6	492 27.3	844 46.9	400 22.2
地域	首都圏	900 100	35 3.9	236 26.2	420 46.7	209 23.2
	京阪神圏	900 100	29 3.2	256 28.4	424 47.1	191 21.2
年代	20代	300 100	25 8.3	74 24.7	125 41.7	76 25.3
	30代	300 100	13 4.3	87 29.0	128 42.7	72 24.0
	40代	300 100	3 1.0	67 22.3	149 49.7	81 27.0
	50代	300 100	6 2.0	75 25.0	170 56.7	49 16.3
	60代	300 100	10 3.3	99 33.0	146 48.7	45 15.0
	70代以上	300 100	7 2.3	90 30.0	126 42.0	77 25.7

Q42 (1) 「A5の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

度数 横%		全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが多い)	赤身が多い	高級	価格が手頃	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない
全 体		1800 100	958 53.2	658 36.6	675 37.5	84 4.7	657 36.5	55 3.1	419 23.3	95 5.3	58 3.2	489 27.2
地域	首都圏	900 100	471 52.3	318 35.3	322 35.8	38 4.2	311 34.6	27 3.0	193 21.4	42 4.7	26 2.9	251 27.9
	京阪神圏	900 100	487 54.1	340 37.8	353 39.2	46 5.1	346 38.4	28 3.1	226 25.1	53 5.9	32 3.6	238 26.4
年代	20代	300 100	151 50.3	83 27.7	72 24.0	19 6.3	67 22.3	12 4.0	41 13.7	7 2.3	8 2.7	68 22.7
	30代	300 100	143 47.7	87 29.0	94 31.3	19 6.3	92 30.7	15 5.0	53 17.7	11 3.7	12 4.0	85 28.3
	40代	300 100	158 52.7	100 33.3	106 35.3	16 5.3	100 33.3	9 3.0	66 22.0	12 4.0	9 3.0	94 31.3
	50代	300 100	171 57.0	121 40.3	123 41.0	14 4.7	130 43.3	7 2.3	82 27.3	18 6.0	7 2.3	72 24.0
	60代	300 100	169 56.3	125 41.7	134 44.7	12 4.0	130 43.3	4 1.3	80 26.7	17 5.7	10 3.3	77 25.7
	70代以上	300 100	166 55.3	142 47.3	146 48.7	4 1.3	138 46.0	8 2.7	97 32.3	30 10.0	12 4.0	93 31.0

Q42 (2) 次に、「A3の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

度数 横%		全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが多い)	赤身が多い	高級	価格が手頃	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない
全 体		1800 100	533 29.6	336 18.7	181 10.1	236 13.1	159 8.8	232 12.9	131 7.3	99 5.5	77 4.3	670 37.2
地域	首都圏	900 100	279 31.0	155 17.2	79 8.8	106 11.8	74 8.2	112 12.4	69 7.7	47 5.2	33 3.7	339 37.7
	京阪神圏	900 100	254 28.2	181 20.1	102 11.3	130 14.4	85 9.4	120 13.3	62 6.9	52 5.8	44 4.9	331 36.8
年代	20代	300 100	92 30.7	58 19.3	32 10.7	34 11.3	26 8.7	20 6.7	28 9.3	6 2.0	8 2.7	87 29.0
	30代	300 100	88 29.3	67 22.3	36 12.0	28 9.3	34 11.3	24 8.0	24 8.0	11 3.7	8 2.7	115 38.3
	40代	300 100	99 33.0	70 23.3	41 13.7	28 9.3	28 9.3	31 10.3	22 7.3	10 3.3	8 2.7	120 40.0
	50代	300 100	92 30.7	45 15.0	25 8.3	35 11.7	34 11.3	31 10.3	28 9.3	16 5.3	11 3.7	120 40.0
	60代	300 100	87 29.0	46 15.3	28 9.3	47 15.7	19 6.3	59 19.7	17 5.7	24 8.0	17 5.7	108 36.0
	70代以上	300 100	75 25.0	50 16.7	19 6.3	64 21.3	18 6.0	67 22.3	12 4.0	32 10.7	25 8.3	120 40.0

Q42 (3) 次に、「B5の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

度数 横%		全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが多い)	赤身が多い	高級	価格が手頃	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない
全 体		1800 100	363 20.2	108 6.0	118 6.6	333 18.5	79 4.4	478 26.6	64 3.6	68 3.8	131 7.3	742 41.2
地域	首都圏	900 100	185 20.6	55 6.1	55 6.1	157 17.4	36 4.0	247 27.4	30 3.3	33 3.7	52 5.8	365 40.6
	京阪神圏	900 100	178 19.8	53 5.9	63 7.0	176 19.6	43 4.8	231 25.7	34 3.8	35 3.9	79 8.8	377 41.9
年代	20代	300 100	71 23.7	21 7.0	32 10.7	37 12.3	21 7.0	51 17.0	19 6.3	7 2.3	11 3.7	94 31.3
	30代	300 100	72 24.0	21 7.0	31 10.3	54 18.0	18 6.0	57 19.0	13 4.3	12 4.0	14 4.7	116 38.7
	40代	300 100	69 23.0	25 8.3	21 7.0	52 17.3	12 4.0	76 25.3	10 3.3	12 4.0	9 3.0	134 44.7
	50代	300 100	55 18.3	11 3.7	8 2.7	63 21.0	7 2.3	89 29.7	10 3.3	13 4.3	22 7.3	132 44.0
	60代	300 100	52 17.3	13 4.3	11 3.7	59 19.7	8 2.7	97 32.3	7 2.3	12 4.0	27 9.0	132 44.0
	70代以上	300 100	44 14.7	17 5.7	15 5.0	68 22.7	13 4.3	108 36.0	5 1.7	12 4.0	48 16.0	134 44.7

Q43 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国産牛肉の格付には「歩留等級」と「肉質等級」の2つの等級が用いられます。「歩留等級」は商品となる部分肉が取れる度合いを表しています。「肉質等級」は脂肪交雑(サシ)の度合い、肉色などの4つの項目で判定されます。「歩留等級」は、A～Cのアルファベットで表され、C→B→Aの順に等級が高くなり、等級が高いほど商品となる部分肉の量が多くなります。「肉質等級」は、1～5の数字で表され、1→2→3→4→5と数字が大きくなるほど等級が高くなり、脂肪交雑(サシ)が多いもの、肉色が良いものとなります。

あなたは、「国産牛肉の格付」について、どの程度関心がありますか。

度数横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	全く 関心がない
全 体		1800 100	117 6.5	574 31.9	534 29.7	377 20.9	198 11.0
地域	首都圏	900 100	62 6.9	273 30.3	261 29.0	200 22.2	104 11.6
	京阪神圏	900 100	55 6.1	301 33.4	273 30.3	177 19.7	94 10.4
年代	20代	300 100	34 11.3	110 36.7	81 27.0	43 14.3	32 10.7
	30代	300 100	21 7.0	90 30.0	98 32.7	50 16.7	41 13.7
	40代	300 100	14 4.7	93 31.0	86 28.7	65 21.7	42 14.0
	50代	300 100	16 5.3	87 29.0	104 34.7	64 21.3	29 9.7
	60代	300 100	14 4.7	100 33.3	81 27.0	78 26.0	27 9.0
	70代以上	300 100	18 6.0	94 31.3	84 28.0	77 25.7	27 9.0

Q44 「赤身肉」を購入する場合、特に購入することが多い牛肉について、あてはまるものを1つ選んでください。

<Q36「毎回赤身肉を購入」～「普段霜降り肉、たまに赤身肉購入」回答者>

度数横%		全 体	国産牛肉	アメリカ産 牛肉	オーストラリア産 牛肉	その他の国の 牛肉	こだわらない	わからない
全 体		1354 100	668 49.3	158 11.7	235 17.4	31 2.3	191 14.1	71 5.2
地域	首都圏	676 100	304 45.0	87 12.9	132 19.5	14 2.1	101 14.9	38 5.6
	京阪神圏	678 100	364 53.7	71 10.5	103 15.2	17 2.5	90 13.3	33 4.9
年代	20代	205 100	95 46.3	32 15.6	23 11.2	11 5.4	33 16.1	11 5.4
	30代	223 100	97 43.5	25 11.2	40 17.9	11 4.9	33 14.8	17 7.6
	40代	215 100	108 50.2	26 12.1	41 19.1	4 1.9	29 13.5	7 3.3
	50代	224 100	101 45.1	27 12.1	43 19.2	1 0.4	35 15.6	17 7.6
	60代	239 100	123 51.5	28 11.7	47 19.7	2 0.8	28 11.7	11 4.6
	70代以上	248 100	144 58.1	20 8.1	41 16.5	2 0.8	33 13.3	8 3.2

Q45 「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から季節性インフルエンザ等と同等の「5類感染症」に変更されました。

あなたは「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴う事柄について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 自分の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	429 23.8	555 30.8	458 25.4	195 10.8	163 9.1
地域	首都圏		900 100	217 24.1	283 31.4	228 25.3	101 11.2	71 7.9
	京阪神圏		900 100	212 23.6	272 30.2	230 25.6	94 10.4	92 10.2
年代	20代		300 100	72 24.0	77 25.7	81 27.0	32 10.7	38 12.7
	30代		300 100	73 24.3	81 27.0	87 29.0	32 10.7	27 9.0
	40代		300 100	67 22.3	96 32.0	80 26.7	28 9.3	29 9.7
	50代		300 100	69 23.0	90 30.0	85 28.3	29 9.7	27 9.0
	60代		300 100	72 24.0	100 33.3	67 22.3	37 12.3	24 8.0
	70代以上		300 100	76 25.3	111 37.0	58 19.3	37 12.3	18 6.0

【2. 家族の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	431 23.9	579 32.2	486 27.0	152 8.4	152 8.4
地域	首都圏		900 100	213 23.7	288 32.0	249 27.7	78 8.7	72 8.0
	京阪神圏		900 100	218 24.2	291 32.3	237 26.3	74 8.2	80 8.9
年代	20代		300 100	68 22.7	88 29.3	82 27.3	32 10.7	30 10.0
	30代		300 100	76 25.3	91 30.3	88 29.3	23 7.7	22 7.3
	40代		300 100	75 25.0	98 32.7	84 28.0	16 5.3	27 9.0
	50代		300 100	65 21.7	93 31.0	89 29.7	23 7.7	30 10.0
	60代		300 100	73 24.3	100 33.3	75 25.0	28 9.3	24 8.0
	70代以上		300 100	74 24.7	109 36.3	68 22.7	30 10.0	19 6.3

【3. 友人・知人・同僚など身近な人の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	238 13.2	538 29.9	657 36.5	193 10.7	174 9.7
地域	首都圏		900 100	125 13.9	267 29.7	349 38.8	87 9.7	72 8.0
	京阪神圏		900 100	113 12.6	271 30.1	308 34.2	106 11.8	102 11.3
年代	20代		300 100	44 14.7	79 26.3	107 35.7	31 10.3	39 13.0
	30代		300 100	38 12.7	92 30.7	109 36.3	30 10.0	31 10.3
	40代		300 100	45 15.0	74 24.7	119 39.7	29 9.7	33 11.0
	50代		300 100	36 12.0	89 29.7	111 37.0	32 10.7	32 10.7
	60代		300 100	36 12.0	94 31.3	109 36.3	42 14.0	19 6.3
	70代以上		300 100	39 13.0	110 36.7	102 34.0	29 9.7	20 6.7

【4. 医療提供体制の逼迫】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	294 16.3	558 31.0	598 33.2	187 10.4	163 9.1
地域	首都圏		900 100	145 16.1	283 31.4	314 34.9	85 9.4	73 8.1
	京阪神圏		900 100	149 16.6	275 30.6	284 31.6	102 11.3	90 10.0
年代	20代		300 100	39 13.0	81 27.0	108 36.0	37 12.3	35 11.7
	30代		300 100	51 17.0	84 28.0	109 36.3	24 8.0	32 10.7
	40代		300 100	46 15.3	91 30.3	104 34.7	31 10.3	28 9.3
	50代		300 100	47 15.7	91 30.3	106 35.3	25 8.3	31 10.3
	60代		300 100	50 16.7	105 35.0	90 30.0	36 12.0	19 6.3
	70代以上		300 100	61 20.3	106 35.3	81 27.0	34 11.3	18 6.0

【5. 収入の減少や雇用の不安】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	289 16.1	434 24.1	668 37.1	204 11.3	205 11.4
地域	首都圏		900 100	131 14.6	223 24.8	352 39.1	99 11.0	95 10.6
	京阪神圏		900 100	158 17.6	211 23.4	316 35.1	105 11.7	110 12.2
年代	20代		300 100	50 16.7	78 26.0	108 36.0	27 9.0	37 12.3
	30代		300 100	57 19.0	70 23.3	111 37.0	31 10.3	31 10.3
	40代		300 100	59 19.7	84 28.0	101 33.7	28 9.3	28 9.3
	50代		300 100	47 15.7	80 26.7	110 36.7	30 10.0	33 11.0
	60代		300 100	43 14.3	63 21.0	117 39.0	45 15.0	32 10.7
	70代以上		300 100	33 11.0	59 19.7	121 40.3	43 14.3	44 14.7

【6. 外食・外出・旅行・娯楽など行動】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	233 12.9	527 29.3	631 35.1	213 11.8	196 10.9
地域	首都圏	900 100	114 12.7	261 29.0	330 36.7	105 11.7	90 10.0
	京阪神圏	900 100	119 13.2	266 29.6	301 33.4	108 12.0	106 11.8
年代	20代	300 100	37 12.3	88 29.3	103 34.3	32 10.7	40 13.3
	30代	300 100	40 13.3	68 22.7	127 42.3	27 9.0	38 12.7
	40代	300 100	45 15.0	77 25.7	105 35.0	41 13.7	32 10.7
	50代	300 100	33 11.0	82 27.3	116 38.7	35 11.7	34 11.3
	60代	300 100	32 10.7	107 35.7	89 29.7	47 15.7	25 8.3
	70代以上	300 100	46 15.3	105 35.0	91 30.3	31 10.3	27 9.0

【7. 友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	201 11.2	466 25.9	682 37.9	226 12.6	225 12.5
地域	首都圏	900 100	96 10.7	243 27.0	344 38.2	115 12.8	102 11.3
	京阪神圏	900 100	105 11.7	223 24.8	338 37.6	111 12.3	123 13.7
年代	20代	300 100	39 13.0	84 28.0	113 37.7	20 6.7	44 14.7
	30代	300 100	38 12.7	66 22.0	120 40.0	34 11.3	42 14.0
	40代	300 100	34 11.3	70 23.3	108 36.0	47 15.7	41 13.7
	50代	300 100	26 8.7	68 22.7	134 44.7	35 11.7	37 12.3
	60代	300 100	33 11.0	85 28.3	104 34.7	45 15.0	33 11.0
	70代以上	300 100	31 10.3	93 31.0	103 34.3	45 15.0	28 9.3

Q46 「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から季節性インフルエンザ等と同等の「5類感染症」に変更されました。

あなたは「新型コロナウイルス感染症」の流行により、昨年の今頃と比べ、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の購入や調理、中食や外食など食生活について変化がありますか。あてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	購入/ 食肉の購入回数を減 らして、まとめて購入 するようになった	食肉の購入回数を増 やして、少量を購入 するようになった	食肉をネットスーパ ーで購入するようにな った・購入が増えた	冷凍の食肉を購入す るようになった・購入が 増えた	店頭で高級な食肉を 購入するようになった ・購入が増えた	インターネットや通販 で高級な食肉を購入 するようになった・購 入が増えた	食肉加工品(ハム・ペ ーコン・ソーセージなど)を購 入するようになった・ 購入が増えた
全 体		1800 100	362 20.1	187 10.4	104 5.8	95 5.3	78 4.3	53 2.9	78 4.3
地域	首都圏	900 100	187 20.8	80 8.9	51 5.7	45 5.0	34 3.8	22 2.4	40 4.4
	京阪神圏	900 100	175 19.4	107 11.9	53 5.9	50 5.6	44 4.9	31 3.4	38 4.2
年代	20代	300 100	69 23.0	39 13.0	26 8.7	18 6.0	9 3.0	18 6.0	15 5.0
	30代	300 100	81 27.0	38 12.7	23 7.7	25 8.3	8 2.7	10 3.3	13 4.3
	40代	300 100	54 18.0	30 10.0	21 7.0	19 6.3	15 5.0	8 2.7	19 6.3
	50代	300 100	58 19.3	23 7.7	10 3.3	14 4.7	13 4.3	8 2.7	9 3.0
	60代	300 100	43 14.3	28 9.3	14 4.7	7 2.3	15 5.0	5 1.7	9 3.0
	70代以上	300 100	57 19.0	29 9.7	10 3.3	12 4.0	18 6.0	4 1.3	13 4.3

度数 横%		全 体	購入/ 味付け肉を購入する ようになった・購入が 増えた	ミールキットの食肉 (カット済みの肉・野菜・ 調味料などの材料とレシ ピが同梱)を購入するよ うになった・購入が増 えた	調理/ 普段作らなかった肉 料理を作るようになった	料理本・レシピサイ トなどをみて、普段作 らなかった肉料理を作 るようになった	手間や時間がかかる 肉料理を作るようにな った	簡単・時短の肉料理 を作るようになった	作り置きできる肉料 理を作るようになった
全 体		1800 100	44 2.4	28 1.6	88 4.9	93 5.2	74 4.1	203 11.3	97 5.4
地域	首都圏	900 100	21 2.3	11 1.2	47 5.2	50 5.6	33 3.7	83 9.2	48 5.3
	京阪神圏	900 100	23 2.6	17 1.9	41 4.6	43 4.8	41 4.6	120 13.3	49 5.4
年代	20代	300 100	9 3.0	9 3.0	14 4.7	13 4.3	15 5.0	26 8.7	21 7.0
	30代	300 100	11 3.7	7 2.3	20 6.7	14 4.7	15 5.0	39 13.0	19 6.3
	40代	300 100	9 3.0	4 1.3	17 5.7	20 6.7	11 3.7	33 11.0	14 4.7
	50代	300 100	5 1.7	4 1.3	11 3.7	15 5.0	7 2.3	32 10.7	12 4.0
	60代	300 100	6 2.0	1 0.3	10 3.3	15 5.0	9 3.0	34 11.3	13 4.3
	70代以上	300 100	4 1.3	3 1.0	16 5.3	16 5.3	17 5.7	39 13.0	18 6.0

度数 横%		全 体	調理/ 冷凍保存できる肉料 理を作るようになった	肉料理をあまり作らな くなった	中食・外食/ 外食の機会が減った	外食の機会が増えた	惣菜や調理済み食 品の購入が増えた	弁当の購入が増えた	持ち帰り・テイクアウト の利用が増えた
全 体		1800 100	74 4.1	57 3.2	372 20.7	132 7.3	116 6.4	92 5.1	98 5.4
地域	首都圏	900 100	30 3.3	28 3.1	174 19.3	71 7.9	55 6.1	44 4.9	45 5.0
	京阪神圏	900 100	44 4.9	29 3.2	198 22.0	61 6.8	61 6.8	48 5.3	53 5.9
年代	20代	300 100	10 3.3	4 1.3	29 9.7	24 8.0	23 7.7	15 5.0	13 4.3
	30代	300 100	15 5.0	9 3.0	54 18.0	15 5.0	25 8.3	18 6.0	22 7.3
	40代	300 100	12 4.0	10 3.3	69 23.0	25 8.3	20 6.7	13 4.3	25 8.3
	50代	300 100	7 2.3	10 3.3	57 19.0	27 9.0	11 3.7	14 4.7	15 5.0
	60代	300 100	11 3.7	8 2.7	73 24.3	23 7.7	19 6.3	12 4.0	12 4.0
	70代以上	300 100	19 6.3	16 5.3	90 30.0	18 6.0	18 6.0	20 6.7	11 3.7

度数 横%		全 体	中食・外食/ 出前・デリバリー・宅 配の利用が増えた	食生活/ 自宅で食事する機会 が増えた	家族そろって食事する 機会が増えた	大皿料理を作らな くなった・食べなくなった	焼き肉・鍋・しゃぶしゃ ぶなどを作らなくな った・食べなくなった	食事をする時にしゃべ らなくなった・会話をし ないようになった	食事をひとりでするよ うになった
全 体		1800 100	47 2.6	407 22.6	142 7.9	67 3.7	83 4.6	51 2.8	35 1.9
地域	首都圏	900 100	26 2.9	188 20.9	60 6.7	37 4.1	32 3.6	21 2.3	15 1.7
	京阪神圏	900 100	21 2.3	219 24.3	82 9.1	30 3.3	51 5.7	30 3.3	20 2.2
年代	20代	300 100	5 1.7	31 10.3	13 4.3	12 4.0	19 6.3	14 4.7	5 1.7
	30代	300 100	19 6.3	59 19.7	21 7.0	14 4.7	15 5.0	12 4.0	9 3.0
	40代	300 100	9 3.0	79 26.3	30 10.0	7 2.3	16 5.3	6 2.0	4 1.3
	50代	300 100	4 1.3	64 21.3	28 9.3	8 2.7	4 1.3	6 2.0	5 1.7
	60代	300 100	2 0.7	81 27.0	21 7.0	13 4.3	13 4.3	4 1.3	6 2.0
	70代以上	300 100	8 2.7	93 31.0	29 9.7	13 4.3	16 5.3	9 3.0	6 2.0

度数 横%		全 体	その他	特にな い
全 体		1800 100	0 0.0	747 41.5
地域	首都圏	900 100	0 0.0	383 42.6
	京阪神圏	900 100	0 0.0	364 40.4
年代	20代	300 100	0 0.0	105 35.0
	30代	300 100	0 0.0	97 32.3
	40代	300 100	0 0.0	128 42.7
	50代	300 100	0 0.0	140 46.7
	60代	300 100	0 0.0	142 47.3
	70代以上	300 100	0 0.0	135 45.0

Q47 燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

あなたは、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響による不安を感じますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	541 30.1	606 33.7	442 24.6	93 5.2	118 6.6
地域	首都圏		900 100	262 29.1	302 33.6	228 25.3	47 5.2	61 6.8
	京阪神圏		900 100	279 31.0	304 33.8	214 23.8	46 5.1	57 6.3
年代	20代		300 100	68 22.7	99 33.0	83 27.7	18 6.0	32 10.7
	30代		300 100	84 28.0	94 31.3	79 26.3	22 7.3	21 7.0
	40代		300 100	92 30.7	102 34.0	76 25.3	11 3.7	19 6.3
	50代		300 100	99 33.0	95 31.7	77 25.7	10 3.3	19 6.3
	60代		300 100	88 29.3	115 38.3	63 21.0	17 5.7	17 5.7
	70代以上		300 100	110 36.7	101 33.7	64 21.3	15 5.0	10 3.3

Q48 燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

では、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響により、昨年の今頃と比べ、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、実際にあなたのご家庭に影響がありましたか。最も近いものをお選びください。

		度数 横%	全 体	影響があった	どちらかといえば 影響があった	どちらともいえない	どちらかといえば 影響がなかった	影響がなかった
全 体			1800 100	374 20.8	585 32.5	601 33.4	126 7.0	114 6.3
地域	首都圏		900 100	187 20.8	294 32.7	292 32.4	64 7.1	63 7.0
	京阪神圏		900 100	187 20.8	291 32.3	309 34.3	62 6.9	51 5.7
年代	20代		300 100	38 12.7	111 37.0	104 34.7	21 7.0	26 8.7
	30代		300 100	68 22.7	92 30.7	104 34.7	19 6.3	17 5.7
	40代		300 100	67 22.3	94 31.3	94 31.3	24 8.0	21 7.0
	50代		300 100	66 22.0	98 32.7	106 35.3	10 3.3	20 6.7
	60代		300 100	65 21.7	102 34.0	97 32.3	23 7.7	13 4.3
	70代以上		300 100	70 23.3	88 29.3	96 32.0	29 9.7	17 5.7

Q49 燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響により、実際にあなたのご家庭に影響があった事項についてお伺いします。

今年の今頃と比べ、「物価上昇」により、次にあげるような影響がありましたか。それぞれの事項について、あてはまる食品を全てお選びください。

【1. 購入量が減った】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 100	185 10.3	138 7.7	117 6.5	153 8.5	132 7.3	156 8.7	104 5.8	98 5.4	140 7.8
地域	首都圏		900 100	90 10.0	63 7.0	59 6.6	62 6.9	55 6.1	68 7.6	47 5.2	40 4.4	58 6.4
	京阪神圏		900 100	95 10.6	75 8.3	58 6.4	91 10.1	77 8.6	88 9.8	57 6.3	58 6.4	82 9.1
年代	20代		300 100	37 12.3	17 5.7	16 5.3	17 5.7	15 5.0	21 7.0	18 6.0	16 5.3	16 5.3
	30代		300 100	33 11.0	22 7.3	12 4.0	23 7.7	21 7.0	28 9.3	14 4.7	15 5.0	23 7.7
	40代		300 100	23 7.7	26 8.7	19 6.3	25 8.3	21 7.0	27 9.0	19 6.3	18 6.0	26 8.7
	50代		300 100	29 9.7	29 9.7	31 10.3	33 11.0	31 10.3	30 10.0	21 7.0	19 6.3	27 9.0
	60代		300 100	29 9.7	23 7.7	21 7.0	25 8.3	22 7.3	26 8.7	16 5.3	12 4.0	26 8.7
	70代以上		300 100	34 11.3	21 7.0	18 6.0	30 10.0	22 7.3	24 8.0	16 5.3	18 6.0	22 7.3

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	105 5.8	96 5.3	99 5.5	96 5.3	155 8.6	133 7.4	162 9.0	150 8.3	1104 61.3
地域	首都圏		900 100	40 4.4	40 4.4	44 4.9	44 4.9	68 7.6	55 6.1	76 8.4	62 6.9	573 63.7
	京阪神圏		900 100	65 7.2	56 6.2	55 6.1	52 5.8	87 9.7	78 8.7	86 9.6	88 9.8	531 59.0
年代	20代		300 100	14 4.7	9 3.0	13 4.3	12 4.0	19 6.3	13 4.3	15 5.0	13 4.3	167 55.7
	30代		300 100	19 6.3	12 4.0	14 4.7	16 5.3	17 5.7	21 7.0	23 7.7	25 8.3	177 59.0
	40代		300 100	24 8.0	21 7.0	21 7.0	17 5.7	32 10.7	27 9.0	32 10.7	30 10.0	189 63.0
	50代		300 100	17 5.7	22 7.3	21 7.0	19 6.3	30 10.0	26 8.7	29 9.7	25 8.3	198 66.0
	60代		300 100	21 7.0	20 6.7	18 6.0	13 4.3	32 10.7	21 7.0	29 9.7	28 9.3	187 62.3
	70代以上		300 100	10 3.3	12 4.0	12 4.0	19 6.3	25 8.3	25 8.3	34 11.3	29 9.7	186 62.0

【2. 購入回数が減った】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800	129	182	113	157	153	177	113	94	174
			100	7.2	10.1	6.3	8.7	8.5	9.8	6.3	5.2	9.7
地域	首都圏		900	59	88	63	81	74	77	53	45	92
			100	6.6	9.8	7.0	9.0	8.2	8.6	5.9	5.0	10.2
	京阪神圏		900	70	94	50	76	79	100	60	49	82
			100	7.8	10.4	5.6	8.4	8.8	11.1	6.7	5.4	9.1
年代	20代		300	30	27	14	21	20	16	16	14	23
			100	10.0	9.0	4.7	7.0	6.7	5.3	5.3	4.7	7.7
	30代		300	28	36	22	35	23	37	21	17	29
			100	9.3	12.0	7.3	11.7	7.7	12.3	7.0	5.7	9.7
	40代		300	19	35	23	33	33	34	25	21	40
			100	6.3	11.7	7.7	11.0	11.0	11.3	8.3	7.0	13.3
	50代		300	20	32	24	28	32	34	20	15	29
			100	6.7	10.7	8.0	9.3	10.7	11.3	6.7	5.0	9.7
60代			300	20	24	19	20	21	29	15	11	27
			100	6.7	8.0	6.3	6.7	7.0	9.7	5.0	3.7	9.0
70代以上			300	12	28	11	20	24	27	16	16	26
			100	4.0	9.3	3.7	6.7	8.0	9.0	5.3	5.3	8.7

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800	102	101	103	101	158	150	185	151	1068
			100	5.7	5.6	5.7	5.6	8.8	8.3	10.3	8.4	59.3
地域	首都圏		900	50	49	55	49	71	77	86	73	536
			100	5.6	5.4	6.1	5.4	7.9	8.6	9.6	8.1	59.6
	京阪神圏		900	52	52	48	52	87	73	99	78	532
			100	5.8	5.8	5.3	5.8	9.7	8.1	11.0	8.7	59.1
年代	20代		300	21	13	13	12	25	15	20	17	157
			100	7.0	4.3	4.3	4.0	8.3	5.0	6.7	5.7	52.3
	30代		300	13	16	16	18	23	18	18	22	172
			100	4.3	5.3	5.3	6.0	7.7	6.0	6.0	7.3	57.3
	40代		300	22	30	23	24	33	38	48	33	178
			100	7.3	10.0	7.7	8.0	11.0	12.7	16.0	11.0	59.3
	50代		300	16	16	22	18	25	27	35	22	190
			100	5.3	5.3	7.3	6.0	8.3	9.0	11.7	7.3	63.3
60代			300	17	9	10	14	29	21	31	24	186
			100	5.7	3.0	3.3	4.7	9.7	7.0	10.3	8.0	62.0
70代以上			300	13	17	19	15	23	31	33	33	185
			100	4.3	5.7	6.3	5.0	7.7	10.3	11.0	11.0	61.7

【3.まとめ買いするようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 100	201 11.2	137 7.6	170 9.4	106 5.9	117 6.5	138 7.7	181 10.1	167 9.3	95 5.3
地域	首都圏		900 100	96 10.7	66 7.3	88 9.8	57 6.3	60 6.7	71 7.9	90 10.0	86 9.6	39 4.3
	京阪神圏		900 100	105 11.7	71 7.9	82 9.1	49 5.4	57 6.3	67 7.4	91 10.1	81 9.0	56 6.2
年代	20代		300 100	48 16.0	29 9.7	44 14.7	29 9.7	33 11.0	33 11.0	39 13.0	39 13.0	28 9.3
	30代		300 100	45 15.0	31 10.3	41 13.7	22 7.3	27 9.0	31 10.3	42 14.0	34 11.3	17 5.7
	40代		300 100	30 10.0	22 7.3	26 8.7	16 5.3	23 7.7	24 8.0	30 10.0	31 10.3	18 6.0
	50代		300 100	29 9.7	19 6.3	23 7.7	15 5.0	14 4.7	16 5.3	29 9.7	25 8.3	13 4.3
	60代		300 100	22 7.3	22 7.3	19 6.3	12 4.0	9 3.0	14 4.7	19 6.3	18 6.0	9 3.0
	70代以上		300 100	27 9.0	14 4.7	17 5.7	12 4.0	11 3.7	20 6.7	22 7.3	20 6.7	10 3.3

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いづれもない
全 体			1800 100	104 5.8	110 6.1	113 6.3	137 7.6	151 8.4	80 4.4	73 4.1	124 6.9	1204 66.9
地域	首都圏		900 100	49 5.4	54 6.0	60 6.7	60 6.7	67 7.4	37 4.1	34 3.8	57 6.3	613 68.1
	京阪神圏		900 100	55 6.1	56 6.2	53 5.9	77 8.6	84 9.3	43 4.8	39 4.3	67 7.4	591 65.7
年代	20代		300 100	25 8.3	27 9.0	31 10.3	29 9.7	29 9.7	21 7.0	21 7.0	29 9.7	158 52.7
	30代		300 100	18 6.0	21 7.0	20 6.7	21 7.0	27 9.0	13 4.3	15 5.0	21 7.0	180 60.0
	40代		300 100	16 5.3	21 7.0	21 7.0	28 9.3	31 10.3	16 5.3	15 5.0	25 8.3	200 66.7
	50代		300 100	16 5.3	16 5.3	13 4.3	27 9.0	29 9.7	13 4.3	11 3.7	16 5.3	223 74.3
	60代		300 100	14 4.7	13 4.3	14 4.7	21 7.0	24 8.0	8 2.7	7 2.3	20 6.7	224 74.7
	70代以上		300 100	15 5.0	12 4.0	14 4.7	11 3.7	11 3.7	9 3.0	4 1.3	13 4.3	219 73.0

【4. 国産の食品を選んで買うようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体		1800	161	109	178	166	155	190	190	183	131	
		100	8.9	6.1	9.9	9.2	8.6	10.6	10.6	10.2	7.3	
地域	首都圏	900	78	49	90	83	73	81	87	77	66	
		100	8.7	5.4	10.0	9.2	8.1	9.0	9.7	8.6	7.3	
	京阪神圏	900	83	60	88	83	82	109	103	106	65	
		100	9.2	6.7	9.8	9.2	9.1	12.1	11.4	11.8	7.2	
年代	20代	300	35	19	23	24	24	27	27	23	22	
		100	11.7	6.3	7.7	8.0	8.0	9.0	9.0	7.7	7.3	
	30代	300	21	15	24	27	21	17	12	20	14	
		100	7.0	5.0	8.0	9.0	7.0	5.7	4.0	6.7	4.7	
	40代	300	22	12	23	20	20	24	27	23	11	
		100	7.3	4.0	7.7	6.7	6.7	8.0	9.0	7.7	3.7	
	50代	300	21	12	23	19	17	31	31	29	20	
	100	7.0	4.0	7.7	6.3	5.7	10.3	10.3	9.7	6.7		
60代	300	29	26	37	36	34	39	40	38	26		
	100	9.7	8.7	12.3	12.0	11.3	13.0	13.3	12.7	8.7		
70代以上	300	33	25	48	40	39	52	53	50	38		
	100	11.0	8.3	16.0	13.3	13.0	17.3	17.7	16.7	12.7		

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800	119	108	110	100	101	93	94	98	1281	
		100	6.6	6.0	6.1	5.6	5.6	5.2	5.2	5.4	71.2	
地域	首都圏	900	52	50	51	45	46	43	42	49	654	
		100	5.8	5.6	5.7	5.0	5.1	4.8	4.7	5.4	72.7	
	京阪神圏	900	67	58	59	55	55	50	52	49	627	
		100	7.4	6.4	6.6	6.1	6.1	5.6	5.8	5.4	69.7	
年代	20代	300	21	17	14	14	14	15	19	18	179	
		100	7.0	5.7	4.7	4.7	4.7	5.0	6.3	6.0	59.7	
	30代	300	15	11	17	12	16	14	15	17	214	
		100	5.0	3.7	5.7	4.0	5.3	4.7	5.0	5.7	71.3	
	40代	300	12	11	14	17	9	11	10	17	226	
		100	4.0	3.7	4.7	5.7	3.0	3.7	3.3	5.7	75.3	
	50代	300	14	11	13	13	16	11	11	11	238	
	100	4.7	3.7	4.3	4.3	5.3	3.7	3.7	3.7	79.3		
60代	300	24	26	24	19	19	21	18	16	222		
	100	8.0	8.7	8.0	6.3	6.3	7.0	6.0	5.3	74.0		
70代以上	300	33	32	28	25	27	21	21	19	202		
	100	11.0	10.7	9.3	8.3	9.0	7.0	7.0	6.3	67.3		

【5. 輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 100	51 2.8	42 2.3	54 3.0	55 3.1	63 3.5	112 6.2	101 5.6	92 5.1	44 2.4
地域	首都圏		900 100	29 3.2	21 2.3	24 2.7	21 2.3	30 3.3	50 5.6	55 6.1	40 4.4	24 2.7
	京阪神圏		900 100	22 2.4	21 2.3	30 3.3	34 3.8	33 3.7	62 6.9	46 5.1	52 5.8	20 2.2
年代	20代		300 100	20 6.7	17 5.7	14 4.7	14 4.7	13 4.3	21 7.0	14 4.7	13 4.3	14 4.7
	30代		300 100	14 4.7	6 2.0	7 2.3	13 4.3	12 4.0	15 5.0	12 4.0	11 3.7	10 3.3
	40代		300 100	5 1.7	6 2.0	11 3.7	6 2.0	15 5.0	17 5.7	21 7.0	16 5.3	4 1.3
	50代		300 100	6 2.0	6 2.0	5 1.7	6 2.0	6 2.0	13 4.3	12 4.0	12 4.0	4 1.3
	60代		300 100	2 0.7	2 0.7	6 2.0	7 2.3	7 2.3	24 8.0	21 7.0	19 6.3	4 1.3
	70代以上		300 100	4 1.3	5 1.7	11 3.7	9 3.0	10 3.3	22 7.3	21 7.0	21 7.0	8 2.7

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	35 1.9	51 2.8	39 2.2	48 2.7	38 2.1	31 1.7	32 1.8	42 2.3	1403 77.9
地域	首都圏		900 100	19 2.1	27 3.0	17 1.9	23 2.6	16 1.8	13 1.4	15 1.7	19 2.1	701 77.9
	京阪神圏		900 100	16 1.8	24 2.7	22 2.4	25 2.8	22 2.4	18 2.0	17 1.9	23 2.6	702 78.0
年代	20代		300 100	9 3.0	11 3.7	12 4.0	13 4.3	9 3.0	9 3.0	9 3.0	9 3.0	189 63.0
	30代		300 100	5 1.7	9 3.0	7 2.3	8 2.7	7 2.3	8 2.7	7 2.3	11 3.7	229 76.3
	40代		300 100	7 2.3	9 3.0	8 2.7	8 2.7	6 2.0	2 0.7	3 1.0	5 1.7	241 80.3
	50代		300 100	3 1.0	5 1.7	4 1.3	3 1.0	2 0.7	2 0.7	4 1.3	3 1.0	259 86.3
	60代		300 100	7 2.3	6 2.0	5 1.7	10 3.3	6 2.0	4 1.3	3 1.0	7 2.3	242 80.7
	70代以上		300 100	4 1.3	11 3.7	3 1.0	6 2.0	8 2.7	6 2.0	6 2.0	7 2.3	243 81.0

【6. より安い商品・製品を選んで買うようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 100	271 15.1	278 15.4	268 14.9	225 12.5	243 13.5	246 13.7	259 14.4	251 13.9	228 12.7
地域	首都圏		900 100	124 13.8	126 14.0	118 13.1	96 10.7	108 12.0	109 12.1	125 13.9	122 13.6	97 10.8
	京阪神圏		900 100	147 16.3	152 16.9	150 16.7	129 14.3	135 15.0	137 15.2	134 14.9	129 14.3	131 14.6
年代	20代		300 100	33 11.0	29 9.7	30 10.0	25 8.3	28 9.3	26 8.7	25 8.3	30 10.0	27 9.0
	30代		300 100	47 15.7	42 14.0	46 15.3	34 11.3	40 13.3	32 10.7	41 13.7	36 12.0	32 10.7
	40代		300 100	47 15.7	56 18.7	43 14.3	38 12.7	41 13.7	43 14.3	47 15.7	46 15.3	42 14.0
	50代		300 100	57 19.0	57 19.0	55 18.3	46 15.3	46 15.3	51 17.0	54 18.0	50 16.7	45 15.0
	60代		300 100	42 14.0	43 14.3	47 15.7	37 12.3	42 14.0	52 17.3	48 16.0	45 15.0	42 14.0
	70代以上		300 100	45 15.0	51 17.0	47 15.7	45 15.0	46 15.3	42 14.0	44 14.7	44 14.7	40 13.3

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	214 11.9	199 11.1	205 11.4	220 12.2	219 12.2	180 10.0	153 8.5	200 11.1	1060 58.9
地域	首都圏		900 100	103 11.4	88 9.8	90 10.0	103 11.4	97 10.8	94 10.4	74 8.2	94 10.4	550 61.1
	京阪神圏		900 100	111 12.3	111 12.3	115 12.8	117 13.0	122 13.6	86 9.6	79 8.8	106 11.8	510 56.7
年代	20代		300 100	18 6.0	19 6.3	20 6.7	29 9.7	23 7.7	20 6.7	18 6.0	17 5.7	163 54.3
	30代		300 100	30 10.0	26 8.7	32 10.7	30 10.0	29 9.7	23 7.7	21 7.0	30 10.0	172 57.3
	40代		300 100	39 13.0	28 9.3	37 12.3	39 13.0	37 12.3	35 11.7	27 9.0	36 12.0	170 56.7
	50代		300 100	48 16.0	47 15.7	41 13.7	42 14.0	51 17.0	38 12.7	28 9.3	48 16.0	185 61.7
	60代		300 100	35 11.7	39 13.0	35 11.7	36 12.0	42 14.0	29 9.7	26 8.7	36 12.0	183 61.0
	70代以上		300 100	44 14.7	40 13.3	40 13.3	44 14.7	37 12.3	35 11.7	33 11.0	33 11.0	187 62.3

【7. より価格の安い店を選んで買うようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体		1800	276	268	289	241	232	246	264	252	302	
		100	15.3	14.9	16.1	13.4	12.9	13.7	14.7	14.0	16.8	
地域	首都圏	900	131	128	135	117	111	122	126	122	152	
		100	14.6	14.2	15.0	13.0	12.3	13.6	14.0	13.6	16.9	
	京阪神圏	900	145	140	154	124	121	124	138	130	150	
		100	16.1	15.6	17.1	13.8	13.4	13.8	15.3	14.4	16.7	
年代	20代	300	42	27	41	30	27	33	35	32	37	
		100	14.0	9.0	13.7	10.0	9.0	11.0	11.7	10.7	12.3	
	30代	300	46	36	42	39	39	40	48	41	46	
		100	15.3	12.0	14.0	13.0	13.0	13.3	16.0	13.7	15.3	
	40代	300	66	62	65	57	57	53	61	62	59	
		100	22.0	20.7	21.7	19.0	19.0	17.7	20.3	20.7	19.7	
	50代	300	49	44	46	38	35	39	37	39	57	
	100	16.3	14.7	15.3	12.7	11.7	13.0	12.3	13.0	19.0		
60代		300	39	46	48	41	36	41	46	43	50	
		100	13.0	15.3	16.0	13.7	12.0	13.7	15.3	14.3	16.7	
70代以上		300	34	53	47	36	38	40	37	35	53	
		100	11.3	17.7	15.7	12.0	12.7	13.3	12.3	11.7	17.7	

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800	257	217	240	239	248	199	163	229	1085	
		100	14.3	12.1	13.3	13.3	13.8	11.1	9.1	12.7	60.3	
地域	首都圏	900	138	110	119	118	114	95	79	107	550	
		100	15.3	12.2	13.2	13.1	12.7	10.6	8.8	11.9	61.1	
	京阪神圏	900	119	107	121	121	134	104	84	122	535	
		100	13.2	11.9	13.4	13.4	14.9	11.6	9.3	13.6	59.4	
年代	20代	300	31	29	27	28	24	25	24	24	160	
		100	10.3	9.7	9.0	9.3	8.0	8.3	8.0	8.0	53.3	
	30代	300	37	33	34	32	37	28	27	34	178	
		100	12.3	11.0	11.3	10.7	12.3	9.3	9.0	11.3	59.3	
	40代	300	54	53	58	57	61	47	38	58	170	
		100	18.0	17.7	19.3	19.0	20.3	15.7	12.7	19.3	56.7	
	50代	300	45	36	42	41	48	34	25	41	193	
	100	15.0	12.0	14.0	13.7	16.0	11.3	8.3	13.7	64.3		
60代		300	44	32	31	36	36	30	20	31	188	
		100	14.7	10.7	10.3	12.0	12.0	10.0	6.7	10.3	62.7	
70代以上		300	46	34	48	45	42	35	29	41	196	
		100	15.3	11.3	16.0	15.0	14.0	11.7	9.7	13.7	65.3	

Q50 燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

あなたが普段購入している国産牛肉が値上げされた場合、ならびに国産牛肉の販売価格に関して、あなたのお考えに最も近いものをお選び下さい。

【1. 生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 100	195 10.8	908 50.4	508 28.2	112 6.2	77 4.3
地域	首都圏		900 100	103 11.4	453 50.3	252 28.0	55 6.1	37 4.1
	京阪神圏		900 100	92 10.2	455 50.6	256 28.4	57 6.3	40 4.4
年代	20代		300 100	40 13.3	117 39.0	100 33.3	24 8.0	19 6.3
	30代		300 100	32 10.7	134 44.7	99 33.0	19 6.3	16 5.3
	40代		300 100	32 10.7	137 45.7	95 31.7	19 6.3	17 5.7
	50代		300 100	32 10.7	150 50.0	83 27.7	21 7.0	14 4.7
	60代		300 100	33 11.0	176 58.7	74 24.7	13 4.3	4 1.3
	70代以上		300 100	26 8.7	194 64.7	57 19.0	16 5.3	7 2.3

【2. 国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 100	215 11.9	906 50.3	536 29.8	82 4.6	61 3.4
地域	首都圏		900 100	109 12.1	456 50.7	262 29.1	42 4.7	31 3.4
	京阪神圏		900 100	106 11.8	450 50.0	274 30.4	40 4.4	30 3.3
年代	20代		300 100	45 15.0	114 38.0	110 36.7	18 6.0	13 4.3
	30代		300 100	30 10.0	133 44.3	108 36.0	14 4.7	15 5.0
	40代		300 100	38 12.7	141 47.0	93 31.0	15 5.0	13 4.3
	50代		300 100	34 11.3	151 50.3	91 30.3	13 4.3	11 3.7
	60代		300 100	37 12.3	170 56.7	76 25.3	12 4.0	5 1.7
	70代以上		300 100	31 10.3	197 65.7	58 19.3	10 3.3	4 1.3

【3. 国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 100	202 11.2	841 46.7	602 33.4	87 4.8	68 3.8
地域	首都圏		900 100	96 10.7	424 47.1	310 34.4	39 4.3	31 3.4
	京阪神圏		900 100	106 11.8	417 46.3	292 32.4	48 5.3	37 4.1
年代	20代		300 100	39 13.0	103 34.3	121 40.3	24 8.0	13 4.3
	30代		300 100	28 9.3	122 40.7	119 39.7	14 4.7	17 5.7
	40代		300 100	36 12.0	126 42.0	112 37.3	11 3.7	15 5.0
	50代		300 100	31 10.3	147 49.0	96 32.0	12 4.0	14 4.7
	60代		300 100	36 12.0	160 53.3	86 28.7	14 4.7	4 1.3
	70代以上		300 100	32 10.7	183 61.0	68 22.7	12 4.0	5 1.7

【4. 国産牛肉の生産に必要な飼料(エサ)の価格は、近年上昇している】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 100	341 18.9	768 42.7	582 32.3	65 3.6	44 2.4
地域	首都圏		900 100	180 20.0	384 42.7	291 32.3	29 3.2	16 1.8
	京阪神圏		900 100	161 17.9	384 42.7	291 32.3	36 4.0	28 3.1
年代	20代		300 100	48 16.0	104 34.7	112 37.3	21 7.0	15 5.0
	30代		300 100	49 16.3	116 38.7	117 39.0	9 3.0	9 3.0
	40代		300 100	47 15.7	119 39.7	115 38.3	11 3.7	8 2.7
	50代		300 100	56 18.7	127 42.3	99 33.0	11 3.7	7 2.3
	60代		300 100	66 22.0	145 48.3	80 26.7	6 2.0	3 1.0
	70代以上		300 100	75 25.0	157 52.3	59 19.7	7 2.3	2 0.7

【5. 国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりが起きていない】

度数 横%		全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体		1800 100	121 6.7	551 30.6	846 47.0	203 11.3	79 4.4
地域	首都圏	900 100	58 6.4	263 29.2	431 47.9	110 12.2	38 4.2
	京阪神圏	900 100	63 7.0	288 32.0	415 46.1	93 10.3	41 4.6
年代	20代	300 100	29 9.7	90 30.0	135 45.0	28 9.3	18 6.0
	30代	300 100	25 8.3	92 30.7	142 47.3	26 8.7	15 5.0
	40代	300 100	18 6.0	87 29.0	153 51.0	28 9.3	14 4.7
	50代	300 100	14 4.7	86 28.7	151 50.3	36 12.0	13 4.3
	60代	300 100	22 7.3	99 33.0	137 45.7	35 11.7	7 2.3
	70代以上	300 100	13 4.3	97 32.3	128 42.7	50 16.7	12 4.0

【6. 今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる】

度数 横%		全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体		1800 100	224 12.4	737 40.9	710 39.4	72 4.0	57 3.2
地域	首都圏	900 100	102 11.3	369 41.0	363 40.3	41 4.6	25 2.8
	京阪神圏	900 100	122 13.6	368 40.9	347 38.6	31 3.4	32 3.6
年代	20代	300 100	32 10.7	110 36.7	127 42.3	19 6.3	12 4.0
	30代	300 100	36 12.0	97 32.3	143 47.7	13 4.3	11 3.7
	40代	300 100	27 9.0	111 37.0	133 44.3	15 5.0	14 4.7
	50代	300 100	36 12.0	121 40.3	123 41.0	11 3.7	9 3.0
	60代	300 100	50 16.7	144 48.0	95 31.7	6 2.0	5 1.7
	70代以上	300 100	43 14.3	154 51.3	89 29.7	8 2.7	6 2.0

Q51 燃油や資材、飼料価格の高騰に伴い、生産コストが上昇している中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込でどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。

以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。

<Q16「99円以下」～「1500円以上」回答者>

度数横%		全 体	1円でも割高 なら購入しない ・購入を控える	5円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	10円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	20円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	30円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	40円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	50円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	70円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する
全 体		1201 100	93 7.7	86 7.2	151 12.6	144 12.0	127 10.6	53 4.4	243 20.2	31 2.6
地域	首都圏	562 100	52 9.3	39 6.9	74 13.2	63 11.2	65 11.6	28 5.0	108 19.2	16 2.8
	京阪神圏	639 100	41 6.4	47 7.4	77 12.1	81 12.7	62 9.7	25 3.9	135 21.1	15 2.3
年代	20代	200 100	20 10.0	28 14.0	21 10.5	25 12.5	20 10.0	17 8.5	18 9.0	5 2.5
	30代	204 100	17 8.3	17 8.3	32 15.7	32 15.7	21 10.3	9 4.4	33 16.2	7 3.4
	40代	196 100	18 9.2	9 4.6	30 15.3	20 10.2	20 10.2	11 5.6	38 19.4	9 4.6
	50代	195 100	19 9.7	14 7.2	23 11.8	24 12.3	24 12.3	5 2.6	40 20.5	3 1.5
	60代	195 100	7 3.6	10 5.1	26 13.3	24 12.3	18 9.2	3 1.5	53 27.2	3 1.5
	70代以上	211 100	12 5.7	8 3.8	19 9.0	19 9.0	24 11.4	8 3.8	61 28.9	4 1.9

度数横%		全 体	100円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	150円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	200円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	300円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	400円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	500円程度まで の価格上昇 なら高くても 購入する	その他の金額 程度までの価格 上昇なら高くても 購入する
全 体		1201 100	170 14.2	20 1.7	25 2.1	13 1.1	7 0.6	38 3.2	0 0.0
地域	首都圏	562 100	73 13.0	7 1.2	11 2.0	8 1.4	4 0.7	14 2.5	0 0.0
	京阪神圏	639 100	97 15.2	13 2.0	14 2.2	5 0.8	3 0.5	24 3.8	0 0.0
年代	20代	200 100	19 9.5	5 2.5	4 2.0	5 2.5	2 1.0	11 5.5	0 0.0
	30代	204 100	18 8.8	2 1.0	5 2.5	0 0.0	3 1.5	8 3.9	0 0.0
	40代	196 100	26 13.3	4 2.0	3 1.5	1 0.5	1 0.5	6 3.1	0 0.0
	50代	195 100	24 12.3	3 1.5	6 3.1	3 1.5	1 0.5	6 3.1	0 0.0
	60代	195 100	37 19.0	4 2.1	3 1.5	3 1.5	0 0.0	4 2.1	0 0.0
	70代以上	211 100	46 21.8	2 0.9	4 1.9	1 0.5	0 0.0	3 1.4	0 0.0